

統計数理研究所
研究レポート74

ブラジル日系人の意識調査

—— 1991～1992 ——

1993年3月

統計数理研究所

この研究レポートはサンパウロ人文科学研究所と統計数理研究所を中心とするブラジル
日系人意識調査委員会（会長：山本勝造サンパウロ人文科学研究所理事長）による共同研
究「ブラジル日系人の意識調査」（笹川平和財団 平成2・3年度研究助成による）の成果
をまとめた報告書である。

当研究所では、

Annals of the Institute of Statistical Mathematics

統計数理

Computer Science Monographs

を発行している。

研究レポートは主として研究調査の成果の発表を目的とし、必要に応じて発行する。

ALL RIGHTS RESERVED.

NO PART OF THIS PUBLICATION MAY BE REPRODUCED OR TRANSMITTED IN ANY
FORM OR BY ANY MEANS, ELECTRONIC OR MECHANICAL, INCLUDING
PHOTOCOPY, RECORDING, OR ANY INFORMATION STORAGE AND RETRIEVAL
SYSTEM, WITHOUT PERMISSION IN WRITING FROM THE INSTITUTE.

研 究 組 織

代 表 者	山本 勝造	ブラジル日系人意識調査研究会会長 サンパウロ人文科学研究所理事長
	河合 武夫	ブラジル日系人意識調査研究会委員 サンパウロ人文科学研究所顧問
	脇坂 勝則	ブラジル日系人意識調査研究会委員 サンパウロ人文科学研究所理事
	宮尾 進	ブラジル日系人意識調査研究会委員 サンパウロ人文科学研究所理事
	森 幸一	ブラジル日系人意識調査研究会委員 サンパウロ人文科学研究所研究員
	林 知己夫	ブラジル日系人意識調査研究会委員 統計数理研究所 名誉教授
	水野 坦	ブラジル日系人意識調査研究会委員
	鈴木 達三	ブラジル日系人意識調査研究会委員 統計数理研究所 教授
	林 文	ブラジル日系人意識調査研究会委員 東洋英和女学院大学 助教授
	吉野 諒三	ブラジル日系人意識調査研究会委員 統計数理研究所 助教授

はしがき

この研究レポートは、ブラジルのサンパウロ人文科学研究所と統計数理研究所を中心として組織されたブラジル日系人意識調査委員会が、1991年から1992年に亘って実施したブラジル在住の日系人の意識調査の研究成果をまとめたものである。この研究の一部は既に「ブラジル日系人の意識調査」(1992年2月、サンパウロ人文科学研究所発刊)に発表されているが、本研究レポートは、これを改訂、増補したものである。

第1部から第3部までが日本語によるものであり、それに対応するポルトガル語版が第4部に納められている。

目 次

第 1 部

調査の構想と計画と実施

1. 研究目的	3
2. 研究計画立案の経緯	3
3. 研究の特色	4
4. 調査の計画	4
5. 調査の実施	7
6. 分析のための準備	9

第 2 部

データ分析の結果

1. 基本的事項	13
2. 質問別にみたブラジル日系人の意識	20
3. ブラジル日系人の心の構図	64
4. 特種地域トメアスーとマリंगा在住者の意識	96
5. 自由回答について	111
6. 在日日系ブラジル人の意識	115

第 3 部

付 録

1. 質問文と単純集計	125
2. 日本人、ブラジル日系人、ハワイ日系人、アメリカ人（北米）等の 質問別単純集計比較表	157
3. 自由回答の結果	173
4. ブラジル日系人の属性（性、年齢、世代、日本人スケールによる）別集計表	185
5. ポルトガル語の調査票	205
6. ブラジルに於ける日系人口調査報告書－1987・1988－の抜粋及び英文要旨	221

第 4 部

ポルトガル語版

（目次は次頁を参照のこと）

PESQUISA DE COMPORTAMENTO E ATITUDE
DE JAPONESES E SEUS DESCENDENTES
RESIDENTES NO BRASIL

PARTE I

CONCEPÇÃO, PLANEJAMENTO, REALIZAÇÃO DA PESQUISA	257
---	-----

PARTE II

Capítulo I	Itens Básicos	273
Capítulo II	Análise dos Dados Referentes à Cada Pergunta	281
Capítulo III	Esboço da Disposição Psicológica do Nikkei Brasileiro	332
Capítulo IV	Consciência dos Moradores de Tomé-Açu e Maringá	369
Capítulo V	Consciência dos Nikkei Brasileiros Residentes no Japão	389

PARTE III

1.	Questionário (versão para o japonês), e Somatória simples com ou sem ponderação. Distribuição das opiniões dos nikkei brasileiros no Japão procedentes de Tomé-Açu e Maringá	395
2.	Comparação das somatórias simples dos resultados das pesquisas com japoneses, nikkei brasileiros, nikkei americanos de Havaí, americanos (USA), etc., por perguntas	425
3.	Quadro de somatórias dos resultados segundo atributos (sexo, idade, geração, escala de japoneses) dos nikkei brasileiros	441
4.	QUESTIONÁRIO DE COMPORTAMENTO ATITUDINAL	461

第 1 部

調査の構想と計画と実施

1. 研究の目的

ブラジル日系人の意識について、主として価値観を中心に調査を行い、その個人歴、属性による差異を明らかにすると共に、日本人・ハワイの日系人の時系列調査等との比較も行い、ブラジル日系人意識の特色を明らかにすることを目的とする。

本研究は、ブラジル日系人の移住そして異文化との接触・融合による変容・不変の姿を日本人・ハワイの日系人との比較を行いつつ明らかにし、さらに諸外国との比較を行って、日本人・ブラジル日系人の位置付けの下に、世代交代に基づく展開期にあるブラジル日系人が、今後のブラジル文化の発展への寄与の展望、そのアイデンティティの形成、そしてブラジル日系人の社会構造、さらにその教育を考える上での基礎資料を提供する。また、いわゆる日本の文化摩擦、外国との接触トラブルの回避、海外勤務者（含家族）、移住者のマニュアル、国際相互理解の一般レベルでの問題などを考える際の参考資料ともなることを期待している。

全伯日系人の厳密なランダムサンプル（後述する）を対象にして面接調査を行う。調査内容は、日本側共同研究者によって開発された連鎖的比較調査方法論の考えかたに基づいて、ブラジル固有の意識に関する質問、日本に固有の質問、ハワイの日系人・日本人調査に共通する質問、国際比較のための近代社会に共通する事項に関する質問を含めて決定する。調査のための質問票は、日伯両方の協議により策定、調査実施はブラジル側、データ分析は日本側、報告書作成は日伯共同で行う。

2. 研究計画立案の経緯

ブラジル日系人の意識調査の計画は古く、移民50周年における基礎調査（サンパウロ大学、日本文化研究所 鈴木梯一氏を中心とする）の折、日伯共同して研究会を作り、意識調査を実施する予定で予算を得たが、ブラジル国内事情により調査が許されなかった。

それ以来、双方において調査の機会をうかがい、山本を中心とするサンパウロ人文科学研究所と林を中心とする統計数理研究所の間に交流が屢々あった。しかし、基礎サンプルの作成が極めて困難かつ多大の予算を必要とするところから、実現に到らなかった。

移住80周年記念事業としてブラジル日系人実態調査の話が持ち上がり、日系人のエニューメレーションの要請があった。人文研は日本側の水野 坦（発展途上国の標本調査の日本唯一の専門家）の協力を得て、ブラジル統計局の全面的協力のもと調査区資料を借用し、全伯での実査を行い標本調査企画を練り上げて調査を完了した。こうして1000地点4000人の日系人のリスト（履歴、基礎属性なども含む）を全国規模で作成できた。

そこで、意識調査を正しいサンプルで行い得る唯一のこの機会に、実態調査に補充して世代交代による日系移住者の転換期の意識をとらえておくことが極めて重要であるので、日伯両国の適材で調査研究会を組織し、調査を計画実施することにした。

3. 研究の特色

- 1) 厳格に代表性のある日系人の標本を土台としていること。日系人の定義の明確なこと
この種の調査では、一般に標本が便宜的であり、全体の代表性に欠ける。この調査は
厳密な全国規模の層別ランダムエリアサンプリングで作成された正しいサンプル（居
住地域地図とサンプルの諸属性がある）を下に意識調査が実施できる点が大きな特色
である。発展途上国における移民の厳格な大規模調査の初めてのものと考えられる。
その意義は大きい。
- 2) それぞれに特色を持つ人々を集めていること
 - i) ブラジルに長く在住し、ブラジル社会、日系人社会について熟知している人々
 - ii) ブラジル在住の社会学者
 - iii) 日系人調査、国際比較調査の統計学、社会調査、行動計量学、コンピュータ分析
の専門家、発展途上国の標本調査のエキスパート
- 3) 日本側共同研究者による最新の国際比較方法論たる連鎖的比較調査分析法を用い、ブ
ラジル日系人、ハワイ日系人（1971-1988の4回の継続調査）、日本人（35年間の8
回の国民性継続調査）、国際比較調査（1987、1988、日本、ハワイ、アメリカ本土、
イギリス、ドイツ、フランス）との比較検討の上、ブラジル日系人の姿を明らかにで
きること

4. 調査の計画

4. 1 調査の仕組み

このブラジル日系人意識調査は、全国調査、特種地域調査、在日日系人調査の三つに大別される。

在ブラジル日系人調査がその中核をなすものであり、全国からのランダムサンプルに対するものである。これにより在ブラジルの日系人の全貌を把握することができる。

つぎに、特種地域調査を計画した。これは、その地域で日系ブラジル人がマイノリティでなく、むしろ社会的経済的にマジョリティをなしていると考えられるところから選出した。アマゾン地区のトメアスーと南部のマリングである。マイノリティでないという点から、その意識がどう異なるか、あるいは同じか、また日本とも異なり、マイノリティのブラジル日系人とも異なる新しい意識が生じている—社会と環境と日本人意識との関連性において—野ではないか、という点を見るために計画された。これは、ブラジル日系人意識の多様性・同一性を深めるためのよりきめの細かい計画ということができよう。これは、必ずしもマイノリティでないハワイ日系人との鎖をなすのではないかという観点もある。

もう一つは在日・ブラジル日系人調査である。全国調査において出稼ぎは8%（54/665、1991年2月）あり、トメアスーで20%（38/186）、マリングで11%（37/326）であるため、無視できないものがある。そこで在日ブラジル日系人調査を行うことにした。これには3種類ある。

- ア. トメアスー、マリングにおける出稼ぎの人の日本での住所の判明したものへの郵送調査
- イ. いすゞ自動車栃木工場で働いているブラジル日系人に対する自記式調査
- ウ. 海外日系人協会の把握している名簿のうち、首都圏に在住するものに対する自記式調査

これにより、本国調査の偏りがどの程度になるか、また、在日により意識は変化するものかを探る手掛りとすることを目途としたものである。

4. 2 全国調査における標本抽出計画

4. 2. 1 標本の土台

本研究の対象としたブラジル日系人集団については、その概念的規定に種類の可能性のある事で技術的な問題もあるが、最大の問題点は、拡大なブラジルで利用可能なフレームが容易には構築できない事であった。然し、ブラジル日系移民80年記念事業の一環として、サンパウロ人文科学研究所は1987～1988の2年に亘ったブラジル日系人実態調査実施の為に多大の努力で之を構成、調査を遂行した。これを4.2.2に述べるような仕方で利用した。

この80年記念事業の調査は最広義の日系人集団を対象として、継時的にも利用可能な標本系を独立な数個の標本群に設定している。以下はこの標本設定の方法についての説明である。

調査対象者は地理的には一小島を除いた全ブラジルに移住する全日系人で、日系人とは日本人移住者とその子孫である。標本はこの日系人の確率標本が日系人の存在する世帯を単位として、2段階の地域の抽出と、抽出標本地域内での世帯の悉皆リスティングと各世帯での日系人の確認で把握される様になっている。

全ブラジルの人口約1億4000万で高々その1%以下のオーダーで存在し、その大部分はSão Paulo 等数州に集中してはいるが近年は全体に拡散居住すると考える日系人を、少数調査員で広大な地域単位でのフィールド・ワークにより、然も、日系人の標本をなるべく多数確保する事が抽出単位の決定・層別・配分等標本計画での主眼であった。

第一次抽出単位は、1980年ブラジル人口センサスの為にIBGE（ブラジル政府地理統計院）が基準人口1000として設定した約14万のセトール（センサス用調査区）である。セトールは先ず地理的な特性と、日系人口の分布に関わる情報に基づき、Norte（北部）、Nordeste（北東部）、Sudeste（南東部）、Sul（南部）、Centro Oeste（中央西部）の5大地域で不偏推定可能な様、São Paulo 州は三分され、他は州を基とした14の隣接地域群に分けられ、各々はさらに郡部と都市部に区分された。之等はセンサス時の黄色人口、日本生まれ人口、日系団体の有無等を考慮して、最終的に110の層に設定された。474セトールが1独立標本当たり割り当られ、3組のセトール群が、IBGEでコンピューターにより等確率を以て抽出された。

この1987, 1988の調査では2独立標本についてのみ実査が可能であったので、選定されたA, B 2群に属するセトールにつき、人口100程度をメドに、人文研に於て地図上で10程度の副セトールに分割された。之を第2次抽出単位として、等確率を用いてセトール当たり1副セトールが抽出された。標本副セトールに於ては、調査員が現地でそこに存在した約3万の全世帯のリスティングを行い、同時に日系人の有無、該当者の確認、基礎情報を記

録した。この様にして把握されたのは、1独立標本につき日系人を含む世帯が約1000、日系人が約2000であった。

時間空間での標本の妥当性の為に、この様にして得られた日系人標本世帯について、転住者の追跡、最親近者の所在情報確保と、標本抽出時点後のブラジルへの日本人移住者を別途把握する事にしてある。

集計はすべて抽出率に基づく不偏線形推定を予定、結果は独立標本毎に出力可能となる様にし、その全独立標本の結果の単純平均として最終的な推計値を得る様にしており、推計値算出と同時に、その推定誤差が表象可能となっている。既調査事項についての製表ではすべて誤差が掲載されている。

4. 2. 2 標本抽出計画

前期第1次日系人調査(エニュメレーションのための調査-87/88年実施)の台帳をもとにして、次のような調査計画をたてた。

(ア) 予め18歳未満の日系人と非日系人をQ-C(世帯調査票-87年度実施調査)から消去し、18歳以上の日系人のみのリストを作成し(18歳以上日系人が母集団となる)そこから等間隔でサンプリングするというのが、基本的な方法である。

但し、この方法は地域ごとに若干の相違がある。

(イ) まず、サンプリングのもとになる、使用サンプル集団であるが(87/88年の調査では、全体サンプルがA/B2つのサブ・サンプルに区分され、どちらか一方のサンプルでも日系人口の推計が可能のように配慮されている)東北部(NORDESTE)、サンパウロ市内(MUNICIPIO DE SAO PAULO)、サンパウロ州内のうちの大サンパウロ圏(GRANDE SAO PAULO)ではサンプル(母集団)としてA+Bの両集団を用いることとした。これ以外の地域、即ち、中西部(CENTRO-OESTE)、北部(NORTE)、サンパウロ州(RJ/MG両州を含む)、南部(SUL)はAグループのみを用いることとした。

(ウ) (ア)に示したような、リストによるサンプリングを実施したのは、北部、サンパウロ市内、サンパウロ州内(RJ/MGを含む)、南部であり、東北部、中西部に関しては各世帯より、18歳以上日系人から1名づつを無作為に抽出した。

(エ) リストによるサンプリングを行った地域において、母集団が小さいことに起因して、予め予定されたサンプル数を取った場合に、同一の世帯から複数の世帯員が選ばれるケースも多くみられた。そこで、このような場合には、同一世帯からの複数サンプルから、更に1サンプルを無作為に抽出した。この場合、例えば、3人から1人が選ばれた場合には集計の際のウェイトは3倍となる。

(オ) 以上のような作業から、抽出されたサンプル数と調査地点数を地域ごとに示したのが下表である。

地 域	調査地点数	サンプル数	使用サンプル集団	サンプリング方法
北部	1 2	3 3	A	リストによる
東北部	3	4	A + B	各世帯1名
サンパウロ市内	1 5 7	4 0 9	A + B	リストによる
サンパウロ州内	7 1	1 4 3		リストによる
大サンパウロ圏			A + B	
その他のサンパウロ州(RJ/MG)			A	

地 域	調査地点数	サンプル数	使用サンプル集団	サンプリング方法
南部	28	60	A	リストによる
中西部	7	16	A	各世帯1名
合 計	278	665	—	—

4. 3 調査票の決定

調査の内容としては、ブラジルに固有の質問、国際比較に用いられた質問、ハワイの日系人調査のために用いられた質問を集め、これをもとに調査票の第1次案を作成した。

これをポルトガル語に翻訳し、更にこれを日本語に再翻訳し、検討を重ね、調査実施上の妥当性を考え、調査票を決定した。調査に用いた調査票（ポルトガル語）のもとになっている日本語の調査票は付録に示してある。

4. 4. 特種地域の標本抽出と標本の性格

トメアスーにおいては、日系人リストから等間隔抽出法により、186人を抽出したが、同一世帯から2人以上調査することは実施上困難なので、2人以上抽出された場合は無作為に1人を抽出した。

マリングも同様なランダム抽出の方法によったが、日系人の数が多いため、抽出間隔が大きく、トメアスーのように同一世帯から2人以上抽出されるようなことはなかった。

在日・ブラジル日系人調査の場合は、トメアスー、マリングの在日日系人の場合を除き、特種な性格を持つサンプルとなった。これは、調査実施の制約上止むを得なかった。在日・日系ブラジル人調査が、日本人研究者により数多く実施され、いわゆるフィールド荒らしの感を持った。現場においては、官庁、民間を問わず、調査に対しアレルギー反応を示し、調査拒絶の構えが強く、調査協力が得られなかった。このため、特に我々と関係の深い団体に依頼するのが最適との判断を持ち、いすゞ自動車の栃木工場の従業員中の日系ブラジル人、海外日系人協会の所有する名簿にのっている日系ブラジル人（全国規模のものである）を対象に、調査を依頼することにした。諸特性を持つサンプルの比較という点では大きな意義を示すものであるが、それらの合計は必ずしも明確な意味を示さないものと考えられる。

5. 調査の実施

4. で述べた計画にしたがって調査が実施された。その結果、ランダムサンプルに対する回収率はかなり高く、全国調査で74%、トメアスーで77%、マリングで61%である。

その結果を以下の表に示す。

全 国 調 査

地 域	調査予定数	調査完了数	引越し	調査不能			旅行中
				出稼ぎ	拒 否	病/死	
北部	33	25	0	7	0	1	0
東北部	4	3	1	0	0	0	0
サンパウロ市内	409	289	39	31	21	8	21
サンパウロ州	143	115	5	7	6	7	3
(GSP、MG、RJを含む)							
南部	60	49	1	8	0	1	1
中西部	16	11	3	1	0	1	0
合 計	665	492	49	54	27	18	25

ト メ ア ス ー

	世帯数	サンプル	出稼ぎ	調査不能	調査可能
1. 全く抽出なしの世帯	19	0	0	0	0
2. 1人	98	98	21	2	75
1人から1人	9	9	4	1 (拒否)	4
2人から1人	38	38	7	—	31
3人から1人	22	22	9	1 (精薄)	12
4人から1人	22	22	1	—	21
5人から1人	5	5	—	—	5
6人から1人	7	7	—	—	7
3. 2人	31	31 (62)	7	1	23
4人から2人		7 (14)		—	7
5人から2人		13 (26)	4	—	9
6人から2人		7 (14)	1	1 (不在)	5
7人から2人		4 (8)	2	—	2
4. 3人	6	6 (18)	1	—	5
7人から3人		2 (6)	—		2
8人から3人		1 (3)	—		1
9人から3人		3 (9)	1		2
4. 4人	2	2 (8)	—	—	2
10人から4人		1 (4)	—	—	1
11人から4人		1 (4)	—	—	1
合 計	149	137 (186)	30	3	105

*同一世帯から複数のサンプルが選ばれたケースでは更に無作為に一つのサンプルだけを選び出した。従って、2人のケースでは62サンプル、3人—18、4人—8つつサンプルがあった。つまり、全体では186サンプルが選ばれ、調査サンプルは137となる。

マ リ ン ガ

		調査完了	未調査	引越し	出稼ぎ	拒 否	その他
1	20	17	3	2	1	0	0
2	20	10	10	6	0	0	4
3	18	12	6	2	1	0	3
4	19	9	10	2	4	0	4
5	17	12	5	0	2	1	2
6	19	13	6	2	3	0	1
7	20	14	6	4	2	0	0
8	22	11	11	5	4	0	2
9	18	8	10	6	2	0	2
10	19	8	11	5	3	1	2
11	19	10	9	2	1	1	5
12	19	14	5	1	4	0	0
13	18	11	7	3	1	0	3
14	21	14	7	1	2	0	4
15	22	16	6	3	2	0	1
16	16	9				0	
17	19	12	7	1	2	0	4
合 計	326	200	126	48	37	3	38

いずれの場合も、引越し・病／死・出稼ぎという止むを得ない理由が多く、調査努力の不足に帰因するような不能率（拒否、旅行中など）は多くないことが読みとれるので、一応信頼できるサンプルが得られたと見てよい。

在日ブラジル日系人調査の回収数は郵送調査によるもの

トメアスーの分 5

マリンガの分 5

このほか、白紙返送1、住所不明返送5であった。

これにより、トメアスーの回収数110、マリンガの回収数205となる。

（住所の判明したもの45名に対し、2回督促した結果）

自記式のよるもの

海外日系人協会の分 118（有効数）

いすず栃木工場の分 85（有効数）

である。

6. 分析のための準備

回収された調査票をチェックし、コード化し、データシートに記入し、フロッピー、MTに記録することは通常の通りで特に言うことはない。しかし、今回全国調査では、第1次日系人調査において調査されている項目については除外してあるので、あらためて前回調査の情報をサンプルの固有番号を手掛けとして結合し、新しいフロッピー、MTを作

るというドッキングの作業が必要になった。特種地域調査においては全く通常の作業の通りであった。

全国調査においては、サンプルに乗ずるウエイト*——一定の日時・予算の下で実施可能な最適標本企画を考えたので、標本に乗ずるウエイトはさまざまであるが、これに乗じて推定値を作らないと理論的に偏りのあるものとなる——は2桁から5桁にわたり大きくバラツキている。分析の結果がウエイトを乗じないのと乗じたものとを比較し、検討することは今後の参考となる。4種類の集計を比較したものを資料番号6に示す。

集計は、ウエイトを乗じた正規のもの、全くウエイトなしで単純に集計したもの（理論的には偏りのある推定となる）、特にウエイトの大きいもの（10,000以上、7サンプル）を除いたウエイトつき集計、除外した以外のサンプルの単純な集計を付録1に示してあるが、4種類の数字は特別の項目を除けば大きな違いはない（大きいものでも数%程度）という驚くべき結果が得られた。ウエイトの大小と回答との間に一定の強い相関がないことを暗示しているものと言えよう。

*地点抽出のウエイト、世帯から1人を抽出するためのウエイトがあり、これらに乗じたものが用いる総合ウエイトとなる。

第 2 部

データ分析の結果

第 1 章 基本的事項

第 2 章 質問別にみたブラジル日系人の意識

第 3 章 ブラジル日系人の心の構図

第 4 章 特種地域トメアスーとマリंगा在住者の意識

第 5 章 自由回答について

第 6 章 在日日系ブラジル人の意識

第1章 基本的事項

1. この調査の対象となっている日系人の諸特性（数字は%）

ア. 性	男	55.3
	女	44.7

イ. 年令	19～29	19.9
	30～39	20.1
	40～49	19.8
	50～59	19.7
	60～*	20.4

*1987のJICA調査では、60～は17.4%で、その内訳は

60～69	10.1
70～79	4.2
80～	3.1

となっている。

ウ. 世代	1世	19.0
	2世純	46.5
	2世混血	1.3
	3世純	24.7
	3世混血	5.6
	4世純	0.5
	4世混血	1.8
	不明	0.6

1世と2、3、4世の純を加えると90.7%となる。混血は2世の中で3%、3世の中で23%となっている。

エ. 職業	専門技術職	9.1
	管理職・事務職	17.3
	農・牧畜・水産業	9.6
	製造・加工・土木	
	建築業	7.8
	商業・販売従事	9.5
	運輸・通信	3.2
	サービス	7.0
	なし・その他	36.5

オ. 職業上の地位	雇用者	16.6
	自 営	13.8
	被雇用者	27.5
	家族従業員	6.8
	その他・なし	35.3

カ. 学歴（ブラジルでの）	小中卒	40.6
	高 卒	24.1
	大学・専門	18.6
	非該当	16.7

非該当の内訳

(日本での学歴)	小中卒	38.9
	旧高小新制中	33.8
	旧中・新高	13.0
	専門・大学	14.3

ブラジル・日本での最終学歴をあわせてまとめてみると、

初等教育	52.3
中等教育	27.7
高等教育	19.2
不 明	0.8

となる。

キ. ブラジル出身者の出生地

日本生れは19.0%で、ブラジル生れは79.4%ある。このうち

農村部生れ 49.1%

都市部生れ 50.9%

となり、丁度半々になっている。

〔後 注〕

ホノルル市民（有権者）サンプルのうちに占める日系人の比率は、1978、1983、1988で42%、38%、36%となっている。

ハワイ（ホノルル）の日系人構成をみると世代構成は次のようになる（%）

	1971	1978	1983	1988
1世	3	5	3	2
2世	55	50	41	46
3世	35	37	35	40
4世以上	1	2	4	4
混合*	6	4	17	6
わからない	0	2	0	2

*混合1世+2世、2+3、3+4
という形のもの

ブラジルは1世が多く3世が少ないという形になり、2世は同じ程度となっている。
 年令構成は、1988で

18～19	1.7
20～29	6.6
30～39	14.5
40～49	17.2
50～59	16.2
60～69	24.4
70～	19.4

ハワイの方が高年令層が遥かに多い。性比は男48.1、女51.9となっている。学歴は初等教育8.4%、中等教育39.5%、高等教育51.6%、わからない0.6%となり、ハワイの方が学歴は高い。

2. 日本・日本語の係り合いからみたブラジル日系人—ハワイの日系人との対比を含めて

ア. 日本語について

i) 会話と読み書き

まず日本語での会話・読み書きの程度をみよう。

会 話	全くできない	28.2 (1.6)
	少しはできる	22.3 (6.6)
	十分できる	48.4 (90.6)
	その他	1.2 (1.2)

読み書き	全くできない	54.1 (8.4)
	少しはできる	16.2 (7.4)
	十分できる	28.6 (83.0)
	その他	1.2 (1.2)

括弧内はポルトガル語についての数字である。会話で約半分、読み書きでは約1/4という実状で、かなり高いのではないかと考えられる。

年齢別にみると、会話が十分できるが20才から60才まで10才刻みで、10%、24%、57%、62%、89%と40才以上と未満で段落があり、読み書きでは3%、7%、16%、45%、72%と50才未満と50才以上で段落がある。性別では、男の方が10%あまり日本語が、会話・読み書きともよくできる。1、2、3世では会話は92%、56%、12%、読み書きでは82%、25%、4%がよくできるということである。1世でも読み書きは別として会話の全くできないもの1%、少しはできるというもの7%である。女より男の方がいくらか日本語の力があるように見える。

ハワイの日系人についてみると質問は違うが次の通りになる(1988)。

日本語をどの位うまくつかえるか

1 流暢に (Fluently)	14%
2 まあまあやれる (Passably)	32%
3 理解できるが話せない	26%
4 殆どできない	21%
5 全くできない	7%

一世がブラジルに多い事を考慮に入れても会話・読み書きともブラジルの方がよくできると見てよい。しかし、ハワイでもかなり、日本語ができていいるのは注目に値しよう。1971年から全体的状況は少しづつ日本語の力は落ちているが、1983年からはあまり変化はない。

ii) 手紙

手紙を書くときポルトガル語で書く方が簡単か、日本語で書く方が簡単かの質問では、日本語の方が簡単23.7%、ポルトガル語の方が簡単71%、両方とも大きな違いはない3.4%、その他2.0%となっている。ハワイの日系人では、その順に3.3%、93.3%、1.7%、1.7%となり、1世の比率を考慮に入れる（ブラジル19%、ハワイ2%）と著しい違いはない。

iii) 新聞

新聞を全く読まない、時々読む、定期購読している、とわけ、つぎに日本語、ポルトガル語をたずねてあるのでその比率をみよう。新聞を全く読まない12.8%、時々読む45.7%（日本語5.4%、ポルトガル語27.4%）、定期購読39.4%（日本語9.4%、ポルトガル語20.2%）である。

ハワイではどの位の頻度で日本語新聞を読むかの質問で、全く読まない84%、時々読む9%、定期購読5%、あとはその他DKでこれは読まない方に傾いた回答と言えよう。

iv) 暗算

暗算を日本語にするか、母国語にするかの質問で、ハワイとの対比は次のようになる（%）。この質問は語学力、日常での日本語への接近度をあらわすものと考えられる。

回 答	ブラジル	ハ ワ イ			
		1988	1983	1978	1971
日本語	19.1	2.2	4.0	6.0	2.0
ブラジル語	72.3	—	—	—	—
英語	—	92.2	95.0	91.0	96.0
混合	8.0	3.9	1.0	2.0	2.0
その他 わからない	0.6	1.7	0	1.0	0

となり、読み書きと同傾向で、1世を除外すると似た傾向となろう。年令別にみると暗算は日本語というもの20代0.5%、30代0%、40代5%、50代24%、60才以上65

%と、～49、50代、60～と2つの大きな断層が見出される。1世で72%、2世で11%、3世で1.2%となっている。

v) 日本語学校への通学年数

ブラジルとハワイの日系人の比較は次のようになる(%)。

回 答	ブラジル	ハ ワ イ			
		1988	1983	1978	1971
0	49.2	17.3	19.0	13.0	17.0
1・2年	15.9	11.7	10.0	8.0	7.0
3・4・5年	17.1	19.4	19.0	19.0	16.0
6～10年	9.6	35.0	38.0	42.0	44.0
10年以上	4.1	15.0	14.0	17.0	16.0
わからない	0	1.6	0	1.0	1.0

1世の問題があり単純に比較はできない。日本語学校へ通学という観点からはブラジルの方が少ないが、家庭での教育という点もあり、一概に結論付けるわけにはいかない。

イ. 日本の音楽やビデオ

i) 音楽

日本音楽が好きか、ブラジル音楽が好きかの質問である。同じような質問がハワイでもあるので比較しておこう(%)。

回 答	ブラジル	ハ ワ イ		
		1988	1983	1978
両方とも好き	63.5	73.9	74.0	72.0
日本音楽	17.2	3.9	6.0	3.0
ブラジル音楽	16.8			
アメリカ音楽		5.6	11.0	13.0
日本音楽きらい } どちらもきらい }	2.2	12.2	7.0	10.0
その他	0.3	4.4	2.0	2.0

この点については「両方とも好む」が多数意見として似た形が出ている。

ii) ビデオ

日本のビデオをみるかでは、いつも見ている15.5%、時々見ている45.9%、見ない38.0%、その他・わからない0.6%という形で約60%が何等かの形でみていることがわかる。

ウ. 友人関係

i) 友人関係

日本人・日系人の友人がどの位あるかの質問である。ハワイでは多少質問が異なるが同じようにまとめた(%)。

回 答	ブラジル	ハ ワ イ			
		1988	1983	1978	1971
大多数が日本人か 日系人	15.7	35.0	43.0	54.0	59.0
両方いる	65.0	60.0	52.0	28.0	37.0
大多数が非日系	15.6	2.8	4.0	14.0	3.0
日本人・日系人は いない	2.7	0.6	1.0	3.0	1.0
その他・わからない	1.0	1.7	0	1.0	0

ハワイは日系人が濃密に住んでいる関係で、ブラジルより日系人の付き合いが多くなっていることがわかる。ハワイでは大多数が日系人より両方いる方に次第に移りつつあることがわかる。

ii) 職場の同僚

同僚に日本人・日系人が多いかどうかの質問である(%)。

回 答	ブラジル	ハワイ
		1988
大多数が日本人か 日系人	5.6	12.8
両方いる	17.6	47.2
大多数が非日系	18.0	16.1
日本人・日系人は いない	18.2	3.3
その他・わからない	40.6	20.5

非該当者がいるために差が出ており、その他・わからないを除外して比率を出してみると、次のようになる。

回 答	ブラジル	ハワイ
		1988
大多数が日本人か 日系人	9.4	16.1
両方いる	29.6	59.4
大多数が非日系	30.3	20.3
全くいない	30.7	4.2

日系人の多くいるハワイとの差が見られる。

エ. 日系団体への加入

世帯としての日系人団体加入は35.9%、個人としての日系団体加入は10.4%となっている。

オ．日本との交流

日本へ行ったことのあるもの15%、ないもの85%である。行った理由で多いのは観光（6%）、親戚訪問（6%）が主なものである。

行きたいものは逆に86%ある。その理由は、観光45%、親戚訪問16%、留学5%出張2%、出稼ぎ14%、その他4%となっている。出稼ぎが現状は、やや多い程度の14%というのは、現在の出稼ぎとあわせ約25%となるが、これが限度を意味するのか、あるいは出稼ぎでなく日本へ行きたいということなのか、このままでは何とも言えないが注目してよい数字であろう。

第2章 質問別にみたブラジル日系人の意識

一般的な立場から質問群を分類して、その各領域別に各質問の回答を示し、全貌を述べていくことにする。

この時、日本、ハワイの日系人、アメリカ人との比較をしつつ分析を行うこととする。

I 一般的事象に対する社会的態度

- 質問20 生活に満足か
- 8 健康に満足か
- 19 生活諸領域の重要性
- 16 暮らし方
- 9 将来への希望
- 10 諸種の不安感

II 仕事観

- 質問13 一生働くか
- 14 お金と仕事
- 15 就職の条件

III 身近な社会事象

(i) 一般的なこと

- 質問F7 「もったいない」感
- 22 金は大切なものの一つと教える
- 23 自由か規律か
- 25 しきたりに従うか

(ii) 人間関係

- 質問17 アリとキリギリス
- 30 先生が悪いことをした
- 31 故郷と会議：恩人がキトクするとき
- 32 故郷と会議：親がキトクするとき
- 35 大切な道徳
- 36 好ましい友人
- 37 スジかまるるか
- 38 入社試験：1番と親戚
- 39 “ ”：1番と恩人の子
- 40 めんどうをみる課長

(iii) 信頼感

- 質問41 他人のためか自分のためか
- 42 スキがあれば利用されるか
- 43 人は信頼できるか

IV 家庭

- 質問27 家庭は唯一のくつろげる場所か
28 離婚
29 女の仕事

V 先祖・家

- 質問11 先祖を尊ぶか
12 他人の子供を養子にするか

VI 宗教

- 質問48 宗教を信じるか
49 「宗教的な心」は大切か
50 宗教の説く事は同じか

VII 科学文明観

- 質問21 人間らしさはへるか
26 心の豊かさはへらないか
33 自然と人間との関係
44 コンピュータ化
45 環境保護

VIII 政治的態度

- 質問24 政治家にまかせるか
34 国と個人の幸福
51 主義はよいか
52 国家目標

IX 自由回答

なお、一般的な回答の比較については、諸グループの回答分布比較表（付録2）を、自由回答の回答については付録3を参照されたい。さらに、J Bの性別、年令別、世代別、日本人スケール（後述）別の回答分布表は付録4にのせてある。

1. 一般的事象に対する社会的態度…… I

以下の節も同様であるが、まず質問を示しその後で比較のデータのあるものについては

J 日本 (1988)

J B ブラジル日系人 (1992)

J A₄ ハワイの日系人 (1988)

A アメリカ本土のアメリカ人 (1988)

のグラフを示してある。J Bは×印をつけ見易くしてある。本文の記述も簡略化のため、J, J B, J A (J A₄の4を落とす), Aを用いることにする。

J Aを用いたのは、J BとJ Aの比較のためであり、Aを入れたのは、J AとAとの比較の文脈において、J Bとの比較を考えたからである。このほか、フランスとの比較を随時交えたが、これはラテン系ということであり、他にラテン系のグループの調査がないため仮に用いたものである。表に出すにはあまりにも比較連鎖というものには遠いので文中で論ずるにとどめる。

問20 あなたの生活についてお伺いします。一口にいったあなたは今の生活に満足していますか。

1. 満足している

5. 満足していない (不満)

2. 少しは満足している

6. その他 (記入)

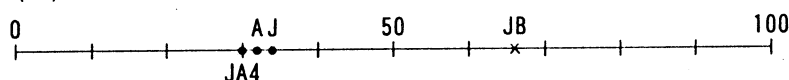
3. どちらともいえない

7. わからない

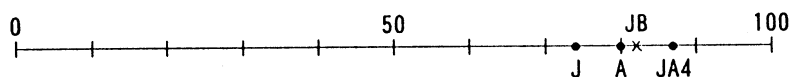
4. 少し不満である

Q20 満足

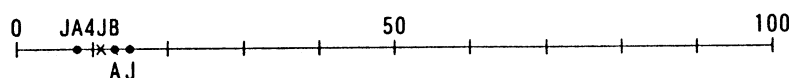
<1>



<1 + 2>



Q20 どちらともいえない



J Bは満足感が高く、日本はやや低目の傾向にある。特に、非常に満足という極端な表現がJ Bに極端に多いのは注目される。満足していると非常に満足を加えるとJ A、J B、Aは近くなり、Jはやや離れている。J AとJ Bとをくらべると同じ位の数字になるが、極端な表現はJ Bの方に多い。

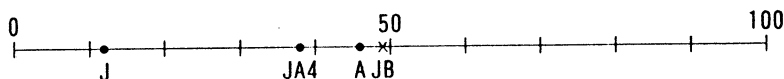
これを年齢別にみると高年齢ほど満足度の高いのはJと同様であるが、非常にという表現も高年齢層ほど高く、60才以上で83%にのぼる。非常に満足 (括弧内はこれに満足を加えたもの) を1世、2世、3世の順にみると71%、74%、43%、非常に満足と満足を加えると90%、89%、と1、2世に差はなく3世で64%となる。世代より年齢の要因の方が優勢である。男女差は大きくはない。

問8 あなたと同じ年の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか。

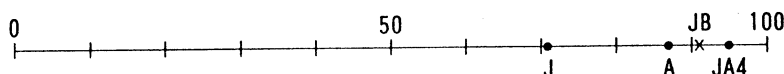
- | | | |
|---------------|------------|--|
| 1. 非常に満足している | 4. 満足していない | |
| 2. 満足している | 5. その他（記入） | |
| 3. あまり満足していない | 6. わからない | |

Q 8

〈1〉非常に満足している

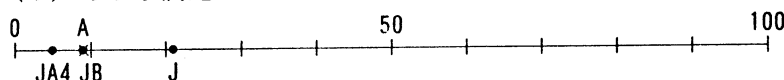


〈1 + 2〉

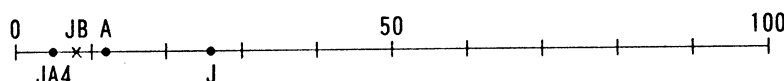


Q 8

〈3〉あまり満足していない



〈3 + 4〉



非常に満足はJ BとAが近く、日本は低い。満足を加えると差はちぢまるが、日本は低目である。J BとJ Aは同じ位になるが、J Aに比べてJ Bは極端な表現が多いのは興味深い。

年令別にみると、非常に満足が20代～60以上で28%、42%、60%、59%、54%と高年令層に高いという傾向は注目される。ただ、非常に満足と満足を加えると97%、90%、90%、93%、84%となり差は縮まり、60才以上がやや低い。あとは同じになる。1、2、3世別にみると、61%、52%、36%が非常に満足、これに満足を加えると89%、92%、92%と差はなくなる。

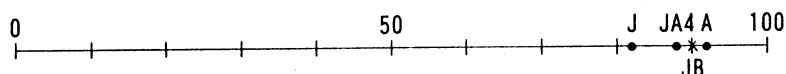
問19 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って

1～7の評価をつけてください。

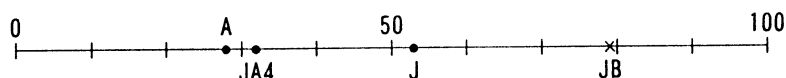
	で重 は な い 要					重 わ か ら な い 要				
a. まず、「家族や子供」についてはどうですか	1	2	3	4	5	6	7	0		
b. では、「職業や仕事」についてはどうですか	1	2	3	4	5	6	7	0		
c. では、「自由になる時間とくつろぎ」については	1	2	3	4	5	6	7	0		
d. では、「友人・知人」については	1	2	3	4	5	6	7	0		
e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」については	1	2	3	4	5	6	7	0		
f. では、「宗教」については	1	2	3	4	5	6	7	0		
g. では、「政治」については	1	2	3	5	4	6	7	0		

重要度の7についてのみ比較表を示す。

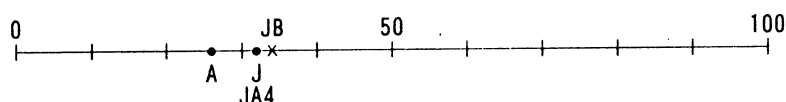
Q19 a 重要



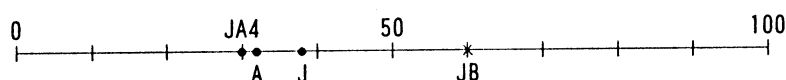
Q19 b 重要



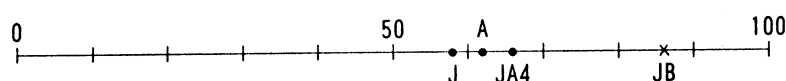
Q19 c 重要



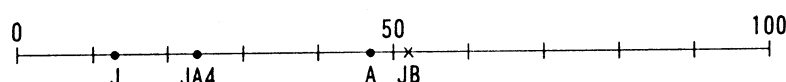
Q19 d 重要



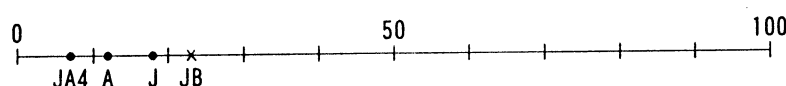
Q19 e 重要



Q19 f 重要



Q19 g 重要



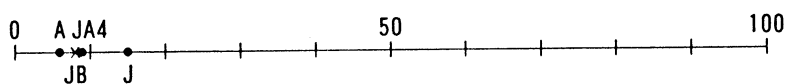
a, c項目であまり差はないが、あとはJBは重要という意見がずい分多い。宗教ではAと近いが、一般的に言って、重要という極端な反応を示すものが多いことがよみとれる。JBで特に多いのは、a, b, eであり、ついでdである。政治より宗教を大事とするのはJB、A、JAでJは同じ位で低い。

JAはJよりAの方により近いと言う形がよみとれる。JBは必ずしもJに近くはない。年齢別については、特に言うことはなく、付録の表を参照されたい。世代についてみると、差のやや大きいものはc, d, fで、a, b, e, gでは差はないか少ないかである。

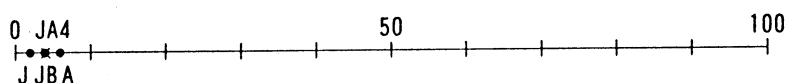
問16 人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つぎにあげるもののうちで、どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか。

1. 一生けんめい働き、金持ちになること
2. まじめに勉強して、名をあげること
3. 金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をすること
4. その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
5. 世の中の正しくないことを押しのけて、どこまでも清く正しくくらすこと
6. 自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを捧げてくらすこと
7. その他（記入）
8. わからない

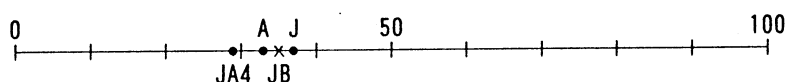
Q16 金持ちになる



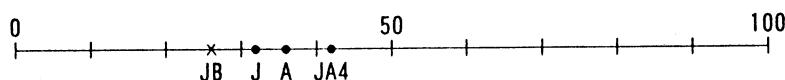
Q16 名をあげる



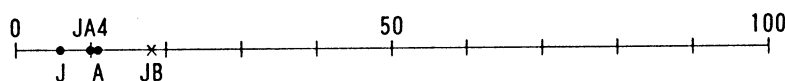
Q16 趣味にあった生活



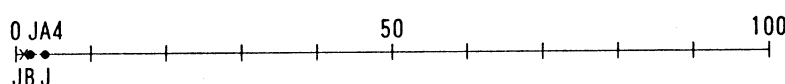
Q16 のんきに



Q16 清く正しく



Q16 社会につくす



各国とも大きな違いはなく、趣味にあったくらし（J B 36%）、のんきにくらす（J B 26%、J A は 43% で最も多い）が多く、社会につくすは最も少ない。清く正しくが J B で 19% あるのは注目される。清く正しくは高年令層に高い傾向がみられる。世代別に著しい差はないが、傾向的には 3 世に金持ち、趣味にあったくらしがやや多く、のんきには 2 世、清く正しくは 1 世にやや多くみられると言う程度である。

問9 自分自身が将来について期待や希望を持っていることがあると思います。あなたは、次のようなことについてどの程度の期待や希望を持っていますか。

1. 非常に希望を持つ 2. かなり希望を持つ 3. 少し希望を持つ
4. 全く希望を持たない 5. その他 6. わからない 7. 非該当

a. 社会的・経済的成功	1	2	3	4	5	6	7
b. 結婚や家庭生活	1	2	3	4	5	6	7
c. 子供の将来	1	2	3	4	5	6	7
d. 世の中がよくなる	1	2	3	4	5	6	7
e. 国の政治・経済	1	2	3	4	5	6	7
f. 世界の平和	1	2	3	4	5	6	7
g. 地球環境の保全	1	2	3	4	5	6	7

質問は、いわば修身、齐家、治国、平天下という順で次第に大きな問題にしての希望をたずねてある。この質問はJBに対してのみ行われている。

領域	非常に希望を持つ	順位	非常に+かなり希望を持つ	順位
a	4 8	3	7 5	3
b	5 4	2	7 8	2
c	6 3	1	8 0	1
d	4 2	5	7 1	4
e	2 3	7	4 9	7
f	4 3	4	6 7	5
g	3 6	6	6 0	6

全体的に全く希望を持たないというのは最高13% (e. 国の政治・経済) で、全体的に明るい見通しとみてよい。

明るい希望の多いのは、個人的なこと (c, b, a) であり、次が世の中、世界の平和 (d, f)、次が地球環境 (g)、最後が国のこと (e) になっている。

年令別にみると、a, bでは若い方が多い傾向にあり、c, fでは年令の中位の所が多く山形となるが、d, e, fでは高年令層ほど非常に希望を持つものが多い傾向が出ている。

問10 ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることがあります。

あなたは次のような危険について不安を感じることがありますか。

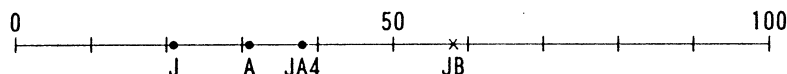
1. 非常に感じる 2. かなり感じる 3. 少しは感じる
4. 全く感じない 5. わからない 6. その他 7. わからない

a. まず、「重い病気」の不安はどの程度でしょうか	1	2	3	4	5	6	7
b. では、「交通事故」についてはどうでしょうか	1	2	3	4	5	6	7
c. では、「失業」についてはどうでしょうか	1	2	3	4	5	6	7

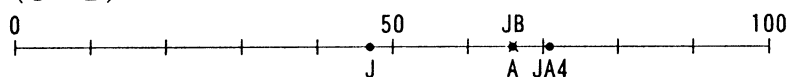
- d. では、「戦争」についてはどうでしょうか 1 2 3 4 5 6 7
- e. では、「原子力施設の事故」についてはどうでしょうか 1 2 3 4 5 6 7
- 話題は変わりますが、次のことはどうですか。
- f. まず、「おどし・暴力」についてはどうでしょうか 1 2 3 4 5 6 7
- g. では、「麻薬」についてはどうでしょうか 1 2 3 4 5 6 7
- h. では、「環境問題」についてはどうでしょうか 1 2 3 4 5 6 7
- i. では、「国の政治や経済」についてはどうでしょうか 1 2 3 4 5 6 7

a, b, c, d, eまでは国際比較のデータがある。

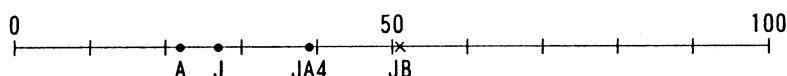
Q10 非常に感じる 病気



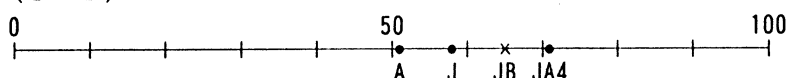
<1 + 2>



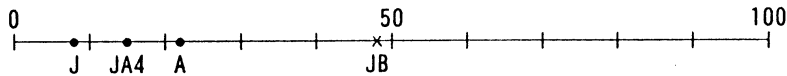
Q10 非常に感じる 交通事故



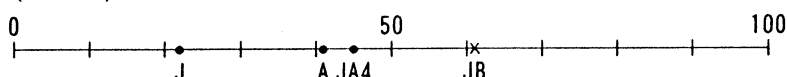
<1 + 2>



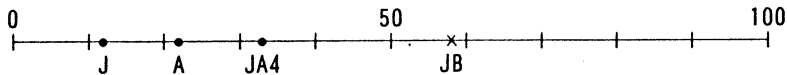
Q10 非常に感じる 失業



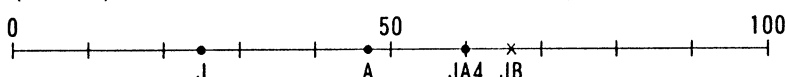
<1 + 2>



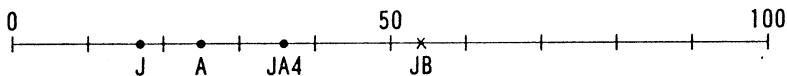
Q10 非常に感じる 戦争



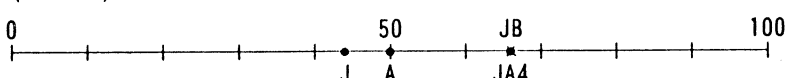
<1 + 2>



Q10 非常に感じる 原子力の事故



<1 + 2>



まず非常に感じるをみると、常に J B が飛びぬけて大きい数字を示しており、非常にとかなりを加えると、差は縮まる。一般的に言って日系人 (J B、J A) は A、J にくらべて不安を感じるようであり、特に J B は非常に感じる」と表明しているのである。日本は不安感が少ないと言ってよい。少しは感じるというのをみると、日本が多い傾向にある。これをまとめて、どの国が領域別で不安が多いかを順位の形でまとめてみると次のようになる。

	J	J B	J A	A
a	4	1	2	3
b	3	1	2	4
c	4	1	3	2
d	4	1	2	3
e	4	1	2	3
順位の計	19	5	11	15

J B、J A、A、J の順となり、上述したことが一層はっきり示される。

不安の多い順位を国別にまとめてみると次の表のようになる。

	J	J B	J A	A
a	2	1	1	1
b	1	4	1	3
c	5	5	5	3
d	4	1	4	3
e	3	3	1	2

これは国別の相対的評価で、重い病気はどこの国でもトップにある。失業はどこの国でも不安の順位の少ない方であるが、交通事故、戦争、原子力発電の不安はバラつくことがわかる。J と J A では失業と戦争、J B では交通事故と失業が少なく、A では交通事故、失業、戦争が少ない。戦争をみると、戦争を行いうる A が少なく、行い得ない J B が多いのは注目される。

世代別に不安を非常に感じる順をみると次のようになる。

	1 世	2 世	3 世
a	3	2	1
b	2	1	2
c	3	1	2
d	2	1	2
e	2	1	1

1 世は不安を感じるのが少なく、2 世に多い傾向にみえる。

ブラジルの方の調査のある f, g, h, i を加えて、「非常に不安を感じる」の多い順にまとめてみると、

1. f 76.7%
2. g 67.3%
3. d 56.5%
4. i 56.2%

- 5. a 56.0%
- 6. e 53.8%
- 7. f 50.7%
- 8. h 48.3%
- 8. c 48.0%

となり、新しく加わった「おどし・暴力」「麻薬」「国の政治や経済」が上位に入りこみ、とくに前2者 f と g とは、国際比較の項目に対する不安よりかなり多いことが注目される。

新たに付け加わった項目に関し、世代別に非常に不安を感じるのをみると次のようにまとめられる。

	1 世	2 世	3 世
f	3	1	2
g	3	1	2
h	2	1	2
i	3	1	2

傾向的にみると、2世に不安が最も多く、1世に少ない傾向がある。

こうした意味で、ブラジルの中では相対的に1世はよりオプティミスティックで2世がよりペシミスティックな傾向にあると言えそうである。

〔IにおけるJBのまとめ〕

生活、健康に対する満足度が高く、生活領域の重要性でも最も高い重要度を表明するものが多く、また、不安でも非常に感じるものが多い。これは一見矛盾するように思われるが、一つの見方に立てば、「質問されたことに対して極端なものに過度に反応する傾向が強い」のではないかと、つまり、少なくともポルトガル語で調査される場合、大げさな（過度な）反応を示すものが多いのではないかと、言う仮説を見出すことができそうである。さらにまた、将来の希望においても明るい希望を表明するものが多くあるということも一つの傾向ではないかと思われる。くらし方（生きがい）については、各国とも特色はそれほど見出されない。

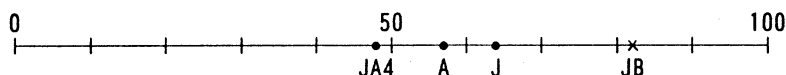
なお、不安を非常に感じるのはフランスと似ているが、生活満足はJBが高く明るい感じである点はフランスと異なっている。

2. 仕事観……Ⅱ

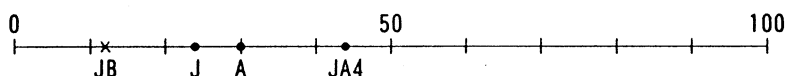
問13 もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか。

1. ずっと働く
2. 働くのをやめる
3. その他（記入）
4. わからない

Q13 ずっと働く



Q13 働くのをやめる

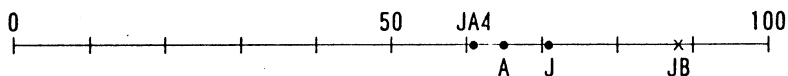


ブラジル日系人はずっと働くのが日本よりはるかに多い。日本も多い方であるが、それよりもJBが多いのは注目される。JAは一番少ない。年齢別にみると50才台までずっと働くが極めて多いのである。20代から10才刻みで60才以上まで94%、84%、90%、86%、63%となっている。働くのをやめないものは1世で72%、2世で83%、3世で90%ある。働くのをやめるものは1世で24%、2世で11%、3世で7%である。年齢の問題、世代の問題ともに利いているようである。

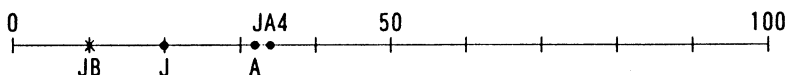
問14 仕事について、次の2つの意見があります。どちらがあなたの意見に近いですか

1. いくらお金があっても、仕事がなければ、人生はつまらない
2. お金があれば、仕事がなくても、人生がつまらないとは思わない
3. わからない

Q14 仕事がなければつまらない



Q14 仕事がなくともよい



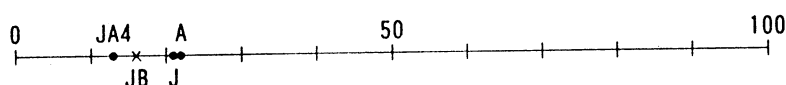
前問同様仕事志向の傾向がJBに多く、次がJ、JAはAと共に少ない。年齢別にみても若い方に仕事志向が少ないわけではなく、20代から順に88%、95%、92%、89%、76%となり、60才以上を除けば90%近い仕事志向が出ている。

問15 ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。

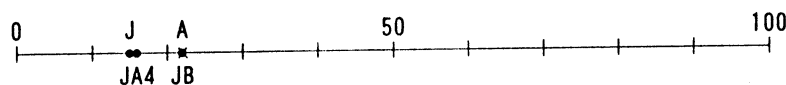
あなたは、どれに一番関心がありますか。

1. お金のことを気にしないですむ程よい給料
2. 倒産や失業の恐れがない仕事
3. 気の合った人たちと働くこと
4. やりとげたという感じがもてる仕事
5. その他（記入）
6. わからない

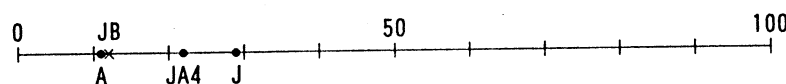
Q15 よい給料



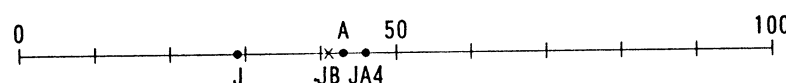
Q15 倒産・失業なし



Q15 気の合う仲間と



Q15 やりがいのある仕事



J Bも特に異なった傾向を示していない。Jの特色は、気の合う仲間と働きたいというものが多く、J Aはこれに次ぐが、J BはAに近いのである。世代別にみても、気の合う仲間は1世で15%、2世で15%、3世で7%となって、1世でも多くはない。世代別に、やりとげたという感じのある仕事は、1世で30%、2世で35%、3世で55%となっている。これはJ A、Aとも近くJは少ない。

〔IIにおけるJ Bのまとめ〕

仕事志向が他のグループにくらべてより多く、仕事志向の強い日本よりもさらに多い。しかし就職の条件では日本と異なり、気の合う仲間と働くというのはAと共に少ない。前にフランスについて言及したが、仕事志向の弱いフランスと大いに異なっている。

3. 身近な社会事象……Ⅲの(i) 一般的なこと

「もったいない」感

質問はF7にある。「もったいない」という感じ方は昔の日本ではよく言われた（教えられた）ものである。今日でこそういう感じは少なくなったが、日本人の心の底のどこかであるのかも知れない。残念ながら日本での調査はない。

食べ切れなかった食べ物を捨てたり、また使える物を捨てたりした時に、「もったいない」と感じるか？

たびたび感じる	70.0%
ときどき感じる	25.6%
まったく感じない	4.1%
その他・わからない	0.3%

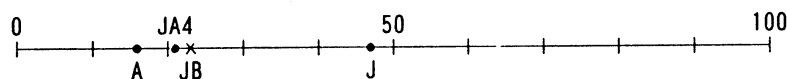
今日のブラジル日系人はこの感じがかなり強く残っているものと考えられる。おそらく日本では、「使い捨て」文化にとりかこまれているために、高年令層のものを除き、遥かに少ないのではないと思われる。JBでも20才台から10才刻みで60才以上までみると50%、57%、78%、80%、85%と年令と共に上昇するが、特に40才以上で大きく異なるのが興味深い。

1世で88%、2世で76%であるが、3世となると50%と落差が大きい。男女別には全く差がない（ともに70%前後）。

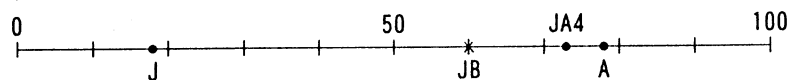
問22 小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります
「小さいときから、お金は人にとって、最も大切なものの1つだと教えるのがよい」というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

1. 賛成
2. 反対
3. いちがいにはいえない
4. その他（記入 _____）
5. わからない

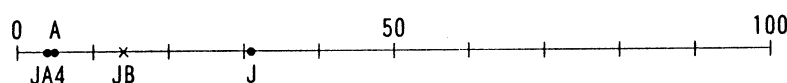
Q22 賛成



Q22 反対



Q22 いちがいにはいえない



Jは賛成といちがいにいえないが多いが、JBはJAと似ている。JAはAに近く日本と異なっている。

年令別にみると、賛成は50才以上に多い。世代別には、賛成は1世33%、2世24%、3世15%（反対は34%、64%、70%）となっている。1世は日本とJB一般との中間となっている。性別には全く差がない。

問23 それでは、やはり小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、小さいときから、自由の尊さを教えるのと、規律の尊さを教えるのとでは、どちらが大切だと思いますか。

1. 自由の尊さを教える
2. 規律の尊さを教える
3. その他（記入）
4. わからない

この質問はハワイでは1971、日本では1953、1968、1973にあるので比較しておこう（%）。

	自由	規律	その他	わからない
JB	21	69	10	0
JA ₁	14	70	14	2
J53	16	63	15	6
J68	20	68	7	5
J73	22	66	7	5

とりあげた諸グループの間に著しい差は見られない。但し、日本、ハワイのデータは古いものしかなく、今日の状況は不明である。JBは年令別にも大きな差はない。

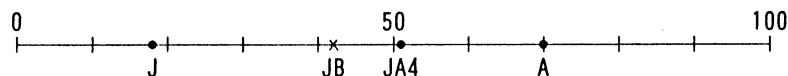
世代別には、自由は23%、25%、14%と3世に必ずしも多くなく、規律は73%、67%、70%とあまり差はない。

性別では男に自由が多く（31%、女10%）、規律は男63%、女77%とやや多い。

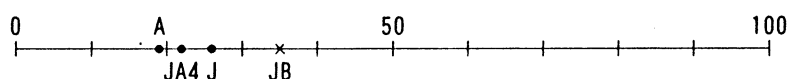
問25 あなたは、自分が正しいと思えば世間の慣習に反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間の慣習に、従った方がまちがいないと思いますか。

1. おし通せ
2. 従え
3. 場合による
4. その他（記入）
5. わからない

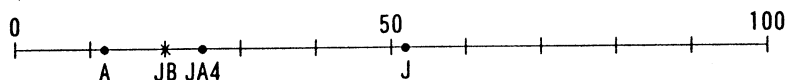
Q25 おし通せ



Q25 従う



Q25 場合による



J Bは、おし通せの低い点、従えの多い点はJ寄りの傾向であるが、場合によるではJ Aに近く日本よりずっと少ない。J Bでもおし通せは従うよりも多い目である。年令別におし通せをみると20代から60才以上10才刻みで75%、49%、55%、21%、15%と50才以上で大きく異なっている。従うでは逆に16%、30%、27%、55%、48%となり50才以上では従うがおし通せより大きくなる。前の問題を含め50才前後に断層があるのではないかと思われる。

おし通せは1、2、3世の順に19%、39%、43%と増大し、従うは34%、43%、35%となっている。時と場合によるは40%、17%、20%であり、中間的回答は1世に多く日本型を示している。

おし通せは男で40%、女で46%、従うは男36%、女35%と大きな差はない。

フランスとの関係を見ると、フランスはおし通せが他の国より多く75%あり、J Bと大いに異なる傾向がある。

4. 身近な社会事象……Ⅲの(ii) 人間関係

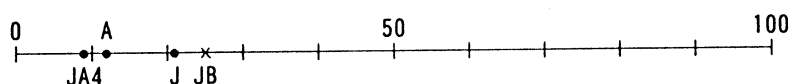
問17 イソップの童話の中に、怠け者のキリギリスと、働き者のアリの話があります。夏の間歌をうたっていたキリギリスが、冬になって、食べる物がなくなり困ってしまい、夏の間働いていたアリのところにやって来ました。この時のアリの答えには次のような2つの型があります。

あなたは、このお話のむすびとして、この中のどちらがご自分の気持ちにしくりますか。

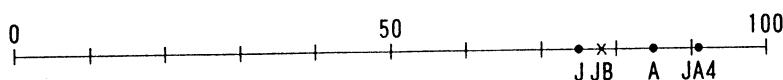
1. 夏の間怠けていたのだから、困るのが当然だといって追い返してしまう
2. 怠けていたのはいけないけれども、これからはちゃんと働くのですよ、といさめた上で、食べ物进行けてあげる
3. その他(記入)
4. わからない

この質問が人間関係の質問であるか否かは問題のある点であるが一このことは後述の分析により詳しく論じられる一、日本においては、人間関係の一つの変形と見られているので、上述の注意のもとで、日本語の報告書ではここに入れておく。

問17 追いかえす



問17 食べものを分けてやる



各グループとも大きな違いはなく、食べ物を与えていさめるが大きな比率で支持されているが、比較的にはJBはJに近くJAにはより遠くなる。年令別にみるとカップ形、釣鐘形で、若い方と高年令層に追いかえす回答が多く、食物を与えるのは30～49才の中年令層に多い。若い方と高年令層の「追いかえす」意味が、あるいは異なっているのではないかと予想される（但し、このデータ分析だけでは明確ではない）。

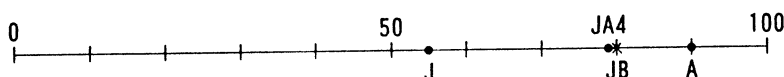
追いかえすは、1世、2世、3世の順に21%、21%、18%と差はなく、食べ物を与えていさめるも78%、76%、81%と差はない。

性別にも大きな差はない（追いかえす男18%、女22%で差は大きくはない）。

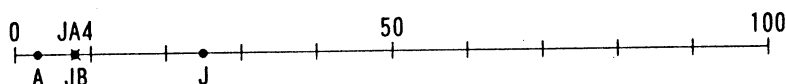
問30 「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、親はそれが本当であることを知っている場合、子供には、
「そんなことはない」といった方がよいと思いますか、それとも
「それはほうとうだ」といった方がよいと思いますか。

1. ほうとうだという
2. そんなことはないという
3. その他
4. わからない

Q30 真実をいう



Q30 そんなことはないという



日本のみ異なり、JBとJAは近く、Aは日本の対極にある。JBでは60才以上のみ、そんなことはないが17%とやや高い程度である。

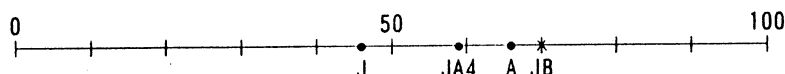
否定するは1世で15%、2、3世で6%、5%で1世にやや日本的傾向はあるものの大きな差ではない。性別にも差はないと言ってよい。

問31 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受け取ったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。あなた

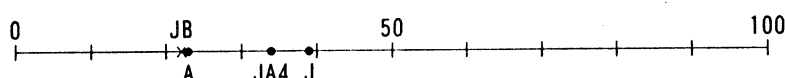
はつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を1つだけえらんで下さい。

1. 何をおいても、すぐに故郷に帰る
2. 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
3. その他（記入）
4. わからない

Q31 すぐ故郷へ帰る



Q31 大事な会議に出席する

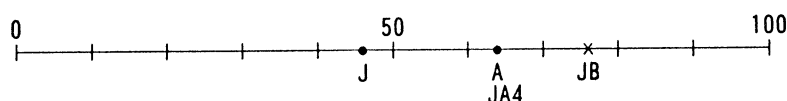


J BはAに近く、J AはややJ寄りである。年齢別に一定の傾向はない。世代別には、すぐ故郷へ帰るが52%、71%、77%となり、1世がむしろ低目である。

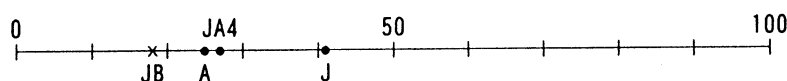
問32 いまの質問では、恩人が死にそうなときを、うかがいましたが、もしキトクなのが恩人ではなくて、南山さんの親だったら、どうしたらよいと思いますか。どちらかえらんで下さい。

1. なにをおいても、すぐに故郷に帰る
2. 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
3. その他（記入）
4. わからない

Q32 すぐ故郷に帰る



Q32 大事な会議に出席する



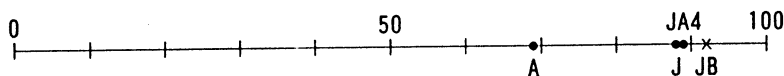
J Bは故郷へ帰るが多い。日本のみ他のグループと異なっている。年齢別に差はない。世代別にも前問と同傾向である。

問35 つぎのうち、大切なものを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか。

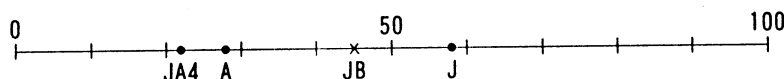
- a. 親孝行、親に対する愛情と尊敬
- b. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する

- c. 個人の権利を尊重すること
- d. 個人の自由を尊重すること
- e. その他（記入）

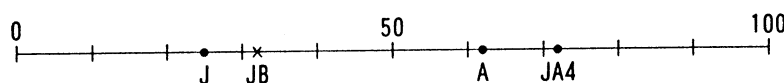
Q35 親孝行



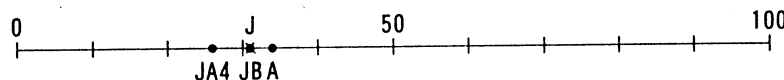
Q35 恩返し



Q35 権利尊重



Q35 自由尊重



親孝行は J B、J A、J が近く、A は離れる。

恩返しは J A と A は近くて低く、J B は J 寄りが高い方になる。

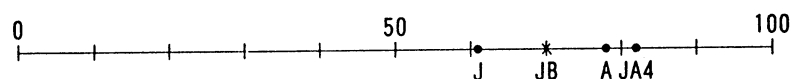
権利尊重は、J A が A に近く高い。J B は J に近く低い。

自由尊重は、各グループとも差はない。J は J B に傾向的に近い形が出ていると言ってよい。

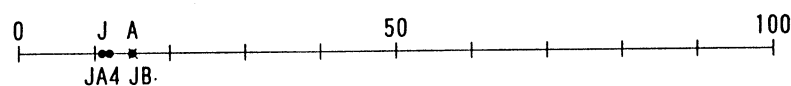
問36 つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか。

1. 他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事はあまりできない人
2. 仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人
3. その他（記入）
4. わからない

Q36 他人との仲がよく



Q36 仕事

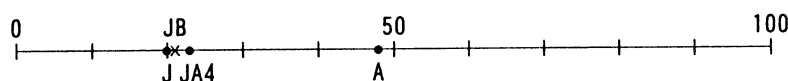


各グループとも1のタイプの人が好ましいとされることに違いはないが、JBはJ寄り、JAはA寄りとなっている。2のタイプが好ましい人という人は少なく各グループとも差はない。

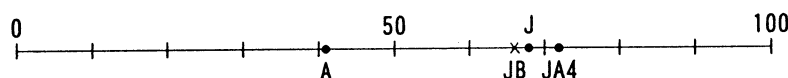
問37 物事を決定する時に「一定の原則に従うこと」に重点をおく人と、「他人との調和をはかること」に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな“ひとがら”ですか。

1. 物事を決定するときに一定の原則に従うことに重点をおく人
2. 物事を決定するときに他人との調和をはかることに重点をおく人
3. その他（記入）
4. わからない

Q37 スジを通す



Q37 まるく



Aのみ異なって1のひとがらが好まれ、JB、JA、Jは2のひとがらが好まれ、その差がないのは興味深い。

年齢別をみても、2のひとがらの支持は、20代から60才以上まで10才刻みで62%、75%、77%、59%、63%となり（1のひとがらは24%、12%、18%、25%、27%）、釣鐘形（カップ形）である点は注目してよい。この傾向は、問17のイソップ物語の時と同様で、若い方と高年齢層にともに厳しい姿勢が見られている。

世代別には2のひとがらの人は、1世75%、2世61%、3世72%となり、2世に厳しい姿勢がやや多い傾向が見える。

性別では女の方がやや厳しい傾向がある（1のタイプ男17%、女27%、2のタイプ男72%、女61%である）。

問38 あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を1人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、

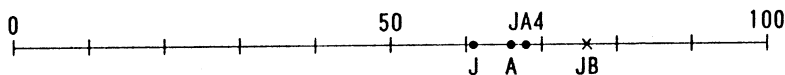
「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」と社長のあなたに報告しました。

あなたはどちらをとれ（採用しろ）といえますか。

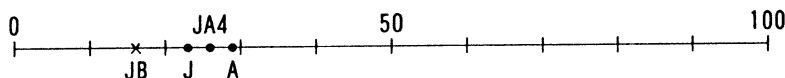
1. 1番の人を採用するようにいう
2. 親戚を採用するようにいう
3. その他（記入）

4. わからない

Q38 一番の人



Q38 親戚

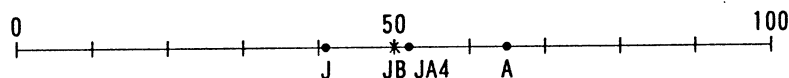


J Bは一番の人の採用が多く、親戚が少なく、厳しい態度が出ている。J AとAとは近い。年令別にみると、1番の人が59%、75%、86%、85%、74%と中高であり、親戚の方は23%、15%、5%、15%、23%と少数意見ではあるがカップ形となっている。前に述べた厳しい姿勢の傾向が多数意見は同一でも私情を重んずる傾向と一致しているのは注目してよい。

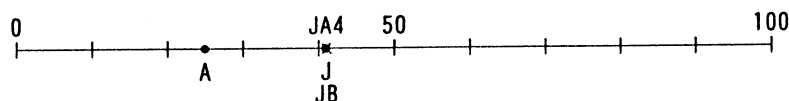
問39 それでは、この場合2番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたが昔世話になった人の子供だったとしたら、あなたはどうしますか。（どちらをとれといえますか）

1. 1番の人を採用するようという
2. 昔世話になった人の子供を採用するようという
3. その他（記入
4. わからない

Q39 一番の人



Q39 恩人の子供

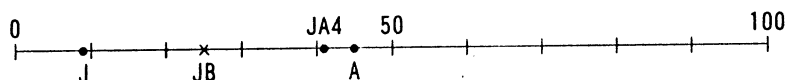


Aは異なるがJ B、J A、Jは近い傾向にある。一番と恩人の子ではAが一番が多いが、J、J A、J Bでは一番と恩人との差は小さくなっている。恩人の子の採用を年令別にみると41%、39%、35%、48%、49%と50才以上に境があり、60才以上では1番の人より恩人の子の方がやや多目になる。この場合はカップ形で、私情を重んずる回答はカップ形になっている。

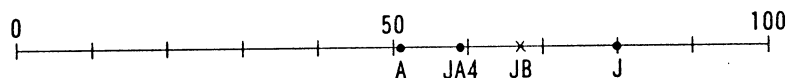
世代別にみると、恩人の子の方は38%、47%、38%という形で、1世はこの場合日本人型ではない。性別には差はない。

- 問40 ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長に使われる方がよいと思いますか。どちらか1つあげて下さい。
1. 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことは面倒を見ません。
 2. 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもあります。仕事以外でも人の面倒をよく見ます。
 3. その他（記入）
 4. わからない

Q40 仕事のみ

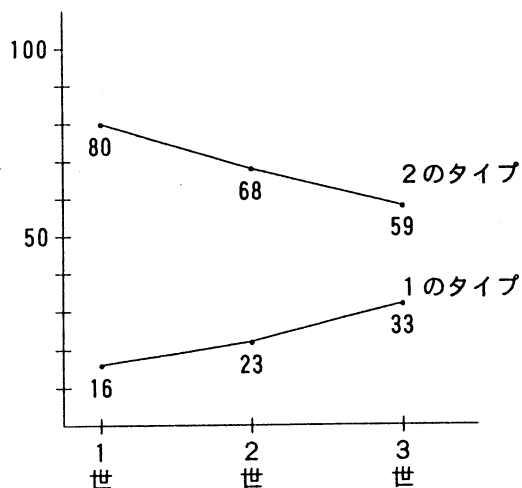
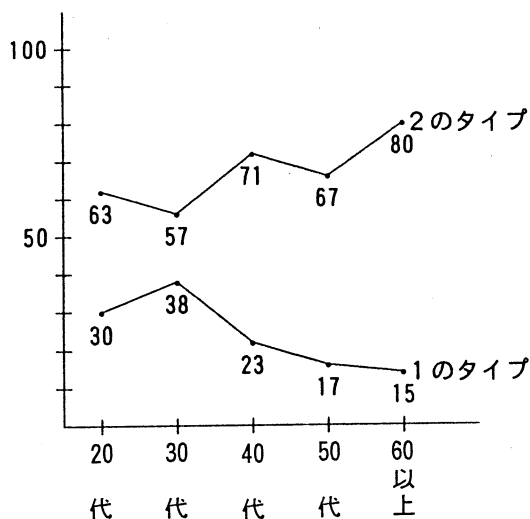


Q40 仕事以外も面倒を見る



この質問は2のタイプが日本で圧倒的にこのまれ続いている特色あるものである。J、JB、JA、Aの順である。JAは日本寄りでAに近く、JBは日本寄りでJに近いのである。

年齢別にみると高年齢の方に2タイプの好みが多く、1のタイプは40才未満に多い。60才以上だと日本のデータに近くなる。世代別にみると下の表のようになり、傾向的なものが見られ、1世は日本型である。



3世はJA型に近い。

なお、性別の間には全く差がない。

〔人間関係におけるJBのまとめ〕

JBはJと近い関係にあって、それを重んずる方とみてよい。JAもJ寄りであるが、JBの方がより日本寄りである。

また、タテマエを重んずることと私情を重んずることが呼応する屈折した心情が—おそらく日本の昔気質におけるように—あらわれているところが見受けられるように思われる。このことについては後に分析されることになる。

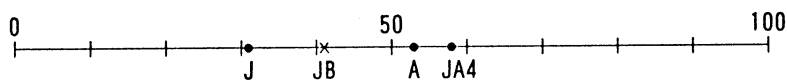
5. 身近な社会事象……Ⅲの (iii) 信頼感

これからの3問は、アメリカのミシガン大学のISRの調査で用いられている人間の信頼感に対する質問で、アメリカの特色をよくあらわしているものであることが過去のデータ分析で示されている。アメリカでは、信頼感が高く表明されているのである。

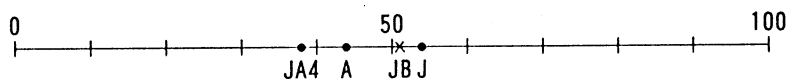
問41 たいていの人は、他人の役にたとうとしていると思いますか、それとも自分のことだけ考えていると思いますか。

1. 他人の役にたとうとしている
2. 自分のことだけ考えている
3. その他（記入）
4. わからない

Q41 他人の役にたつ



Q41 自分のことだけ考える

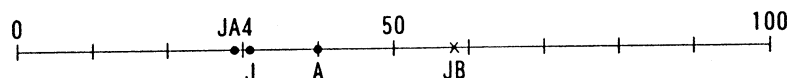


JBとJ、JAとAとが近く、他人の役に立とうとしていることは前者に少なく後者に多い。他人の役に立とうとしているのは世代別に39%、51%、28%、と2世に多いが、自分のことだけは41%、43%、67%と3世に不信感が強い。

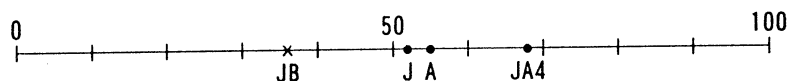
問42 他人は、機会があれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなことはないと思いますか。

1. 他人は機会があれば利用しようとしていると思う
2. そんなことはないと思う
3. その他（記入）
4. わからない

Q42 機会があれば利用



Q42 そんなことはない

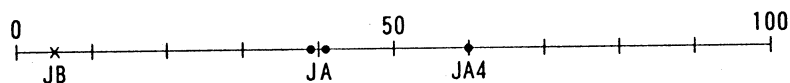


J Bは不信感が強く、日本はJ Aと共に低い。年令が高くなるにつれて、そんなことはないというのが多くなる傾向が出ている。利用されるは若い方に多い。利用の方は、世代別にみると1世44%、2世52%、3世75%と3世に不信感が強い。1世ではそんなことはないが多数意見で、日本型であるが、2世、3世となると不信感が増大し、特に3世に著しい。

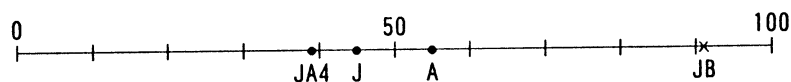
問43 たいていの人は信頼できると思いますか、それとも、常に用心した方がよいと思いますか。

1. 信頼できると思う
2. 常に用心した方がよい
3. その他（記入）
4. わからない

Q43 信頼できる



Q43 信頼できない



J Bは他のグループにくらべ極めて不信感が強い。J Aは最も信頼感が高く、JとAとは近い。日系人がハワイとブラジルで両極にある形になっている。年令による大きな差はない。1世、2世、3世とも信頼ができないが多いが1世ではやや少ない（80%）

〔人間の信頼感に対するJ Bのまとめ〕

J Bは人間に対する信頼感が他のグループにくらべて低いと言うことができる。日系人でもJ AとJ Bとは非常に異なっている点は注意すべきところである。とくに3世に不信感が強い点は注目される。男にくらべ女にやや不信感が強い。

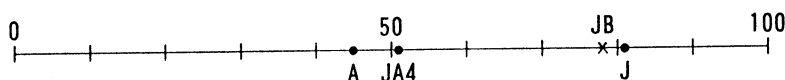
6. 家庭……IV

問27 つぎのような考え方があります。

「家庭は、ここちよく、くつろげる、ただ1つの場所である」
 というのですが、あなたはそう思いますか、そうは思いませんか。

1. そう思う
2. そうは思わない
3. その他（記入）
4. わからない

Q27 そう思う

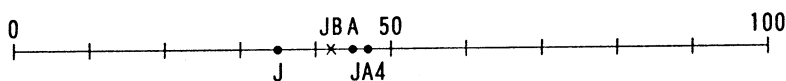


JとJBは近く、家庭をそう感じている。AとJAは近い。

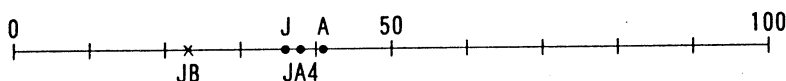
問28 つぎの3つの意見の中で、どれが一番あなたの意見に近いですか。

1. 離婚はすべきではない
2. ひどい場合には、いつ離婚してもよい
3. 二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい
4. その他（記入）
5. わからない

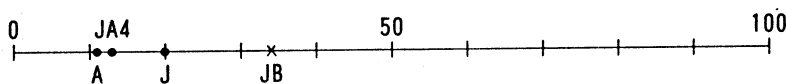
Q28 離婚すべきでない



Q28 ひどい場合には可



Q28 合意で離婚



JとJAとAとはあまり差はないが、JBは二人の合意さえあればいつ離婚してもよいが多く出ている。

三つの回答の順位をまとめてみると、つぎの表のようになる。各の特色ははっきりしている。

回 答	J	J B	J A	A
1	1	1	1	1
2	1	3	2	2
3	3	2	3	3

年令別は明らかで、40才以上、とくに50才以上で大きく異なっている。「二人の合意」をみると51%、48%、29%、19%、20%となっており、若い方に50%位ある点は注目してよい。

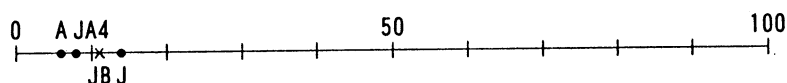
離婚すべきではないは12%、33%、55%、53%、62%と40才以上と大きな開きがある。若い層の離婚に対する考え方は自由で年令によるギャップは大きい。

世代別には、二人の合意は1世で19%、2世で30%、3世で48%あり、3世の多数意見は二人で合意である（離婚すべきでない23%、ひどい場合はよい28%）。

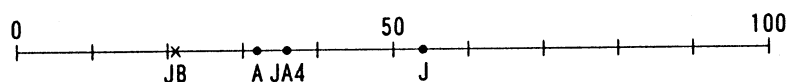
問29 家事や子供の世話について、どうお考えですか。

1. すべてが女性の仕事である
2. いくつかは女性の仕事である
3. すべての仕事は、男性、女性の区別なくやるべきだ
4. その他（記入
5. わからない

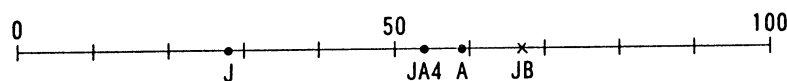
Q29 すべてが女性の仕事



Q29 いくつかは女性の仕事



Q29 男性・女性 区別なく分担



すべては女の仕事は各グループとも少数意見であるが、日本はいくつかは女の仕事という考えが多いが、J B、J A、Aとも区別なく分担が多数意見となっている。年令別をみると、60才以上はすべては女の仕事が35%（50代までは1%、9%、2%、7%）で60才以上のところに大きな断層がある。区別なく分担は73%、43%、78%、78%、43%と多いが、やはり60才以上のところに断層がある。

世代別ではすべては女の仕事は1世28%、2、3世でともに7%、いくつかは女の仕事は1世で26%、2、3世でそれぞれ17%、27%、区別なく分担は1世で44%、2世で77%、3世で66%となっている。1世と2、3世の間の差は大きい。性別に大きな差はない。

〔家庭観に対するJBのまとめ〕

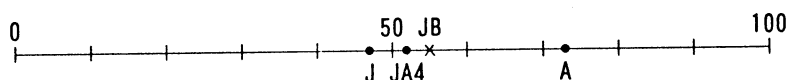
JBは、家庭はくつろげる唯一の場所というのがJと共に多いが、離婚・女の仕事ではきわめて近代的でJA、A以上という形である。フランスとくらべるとくつろげる唯一の場所（65%、アメリカ45%の差に注意）の多いこと、他のモダンな点も似ているところは注目される。

7. 先祖・家……V

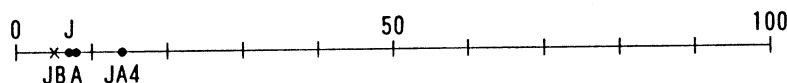
問11 あなたはどちらかといえば、普通より先祖を尊ぶ方ですか、それとも普通より尊ばない方ですか。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 普通より尊ぶ方 | 4. その他（記入） |
| 2. 普通より尊ばない方 | 5. わからない |
| 3. 普通 | |

Q11 尊ぶ



Q11 尊ばない



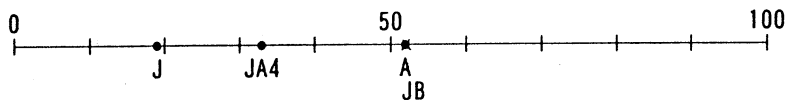
JBとJとは近く普通というのが34%、43%と多く、この傾向はJA（32%）に近い。年令別にみると、尊ぶ方が20代から60才以上まで10才刻みで38%、47%、57%、73%、61%と増大する。男に尊ぶ方が多く（65%、女は43%）、普通というのは女に多い（女49%、男23%）。男女で多数意見が逆転している。

世代別には尊ぶ方が1世、2世3世の順に69%、59%、42%と減少し、普通は25%、33%、42%と増大するが尊ばないは3世でも11%程度である。

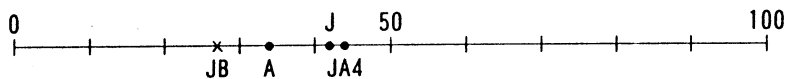
問12 子供がないときは、たとえ血のつながりがない他人の子供でも、養子にもらって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか。

- | | |
|--------------|---|
| 1. つがせた方がよい | |
| 2. つがせる必要はない | |
| 3. 場合による | |
| 4. その他（記入） |) |
| 5. わからない | |

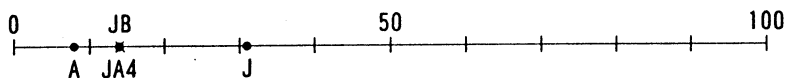
Q12 つがせる



Q12 つがせないでもよい



Q12 場合による



J BはAと共につがせるが高く50%あまりあり、日本は20%程度で低い。J Aは30%あまりある。Jは場合によるが多い。J Aはこの場合はJに近く、J AとJ Bは異なっている。つがせた方がよいは年令にあまり傾向的な差はなく（56%、45%、58%、58%、42%）、場合によるは16%、29%、21%、31%、31%と高年令層ほど高い。性別に差はない。

世代別には、つがせるは1世50%、2世56%、3世47%と著しい差はない。どの世代でもつがせるが多数意見となっている。

〔家・先祖に対するJ Bのまとめ〕

家庭の場合と異なり、特にモダンというわけではなく、先祖を普通より尊ぶ方、養子に家をつがせるというのが多数意見となっている。日本よりアメリカ型により近いのである。

8. 宗教……Ⅵ

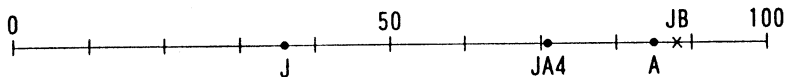
問48 宗教についておききたいのですが、たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかをもっていますか。

1. もっている（信じている） 2. いいえ（もっていない、信じていない）

1. もっている、と回答した方にお伺いいたします。それは何という宗教ですか。

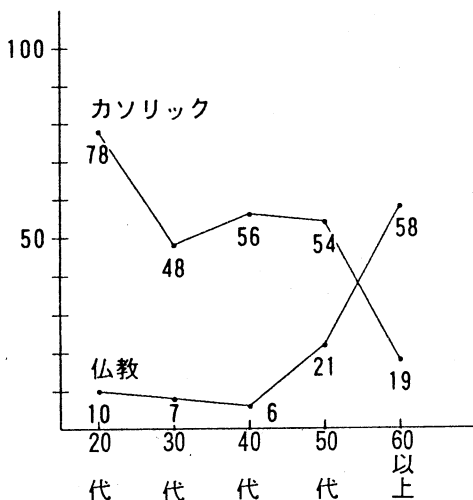
- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 神道 | 5. プロテスタント |
| 2. 仏教 | 6. カトリック |
| 3. 創価学会（日蓮正宗） | 7. その他（記入） |
| 4. その他の日系宗教（記入） | 8. わからない |

Q48 信じる



信じるは、JBはAと共に高く90%に近い。性別に差はなく、年令別にも92%、83%、87%、92%、92%となり、日本のように宗教を信じるものが年令と共に高まって行くというのとは異なり、J以外のグループと同様な傾向を示しているのは興味深い。カソリックが51%（プロテスタント3%）、仏教20%が多いところである。

年令別にカソリックと仏教をみるとつぎのグラフのようになり、年令による差が著しい。60才以上というところに断層が見られる。



世代別に信じるということに全く差はない（1、2、3世の順に92%、88%、91%）。

1世は仏教54%、カソリック22%

2世は仏教16%、カソリック52%

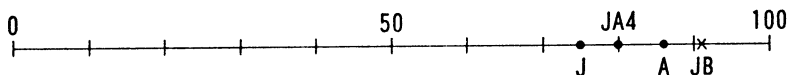
3世は仏教8%、カソリック65%

となり、1世と2、3世の間の差は大きい。

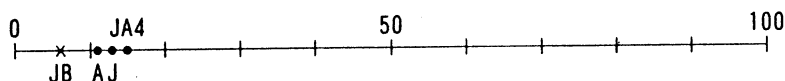
問49 それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか。

1. 大切
2. 大切ではない
3. その他（記入）
4. わからない

Q49 大切



Q49 大切な



大切というのがどのグループでも極めて高く、大切でないというのが10%前後となって低い。

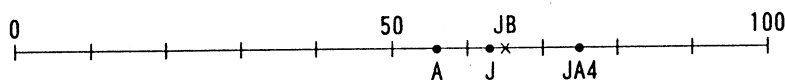
問50 宗教について、こんな意見があります。

「宗教にはいろいろあり、それぞれ独自の教えを説いているが、そうした教えは、けっきょく同じものだ」

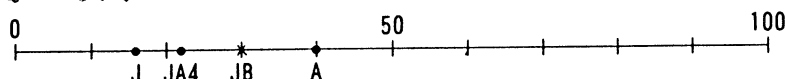
というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | |
|-------|------------|
| 1. 賛成 | 3. その他（記入） |
| 2. 反対 | 4. わからない |

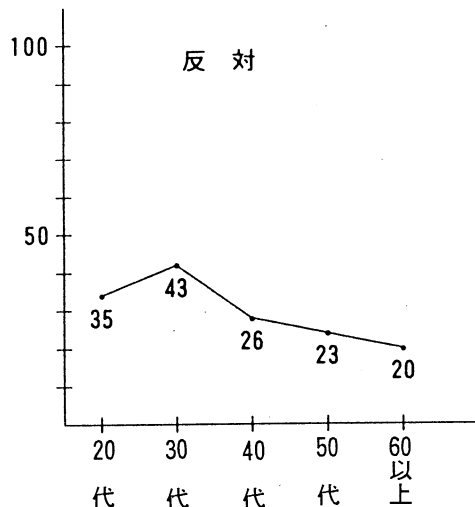
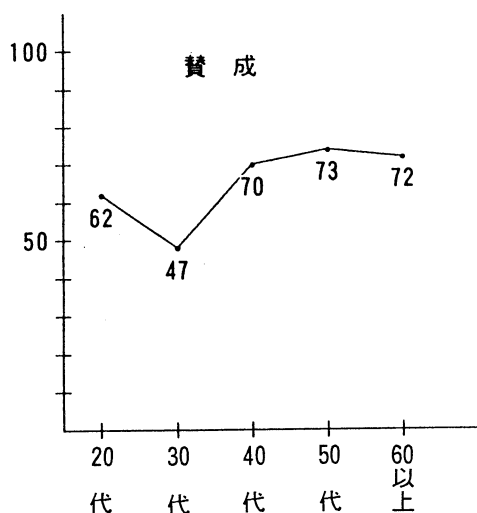
Q50 賛成



Q50 反対



J Aは賛成が多く、JとJBは賛成が同じであるが反対というのはJBはJより大でAに近くなる。反対はAに多い。年令別には高い年令層の方に賛成が多く反対が少ない。



〔宗教に対するJBのまとめ〕

JBは宗教を信ずるものが極めて多く、これは年令に差がない。但し、カソリックと仏教では年令別、世代別にみると逆傾向にある。宗教的な心も大切というのが多く、宗教は同じことを説いているというのも多い意見である。

9. 科学文明観……Ⅶ

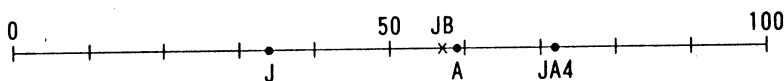
問21 こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発展して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなっていく」

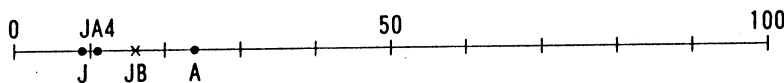
というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

1. 賛成 (人間らしさはへる) 4. その他 (記入)
2. 反対 (人間らしさ、不変、ふえる) 5. わからない
3. いちがいにはいえない

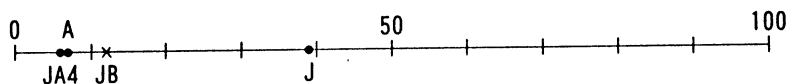
Q21 へる 賛成



Q21 ふえる 反対



Q21 いちがいにはいえない



J BはAと近い。J Aもこれに近い。Jはいちがいに言えないが多いという形である。多数意見は、人間らしさがへるということである。日本のみへるといちがいに言えないが同じ位ある。

問26 こういう意見があります。

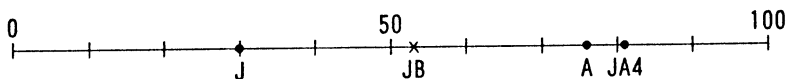
「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ (人間らしさ) はへりはしない」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか。それとも反対ですか。

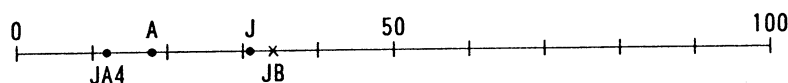
1. 賛成 (へらない) 4. その他 (記入)
2. 反対 (へる) 5. わからない
3. いちがいにはいえない

前問の裏返しの質問である。

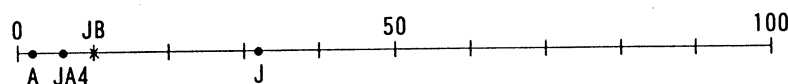
Q26 へらない



Q26 へる



Q26 いちがいにいえない

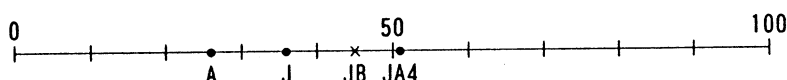


このきき方をする、J AとAは楽観的な回答が多く、日本は少なくなる。J Bはその中間となる。へる方は日本とJ Bは近くなる。AとJ Aとは低い。この点J AはAに近く、J BはJ寄りである。いちがいにいえないはJの特色となっている。

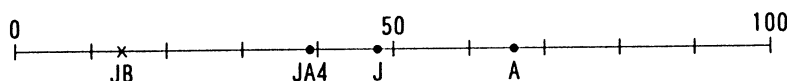
問33 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い（ほんとうのことに近い）と思うものを、1つだけ選んで下さい。

1. 人間が幸福になるためには、自然に従わなくてはならない
2. 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
3. 人間が幸福になるためには、自然を征服していかなければならない
4. その他（記入）
5. わからない

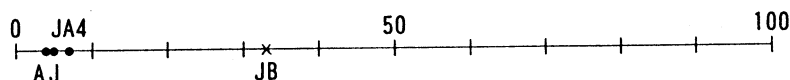
Q33 自然に従う



Q33 自然を利用



Q33 自然を征服



自然に従うは、J BとJ Aは近く、Aが最も少ない。自然を利用はAに多く、JとJ Aとは近く、J Bはきわめて少ないのが特徴的である。自然の征服はJ Bのみが高い数字を示している。

年令別にみても、自然に従うは若い方と高年令層にやや多く、自然を征服は中年層に多く、若い層、高年令層に少ない傾向が出ている。利用は高年令層のみ30%近くある。

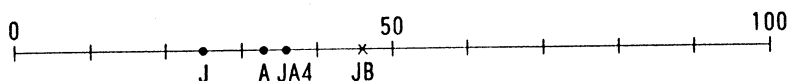
性別をみると、男に従うが多く、女に征服が多いという特徴的なことが出ている。

世代別には、従うは1世で51%、2世で50%、3世で45%、征服するは順に16%、38%、37%で1世は日本型である。3世は従う、征服が同じ位にある。

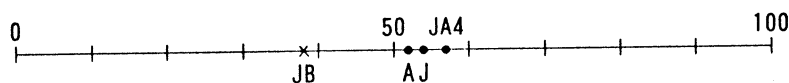
問44 コンピュータがいろいろなところで使われるようになり、情報化社会などということが言われています。このような傾向が進むにつれて、日常生活の上で変わっていく面があると思います。あなたは、このような変化をどう思いますか。

1. 望ましいことである
2. 望ましいことではないが、避けられないことである
3. 困ったことであり、危険なことでもある
4. その他（記入
5. わからない

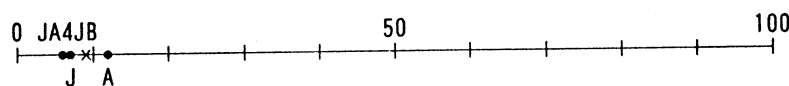
Q44 望ましい



Q44 望ましくないが避けられない



Q44 望ましくない



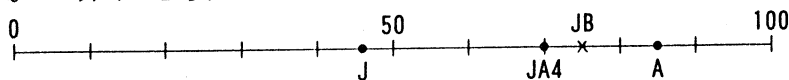
J Bは望ましいが多く、望ましくないが避けられないというのはJ、J A、Aが同じ位でJ Bが少ない。性別では望ましいというものは男に多く（54%、女は35%）、年齢別では若い方に望ましいというのが多目である。

世代別には差は少ない。

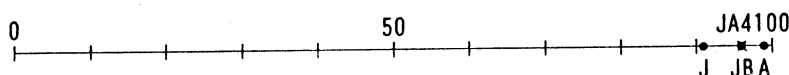
問45 環境の保護は、あなたにとってどのくらい重要な問題ですか。

1. 非常に重要である
2. 重要である
3. あまり重要ではない
4. 重要ではない
5. その他（記入
6. わからない

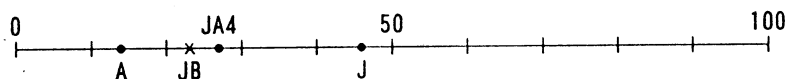
Q45 非常に重要



<1 + 2>



Q45 重要



J B、A、J Aは非常に重要な表現が多く、重要を加えると各グループ殆ど同じになる。J 以外は極端な表現が多い様に思われる。

〔科学文明観に対するJ Bのまとめ〕

科学文明と人間らしさについては、J A、Aにくらべてより悲観的である。しかし、コンピュータに関しては望ましいと望ましくないが避けられないという意見に分極し、自然と人間の関係では、自然に従うと征服するとに分極する。

環境保護の大事さについては、A、J Aと共に非常にという表現が多く見受けられる。

10. 政治的態度……Ⅷ

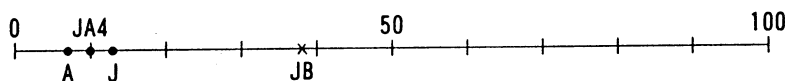
問24 こういう意見があります。

「国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりはその人達にまかせる方がよい」

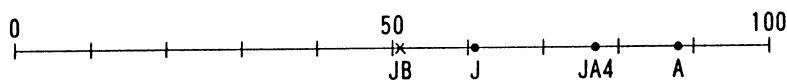
というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか。

1. 賛成（まかせる）
2. 反対（まかせっきりはいけない）
3. いちがいにはいけない
4. その他（記入 _____）
5. わからない

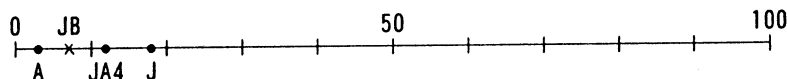
Q24 まかせる



Q24 反対



Q24 いちがいにはいけない



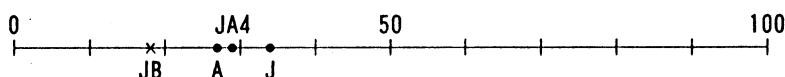
J Bでまかせるとというのが飛びぬけて多いことに気がつく。反対は日本と共に低く、J AはJと同じである。いちがいに言えないはJに多い。各国の比較でみると、フランスが他の国にくらべて飛びぬけて多く38%（ドイツ8%、イギリス13%、アメリカ7%、日本13%）、J Bと近いのは偶然の一致かどうか検討に値しよう（ラテン系という点かどうかという問題である）。

年令別には、高年令層にまかせせる意見が多目であるが、1、2、3世の間では全く差のないことは注目される。

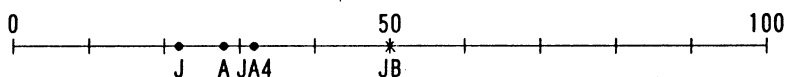
問34 あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか、1つだけあげて下さい。

1. 個人が幸福になって、はじめて国全体がよくなる
2. 国がよくなって、はじめて個人が幸福になる
3. 国がよくなることも、個人が幸福になることも同じである
4. その他（記入 _____）
5. わからない

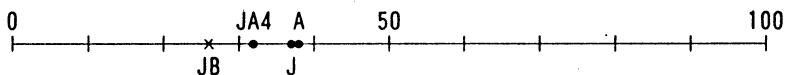
Q34 個人→国



Q34 国→個人



Q34 個人=国



J Bは特徴的に異なっている。国がよくなって個人が幸福になるというのが多数意見として約半数ある。Jはこの意見が最も少なく、むしろ同じだという意見が多くなる。J、J A、Aはあまり差がない。なおフランスでは、国→個人が23%と少なく前問との傾向と逆になっている。この多数意見は1、2、3世の順にみると、38%、47%、60%と1世に少なく3世に多いのは注目してよい。個人がよくなって国がよくなるというのは22%、17%、15%とあまり差はないが、1世にやや多い。同じだというのは1世に多い。年令別にも多数意見は若い方により多い傾向を示している。

問51 a あなたは『民主主義』についてどう思いますか。

- このうち、あなたの意見に一番近いのはどれですか。
1. よい
 2. 時と場合による
 3. よくない
 4. その他（記入 _____）
 5. わからない

b では『資本主義』についてはどうですか。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. よい | 4. その他（記入 |
| 2. 時と場合による | 5. わからない |
| 3. よくない | |

)

c では『社会主義』についてはどうですか。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. よい | 4. その他（記入 |
| 2. 時と場合による | 5. わからない |
| 3. よくない | |

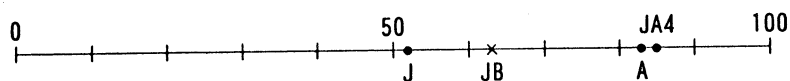
)

d では『自由主義』についてはどうですか。

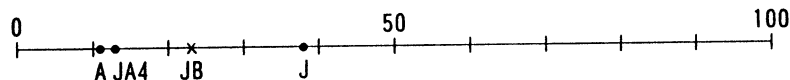
- | | |
|------------|-----------|
| 1. よい | 4. その他（記入 |
| 2. 時と場合による | 5. わからない |
| 3. よくない | |

)

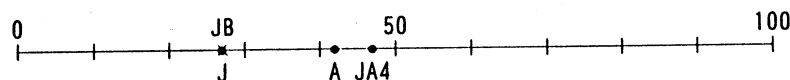
Q51 よい 民主主義



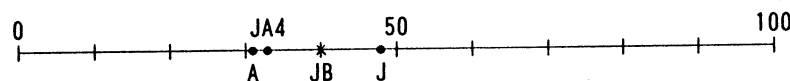
Q51 時と場合による 民主



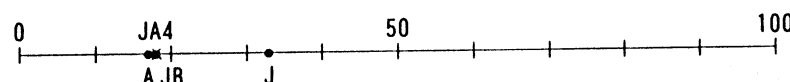
Q51 よい 資本主義



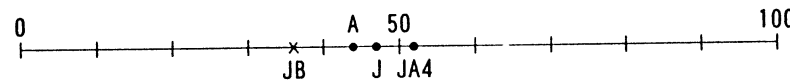
Q51 時と場合による 資本



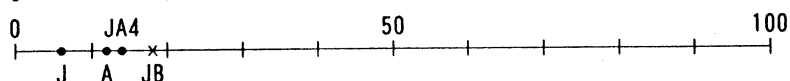
Q51 よい 自由主義



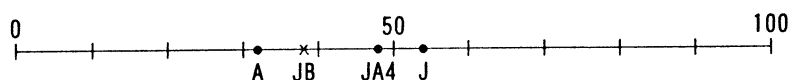
Q51 時と場合による 自由



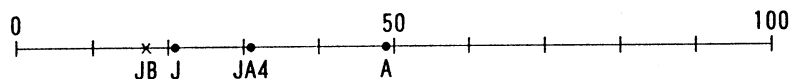
Q51 よい 社会主義



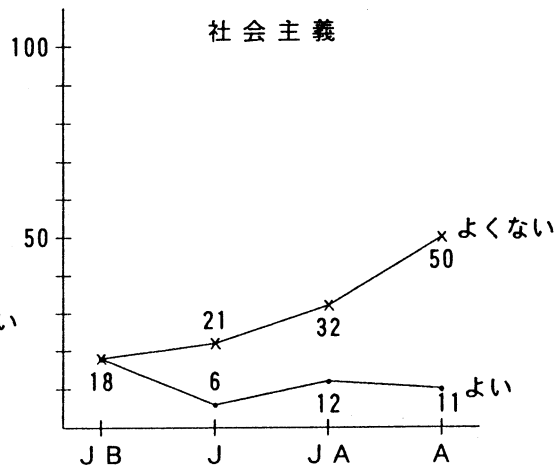
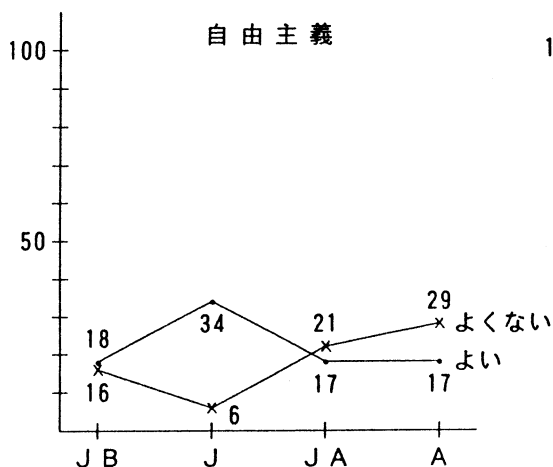
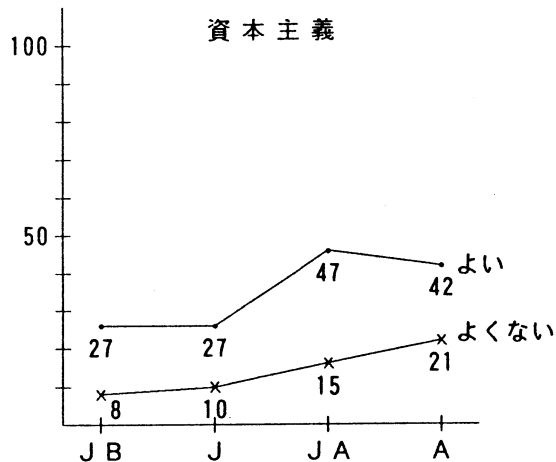
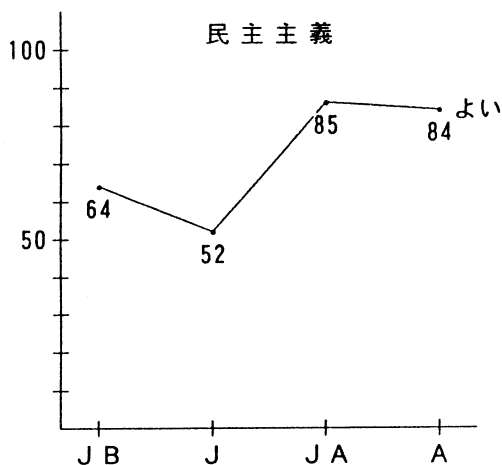
Q51 時と場合による 社会



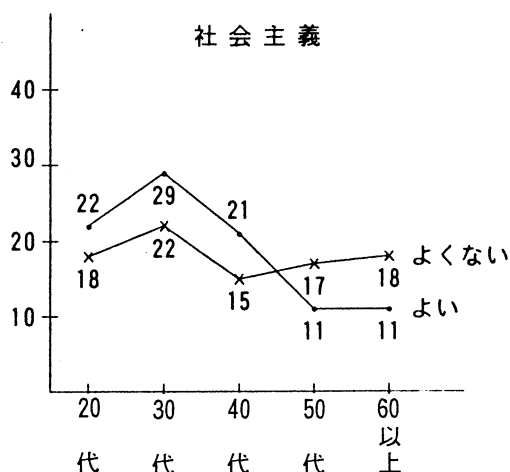
Q51 よくない 社会



日本が全般をとおして「時と場合による」が多く、政治的主義を時と場合により使いわけるといいう形で、政治的主義に固執しない態度が出ている。AとJ Aとは民主主義への固執がきわめて強い。資本主義に対してもかなり強い支持がある。社会主義はよくないという形である。J Bはどれに強い支持を示すかという、民主主義のほか特に強いものはない。比較的に社会主義をよいとする傾向はある。この点もフランスに似ている。自由主義はアメリカ圏でリベラルとして特殊の意味があると考えられ、Jとは異なった内容があるため差が出ている。Jでは自由主義という言葉はかなり好意的に迎えられている。全体の形をつぎの形にまとめてみるとかなり見易くなる。



年齢別にみると、50才以上と50才未満とで傾向が異なり、若い方にやや社会主義好みが見受けられる。

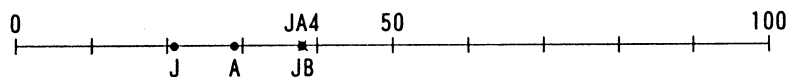


世代でみると、1世は好ましくないと思う方、2世は好ましいと思う方、3世はその中間という形が出ていると見てよからう。

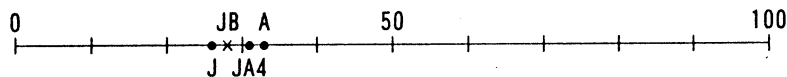
問52 わが国の向こう10年から15年間の国家目標をどう設定したらよいかについて、最近盛んに議論されています。ここにいろいろな人が最も重視する目標がいくつかあげてあります。あなたはこれらの中で何がもっとも重要だと思いますか。

1. 国家の秩序を維持すること
2. 重要な政策を決める時、人々にもっと発言されること
3. 物価の上昇をくいとめること
4. 言論の自由を守ること
5. その他（記入）
6. わからない

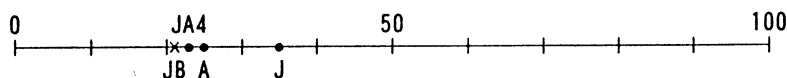
Q52 国の秩序



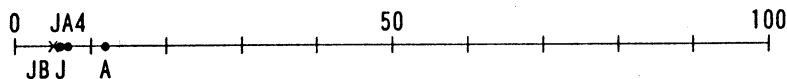
Q52 発言権



Q52 物価の抑制



Q52 言論の自由



国の秩序はJ AとJ B、発言権はJ AとA、物価の抑制はJ、言論の自由はAというのが特徴的に多いと考えてよい。国別にそれぞれの順位をみるとつぎのようになる。

	秩 序	発 言 権	物 価	言 論
J B	1	2	3	4
J	3	2	1	4
J A	1	2	3	4
A	2	1	3	4

J BとJ Aは同じ形で、Aとは秩序と発言権とが入れかわる。Jは他と異なり物価で、そのあとの順位はAと近い。世代別にみると次の通りになり、3世はアメリカ型となる。

世 代	秩 序	発 言 権	物 価	言 論
1	1	3	2	4
2	1	2	2	4
3	2	1	3	4

年令別の順位の形にまとめかえると面白い移り変わりがわかる。

	秩 序	発 言 権	物 価	言 論
20代	2	1	3	3
30代	1	2	3	4
40代	1	2	3	4
50代	1	3	2	4
60以上	1	3	2	4

20代はアメリカ型、30～49が全国と同じ、50以上は1世型となっている。

〔政治的態度に対するJ Bのまとめ〕

すぐれたリーダーに政治をまかせるというのが他のグループにくらべより多く、政治的主義では他のグループより少し社会主義好みである。

国がよくなって初めて個人がよくなるというものが多い。これらについてJ Bは特徴的であり、JともJ Aとも異なっている。

国家目標ではJ BとJ Aは近く、日本は特徴的でJ BとJ Aとも異なっている。J Bは、政治的な態度はJと異なっているとみてよからう。国家目標を別にすれば、J Aとも異なっている。

11. 自由回答

自由回答として次のものを付録3の表としてかかげておく。これは日本流の見方で単純化しまとめて集計するより、自由回答を読む方が情報が多いので、ここは強いてまとめることをしなかった。

12. 日系ブラジル人の集団像としての意識

特 性

まず、日系ブラジル人の得られたサンプルの特性をいくつかまとめてみよう。

1世 19%、2世 47.8%、3世以上 32.6%。学歴は初等教育 52.3%、中等教育 27.7%、高等教育 19.2%。年齢構成は20代 19.4% (19才を含む)、30代 20.1%、40代 19.8%、50代 19.7%、60才以上 20.4%である。男55%、女45%である。

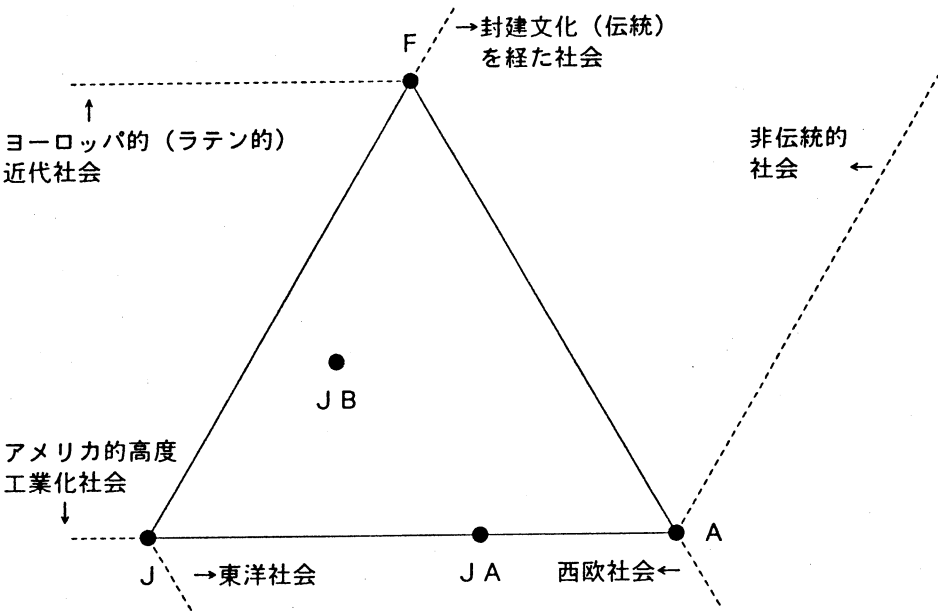
日本語能力は、会話十分できる 48.4% (全くできない28.2%)、読み書き十分できる 28.6% (全くできない54.1%) となっている。

つぎに、意識の単純集計からみた集団像としての特色を、JとJAとの関係を含めてまとめてみよう。さきに個別の項目で少しく言及したフランスとの関係は、似ているところもあり似ていない所もあるという形で簡単なものではない。

領 域	J B	J との関係	J A との関係
一般的事象	生活満足、生活領域で重要性をあげるものが多く、将来の希望でも明るい感じであるが、不安感強い。極端な反応が多い。	不安感で異なる。Jと近くはない。	不安感はJBよりは少ないが近い。他の質問では必ずしも近くはない。
仕事観	仕事志向は強い。	Jの仕事志向を上まわる。就職の条件では、気の合う仲間の項がJより少ない。	JAと大きく異なっている。
社会近(i)な	金は大切と教えるは多くはない。もったいない感じは強い。しきたりでは従うとおし通せが同じ位である。	自由と規律は似ている。おし通せと従うの支持率が近い点では似ている。	自由と規律は似ている。しきたりでは全体的に差は大きくはない。
(ii)人間関係	人間関係ではそれを大事にし、私情を重んずる感じが強い。	Jに近い	JAよりもJに近い。しかしJAとJBは近い。
(iii)信頼感	人間に対する不信感は強い。	Jとも異なる。	大いに異なる
家庭	家庭はくつろげる唯一の場所の回答は多く、家庭に対する感じ方はきわめてモダン。これはフランスに近い。	家庭は唯一の場所の点では似ているがあとは大いに異なる。	JA以上にモダン。JよりはJAにやや近い。

領 域	J B	J との関係	J A との関係
先祖・宗教	先祖を尊ぶ方。養子に家をつがせるが多数意見。	J よりアメリカに近い。	J A より A に近い。
宗教	宗教を信じるものは極めて多く、宗教的な心は大切。宗教は同じ事を説いているという意見が多い。	信じるものが J より遥かに多いが、同じ事を説いているは J に近い。	J A と傾向は似ている。
科学文明観	科学文明観は J A、A にくらべより悲観的。コンピュータ、自然と人間の関係では意見が両極に分極する。自然を利用するが極度に少ない。	J と似ているところもあるが似ていないところもある。	J A と似ていない。
政治的態度	優れたリーダーに政治をまかせるが多く、政治的主義では少し社会主義好みである。国→個人が多く、国家目標では国の秩序、発言権、物価の抑制が上位三つになる。	J と異なる。	A と共に大いに異なる。但し国家目標では J A に近い。

以上見てきたデータに基づく情報及びこれまでの比較調査で得られた知見をもとにして、J、J B、J A、A、F（フランス）の関係を示す概念図を描いてみると次のようになる。この図で距離の近いのが似ていることを示している。



これは、予想図（conjecture）に過ぎないが、データに基づいて多次元データ分析の「ある方法」を用いれば、客観的に描くことができる。

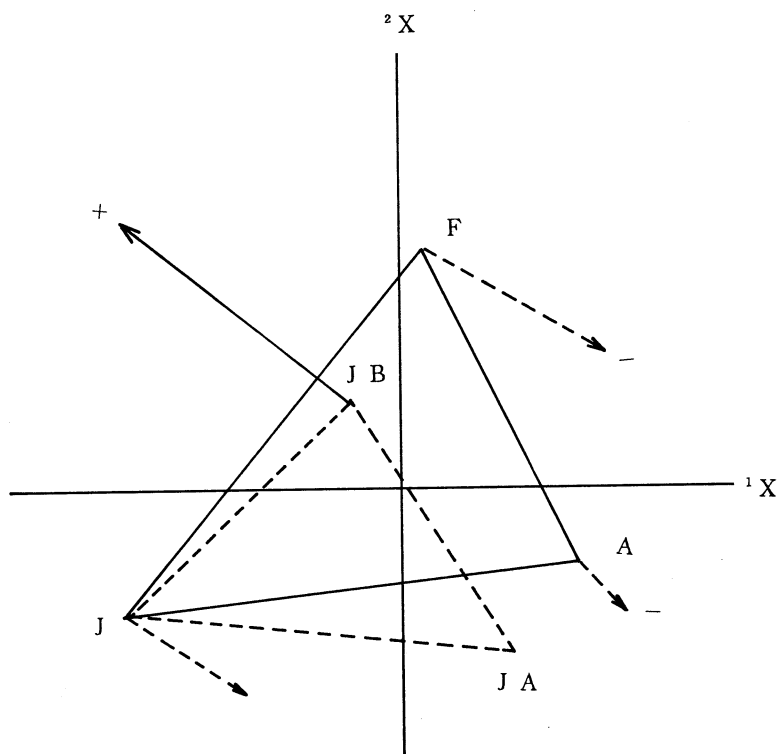
そこで計算をはじめることになるが国際比較に用いた殆どすべての質問を用いることにした。ただ、文化発展の状況に強く影響される環境とコンピュータに関する質問、問44と問45、自由回答の質問を除外した。各質問において、とりあげるカテゴリーを原則として一つにし、特徴をあらわすものを取りあげた。その他、DK、中間的回答 — これはあとで別にとりあげる — は、除外した。各質問が小質問に多くわかれていて、選択肢の同じもの — 段階のついてるもの — については、それらを合計し平均値を出し、一つの質問に対する回答として取り扱った。また回答肢が、夫々独立と見做せるものは、すべての回答肢を取りあげた。さらに、次章で分析したスケールに関するものもこの分析に含めることにした。

このようにして分析の質問を定めたが、とりあげる質問ととりあげたカテゴリーは次の表のようである。

質 問	とりあげたカテゴリー
8	1
10	5つの小質問のカテゴリー1の回答比率の平均
11	1
12	1
13	1
14	1
15	1, 2, 3, 4
16	1, 2, 3, 4, 5
17	1
19	7の回答比率の平均（7個の小質問）
20	1
21	1
22	1
24	2
25	1
26	1
27	1
28	3
29	3
30	1
31	1
32	1
33	1
34	2
35	1, 2, 3, 4

質 問	とりあげたカテゴリー
3 6	1
3 7	1
3 8	1
3 9	1
4 0	1
4 1	1
4 2	1
4 3	1
4 8, 4 9	1 (加算したもの)
5 0	1
5 1	1 (4 問の平均値)
5 2	1, 2, 3, 4
中間回答 スケール 人情 スケール 義理人情 スケール	0 の比率、 5 以上の比率 5 以上の比率 0 の比率、 3 以上の比率

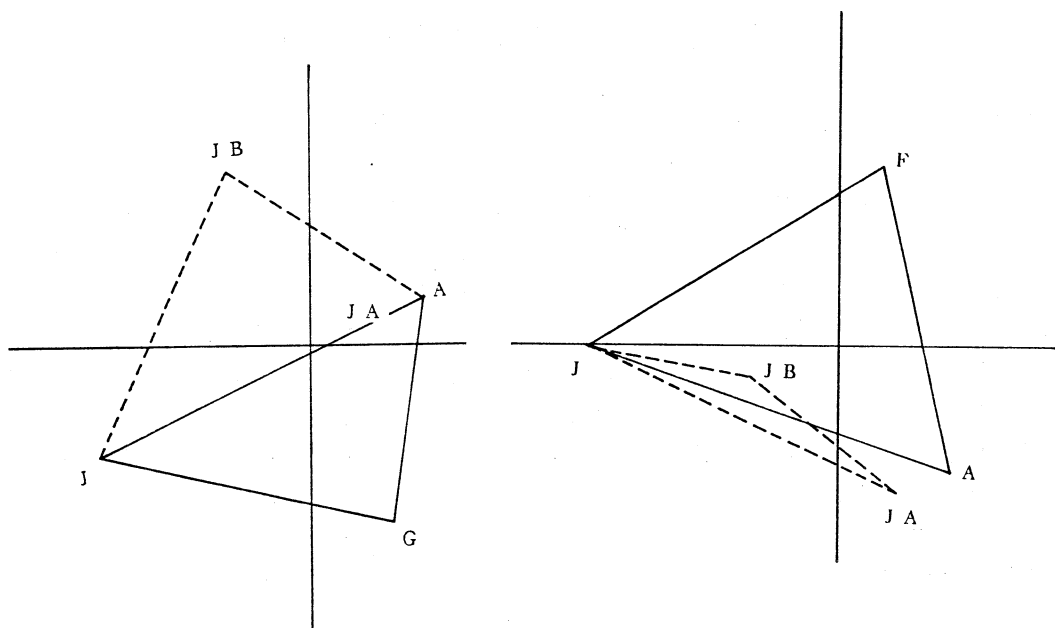
ここで、国とカテゴリーに関するパタン分類の数量化（数量化Ⅲ類）——これは国と回答カテゴリーの間の相関係数を最大にする数量化と等価になる——を行ってみた。国の布置をみると次頁の図のようになり、予想した通りの日本・アメリカ・フランスを頂点とする三極構造の図板があらわれてきた。但し、アメリカ・フランス間の距離はそれらの国々の日本との距離よりも小さくなる。日本とハワイ日系人、ブラジル日系人の関係は、日本、アメリカ、フランスの縮図になっているこは興味深い。もう少し詳しくみよう。



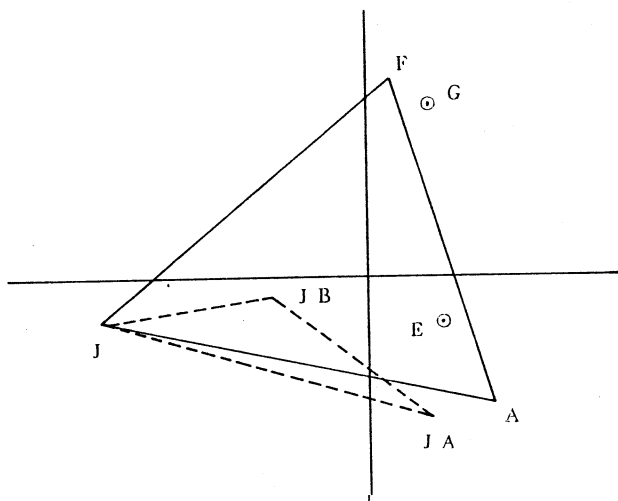
矢印は3次元目の軸の方向
実線は上方 破線は下方

最もドミナントな 1X 軸で {日本・ブラジル} と {アメリカ・ハワイ日系・フランス(但しフランスは日本とアメリカの中間に位置し、ブラジルに近い)} とが分離し、 2X 軸で {日本・アメリカ・ハワイ日系人} と {フランス・ブラジル日系人} とが分離するというのが出ており、甚だ理解し易い。他のものとくらべ、ブラジル日系人は日本人にかなり近いという点も出ているし、また直観で描いた図の軸の意味が裏付けられたわけである。さらに第3次元目 3X 軸においてブラジル日系人とフランス人とが両極に離れ、日本・アメリカがフランスの方向にズレる——ハワイの日系人は中間で動かない——というのも興味ある。

さてここで、フランスをもってきたのは唐突の感があり、恣意的にも見えるので、フランスの代わりにドイツ(G)をもってきてみた。そこで同様の分析をほどこしてみると次のようになる。フランスの場合と全く異なった形がでてきて、やはり、フランスをもってきたことの意味が理解されよう。



こんどは、フランスとドイツとを加えてみると、日本、ヨーロッパ、アメリカの三極構造が見え J B は日本に近くなり — フランスのみとの時との差異に注意 — J A は、A に近くに出ている。ドイツと J B とが差があるため J B は日本寄りに位置する。F と G とはやはり、ヨーロッパということで近く出る。なお、J B は J A より一層 J に近くなる。



こんどはさらにイギリス E を加えてみると、日本、アメリカ、ヨーロッパの三極構造、J B, J A の位置は変わらないが、イギリスがヨーロッパではなくヨーロッパとアメリカの線上で、アメリカの近くに位置するという興味のある形が出てきている。

以上のように考えてくると J B がラテン文化の影響をうけていることが、明確に示されたということが出来る。

第3章 ブラジル日系人の心の構図

これまで、各質問ごとに日系人集団の特性を分析してきた。それはそれとしてもう少し、個人の心に立ち入ったところを明らかにしたいと思うのが自然である。そこで、いくつかの質問を「組」としてとりあげ、個人がそれにどう答えているか、という回答パターンをもとに、個人の心をつかみ、それを通しての集団構造を描いてみることにする。一歩進んだ方法であって、こうして描かれたものを心の構図をいうことにする。これは、個人の回答パターンを通して、個人のものの考え方、感じ方や考えの筋道を明らかにしようとするもので、統計学的にはスケールによる分析、関連分析、考えの筋道を明らかにするパターン分類による数量化の方法によって可能となるものである。

ここでは、これまでの国際比較を行った結果として、J Aとの関連で興味あると思われるものをとりあげることにした。

1. 義理人情好みという人間関係

これはいわばニックネームであり、日本的人間関係を表わす一つの特徴である。これまでの分析で日本の特色をよくあらわしているものの一つである。まず、とりあげる質問の番号をあげておこう。

- Q30 先生が悪いことをしたという話
- Q31 会議と恩人のキトク
- Q32 会議と親のキトク
- Q38 入社試験：一番か親戚か
- Q39 入社試験：一番か恩人の子か
- Q40 めんどうをみる課長
- Q35 大切な道徳

これらの質問を用いて「義理人情らしさ」の程度をはかる「ものさし」（スケール）をつくることにした。スケールの作り方は次の通りである。

義理人情の尺度のつくり方

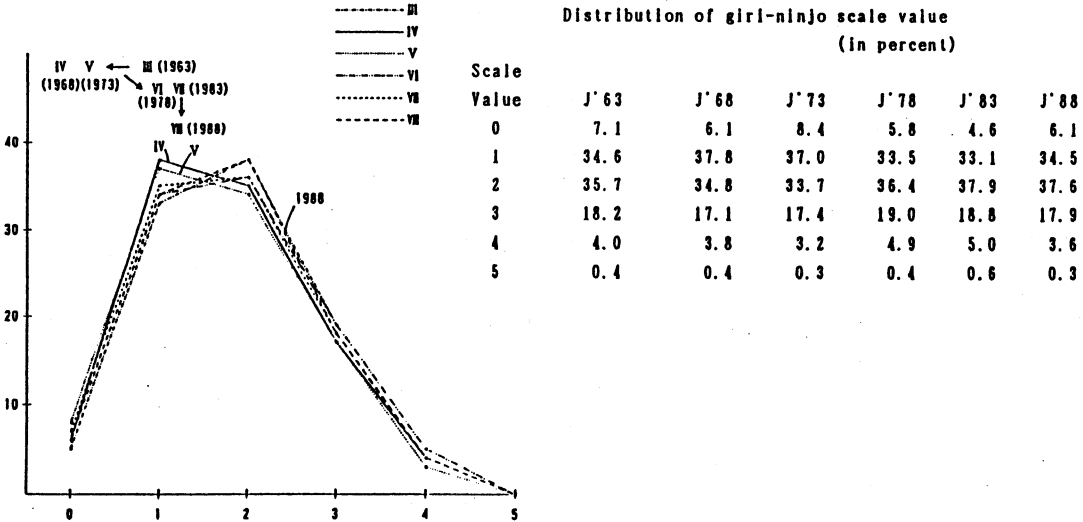
質 問	「義理人情的回答」	尺度値*
Q30 (先生の悪事)	2 (否定)	1
Q31 と Q32 (恩人・親の危篤)	1 × 2 (恩人のとき帰る) (親のとき会議)	1
Q38 と Q39 (入社試験)	1 × 2 (親戚より一番) (一番より恩人の子)	1
Q40 (人情課長)	2 (めんどうをみる課長)	1
Q35 (大切な道徳)	1 × 2 (親孝行・恩返し)	1

* 各項の尺度値の個人別合計をもって、義理人情を測る尺度とする。

尺度の作り方からみるとスケールの値が多いほど義理人情的ということになる。2 以上だと相当義理人情的で3 以上になると強い義理人情好み（志向）とすることができる。

このスケールを用いて各グループの比較をしてみるが、このスケールの本来の意味を持つのは日本人に対してだけであるが、日系人に対しても通用する。—このことは後述の分析により明らかにする—。しかし、他の諸国に対しては、本来の意味はないが、強いて当てはめた結果と見るべきものである。ただし、0のところは、そうした考え方の全くないものであるから比較上の意味を持つものと言えよう。

まず、日本の分布をみると1963～1988の25年間殆ど変化のないことが解る（日本人の国民性調査より）。



Distribution of Girl - ninjo Scale Value in Japan

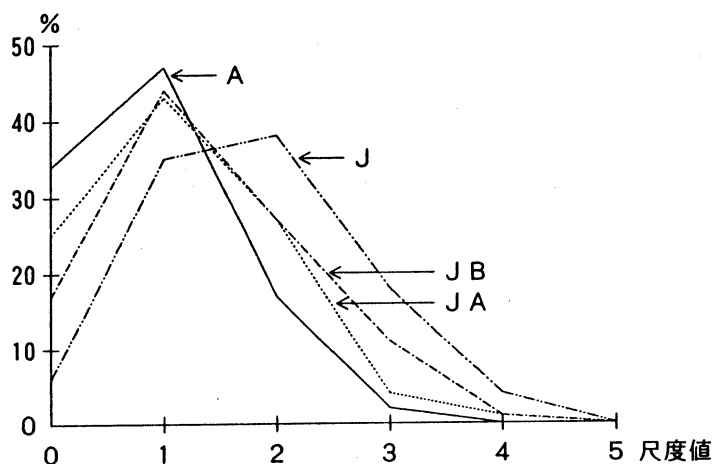
山はスケール値1、2のところであり、スケール値2以上が常に過半数を占めている。相当日本的意味の義理人情であるということが出来る。これを土台にJ A、J B、A等を比較してみよう。

義理人情スケール (%)

	J	J A *	J B	J B 1世	2世	3世	2 + 3世
0	6	2 5	1 7	5	1 2	3 1	2 0
1	3 5	<u>4 3</u>	<u>4 4</u>	<u>3 7</u>	<u>4 6</u>	<u>4 7</u>	<u>4 6</u>
2	<u>3 8</u>	2 7	2 7	3 3	3 0	1 7	2 5
3	1 8	4	1 1	2 3	1 1	5	9
4	4	1	1	2	1	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0
0のみ	6	2 5	1 7	5	1 2	3 1	2 0
3以上	2 2	5	1 2	2 5	1 2	5	9

* J A の1971、78、83年では0の比率はそれぞれ30%、30%、31%、3以上の比率は5%、4%、3%となっている。

義理人情スケール上の分布



J BはJ Aよりも日本に近い形をしていることがわかる。そこで世代別にみると1世は日本全体よりも義理人情的ということが出来る。高年令層の多い1世よりも、日本の高年令層の方がやや、より義理人情的である。

ここで、日本の年令別の集計をみると下記の表のようになる。

義理人情スケールの分布(2) [第VIII次日本人の国民性調査 (1988年), 年齢別]

年 齢	スケール値						サンプル数
	0	1	2	3	4	5	
20～24歳	8	45	33	11	3	0	173
25～29	10	39	40	9	3	0	150
30～34	11	45	30	13	1	0	180
35～39	4	40	36	18	2	0	245
40～44	8	35	37	17	2	1	188
45～49	3	35	41	18	2	1	177
50～54	4	29	41	22	5	0	153
55～59	5	26	43	23	4	0	167
60～64	3	29	39	25	4	0	153
65～69	4	26	42	22	6	1	110
70歳以上	6	24	36	23	11	0	162

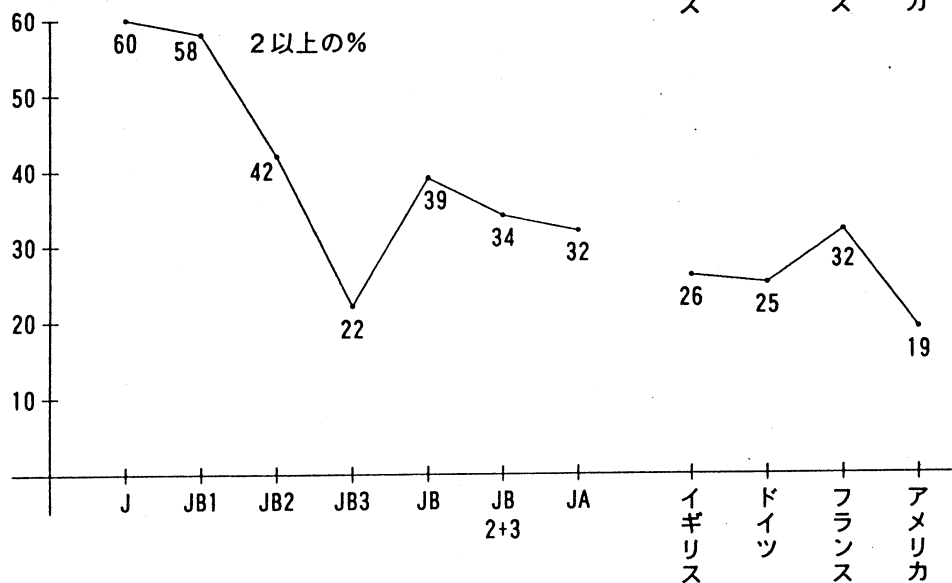
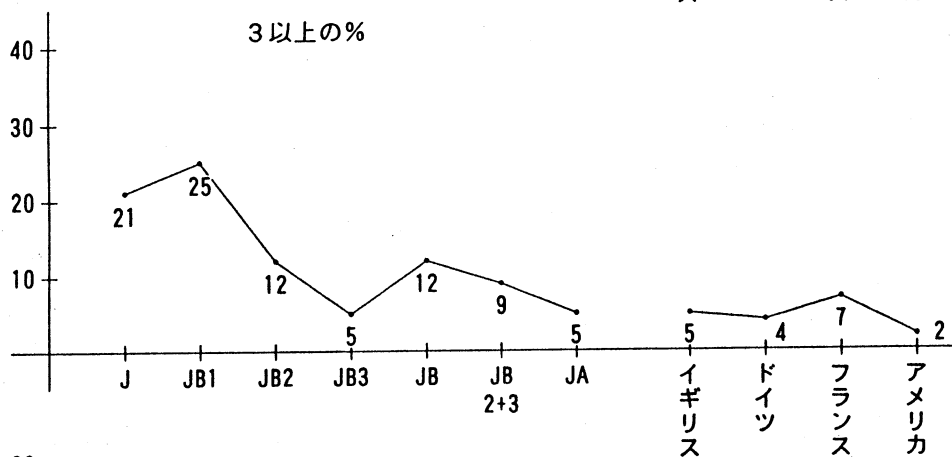
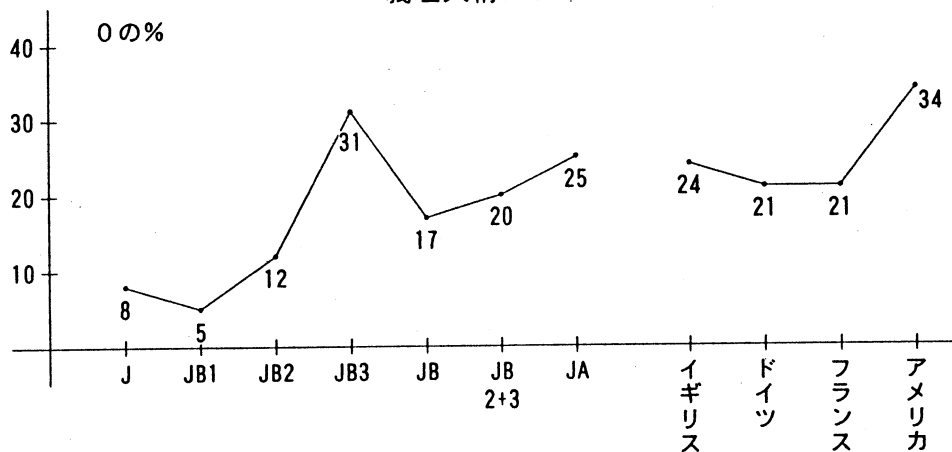
今度は年令別にみると次の表のようになり年令による差は大きく、日本における年令差よりも大きい。

義理人情スケール

	～20代	30代	40代	50代	60以上	男	女
0	30	27	14	7	4	14	20
1	53	50	43	47	28	47	40
2	17	13	21	37	47	25	30
3	0	10	21	5	21	14	8
4	0	0	1	3	0	0	2
5	0	0	0	0	0	0	0

以上をまとめて、0の比率、3以上の比率をグラフにしてみるとその傾向は明らかになる。あえて説明するまでもなく、JB内部の構造や他の国との比較がはっきり読みとれる。

義理人情スケール



もう少しこの点の分析を進めてみよう。日本人スケール4（本章8で定義される最も日本人的なグループ）のところでどうなっているかを調べてみよう。

スケール値	0	1	2	3	4	5
J Bで日本人スケール4のもの	2	3 5	3 2	2 8	3	3
J : J Bの日本人スケール4のものと年齢分布が同じように調整したもの	5	2 7	3 9	2 3	6	0

J Bで日本人スケール4のものは極めて義理人情的であり、日本人のデータをJ Bで日本人スケール4の年齢分布に揃えてものを上表に示したがJ Bで日本人スケール4のものの方がより義理人情的傾向が見えるという興味ある結果が得られている。

いずれにせよ、前述のように他の国々に対しては全く意味のないスケールであるが、J A、J Bの姿を通して、スケール分布上でその移り変わる様相がよく読みとれる。日系人には、こうした人間関係が残って、他の国とも異なる構図を示していること、義理人情好みは日本人に根強く残っている点は興味深い。J Bの3世はやはり異なった様相を示し始めていることは注目してよい。

2. 人情重視の人間関係 (affection scale)

義理人情スケールを作ったときの質問を用い、人間関係で私的心情（人情）を重視するいわば温かい心の傾向をみるスケールを作ってみた。これをaffectionスケールという。このスケールの作り方は次のようになる。

Affection(warm-heartedness, humaneness
and presonal feeling)-oriented scale
in interpersonal relations(0-8)

Scale construction(Use of Giri-ninjo questions)

質問番号	カテゴリー	尺度値
Q 3 0	(2)	1
Q 3 1	(1)	1
Q 3 2	(1)	1
Q 3 8	(2)	1
Q 3 9	(2)	1
Q 4 0	(2)	1
Q 3 5	(1)	1
	(2)	1
total		0 - 8

この尺度値の大きいほど私情を重んずる（温情的、個人感情重視）傾向とみることが出来る。なお、義理人情には温かいばかりでなく、何か厳しい自己犠牲を心情的に強いるものがあり、この点温かいばかりのaffectionと異なるものがある。

これまでの調査で、この0から8にまで及ぶスケールにおいて半分以上の5以上の値をとる比率（温かい、私情を重んずる態度を示すものの割合）を多い順にみると日本（38%）、フランス（35%）、ドイツ（33%）、イギリス（27%）、アメリカ（23%）となる。ハワイの非日系（19%）、ハワイの日系人（29%）をみると非日系はアメリカ側、ハワイの日系人は日本人とアメリカ人の中間にくるのも面白い。

さてJBはどうか。34%である。ハワイの日系人よりも多く日本の38%に近くなるのは、義理人情の時と同様に、注目してよい。こうした人間関係もJAよりJBに近いのである。世代別、性別、年齢別にみたのが次の表に示され、JB3世はJAに近くなる。年齢では60才以上に私情を重んずる傾向が強い。

人情スケール
5以上の比率（%）

比 較		JBについて	
J	3 8	男	3 2
JB	3 4	女	3 8
JB ₁	4 2	～20 代	3 2
JB ₂	3 5	30 代	2 8
JB ₃	2 8	40 代	2 4
JA	2 9	50 代	3 0
A	2 3	60以上	5 7

3. イソップ物語りと人間関係

イソップ物語りの中のキリギリスと蟻（蟻とセミというのものもある）の話についての回答である。このことについては、詳しく述べたものがあるのでそれに譲る（林，米沢，「日本人の深層意識」日本放送出版協会，1982）とし、質問文は、Q17の通りである。まずキリギリスと蟻の話を質問し、回答として「1. 夏の間怠けていたのだから、困るのが当然だと追い返してしまう」「2. 怠けていたのはいけないけれども、これからはちゃんと働くのですよ、といさめた上で、食べ物わけてあげる」を示し、この話の結びとして、この中のどちらが自分の気持ちにじっくりしますかという形で回答をとるのである。回答は以下の通りである。

	ドイツ	フランス	イギリス	A	J A	J	J B
1 の型	13%	14%	13%	12%	9%	15%	20%
2 の型	78	79	83	85	91	75	78

日本人は心がやさしいから2の型が多いという意見が文献に基づく考察で論じられているがむしろ少なめであることに注目したい。これはこれとして、この1、2の回答と心のやさしさとの関係をみよう。ここでは、人間関係における温かさ、柔かさ、人情好みとも言うべきものとの関係をとりあげてみる。そのため、義理人情スケールの時用いた質問から、前述のように人間関係における温かさ、柔さの affection スケールを作った。

ここで、1の型の回答（S 1と示す）2の型の回答（S 2と示す）との関係をみると以下のように、J Bは別として、ハワイ、日本以外では5以上のスケール値とS 1、S 2回答の間の差は全くない。しかし、ハワイになるとS 2の回答の方に人間関係の温かさ、柔さ好みが多くなるのである。日本では勿論高いのである。この関連性は注目してよい。S 2の方の回答を人間関係の温かさ、柔さと関係付けること、そのことが日本的考え方なのではないか、ということである。

percentage of more than 5 values in 8 point

	S 1	S 2	Total*
German	36	34	33
French	40	36	35
English	28	28	27
American	24	23	23
non-JA in Hawaii	10	20**	19
JA in Hawaii	18	31**	29
Japanese	32	40**	38
JB	60	27**	34

note) * including others besides S1 and S2

** significant (confidence level 0.95)

J Bは全体では、5以上のスケール値を示すものが34%と高く、J AよりJに近い（ドイツ、フランス並み）。ここでJ Bについて日本人スケール別に人情スケール5以上の比率をみよう。

1で	28%
2で	33%
3で	38%
4で	48%

となり、日本スケール大きい方に比率が多い。3で日本人全体と同じになる。

ところが、S 1 と S 2 との関係で J、J A と全く異なる関係が見られているのである。S 1 では60%とaffectionスケール5以上のものが多く、S 2 では27%と少ないのである。問題は、S 1 と回答したものがどうしてJ Bのみ高いかということを考えなくてはならない。

この比率の出るところをもう少し詳しく見てみよう。S 1、S 2 と答えるもののaffectionスケール、心の分布の状況をみよう（％）。

スケール値	0	1	2	3	4	5	6	7	8
S 1	2	1	7	14	17	<u>30</u>	<u>22</u>	8	0
S 2	<u>1</u>	<u>3</u>	<u>8</u>	<u>25</u>	<u>36</u>	16	7	4	0

きれいに分布が入れ替わっているのが解り、分析の結果がシステマティックである。日本・ハワイにおける私情を信ずる心の温かさとイソップの結末とのダイレクトな結び付きと、異なる考えの筋道がJ Bに見られているわけである。

イソップ物語りの「食べ物を与えぬ」というのは怠惰に対する戒めの教訓として共感を表明するということは、厳格な建前に同感する気持ちである。こういう建前をとる人の心が、私的信義（私情を重んずる温かい心）にかたむく、ということではないかと思われる。怠惰には、明確にけじめをつけることと私情を重んずる・人情の温かさの好みと呼応する形と見れば理解できる。いわゆる「古典的な」型の考えの筋道を含むものが現出しているように考えられる。一方、食べ物を与える方の回答は、心の温かさとあまり関係がない今日の欧米タイプの考え方と思われるのである。

大きな傾向が出たので、J Bのデータを詳しく分析してみよう。
年齢別からみよう（5以上の比率）。括弧内は日本人のデータ（％）

年令	S ₁	S ₂
1 8～2 9	7 8 （2 0）	1 7 （3 8）
3 0～3 9	4 9 （3 8）	2 2 （4 1）
4 0～4 9	3 8 （2 7）	2 2 （3 9）
5 0～5 9	5 8 （3 8）	2 4 （3 6）
6 0 以上	5 9 （3 7）	5 3 （4 5）

若い方では、S₁とS₂とで差は大きいが60才以上だと差が小さくなる。日本では年齢別の傾向ははっきりしない。

今度は日本スケール別にみよう。なお、日本人スケールの少ないものはS₁（S₂）に回答するものが少なく（多く）、日本スケールの多いものはS₁に回答するものがより多いという点は注目される。（％）

日本人 スケール	S ₁	S ₂
1	4 9	2 8
2	7 3	1 8
3	4 8	3 7
4	6 1	3 2

ここでは一定の傾向は出ていない。日本人スケールとは強い関係がないようである。
世代別からみるとどうか(%)。

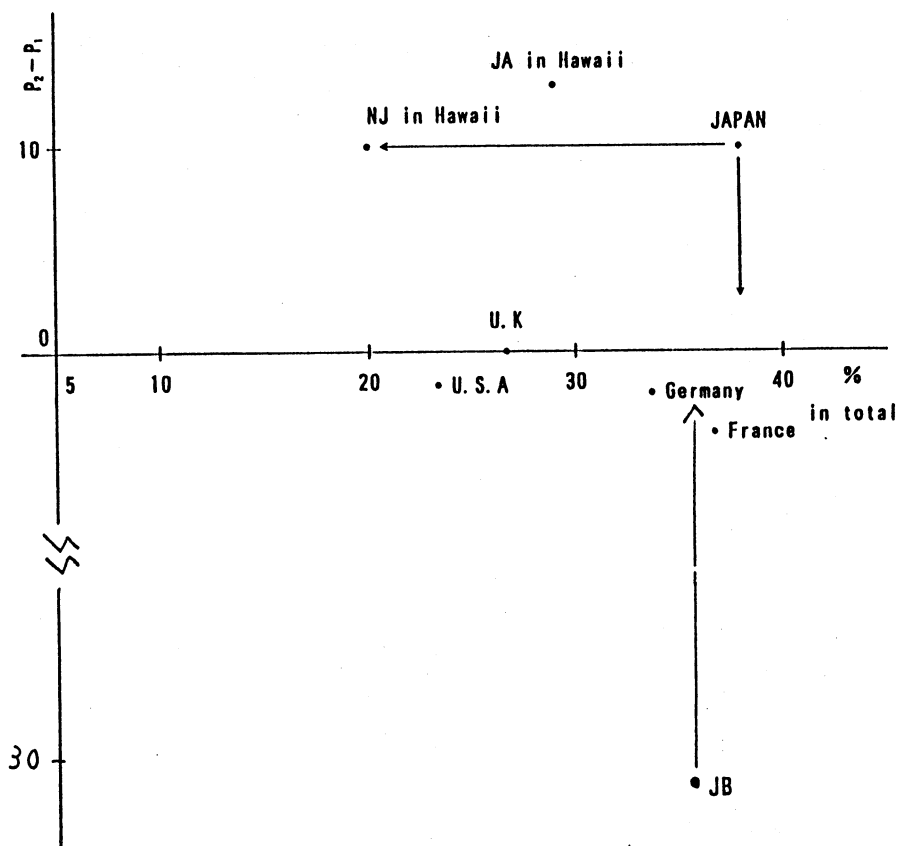
	S ₁	S ₂
1 世	4 5	4 1
2 世	6 8	2 5
3 世以上	5 7	2 1

で、2世・3世以上では、S₁における比率がS₂にくらべて大きい、1世出はその差は少なくなる。

1世では、「より日本に近い考え方」を持つものが多い傾向がある(60歳以上も同様)と見られる。

ブラジルのこの傾向は、日本やハワイと著しく異なる点は注目される。J Bが今日の日本やハワイに見られるようなダイレクトな関係を示さず、S₁、S₂を通してみると異った考えの筋道を示すのではないかと予想され、この点むしろ欧米的なものが見られるのではないか。これは興味ある問題でさらに検討を重ねばなるまい。なお、以下の図にこの関連性を図示しておく。

横軸に、スケール値5以上の全体での比率、縦軸に‘S₂におけるスケール値5以上の比率’から‘S₁におけるスケール値5以上の比率’を減じたものを目盛っている。ハワイと日本は縦軸で上方にあり、日本人、ハワイ日系人、ハワイ非日系の順に横軸で少なくなりアメリカに寄って行く。日本、ドイツ、フランス、ブラジル日系人は全体での比率は近いが縦軸の意味で差が出ている。日本は上方、ドイツ、フランスは軸付近、J Bは大きく離れて下方に位置している。こういう意味において、日系人は日本人と外国人の鎖になっているということがわかる。



4. 人間関係 (interpersonal relations) における日系人

人間関係のaffection scaleについて述べてきたが、さらにこれを拡大して同種のをあつめてみよう。この一部をなしているQ40 めんどくを見る課長、Q15 就職の条件のうちの「3. 気のあった人達と働くこと」、Q37で「2. 物事を決定するとき他人との調和をはかることに重点をおく人」をより好むか、Q19d「友人、知人を非常に大事にする（6あるいは7（最大）程度）」をとりあげてみた。この比率（％）を示すと次のようになる。

	J	J B	J A	ハワイ 非日系	A	ドイツ	フランス	イギリス
affection Scale	38	34	29	19	23	33	35	27
5以上の比率								
Q40 めんどうを みる課長	80	68	59	57	51	69	64	57
Q37 まるくおさめる 人を好む	68	67	72	67	47	62	66	52
Q15 気のあう人	29	12	22	13	11	20	7	15
Q19 友人・知人 非常に大事	67	78	65	58	63	63	49	57
(コード6、7)								

見やすくするため順位をつけてみると

	J	J B	J A	ハワイ 非日系	A	ドイツ	フランス	イギリス
affection Scale	1	2	5	8	7	2	2	6
5以上の比率								
Q40 めんどうを みる課長	1	2	5	6	8	2	4	6
Q37 まるくおさめる 人を好む	2	2	1	2	8	6	2	7
Q15 気のあう人	1	5	2	5	5	3	8	4
Q19 友人・知人 非常に大事	2	1	3	6	4	4	8	6
ランクの和	7	12	16	27	32	17	24	29

* 1%の差は同順とした。

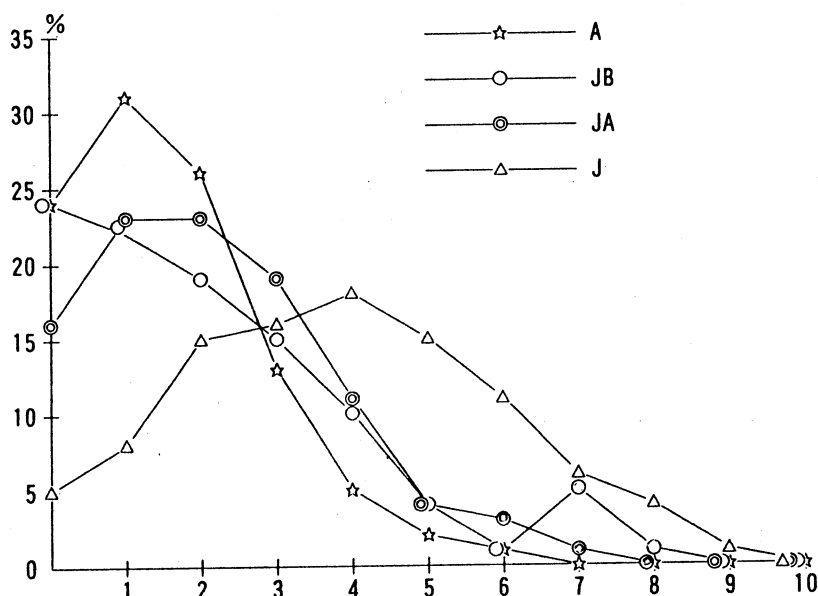
ランクの和の少ない順（つまり高いランクのもの、即ち人間関係の温かいと見える一日本の立場から一傾向）をみると、日本、ブラジル日系人、ハワイ日系人、ドイツ人、フランス人、ハワイ非日系人、イギリス人、アメリカ人となり、人間関係では日本の温かさ好み、アメリカのドライな好みが両極で日系人（ブラジル、ハワイ）は日本寄りで中間にあり、非日系（ハワイ）もイギリスと共に中間にきている。ドイツは温かい方である。フランスは前三者は温かい方の好みであるが後の二つで異なった反応をしており考えの筋道は明らかに異なる。この点アメリカも少し異なるようであるが、全体的にドライである。

いずれにせよ、人間関係で日系人は日本寄りの鎖を示し、他国との間にある。ハワイの日系人はめんどうをみる課長のみは、アメリカ寄りであるのは注目してよい。ブラジル日系人は、気の合う仲間と働きたいというのは低いが、ハワイの日系人・ブラジルの日系人は総合して似ており、ともに日本寄りでブラジルの方が一層日本寄りである。

5. 中間回答について

日本人に中間回答が多く且つ特徴的であるということは、これまでの調査で大よそ見当がつけられている（林, 「調査の科学」講談社, 1984; 林・鈴木「社会調査と数量化」岩波書店, 1986; 林, 「日本人の心をはかる」朝日新聞社, 1988）。ここでは、国際比較で用いられている質問項目のうち中間回答のある質問が10問あった（Q12、21、22、24、25、26、51の a, b, c, d）ので、この10問中何個中間回答をしているかをスケール値として分布をとってみた。日本人の調査では、中間回答の分布は中高の形をしていることがわかる。日本、ハワイ日系人、アメリカ人、ブラジル日系人の関係は図に示されている。アメリカをみるとはるかに少ない方に寄っている。その中間にハワイ住民がくる（詳しい分析では、日系人がやや日本寄り、非日系人がややアメリカ寄りにあるという興味ある形が出ているのである）。この意味においても、ハワイ、日系人が日本とアメリカの鎖をなしているということが出てきており、ハワイ、日系人というのは、なにがしか日本的雰囲気を持っている。つまり、日米の橋渡しの形になっているということを知るのである。

中間回答分布

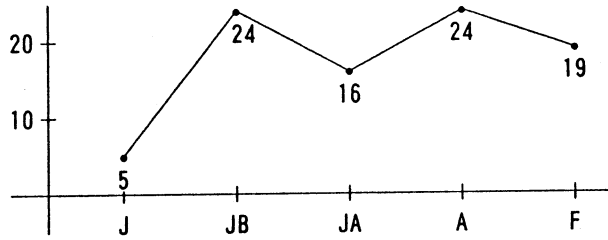


J Bの形は、J Aとも異なり、0の所はAと同じであるが、そのあとは中間回答の多い方に流れるのである。いわゆる0のところと多目のところとの二極の (bipolar) 構造があるのではないかと考えられる。

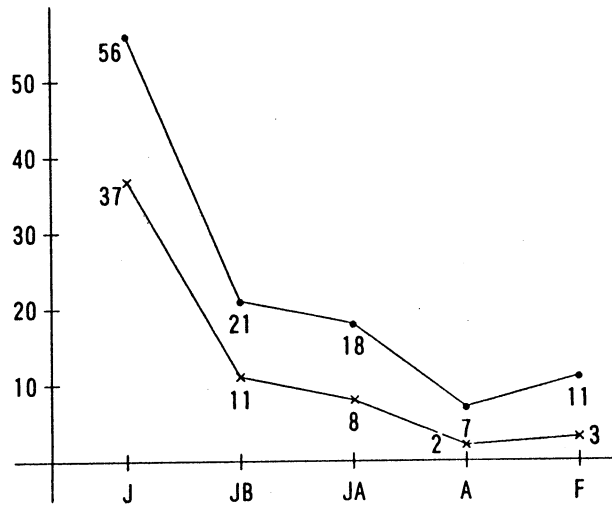
見やすくするためにまとめてみると下の図のようになり、J BはJ Aとよく似ているが、多いところでは僅かであるが日本寄りである。J Bにおいても、中間回答が、人間関係とともにJよりであるところが興味深い。

中間回答

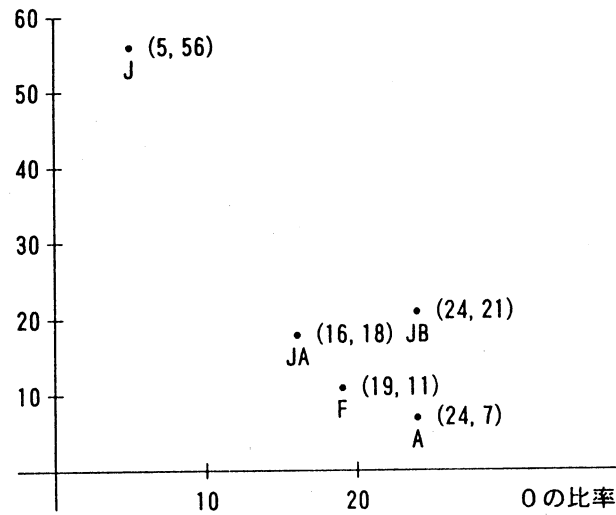
0の比率



4以上の比率（5以上の比率）



4以上の比率



J Bの中をみると、0のところは男19%、女29%と女がよりはっきり割り切ったものと言うことがわかる。4以上（5以上）は男で26%（14%）、女15%（6%）でやはり男の方に中間回答が多い。女の方がより日本的傾向が薄いことになる。年令別では0の所は一定の傾向はなく（10才刻みで20%、18%、12%、42%、26%）、4以上で順に20%、28%、11%、19%、28%という形で変動が多く、傾向は見えない。世代別にみると0の所で1世22%、2世29%、3世17%、4以上では37%、12%、25%で2世が一番はっきりものを割り切って言い、次が3世、1世は二つのタイプがあるように見える。2世と3世を加えると0の所は1世22%、2+3世24%と差はないが、4以上（5以上）は、37%（26%）、17%（7%）となり、0の所の差はないが、中間回答の多いのは1世である。2+3世はすなおに中間回答の少ない方に流れているが1世には前述のように、2つのタイプがあることが知られる。

J Bの内部での中間回答のあり方には屈折したものがある—単純に残っていると、同化されているとか言うのではなく、社会適応のあり方の差が見えると言ってよいのかも知れない—が、大きく括って考えるならば、J Aと近い形があり、とりあげた諸外国—残念ながらブラジル非日系人がない—と差があり、日本的な傾向を残すものと言ってよからう。

この点をもう少しはっきりさせるために、J Bで日本人スケール4（本章8参照）のところを取りあげ、これの年齢分布を揃えて計算したJとの比較を試みよう。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
J Bの日本人 スケール4	15	17	10	11	14	15	0	24	4	0	0	0
Jで上述と 年齢分布を そろえたも	5	9	12	16	16	14	13	7	6	1	1	0

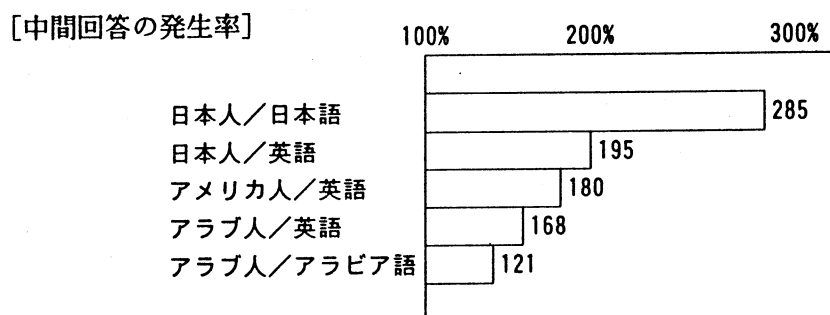
これをみると二極構造がよくよみとれる。0が15%、0と1とあわせると32%、Jでは0が5%、0と1をあわせると14%と少ない。しかしJ Bでは7のところは24%（7以上28%）、Jでは7のところは7%（7以上15%）である。つまり、J Bの日本スケールでは、はっきりものを言うタイプとはっきり言わないタイプの二極が少なく中間が多いという形になっており、前述したように、同調（適応）と固持（残存）の二つの極があることを示唆している。

この点義理人情スケールという人間関係の場合と異なった様相が見える。

なお、中間回答に対して、統計数理研究所の鈴木達三、ハワイ大学政治学部の黒田安昌による興味ある結果が発表されているのでそれを引用しておこう。学生調査によるものであるがなかなか示唆的である。

比較調査の調査質問のうち中間回答（「どちらとも言えない」「場合による」といった回答）の発生率を日本人、アメリカ人、アラブ人についてまとめてみる。集計に用いた質問は「子供に金は最も大切なものと教えるかどうか」「科学技術の発達によって人間らしさが無くなると思うか」「どんなに機械化が進んでも人間の心の豊かさはなくならないと思うか」「先生が悪いことをした、と子供が言ったときそれが事実と知っていても否定するか肯定するか」「自分が正しいと思ったことは世の中のしきたりに反してでも押し通すか」の5問。それぞれの中間回答の単純合計である。

この結果日本人が最も多く、アメリカ人が中間、アラブ人は英語の調査ではやや多いものの、アラビア語での結果では日本人の半分以下と少ない。これを見る限り中間回答好みの日本人、はっきりしたアラブ人という傾向がうかがえる。



記号の説明…A/B Aに対してB語の調査で質問した場合をさす。
いずれの場合も、大学生調査である。

6. 義理人情という考えの筋道

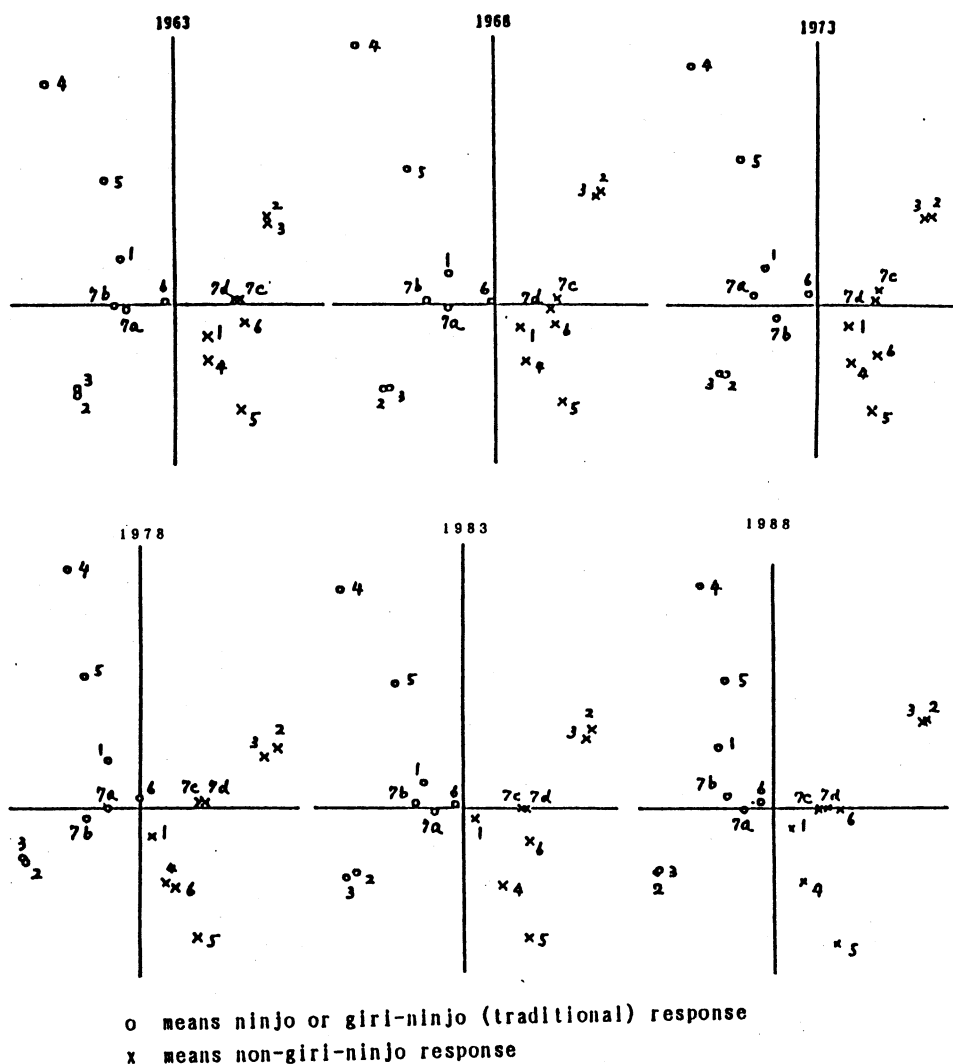
義理人情スケールを作ったときの質問を再びここでとりあげる。つまり、Q30、31、32、38、39、40、35である。これをもとにして、日本人の義理人情的考えの筋道を考察したものがあるので次に引用しよう。図ではQ30→1、Q31→2、Q32→3、Q38→4、Q39→5、Q40→6、Q35→7（a、b、c、d）と書いてある。

各質問別の回答により意見分布を知ることが出来るが、質問群を通しての意見の構造を明らかにすることの重要性は多くの機会でも論じてきたので繰返さないが、これを「考えの筋道」と名づけ、意見分布を越えた深い意味を我々は与えている。質問群を貫流して見出される「考えの筋道」すなわち「思想」をとらえるために、パタン分類の数量化（数量化Ⅲ類、フランス流に言えば、コレスポンデンス・アナリシス）を用い、そのデータ構造をさぐり出すことになる。データ構造による日本人の集団構造一心の構図一の顕在化ということができる。

日本人における大きな特色と言われている人間関係に関するもののうち義理人情に関係するものを取りあげるが、この質問群は上に示す通りである。一つの質問の一つの回答だけ見ると人情的、あるいは義理人情的と思われるものとそうでないものにわかれる。義理人情的と言い切るには、前述したように回答をくみあわせてみる必要がおこってくる。なお、ここでとりあげた質問群は、典型的な義理人情に関する質問ばかりでなく、それに深く関係すると考えられるものも含めてある。ここで一言付加えると、義理と人情とを対比させるのではなく、両者を考えあわせる考え方を見ようとするのであり、義理人情的と義理人情的でないという立場で考えているということである。

とりあげた質問群（注：前掲のもの）に対してパタン分類の数量化を用いてみるのである。数量化の結果の図を以下に示すが、25年間全く安定した構造を示している。第1軸（X軸）で、人間的・義理人情的回答とそうでない回答が左右にきれいにわかれ、こうした考え方の存在の安定性が認められたと言ってよい。第2軸（Y軸）をみると、これは問31、問32および問38、問39の関係で、ともに会社の場面設定の差異であり、この両者の回答をわけることになっている。両場面は、それぞれ第二次的には異なる考え方が働くことを意味しており、人情的・義理人情的（人情的・義理人情的でない）考え方の中での差異ということができる。

このように安定した構造、つまり人情的・義理人情的とそうでないものを対比させて考える考え方の根深さ、根強さが示されているということができる。

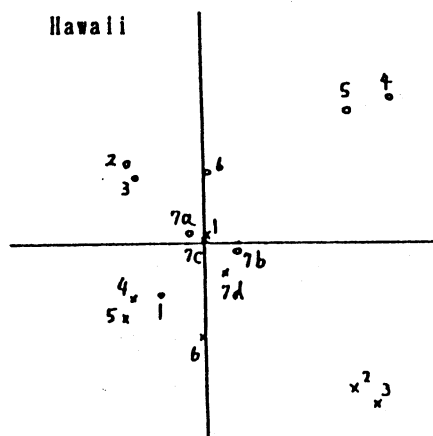


Stability of configuration of giri-ninjo attitude in Japan

これは全体的傾向だけではなく、年令別にみる時、20才台の年令層や他の年令層で、間々90° 以内の回転をしている図柄も見られるが、年が経つと（加齢により）通常の形になる。大局的に言えば各年令層で抜本的な差異がないのは注目すべきであり、上に述べた根深さ、根強さを裏書きするものがあると言えよう。第8回国民性調査（1988）について分析した結果においても、同じような形がみられる。このなかで、20才台の前半・後半ともに90° 回転した図柄がみられること（1983年も同様）が注目されるが、30才以上では全体と同じ構図である。前述した義理人情スケール値の分布では第7回調査までとくらべて特に違いはないので、従来と同じく一時的とも思われるが、一応注意はしておきたい。

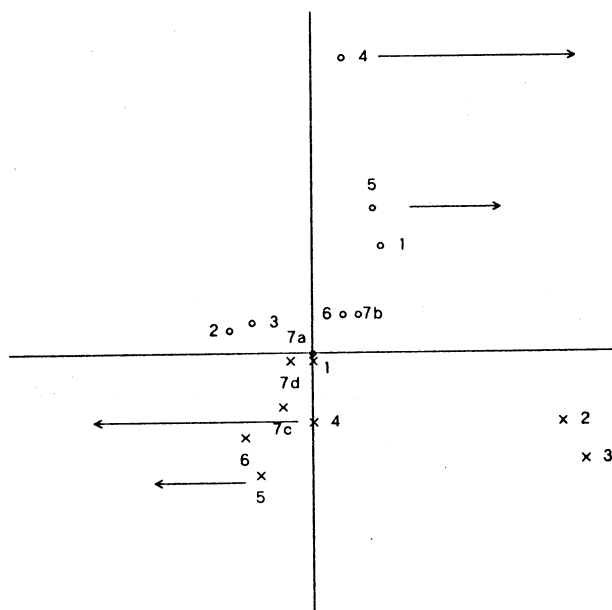
時系列的安定性をみたので、こんどは、空間的な広がり、つまり国際比較の立場も含めてみてみよう。

まずハワイの住民の結果（日系人の標本数が少なく、日系人、非日系人それぞれの分析結果が不安定なため、両者を合わせたものを用いた）を示すと次のように90°回転した図柄が得られる（1988）。



ハワイの日系人は、これまで（1971、1978、1983）、相対的位置はそれほど日本と変わらないが、90°回転した図形の見られることが知られており、1988年調査でも同じような図柄であった（サンプル過少のカテゴリーに特異な位置のものがあったが）。日本の年齢別でもこうした形が時に見られるので、日本とかなり近いということが言える。諸外国では、やや異なった位置が出ている。

J Bについてみると、ブラジル全土においては、ハワイのデータと同様に90°回転した形が得られている。点の相対的位置は（4、5を別にすれば）大体日本の場合に近い（矢印の方に移動すればほぼ同一になる）。



上の点ハワイよりもJに一層似た図柄と言えよう。

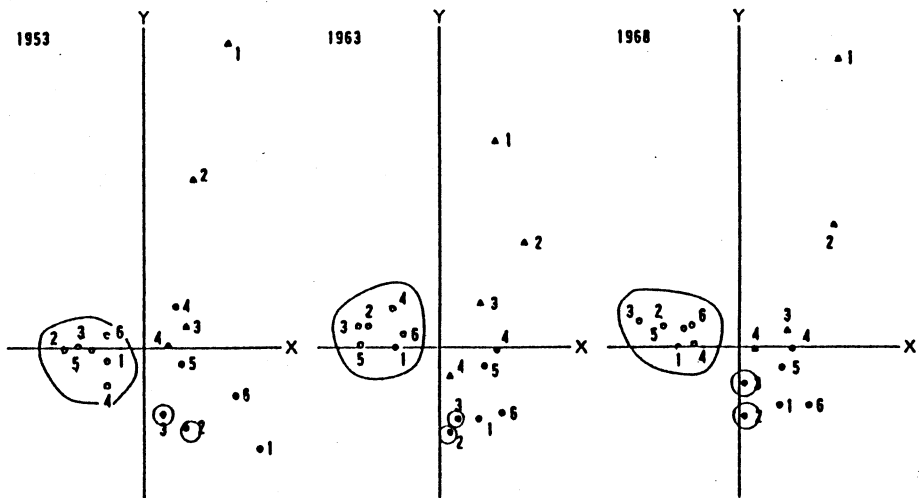
1. の義理人情スケールのところで、スケールの値から議論をしたのであるが、回答の関連性に基づく考えの筋道の分析においても、J A に似ておりまた J により近いことが示されたのである。

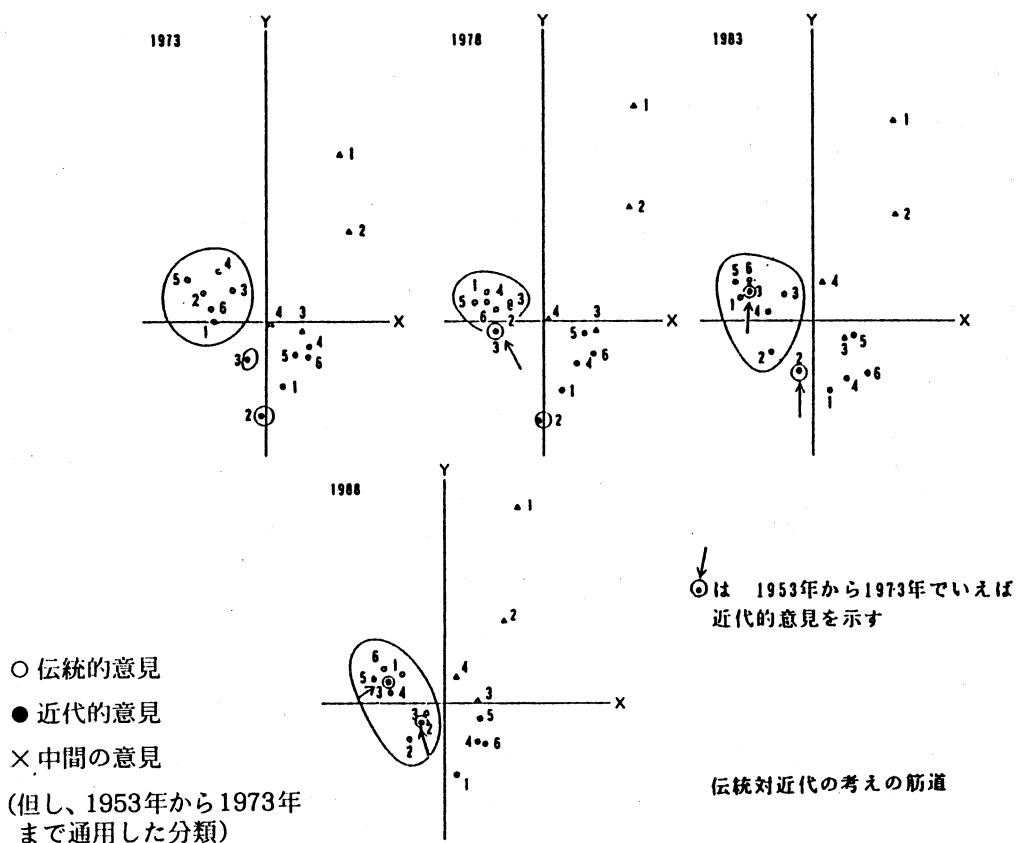
7. 伝統対近代という考えの筋道

ここでとりあげる質問群は、伝統対近代に関するものである。いろいろの領域における伝統的・近代的とみられる回答を含む質問群で、前に述べた人間関係に関するものは除いた一般社会事象、身近な社会事象に関するものである。質問は次の通りである。

- Q12 他人の子供を養子にするか (図中の記号 1)
- Q22 金は大切なものの一つか (図中の記号 6)
- Q24 政治家にまかせるか (図中の記号 5)
- Q25 しきたりに従うか (図中の記号 2)
- Q33 自然と人間の関係 (図中の記号 3)
- Q34 国と個人の幸福 (図中の記号 4)

ここです、日本の時系列データに対してパタン分類の数量化を行ってみると次のようになる。





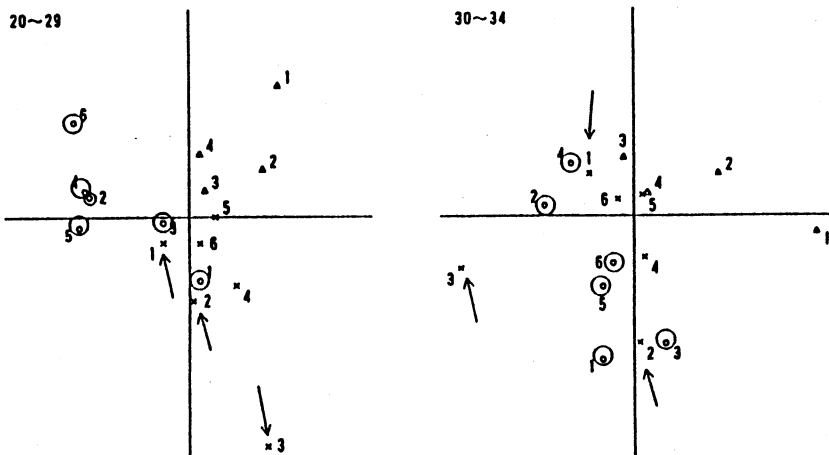
図中の○印がいわゆる伝統的回答、●印が近代的回答、△印が中間の回答である。図をよくみると、1953年から1973年の20年間は、伝統的回答が強固に固まり、右下に近代的回答が集まり、右上に中間回答が付置されるという構造が読み取れる。ここにとりあげた質問をみたとき、回答の構造からみると、とりあげた質問を貫流して伝統的回答と近代的回答を常に対比させる考えの筋道のあることがわかる。根強い考え方の筋道が見出されるのである。しかし、1978年になると近代的な回答とみなされるものが、伝統的回答群に入りこんできて、考え方の様相に異なるものが現れ始めたのを読み取ることができる。全体におけるこの変化は、大きな兆しを現わしていることがこれから述べる分析でよく解ってくる。

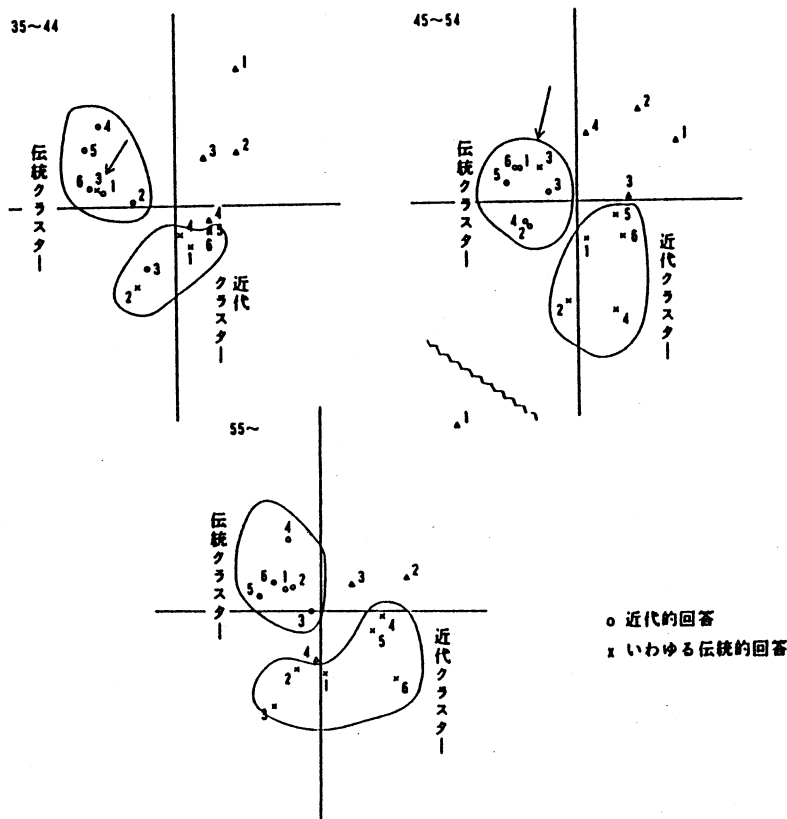
さて、1983年になると一層この傾向が顕著になり、伝統的意見の固まりの範囲が広がり、1988年においても一層この傾向が明確になってきた。1973年の兆候は見のがしてはならないのである。1953年以来データ構造として見出されたいろいろの事象に対して、それらをひっくるめて、伝統と近代を対比させる考え方が、崩壊し始めたのは日本人の心の大きな変化である。1973年以前では、伝統的意見の定義は、高年令層ほど支持することが多い意見、若い年令層ほど支持することの少ない意見というように言ってよかった。一方近代的意見は、若い年令層ほど支持する比率が多く、高年令層ほど支持することが少ない意見というように定義することができた。そして、意見の時系列をみると、変化しないが、変化するとすれば伝統的意見が減り近代的意見が増加するという「近代化」の単純な傾向がみられた。それが1973年で少しくずれ出し、1978年で大きく崩れ、そのような定義が成

立しなくなった。若い年令層に伝統的な意見が多く支持されるものが出てきたのである。これをみて、若者の保守化、伝統回帰という説明がなされることもあった。しかし、これは見当外れの意見であることが以下の分析で明らかになる。

1978年の段階で、伝統対近代という対比の考えの筋道が崩れ出したので、年令別に回答パタンの分析を行ってみた。この結果をみると、どの年令層でも、1973年までは全体と全く同じような、伝統対近代という考えの筋道が強固に現れていた。比率の上における近代化志向の傾向も上述の通りであった。つまり、伝統と近代とを諸事象において対比させて考えた上で古い、新しいという発想の上にたって近代化の方向を辿る、という構図である。これが1978年の20才台の前半、つまり20～24才において崩れ始めたのである。伝統的回答の固りがゆるくなり、近代的回答がその中に入りこんできたのである。この傾向は、1983、1988年と継続して見られる、あれほど強固であった考えの筋道が崩れ出したのである。これと時を同じくして伝統的回答が全体でも若い層でも増えてきたのである。若い層は、単なる回帰ではなく、伝統対近代という考えの筋道が崩れ出した上での伝統的回答が増えたということであって、伝統回帰という旧来の考え方そのものが通用しなくなっているといえることができる。さらに、20～24才の層が25～29才の層より伝統的回答の比率が高くなる質問が数多く見られるようになってきた。

1988年の年令別パターン分類の結果を以下の図に示すが、面白い形が出ている。34才までをみるといわゆる伝統と近代との回答が入りまざり、伝統的回答が大きくばらつくことになる。30～34才の層は1978年では、20～24才であり、はじめて、伝統対近代の考えの筋道の崩壊の兆しを見せ始めた層である。35才以上になると伝統対近代の考えの筋道がやはり存在するとみられる。伝統的意見群がかなり狭い範囲に固まっている。しかし、質問33の近代的回答（自然を征服）が伝統的回答の中に入りこんでいるのが一つの特色となっている。45～54才になると質問33の伝統的・近代的回答が同時に伝統的回答群の中に入りこみ、他の質問回答と無関係な様相を示している。55才以上になると、全く従来と同じく伝統的回答群が狭い範囲に固まり、従来の考えの筋道、伝統的近代を対比して考える考え方がしっかり根を下ろしていることがわかる。ここに、考えの筋道の上での年代のギャップがあらわれているのである。





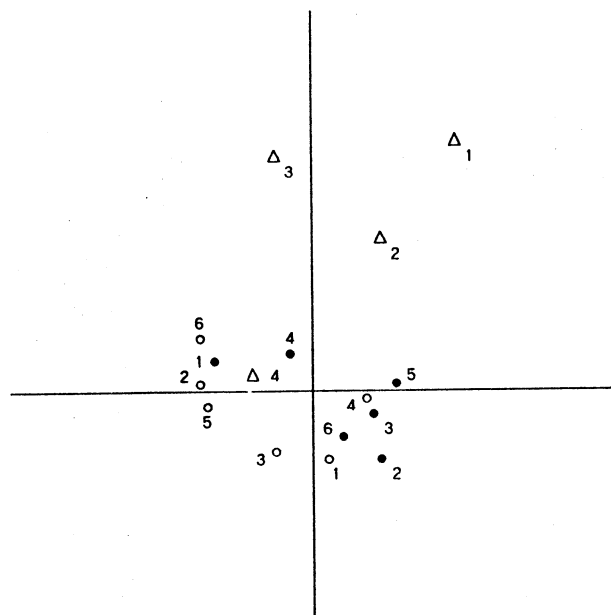
年齢別考えの筋道 (1988年)

高年令層が若い年令層をみるときの問題がここにあり、すれ違いの様相を呈する可能性、ピント外れの解釈の可能性を示唆しているということができる。

以上、日本における強固な考えの筋道とその前提の様相を示してきたが、このような強固であった伝統対近代の考えの筋道は外国ではどうであろうか。国際比較のデータによれば、ハワイの日系人も含めて、こうした形は全く現れていないのである (1978年、1988年のアメリカ、ハワイの日系・非日系、1987年のイギリス、ドイツ、フランス)。なお、アメリカでは1978年、ハワイでは1971年、1978年、1983年のデータもあるがこれと同様の傾向であった。各質問それぞれにおいて、考え方の上で伝統と近代というわけ方ができたとしても、それらを統轄した形で伝統対近代というものの見方をしていないということである。日本における1つの特種な見方であったということが出来るが、これが崩壊しつつあることに注目する必要がある。

それではJBはどうであろうか。上述の質問を用いパターン分類の数量化を行い、そうした考えの筋道があるものかどうか探ってみた。

ブラジル全体においては、JAと同様に全くそうした考えの筋道を下図に示すように見出すことができなかった。



しかし、今日における日本とブラジルのそうした考えの筋道のないその「なさ」の様相は異なっている。日本の場合は、伝統のクラスターの中に、質問25のしきたり、Q33の自然と人間における近代的と見做された回答が入りこんできた形になっている。まず自然と人間の質問で崩れ、次にしきたりの質問が入ってくる形である。ブラジルの場合は、問12養子、問34国と個人の幸福の近代的回答と伝統的回答と見做されるものが入れ換わった形でそうした考えの筋道が見出せないのである。

こうした質問における回答の結び付きの具合が日本とブラジルで大きく異なっていること、つまり、考えの筋道が大変異なっていることが知られる。

こうみてくると、今日は別として、かつて日本に根強く存在した、伝統対近代の考え方は特種なものであったといえることができる。

8. 日本人スケール

この分析はJAについて行ってきたものであるが、今回も行ってみることにする。これは日本・日本語との関連の強さを見るもので、日本人スケールと名づけているものである。

質問は日本との関連をみようとするもので、次のようなものである。日本人であれば殆どすべての質問で日本的というようなものである。

図中の
記号

N F. 1 暗算をする時には、あなたは日本語でしますか、それともポルトガル語でしますか。

1. ポルトガル語です (0)
2. 日本語です (2)
3. ポルトガル語・日本語両方です (あるいは混ぜてする) (1)

O F. 2 あなたは新聞を良く読みますか。

1. 全く読まない (0)
2. ときどき、読む - a. ポルトガル語の新聞をときどき読む (0)
b. 日本語の新聞をときどき読む (1)
3. 定期購買している - a. ポルトガル語の新聞を定期的に読む (0)
- b. 日本語の新聞を定期的に読む (2)

P F. 3 あなたは日本音楽が好きですか、それともブラジル音楽が好きですか。

1. 両方とも好き (1)
2. 日本音楽が好き (2)
3. ブラジル音楽が好き (0)
4. 両方ともきらい (0)

Q F. 4 あなたは日本のビデオを見ますか。

1. いつも見ている (2)
2. ときどき見ている (1)
3. 見ない (0)

R F. 5 あなたの友人関係について、お尋ねします。あなたの友人に関してあてはまるのはつぎのうち、どれですか。

1. 私の友人は大多数が日本人か日系人です (2)
2. 私の友人には日系人も何人かいますし、非日系人の友人も何人かいます (1)
3. 私の友人は大多数が非日系人です (0)
4. 私の友人には日本人・日系人はいません (0)

S F. 6 あなたの職場の人間関係について、お尋ねします。あなたの職場の同僚に関してあてはまるのはつぎのうち、どれですか。

1. 私の職場の同僚は大多数が日本人か日系人です (2)
2. 私の職場の同僚は日系人も何人かいますし、非日系人の同僚も何人かいます (1)
3. 私の職場の同僚は大多数が非日系人です (0)
4. 私の職場の同僚には日本人・日系人はいません (0)

T F. 8 あなたが手紙を書くときには、ポルトガル語で書くほうが簡単ですか、それとも、日本語で書くほうが簡単ですか。

1. 日本語のほうが簡単 (2)
2. ポルトガル語のほうが簡単 (0)
3. 日本語・ポルトガル語で書くのに、大きな違いはありません

U F. 10 あなたは日本語学校に何年通いましたか。

_____年間

- { 行かない (0)
 1～5年 (1)
 6年以上 (2)

以下は、JICA調査における回答の転記による。

V J 1 世帯としての日系団体加入

1. 加入 (2)
2. なし (0)

W J 12 個人としての日系団体加入

1. 加入 (2)
2. なし (0)

X J 14 ファーストネームに日本語あるか

1. あり (2)
2. なし (0)

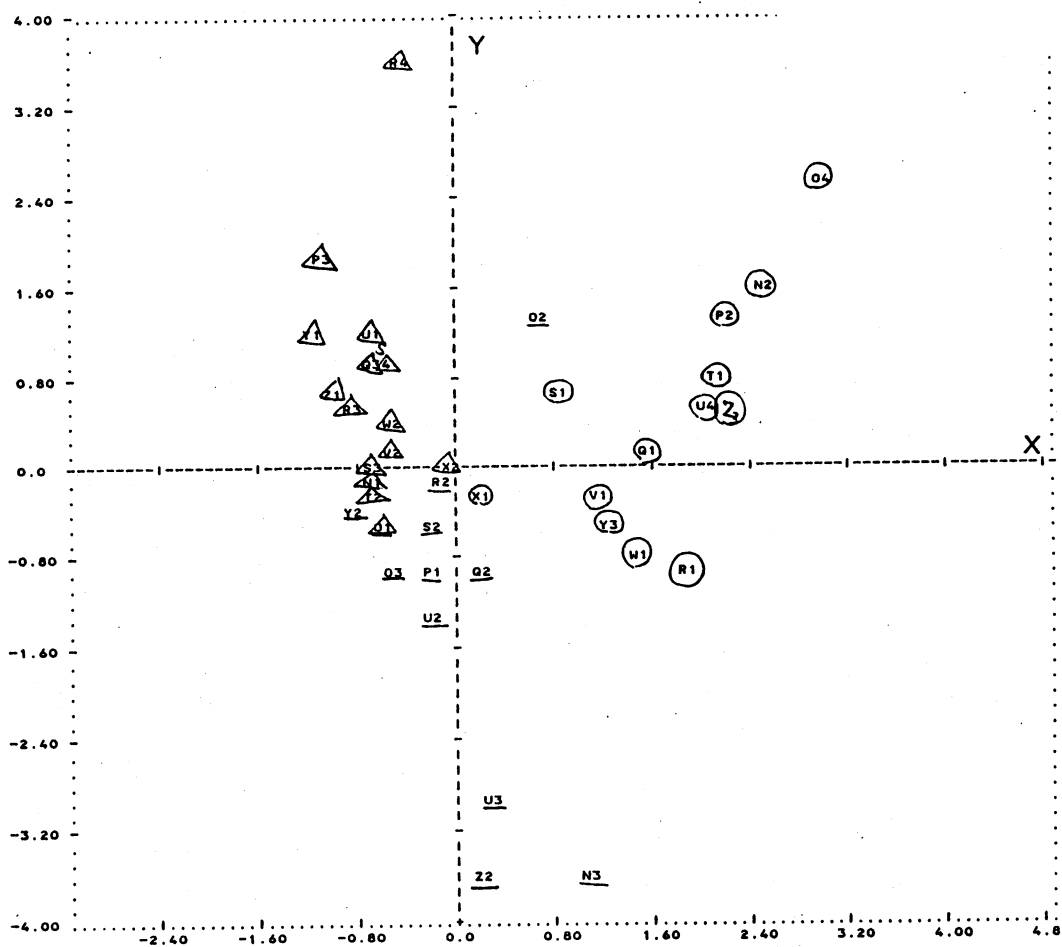
Y J 27 日本語の会話

1. 全くできない (0)
2. 少しできる (1)
3. 十分できる (2)

Z J 28 日本語の読書

1. 全くできない (0)
2. 少しできる (1)
3. 十分できる (2)

以上、13問を用い、スケールができるかどうかをみるために、パタン分類の数量化を行って見たところ下の図のようになった。この図で○印は日本・日本語と関係の深いカテゴリー、アンダーラインは中位、△は関係の少ない方をあらわしている。1次元目の横軸をみると○印が右側、△が左側、アンダーラインが○と△の間に散らばるという形をしていることがわかる。



このように得られた構図は、とりあげた質問が、日本人スケールをしていることを意味している。そこで、得られた数値を用いてもよいのであるが、解りやすいために、日本・日本語との関連の強い方（○印）に2、少ない方（△印）に0、中間に1という数値を対応するカテゴリーに与え反応したカテゴリーの数値を加算して、日本人スケールを作ることとした。この数値は前記の質問文の回答カテゴリーのあとの括弧の中に示してある。日本人であれば大半の項目で2の数値を持つものであるからこの数値の多いものは日本的な状況にあると言える。

これは0から26まで広がるが、バラックので分布を次の4分類に区切った。

0～4、5～9、10～16、17以上である。それぞれの比率は32%、33%、22%、13%となる。これを1世、2+3世でどうなるかをみると(%)次の表ようになる。

日本人スケール分布

	1 0～4	2 5～9	3 10～16	4 17～	合 計
1 世	0	1 2	2 7	6 1	1 0 0
2 + 3 世	3 9	3 8	2 1	2	1 0 0

10～16位のところが1世、2+3世で同じ位あり、1世はそれ以上、2+3世はそれ以下が大きな部分を占める。

このほか日本人スケールが、属性でどうなっているかを調べてみると次のようになる。

性	1	2	3	4	計
男	3 2	2 9	2 3	1 6	1 0 0
女	3 1	3 9	2 1	9	1 0 0

年令	1	2	3	4	計
～29	5 7	3 5	7	1	1 0 0
30～	4 7	4 0	1 3	0	1 0 0
40～	4 2	2 8	2 8	2	1 0 0
50～	1 1	4 1	3 4	1 4	1 0 0
60～	3	2 1	2 9	4 7	1 0 0

年令との関係も明瞭であるが、世代の方が差は大きい。

9. 日本人スケールによる分析

ここでは、日本人スケールの4段階で質問やスケールの分布がどう異なったものになるかを分析してみよう。

義理人情スケール (%)

	0	1	2	3	4	5	計
1 *	2 1	4 8	1 5	1 6	0	0	1 0 0
2	2 0	4 9	2 7	4	0	0	1 0 0
3	1 5	3 7	4 1	6	1	0	1 0 0
4	2	3 5	3 2	2 8	3	0	1 0 0

*コードの説明

1. 0~4 3. 10~16

2. 5~9 4. 17~26

日本人スケールとの関係は明瞭である。

affectionスケール (人情スケール)

	5未満	5以上	計
1	7 3	2 7	1 0 0
2	6 7	3 3	1 0 0
3	6 2	3 8	1 0 0
4	5 2	4 8	1 0 0

ここでも、日本人スケールが多くなると、人情スケールでも多くなることが読める。

ここで、イソップ物語りの回答との関係をみよう (問17)。

	追り返す	食べ物を与え 諫める
1	1 1	8 8
2	2 2	7 4
3	2 8	6 8
4	2 2	7 7

注：その他、わからないがあるため横計は100にならない。

ここでは素直な関係は見られない。したがって、イソップの回答と人情スケールの関係は、日本人スケールを介してダイレクトに推論されるように単純なものではない。前の節で述べたように、回答の中味に屈折したものを含むことが考えられるのである。

中間回答スケール (%)

	0の比率	4以上の比率	5以上の比率
1	20	21	12
2	31	14	2
3	23	18	9
4	15	47	33

日本人スケールの多いところは中間回答が多く出るが、それ以外の関係は直線的ではなく、別の強い要因（年齢とか学歴とか社会環境とか）が加わっているものと考えてよい。

世代 (%)

	1世	2世	3世
1	0	38	<u>61</u>
2	7	<u>62</u>	31
3	23	<u>64</u>	12
4	<u>90</u>	7	3

注：このほか、「その他」がある

日本人スケール3、4をもつものの中に多くはないが3世が存在している。スケール1は3世、スケール2、3は2世、4は1世というのが特徴的であるがそれからのズレに注目してよい。

国際比較のデータのある各質問別にみて、日本人スケール1と4との間で直線的に大きく差の出るもの（30%以上）のみを拾ってみると次のようになる。

Q22 金は大切なものの一つと教えるか

	賛成	反対	いちがいに いえない
1	18	66	15
2	22	70	6
3	28	56	13
4	29	27	33

日本人スケールの多いところで反対が少なく、いちがいに言えないが多く、日本的である。

Q25 しきたりに従うか

	おし通す	従 う	時と場合による
1	<u>5 9</u>	3 1	9
2	<u>4 6</u>	3 6	1 8
3	3 2	<u>4 4</u>	2 1
4	1 2	3 0	<u>4 9</u>

日本人スケールと共に従えがまず増加し、さらに日本人スケールが多くなると時と場合によるがふえるという面白い形である。

Q35 b 恩返し

日本人スケールの上昇と共に33%、41%、46%、64%と増大する。

Q26 人間らしさへるか

	賛 成 (へらない)	反 対 (へ る)	いちがいに いえない
1	4 8	4 8	2
2	6 0	2 7	7
3	4 6	3 1	1 4
4	5 7	1 3	2 8

日本人スケールの多い所で「へる」という回答の所で大きく差が出るし、またいちがいに言えないという回答も多い。これは必ずしも今日の日本に近いとは言えないが（1953年の日本ではへらない58%、へる17%、いちがいにいえない8%）、いちがいに言えないが1953年は少なかったが傾向はそれに似ている。

Q33 自然と人間

	従 う	利 用	征 服
1	3 3	1 2	4 3
2	5 4	9	3 1
3	4 1	1 5	3 9
4	5 8	3 2	9

今日の日本の傾向は、従う37、利用48、征服5となっている。日本人スケールの大きいところの傾向も日本のふるい時代の様相とも同じでないが、征服の少ないところは今日の日本に似ている。

Q35 権利（自由）

同様に41%（43%）、38%（33%）、25%（30%）、17%（9%）となる。

差は20%位であるが日本において特に支持の高いめんどろをみる課長（Q40）の支持をみると、68%、57%、71%、89%という形になっている。

これまで日本人スケールの度合による意見をみてきたが詳しくは付録4を参照されたい。通覧するに、日本人スケールの多いところは、日本人の意識に似ているところもあるが、必ずしもすべて今日の日本の意識と同じということではなく、また昔の日本の様相を持っているとも言えない。このグループも、やはり日本人的特色を示しながら、それなりの特色を持っているということができよう。

さらに、日本人スケール4のところの年令分布と同じ年令分布をもつ日本人集団を考え（日本の年令別データを用いて推計を行う）、それらを比較することも興味あることであるが、これは、これからの分析に委ねよう。

10. J B調査の位置付けと意義

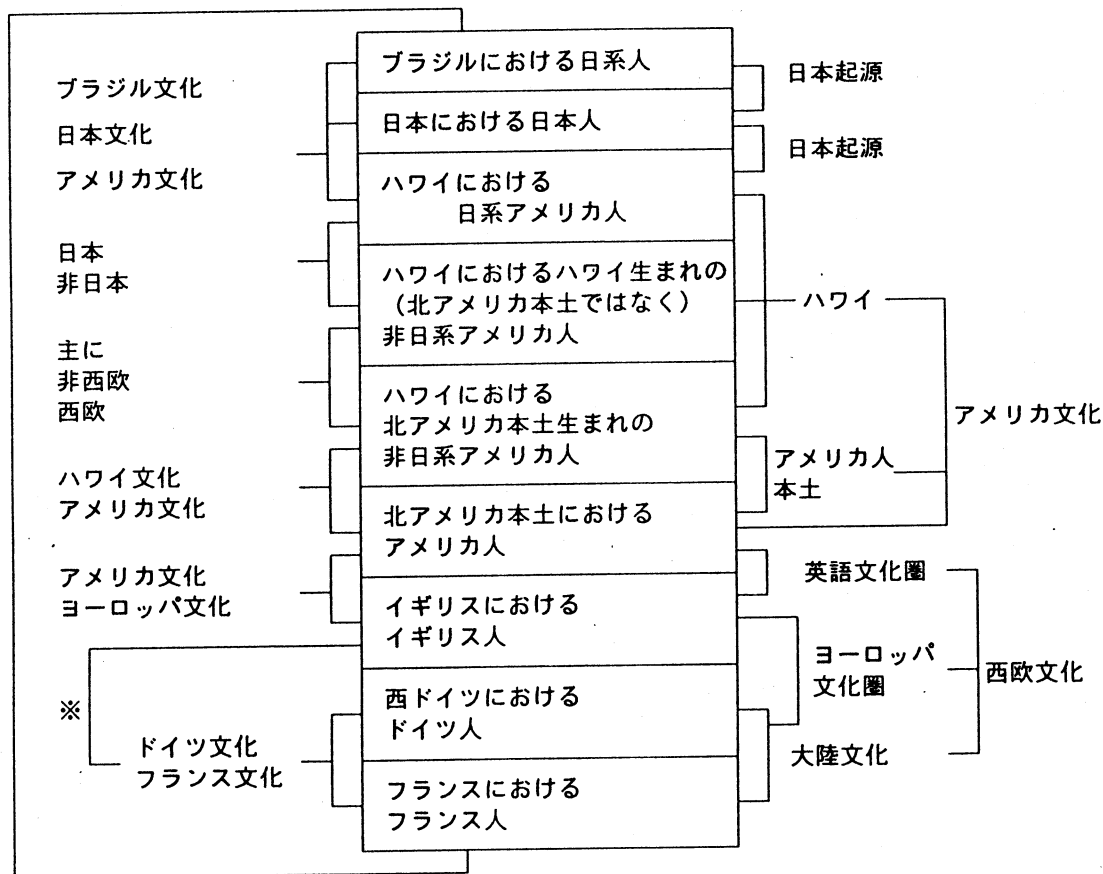
J Bにおける調査は、統計数理研究所のグループ（本研究の日本側研究者が主なメンバーになっており、この他三宅一郎、佐々木正道が加わっている）の行っている意識の国際比較調査の中に位置付けてみることができる。この国際研究は、意識の連鎖的比較調査分析法（Cultural Link Analysis C L Aと略称）という方法で、似たところと異なったところを鎖の環のように繋げて、異なる文化圏に属する人々の意識のあり方を理解、且つ相互理解に結び付けて行こうとするものである。ブラジルの日系人をこれまで行ってきたC L Aの中に位置付けると次のような形になる。

上端のJBと下端のフランスは、ラテン文化の中にあるという点で類似し、日本起源とヨーロッパという点で異なっている。

連鎖

差異

類似



※ 英国文化圏
大陸文化圏

これまで行ってきたデータの分析においてJBの調査はJ、JA、フランス、アメリカといったものに対する鎖を上述のスキームのように形成していることが理解され、相互の似たところと異なったところがこのスキームにそって読み解かれることが解った。

第4章 特種地域トメアスーとマリंगा在住者の意識

4. 1 トメアスーとマリंगा在住者の意識の特徴

調査の実施のところで述べた通り、調査を実施した。両地域とも、日系人の多く在住するところである。

まず、ブラジルのみの質問、問6、問7をみよう。

問6 日本に行ったことがあるか (%)

	は い	いいえ
J B	1 5	8 5
トメアスー	4 1	5 6
マリंगा	1 4	8 4

マリंगाはJ Bと近いがトメアスーは異なっている。

その目的をみると、トメアスーの親戚訪問が22%で、マリंगा6%、J B 6%と異なっている。

問7 日本に行きたいと思うか (%)

	行きたい	いいえ
J B	8 6	1 4
トメアスー	8 4	1 3
マリंगा	8 6	1 1

これについては差はなく、行きたいが極めて多い。

目的では次の通りでトメアスーの親戚訪問が多い (%)。

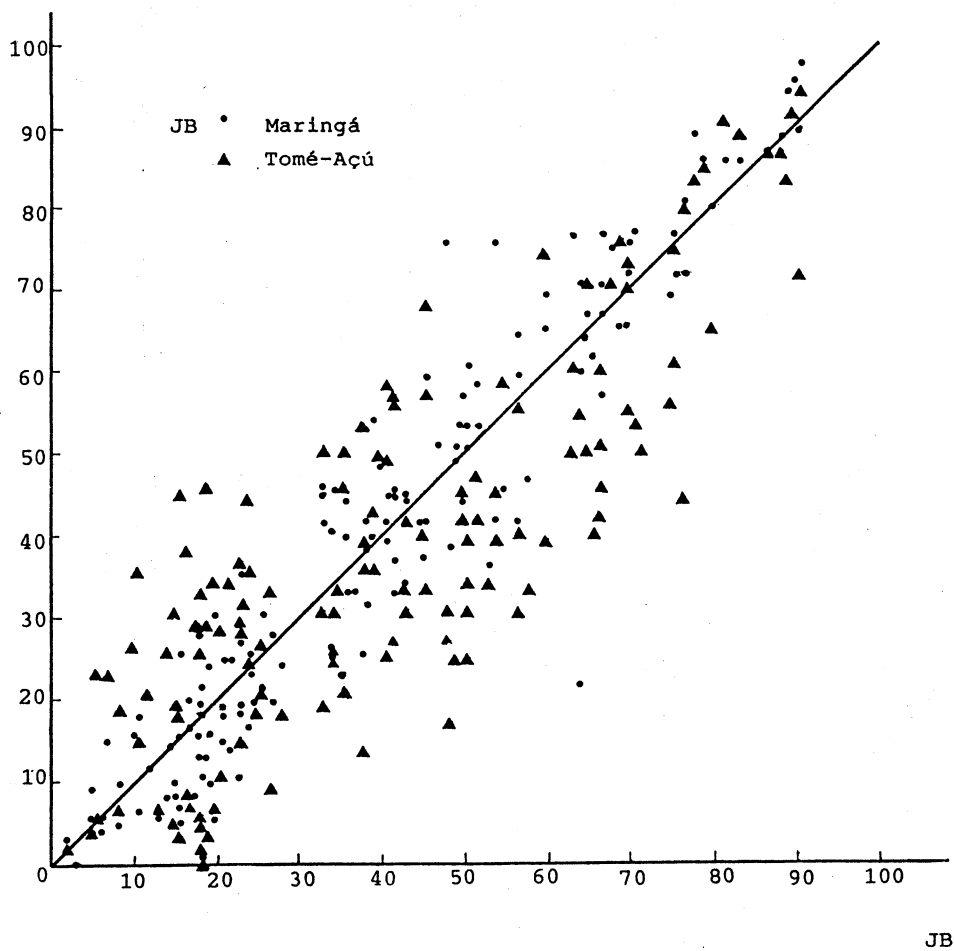
	親 元	親戚訪問	留 学	出 張	仕 事
J B	4 5	1 6	5	2	1 4
トメアスー	3 3	2 5	5	1	2 1
マリंगा	4 9	1 2	1 2	3	1 1

なお、属性構成をみると次のようになり大差はない（％）。

	J B	トメアスー	マリング
男	5 5	5 3	5 1
女	4 5	4 7	4 9
～ 2 9	2 0	1 6	2 0
3 0 ～	2 0	2 1	2 1
4 0 ～	2 0	2 2	2 1
5 0 ～	2 0	1 7	1 7
6 0 ～	9	1 3	1 4
7 0 ～	1 1	1 1	7

すべての質問結果は付録 1 に対比して示してあるが、これをまとめて J B 全体との関係を描いたのが次のグラフである。

一見して理解できることは、特種の問題を除けば、マリングの結果は J B 全体に近いことが理解できる。トメアスーは、J B 全体とかなりくい違っていると見ることができる。



くい違いの大きい所を拾ってみよう。

トメアスー	マリング
問8 で非常にが少なく、ただ満足が多い	問8 J B と同一
問9 少し希望を持つが多い (非常にが少ない)	問9 非常にが多い傾向
問10 非常に感じるが少ない 少しは感じるが多い	問10 あまり差はない (なかにはより不安が 少ないものもある)
問12 場合によるが多い	問12 差はない
問19 自由時間 大 友人・知人 大	問19 差はない
問20 満足少なく、少し満足 大	問20 差なし
問21 賛成少なく いちがいに言えない 大	問21 差なし
問22 金大切なものの一つと教えるかで 賛成 大、いちがいに言えない 大	問22 差なし
問24 政治家にまかせるか いちがいに言えない 大	問24 差なし
問25 しきたり おし通せ少なく いちがいに言えない 大	問25 いちがいに言えない 大
問26 心の豊かさへるか へらない 小 いちがいに言えない 大	問26 へらない 小、へる 大
問28 離婚 差なし	問28 ひどい場合はよい 大
問29 女の仕事 区別なく 小	問29 差なし
問30 先生が悪いことをした で ほんとうだという 小 否定する 大	問30 差なし

トメアスー	マリンガ
問33 自然を征服 小	問33 差なし
問35 大切な道徳 恩返し 大 自由の尊重 小	問35 差なし
問41 他人の役に立とうとしている 大 自分のことだけ 小	問41 同じ
問42 利用しようとしている 小 そんなことはない 大	問42 差少ない
問43 たいていの人は信頼できる 大	問43 差なし
問44 コンピュータ 望ましくないが避けられぬ 大	問44 差なし
問45 環境保護 非常に重要が少なく重要が大	問45 差なし
問48 カトリック少なく、佛教 大	問48 差なし
F 1 暗算 ポルトガル語 少なく 日本語 大	F 1 差なし
F 2 読む新聞 日本語 大 ポルトガル語 小	F 2 ポルトガル語 大
F 3 日本音楽好き 大	F 3 差なし
F 4 日本のビデオ 時々見る 大 みない 小	F 4 差少ない
F 5 大多数日本人、日系人は大	F 5 差なし
F 8 手紙 日本語の方が簡単 大 ポルトガル語の方が簡単 小	F 8 差なし

以上を通してみると、トメアスーでは、大げさな表現が少なく、控え目な表現がより多いこと、いちがいに言えない・時と場合によるという回答がより多く、この点日本人の反応により近い傾向である。また、それ以外の回答でも差のあるものは、より日本的ということになる。日本のもの、日本語との接触はJ B、マリングにくらべて大である。大きくまとめるとマリングは大体J B並み、トメアスーはより日本的とみることができる。

これまで、一問ごとの検討をしてきたが、スケールの上での比較を行ってみよう。ただ、日本人スケールは、フェースシートが異なるため比較はできなかった。

(i) 義理人情スケール

次の図にその分布を示すが、分布を作ってみるとトメアスーは日本にきわめて近く、マリングはJ Bよりもやや日本寄りにきている。

スケール値0の比率をみると	J B	17%
	マリング	17%
	トメアスー	11%
	J	6%
スケール値3以上の比率は	J B	12%
	マリング	12%
	トメアスー	20%
	J	22%

となり、マリングはJ Bと同じ、トメアスーはJに近い傾向である。しかし、分布からみると、より義理人情的な順で言えば、J、トメアスー、マリング、J Bということになる。

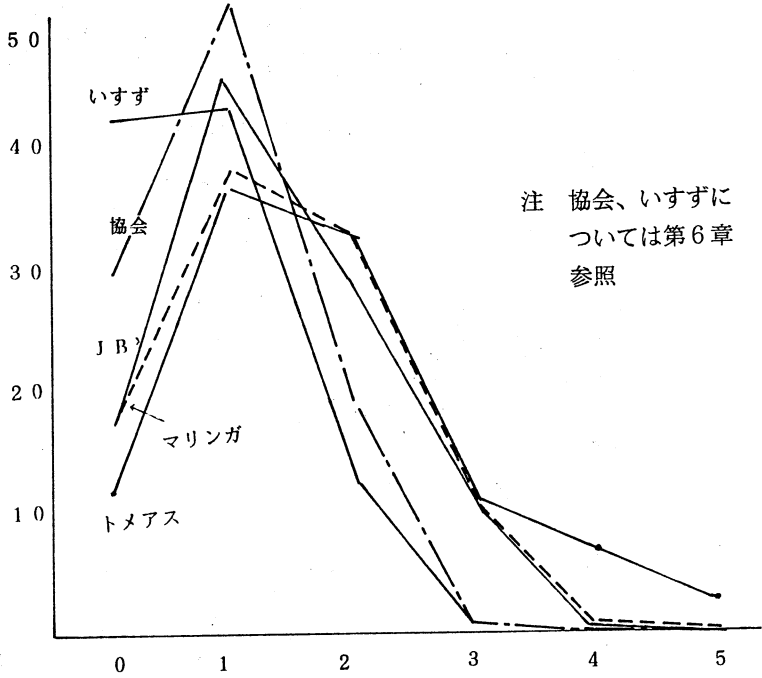


図 義理人情のスケール分布

(ii) つぎに affection スケールをみよう。スケール値5以上は

J B は34%

マリンガ は35%

トメアスーは42%

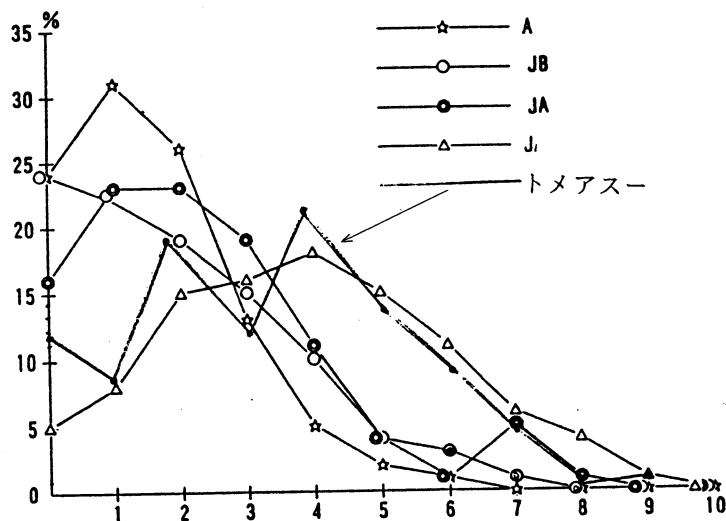
J は38%

で、マリンガはJBに近く、トメアスーはJ以上である。

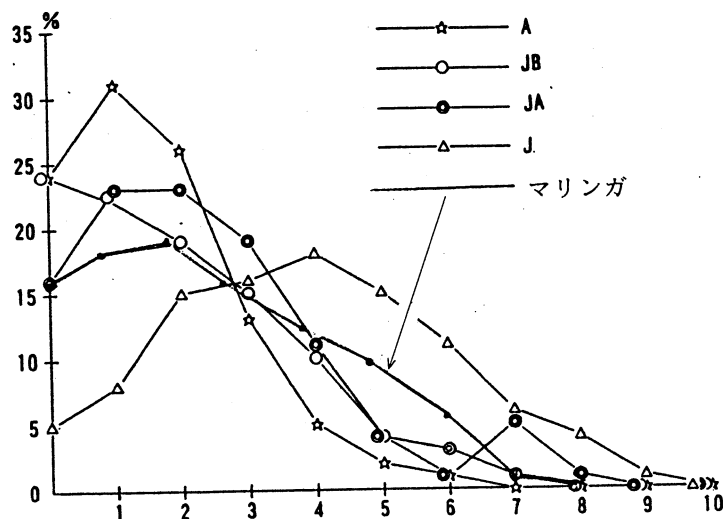
(iii) 中間回答スケール

分布は、次に示すように大局的に見れば、JBとJとの間にあると見られる。

中間回答分布

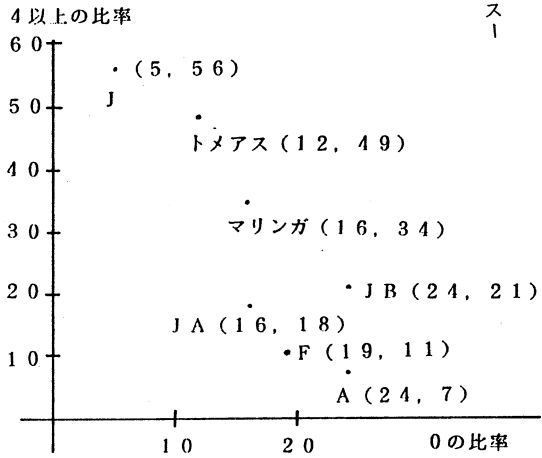
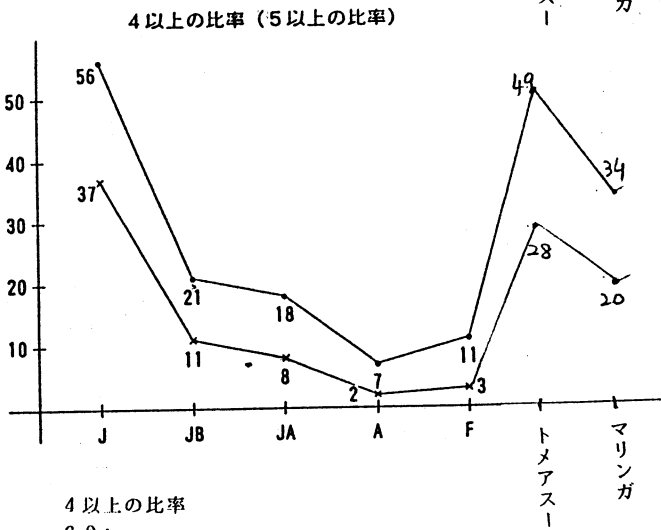
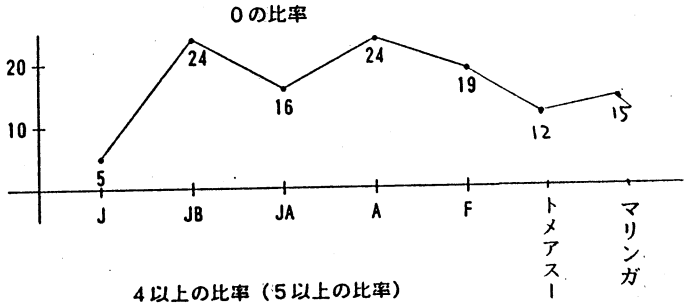


中間回答分布



見易くまとめると次のようになり義理人情スケールのところで述べた通りの結果となっている。中間回答というようなものは、やはり日本の特色をしめしているとみることが出来、これがトメアスー、マリング、JBの順になるところも、日本らしさの失われてゆく（残している）姿がよみとれ興味深い。

中 間 回 答



4.2 トメ・アスー移住地の社会概況

トメ・アスー移住地はベレンより国道BR 360に沿って35キロ地点にあるサンタ・イザベルから南下してグアマ川を渡った280キロ地点にあるトメ・アスー郡に開設されたアマゾン地区最大の日系移住地である。

1928年、当時のパラ州知事によって日本人によるパラ州農業開発目的をもって100万町歩の土地を無償提供する申出を受けたのを契機として、福原八郎を団長とする調査団が来伯し、アカラ郡（トメ・アスー郡は当時アカラ郡の一部であった）に60万町歩、モンテアレグレ郡に40万町歩の土地を選定し、29年にこの地域に日本人を移住させる目的で設立された南米拓殖会社によって日本人移住者が入殖した時にトメ・アスーに歴史が開始された。

29年末に『先発隊』として19家族43名が入殖し、戦前には276家族の入殖をみた。しかしながら、開拓初期には、主要作物として選定されたカカオは経済栽培を開始するまでに7～8年を要することで、その間には米・野菜等の栽培に従事したが、当時の消費地であったベレン市の食生活の相違（当時ではマンジオカ粉が主食であり、野菜や米を食する習慣はなかった）や陸路がなく水路による運搬という地の利の悪さからも思うような販売をすることができず、生活は安定しなかった。それに加えて悪性マラリアが発生し猛威を振るったこともあって、40年ごろの世帯数は98家族程度が残留したに過ぎなかった。

戦時中は敵国人として、アマゾン地区在住の日系人はドイツ人とともにトメ・アスーに軟禁状態に置かれた。31年に設立された野菜組合は35年には産業組合として再編されていたが、この組合もトメ・アスー入殖地（COLONIA ESTADUAL TOME-ACU）の管理下に置かれた。しかしながら、入殖地内の治安は官憲によって維持されていたので、移住者は農業に専心することができた。この中でカカオに代わるべき適性作物が模索され、とくに増殖に努めていた胡椒が第2次世界大戦によって主要生産地であった東南アジアが荒廃したことで輸入に頼っていた胡椒の国内価格が高騰していたこともあって、48年からは産業組合の取扱い品目として登場し、当時インドから輸入されていた胡椒との品質・価格の点で十分競合できる見込みもたつに至り、52年よりは生産量も急増し、しかも価格の高騰もあって第一次胡椒ブームを迎えることになった。

この胡椒ブームを背景に日本・ブラジル両政府はアマゾン地域への日本人移住に関する協定を締結し、53年には黒ダイヤと呼ばれた胡椒で黄金時代を築いていたトメ・アスーへの戦後移住が25家族129名によって再開され、戦後65年までに205家族が移住している。59年9月には郡制が施行され、トメ・アスー郡はアカラ郡から独立し、60年にはパラ州政府との交渉が実を結んで31年目に地権証書が交付されたのである。

62年にはジャミック（移住振興株式会社）がトメ・アスー移住地の隣接地を購入し『第2トメ・アスー移住地』を開設、79年までに123家族、519名の入殖者をみた。第2トメ・アスーはアマゾン地域で日本政府の資金によって運営された唯一の直営移住地であった。

しかしながら、60年代にトメ・アスー地区の胡椒に発生した根腐病・胴枯病は第2トメ・アスーにまで蔓延し、しかも74年には数十年ぶりに訪れた大雨による湿害によって、

トメ・アスーの営農基盤は壊滅的打撃を受けた。この結果、多くの日系人が胡椒の無病害地帯やベレン市へと移転していくとともに、胡椒の無病害地域への『通作』が開始された。他方、トメ・アスーでは組合を中心にして、投機的な生活や病気のために安定しない胡椒の単作から営農の多角化への転換が模索されていった。この多角化は胡椒、カカオ、ゴム、デンド、グアラナ、熱帯果樹(クブアス・アセロラ)などの永年作物を柱にマモン、マラクジャ、そ菜栽培といった単年作物栽培を組み合わせた形態であり、営農の安定を目的としたものであった。しかしながら、83年頃からの胡椒価格の高騰は組合による多角化への移行を遅らせる要因となった。トメ・アスーではいまだに祖传的な胡椒栽培に慣れた農業者が多く、またその投機性故に胡椒栽培に執着する農業者も多いのである。80年代後半から胡椒価格は再び暴落し、現在では生産コストを下回っている。熱帯フルーツの加工工場は完成し、果肉を冷凍処理してベレンやサンパウロなどの消費地への出荷も始まっているものの、まだ本格的な段階ではない。こうしたことから、88年より日本への『出稼ぎ』が開始され、90年12月現在で400名近くが日本へ就労に出かけているのである。この出稼ぎの増加はトメ・アスー移住地に様々な影響を及ぼしてきている。また、出稼ぎと並んでトメ・アスーで深刻な問題となっているのは後継者不足である。トメ・アスーの日系人も他地域と同様に子弟教育に大きな力を注いでいる。しかしながら、トメ・アスーには夜間の高校までではなく、多くの日系世帯では中学校からベレン市に出し、教育を受けさせている。こうしてベレン市に出て高学歴を身につけた子弟はベレンで就職し、トメ・アスーには、戻ってこない。また、胡椒の単作による非安定性、多角化への過渡期であることあるいは娯楽のすくない移住地での生活など、魅力的な『ムラ』であるとは若者たちにはうつらないことなどの要因から専業農家で6割、兼業農家では7割がまだ後継者をもっていないのである。多くの後継可能者は日本へ出稼ぎに行っており、将来トメ・アスーに戻った際に、その携行資金を営農に投資できるような魅力ある環境を作るという観点から組合や文化協会は新たな『ムラ』作りのプログラムを模索しているのが現状である。

現在、トメ・アスーの日系世帯数はきちんとした統計がないが、約280家族と推定されている。しかしながら、この280家族がすべてトメ・アスーに恒常的に居住しているわけではない。かなり多くの日系人が子弟教育の関係などでトメ・アスーとベレンでの二重生活を行っているのである。つまり、居住地としてのベレンと生産活動の場所としてのトメ・アスーを往来する日系人もかなりの数に上っているのである。また、その職業構成に関する統計類も存在していない。多くは農業従事者であるが、文化協会や組合のあるクアトロ・ボッカスという中心地には日系人の商店やオフィス、サラリーマン(銀行員など)医師などの自由業に就いているものも多く認められる。

さて、トメ・アスー移住地の中心街であるクアトロ・ボッカス地区にはトメ・アスー文化協会やトメ・アスー総合農業共同組合、トメ・アスー農村振興協会などの主要団体が組織されているし、日系人経営の商店や胡椒の買い付け商の店、3つの銀行、ガソリンポスト・ホテル・日本食食堂・仏教寺院などが存在している。また、少し郊外には9ホールゴルフ場が開設され、娯楽の少ない植民地のレジャーとして賑わいを見せている。また、各種日系宗教の布教所があり布教活動がおこなわれている。日本語学校はトメ・アスー移住地に4校あり、そこで子弟が週2回の日本語教育を受けている。さらには、30年に南米拓殖会社によって開設された病院は76年に州立病院となり、地域住民の健康管理に貢

献している。また60年代からは様々な趣味・娯楽を目的とした団体も結成されている。こうした団体としてはトメ・アスー野球連盟、キング・ローズ楽団、トメ・アスー芸能倶楽部、柔道会などが存在する。

トメ・アスー文化協会は62年に結成されたトメ・アスー地区連合会が66年に改組されたもので、主に日本とブラジルの文化交流、日系人間の相互扶助、娯楽・スポーツ活動の開催、日本語学校の運営などの活動を行っている。クアトロ・ボッカスの中心にある会館は日系人の参集の場所であり、結婚式場であり、重要な決議を行う最高決定機関でもある。近年の出稼ぎによって、日系世帯では世帯員のだれかが長期的に世帯を留守にするという条件下にある。ブラジル経済の長期的停滞はノルデステ地方からの多くの国内移動者の流入と定着を促進させ、それに伴いトメ・アスーの治安の悪化を招いている。出稼ぎが長期化・恒常化するとともに、出稼ぎ者が日本から持ち帰る資金の存在が強盗や一般住民の羨望の的となり、日系人を狙った強盗などが懸念されるようになり、文化協会では91年7月に『防犯委員会』を設置し、地域の警察機構との連携によって、こうした事態の回避に努めるようになった。また、文化協会の活動は出稼ぎの増加によって停滞し、日本語教育は日本語教師の出稼ぎによって支障を来し、4校ある日本語学校の統合という事態を招来した。また会費納入が滞り、活動実施自体が困難となってきている。

トメ・アスー総合農業組合は31年に結成された野菜組合を母体としている。35年、野菜栽培が軌道に乗るようになると、野菜や米の一括販売だけではなく、雑貨品や生活必需品の購販売なども行うようになり、産業組合として再編され、さらに当時の青年層を中心とする組合改革を経て、49年に公認組合として登録、名称もトメ・アスー総合農業組合と改称された。改称直後の52年には会員数65名、胡椒作付け本数254千本、組合取扱い量465トンであったが、最盛期の68年には会員数325名で約6500トンの胡椒を取り扱った。しかし78年には東北ブラジル地方でのマラクジャの大増産や同年のオイル・ショックの影響を受けて胡椒を初め多くの農産物価格が暴落し、組合経営が危機に陥ったが、地元とJICAからなるトメ・アスー再建特別委員会が設立されてどうにか持ち堪え、再建への道を多角経営への転換から歩んでいるのが現状である。

政界への進出について触れるならば、トメ・アスー日系社会からは日系郡会議員や第2代目に郡長が出ている。しかしながら、アマゾン地域では伝統的政治支配構造が現在においても強固であり、地域的な政治支配構造の中に影響力をもつ日系政治家を送りこむのは非常に困難である。経済的成功を収め、税納入によって地域社会の運営に大きな貢献をしながら、それが郡庁所在地であるトメ・アスー地区に多く還元され、日系人の居住地であるクアトロ・ボッカス地区に還元されないという不満から、クアトロ・ボッカス地区を、トメ・アスー郡から『独立』させ、独自のムニシピオとしようという政治的な動きが存在している。そのために、ベレンに出た2、3世の選挙権をトメ・アスーに戻し、日系人票による影響力ある政治家を当選させ、こうした運動の実現を計っている。

いずれにしろ、トメ・アスーの日系人は過酷な条件下で胡椒という適性作物を見出し、その経済的成功を収め、その後には胡椒と熱帯果樹やゴム、カカオ、牧畜などを組み合わせ、しかも近代的設備を用いた多角経営を目指し、パイオニアとして常にアマゾン地帯の農業をリードしてきたといえる。

参考文献

トメ・アスー文化協会編著『トメ・アスー植民地案内』1967

国際協力事業団編『アマゾン地域の農産業と日本人（集団地とその農業）昭和63年』

トメ・アスー総合農業共同組合編著『“飛躍する胡椒の里” トメ・アスー農協案内』1989

汎アマゾニア日伯協会編著『アマゾン地域における邦人移住のあゆみ ー移住55周年記念号』1984

4.3 マリンガの日系人の概要

1908年に開始された日本人のブラジル移住は当所においてはほとんどがコロノ（契約農業労働者）としてサンパウロ州の旧コーヒー地帯に配耕され、開始された。そしてその多くは何年かのうちに蓄財を果たし、速やかに日本へ帰国するという目的をもった出稼ぎ移民であった。しかしながら、日本移民が導入された時期はちょうどサンパウロ州のコーヒー農業の衰退期に当たっていたことやコーヒー・ファゼンダ自体の構造的な性格から、日本移民が期待した通りの蓄財を短時日のうちに達成することは不可能であった。そこで日本移民は短期的な出稼ぎから自立的農業経営者となって当初の目的を達成するという長期的な出稼ぎに戦略を析出していったのである。こうした戦略の変更に背景には、ちょうどコーヒーの衰退期に当たっていたことで、将来のコーヒー・ファゼンダ予定地がロッテアメント方式によって小区画で売りに出され、日本移民が自営農に転換出来る条件が存在していたのであった。10年代の半ばには、こうした戦略に基づく『植民地』が出現し、30年代後半にはこうした植民地はサンパウロ州内に6～700程度存在していた。

1929年に起った世界経済恐慌とその結果であるコーヒー不況、その不況によるコーヒー樹植え付け禁止は30年以降、日本人のブラジル移住を促進することになったし、他方、日本移民のブラジルでの移動方向に大きな転機をもたらす要因となった。この時期における移動の形態及び方向としては借地農－分益農－自営農としてパウリスタ延長線及びソロカバナ沿線への移動、工業化により膨張しつつあったサンパウロ市の近郊農業地帯への集中及び北パラナへの流れがその主要なものであった。

北パラナのテラ・ロッシャ地帯は既に1910年代から有望視されていたものの、組織的なロッテアメント分譲による開拓が開始されたのは30年代以降のことであった。32年にはサンパウロ州内におけるコーヒー新規植え付けが3年間の期限で禁止されたがパラナ州ではこの制限は適用されていなかったことや鉄道網はテラ・ロッシャ沃土を横断しつつロンドリーナまで伸びつつあったことなどが開拓を促進した条件であった。北パラナ開拓は英国系資本による北パラナ土地会社（31年に国際植民地を開設し、またロンドリーナ市建設を実施した）や日本資本のブラ拓・南米土地会社などによる植民地開設によって進められていった。こうした植民地へ入殖した大多数の日本移民は30年以降の移住最盛期の移住者であり、モジアナ・ノロエステ沿線などで比較的短期間のコロノを経て借地農・刈分農などの生活を送ったものたちであった。北パラナのコーヒー農業はこうしてサンパウロ州旧地帯のコロノ移民を吸収しながら行われていったのである。

マリンガはパラナ州北西部に位置し、海拔は544.9M、気候は亜熱帯性気候で雨が多く、土地はテラ・ロッシャで肥沃であり農牧畜に敵している。マリンガ市の産業は現在においては綿花・米・フェイジョン・マモーナ・大豆などの生産や牧畜とその加工というアグロ・シンダストリーがその中心である。人口は87年現在28万人となり、急激な成長を続けている。マリンガ市近郊地帯への日本人の入殖はガイアッポ地区に入った日本人3家族によって39年6月になされた。これ以降、徐々にではあったがマリンガ近郊地帯であるモランゲーラ、サランジー、コスモス、フロリアーノ、ロメーラといった地域に日本移民が入殖し始めた。

1939年には近隣入殖者の農産物売買・日用雑貨品購買に不便を避ける目的で暫定的

な市街地が設けられた。この旧市街地には41年に日本人が移転してきた。47年には北パラナ土地会社が小農家設立を目的の一つとした都市計画を発案・実施し同年5月10日に市街地及び周辺地帯の土地分譲を開始した。土地分譲が開始されると市街地及び近郊のコーヒー地帯へ日本人が多く移転してくるようになった。48年時点で、マリंगा市街地で25家族、郊外コーヒー地帯には40家族程度に日本人が居住している。この65家族に関してその職業構成を見ると、農業40、農産物仲買商6、精米工場経営4、旅館・バー・キタング各2、製材業・自動車修理工場・鉄工場・自転車業・時計屋・写真屋・金物雑貨商・家具製造業・建築業各1というものであった。土地分譲開始から10年を経過した57年にはマリंगा市在住日系人世帯数は680世帯、人口は3276名と10倍以上に増加している。その職業も農業や自営業を中心としながらも多様化を示している。そして、87年にはマリंगा在住日系人世帯数は約3500世帯程度と推定されている。その職業も農業や自営業種を中心としながらも、医師・歯科医・弁護士などの自由業的職種やサラリーマン的職種も多く出現している。現在においては日系人の多様な分野への進出も著しい。例えば、教育界ではマリंगा州立大学では77年度における日系子弟の入学率は全学生の37%に及び、また州立高校の在学生の50%以上を日系子弟がしめており、他方、大学の教官には82名の日系教官が存在している、また大学内には付属機関として82年に日本学研究院が開設され、日本語講座を中心とした活動を行っている。政界に関してみると、これまでに9名の日系市議会議員を排出し、その一人は現在副市長の要職にある。また市局長クラスにも数名の日系人がおり、市政に重要な役割を果たしている。

マリंगा市における日系人口は全人口の6%程度を占めるマイノリティに過ぎないが、その経済的地位は高く、社会的進出はあらゆる分野に亘っている。

マリंगाに最初の日本人家族が入植した直後に第2次世界大戦が勃発し、日系人は敵国人として集会の禁止や日本語使用禁止などの制限下に置かれ、しかも日本人数も少なかったこともあって、戦時中には日本人会などのエスニックな組織化はまったく行われなかった。終戦後の47年には18家族をその会員としてマリंगा日本人会とその子弟たちによってマリंगा文化体育会が結成され、その本部がガイアッポ地区に置かれた。その後、本部はマリंगा市内に移転され、北パラナ土地会社から委譲された土地に日本人会館が建設された。1972年にはマリंगा日本人会とマリंगा文化体育会が合併され、マリंगा文化体育協会(ACEMA)が発足し、75年にはその会員数は700世帯に達した。会員増加に従い、設備面の充実が必要となり、75年にマリंगा市政郊外に6アルケールの土地を購入し、施設建設が開始されていった。80年には2千平米の本館、陸上競技場、サッカー場(3)、野球場(2)、ゲートボール場(6)、プール(3)遊園地などが完成し、充実したクラブ組織に生まれ変わった。87年には会員数は1780世帯となった。

ACEMAの主要な活動としては新年拝賀式の挙行、バイレや各種催し(スポーツ・芸能)の主催や後援、運動会・芸能祭の実施、交流事業、救済事業など多岐に亘っている。日系人の移転が多くなり、また終戦後に強固となった永住主義を背景にして、さらに経済的地位も安定してきた50年代になると、様々なエスニック集団が組織されていった。その主要なものに触れると、宗教団体では生長の家(生長の家パラナ第2教化支部)、マリंगा・カトリック日系信徒会、天理教マリंगाよのもと会、マリंगा聖母婦人会、神乃家マリंगा分社、世界救世教、浄土宗マリंगा日伯寺、マリंगा本派本願寺、マリंगा南米本

願寺などがあり、年齢・世代別組織としてはマリンガ婦人会、マリンガ・オールド・ボーイクラブ、マリンガ老社会、福祉団体としてはパラナ老人福祉和順会などがあり、さらに趣味・娯楽団体としては民謡・俳句・短歌・カラオケなど多数の団体が活動している。また、日本との交流もさかんであり、73年には兵庫県加古川市との姉妹都市提携によって毎年のように使節団が往来し密度な交流を行っている。

参考文献

1962 SHIGEJI IKEDA

EPOPEIA DA COLONIZACAO JAPONESA EM MARINGA 15 ANIVERSARIO

- Publicacao comemorativo do 15 aniversario da Fundacao da Cidade Maringa

1977 マリンガ文化体育協会編

『マリンガ文化体育協会 30年記念誌』

1987 マリンガ文化体育協会創立40年史発刊委員会編

『アセマ40年史』

1962 斉藤 廣志『ブラジルの日本人』（丸善）

第5章 自由回答について

これまで、自由回答を除く諸項目について論じてきた。またここまでは、日本側が中心となって分析を進めることが出来るが、自由回答となると社会情勢に通暁していない限りその真意を把握がたいところも多い。そこで、自由回答については、サンパウロ人文科学研究所において分析を行うことにした。

ここでは、在ブラジル日系人全体のほか、特殊地域トメ・アスー、マリンガ及び在日日系人のデータも加えて分析する。

まず、図表中上位を占めるものを中心に述べて見よう。

設問1 ブラジルについて、良いところ、悪いところは何だと思いますか。

良いところ

	Tome Açú (133)	Maringa (317)	JB (650)	在日日系人 (314)
自由なところ	15.0% (1)	13.8% (1)	13.0% (1)	5.4% (7)
無回答	13.5% (2)	—	5.5% (6)	17.2% (1)
自然	12.0% (3)	7.5% (3)	12.0% (2)	11.7% (2)
豊かな国土	6.0% (7)	5.6% (5)	8.1% (3)	9.5% (3)
住みやすい国	—	7.8% (2)	7.5% (4)	6.0% (5)
大きな国	8.2% (5)	6.6% (4)	5.8% (5)	6.0% (4)
生活上昇の容易さ	—	4.7% (6)	3.0% (10)	—
平和な国	3.0% (11)	3.7% (8)	4.7% (8)	—

(注：括弧内はそれぞれの回答順位)

悪いところ

(回答数)	Tome Açú (141)	Maringa (330)	JB (650)	在日日系人 (365)
経済一般	12.0% (2)	10.9% (1)	8.2% (3)	8.4% (3)
経済政策が悪い	19.1% (1)	8.7% (3)	—	4.3% (8)
インフレ	10.6% (3)	10.3% (2)	9.9% (2)	6.3% (4)
政府が悪い	3.5% (7)	5.1% (6)	10.8% (1)	4.9% (7)
政治家が悪い	—	3.0% (11)	2.8% (10)	9.3% (2)
安い給与	0.7% (18)	4.5% (7)	4.2% (7)	1.9% (15)
安全性の欠如	7.0% (5)	1.8% (14)	3.0% (8)	2.7% (13)
暴力	1.4% (15)	6.3% (4)	6.8% (4)	5.7% (5)
汚職	2.8% (8)	6.0% (5)	1.5% (18)	4.9% (6)

建前として、自由な、大きな、住みやすい国であり、豊かな国土で生活レベル上昇の可能性をとнаえることは国民一般と共通であるが、現実ではブラジルが当面しているインフレ、経済政策等の拙劣さを取り上げ、その責任を政府あるいは政治家に問う。トメ・アスー在住者の場合、多分その移住の歴史に起因すると思われるが、日系人全体或はマリンガ日系人の反応とは少しずれると考えられる。やや日本よりとでも言えるであろうか。経済一般、インフレ、経済政策が悪いとの指摘は高率であるが、政府・政治家に対する批判はトメ・アスーではすくない。

b. これについてあなたはどのように思いますか、 と言う質問に対しては次の通りであった。

	Tome Açú (回答数)	Maringa (254)	JB (572)	在日日系人 (301)
無回答	27.2% (1)	—	7.8% (3)	11.6% (1)
DK	20.0% (2)	7.4% (3)	11.7% (1)	4.3% (8)
能力ある・まじめな政府	2.7% (9)	6.6% (5)	10.6% (2)	6.3% (3)
政治家を変える	—	7.8% (2)	7.3% (4)	5.6% (4)
政治政策の改善	3.6% (7)	2.3% (11)	2.1% (14)	4.6% (7)
政治・行政の変革	1.8% (10)	14.1% (1)	4.7% (7)	4.3% (9)
教育レベルの上昇	—	4.3% (7)	5.0% (6)	4.6% (6)
教育投資の増加	5.4% (4)	7.4% (4)	5.7% (5)	3.6% (10)
何事も難しい	5.4% (5)	3.9% (8)	—	3.6% (11)

前項でトメ・アスー在住者の反応のずれを指摘したが何をするかについてもDK及び無回答が特に大きい。政治や政治家が悪いと言う発言の少ないこととも併せてかつての移民の行動規範であった「この国の政治・行政の批判は慎む」を偲ばせるものではないか。経済インフレ等では、多数「出稼ぎ者」を送り出している現実からも「悪い」と指摘をせざるを得ない心情であろう。

設問2 では、日本について、良いところ、悪いところは何かと思いますか。

良いところ

	Tome Açú (回答数)	Maringa (321)	JB (690)	在日日系人 (335)
無回答	4.6% (5)	—	4.3% (7)	13.7% (1)
DK	13.8% (1)	9.6% (2)	8.5% (2)	4.7% (7)
教育一般	11.1% (2)	7.7% (3)	5.9% (4)	2.3% (14)
安全(治安)	3.2% (10)	2.8% (11)	1.8% (15)	7.1% (3)
就業機会	3.9% (6)	5.3% (4)	7.6% (3)	5.3% (6)
安定した経済	10.5% (3)	5.3% (5)	5.3% (5)	7.7% (2)
進歩した技術	4.6% (7)	11.8% (1)	10.8% (1)	3.8% (8)

悪いところ

	Tome Açú (回答数)	Maringá (321)	JB (690)	在日日系人
無回答	18.9% (2)	—	20.3% (1)	20.9% (1)
DK	21.5% (1)	25.6% (1)	19.2% (2)	6.8% (2)
悪いところなし	12.9% (3)	6.5% (4)	—	4.9% (5)
狭い国	8.6% (4)	6.9% (3)	8.2% (3)	6.4% (3)
自由がない	—	4.0% (6)	0.8% (19)	4.9% (4)
人間的温かさに欠ける	4.3% (5)	4.8% (5)	3.5% (5)	4.9% (6)
冷たい人間関係	3.4% (7)	—	1.2% (11)	2.2% (14)
人種偏見がある	4.3% (6)	10.5% (2)	1.7% (9)	3.4% (7)

日本の良い点では教育が上位を占めるが、在日日系人の場合、就労状況、单身、年齢層等の関係からこの点はあまり強調されていない。就業に機会、安定した経済、進歩した技術等はブラジル国のおかれている現実と比較しての切実な気持ちの表現であろう。

悪いところ——無回答とDKの多いのは知識・情報の不足と解釈される。冷たい人間関係とか温かさに欠けるや人種偏見がある等は在日日系人の場合、恐らく実際に感じたものであろう。

設問3 日本との関わりで、あなたは何をしたいと思いますか。

	Tome Açú (回答数)	Maringá (225)	JB (500)	在日日系人 (256)
無回答	21.1% (2)	—	24.2% (2)	22.2% (1)
DK	23.8% (1)	22.2% (1)	28.6% (1)	8.5% (2)
訪問	3.6% (8)	18.2% (2)	16.2% (3)	7.8% (3)
何も	12.8% (3)	12.8% (3)	2.4% (7)	6.2% (6)
「出稼ぎ」に行く	6.4% (4)	3.1% (7)	5.0% (5)	2.7% (9)
日本・ブラジルの交流	5.5% (5)	4.4% (5)	4.2% (6)	—
日本・ブラジルの相互理解	5.5% (6)	6.6% (4)	6.6% (4)	6.6% (5)
(日本を)勉強する	4.5% (7)	3.5% (6)	0.6% (13)	—

日本をよりよく知りたいという日系人の気持ちが表明されていると思われる。

設問4 日系人として次の世代に何を伝えたいと思いますか。

	Tome Açú (回答数)	Maringá (136)	JB (305)	在日日系人 (694)
無回答	5.1% (6)	—	3.3% (9)	13.3% (1)
DK	8.8% (3)	—	6.7% (6)	5.2% (4)
日本文化	10.2% (2)	7.5% (5)	8.3% (3)	4.8% (5)
日本語	13.2% (1)	8.2% (3)	10.3% (2)	5.8% (2)
伝統	5.8% (5)	10.8% (2)	8.2% (4)	1.9% (18)
文化の維持	8.0% (4)	10.8% (1)	2.7% (10)	5.5% (3)
正直さ	4.4% (9)	7.5% (4)	5.6% (7)	3.5% (6)
仕事(意欲)	4.4% (8)	5.2% (7)	7.4% (5)	3.5% (7)

日本語・文化・伝統を、より平たく言えば日本的なものを次世代に継承してもらいたい希求、それは移住者として常に抱いてきたものであったと思われる。

設問5 日系人として、ブラジル社会にどんな貢献ができると思いますか。

	Tome Açú (回答数)	Maringá (127)	JB (317)	在日日系人 (684)
無回答	11.0% (3)	—	3.5% (8)	17.6% (1)
DK	12.6% (1)	2.2% (16)	9.8% (2)	4.1% (4)
「働くこと」の精神	8.6% (4)	—	21.3% (1)	4.1% (3)
農業分野	12.6% (2)	—	6.2% (4)	—
社会・政治・経済	—	—	—	—
生活への参加	6.3% (5)	—	1.3% (18)	2.2% (18)
社会・経済・文化	—	—	—	—
発展に貢献	3.1% (11)	—	—	3.8% (6)
研究・学問での貢献	5.5% (6)	—	7.6% (3)	—

本設問に対する回答は頗る多岐にわたり、そのまとめは困難であった。

在日日系人の意見中、農業に関する貢献への言及が見出せなかった。農業出身者もいる筈であるが、それより逃れて「出稼ぎ」に行かざるを得ないブラジル農業の経営難、そして彼等の現在おかれている境遇がそのようにさせたのではあるまいか。

第6章 在日日系ブラジル人の意識

前述したように海外日系人協会の名簿、いすずの栃木工場勤務者を対象にした。前者の地域のバラツキは次のようである。

海外日系人協会のサンプルの調査地域

茨城県	5	富山県	1
栃木県	3	岐阜県	6
群馬県	8	静岡県	14
埼玉県	17	愛知県	10
千葉県	16	三重県	10
東京都	14	小計	31
神奈川県	14	計	118
小計	87		

調査法は、ポルトガル語による調査のため面接して依頼し、目の前で自記式で調査（監督のような形で調査）したもので、JBと単純な比較はすべきではなく、傾向的に読む必要がある。また、JBとの比較において年齢差の問題、男女比の問題もあり、注意して見る必要がある。属性構成は次の通りである。

	JB	JB1 日系人協会	JB2 いすず
男	55	51	100
女	45	49	0
～29	20	60	55
30～	20	31	25
40～	20	8	19
50～	20	1	1
60～	9	0	0
70～	11	0	0

男女比の差異、年齢の若い方に偏っている点からみてJBとの比較はこのままでは無理で、年齢構成をマッチさせて検討する必要があるので、これは後の分析に譲ろう。

まず、海外日系人協会のものといすずのデータを目盛った図を次頁にかかげるが、ある質問を除くとかなりよく一致していることが解り情報が多い。比率の異なる質問はフェースシートのなことは別として、以下の通りである。

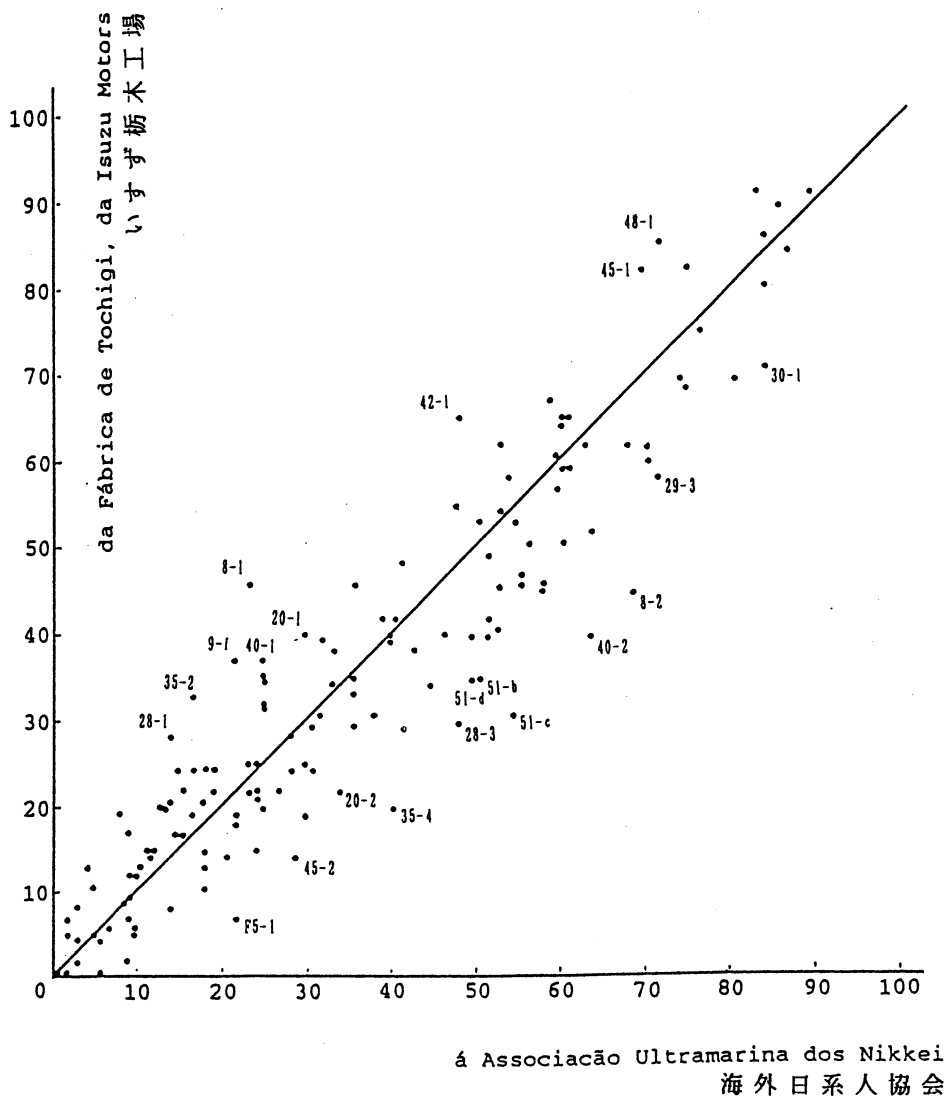
- 問8の回答の非常に満足と満足との差
- 問9のF 世界の平和の質問
- 問20の回答の満足と少しは満足との差
- 問28の離婚の質問
- 問29の女の仕事の質問
- 問40のめんどろをみる課長
- 問30の先生の悪事では本当のことを言う
- 問35 大切な道德の恩返しと自由
- 問42の人を利用しようとしている
- 問45の環境保護で非常に重要と重要の差
- 問48 宗教を信じる
- 問51 b 資本主義 時と場合による
 - c 社会主義 時と場合による
 - d 自由主義 時と場合による

日系人協会の方に控え目な表現、時と場合によるという表現が多い。宗教を信じるは少ない。しかし、離婚では、二人の合意さえあればよいが多い。女の仕事では区別なくが多く、先生の悪事では、本当のことを言うが多く、恩返しは少なく、自由の尊重が多いが、一方、めんどろをみる課長につかわれたいが多く、人は自分を利用しようとしているが少ないという形であって、一概により日本に近いとか遠いとかいうことは困難で、他の要因が介入していると考えた方がよい。

単純集計からみると、日本にきているブラジル日系人のこれらグループの間に著しい差がない — 異なる点はいくつかあると思われるものの — のと見てよいのではないかとと思われる。

つぎに、J B 1, J B 2とJ Bとの関係を調べてみよう。根本的には、J Bは面接調査であり、J B 1, J B 2は自記式なので厳密な比較はできず、調査法はそれぞれ固有の性格を持っている。自記式ではその他、わからないという回答が多くなり、また、どちらとも言えない、時と場合によるといった中間回答が多くなる傾向がある。この点をまず念頭におく必要がある。J B 1, J B 2ともJ Bと少くとも性別・年齢別に大きな差がある。J B 1は男女比は似ているが年齢別は大きく異なりJ B 1に若い方が多い。J B 2は男のみで年齢も若い方に偏っている。そこでJ BがJ B 1の年齢別を持ったとしたらどのようなデータになるかをJ Bの年齢別データを用いて推定した(J B*と名付ける)。またJ BがJ B 2と同じく、男のみで、年齢の分布が同じだとしたらどのようなデータになるかをJ Bの男の年齢別データを用いて推定した(J B**と名付ける)。

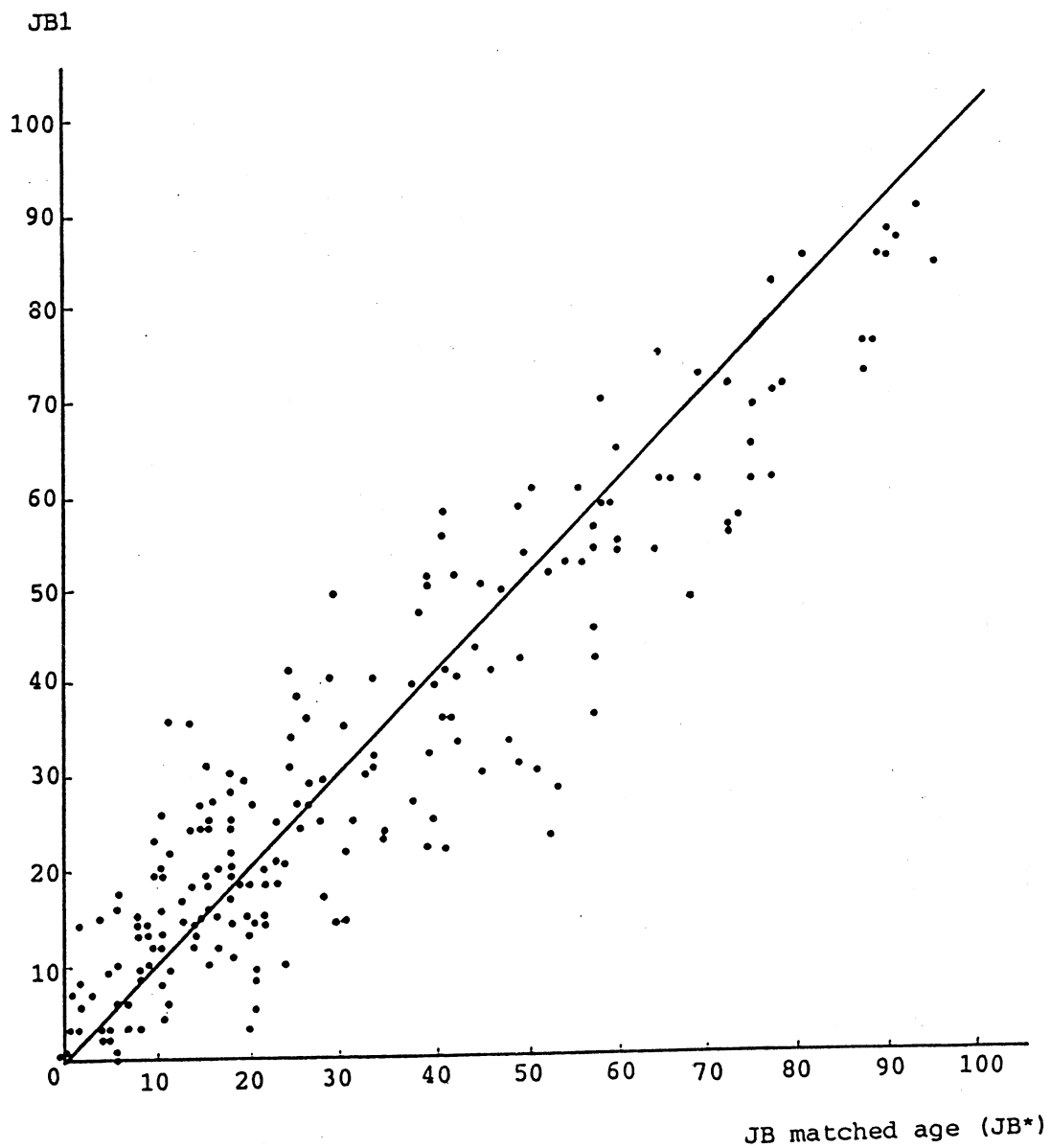
これらの結果をグラフ化したものを次に示そう。



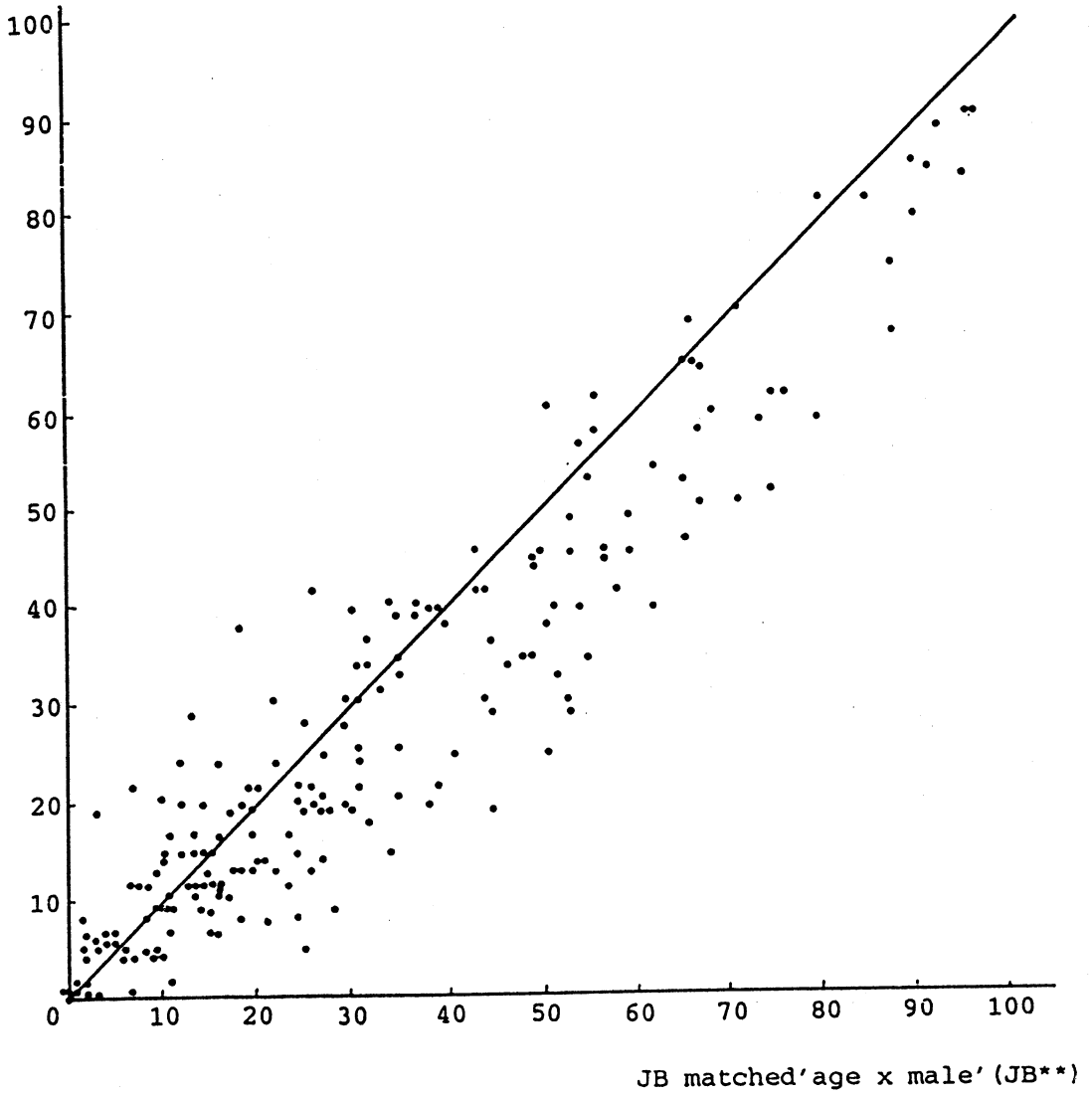
注) 図中の記号は、質問番号と回答肢番号である。

例えば、48-1 は問48の回答肢1を示す。

F5-1 はフェースシートの間5の回答肢1を示す。



JB2



いくつかの質問で差異はでるが、調査法の違いを考慮に入れると大局的に見る限り、J B*とJ B 1, J B**とJ B 2とは異質の集団とは考え難い。一応似ていると見てよいのではないか。つまり、全く異質の集団が、日本へ働きに来ているわけではないと見てよさそうである。

比較において、差異の出たものをまとめてみると次のようになる。下とは45°の線の下、上とは45°の線の上にあるもので、ほぼ15%以上異なるものをあげてみた。下が多いのはJ B 1で、J B 2は自記式のため、その他、わからぬという回答が多く出ていることによる。

	J B 1	J B 2
下	9 F 9 G 1 0 G 1 7 - 1 1 9 F 2 0 - 1 2 7 - 1 3 4 - 2 3 6 - 1 4 2 - 1 4 8 - 1 M - 1	9 B 1 0 C 1 1 - 1 1 2 - 2 1 6 - 3 1 9 - E 3 2 - 1 3 5 - 4 3 7 - 2 4 0 - 2 4 4 - 1 5 0 - 1 5 1 C 5 2 - 2
	1 0 - B 1 0 - D 1 0 - A 2 6 - 1 3 1 - 1 3 9 - 2	1 2 - 1 2 1 - 1 2 2 - 2 A F - 5
上	1 2 - 3 2 5 - 3	
	2 7 - 2 4 8 - 2	2 6 - 3 4 4 - 4 G - 0

注) 記号は質問番号と回答肢を示す。たとえば、1 7 - 1は質問1 7の回答肢1を示す。又、Mは中間スケール、A Fは人情スケール、Gは義理人情スケールを示す。但し、質問9 B、9 F、9 G、1 0 A、1 0 B、…、1 0 Gは回答肢は1となっている。

J B 1, J B 2で差の出る所が異なるものも多くあるが一致して差の出るものがある。これは一つの特色と考えてよい。

問 9	期待・希望	} これは在日しているという環境から 差が出るものと考えられよう つがせるが少い(時と場合によるも多い)
問 1 0	不安	
問 1 2	養子の問題	

問 2 1	}	科学文明観	在日の環境・生活のためと考えられる
問 2 6			
問 2 2		金は大切と教えるか	賛成が少い
問 2 5		しきたりに従うか	中間回答大（自記式のため）
問 3 1		恩人のキトク	故郷へ帰るが少い
問 3 9		入社、恩人の子	恩人の子の採用が少い
A F - 5		Affection Scale	
		5以上の比率	少い

差のあるもので問 9, 10, 自記式による差をのぞくと、一致して差のでもものについてみると、在日の日系ブラジル人は J B の同年齢層と同傾向のものも多いが、ある質問ではいわゆる「より若者的」という傾向が出ている（J B がより若者的というものはない）。いままで単問ごとにみてきたがスケールについてみよう。

(i) 義理人情スケール

全体の分布は前に示したが（第 3 章）、年々の若い所 3 世が多いところからみて J B よりも義理人情的な傾向はすくない。

そこで 0 の比率、3 以上の比率を J B の 3 世と比較してみよう。

	0 の比率	2 以上の比率	3 以上の比率
J B 3 世	3 1 %	2 2 %	5 %
J B 1（日系人協会）	2 9 %	1 9 %	0 %
J B 2（いすず）	4 2 %	1 4 %	1 %

日系人協会は J B 3 世に近いが、J B 2 はより義理人情的でない。J B 2 は男のみなので、生年齢の補正をしてみないと単純な比較は避けるべきである。なお J B 1 の性、年齢構成は J B と殆ど変わらない。

そこで、J B の性別・年齢別の分布を出し、J B 1, J B 2 の性・年齢分布にそろえたものを出し比較してみよう。（%）

スケール値	0	1	2	3	4	5
J B 1	2 9	5 3	1 9	0	0	0
J B *	2 7	5 1	1 6	6	0	0
J B 2	4 2	4 4	1 3	1	0	0
J B **	2 6	4 9	1 8	7	0	0

J B * J B 1 の年齢と同じくした J B のデータ

J B ** J B 2 の性・年齢と同じくした J B のデータ

J B 1 は J B 全体に近くなるが、性・年齢を同じにしても J B 2 は J B より義理人情的でない（0が多い）ということが出来る。

（ii） affection scale

スケール値 5 以上の比率は J B 1 14%，J B 2 9%，J B は 34% である。ここで J B の 3 世の比率をみると 29%、-29 歳の年齢をみると 32% あり J B 1，J B 2 よりも多いことが注目される。日本人スケール値が低い方でも 28% あり、日本にきている日系人は、この点で異なったものがあるようである。

ここでも義理人情スケールの時と同様に J B 1，J B 2 に性・年齢をそろえた上での J B と J B 1，J B 2 を比較してみよう（5 以上の比率%）

J B 1	14
J B *	30
J B 2	9
J B **	28

上に議論したように、J B 1，J B 2 とともに J B の同年齢層，同性層にくらべて affection の程度は低い。

（iii） 中間回答スケール

これは、自記式によるので J B との比較は意味がない、J B 1 は J B 2 より中間回答が多目である。J B において女は男よりも中間回答が少目であることから考え J B 2 は男のみであるので、むしろ中間回答が J B 1 より多くなりそうであるが、それが逆に出ている。このことから考え J B 2 はよりものをはっきり言うものが多いのではないかと推論される。

第 3 部

付

録

1. 質問文と単純集計
2. 日本人、ブラジル日系人、ハワイ日系人、アメリカ人（北米）等の質問別単純集計比較表
3. 自由回答の結果
4. ブラジル日系人の属性（性、年令、世代、日本人スケールによる）別集計表
5. ポルトガル語の調査票
6. ブラジルに於ける日系人口調査報告書－1987・1988－の抜粋及び英文要旨

付録1 質問文と単純集計

付. トメアスー・マリング・在日日系ブラジル人の意見分布

- 注) 1 問1～9、問10 f～i、フェイスシートは調査票からの和訳、それ以外は日本語オリジナルの質問文を示す
 2 調査はポルトガル語で行った(ポルトガル語調査票は付録5)
 3 集計は、日系人口構成で補正した集計(ウェイト付き)とそうでないもの(ウェイト)を示す

以下の分類における意見分布(%)

W 492	S 492	W 486	S 486	HJA	JAPAN
1 ↑ウェイト付き 標本数	1 ↑ウェイトなし 標本数	1 ↑ウェイト付き 標本数(ウェイト 10000以上のもの除外)	1 ↑ウェイトなし 標本数(左に同じ)	1 ハワイの日系人	日本人
2	2	2	2	2	
3	3	3	3	3	
4	4	4	4	4	
↑回答カテゴリー			↑回答カテゴリー	1988年	1988年
B-JB	TOME	MARI	J-JB1	J-JB2	
ブラジル日系人 W492に同じ	トメアスー 標本数110	マリング 標本数205	海外日系人協会 在日ブラジル日系人 118	いすゞ自動車栃木工場 在日ブラジル日系人 85	

1991年

ブラジル日系人意識調査

日本語調査票

サンパウロ人文科学研究所
CENTRO DE ESTUDOS NIPI-BRASILEIROS
RUA SAO JOAQUIM. 381, 3AND.
LIBERDADE, SAO PAULO
TEL(011)279-5465
(011)277-8616

調査員の皆さんへ

この日本語版調査票はあくまで、補足的なものです。ポルトガル語の不自由な被対象者のために使用してください。但し、調査結果を記入するのはあくまで、ポルトガル語のオリジナルな調査票をお願いします。

この調査票は各調査員に2部ずつお渡しします。必要なら、必要なだけコピーをとってください。

被調査者の皆様へお願い

調査員の多くは、日本語が十分に理解できません。従って、皆様と意思の疎通がむずかしいかと思います。そこで、日本語版の調査票を用意いたしました。設問の並び方や回答の選択肢はポルトガル語の調査票と同様ですので、設問をお読みになって、お答え下さい。

サンパウロ人文科学研究所

問1 ブラジルについて、良いところ、悪いところは何だと思えますか。
(記入)

b. これについてあなたはどのように思えますか。
(記入)

問2 では、日本について、良いところ、悪いところは何だと思えますか。
(記入)

問3 日本との関わりで、あなたは何をしたいと思えますか。
(記入)

問4 日系人として次の世代に何を伝えたいと思えますか。
(記入)

問5 日系人として、ブラジル社会にどんな貢献ができると思えますか。
(記入)

問6 あなたは日本へ行ったことがありますか。

1. はい

2. いいえ

0. 回答なし

Brazil											
	W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	15.3	16.5	12.7	16.3	1.	-	-	15.3	41.1	13.7	-
2.	84.7	83.5	87.3	83.7	2.	-	-	84.7	55.6	83.4	-
0.	-	-	-	-	0.	-	-	3.3	2.9	-	-

(1. はい と回答した人に) それはどのような目的でしたか。

1. 観光

2. 親戚訪問

3. 留学

4. 出張

5. 仕事 (出稼ぎ)

0. 非該当、回答なし

Brazil											
	W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	6.2	4.9	4.3	4.7	1.	-	-	6.2	5.3	2.4	-
2.	5.8	5.9	4.7	5.8	2.	-	-	5.8	21.9	5.9	-
3.	0.7	0.8	0.8	0.8	3.	-	-	0.7	1.3	0.5	-
4.	1.0	1.4	1.2	1.4	4.	-	-	1.0	2.0	0.5	-
5.	0.3	0.8	0.3	0.8	5.	-	-	0.3	10.6	2.9	-
0.	86.0	86.2	88.7	86.4	0.	-	-	86.0	58.9	87.8	-

問7 あなたは日本へ行きたいと思いますか。

1. はい

2. いいえ

0. 回答なし

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
	W492	S492	W486	S486								
1.	86.2	83.9	84.0	83.7	1.	-	-	86.2	84.1	86.3	-	-
2.	13.8	16.1	16.0	16.3	2.	-	-	13.8	12.6	11.2	-	-
0.	-	-	-	-	0.	-	-	-	3.3	2.4	-	-

(1. はい と回答した人に) それはどのような目的ですか。

1. 観光

2. 親戚訪問

3. 留学

4. 出張

5. 仕事(出稼ぎ)

0. 非該当、回答なし

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
	W492	S492	W486	S486								
1.	44.6	48.2	46.5	48.4	1.	-	-	44.6	33.1	48.8	-	-
2.	15.5	10.8	13.0	10.5	2.	-	-	15.5	24.5	11.7	-	-
3.	4.9	4.5	5.7	4.5	3.	-	-	4.9	4.6	12.2	-	-
4.	1.9	2.8	2.2	2.9	4.	-	-	1.9	0.7	2.9	-	-
5.	14.0	9.6	10.4	9.3	5.	-	-	14.0	20.5	10.7	-	-
0.	19.1	24.2	22.1	24.5	0.	-	-	19.1	16.6	13.7	-	-

続いて、意識の国際比較の質問に移ります。

問8 あなたと同じ年の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか。

1. 非常に満足している

2. 満足している

3. あまり満足していない

4. 満足していない

5. その他(記入)

6. わからない

回答なし

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
	W492	S492	W486	S486								
1.	48.8	43.9	44.8	43.6	1.	37.8	13.6	48.8	24.5	48.8	22.9	45.9
2.	42.0	45.9	44.5	46.1	2.	57.2	57.5	42.0	57.0	45.4	68.6	44.7
3.	7.8	0.3	9.0	9.5	3.	5.0	21.1	7.8	15.9	5.9	5.9	4.7
4.	0.4	0.4	0.5	0.4	4.	-	5.4	0.4	1.3	-	0.8	1.2
5.	1.0	0.4	1.2	0.4	5.	-	0.1	1.0	0.7	-	0.8	2.4
6.	-	-	-	-	6.	-	2.3	-	0.7	0.8	1.2	-

問9 自分自身が将来について期待や希望を持っていることがあると思います。あなたは、次のようなことについてどの程度の期待や希望を持っていますか。

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 非常に希望を持つ | 5. その他 |
| 2. かなり希望を持つ | 6. わからない |
| 3. 少し希望を持つ | 7. 非該当 |
| 4. 全く希望を持たない | 回答なし |

a. 社会的・経済的成功	1	2	3	4	5	6	7
b. 結婚や家庭生活	1	2	3	4	5	6	7
c. 子供の将来	1	2	3	4	5	6	7
d. 世の中がよくなる	1	2	3	4	5	6	7
e. 国の政治・経済	1	2	3	4	5	6	7
f. 世界の平和	1	2	3	4	5	6	7
g. 地球環境の保全	1	2	3	4	5	6	7

a. 「社会的・経済的成功」についての希望

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 47.5	53.3	50.1	53.5	1.	-	-	47.5	26.5	51.2	55.9	45.9
2. 27.7	26.6	27.9	26.5	2.	-	-	27.7	28.5	30.7	27.1	18.8
3. 16.1	12.8	11.9	12.6	3.	-	-	16.1	31.8	11.7	7.6	1.2
4. 4.6	4.1	5.3	4.1	4.	-	-	4.6	4.0	3.4	0.8	3.5
5. -	-	-	-	5.	-	-	-	-	1.5	-	2.4
6. 2.3	0.8	2.6	0.8	6.	-	-	2.3	6.6	1.5	1.7	1.2
7. 1.9	0.4	2.1	2.5	7.	-	-	1.9	2.6	-	6.8	27.1

b. 「結婚や家庭生活」についての希望

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 54.1	63.6	57.7	64.0	1.	-	-	54.1	45.0	75.6	57.6	62.4
2. 23.5	16.9	19.3	16.5	2.	-	-	23.5	21.2	15.6	20.3	4.7
3. 10.1	5.9	8.7	5.8	3.	-	-	10.1	10.6	3.4	3.4	-
4. 2.6	2.2	3.1	2.3	4.	-	-	2.6	6.6	0.5	1.7	-
5. 3.0	2.2	3.4	2.3	5.	-	-	3.0	0.7	2.4	0.8	2.4
6. 2.6	2.4	3.1	2.5	6.	-	-	2.6	6.0	1.5	5.1	1.2
7. 4.1	6.7	4.7	6.8	7.	-	-	4.1	9.9	1.0	11.0	29.4

c. 「子供の将来」についての希望

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 62.9	66.9	62.1	66.9	1.	-	-	62.9	50.3	77.1	50.8	52.9
2. 17.5	14.4	15.2	14.2	2.	-	-	17.5	21.2	14.1	17.8	10.6
3. 4.7	4.7	5.4	4.7	3.	-	-	4.7	11.9	3.9	5.9	2.4
4. 0.4	0.8	0.4	0.8	4.	-	-	0.4	0.7	0.5	-	-
5. 0.4	0.6	0.4	0.6	5.	-	-	0.4	2.0	-	4.2	1.2
6. 3.9	2.6	4.5	2.7	6.	-	-	3.9	8.6	2.9	5.9	1.2
7. 10.2	10.0	11.8	10.1	7.	-	-	10.2	5.3	1.5	15.3	31.8

d. 「世の中がよくなる」ことについての希望

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
	W492	S492	W486	S486								
1.	42.3	39.4	43.1	39.5	1.	-	-	42.3	27.2	36.6	22.9	22.4
2.	28.4	28.9	26.8	28.6	2.	-	-	28.4	27.8	32.7	34.7	25.9
3.	19.8	21.5	19.2	21.6	3.	-	-	19.8	30.5	23.4	17.8	11.8
4.	5.0	5.1	5.8	5.1	4.	-	-	5.0	-	2.9	7.6	2.4
5.	0.1	0.4	0.1	0.4	5.	-	-	0.1	-	0.5	2.5	-
6.	4.0	3.7	4.6	3.7	6.	-	-	4.0	11.3	3.4	4.2	8.2
7.	0.4	1.0	0.4	1.0	7.	-	-	0.4	3.3	0.5	10.2	29.4

e. 「国の政治・経済」についての希望

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	22.8	20.1	20.5	20.0	1.	-	-	22.8	15.2	10.7	8.5	9.4
2.	26.3	27.8	24.6	27.8	2.	-	-	26.3	21.9	25.4	35.6	21.2
3.	31.7	31.9	32.7	31.9	3.	-	-	31.7	31.8	42.9	25.4	22.4
4.	12.8	12.4	14.8	12.6	4.	-	-	12.8	17.9	17.1	15.3	12.9
5.	0.2	0.6	0.2	0.6	5.	-	-	0.2	-	-	-	-
6.	5.5	5.5	6.4	5.6	6.	-	-	5.5	7.9	2.9	4.2	2.4
7.	0.7	1.6	0.8	1.6	7.	-	-	0.7	5.3	1.0	11.0	31.8

f. 「世界の平和」についての希望

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2		
	W492	S492	W486	S486								
1.	43.0	38.8	43.0	38.9	1.	-	-	43.0	33.1	44.4	22.0	36.5
2.	24.3	28.0	23.1	28.0	2.	-	-	24.3	23.2	29.3	30.5	18.8
3.	21.9	20.9	21.3	20.8	3.	-	-	21.9	24.5	16.1	21.2	7.1
4.	6.2	6.3	7.2	6.4	4.	-	-	6.2	6.0	3.9	5.1	3.5
5.	0.4	0.4	0.4	0.4	5.	-	-	0.4	-	-	0.8	-
6.	3.5	4.3	4.0	4.3	6.	-	-	3.5	9.3	5.9	9.3	7.1
7.	0.8	1.2	0.9	1.2	7.	-	-	0.8	4.0	0.5	11.0	27.1

g. 「地球環境の保全」についての希望

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
	W492	S492	W486	S486								
1.	35.9	35.8	35.8	35.8	1.	-	-	35.9	21.2	32.7	14.4	21.2
2.	23.6	30.5	27.4	30.9	2.	-	-	23.6	37.1	28.8	39.8	30.6
3.	26.2	20.1	20.4	19.5	3.	-	-	26.2	19.9	24.4	21.2	8.2
4.	8.7	5.9	10.1	6.0	4.	-	-	8.7	3.3	6.3	7.6	2.4
5.	0.6	1.4	0.7	1.4	5.	-	-	0.6	2.0	-	0.8	-
6.	4.7	5.3	5.5	5.3	6.	-	-	4.7	11.9	5.9	5.9	8.2
7.	0.3	1.0	0.4	1.0	7.	-	-	0.3	4.6	2.0	10.2	29.4

問10 ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることがあると思います。
あなたは次のような危険について不安を感じることがありますか。

1. 非常に感じる
2. かなり感じる
3. 少しは感じる
4. 全く感じない

0. わからない
その他、回答なし

- | | | | | | |
|-------------------------------|---|---|---|---|---|
| a. まず、「重い病気」の不安はどの程度でしょうか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 0 |
| b. では、「交通事故」についてはどうでしょうか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 0 |
| c. では、「失業」についてはどうでしょうか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 0 |
| d. では、「戦争」についてはどうでしょうか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 0 |
| e. では、「原子力施設の事故」についてはどうでしょうか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 0 |
- 話題は変わりますが、次のことはどうですか。
- | | | | | | |
|------------------------------|---|---|---|---|---|
| f. まず、「おどし・暴力」についてはどうでしょうか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 0 |
| g. では、「麻薬」についてはどうでしょうか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 0 |
| h. では、「環境問題」についてはどうでしょうか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 0 |
| i. では、「国の政治や経済」についてはどうでしょうか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 0 |

a. 「重い病気」の不安

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 56.9	55.9	56.8	55.8	1.	37.8	21.9	56.9	40.4	58.5	54.2	57.6
2. 9.0	11.4	10.4	11.5	2.	32.8	24.9	9.0	15.2	12.2	16.1	10.6
3. 18.5	18.7	18.5	18.7	3.	17.8	38.7	18.5	33.8	16.1	15.3	11.8
4. 15.6	13.6	14.2	13.6	4.	10.6	13.6	15.6	8.6	13.2	11.9	9.4
0. 0.1	0.4	0.1	0.4	0.	1.2	1.0	0.1	2.0	-	2.5	10.6

b. 「交通事故」の不安

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 51.3	52.8	52.4	52.9	1.	39.4	26.0	51.3	25.2	53.2	33.1	34.1
2. 13.1	12.4	12.3	12.3	2.	32.8	31.1	13.1	19.2	16.6	20.3	12.9
3. 20.3	18.3	17.7	18.1	3.	21.1	32.4	20.3	37.1	16.6	27.1	15.3
4. 12.5	12.8	14.5	13.0	4.	5.6	9.2	12.5	14.6	12.7	12.7	15.3
0. 2.7	3.7	3.2	3.7	0.	1.1	1.3	2.7	4.0	1.0	6.8	22.4

c. 「失業」の不安

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 48.0	44.5	44.7	44.2	1.	15.0	8.2	48.0	16.6	37.6	32.2	30.6
2. 12.5	14.6	14.4	14.8	2.	30.0	14.4	12.5	9.9	11.7	17.8	16.5
3. 16.1	16.1	13.7	15.8	3.	28.3	30.2	16.1	17.2	21.5	28.0	11.8
4. 22.8	23.6	26.4	23.9	4.	23.9	41.1	22.8	40.4	28.3	17.8	15.3
0. 0.6	1.2	0.7	1.2	0.	2.7	5.6	0.6	15.9	1.0	4.2	25.9

d. 「戦争」の不安

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 56.5	56.7	58.3	56.8	1.	32.8	11.3	56.5	30.5	42.0	22.9	24.7
2. 8.1	11.2	9.4	11.3	2.	27.8	13.3	8.1	21.9	10.2	13.6	11.8
3. 14.9	14.2	13.5	14.2	3.	27.8	36.4	14.9	13.9	22.4	25.4	14.1
4. 18.9	15.0	16.9	14.8	4.	8.9	32.9	18.9	25.8	22.0	23.7	15.3
0. 1.6	2.8	1.8	2.9	0.	2.8	6.0	1.6	7.9	3.4	14.4	34.1

e. 「原子力施設の事故」の不安

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 53.8	54.5	57.2	54.7	1.	38.3	18.8	53.8	39.1	42.4	31.4	29.4
2. 11.9	11.8	10.0	11.7	2.	26.7	24.8	11.9	9.3	12.7	11.9	8.2
3. 15.9	16.3	14.4	16.0	3.	20.6	34.4	15.9	17.9	18.5	22.0	11.8
4. 13.9	13.2	16.1	13.4	4.	12.2	15.5	13.9	21.2	21.0	23.7	16.5
0. 4.5	4.3	2.3	4.1	0.	2.3	6.5	4.5	12.6	5.4	11.0	34.1

f. 「おどし・暴力」の不安

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 77.0	81.7	80.4	82.1	1.	-	-	77.0	43.7	80.5	67.8	62.4
2. 6.2	7.5	7.1	7.6	2.	-	-	6.2	27.2	11.7	13.6	15.3
3. 7.5	5.3	4.6	4.9	3.	-	-	7.5	13.9	4.9	7.6	3.5
4. 8.4	4.7	6.8	4.5	4.	-	-	8.4	12.6	2.9	5.9	3.5
0. 1.0	0.8	1.1	0.8	0.	-	-	1.0	2.6	-	5.1	15.3

g. 「麻薬」の不安

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 67.3	71.1	69.1	71.4	1.	-	-	67.3	45.7	71.2	42.4	48.2
2. 9.3	10.4	10.8	10.5	2.	-	-	9.3	15.2	10.7	14.4	16.5
3. 10.4	8.5	8.1	8.2	3.	-	-	10.4	7.9	7.8	15.3	4.7
4. 11.2	8.3	10.0	8.2	4.	-	-	11.2	23.8	9.3	22.0	12.9
0. 1.8	1.6	2.1	1.6	0.	-	-	1.8	7.3	1.0	5.9	17.6

h. 「環境問題」の不安

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 48.9	51.2	51.5	51.4	1.	-	-	48.9	25.2	52.2	33.1	37.6
2. 23.9	22.4	21.9	22.2	2.	-	-	23.9	27.8	21.5	27.1	25.9
3. 15.1	17.5	17.6	17.7	3.	-	-	15.1	23.2	18.0	28.0	9.4
4. 10.0	6.7	6.7	6.4	4.	-	-	10.0	13.2	7.3	5.9	2.4
0. 2.1	2.2	2.4	2.3	0.	-	-	2.1	10.6	1.0	5.9	24.7

i. 「国の政治や経済」の不安

Brazil						H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
	W492	S492	W486	S486								
1.	57.0	58.3	59.0	58.4	1.	-	-	57.0	55.6	64.4	60.2	56.5
2.	17.9	16.7	14.9	16.5	2.	-	-	17.9	17.2	18.0	23.7	11.8
3.	16.3	14.6	15.9	14.6	3.	-	-	16.3	13.9	11.7	8.5	7.1
4.	6.5	7.3	7.5	7.4	4.	-	-	6.5	4.6	4.4	3.4	3.5
0.	2.3	3.0	2.7	3.1	0.	-	-	2.3	8.6	1.5	4.2	21.2

問 1 1 あなたはどちらかといえば、普通より先祖を尊ぶ方ですか、それとも普通より尊ばない方ですか。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 普通より尊ぶ方 | 4. その他(記入) |
| 2. 普通より尊ばない方 | 5. わからない |
| 3. 普通 | 回答なし |

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	55.3	52.2	52.3	52.1	1.	51.7	47.5	55.3	58.3	45.9	36.4	32.9
2.	6.1	5.7	7.1	5.8	2.	14.4	8.4	6.1	4.6	6.8	10.2	9.4
3.	34.4	40.0	35.6	40.1	3.	31.7	42.5	34.4	31.1	45.9	39.8	40.0
4.	2.1	1.0	2.5	1.0	4.	0.6	0.0	2.1	-	1.0	0.8	2.4
5.	2.1	1.0	2.5	1.0	5.	1.7	1.5	2.1	6.0	0.5	12.7	15.3

問 1 2 子供がないときは、たとえ血のつながりがない他人の子供でも、養子にもらって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. つがせた方がよい | 4. その他(記入) |
| 2. つがせる必要はない | 5. わからない |
| 3. 場合による | 回答なし |

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	51.9	51.8	49.4	51.6	1.	32.8	19.1	51.9	41.7	57.6	28.0	23.5
2.	26.7	27.8	28.8	28.0	2.	44.4	42.4	26.7	19.9	21.0	21.2	8.2
3.	12.6	9.1	11.7	9.1	3.	13.3	30.5	12.6	23.2	15.1	30.5	37.6
4.	2.6	4.1	3.0	4.1	4.	4.4	0.2	2.6	2.0	2.0	7.6	8.2
5.	6.2	7.1	7.1	7.2	5.	5.0	7.8	6.2	13.2	4.4	12.7	22.4

問 1 3 もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. ずっと働く | 3. その他(記入) |
| 2. 働くのをやめる | 4. わからない |
| | 回答なし |

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	83.3	84.1	83.6	84.2	1.	49.4	64.1	83.3	89.4	86.3	87.3	83.5
2.	12.1	11.0	11.0	10.9	2.	44.4	24.1	12.1	6.0	10.2	3.4	7.1
3.	3.9	4.1	4.5	4.1	3.	5.0	1.5	3.9	1.3	2.0	5.9	1.2
4.	0.7	0.8	0.8	0.8	4.	1.1	10.4	0.7	3.3	1.5	3.4	8.2

問 1 4 仕事について、次の2つの意見があります。どちらがあなたの意見に近いですか。

1. いくらお金があっても、仕事がないと、人生はつまらない
 2. お金があれば、仕事がなくとも、人生がつまらないとは思わない
 3. わからない
- その他、回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	88.0	86.0	86.1	85.8	1.	61.1	72.8	88.0	87.4	88.3	83.9	80.0
2.	9.9	10.8	11.5	10.9	2.	34.4	19.8	9.9	9.3	10.2	3.4	9.4
3.	2.1	3.3	2.5	3.3	3.	4.4	7.4	2.1	3.3	1.5	12.7	10.6

問 1 5 ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。あなたは、どれに一番関心がありますか。

1. お金のことを気にしないですむ程よい給料
 2. 倒産や失業の恐れがない仕事
 3. 気の合った人たちと働くこと
 4. やりとげたという感じがもてる仕事
 5. その他(記入)
 6. わからない
- 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	16.3	13.2	16.0	13.2	1.	14.4	19.8	16.3	7.9	17.1	12.7	20.0
2.	21.2	22.6	18.6	22.4	2.	16.7	15.4	21.2	18.5	18.0	16.9	18.8
3.	12.2	12.6	11.2	12.6	3.	21.7	29.2	12.2	21.2	12.2	8.5	9.4
4.	40.9	43.5	43.4	43.6	4.	45.6	29.4	40.9	49.0	42.4	44.9	34.1
5.	7.8	6.5	9.0	6.6	5.	1.7	0.5	7.8	2.6	8.3	11.9	9.4
6.	1.6	1.6	2.0	1.6	6.	-	5.7	1.7	0.7	2.0	5.1	8.2

問 1 6 人のくらし方にはいろいろあるでしょうが、つぎにあげるもののうちで、どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか。

1. 一生けんめい働き、金持ちになること
 2. まじめに勉強して、名をあげること
 3. 金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をすること
 4. その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
 5. 世の中の正しくないことを押しのけて、どこまでも清く正しくくらすこと
 6. 自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを捧げてくらすこと
 7. その他(記入)
 8. わからない
- 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	8.0	8.9	9.2	9.1	1.	9.4	13.8	8.0	6.6	9.8	2.5	8.2
2.	4.8	7.5	5.6	7.6	2.	3.9	1.7	4.8	4.0	6.3	10.2	5.9
3.	35.9	31.3	33.6	31.1	3.	29.4	37.3	35.9	49.7	32.7	36.4	35.3
4.	25.5	25.4	27.5	25.5	4.	42.8	32.0	25.5	20.5	30.7	17.8	23.5
5.	19.2	17.5	16.4	17.3	5.	10.6	5.9	19.2	12.6	10.2	11.9	15.3
6.	2.4	2.8	2.8	2.9	6.	2.2	2.9	2.4	2.0	3.4	0.8	1.2
7.	3.4	5.3	4.0	5.3	7.	1.1	1.2	3.4	2.6	5.4	14.4	2.4
8.	0.7	1.2	0.8	1.2	8.	0.6	5.2	0.7	2.0	1.5	5.9	8.2

問 1 7 イソップの童話の中に、怠け者のキリギリスと、働き者のアリの話があります。夏の間歌をうたっていたキリギリスが、冬になって、食べる物がなくなり困ってしまい、夏の間働いていたアリのところにやって来ました。この時のアリの答えには、次のような2つの型があります。
あなたは、このお話のむすびとして、この中のどちらがご自分の気持ちにじっくりしますか。

1. 夏の間怠けていたのだから、困るのが当然だといって追い返してしまう
 2. 怠けていたのはいけないけれども、これからはちゃんと働くのですよ、といさめた上で、食べ物を入れてあげる
 3. その他
 4. わからない
- 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	19.9	17.5	21.0	17.5	1.	9.4	15.3	19.9	6.6	6.3	5.1	10.6
2.	77.8	79.5	76.3	79.4	2.	90.6	75.0	77.8	82.8	88.8	82.2	75.3
3.	0.9	2.0	1.1	2.1	3.	-	0.3	0.9	4.6	2.4	10.2	3.5
4.	1.4	1.0	1.6	1.0	4.	-	9.4	1.4	6.0	2.4	2.5	10.6

問 1 8 あなたにとって一番大切と思うものはなんですか。1つだけあげてください。
(記入)

9. わからない

問 1 8-b そのほか、非常に大切と思うものをいくつでもあげてください。
(記入)

9. わからない

問 1 9 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って、1～7の評価をつけてください。

	重 要 で は な い							重 要	わ か ら そ 回 な の 答 い 他 な し
a. まず、「家族や子供」についてはどうですか	1	2	3	4	5	6	7	0	
b. では、「職業や仕事」についてはどうですか	1	2	3	4	5	6	7	0	
c. 「自由になる時間とくつろぎ」については	1	2	3	4	5	6	7	0	
d. では、「友人・知人」については	1	2	3	4	5	6	7	0	
e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」については	1	2	3	4	5	6	7	0	
f. では、「宗教」については	1	2	3	4	5	6	7	0	
g. では、「政治」については	1	2	3	4	5	6	7	0	

a. 「家族や子供」について重要と思う程度

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	2.3	1.2	2.6	1.2	1.	1.1	0.6	2.3	2.0	0.5	0.8	7.1
2.	-	-	-	-	2.	-	0.2	-	-	0.5	-	-
3.	0.4	0.8	0.4	0.8	3.	1.1	0.4	0.4	-	-	-	1.2
4.	2.8	1.6	3.3	1.6	4.	-	2.6	2.8	2.6	-	0.8	-
5.	2.6	1.8	3.0	1.9	5.	1.1	4.4	2.6	0.7	0.5	5.9	-
6.	1.1	3.9	1.2	3.9	6.	4.4	7.5	1.1	2.6	2.4	5.9	1.2
7.	90.3	90.2	88.8	90.1	7.	89.4	82.6	90.3	92.1	95.6	83.9	85.9
0.	0.6	0.4	0.7	0.4	0.	-	1.5	0.6	-	0.5	2.5	4.7

b. 「職業や仕事」について重要と思う程度

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	2.5	1.0	2.9	1.0	1.	6.1	1.4	2.5	2.6	1.0	0.8	5.9
2.	0.2	0.4	0.2	0.4	2.	0.6	0.9	0.2	0.7	-	-	2.4
3.	0.2	0.2	0.2	0.2	3.	2.8	1.3	0.2	1.3	0.5	-	-
4.	2.1	2.4	2.4	2.5	4.	11.1	8.4	2.1	6.0	-	2.5	1.2
5.	3.5	5.7	4.1	5.8	5.	21.7	12.3	3.5	3.3	3.9	6.8	4.7
6.	12.6	14.4	14.6	14.6	6.	19.4	17.6	12.6	0.7	7.8	16.1	12.9
7.	78.9	75.8	75.6	75.5	7.	32.2	54.6	78.9	84.8	86.3	71.2	60.0
0.	-	-	-	-	0.	-	3.1	-	0.7	0.5	2.5	12.9

c. 「自由になる時間とくつろぎ」について重要と思う程度

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	4.1	3.7	4.8	3.7	1.	0.6	0.6	4.1	6.6	1.5	2.5	7.1
2.	2.8	2.6	3.3	2.7	2.	0.6	1.1	2.8	1.3	2.0	-	1.2
3.	8.8	7.7	8.2	7.6	3.	3.9	3.1	8.8	4.6	5.9	4.2	5.9
4.	20.9	19.9	21.3	20.0	4.	16.7	17.0	20.9	16.6	15.6	12.7	10.6
5.	12.6	15.2	11.6	15.2	5.	26.1	24.2	12.6	7.9	16.6	17.8	17.6
6.	17.9	16.5	16.9	16.5	6.	20.6	20.8	17.9	12.6	16.1	21.2	11.8
7.	32.8	33.9	33.8	34.0	7.	31.1	31.2	32.8	49.7	42.0	38.1	30.6
0.	0.1	0.4	0.1	0.4	0.	0.6	2.0	0.1	0.7	0.5	3.4	15.3

d. 「友人・知人」について重要と思う程度

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	1.9	0.8	2.2	0.8	1.	0.6	0.4	1.9	1.3	1.0	2.5	2.4
2.	1.3	1.2	1.5	1.2	2.	0.6	0.2	1.3	-	-	-	5.9
3.	1.2	1.8	1.4	1.9	3.	0.6	1.5	1.2	1.3	2.0	3.4	-
4.	8.1	8.7	6.4	8.6	4.	10.6	8.7	8.1	5.3	4.9	3.4	4.7
5.	9.4	11.8	10.9	11.9	5.	22.2	20.4	9.4	4.6	7.8	12.7	5.9
6.	18.3	17.1	19.2	17.1	6.	30.0	27.5	18.3	11.9	15.1	16.7	16.5
7.	59.8	58.5	58.4	58.4	7.	35.0	39.4	59.8	74.2	68.8	57.6	45.9
0.	-	-	-	-	0.	-	1.5	-	1.3	0.5	3.4	18.8

e. 「両親、兄弟、姉妹、親戚」について重要と思う程度

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
	W492	S492	W486	S486								
1.	1.7	1.0	2.0	1.0	1.	0.6	0.5	1.7	0.7	0.5	-	4.7
2.	0.6	0.6	0.7	0.6	2.	0.6	0.4	0.6	1.3	0.5	0.8	1.2
3.	0.2	0.8	0.2	0.8	3.	2.2	1.0	0.2	-	-	1.7	1.2
4.	1.6	2.8	1.9	2.9	4.	0.6	5.1	1.6	1.3	1.5	2.5	-
5.	1.4	4.1	1.7	4.1	5.	9.4	10.6	1.4	1.3	1.0	2.5	5.9
6.	7.4	9.6	8.6	9.7	6.	18.3	22.6	7.4	7.3	9.3	12.7	3.5
7.	86.8	80.9	84.7	80.7	7.	66.1	58.1	86.8	87.4	86.8	75.4	68.2
0.	0.2	0.2	0.5	0.2	0.	-	1.6	0.2	0.7	0.5	4.2	15.3

f. 「宗教」について重要と思う程度

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	5.9	4.7	3.9	4.5	1.	11.1	12.4	5.9	8.6	2.0	10.2	8.2
2.	3.7	3.0	4.3	3.1	2.	3.9	8.7	3.7	-	3.4	8.5	4.7
3.	5.4	6.9	6.2	7.0	3.	6.1	13.1	5.4	3.3	6.3	13.6	4.7
4.	10.9	14.4	12.6	14.6	4.	17.8	24.5	10.9	17.9	10.7	9.3	10.6
5.	9.4	11.4	10.8	11.5	5.	23.3	15.9	9.4	11.9	12.7	14.4	8.2
6.	12.9	15.0	14.9	15.2	6.	13.3	7.8	12.9	8.6	11.7	13.6	9.4
7.	51.9	44.3	47.2	43.8	7.	24.4	13.8	51.9	47.0	53.2	25.4	35.3
0.	0.0	0.2	0.0	0.2	0.	-	3.6	0.0	2.6	-	5.1	18.8

g. 「政治」について重要と思う程度

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	14.2	14.2	12.6	14.2	1.	8.3	2.8	14.2	7.9	14.6	11.0	16.5
2.	10.5	8.9	9.2	8.8	2.	8.3	5.3	10.5	0.7	6.3	5.9	4.7
3.	8.5	9.6	7.8	9.5	3.	13.9	8.9	8.5	3.3	11.2	7.6	3.5
4.	15.5	16.1	17.9	16.3	4.	30.6	24.5	15.5	20.5	14.6	15.3	14.1
5.	12.8	12.4	14.8	12.6	5.	20.6	20.9	12.8	14.6	16.1	11.9	15.3
6.	12.2	12.2	12.1	12.1	6.	11.1	15.0	12.2	14.6	12.2	16.9	8.2
7.	24.2	24.4	22.9	24.3	7.	7.2	18.2	24.2	35.8	22.9	23.7	15.3
0.	2.2	2.2	2.6	2.3	0.	-	4.4	2.2	2.6	2.0	7.6	22.4

問 2 0 あなたの生活についてお伺いします。一口にいったあなたは今の生活に満足していますか。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 満足している | 6. その他(記入) |
| 2. 少しは満足している | 7. わからない |
| 3. どちらともいえない | 回答なし |
| 4. 少し不満である | |
| 5. 満足していない(不満) | |

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	63.5	61.0	61.7	60.9	1.	30.0	32.8	63.5	40.4	61.5	29.7	40.0
2.	17.7	18.1	16.5	17.9	2.	57.8	41.4	17.7	32.5	21.5	33.9	22.4
3.	11.0	12.2	12.7	12.3	3.	9.4	13.2	11.0	11.3	7.3	15.3	20.0
4.	6.1	4.3	7.1	4.3	4.	1.7	9.6	6.1	6.6	7.8	12.7	11.8
5.	1.8	4.3	2.1	4.3	5.	0.6	2.7	1.8	7.9	1.5	5.9	4.7
6.	0.0	0.2	0.0	0.2	6.	-	-	0.0	-	0.5	0.8	-
7.	-	-	-	-	7.	0.6	0.3	-	1.3	-	1.7	1.2

問 2 1 こういう意見があります。「世の中は、だんだん科学や技術が発展して、便利になってくるが、それにつれて人間らしさがなくなって行く」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 賛成(人間らしさはへる) | 4. その他(記入) |
| 2. 反対(人間らしさ、不変、ふえる) | 5. わからない |
| 3. いちがいにはいえない | 回答なし |

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	67.3	66.3	66.3	66.3	1.	80.6	44.6	67.3	41.7	57.1	55.9	47.1
2.	15.7	17.1	16.0	17.1	2.	10.6	9.9	15.7	11.3	22.4	19.5	18.8
3.	11.3	12.2	11.1	12.1	3.	6.1	39.3	11.3	35.8	18.0	18.6	23.5
4.	0.8	0.8	1.0	0.8	4.	0.6	0.0	0.8	1.3	-	4.2	1.2
5.	4.8	3.7	5.6	3.7	5.	2.2	6.1	4.8	9.9	2.4	1.7	9.4

問 2 2 小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。「小さいときから、お金は人にとって、最も大切なものの1つだと教えるのがよい」というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 賛成 | 4. その他(記入) |
| 2. 反対 | 5. わからない |
| 3. いちがいにはいえない | 回答なし |

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	23.1	24.8	23.8	24.9	1.	20.6	47.8	23.1	31.8	19.0	11.9	14.1
2.	59.9	62.2	59.4	62.1	2.	73.3	18.7	59.9	39.1	64.9	61.0	58.8
3.	13.7	10.6	13.0	10.5	3.	3.3	30.2	13.7	25.8	14.1	22.9	21.2
4.	2.3	1.6	2.7	1.6	4.	2.2	0.1	2.3	2.6	1.5	2.5	1.2
5.	1.0	0.8	1.2	0.8	5.	0.6	2.7	1.0	0.7	0.5	1.7	4.7

問 2 3 それでは、やはり小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、小さいときから、自由の尊さを教えるのと、規律の尊さを教えるのとでは、どちらが大切だと思いますか。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 自由の尊さを教える | 3. その他(記入) |
| 2. 規律の尊さを教える | 4. わからない |
| | 回答なし |

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
	W492	S492	W486	S486							
1.	21.1	17.3	14.8	16.9	1.	-	-	21.1	11.3	14.6	17.8
2.	69.3	67.3	74.2	67.5	2.	-	-	69.3	75.5	65.9	61.0
3.	9.4	15.0	10.9	15.2	3.	-	-	9.4	10.6	18.5	16.1
4.	0.1	0.4	0.2	0.4	4.	-	-	0.1	2.6	1.0	5.1

問 2 4 こういう意見があります。「国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりはその人達にまかせる方がよい」というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 賛成(まかせる) | 4. その他(記入) |
| 2. 反対(まかせっきりはいけない) | 5. わからない |
| 3. いちがいにはいえない | 回答なし |

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
	W492	S492	W486	S486							
1.	38.4	37.4	39.4	37.4	1.	10.0	13.1	38.4	35.8	31.7	24.6
2.	51.3	52.6	48.6	52.5	2.	77.2	61.6	51.3	39.1	50.7	52.5
3.	6.7	6.5	7.8	6.6	3.	11.7	19.0	6.7	22.5	14.6	15.3
4.	1.8	1.4	2.1	1.4	4.	-	0.1	1.8	-	1.5	5.1
5.	1.8	2.0	2.1	2.1	5.	1.1	6.2	1.8	2.6	1.5	2.5

問 2 5 あなたは、自分が正しいと思えば世間の慣習に反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間の慣習に従った方がまちがいないと思いますか。

- | | |
|----------|-------------|
| 1. おし通せ | 4. その他(記入) |
| 2. 従え | 5. わからない |
| 3. 場合による | 回答なし |

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
	W492	S492	W486	S486							
1.	42.8	42.7	43.8	42.8	1.	51.1	19.2	42.8	30.5	44.9	52.5
2.	35.3	32.9	35.8	32.9	2.	22.2	25.7	35.3	32.5	22.9	7.6
3.	19.7	22.0	17.9	21.8	3.	25.0	52.0	19.7	34.4	30.7	35.6
4.	0.7	0.8	0.8	0.8	4.	0.6	0.1	0.7	-	0.5	2.5
5.	1.5	1.6	1.7	1.6	5.	1.1	3.0	1.5	2.6	1.0	1.7

問 2 6 こういう意見があります。「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ（人間らしさ）はへりはしない」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 賛成（へらない） | 4. その他（記入） |
| 2. 反対（へる） | 5. わからない |
| 3. いちがいにはいえない | 回答なし |

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 52.7	51.0	51.9	50.8	1. 80.6	29.6	52.7	33.8	36.6	29.7	24.7
2. 32.8	33.7	34.2	34.0	2. 12.2	31.3	32.8	30.5	45.4	46.6	40.0
3. 9.6	11.4	8.2	11.3	3. 5.6	32.4	9.6	27.2	15.6	16.1	22.4
4. 1.6	0.8	1.8	0.8	4. 1.1	0.0	1.6	-	-	1.7	-
5. 3.3	3.0	3.8	3.1	5. 0.6	6.6	3.3	8.6	2.4	5.9	12.9

問 2 7 次のような考え方があります。「家庭は、こちよく、くつろげる、ただ1つの場所である」というのですが、あなたはそう思いますか、そうは思いませんか。

- | | |
|------------|------------|
| 1. そう思う | 3. その他（記入） |
| 2. そうは思わない | 4. わからない |
| | 回答なし |

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 76.7	70.9	76.8	70.8	1. 50.6	80.3	76.7	80.1	72.2	55.1	52.9
2. 22.0	26.6	21.6	26.7	2. 48.3	16.3	22.0	13.9	24.4	40.7	41.2
3. 1.2	2.2	1.4	2.3	3. 1.1	0.6	1.2	4.0	3.4	2.5	3.5
4. 0.2	0.2	0.2	0.2	4. -	2.8	0.2	2.0	-	1.7	2.4

問 2 8 つぎの3つの意見の中で、どれが一番あなたの意見に近いですか。

1. 離婚はすべきではない
 2. ひどい場合には、いつ離婚してもよい
 3. 二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい
 4. わからない
- その他、回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 42.8	37.0	39.9	36.9	1. 46.1	35.4	42.8	42.4	33.7	14.4	28.2
2. 22.9	23.0	20.3	22.5	2. 37.8	37.7	22.9	27.8	35.6	28.8	28.2
3. 33.5	37.8	38.8	38.4	3. 13.9	19.5	33.5	25.8	27.3	48.3	30.6
4. 0.8	2.2	1.0	2.3	4. 2.3	7.5	0.8	4.0	3.4	8.5	12.9

問 2 9 家事や子供の世話について、どうお考えですか。

1. すべてが女性の仕事である
 2. いくつかは女性の仕事である
 3. すべての仕事は、男性、女性の区別なくやるべきだ
 4. わからない
- その他、回答なし

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 10.9	10.4	12.7	10.5	1.	7.2	13.6	10.9	14.6	7.3	1.7	7.1
2. 21.5	19.3	22.0	19.3	2.	35.6	53.7	21.5	33.8	25.4	23.7	24.7
3. 67.0	69.9	64.6	69.8	3.	54.4	28.3	67.0	51.0	67.3	72.0	57.6
4. 0.6	0.4	0.7	0.4	4.	2.8	4.3	0.6	0.7	-	2.5	10.6

問 3 0 「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、親はそれが本当であることを知っている場合、子供には、「そんなことはない」といった方がよいと思いますか、それとも「それはほんとうだ」といった方がよいと思いますか。

1. ほんとうだという
 2. そんなことはないという
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 79.9	78.9	76.7	78.6	1.	79.4	55.5	79.9	64.9	80.5	83.9	70.6
2. 7.6	8.7	8.8	8.8	2.	7.8	24.6	7.6	19.2	4.9	1.7	4.7
3. 8.9	8.5	10.4	8.6	3.	10.6	3.8	8.9	6.0	6.8	10.2	4.7
4. 3.6	3.9	4.1	3.9	4.	2.2	16.2	3.6	9.9	7.8	4.2	20.0

問 3 1 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受け取ったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を1つだけえらんで下さい。

1. 何をおいても、すぐに故郷に帰る
 2. 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 69.6	67.7	73.6	67.9	1.	60.0	45.7	69.6	55.0	65.9	56.8	50.6
2. 22.7	20.3	17.4	20.0	2.	33.9	37.7	22.7	28.5	18.0	18.6	22.4
3. 4.9	6.9	5.7	7.0	3.	5.6	1.3	4.9	6.6	12.2	18.6	14.1
4. 2.8	5.1	3.2	5.1	4.	0.6	15.4	2.8	9.9	3.9	5.9	12.9

問 3 2 いまの質問では、恩師が死にそうなときを、うかがいましたが、もしキトクなのが恩人ではなくて、南山さんの親だったら、どうしたらよいと思いますか。どちらかえらんで下さい。

1. 何をしておいても、すぐに故郷に帰る
 2. 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
 3. その他（記入
 4. わからない
- 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	76.1	71.7	78.2	71.8	1.	64.4	45.4	76.1	60.9	71.7	63.6	51.8
2.	18.6	18.3	15.5	18.1	2.	27.2	40.6	18.6	28.5	16.1	16.9	23.5
3.	2.9	5.7	3.4	5.8	3.	6.7	1.2	2.9	4.0	7.8	15.3	10.6
4.	2.4	4.3	2.8	4.3	4.	1.7	12.8	2.4	6.6	4.4	4.2	14.1

問 3 3 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い（ほんとうのことに近い）と思うものを、1つだけ選んで下さい。

1. 人間が幸福になるためには、自然に従わなくてはならない
 2. 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
 3. 人間が幸福になるためには、自然を征服していかなければならない
 4. その他（記入
 5. わからない
- 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	44.9	39.8	39.0	39.3	1.	50.6	36.6	44.9	40.4	42.0	40.7	42.4
2.	14.4	15.2	13.7	15.2	2.	38.9	47.9	14.4	23.2	7.8	7.6	15.3
3.	33.6	35.8	39.0	36.2	3.	6.7	5.3	33.6	24.5	40.5	30.5	23.5
4.	5.7	7.5	6.6	7.4	4.	1.7	0.7	5.7	5.3	7.3	15.3	10.6
5.	1.5	1.6	1.7	1.6	5.	2.2	9.5	1.5	6.6	2.4	5.9	8.2

問 3 4 あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか、1つだけあげて下さい。

1. 個人が幸福になってはじめて、国全体がよくなる
 2. 国がよくなって、はじめて個人が幸福になる
 3. 国がよくなることも、個人が幸福になることも同じである
 4. その他（記入
 5. わからない
- 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	17.6	24.2	20.4	24.5	1.	29.4	34.0	17.6	17.9	17.6	16.1	16.5
2.	49.7	45.5	46.7	45.3	2.	33.3	22.4	49.7	42.4	44.4	35.6	45.9
3.	26.5	25.0	28.7	25.1	3.	31.7	36.0	26.5	32.5	27.8	21.2	14.1
4.	1.8	3.3	2.1	3.3	4.	2.8	0.2	1.8	0.7	5.9	15.3	7.1
5.	4.3	2.0	2.0	1.9	5.	2.8	7.3	4.3	6.6	4.4	11.9	16.5

問 3 5 つぎのうち、大切なものを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか。

- a. 親孝行、親に対する愛情と尊敬
- b. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する
- c. 個人の権利を尊重すること
- d. 個人の自由を尊重すること
- e. その他(記入)
0. 回答なし

)

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
a.	82.3	83.3	81.5	83.3	a.	78.3	77.7	82.3	91.4	86.3	71.2	62.4
b.	42.4	42.7	39.5	42.6	b.	22.8	56.8	42.4	56.3	45.9	16.9	32.9
c.	33.6	34.1	36.7	34.4	c.	72.2	25.2	33.6	24.5	26.3	43.2	37.6
d.	32.5	34.8	35.7	35.0	d.	25.6	32.8	32.5	18.5	45.6	40.7	20.0
e.	3.2	1.0	1.7	0.8	e.	0.6	-	3.2	-	2.0	0.8	2.4
0.	0.3	0.2	0.4	0.2	0.	1.8	-	0.3	-	2.9	27.1	41.2

問 3 6 つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか。

1. 他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事はあまりできない人
2. 仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人
3. その他(記入)
4. わからない
- 回答なし

)

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	69.5	61.8	67.7	61.5	1.	81.7	61.5	69.5	69.5	71.7	61.0	58.8
2.	14.9	15.7	17.2	15.8	2.	12.8	11.3	14.9	4.6	8.3	4.2	12.9
3.	10.0	15.9	11.6	16.0	3.	5.6	4.3	10.0	9.9	13.7	23.7	8.2
4.	5.6	6.7	3.5	6.6	4.	-	23.0	5.6	15.9	6.3	11.0	20.0

問 3 7 物事を決定する時に「一定の原則に従うこと」に重点をおく人と、「他人との調和をはかること」に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな“ひとがら”ですか。

1. 物事を決定するときに一定の原則に従うことに重点をおく人
2. 物事を決定するときに他人との調和をはかることに重点をおく人
3. その他(記入)
4. わからない
- 回答なし

)

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	21.3	20.9	22.5	21.0	1.	23.3	20.2	21.3	27.8	19.0	12.7	20.0
2.	67.0	68.5	68.8	68.7	2.	71.7	68.3	67.0	59.6	72.2	61.0	50.6
3.	5.5	5.5	4.4	5.3	3.	2.8	1.3	5.5	1.3	2.0	11.9	1.2
4.	6.3	5.1	4.3	4.9	4.	2.2	10.3	6.3	11.3	6.8	14.4	28.2

問 3 8 あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を1人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」と社長のあなたに報告しました。あなたはどちらをとれ（採用しろ）といえますか。

1. 1番の人を採用するようという。
 2. 親戚を採用するようという
 3. その他（記入
 4. わからない
- 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	75.6	74.6	73.7	74.5	1.	68.3	60.4	75.6	74.8	77.1	73.7	69.4
2.	16.2	18.9	18.8	19.1	2.	26.7	22.8	16.2	17.9	15.6	11.0	12.9
3.	7.2	4.9	6.3	4.7	3.	3.3	1.0	7.2	2.6	3.9	7.6	4.7
4.	1.1	1.6	1.3	1.6	4.	1.7	15.8	1.1	4.6	3.4	7.6	12.9

問 3 9 それでは、この場合2番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたが昔世話になった人の子供だったとしたら、あなたはどうしますか。（どちらをとれといえますか）

1. 1番の人を採用するようという。
 2. 昔世話になった人の子供を採用するようという
 3. その他（記入
 4. わからない
- 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	50.3	57.7	53.3	58.1	1.	51.7	40.0	50.3	45.0	56.6	60.2	61.2
2.	42.3	33.9	38.1	33.4	2.	42.2	42.3	42.3	45.0	33.2	22.0	18.8
3.	4.0	5.1	4.7	5.2	3.	3.9	1.2	4.0	3.3	5.4	8.5	5.9
4.	3.4	3.3	4.0	3.3	4.	2.2	15.9	3.4	6.6	4.9	9.3	14.1

問 4 0 ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長に使われる方がよいと思いますか。どちらか1つあげて下さい。

1. 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことで人へのめんどろをみません。
 2. 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもありますが、仕事以外でも人のめんどろをよくみます。
 3. その他（記入
 4. わからない
- 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	24.7	30.5	28.7	30.9	1.	40.6	9.0	24.7	17.9	20.0	24.6	36.5
2.	67.5	62.2	65.4	61.9	2.	59.4	80.3	67.5	70.9	74.6	64.4	40.0
3.	3.2	4.3	3.7	4.3	3.	-	0.1	3.2	4.6	1.0	5.1	4.7
4.	4.5	3.0	2.3	2.9	4.	-	10.6	4.5	6.6	4.4	5.9	18.8

問 4 1 たいていの人は、他人の役にたとうとしていると思いますか、それとも自分のことだけ考えていると思いますか。

1. 他人の役にたとうとしている
 2. 自分のことだけ考えている
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 40.9	33.0	36.5	32.9	1. 58.3	31.2	40.9	57.6	39.0	32.2	38.8
2. 50.5	58.3	55.6	58.8	2. 38.3	54.2	50.5	31.1	53.2	57.6	44.7
3. 5.6	5.3	4.4	5.1	3. 2.8	1.5	5.6	3.3	3.9	5.9	3.5
4. 3.0	3.0	3.5	3.1	4. 0.6	13.5	3.0	7.9	3.9	4.2	12.9

問 4 2 他人は、機会があれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなことはないと思いますか。

1. 他人は機会があれば利用しようとしていると思う
 2. そんなことはないと思う
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 57.6	56.5	61.8	56.8	1. 28.3	32.3	57.6	33.1	46.8	48.3	64.7
2. 35.8	34.3	30.6	34.0	2. 67.8	52.8	35.8	46.4	39.5	25.4	20.0
3. 2.9	4.9	3.3	4.9	3. 2.8	0.9	2.9	2.6	6.3	9.3	4.7
4. 3.6	4.3	4.2	4.3	4. 1.1	14.0	3.6	17.9	7.3	16.9	10.6

問 4 3 たいていの人は信頼できると思いますか、それとも、常に用心した方がよいと思いますか。

1. 信頼できると思う
 2. 常に用心した方がよい
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 6.1	10.4	7.1	10.5	1. 60.0	39.1	6.1	22.5	5.9	5.9	1.2
2. 90.7	85.0	89.3	84.8	2. 38.9	46.0	90.7	72.2	90.2	86.4	89.4
3. 2.8	4.5	3.3	4.5	3. 1.1	2.9	2.8	1.3	3.4	5.9	1.2
4. 0.3	0.2	0.4	0.2	4. -	12.1	0.3	4.0	0.5	1.7	8.2

問 4 4 コンピュータがいろいろなところに使われるようになり、情報化社会などということが言われています。このような傾向が進むにつれて、日常生活の上で変わっていく面があると思います。あなたは、このような変化をどう思いますか。

1. 望ましいことである
 2. 望ましいことではないが、避けられないことである
 3. 困ったことであり、危険なことでもある
 4. わからない
- その他、回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	45.5	45.3	44.9	45.3	1.	36.7	30.5	45.5	32.5	42.0	41.5	29.4
2.	38.3	40.4	39.2	40.5	2.	56.1	52.8	38.3	53.0	41.5	50.0	40.0
3.	8.5	9.1	9.9	9.3	3.	5.6	6.6	8.5	3.3	6.3	2.5	11.8
4.	7.7	5.1	5.9	4.9	4.	1.7	10.1	7.7	11.3	10.3	5.9	18.9

問 4 5 環境の保護は、あなたにとってどのくらい重要な問題ですか。

1. 非常に重要である
 2. 重要である
 3. あまり重要ではない
 4. 重要ではない
 5. わからない
- 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	75.3	72.4	71.4	72.0	1.	70.0	45.6	75.3	56.3	68.8	69.5	82.4
2.	23.0	24.6	26.7	24.9	2.	27.8	45.7	23.0	37.1	27.3	28.8	14.1
3.	1.2	2.2	1.4	2.3	3.	1.1	4.7	1.2	4.0	1.5	1.7	2.4
4.	0.0	0.2	0.0	0.2	4.	-	0.2	0.0	-	0.5	-	-
5.	0.4	0.6	0.5	0.6	5.	1.1	3.8	0.4	2.6	2.0	-	1.2

問 4 6 ブラジル文化ときいて、まず思い浮かべることは何ですか。
(記入)

9. わからない

問 4 6-b そのほかいくつでもあげて下さい。何かそのほかにありますか。
(記入)

9. わからない

問 4 7 日本文化ときいて、まず思い浮かべることは何ですか。
(記入)

9. わからない

問 4 7-b そのほかいくつでもあげて下さい。何かそのほかにありませんか。
(記入)

9. わからない

問 4 8 宗教についておききたいのですが、たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを
もっていますか。

1. もっている（信じている）
2. いいえ（もっていない、信じていない）
0. 回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 89.4	85.0	87.7	84.8	1. 71.1	36.5	89.4	82.8	94.1	72.0	84.7
2. 10.3	14.8	11.9	15.0	2. 27.8	63.5	10.3	17.2	5.9	26.3	12.9
0. 0.3	0.2	0.4	0.2	0. 1.1	-	0.3	-	-	1.7	2.4

（1. もっている と回答した人にお伺いします） それは何という宗教ですか。

1. 神道
2. 仏教
3. 創価学会（日蓮正宗）
4. その他の日系宗教（記入）
5. プロテスタント
6. カトリック
7. その他（記入）
8. わからない
0. 非該当、回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 2.6	2.8	3.1	2.9	1. -	2.1	2.6	1.3	2.0	-	-
2. 17.6	16.3	17.5	16.3	2. 28.3	28.5	17.6	25.8	18.5	5.1	4.7
3. 2.8	2.4	3.2	2.5	3. -	-	2.8	5.3	0.5	2.5	2.4
4. 0.6	0.4	0.6	0.4	4. -	-	0.6	5.3	0.5	0.8	2.4
5. 2.8	2.4	3.2	2.5	5. 25.0	1.2	2.8	2.6	4.4	2.5	4.7
6. 50.6	48.6	49.5	48.4	6. 7.8		50.6	33.8	60.5	48.3	55.3
7. 13.9	12.6	12.3	12.6	7. 11.1	3.2	13.9	8.6	7.8	7.6	8.2
8. 0.0	0.2	0.0	0.2	8. -	1.5	0.0	0.7	-	-	1.2
0. 9.2	14.2	10.6	14.4	0. -	63.5	9.2	16.6	5.9	33.1	21.2

問 4 9 それでは、いままでの宗教にはかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だ
と思いますか、それとも大切だとは思いませんか。

1. 大切
2. 大切ではない
3. その他（記入）
4. わからない
- 回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 91.0	89.6	89.6	89.5	1. 80.0	75.5	91.0	94.0	97.6	74.6	82.4
2. 6.0	7.9	7.0	8.0	2. 13.3	11.1	6.0	2.0	2.4	12.7	7.1
3. 2.5	1.8	2.9	1.9	3. 5.6	1.1	2.5	0.7	-	7.6	1.2
4. 0.4	0.6	0.5	0.6	4. 1.1	12.4	0.4	3.3	-	5.1	9.4

問50 宗教について、こんな意見があります。「宗教にはいろいろあり、それぞれ独自の教えを説いているが、そうした教えは、けっきょくは同じものだ」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

1. 賛成
2. 反対

3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

)

Brazil						H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
	W492	S492	W486	S486								
1.	64.6	65.2	64.8	65.2	1.	75.0	63.3	64.6	70.9	64.4	51.7	42.4
2.	29.6	28.3	28.5	28.2	2.	22.8	16.4	29.6	17.9	25.9	39.0	41.2
3.	2.2	2.8	2.5	2.9	3.	1.1	0.5	2.2	2.6	5.9	5.1	4.7
4.	3.6	3.7	4.2	3.7	4.	1.1	19.9	3.6	8.6	3.9	4.2	11.8

問51-a あなたは『民主主義』について、どう思いますか。
このうち、あなたの意見に一番近いのはどれですか。

1. よい
2. 時と場合による
3. よくない

4. その他(記入)
 5. わからない
- 回答なし

)

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	63.9	58.7	58.2	58.2	1.	85.0	52.1	63.9	60.3	60.0	52.5	54.1
2.	23.6	27.2	27.3	27.6	2.	13.3	37.7	23.6	25.2	26.3	29.7	18.8
3.	1.3	1.2	1.5	1.2	3.	0.6	1.7	1.3	3.3	5.4	7.6	1.2
4.	0.3	0.2	0.4	0.2	4.	-	0.1	0.3	-	-	-	-
5.	10.8	12.6	12.6	12.8	5.	1.1	8.4	10.8	11.3	8.3	10.2	25.9

問51-b では、『資本主義』についてはどうですか。

1. よい
2. 時と場合による
3. よくない

4. その他(記入)
 5. わからない
- 回答なし

)

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	26.6	27.4	26.6	27.4	1.	47.2	27.3	26.6	19.2	20.0	22.0	17.6
2.	40.1	40.2	39.7	40.3	2.	32.8	48.3	40.1	49.0	48.3	50.8	35.3
3.	8.4	12.0	9.7	12.1	3.	15.0	10.1	8.4	15.2	16.1	14.4	10.6
4.	3.4	1.6	3.9	1.6	4.	-	0.0	3.4	-	-	0.8	-
5.	21.6	18.7	20.1	18.5	5.	5.0	14.3	21.6	16.5	15.6	11.9	36.5

問 5 1-c では、『社会主義』についてはどうですか。

- | | |
|------------|------------|
| 1. よい | 4. その他(記入) |
| 2. 時と場合による | 5. わからない |
| 3. よくない | 回答なし |

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 18.4	16.3	19.4	16.3	1. 11.7	6.3	18.4	6.0	15.6	10.2	11.8
2. 39.3	38.0	36.8	37.9	2. 49.4	54.3	39.3	43.0	39.5	55.1	30.6
3. 18.1	24.4	20.9	24.7	3. 31.7	20.9	18.1	28.5	28.3	17.8	21.2
4. 2.9	1.8	3.4	1.9	4. -	0.0	2.9	1.3	1.0	2.5	1.2
5. 21.2	19.5	19.5	19.3	5. 7.2	18.4	21.2	21.2	15.6	14.4	35.3

問 5 1-d では、『自由主義』についてはどうですか。

- | | |
|------------|------------|
| 1. よい | 4. その他(記入) |
| 2. 時と場合による | 5. わからない |
| 3. よくない | 回答なし |

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 17.6	18.9	20.4	19.1	1. 17.2	33.5	17.6	17.9	13.2	13.6	8.2
2. 35.9	36.0	36.6	36.0	2. 51.7	47.1	35.9	45.7	43.9	50.0	35.3
3. 16.4	17.5	14.9	17.3	3. 21.1	5.5	16.4	15.9	19.0	19.5	20.0
4. 1.1	1.2	1.3	1.2	4. 1.1	0.0	1.1	1.3	1.5	2.5	-
5. 29.1	26.4	26.9	26.3	5. 8.9	13.9	29.1	19.2	22.4	14.4	36.5

問 5 2 わが国の向こう10年から15年間の国家目標をどう設定したらよいかについて、最近盛んに議論されています。ここにいろいろな人が最も重視する目標がいくつかあげてあります。あなたはこれらの中で何がもっとも重要だと思いますか。

- | | |
|------------------------------|---|
| 1. 国家の秩序を維持すること | |
| 2. 重要な政策を決めるとき、人々にもっと発言させること | |
| 3. 物価の上昇をくいとめること | |
| 4. 言論の自由を守ること | |
| 5. その他(記入) |) |
| 6. わからない | |
| 回答なし | |

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 38.2	37.8	39.3	37.9	1. 38.3	20.6	38.2	39.1	37.6	39.8	38.8
2. 28.0	28.9	26.5	28.8	2. 30.6	27.1	28.0	17.9	24.4	27.1	22.4
3. 21.6	19.5	22.1	19.5	3. 22.2	35.1	21.6	25.2	14.1	10.2	11.8
4. 5.2	5.9	4.1	5.8	4. 5.6	7.5	5.2	4.0	8.8	5.9	3.5
5. 5.1	6.1	5.9	6.2	5. 1.7	0.6	5.1	4.0	8.3	12.7	12.9
6. 1.8	1.8	2.1	1.9	6. 1.7	9.1	1.8	9.9	6.8	4.2	10.6

F. 1 暗算をする時には、あなたは日本語でしますか、それともポルトガル語でしますか。

1. ポルトガル語です
2. 日本語です
3. ポルトガル語・日本語両方です (あるいは混ぜてする)
0. 回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1.	72.3	71.5	72.9	71.5	1. (92.2)	-	72.3	49.7	71.2	83.1 90.6
2.	19.1	18.5	17.2	18.4	2. 2.2	-	19.1	45.7	23.9	3.4 2.4
3.	8.0	9.6	9.3	9.7	3. (3.9)	-	8.0	4.6	4.4	13.6 7.1
0.	0.6	0.4	0.7	0.4	0. 1.7	-	0.6	-	0.5	-

(英語)

F. 2 あなたは新聞をよく読みますか。

1. 全く読まない
2. ときどき、読む
 - a. ポルトガル語の新聞をときどき読む
 - b. 日本語の新聞をときどき読む
3. 定期購読している
 - a. ポルトガル語の新聞を定期的に読む
 - b. 日本語の新聞を定期的に読む
0. 回答なし

(1, 2, 3) 別

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1.	12.8	9.1	8.0	8.8	1. -	-	12.8	7.3	5.9	10.2 4.7
2.	45.7	43.9	51.0	44.2	2. -	-	45.7	57.0	37.6	62.7 62.4
3.	39.4	46.3	40.6	46.5	3. -	-	39.4	35.8	54.1	25.4 31.8
0.	2.1	0.6	0.4	0.4	0. -	-	2.1	-	2.4	1.7 1.2

(a, b) 別

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
a.	47.6	49.6	51.0	49.8	a. -	-	47.6	31.1	76.1	61.0 63.5
b.	14.8	14.0	14.2	14.0	b. -	-	14.8	31.1	9.8	9.3 2.4
0.	37.6	36.4	34.8	36.2	0. -	-	37.6	37.7	14.1	29.7 34.1

(1, 2, 3) x (a, b) 別

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1.	12.8	9.1	8.0	8.8	1. -	-	12.8	7.3	5.9	10.2 4.7
2a	27.4	27.0	(51.0	44.2)	2a -	-	27.4	23.8	32.7	40.7 42.4
2b	5.4	4.7			2b -	-	5.4	8.6	2.9	6.8 1.2
20	12.9	12.2			20 -	-	12.9	24.5	2.0	15.3 18.8
3a	20.2	22.6	(40.6	46.5)	3a -	-	20.2	7.3	43.4	20.3 21.2
3b	9.4	9.3			3b -	-	9.4	22.5	6.8	2.5 1.2
30	9.8	14.3			30 -	-	9.8	6.0	3.9	2.5 9.4
0.	2.1	0.6	0.4	0.4	0. -	-	2.1	-	2.4	1.7 1.2

F. 3 あなたは日本音楽が好きですか、それともブラジル音楽が好きですか。

1. 両方とも好き
2. 日本音楽が好き
3. ブラジル音楽が好き
4. 両方ともきらい

0. 回答なし

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
	W492	S492	W486	S486							
1.	63.5	65.7	62.6	65.6	1.	-	-	63.5	54.3	71.2	69.4
2.	17.2	18.9	15.0	18.7	2.	-	-	17.2	38.4	20.0	7.1
3.	16.8	12.8	19.5	13.0	3.	-	-	16.8	7.3	7.8	16.5
4.	2.2	2.4	2.5	2.5	4.	-	-	2.2	-	1.0	7.1
0.	0.3	0.2	0.4	0.2	0.	-	-	0.3	-	-	-

F. 4 あなたは日本のビデオを見ますか。

1. いつも見ている
2. 時々見ている
3. 見ない

0. 回答なし

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
	W492	S492	W486	S486							
1.	15.5	12.2	10.0	11.8	1.	-	-	15.5	18.5	14.6	10.6
2.	45.9	54.3	51.2	54.8	2.	-	-	45.9	67.5	58.5	67.1
3.	38.0	33.1	38.1	33.0	3.	-	-	38.0	13.2	26.3	22.4
0.	0.6	0.4	0.7	0.4	0.	-	-	0.6	0.7	0.5	-

F. 5 あなたの友人関係について、お尋ねします。あなたの友人に関してあてはまるのはつぎのうち、どれですか。

1. 私の友人は大多数が日本人か日系人です。
2. 私の友人には日系人も何人かいますし、非日系人の友人も何人かいます。
3. 私の友人は大多数が非日系人です。
4. 私の友人には日本人・日系人はいません。
0. 回答なし

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
	W492	S492	W486	S486							
1.	15.7	21.7	18.2	22.0	1.	35.0	-	15.7	45.0	26.3	7.1
2.	65.0	57.3	59.4	56.8	2.	60.0	-	65.0	50.3	66.8	64.7
3.	15.6	17.7	18.0	17.9	3.	2.8	-	15.6	3.3	6.8	23.5
4.	2.7	2.6	3.2	2.7	4.	0.6	-	2.7	-	1.7	1.2
0.	1.0	0.6	1.1	0.6	0.	1.7	-	1.0	1.3	-	3.5

F. 6 あなたの職場の人間関係について、お尋ねします。あなたの職場の同僚に関してあてはまるのは次のうち、どれですか。

1. 私の職場の同僚は大多数が日本人か日系人です。
2. 私の職場の同僚は日系人も何人かいますし、非日系人の同僚も何人かいます。
3. 私の職場の同僚は大多数が非日系人です。
4. 私の職場の同僚には日本人・日系人はいません。
0. その他、回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	5.6	11.2	6.5	11.3	1.	12.8	-	5.6	6.0	3.9	52.5	41.2
2.	17.6	21.1	18.3	21.2	2.	47.2	-	17.6	2.0	12.7	25.4	35.3
3.	18.0	20.3	20.9	20.6	3.	16.1	-	18.0	4.6	10.7	11.9	15.3
4.	18.2	10.2	13.2	9.7	4.	3.3	-	18.2	1.3	1.5	2.5	3.5
0.	40.6	37.2	41.1	37.2	0.	20.6	-	40.6	86.1	71.2	7.6	4.7

F. 7 食べ切れなかった食べ物を捨てたり、まだ使えるものを捨てたりした時に、あなたは『もったいない』と感じますか。

1. はい、たびたび感じます。
2. はい、ときには感じます。
3. 全く感じません。
0. 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	70.0	72.8	67.4	72.6	1.	-	-	70.0	72.8	76.1	51.7	49.4
2.	25.6	24.2	29.6	24.5	2.	-	-	25.6	26.5	22.4	39.0	42.4
3.	4.1	2.8	2.6	2.7	3.	-	-	4.1	0.7	1.5	8.5	4.7
0.	0.3	0.2	0.4	0.2	0.	-	-	0.3	-	-	0.8	3.5

F. 8 あなたが手紙を書くときには、ポルトガル語で書くほうが簡単ですか、それとも、日本語で書くほうが簡単ですか。

1. 日本語のほうが簡単
2. ポルトガル語のほうが簡単
3. 日本語・ポルトガル語で書くのに、大きな違いはありません。
0. 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	23.7	22.6	20.4	22.2	1.	3.3	-	23.7	43.7	17.1	6.8	5.9
2.	70.8	71.7	73.3	72.0	2.	(93.3)	-	70.8	53.0	76.6	89.0	90.6
3.	3.4	4.1	3.9	4.1	3.	(1.7)	-	3.4	3.3	5.4	3.4	2.4
0.	2.0	1.6	2.4	1.6	0.	1.7	-	2.0	-	1.0	0.8	1.2

(英語)

F. 9 (被雇用者の方におたずねします) あなたはシンジケートに入っていますか。

1. 入っています
2. 入っていません

0. 非該当、回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 17.5	20.9	20.2	21.2	1. -	-	17.5	1.3	13.2	6.8	15.3
2. 36.2	39.4	34.0	39.3	2. -	-	36.2	9.9	15.6	78.8	63.5
3. 0.9	0.4	1.1	0.4	3. -	-	0.9	-	-	-	-
0. 45.4	39.2	44.7	39.1	0. -	-	45.4	88.7	71.2	14.4	21.2

F. 10 あなたは日本語学校に何年通いましたか。

年間

日本語学習年数年数

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
0 48.4	43.1	44.3	42.8	0 -	-	48.4	27.2	27.3	44.9	52.9
1-2 15.9	16.5	18.4	16.7	1-2 -	-	15.9	9.9	29.3	16.1	9.4
3-5 17.6	20.5	18.4	20.6	3-5 -	-	17.6	11.3	27.8	14.4	7.1
6- 17.4	19.7	18.1	19.8	6- -	-	17.3	7.3	8.3	14.4	5.9
DK 0.8	0.2	0.9	0.2	DK -	-	0.8	44.4	7.3	10.2	24.7

ありがとうございました。

性別

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
男 55.3	52.6	52.3	52.5	男 47.2	46.2	55.3	53.0	51.2	50.8	100.0
女 44.7	47.4	47.7	47.5	女 52.8	53.8	44.7	47.0	48.8	49.2	-

年齢

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
-29 19.9	16.1	21.0	16.0	-29 8.3	15.9	19.9	15.9	20.5	60.2	55.3
30- 20.1	24.6	23.3	24.9	30- 14.5	19.4	20.1	21.2	20.5	31.4	24.7
40- 19.8	24.2	19.2	24.3	40- 17.2	21.8	19.8	21.9	21.0	7.6	18.8
50- 19.7	14.6	15.8	14.2	50- 16.2	21.0	19.7	17.2	17.1	0.8	1.2
60- 9.3	11.2	10.7	11.3	60- 24.4	14.4	9.3	12.6	14.1	-	-
70- 11.2	9.3	10.0	9.3	70- 19.4	8.6	11.2	10.6	6.3	-	-
				DK			0.7	0.5		

諸属性についてエニュメレイション調査（JICA調査）から転記するものは次の通りである。

- J 0 1 世帯主としての日系団体加入の有無
- J 0 2 続柄
- J 0 3 性
- J 0 4 生年月日 日
- J 0 5 " 月
- J 0 6 " 年
- J 0 7 婚姻上の地位
- J 0 8 日本生れか否か
- J 0 9 帰化の有無
- J 1 0 個人日系度
- J 1 1 年令
- J 1 2 個人としての日系団体加入
- J 1 3 世代
- J 1 4 {
- J 1 5 { 名前が、日本名かポルトガル名か
- J 1 6 {
- J 1 7 }
- J 1 8 仕事内容
- J 1 9 専業か否か
- J 2 0 職業
- J 2 1 職業上の地位
- J 2 2 未就学
- J 2 3 ブラジルでの最終学歴
- J 2 4 卒業か中退か在学中か
- J 2 5 日本での最終学歴
- J 2 6 卒業か中退か在学中か
- J 2 7 日本語の会話できるか
- J 2 8 日本語の読み書きできるか
- J 2 9 ポルトガル語の読み書きできるか
- J 3 0 ポルトガル語の読み書きできるか
- J 3 1 出生国
- J 3 2 ブラジル出生者の出生地
- J 3 3 サンパウロ及び大サンパウロ圏居住者の居住年数

なお、特種地域調査地のトメアスー、マリングではJICA調査がないため、属性として次のものを付け加えた。

1. 性
2. 年令
3. 婚姻上の地位..... J 0 7
4. 職業..... J 2 0, J 2 1
5. 学歴..... J 2 3, 2 4, 2 5, 2 6
6. 日本語能力..... J 2 7, 2 8
7. ポルトガル語能力... J 2 9, 3 0
8. 宗教
9. 世代..... J 1 3

付録2 日本人・ブラジル日系人・ハワイ日系人・ アメリカ人（北米）等の質問別単純集計比較表

数字は%。但し計算の出力の関係上、合計が100にならないこともある。
また、一行目記号の下に数字は調査サンプルの大きさである。

記号は B 8、B 1 0等はブラジル語質問8、10等を示す。

HAWA I N Jは、ハワイの非日系人、そして

HAWA I J Aは、ハワイの日系人を示す。

BR Z（又はH I）1 S E I、2 S E I、3 S E Iは
ブラジル（又はハワイ）の日系1世、2世、3世を示す。

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN 2265
15 2.3g 154 B8	Satisfac- tion with health	1.Very satisfied 2.Fairly satisfied 3.Fairly dissatisfied 4.Very dissatisfied 8.Other 9.D.k	19.2 61.3 14.2 2.6 - 2.7	22.6 64.4 11.4 1.6 - 0.1	40.2 47.2 8.4 4.0 - 0.2	46.1 41.0 8.4 4.3 - 0.2	13.6 57.5 21.1 5.4 0.1 2.3
9 2.30 129 B10	Extent of worry: Serious illness	1.Very much 2.Somewhat 3.Slightly 4.Not at all 8.Other 9.D.K	16.8 21.8 35.4 25.5 - 0.5	50.5 24.6 17.7 7.0 - 0.2	31.7 17.6 30.7 19.7 - 0.3	32.3 33.5 22.3 11.5 - 0.4	21.9 24.9 38.7 13.6 0.0 1.0
9 2.30d 130 B10	Extent of worry: Car accident	1.Very much 2.Somewhat 3.Slightly 4.Not at all 8.Other 9.D.K	8.5 13.6 40.5 35.7 - 1.7	43.7 27.6 20.5 8.0 - 0.1	23.6 16.1 33.1 26.7 - 0.5	21.9 29.0 28.9 19.8 - 0.4	26.0 31.1 32.4 9.2 - 1.3
9 2.30e 131 B10	Extent of worry: Unemploy- ment	1.Very much 2.Somewhat 3.Slightly 4.Not at all 8.Other 9.D.K	13.0 16.3 25.2 43.2 - 2.3	54.2 19.8 14.7 10.1 - 1.2	31.6 13.6 22.3 31.9 - 0.5	22.3 19.3 22.8 33.9 - 1.7	8.2 14.4 30.7 41.1 0.5 5.1
9 2.30f 132 B10	Extent of worry: war	1.Very much 2.Somewhat 3.Slightly 4.Not at all 8.Other 9.D.K	19.9 20.5 32.4 26.1 - 1.1	30.9 16.7 28.2 23.4 - 0.8	24.9 15.2 26.1 33.0 - 0.8	21.8 25.2 27.4 24.3 - 1.2	11.3 13.3 36.4 32.9 0.1 5.9
9 2.30g 133 B10	Extent of worry: Nuclear power accident	1.Very much 2.Somewhat 3.Slightly 4.Not at all 8.Other 9.D.K	30.3 28.3 27.8 12.4 - 1.2	25.8 16.5 31.6 23.6 - 2.6	34.3 18.5 23.3 23.3 - 0.6	25.7 24.4 24.3 23.6 - 1.9	18.8 24.8 34.4 15.5 0.1 6.4
24,a 5.80a 163 B10	Safety in neighbor- hood : Burglary	1.A serious problem 2.A problem 3.Not a serious problem 4.Not a problem at all 8.Other 9.D.K	2.8 12.9 38.3 42.2 - 3.8	29.5 39.4 15.2 15.2 - 0.7	14.0 26.2 42.1 15.9 - 1.8	8.6 16.2 44.8 29.6 - 0.8	2.4 6.3 34.3 53.6 0.1 3.4
11 4.11 146 B11	Respect for ancestors	1.More than average 2.Less than average 3>About the same 8.Other 9.D.K	9.1 15.7 64.7 0.4 10.1	29.0 16.5 49.8 1.4 3.4	41.9 8.7 45.7 0.3 3.4	73.1 8.1 17.0 0.2 1.7	47.5 8.4 42.5 0.0 1.5
12 4.10 147 B12	Adopt a child	1.Desirable 2.Undesirable 3.It depends 8.Other 9.D.K	39.5 28.8 24.0 1.0 6.7	63.9 21.1 9.6 2.7 2.8	34.3 44.6 11.9 5.8 3.4	52.3 34.5 8.2 1.8 3.1	19.1 42.4 30.5 0.2 7.8

1988 HAWAI NJ	1988 HAWAI JA	1991 BRAZL W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
42.3 47.0 8.8 0.9 0.6 0.3	37.8 57.2 5.0 - - -	48.8 42.0 7.8 0.4 1.0 -	61 27 12 - 0 -	52 39 6 1 2 -	36 56 8 0 - -										1.15 2.2.3g 3.154 4. 8. 9. B8
27.0 32.3 27.0 13.2 0.3 0.3	37.8 32.8 17.8 10.6 0.6 0.6	56.9 9.0 18.5 15.6 - 0.1	44 4 28 24 0 0	58 10 15 18 0 0	63 11 19 7 - -	45 23 20 12 - -	51 21 18 10 - -	37 25 21 16 - -							1.9 2.2.30 3.129 4. 8. 9. B10
32.3 32.6 25.4 8.5 0.3 0.9	39.4 32.8 21.1 5.6 1.1 -	51.3 13.1 20.3 12.5 - 2.7	39 21 23 14 4	58 6 20 13 2	48 19 19 10 4	42 34 17 6 -	49 29 15 7 -	33 41 21 5 -							1.9 2.2.30d 3.130 4. 8. 9. B10
15.4 26.0 23.2 33.2 0.9 1.3	15.0 30.0 28.3 23.9 1.7 1.1	48.0 12.5 16.1 22.8 - 0.6	28 6 34 31 2	64 9 8 20 0	37 22 19 21 1	31 27 21 19 0 1	37 25 15 22 - 1	23 30 30 16 - 1							1.9 2.2.30e 3.131 4. 8. 9. B10
24.1 25.7 25.4 22.6 0.9 1.3	32.8 27.8 27.8 8.9 1.1 1.7	56.5 8.1 14.9 18.9 - 1.6	47 8 12 29 5	65 6 14 14 1	49 12 18 20 1	48 21 21 9 -	57 16 18 9 1	36 27 26 11 -							1.9 2.2.30f 3.132 4. 8. 9. B10
32.3 18.5 21.6 25.7 0.3 1.6	38.3 26.7 20.6 12.2 1.7 0.6	53.8 11.9 15.9 13.9 - 4.5	41 7 22 13 17	58 11 15 14 2	55 17 14 15 0	48 20 17 14 -	56 20 12 11 1	37 21 24 18 -							1.9 2.2.30g 3.133 4. 8. 9. B10
		77.0 6.2 7.5 8.4 1.0	56 4 19 21 0	85 3 6 5 1	78 12 3 5 1										1.24,a 2.5.80a 3.163 4. 8. 9. B10
45.5 20.1 29.2 2.5 2.8	51.7 14.4 31.7 0.6 1.7	55.3 6.1 34.4 2.1 2.1	69 1 25 3 3	59 5 33 3 0	42 11 42 0 5	52 13 34 0 1	55 9 34 - 1	49 18 33 1 -	61 21 - 16 2	63 16 - 19 2	57 27 - 12 3				1.11 2.4.11 3.146 8. 9. B11
44.5 35.4 13.2 5.6 1.3	32.8 44.4 13.3 4.4 5.0	51.9 26.7 12.6 2.6 6.2	50 25 17 4 4	56 26 8 1 9	47 29 17 4 4	49 39 8 2 2	48 40 8 1 3	50 39 8 4 1	49 40 6 2 4	46 43 7 1 3	53 35 5 2 4	52 27 15 3 4	53 28 13 2 4	50 26 17 4 4	1.12 2.4.10 3.147 8. 9. B12

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN A
18 2.8 157 B13	If had enough money, still work	1.Continue working 2.Stop working 8.Other 9.D.K	39.4 47.7 4.3 8.6	55.2 33.7 7.4 3.8	55.7 34.1 6.3 3.8	57.8 30.4 8.7 3.1	64.1 24.1 1.5 10.4
19 7.25 158 B14	Life without work	1.Life without work 2.With money life 8.Other 9.D.K	39.8 52.5 - 7.7	51.0 43.3 - 5.6	54.4 37.8 - 7.9	64.6 32.0 - 3.5	72.8 19.8 1.0 6.4
20 7.24 159 B15	Most important aspect of job	1.Good salary 2.Safe job 3.Likable coworkers 4.Accomplishment 8.Other 9.D.K	12.9 36.0 20.2 23.2 - 7.7	16.7 40.4 6.6 35.0 - 1.3	16.5 29.1 14.9 37.0 - 2.6	20.9 21.6 11.3 43.6 0.4 2.1	19.8 15.4 29.2 29.4 0.5 5.7
22 2.4 161 B16	Attitudes towards life	1.Get rich 2.Make a name 3.Suit own taste 4.No worrying 5.Pure & just life 6.Serve society 8.Other 9.D.K	2.8 15.6 32.4 21.5 15.6 2.1 1.6 8.4	8.1 5.5 36.9 29.3 8.9 3.7 3.4 4.2	7.3 3.6 38.0 42.0 5.0 1.7 1.3 1.1	6.1 7.2 33.2 37.1 11.2 2.8 0.8 1.5	13.8 1.7 37.3 32.0 5.9 2.9 1.2 5.2
25 2.82 165 B17	Idle grass- hopper and diligent ant	1.Ant sends him away 2.Ant shares food 8.Oter 9.D.K	12.9 77.8 1.3 8.0	13.9 78.8 5.5 1.8	12.6 82.6 0.1 4.7	11.6 85.1 0.6 2.7	15.3 75.0 0.3 9.4
26,a 2.7 166	The most important thing	1.Answered 9.D.K	95.9 4.1	99.7 0.3	99.5 0.5		92.3 7.7
26,b 2.7b 167	Other important things	1.Answered 9.D.K	89.4 10.6	96.5 3.5	97.0 3.0		71.2 28.8
27 5.81 168 B19	Importance: Immediate family and children	1.Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7.Very important 8.Other 9.D.K	1.6 1.2 0.9 4.6 5.4 14.8 66.9 - 4.6	2.0 1.0 0.5 1.6 4.1 8.6 80.1 - 2.2	1.2 0.2 0.3 1.1 2.2 4.5 88.9 - 1.6	0.6 0.0 0.4 0.9 2.0 3.9 91.6 - 0.6	0.6 0.2 0.4 2.6 4.4 7.5 82.6 0.2 1.5
27 5.81b 169 B19	Importance: Career and work	1.Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7.Very important 8.Other 9.D.K	8.5 7.3 10.7 20.0 22.3 17.1 12.0 - 2.1	4.7 1.8 1.8 4.7 15.2 26.7 43.5 - 1.6	16.5 2.9 4.1 14.2 15.1 15.5 26.4 - 5.4	10.4 2.3 6.0 11.5 18.1 17.4 29.8 - 4.7	1.4 0.9 1.3 8.4 12.3 17.6 54.6 0.5 3.1

1988 HAWAI NJ	1988 HAWAI JA	1991 BRAZIL W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
61.1	49.4	83.3	72	83	90	60	51	73	56	49	65				1.18
30.4	44.4	12.1	24	11	7	34	40	26	35	38	29				2.2.8
8.2	5.0	3.9	3	4	4	5	8	2	9	11	6				8.157
0.3	1.1	0.7	1	1	-	1	1	-	1	1	-				9. B13
61.8	61.1	88.0	78	90	91										1.19
30.7	34.4	9.9	21	7	7										2.7.25
5.3	3.3														8.158
2.2	1.1	2.1	1	3	2										9. B14
13.2	14.4	16.3	27	11	19	9	9	8							1.20
11.3	16.7	21.2	16	31	10	15	17	12							2.7.24
12.5	21.7	12.2	15	15	7	26	26	25							3.159
60.2	45.6	40.9	30	35	55	47	46	48							4.
2.5	1.7	7.8	10	6	9	3	2	5							8.
0.3	-	1.7	2	2	1	0	-	1							9. B15
10.3	9.4	8.0	5	6	13	10	9	13				18	18	18	1.22
6.0	3.9	4.8	4	5	5	5	4	6				4	5	3	2.2.4
35.4	29.4	35.9	33	34	41	31	24	40				39	33	48	3.161
32.3	42.8	25.5	27	32	15	38	45	30				23	27	18	4.
7.5	10.6	19.2	25	18	17	10	13	7				7	7	7	5.
2.5	2.2	2.4	4	1	5	2	2	2				2	3	-	6.
5.6	1.1	3.4	1	4	4	2	2	3				3	2	4	8.
0.3	0.6	0.7	2	1	-	1	1	1				4	4	3	9. B16
6.3	9.4	19.9	21	21	18										1.25
90.9	90.6	77.8	78	76	81										2.2.82
1.9	-	0.9	1	0	2										8.165
0.9	-	1.4	0	3	-										9. B17
99.4	100.0														1.26,a
0.6	-														9.2.7
															166
92.2	91.1														1.26,b
7.8	8.9														9.2.7b
															167
0.9	1.1	2.3	7	1	2										1.27
-	-	-	-	-	-										2.5.81
0.3	1.1	0.4	0	1	-										3.168
1.6	-	2.8	0	6	-										4.
3.8	1.1	2.6	0	1	6										5.
6.6	4.4	1.1	1	1	1										6.
83.1	89.4	90.3	89	90	91										7.
3.8	2.8														8.
-	-	0.6	3	-	0										9. B19
2.8	6.1	2.5	10	-	2										1.27
1.9	0.6	0.2	0	0	-										2.5.81b
2.5	2.8	0.2	-	0	-										3.169
8.8	11.1	2.0	0	2	2										4.
23.2	21.7	3.5	2	1	8										5.
21.6	19.4	12.6	9	11	17										6.
34.8	32.2	78.9	79	84	71										7.
3.8	6.1														8.
0.6	-	-	-	1	-										9. B19

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN A
27 5.81c 170	Importance: Free time and relaxation	1.Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7.Very important 8.Other 9.D.K	0.3 1.5 2.7 11.8 25.4 30.1 27.0 - 1.2	1.5 2.0 6.5 16.2 23.6 23.9 25.8 - 0.6	3.4 3.1 6.8 19.0 25.9 19.0 21.5 - 1.4	1.9 2.4 5.7 15.0 24.6 22.5 27.0 - 0.8	0.6 1.1 3.1 17.0 24.2 20.8 31.2 0.1 1.9
B19							
27 5.81d 171	Importance: Friends	1.Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7.Very important 8.Other 9.D.K	0.4 0.5 4.2 9.4 21.2 34.2 29.0 - 1.1	1.7 3.5 7.0 14.7 23.7 24.7 24.7 - 0.1	1.2 1.9 5.8 15.3 21.7 27.1 26.7 - 0.3	1.0 1.7 4.0 10.4 20.0 26.6 36.0 - 0.3	0.4 0.7 1.5 8.7 20.4 27.5 39.4 0.0 1.5
B19							
27 5.81e 172	Importance: Parents and other relative	1.Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7.Very important 8.Other 9.D.K	1.7 2.1 4.9 9.3 17.1 29.9 33.6 - 1.4	1.8 2.0 4.2 8.5 14.4 24.1 44.1 - 0.9	3.3 2.4 3.4 6.5 10.6 19.4 52.6 - 1.8	1.2 0.8 2.4 4.2 9.5 18.0 62.3 - 1.6	0.5 0.4 1.0 5.1 10.6 22.6 58.1 0.0 1.6
B19							
27 5.81f 173	Importance: Religion and church	1.Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7.Very important 8.Other 9.D.K	15.6 13.8 15.3 16.6 16.4 11.9 9.4 - 1.0	25.8 11.8 12.2 14.7 12.2 11.1 11.9 - 0.2	20.4 12.8 15.0 15.5 11.8 10.5 13.8 - 0.2	5.7 4.2 5.3 8.8 13.5 15.0 47.2 - 0.3	12.4 8.7 13.1 24.5 15.9 7.8 13.8 0.2 3.6
B19							
27 5.81g 174	Importance: Politics	1.Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7.Very important 8.Other 9.D.K	9.8 11.1 17.0 21.3 21.2 12.9 5.9 - 0.8	36.2 14.7 13.5 12.0 11.7 6.3 5.0 - 0.4	24.2 13.6 16.9 19.3 13.9 5.8 6.0 - 0.4	11.5 8.0 12.2 21.9 21.2 12.3 12.2 - 0.7	2.8 5.3 8.9 24.5 20.9 15.0 18.2 0.1 4.4
B19							
29 2.82 176	Satisfaction with life	1.Completerly satisfied 2.Somewhat satisfied 3.Neither satisfied 4.Somewhat dissatisfid 5.Completerly dissatisf 8.Other 9.D.K	17.2 59.3 16.5 4.3 0.8 - 1.9	21.0 30.8 31.5 10.3 5.8 - 0.6	31.1 54.5 7.5 4.7 1.8 - 0.5	31.2 48.6 12.3 6.7 0.8 0.1 0.4	32.8 41.4 13.2 9.6 2.7 - 0.3
B20							
32 7.1 215	Science and loss of human feeling	1.Agree 2.Disagree 3.Undecided 8.Other 9.D.K	68.6 14.5 13.2 - 3.7	60.6 29.0 7.0 - 3.4	69.8 20.2 6.6 - 3.4	69.0 24.2 5.6 0.1 1.1	44.6 9.9 39.3 0.0 6.1
B21							

1988 HAWAI NJ	1988 HAWAI JA	1991 BRAZL W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
1.9	-0.6	4.1	10	3	3										1.27
2.8	0.6	2.8	4	1	5										2.5.81c
5.0	3.9	8.8	1	11	9										3.170
14.4	16.7	20.9	10	24	23										4.
22.9	26.1	12.6	27	7	12										5.
19.7	20.6	17.9	7	21	21										6.
32.6	31.1	32.8	42	32	27										7.
0.6	0.6														8.
-	-	0.1	0	1	0										9. B19
0.9	0.6	1.9	7	0	2										1.27
1.9	0.6	1.3	2	1	1										2.5.81d
3.8	0.6	1.2	1	1	2										3.171
12.5	10.6	8.1	7	12	3										4.
22.3	22.2	9.4	5	9	11										5.
25.7	30.0	18.3	9	15	28										6.
32.0	35.0	59.8	70	61	52										7.
0.9	0.6														8.
-	-	-	-	1	-										9. B19
2.5	0.6	1.7	7	1	0										1.27
1.6	0.6	0.6	1	1	-										2.5.81e
1.6	2.2	0.2	0	0	0										3.172
7.8	0.6	1.6	4	1	1										4.
7.5	9.4	1.4	1	2	0										5.
16.9	18.3	7.4	3	8	9										6.
60.2	66.1	86.8	82	87	89										7.
1.6	2.2														8.
0.3	-	0.2	1	1	-										9. B19
12.9	11.1	5.9	22	1	3										1.27
6.3	3.9	3.7	5	2	5										2.5.81f
7.8	6.1	5.4	7	5	6										3.173
14.4	17.8	10.9	6	10	15										4.
11.6	23.3	9.4	7	9	12										5.
11.9	13.3	12.9	5	13	17										6.
34.8	24.4	51.9	48	60	41										7.
0.3	-														8.
-	-	0.0	0	1	-										9. B19
8.8	8.3	14.2	12	17	11										1.27
8.5	8.3	10.5	19	11	5										2.5.81g
14.4	13.9	8.5	12	7	9										3.174
29.2	30.6	15.5	8	14	22										4.
16.9	20.6	12.8	7	10	20										5.
9.4	11.1	12.2	7	13	14										6.
12.2	7.2	24.2	29	26	19										7.
0.6	-														8.
-	-	2.2	6	1	1										9. B19
31.7	30.0	63.5	71	74	43	22	32	9	39	48	25				1.29
55.8	57.8	17.7	19	15	21	66	61	72	36	30	45				2.2.82
8.2	9.4	11.0	3	6	23	9	5	14	23	19	28				3.176
3.4	1.7	6.1	4	4	10	3	2	5	2	2	2				4.
0.6	0.6	1.8	3	1	3	-	-	-	0	1	-				5.
0.3	-	0.0	-	-	0	-	-	-	0	1	-				8.
-	0.6					-	-	-	-	-	-				9. B20
58.3	80.6	67.3	60	69	71	71	72	70				63	62	65	1.32
30.7	10.6	15.7	10	20	11	23	23	24				29	28	31	2.7.1
8.5	6.1	11.3	22	6	13	3	2	3				-	-	-	3.215
0.9	0.6	0.8	-	1	1	1	-	2				1	1	1	8.
1.6	2.2	4.8	8	4	5	2	3	2				7	10	3	9. B21

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN A
33 4.5* 216 B22	Teaching children money is important	1. Agree 2. Disagree 3. Undecided 8. Other 9. D.K	26.2 55.6 15.1 0.3 2.8	40.9 53.0 2.9 2.2 1.1	21.1 73.8 3.7 0.6 0.8	16.6 78.4 4.1 0.3 0.6	47.8 18.7 30.7 0.1 2.7
B23	Teaching children freedom or rule	1. Freedom 2. Rule 8. Other 9. D.K					
34 8.1b 217 B24	Leave it up to political leaders	1. Agree 2. Disagree 3. Undecided 8. Other 9. D.K	7.7 73.4 16.2 - 2.7	37.9 42.1 12.1 - 7.9	13.0 80.2 5.3 - 1.4	7.4 88.2 3.0 0.3 1.2	13.1 61.6 19.0 0.1 6.2
35 2.1 218 B25	Custom vs. conscience	1. Go ahead 2. Follow custom 3. Undecided 8. Other 9. D.K	52.7 16.9 27.1 0.1 3.2	75.2 14.6 5.9 0.3 3.9	69.1 20.6 8.3 0.3 1.6	69.9 19.4 9.5 0.2 1.0	19.2 25.7 52.0 0.1 3.0
36 7.2 219 B26	Mechaniza- tion and human feeling	1. Agree 2. Disagree 3. Undecided 8. Other 9. D.K	20.8 52.7 19.1 - 7.4	69.0 22.1 4.6 - 4.2	71.9 19.8 5.6 - 2.7	76.1 19.0 3.5 0.1 1.3	29.6 31.3 32.4 0.0 6.6
37 4.30 220 B27	Home is relaxing place	1. Yes 2. No 8. Other 9. D.K	56.1 37.5 2.0 4.4	65.4 29.7 3.3 1.6	50.7 48.0 0.4 0.9	44.8 54.4 0.1 0.7	80.3 16.3 0.6 2.8
38 4.32 221 B28	Marriage is permanent	1. Permanent 2. Broken under serious 3. Broken by agreement 8. Other 9. D.K	9.9 36.5 44.7 - 8.9	25.9 33.3 37.4 - 3.5	43.1 39.3 16.6 - 1.0	45.2 41.3 12.2 - 1.3	35.4 37.7 19.5 0.7 6.8
39 4.31 222 B29	Housework and child care	1. Women's work 2. Some of work 3. Men and women 8. Other 9. D.K	12.4 35.0 48.3 2.9 1.4	4.4 25.4 68.6 1.1 0.5	12.3 34.1 51.2 1.9 0.5	6.3 33.1 59.1 - 1.5	13.6 53.7 28.3 0.8 3.5
40 4.4 223 B30	Rumor about teacher	1. Tell the truth 2. Deny it 8. Other 9. D.K	58.3 18.8 4.8 18.1	64.2 21.4 8.1 6.3	74.9 8.3 11.6 5.2	90.3 2.7 3.8 3.1	55.5 24.6 3.8 16.2
41 5.1 224 B31	Benefactor death-bed	1. Go home 2. Attend the meeting 8. Other 9. D.K	58.0 22.2 4.6 15.2	62.6 22.8 7.2 7.4	62.4 27.4 4.7 5.5	66.3 24.4 5.0 4.4	45.7 37.7 1.3 15.4
42 5.1b 225 B32	Real father death-bed	1. Go home 2. Attend the meeting 8. Other 9. D.K	61.5 18.3 4.5 15.7	65.6 20.0 6.8 7.5	73.5 18.7 4.1 3.6	64.4 25.7 4.7 5.2	45.4 40.6 1.2 12.8

1988 HAWAI NJ	1988 HAWAI JA	1991 BRAZL W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
15.0	20.6	23.1	33	24	15	6	8	3	7	8	3	9	12	4	1.33
80.3	73.3	59.9	34	64	70	92	90	95	91	90	94	88	85	93	2.4.5*
3.1	3.3	13.7	25	9	14	0	1	-	0	1	-	2	2	2	3.216
1.6	2.2	2.3	8	1	1	2	1	2	2	2	2	-	-	-	8.
-	0.6	1.0	-	2	0	0	1	-	0	-	1	1	1	1	9. B22
		21.1													1.
		69.3													2.
		9.4													8.
		0.1													9. B23
9.1	10.0	38.4	40	39	37	8	12	1	16	19	11	13	17	6	1.34
82.4	77.2	51.3	51	51	51	90	85	95	81	79	85	70	65	79	2.8.1b
8.2	11.7	6.7	6	6	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.217
0.3	-	1.8	2	1	3	1	1	-	1	-	2	2	2	1	8.
-	1.1	1.8	1	3	-	2	2	1	2	2	2	3	3	2	9. B24
60.2	51.1	42.8	19	39	62	60	61	59	58	52	68	55	55	55	1.35
13.5	22.2	35.3	34	43	25	14	16	11	25	32	16	14	17	8	2.2.1
23.2	25.0	19.7	40	17	12	24	23	27	13	13	13	28	25	33	3.218
2.5	0.6	0.7	0	1	-	1	0	2	1	1	-	-	-	-	8.
0.6	1.1	1.5	7	0	-	1	1	2	3	3	3	3	3	4	9. B25
77.1	80.6	52.7	54	52	13	77	79	75				63	60	68	1.36
15.7	12.2	32.8	17	35	39	16	16	16				22	22	22	2.7.2
4.4	5.6	9.6	25	5	7	5	3	7				7	7	8	3.219
0.3	1.1	1.6	-	3	1	0	-	1				0	1	-	8.
2.5	0.6	3.3	5	5	1	2	2	2				7	10	2	9. B26
40.8	50.6	76.7	91	72	76	56	65	45							1.37
57.7	48.3	22.0	9	27	22	42	32	53							2.4.30
1.6	1.1	1.2	0	1	2	2	2	2							8.220
-	-	0.2	1	-	-	-	-	-							9. B27
42.0	46.1	42.8	57	51	23	35	45	24							1.38
37.3	37.8	22.9	24	19	28	46	41	54							2.4.32
18.2	13.9	33.5	19	30	48	17	13	22							3.221
1.9	1.7	0.7	-	1	1	0	1	-							8.
0.6	0.6	0.2	1	0	-	1	2	-							9. B28
4.4	7.2	10.9	28	7	7	9	13	5							1.39
29.5	35.6	21.5	26	17	27	28	25	32							2.4.31
63.0	54.4	67.0	44	77	66	60	59	62							3.222
2.5	2.8	0.6	3	0	-	2	3	2							8.
0.6	-		0	1	-	0	1	-							9. B29
76.2	79.4	79.9	65	86	80	84	83	86	72	68	78	76	72	84	1.40
6.3	7.8	7.6	15	6	5	9	10	7	8	12	2	8	9	5	2.4.4
15.0	10.6	8.9	14	6	11	5	6	4	15	15	15	10	11	9	8.223
2.5	2.2	3.5	6	2	4	2	2	3	5	5	4	6	8	2	9. B30
59.2	60.0	69.6	52	71	77	57	58	57	67	68	67	50	49	53	1.41
29.2	33.9	22.7	31	24	15	34	36	32	27	26	28	36	38	32	2.5.1
9.7	5.6	4.9	10	3	6	7	3	11	3	4	2	7	5	9	8.224
1.9	0.6	2.8	7	1	2	2	4	1	3	2	3	7	8	6	9. B31
64.9	64.4	76.1	70	79	75	69	68	70	72	73	71	62	60	66	1.42
23.8	27.2	18.6	23	17	18	26	28	23	23	22	23	27	30	22	2.5.1b
9.7	6.7	2.9	1	2	5	4	1	7	3	3	3	5	4	7	8.225
1.6	1.7	2.4	6	1	2	2	3	1	2	2	2	6	6	4	9. B32

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN A
43 2.5 226 B33	Man and nature	1.Follow nature 2.Make use of nature 3.Conquer nature 8.Other 9.D.K	36.8 46.6 6.7 1.4 8.5	22.0 66.0 6.4 2.5 3.1	22.5 67.1 4.5 0.7 5.2	25.5 66.2 4.5 1.0 2.8	36.6 47.9 5.3 0.7 9.5
44 7.4 227 B34	Improve the country or make people happy	1.Individual->Country 2.Country->Individual 3.Country=Individual 8.Other 9.D.K	23.0 37.4 28.4 - 11.2	23.8 23.3 46.8 - 6.1	24.8 31.6 37.7 - 5.8	27.1 28.3 36.7 2.3 5.6	34.0 22.4 36.0 0.2 7.3
45 5.1D 228 -233 B35	Important thing	1.Filial piety 2.Repaying obligations 3.Individual rights 4.Individual freedom 5.Other answer 9.D.K	55.0 15.0 65.9 57.4 1.8 2.3	52.4 38.2 47.8 57.7 0.3 2.1	63.4 49.6 46.4 36.1 1.4 1.4	69.4 27.6 62.3 33.1 0.5 -	77.7 56.8 25.2 32.8 - -
46 5.6h 236 B36	Desirable person: efficient vs. friendly	1.Friendly 2.Efficient 8.Other 9.D.K	77.9 12.6 - 9.5	62.5 30.7 - 6.8	84.7 10.9 - 4.4	78.6 15.2 2.1 4.0	61.5 11.3 4.3 23.0
47 2.2b 237 B37	Consensus vs. principle	1.Stress own principle 2.Stress consensus 8.Other 9.D.K	28.3 62.4 - 9.3	29.4 65.7 - 4.8	44.4 52.1 - 3.5	47.6 47.1 1.4 3.9	20.2 68.3 1.3 10.3
48 5.1c1 238 B38	Employment examination: Relative	1.Highest grade 2.Relative 8.Other 9.D.K	44.5 39.8 2.1 13.6	58.8 34.9 1.2 5.0	72.6 21.3 2.0 4.1	65.9 29.5 1.7 2.9	60.4 22.8 1.0 15.8
49 5.1c2 239 B39	Employment examination: son of benefactor	1.Highest grade 2.Son of benefactor 8.Other 9.D.K	36.2 46.9 3.4 13.5	50.2 43.2 1.0 5.5	68.6 23.9 2.1 5.5	64.9 30.4 1.5 3.3	40.6 42.3 1.2 15.9
50 5.6 240 B40	Type of boss preferred	1.Non-paternalistic 2.Paternalistic 8.Other 9.D.K	22.8 68.6 - 8.6	30.9 64.1 - 5.0	39.9 56.7 - 3.5	44.9 51.4 0.4 3.3	9.0 80.3 0.1 10.6
51 2.12 241 B41	Are people helpful most of the time	1.Try to be helpful 2.Look out for themselves 8.Other 9.D.K	42.8 48.2 2.2 6.8	19.2 77.2 2.2 1.4	52.9 42.8 2.3 2.0	53.6 43.6 1.1 1.7	31.2 54.2 1.5 13.2
52 2.12b 242 B42	Are most people fair	1.Take advantage 2.Try to be fair 8.Other 9.D.K	29.9 54.9 2.6 12.6	57.7 35.8 3.0 3.6	37.5 57.8 1.9 2.8	40.4 56.0 1.2 2.4	32.3 52.8 0.9 14.0
53 2.12c 243 B43	Are most people trustworthy	1.Can be trusted 2.Cannot be trusted 8.Other 9.D.K	37.8 47.0 4.6 10.6	22.8 73.8 1.8 1.6	36.3 60.0 1.5 2.1	42.4 54.5 1.3 1.8	39.1 46.0 2.8 12.1
56 7.33 250 B44	Computers change our lives	1.Desirable thing 2.Inevitable thing 3.Dangerous thing 8.Other 9.D.K	14.7 55.0 25.6 - 4.7	31.8 51.0 12.5 - 4.6	15.9 63.1 16.7 - 4.3	33.6 51.4 11.6 - 3.5	30.5 52.8 6.6 0.3 9.8

1988 HAWAI NJ	1988 HAWAI JA	1991 BRAZIL W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
46.4	50.6	44.9	51	50	35	27	26	27	28	27	28	21	18	26	1.43
44.5	38.9	14.4	27	9	15	68	67	69	62	61	64	68	70	66	2.2.5
3.1	6.7	33.6	16	38	37	4	6	2	4	5	2	6	7	4	3.226
4.7	1.7	5.7	2	2	13	1	1	2	3	2	3	1	1	1	8.
1.3	2.2	1.5	3	1	0	0	1	-	4	4	3	4	4	3	9. B33
27.6	29.4	17.6	22	17	15	37	36	38	26	27	23	32	27	40	1.44
26.0	33.3	49.7	38	47	60	29	31	27	30	32	27	26	29	21	2.7.4
38.9	31.7	26.5	36	26	22	29	30	27	37	33	43	36	38	32	3.227
6.0	2.8	1.8	3	2	2	3	1	5	2	2	2	1	1	3	8.
1.6	2.8	4.3	1	9	0	3	3	3	6	6	6	5	6	4	9. B34
69.3	78.3	82.3	78	88	76	60	62	58	60	62	56	53	60	43	1.45
16.3	22.8	42.4	66	42	29	19	20	18	16	19	10	27	30	21	2.5.1D
78.4	72.2	33.6	18	28	51	78	76	81	77	73	83	65	59	75	3.228
33.9	25.6	32.5	12	34	43	41	40	42	43	40	48	51	48	56	4.-233
1.3	0.6	3.2	10	3	0										5.
-	1.8	0.3	?	?	?										9. B35
76.8	81.7	69.5	70	66	74	71	70	73	71	71	71				1.46
15.0	12.8	14.9	12	16	14	16	20	11	18	19	18				2.5.6h
6.0	5.6	10.0	10	9	12	10	6	15	7	6	9				8.236
2.2	-	5.6	8	8	0	2	3	1	4	4	2				9. B36
27.3	23.3	21.3	19	24	19	25	24	26	22	18	27				1.47
66.1	71.7	67.0	75	61	72	68	71	65	73	77	69				2.2.2b
6.0	2.8	5.5	2	7	6	4	2	7	3	3	2				8.237
0.6	2.2	6.3	4	9	3	3	3	2	2	3	2				9. B37
67.1	68.3	75.6	84	76	70	64	69	56	62	62	60	68	69	67	1.48
26.0	26.7	16.2	14	14	20	32	30	36	34	35	33	26	26	27	2.5.1c1
5.3	3.3	7.2	1	8	10	3	-	8	3	2	3	2	2	3	8.238
1.6	1.7	1.1	1	1	1	1	1	1	2	1	4	3	3	4	9. B38
62.4	51.7	50.3	56	43	58	56	60	51	55	58	51	53	51	57	1.49
30.7	42.2	42.3	38	47	38	39	38	40	40	37	44	39	41	35	2.5.1c2
4.4	3.9	4.0	3	5	4	4	1	7	2	2	2	2	2	3	8.239
2.5	2.2	3.4	3	6	1	2	2	2	3	3	3	6	6	5	9. B39
40.8	40.6	24.7	16	23	33	40	38	42	35	34	35	39	36	43	1.50
56.7	59.4	67.5	80	68	59	58	60	55	63	63	62	58	60	53	2.5.6
1.9	-	3.2	0	2	7	1	1	2	2	2	2	1	1	1	8.240
0.6	-	4.5	4	8	-	2	2	1	1	1	1	2	3	3	9. B40
65.5	58.3	40.9	39	51	28	54	53	57	48	51	45				1.51
30.4	38.3	50.5	41	43	67	41	42	40	47	45	50				2.2.12
3.1	2.8	5.6	14	2	6	5	5	4	3	3	2				8.241
0.9	0.6	3.0	7	4	0	-	-	-	2	2	2				9. B41
29.8	28.3	57.6	44	52	75	27	27	27	27	27	28				1.52
65.8	67.8	35.8	49	43	17	70	71	67	66	66	66				2.2.12b
4.4	2.8	2.9	3	2	4	3	2	5	5	5	3				8.242
-	1.1	3.6	4	3	4	0	-	1	2	2	2				9. B42
45.8	60.0	6.1	16	3	5	59	56	62	55	55	56				1.53
49.8	38.9	90.7	80	94	92	40	43	36	41	43	39				2.2.12c
3.1	1.1	2.8	4	3	3	1	-	2	4	2	5				8.243
1.3	-	0.3	-	1	-	0	1	-	0	-	1				9. B43
49.5	36.7	45.5	43	46	46	36	30	44							1.56
43.6	56.1	38.3	39	33	45	57	60	54							2.7.33
4.7	5.6	8.5	8	9	8	4	6	2							3.250
0.6	0.6	6.4	9	9	1	0	1	-							8.
1.6	1.1	1.3	-	2	1	2	3	1							9. B44

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN A
60 7.35 259 B45	Environ- mental preser- vation	1.Very important 2.Important 3.Not very important 4.Not at all important 8.Other 9.D.K	74.2 24.3 0.7 0.2 - 0.6	69.6 28.1 1.2 0.4 - 0.7	74.0 23.2 1.5 0.1 - 1.2	84.2 14.7 0.6 0.2 - 0.3	45.6 45.7 4.7 0.2 0.0 3.8
61 9.80 260	Culture	1.Answered 9.D.K	77.6 22.4	79.2 20.8	73.7 26.3	- -	58.4 41.6 67.7
62,a 3.1 261	Religious faith	1.Yes 2.No 9.D.K	74.8 21.8 3.4	64.4 34.8 0.8	64.2 34.3 1.4	85.3 13.9 0.8	36.5 63.5 -
62,b 3.1b 262	Religion	1.Protestant 2.Catholic 3.Jewish 4.Buddhist 5.Moslem 6.Shinto 7.Christian 8.Other 9.D.K 0.missing	33.7 38.3 - - - - - 2.6 0.2 25.2	1.6 60.3 0.5 - 0.9 - - 0.8 0.3 35.6	50.0 8.4 0.2 0.1 0.9 - - 4.2 0.4 35.8	54.8 24.4 1.2 - - - - 2.5 2.5 14.7	- - - 28.5 - 2.1 1.2 3.2 1.5 63.5
63 3.2 263 B49	Religious attitude	1.Important 2.Not important 8.Other 9.D.K	57.6 34.3 1.6 6.5	62.5 33.2 2.2 2.2	58.5 36.3 3.4 1.8	87.3 10.4 1.0 1.3	75.5 11.1 1.1 12.4
64 3.3 264 B50	All Religions Same	1.Agree 2.Disagree 8.Other 9.D.K	61.8 20.7 0.4 17.1	57.8 33.0 1.0 8.2	71.2 24.5 0.9 3.4	56.5 39.9 1.0 2.7	63.3 16.4 0.5 19.9
67 8.2e 268 B51	Democracy	1.Favourable 2.It depends 3.Unfavourable 8.Other 9.D.K	86.1 11.0 1.5 - 1.4	70.9 17.2 4.9 - 7.0	65.8 22.1 5.0 - 7.1	83.6 11.2 2.9 - 2.3	52.1 37.7 1.7 0.1 8.4
67 8.2f 269 B51	Capitalism	1.Favourable 2.It depends 3.Unfavourable 8.Other 9.D.K	19.1 43.2 32.2 - 5.5	14.0 36.9 42.5 - 6.5	23.1 37.5 29.7 - 9.7	41.5 30.9 20.9 - 6.8	27.3 48.3 10.1 - 14.3
67 8.2h 270 B51	Socialism	1.Favourable 2.It depends 3.Unfavourable 8.Other 9.D.K	13.7 38.3 40.8 - 7.2	30.3 41.6 20.2 - 7.9	22.4 39.1 30.7 - 7.8	10.9 32.2 49.5 - 7.5	6.3 54.3 20.9 0.0 18.4
67 8.2g 271 B51	Liberalism	1.Favourable 2.It depends 3.Unfavourable 8.Other 9.D.K	20.5 46.9 18.1 - 14.5	48.7 34.1 9.7 - 7.6	21.6 47.2 20.9 - 10.4	16.9 43.6 29.4 - 10.1	33.5 47.1 5.5 0.0 13.9
8 8.80 128 B52	The country's goal	1.Maintain order 2.Give people more say 3.Fight rising prices 4.Protect freedom of 8.Other speech 9.D.K	38.1 29.5 8.8 18.8 1.2 3.6	35.6 15.4 21.5 22.0 3.7 1.8	40.4 31.4 14.3 11.0 1.9 1.0	29.4 33.1 22.6 10.9 2.2 1.7	20.6 27.1 35.1 7.5 0.6 9.1

1988 HAWAI NJ	1988 HAWAI JA	1991 BRAZIL W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
74.3 23.8 0.3 - 0.6 0.9	70.0 27.8 1.1 - - 1.1	75.3 23.0 1.2 0.0 0.1 0.3	72 24 3 - 0 -	77 21 1 - 0 1	74 25 0 0 - -	55 43 2 0 - 1	60 38 1 1 - 1	48 48 2 - - 1							1.60 2.7.35 3.259 4. 8. 9. B45
96.2 3.8	96.1 3.9														1.61 9.9.80 260
76.2 21.0 2.8	71.1 27.8 1.1	89.4 10.3 0.3	92 8 -	88 12 1	91 9 -	66 32 2	71 25 2	66 42 3	66 34	72 28	56 44	71 29	79 21	57 43	1.62,a 2.3.1 9.261
27.0 30.7 2.5 1.6 - - 15.7 0.9	25.0 7.8 - 28.3 - - 11.1 -	2.8 50.6 20.4 - 2.6 13.6 9.2	2 22 54 6 8 8	1 52 16 3 18 9	6 65 8 - 11 9	31 + 31 - 5 32	31 + 40 - 5 25	32 + 20 - 5 42	29 + 30 - 7 34	25 + 40 - 7 28	34 + 16 - 6 44	30 + 36 - 4 29	29 + 45 - 4 21	33 + 19 - 5 43	1.62,b 2.3.1b 3.262 4. 5. 6. 7. 8. 9. 0.
79.6 12.9 6.9 0.6	80.0 13.3 5.6 1.1	91.0 6.0 2.5 0.4	91 4 4 1	94 4 2 1	87 11 3 -	82 15 3 1	87 11 2 1	75 20 5 1	91 7 2 1	92 5 2 1	88 9 2 1	90 6 0 3	94 3 0 3	82 13 1 5	1.63 2.3.2 8.263 9. B49
64.6 27.9 5.6 1.9	75.0 22.8 1.1 1.1	64.6 29.6 2.2 3.6	65 29 2 5	73 21 1 5	52 43 5 1	80 17 1 2	82 16 - 2	77 17 3 2	83 15 0 2	81 16 1 2	87 11 - 2	81 14 0 5	81 12 0 6	81 16 - 4	1.64 2.3.3 8.264 9. B50
87.8 11.0 0.3 - 0.9	85.0 13.3 0.6 - 1.1	63.9 23.6 1.3 0.3 10.8	72 15 1 2 10	67 17 1 - 15	56 38 2 - 5	84 13 1 0 2	80 15 1 1 3	89 10 2 - -	88 10 - 0 2	86 11 - 1 2	90 8 - - 2	74 21 0 -	70 22 0 -	82 18 1 -	1.67 2.8.2e 3.268 8. 9. B51
52.7 37.0 6.6 0.3 3.4	47.2 32.8 15.0 - 5.0	26.6 40.1 8.4 3.4 21.6	25 42 11 1 21	23 36 9 2 30	34 44 6 8 9	43 35 16 0 5	43 31 18 1 8	42 42 14 - 2	41 25 22 1 11	47 31 20 1 11	32 31 25 2 10	29 41 18 -	28 51 19 -	30 51 16 -	1.67 2.8.2f 3.269 8. 9. B51
16.9 45.5 32.3 0.6 4.7	11.7 49.4 31.7 - 7.2	18.4 39.3 18.1 2.9 21.2	7 55 17 0 21	23 30 16 2 28	19 44 22 6 11	13 44 32 1 10	14 38 34 - 14	13 52 30 2 4	20 30 40 - 11	18 21 47 - 14	21 42 29 - 8	11 42 30 -	9 37 30 -	13 50 30 -	1.67 2.8.2h 3.270 8. 9. B51
20.4 45.1 22.3 1.9 10.3	17.2 51.7 21.1 1.1 8.9	17.6 35.9 16.4 1.1 29.0	13 46 14 -	18 22 20 2	20 50 1 13	23 53 17 0 7	23 49 17 1 10	23 58 16 - 2	35 31 22 -	32 25 25 -	35 41 17 -	20 47 13 0 20	16 43 16 0 26	27 53 9 -	1.67 2.8.2g 3.271 8. 9. B51
32.9 25.4 19.1 16.0 4.1 2.5	38.3 30.6 22.2 5.6 1.7 1.7	38.2 28.0 21.6 5.2 5.1 1.8	43 16 20 13 7 2	40 25 25 3 3 3	32 39 17 4 7 -	41 30 13 13 1 2	42 29 13 13 1 1	38 32 13 14 1 2							1.8 2.8.80 3.128 4. 8. 9. B52

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN A
SEX		1.Male 2.Female	44.4 55.6	46.6 53.4	47.6 52.4	50.5 49.5	46.2 53.8
AGE		1. - 19 2. 20-24 3. 25-29 4. 30-34 5. 35-39 6. 40-44 7. 45-49 8. 50-54 9. 55-59 10. 60-64 11. 65-69 12. 70 - 0. D.K.	3.9 9.7 12.6 9.7 11.4 8.4 9.9 8.6 7.0 6.5 5.2 7.1 -	4.4 10.8 11.6 12.5 10.8 8.4 5.8 7.1 7.1 6.7 5.2 9.5 -	4.2 9.8 9.4 10.0 8.9 8.9 8.6 7.5 6.3 7.4 5.8 13.2 -	3.3 6.8 10.0 9.9 10.3 9.0 7.5 6.1 7.0 6.8 8.3 15.0 -	2.8 7.0 6.1 9.0 10.4 10.9 10.9 9.9 10.1 8.3 6.1 8.6 -
EDUC		1.Low 2.Middle 3.High 9.D.K	33.6 42.7 21.7 2.0	30.9 46.2 22.6 0.3	45.5 40.1 13.8 0.6	20.2 59.2 20.3 0.3	30.8 48.5 19.7 1.0

1988 HAWAI NJ	1988 HAWAI JA	1991 BRAZL W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
48.6	47.2	55.3	24	46	30	50	50	49	50	50	49	50	50	49	1. SEX
51.4	52.8	44.7	13	50	36	50	50	51	50	50	51	50	50	51	2.
0.6	1.7	19.9	1	18	82										1. AGE
3.8	3.3	+	+	+	+										2.
7.5	3.3	+	+	+	+										3.
8.2	7.8	20.1	3	33	64										4.
12.5	6.7	+	+	+	+										5.
11.3	10.0	19.8	8	77	14										6.
7.5	7.2	+	+	+	+										7.
6.0	5.6	19.7	16	81	2										8.
5.6	10.6	+	+	+	+										9.
10.3	13.3	20.4	66	31	3										10
9.7	11.1	+	+	+	+										11
16.3	19.4	+	+	+	+										12
0.6	-														0
16.3	19.4														1. EDUC
37.3	47.8														2.
62.1	51.7														3.
0.6	0.6														9.

付録 3 自由回答の結果

- 問1 ブラジルのよい点・悪い点
- 問2 日本のよい点・悪い点
- 問4 日系人として次の世代に伝えたいこと
- 問5 日系人としてブラジル社会に貢献したいこと
- 問18 大切なもの
- 問46 ブラジル文化のイメージ
- 問47 日本文化のイメージ

間1ブラジルの良い点・悪い点

=良い点=

1 国民の性格

- 1.01 明るく愉快なところ (alegria)
- 1.02 創造性が豊かなところ (livre iniciativa)
- 1.03 自発的である (espontaneidade)
- 1.04 人間的な暖かさがある (calor humano)
- 1.05 人間関係が型に嵌まっていない (relacionamento informal) 関係を作るのが簡単である (relacionamento facil)
- 1.06 自由なところ (liberal/liberdade)
- 1.07 国民がよい意味で楽観的なところ (otimismo)
- 1.08 純真な国民である (simplicidade de povo)
- 1.09 国民性一般 (povo bom)

2 社会・文化・国家の性格

- 2.01 民主的な社会である (democratico/igualdade entre todos)
- 2.02 均等な機会が与えられている (oportunidade)
- 2.03 人間の連帯性が強い (solidario)
- 2.04 平穏な社会・国家である (tranquilidade/calmo/vida sossegada)
- 2.05 期待が持てる国 (perspectiva)
- 2.06 多民族国家である (multi-ethnia/varias ethnicas)
- 2.07 若く未来の国である (pais jovem/pais do futuro)
- 2.08 住みやすい国である (boa para morar/viver, paraíso, vida mais folgada)
- 2.09 移民・外国人が受け入れられやすい国である (povo receptivo aos estrangeiros)
- 2.10 人口密度がそれほど高くない (baixa densidade populacional)
- 2.11 時間的な自由さ (mao tes horario hígido)
- 2.12 生活スタイルが良い (estilo de vida/modo de vida/lazer)
- 2.13 祖国であるから (nasci aqui)
- 2.14 平和な国である (paz/pacifico/sossego) 戦争がない (mao tes guerra)
- 2.15 文化が良い (cultura)
- 2.16
- 2.17 生活上昇が容易である、働くことなどんでも獲得しうる。削えることはない (facilidade de subir na vida/conseguir-se tudo com trabalho)
- 2.18 自給自足の経済 (auto-suficiencia)
- 2.19 生産力が高い (produtividade)
- 2.20 セルドミアがある (sordomia)
- 2.21 労働がより楽である (trabalho mais leve)

- 2.22 選挙制度が良い (sistema de eleicao)
- 2.23 人間的偏見・差別がない (mao tes discriminacao racial)
- 2.24 豊かな食糧・多様な食べ物 (alimentacao/comida)
- 2.25 友情 (amizade/colegisao)
- 2.26 住宅事情が良い (moradia/casa)
- 2.27 開かれた国 (pais livre/aberto)
- 2.28 良い資本主義を持つ (capitalismo)
- 2.29 教育が良い (educacao)
- 2.30 習慣がよい (costume)
- 2.31 現代的である (moderna)
- 2.32 社会的な共存性を有する (convívio social)
- 2.33 混血・文化の混こ (miscigenacao/sistura cultural)
- 2.34 職業機会に恵まれている (chance para trabalhar)

3 自然の性格

- 3.01 国土が大きい (pais extenso/espacos)
- 3.02 豊かな国土 (terra boa/terra fértil/fartura)
- 3.03 地層がない (mao tes terrasoto)
- 3.04 自然・気候が良い (natureza/clima)
- 3.05 国の位置が良い (geografia)
- 3.06 景勝地が多い (pontos turisticos)

4 その他

- 4.01 すべて良い。いい所だ (tudo/lugar bom)
- 4.02 良いところなどない (nada)

無解答 000

わからない 999

問1アラジカの良い点・悪い点

-悪い点-

1 国民の性格

- 1 01 やる気のなさ、ご都合主義 (acomodacao/comodismo)
- 1 02 無責任 (irresponsabilidade/não cumprir compromisso)
- 1 03 楽観的すぎる (excesso de otimismo)
- 1 04 尊敬の念の欠如 (falta de respeito com os velhos)
- 1 05 信用がない (falta de confiança)
- 1 06 正直さに欠ける (povo desonesto)
- 1 07 無知である (povo ignorante)
- 1 08 怠け者である (povo preguiçoso)
- 1 09 働くのが嫌いな国民である (povo não gosta de trabalhar)
- 1 10 悪いメンタリティーを持つ (mentalidade de povo)
- 1 11 遅れた国民である (atraso de povo)
- 1 12 愛国心が足りない (falta patriotismo)
- 1 13 価値観の喪失 (decadência de valores)
- 1 14 国者の見方の欠如 (falta perspectiva)

2 社会・国家の性格

- 2 01 人間が尊重されていない (desprezo humano)
- 2 02 悪習がある (costumes ruins) feitiçinho brasileiro
- 2 03 自由が在りすぎる (muita liberdade/excesso liberdade)
- 2 04 社会的な平等 (desigualdade social) 社会的格差 (diferença social)
- 2 05 社会的な問題一般 (problemas social/situação geral)
- 2 06 安全性が欠如している (falta de segurança social)
- 2 07 犯罪が多い (ladrão)
- 2 08 暴力 (violência)、アサルト (assalto)
- 2 09 麻薬 (drogas)
- 2 10 汚職がある (corrupção)
- 2 11 悪者が罰せられない (impunidade)
- 2 12 生活状態が悪い (condições de vida da população)
- 2 13 混血した民族である (mistura étnica)
- 2 14 国内移動、南北部移民 (migração/migração nordestina)
- 2 15 貧民窟の存在 (favela)
- 2 16 人口過剰 (super-população)
- 2 17 住宅不足 (falta de moradia/habitacao)
- 2 18 法律を守らない (falta de respeito aos leis)
- 2 19 生存競争が激しい (luta pela sobrevivência)

- 2 20 貧困である (pobreza)
 - 2 21 文盲が多い (analfabetismo)
 - 2 22 健康、医療不足、汚染 (saúde, médico, poluição)
- #### 3 政治・経済
- 3 01 法律規定が良くない (as formas de leis)
 - 3 02 政府が悪い。政府が無責任である。目的が欠如している。
governante, governo Corlor, politicas de governo, irresponsabilidade de governo, falta de objetivos
 - 3 03 政治家が悪い。政治家のモラル。
falta de bons politicos, politicas falsidade dos politicos, falta de moralidade dos politicos.
 - 3 04 官僚主義、公共サービスが悪い。
burocracia, serviços publicos
 - 3 05 行政が悪い (administracao)
 - 3 06 組織一般が悪い (falta de organizacao/organizacao)
 - 3 07 国民の協力の欠如 (falta de colocacao de povo)
 - 3 08 経済一般 (economia/crise economica)
 - 3 09 経済政策が悪い (politica economica)
 - 3 10
 - 3 11 安い給料 (salario)
 - 3 12 インフレーション (inflacao)
 - 3 13 価格コントロールの欠如 (falta de controle de preços)
 - 3 14 生活費が高い (custo de vida) 高価格 (preços altos)
 - 3 15 少ない就業機会 (mercado de trabalho, pouca oportunidade de emprego, pouco trabalho) 会社が少ない (falta firma)
 - 3 16 失業 (desemprego)
 - 3 17 財政状態が悪い (situação financeira)
 - 3 18 土地が非効率的にしか利用されていない (mal aproveitamento territorial)
 - 3 19 ストライキがある (greve)
 - 3 20 第三世界 (terceiro mundo)
 - 3 21 依存経済 (economia dependente)
 - 3 22 土地の生産性が低い (terras improdutivas)
 - 3 23 所得の再配分が悪い (distribuição de renda)
 - 3 24 重労働性 (auto trabalhos para viver)
 - 3 25 インフラ・ストラクチャーの遅れ (infraestrutura)
 - 3 26 技術の欠如 (falta de tecnologia)
 - 3 27 農業分野が悪い (agricultura)

3 2 8 対外債務 (divida externa)

4. 教育・文化・生活

- 4 0 1 高等教育への機会が制限されている (dificuldade de atingir univ.)
- 4 0 2 良質の教育の欠如。教育が脆弱である。(falta de acesso ao bom ensino
falta de educacao, educacao fraca)
- 4 0 3 子供のしつけをしらない (nao sabe educar o filho)
- 4 0 4 人生に期待がない
- 4 0 5 文化の欠如。伝統の欠如。falta de cultura/tradicao
- 4 0 6 教育・健康に対する投資が少ない (pouco investimento na educacao e na saude)
- 4 0 7 家族関係が良くない (relacionamento familiar)

5 自然その他

- 5 0 1 自然を尊重しない (desrespeito a natureza)
- 5 0 2 自然の利用法を知らない (nao sabe aproveitar a natureza)
- 5 0 3 干ばつ (seca)

問 2 日本の良い点・悪い点

=良い点=

1 国民の性格

- 1 0 1 規則正しい国民である (disciplina)
- 1 0 2 誠実な国民である (sinceridade)
- 1 0 3 正義な国民である (sinceridade/honradez)
- 1 0 4 潔癖な国民である (honestidade)
- 1 0 5 辛抱強い国民である (perseverancia)
- 1 0 6 忠誠心が強い (lealdade)
- 1 0 7 誇り高い国民 (orgulho)
- 1 0 8 尊敬の念をもつ (respeito)
- 1 0 9 法律を遵守する (cumprir leis)
- 1 1 0 ter palavra
- 1 1 1 人間性を尊重する国民 (valorizacao de ser humano)
- 1 1 2 時間を守る国民 (pontualidade)
- 1 1 3 平和な国民 (tranquilidade)
- 1 1 4 国家のために頑張る国民である (obtinacao do povo es proi do pais)
- 1 1 5 決断力をもつ国民 (dedicacao)
- 1 1 6 自覚をもった国民 (consciencia do povo)
- 1 1 7 知的な国民 (povo inteligente)
- 1 1 8 協調性を持った国民である
- 1 1 9 温和な国民である (pacifico)
- 1 2 0 責任感が強い国民 (responsavel)
- 1 2 1 文明化された国民 (povo civilizado)
- 1 2 2 国民性が良い (povo bom)

2 社会の性格

- 2 0 1 安全である (seguranca)
- 暴力がない (nao tem violencia)
- 2 0 2 警察の取締がきちんとしている (policiaento)
- 2 0 3 刑事免責がない (nao tem impunidade)
- 2 0 4 社会的に平等である (nao tem desigualdade/sociedade igualitario)
- 2 0 5 階級間に緊張がない (nao tem tensao entre as classes)
- 2 0 6 良く働く (trabalhador)
- 2 0 7 貧困がない (nao tem pobreza) 金持ち (rico)
- 2 0 8 連帯性が強い (uniao de povo)
- 2 0 9 善悪の区別が良い (praticidade)
- 2 1 0 人的資源が豊富である (riqueza populacional)

- 2 11 厳格な社会である (rigoroso)
 2 12 valorizacão do que se tem
 2 13 良く組織化されている (organizacao)
 2 14 清潔である (limpeza)
 2 15 食糧事情が良い (alimentacao)
 2 16 国際化している (internacionalizacao)
- 3 政治・行政
 3 01 誠実な政治 seriedade governamental
 3 02 良く統治されている bem governado
 3 03 行政 (administracao)
 3 04 効果的な法・警察制度 (judiciario e policia eficientes)
 3 05 社会福祉 (servico social do governo)
 3 06 多様なサービス (servicos)
 3 07 世界的なリーダーシップを持つ (lideranca mundial)
 3 08 天皇制 (imperador)
- 4 経済
 4 01 労働水準が高い (determinacao de nivel do trabalho)
 4 02 就業機会が多い。労働市場が盛っている。
 4 03 労働システムが良い bom sistema de trabalho
 4 04 安定した生活水準。padrao de vida estavel/situacao financeira do povo
 4 05 給与が高い ganha bom salario
 4 06 進歩した技術や産業を有する avancado tecnologico/industria electronica
 4 07 安定した経済 (economia estavel)
 4 08 インフレがない (nao tem inflacao)
 4 09 所得の分配が広くいっている (distribuicao de renda)
 4 10 価格が安定している (estabilidade de preco)
 4 11 購買能力が高い (vontade de vender)
 4 12 インフラ・ストラクチャーが整備されている (infra-estrutura)
 4 13 生産性が高い (maior produtividade)
 4 14 協同組合主義 (cooperativismo)
 4 15 日本人へ就業チャンスを与える (esprego para descendentes)
 4 16 経済政策が良い (politica economica)
 4 17 経済発展している (desenvolvimento)
 4 18 大きな可能性を持っている (grande potencia)
- 5 教育
 5 01 先生への尊敬 (valorizacao dos prof.)
 5 02 進歩した科学 (ciencia avancada)
 5 03 教育一般が良い (educacao)
 5 04 東洋的な教育 (educacao oriental)
- 6 生活・文化
 6 01 生活の予測を立てやすい
 6 02 生活しやすい (bem para viver)
 6 03 生活が楽しい (vida mais agradavel)
 6 04 生活の質が高い (qualidade da vida)
 6 05 文化一般が良い (cultura/cultura do povo/desenvolvimento cultural)
 6 06 文化的遺産 (heranca cultural)
 6 07 伝統・習慣がよい
 6 08 健康 (saude)
- 7 自然その他
 7 01 観光地 (turismo) 観光 (passear)
 7 02 春 (primavera)
 7 03 自然
 7 04 その他
- 8 その他
 8 01 すべてがよい
 8 02 よいところはない

問2日本の良い点・悪い点
=悪い点=

1 国民の性格

- 101 自由すぎる
- 102 偏見を持っている
- 103 自由がない・規律にしばられすぎる
- 104 エゴイストである
- 105 貧困である (esquinher)
- 106 プライドが高すぎる
- 107 日本人としてのアイデンティティに欠ける
- 108 人間らしさに欠ける
- 109 人間的な暖かさ欠ける
- 110 ブラジル人への偏見に欠ける
- 111 放逸である
- 112 弱者に対するいたわりに欠ける
- 113 屈い上がっている
- 114 厳格すぎる
- 115 極端な形式主義
- 116 極端な物質主義
- 117 感情を表に出さない
- 118 ユーモアを解さない
- 119 柔軟性に欠ける
- 120 心が狭い
- 121 細かすぎる
- 122 大衆化されすぎている

2 社会の性格

- 201 男性優先主義
- 202 女性蔑視
- 203 人種主義・人種偏見がある
- 204 社会的な競争が激しい
- 205 「出稼ぎ」に対して偏見がある
- 206 pouco caso com pessoas que vao do Brasil
- 207 人間が機械化されている
- 208 個人が孤立している
- 209 共存性が欠如している
- 210 冷たい人間関係

- 211 社会的環境が悪い
- 212 偏見が多すぎる
- 213 外国人が受け込むのが大変である
- 214 汚職がある
- 215 ヤクザがいる
- 216 vagabundagesの増加
- 217 住宅不足
- 218 社会的な不平等
- 219 プライバシーの欠如
- 220 人口が過剰である
- 221 公害・汚染
- 222 アメリカの影響が強すぎる
- 223 生活するのに良くない
- 224 若者に自由がない
- 225 ストレスや緊張が高い
- 226 自動車アルコール依存症
- 227 仕返しが好き
- 228 封鎖的である
- 229 その他

3 政治・経済

- 301 官僚主義である
- 302 地球環境の保全に無頓着である
- 303 仕事のし過ぎ
- 304 仕事上の競争が激しい
- 305 仕事の効率になっていない
- 306 界通システムが厳しい
- 307 生活費が高い
- 308 通関税が高い
- 309 輸出への依存度が高い
- 310 第一次産品への依存
- 311 天然資源の欠如・石油がない
- 312 食料品が高い
- 313 資本主義経済
- 314 発展途上国への援助の欠如

4 家庭

- 401 父親主義

- 402 家族の結束に欠ける
- 5 宗教
- 501 宗教が多すぎる
- 6 教育
- 601 学校教育が厳しすぎる
 - 602 教育の偏重
 - 603 教育が衰退している
- 7 生活
- 701 生活スタイルが良くない
 - 702 都市生活のリズムがはやすぎる
 - 703 休日がない
 - 704 料理のヴァリエーションがない
 - 705 人工的な食品が多い
 - 706 風呂・トイレ
- 8 文化
- 801 伝統に縛られている
 - 802 伝統を喪失している
- 9 自然その他
- 901 災害が多い・地震・津波がある
 - 902 気候が良くない 暑い
 - 903 国土が狭い。領土が小さい
 - 904 すべてが悪い
 - 905 悪い所はない。

問4次の世代に伝えたいもの

1 価値・精神・性格

- 101 日本的価値一般
- 102 正義さ
- 103 謙虚さ
- 104 誠実さ
- 105 忠誠心
- 106 自由
- 107 従順さ
- 108 信用
- 109 決断力
- 110 年長者・隣人への尊敬の念
- 111 自信
- 112 明るさ・愉快さ
- 113 真面目さ
- 114 勇氣
- 115 意志の力
- 116 獻身ということ
- 117 道徳心
- 118 考えることの大切さ
- 119 物質主義への批判
- 120 責任感・義務・義理
- 121 規律を守ること
- 122 尊敬一般

2 行動・行動の様式・他人との関係

- 201 他人との適合性
- 202 協調性
- 203 ブラジルのナリズムへの適応
- 204 良きブラジル人になること
- 205 ブラジル人的なメンタリティー
- 206 良き行動様式
- 207 誰が持っていた行動様式
- 208 日本人と接すること
- 209 日本の習慣に従わないこと
- 210 団結心

3 社会

- 301 良い社会を伝える
- 302 あらゆることへの貢献
- 303 人間主義を無くす・人間主義者にならない
- 304 良いことをする
- 305 闘うこと
- 306 愛国心を持つこと

4 家族・生活・健康

- 401 家族の団結
- 402 良き料理
- 403 ブラジル・日本・世界を知ることの大切さ
- 404 良き人生を送る
- 405 生き方
- 406 健康
- 407 バランスの取れた健康を築くこと

5 経済・仕事・財産

- 501 財産
- 502 食糧
- 503 技術
- 504 発展
- 505 進歩
- 506 貧困にならないこと
- 507 仕事・意欲強く仕事すること
- 508 成功

6 宗教・平和・愛・物の考え方

- 601 宗教
- 602 エスピリチズム
- 603 寛容的な思想
- 604 愛
- 605 平等
- 606 平和

7 教育・文化・勉強

- 701 勉強すること
- 702 勉強・研究への興味

- 703 素晴らしい教育
- 704 知識・知性
- 705 日本文化一般
- 706 日本人としてのルーツ
- 707 日本的伝統
- 708 日本文化の維持
- 709 日本の良い面
- 710 日本語

8 自然

- 801 自然を大切にすること

問5 日系人としてどのような貢献ができるか

1 ブラジルの価値・精神・性格の改革への貢献

1.01 協同性・連帯性を教える

1.02 誠実さ

1.03 日本のバランス感覚

1.04 決断力

1.05 意気力

1.06 闘争精神

1.07 正義感

1.08 献身の念

1.09 創造性

1.10 尊敬の念

1.11 謙遜さ

1.12 責任感

1.13 辛抱強さ・粘り強さ

1.14 勝つという意志

1.15 合理性

1.16 愛国心

1.17 謙遜さ

1.18 耐えること

1.19 組織力

1.20 知性

2 社会・国家・政治の側面への貢献

2.01 団結の大切さ

2.02 社会的経済的文化的側面での発展に寄与する

2.03 社会・政治・経済生活への参入

2.04 政治参加

2.05 汚職の撲滅

2.06 政府を援助する

2.07 政治家に良い例を示す

2.08 政府と国民の繋がりを作る

2.09 日本と同じ様にするのを考える

2.10 行政を良くする

2.11 何らかの行動を起こす

2.12 法律を遵守する

3 家族

3.01 家族の価値を教える

4 経済・仕事

4.01 「働くこと」の精神・大切さを教える

4.02 企業の中で出世する

4.03 技術修練

4.04 労働システムを教える

4.05 ブラジル企業への投資をする

4.06 仕事への責任感を植え付ける

4.07 産業分野で貢献する

4.08 工業分野で貢献する

4.09 農林の精神を教える

4.10 労働力を提供する

4.11 生産性を高める

5 教育・文化

5.01 国民を再教育する

5.02 研究・学問分野で貢献する

5.03 職業教育

5.04 東洋的な教育を行うことで貢献する

5.05 日本語教育を行う

5.06 二つの文化の橋渡しをする

5.07 日本の伝統・習慣を伝える

5.08 日本で教育を受け、それをいかに

5.09 両国から受け継いだ知識で貢献する

5.10 芸術面での貢献

5.11 文化的な貢献

5.12 底に多くの貢献をしてきた

問18 人生で大切なもの

1 価値・性格・精神

1.01 道徳

1.02 休養

1.03 誠実さ

1.04 正義感・謙遜さ

1.05 愉快さ・喜び

1.06 信用

1.07 自由

1.08 幸せ・幸福

1.09 意志

1.10 辛抱強さ

1.11 忠誠心

1.12 やさしさ・優しさ

1.13 意志の力

1.14 大志

1.15 我が嫌ではないこと

2 人との交わり・関係

2.01 協同性

2.02 他人との良い関係

2.03 友情

2.04 連帯

2.05 他人を理解すること

2.06 年長者を敬うこと

2.07 約束を守ること

3 社会・国家・政治

3.01 社会・社会参加

3.02 正義

3.03 時間厳守

3.04 ブラジルが良い状態にあること

3.05 治安の良さ

4 家族

4.01 夫婦・夫・妻

4.02 兄弟・姉妹

問46ブラジル文化

01 性格・気質・精神

- 0101 大志がない
- 0102 怠慢である
- 0103 尊敬の念の欠如
- 0104 センチメンタル
- 0105 価値観の欠如
- 0106 コスモポリタン
- 0107 友好的な国民
- 0108 隣仲和順の精神に富む
- 0109 胸めが早い
- 0110 慎重心がつよい
- 0111 良く教育された国民
- 0112 あまり教育されていない
- 0113 価値観を喪失してしまった国民
- 0114 通常性に富んだ国民
- 0115 人間的な豊かさを持つ
- 0116 文明化されていない
- 0117 フランクな関係
- 0118 社会的共存性に富む
- 0119 個人間で養ったも異質な行動パターンをもつ
- 0120 友情
- 0121 チャッカリした性格
- 0122 無能
- 0123 無責任
- 0124 愛国心に欠ける
- 0125 自由
- 0126 無知
- 0127 固けっ上げ

02 社会・国家・政治

- 0201 流血
- 0202 規則に従う
- 0203 多様性
- 0204 オリジナリティを持つ
- 0205 文化的記念物を祖米にする
- 0206 組織的ではない

- 706 自分を知ること
- 707 食べること・おいしい食べ物
- 708 自己の成長

8 平和・愛情

- 801 世界の平和
- 802 自分の平和
- 803 平和
- 804 平和に生きること
- 805 愛情・愛
- 806 平和さ・静けさ
- 807 愛されること
- 808 自分を愛すること
- 809 心
- 810 満足

9 人生・生活

- 901 安定した生活
- 902 生きること
- 903 世界をすること
- 904 レジャー・スポーツ・娯楽
- 905 生きる喜び
- 906 しっかり生きること
- 907 教育
- 908 期待・希望
- 909 勉強・子供の勉強
- 910 コミュニティの中で生きること
- 911 夢を実現すること・夢をみる
- 912 精神的な人生
- 913 将来
- 914 自立すること
- 915 個人的満足
- 916 人生の質
- 917 自然
- 918 サンパウロに暮ること

- 403 子育て
- 404 家族
- 405 子供・子供の教育・子供の教育・子供の近くに住む
- 406 家庭円満・家族の調和・家族の幸福
- 407 家族間の良い関係・団結
- 408 家族に対する尊敬
- 409 孫
- 410 結婚
- 411 家族と一緒に生きる
- 412 親
- 413 先祖
- 414 家族の健康

5 経済・仕事・財産

- 501 職業
- 502 専門職・職業的な成功
- 503 良い仕事
- 504 金
- 505 ブラジルの経済状態
- 506 働くこと
- 507 物質的な豊かさ
- 508 自動車・車
- 509 成功・繁栄
- 510 自分の住宅・家
- 511 安定した財政状態

3 宗教・信仰

- 601 信仰
- 602 神
- 603 精神生活
- 604 宗教

7 健康・命

- 701 健康
- 702 病気を治す
- 703 事故を起こさない
- 704 平穏な死
- 705 生命・自己

0207	貧民置	0502	アフロ-インディア系の儀式	0819	オレンジ
0208	貧困	0503	宗教的シンクレチズム	0820	フェイジョアード
0209	放棄された国民	0504	信心深い人々	0821	インデオ
0210	国民の形成過程にある	0505	信仰が欠如している	0822	文学・ジョルジュ・アマード
0211	原理・原則が欠如している	0506	カトリック	0823	奥
0212	国際化している			0824	マランドラ-ジェン
0213	大きな社会的平等・社会経済的特徴が大きい			0825	気晴らし
0214	教育がある	0601	健康の欠如	0826	文化行事のやり方が良くない
0215	汚職がある	0602	良い生活	0827	文化への投資
0216	人種偏見がある	0603	好きなように生きられる	0828	テレビ・映画・劇場
0217	文盲が多い	0604	ロンバード (車のスピードを落とすために町の出入り口や道路に作られた障害物) の使用	0829	良い文化・豊かな文化、伝統
0218	能力のある指導者がいない		平穩な生活ができる	0830	大豆
0219	政府が無能力である	0605		0831	ブドウ
0220	豊かな歴史を持つ				
0221	治安が悪い				
03経済・仕事・生活					
0301	農業	07平和・愛情		0901	豊かな自然・自然
0302	豊富な食糧	0701	平和	0902	アマゾン
0303	大きな投資	0702	平穩・安心	0903	太陽が照く海岸・観光地
0304	仕事さえすれば世界最高のところ	0703	戦争がない	0904	自然破壊
0305	労働者				
0306	金				
0307	金持ち・恵まれている国				
04教育					
0401	教育が悪い・教育水準が低い・	0801	独自の文化の欠如	1001	遅れ・不安など
0402	高等教育のレベルが低く、しかも教育費が高い	0802	形成途中の文化である	1002	豊盛・悪い
0403	学校数が足りない	0803	低い水準の文化	1003	貧弱
0404	進歩遅滞するための教育	0804	文化への投資が少ない	1004	良くなる期待・期待
0405	教育一般	0805	放棄された文化	1005	あまり期待はもてない
0406	教育や文化を要する必要がある	0806	カーニヴァル	1006	進歩・発展
0407	子育てに問題がある	0807	サンバ	1007	遅れ・低い・否定的
0408	親の子に対する愛情が不足している	0808	ポピュラー音楽・音楽	1008	不十分・無能力
0409	日本語学校と教育が欠如している	0809	民俗・ダンス・民芸品・カポエイラ・フレイヴ・ランバード	1009	映画通上
		0810	サッカー	1010	その他
		0811	バイア女性		なにもない
		0812	ムラッタ (褐色の女性)		
		0813	美しい女性		
		0814	芸術		
		0815	食べ物・料理		
		0816	肉料理		
		0817	コーヒー		
		0818	バナナ		
05宗教					
0501	宗教				

0904自然

1.0での他一進歩・遅れ、期待・不安など

0.8文化

0.4教育

0.5宗教

図4-7 日本文化

1 性格・気質・精神

- 101 誇り・国に対する誇り
- 102 同僚・年長者などに対する尊敬の念
- 103 正義
- 104 誠実さ
- 105 忍耐強さ
- 106 保守的
- 107 名誉を重んずる
- 108 厳格さ・厳格な行動様式
- 109 誠実さ・忠実さ
- 110 細密さ・神経が細かい
- 111 努力
- 112 知的・知的な国民
- 113 強い意志の力
- 114 責任感が強い
- 115 国民性一般がよい
- 116 能力
- 117 献身の精神
- 118 団結精神・団結
- 119 創造性が押さえ付けられている
- 120 教育が良く施されている
- 121 原理・原則的
- 122 忍耐強い
- 123 質素・
- 124 質実される・
- 125 愛国心に富む
- 126 慎み深い

2 社会・国家・政治

- 201 天皇に対する尊敬・天皇誕生日
- 202 人間的権限・差別
- 203 汚職
- 204 組織化された社会・国民
- 205 個人的自由の欠如
- 206 階級的な構造
- 207 社会の中で国民がロボット化している

208 同化・受動的な社会

- 209 進歩・現代的
- 210 清潔・きれいな社会
- 211 行政
- 212 低い文盲率
- 213 政府が国民のために働く
- 214 優秀さ
- 215 原則論で動く社会
- 216 中央集権的な構造
- 217 組織化がよくない
- 218 秩序と献身
- 219 その他
- 220 住宅事情が悪い

3 経済・仕事・技術

- 301 高い技術水準・技術・技術的發展
- 302 発展・進んだ工業・発展に発展した産業
- 303 堅固のような労働・たくさん働く
- 304 良く働く国民
- 305 仕事
- 306 商業
- 307 大きな投資
- 308 経済一般(良い意味)
- 309 低い給与
- 310 所得の配分がうまくいっている
- 311 給与手段が整備されている

4 家庭・生活

- 401 多くの子持である・子供が多い
- 402 家庭的伝統
- 403 飾り物が多い
- 404 生活スタイル
- 405 床にすわり、箸を使って食べる
- 406 両親を尊敬する

5 教育

- 501 教育・勉強
- 502 専門教育

503 子供の教育

- 504 東洋的な教育
- 505 低い水準の教育

6 宗教

- 601 宗教
- 602 宗教性・信心深い
- 603 靖・内面的な平和
- 604 宗教寺院・教会
- 605 仏教
- 606 神道儒教

7 文化

- 701 古い文化
- 702 文化的に進んでいる・良い文化
- 703 単一文化・機械的な文化・ファーマルな文化
- 704 食べ物・野菜・米・料理
- 705 伝統的祭り・華祭り・民俗的祭り・お正月
- 706 踊り・民謡・カラオケ・伝統音楽
- 707 演劇・歌舞伎
- 708 俳句・短歌・言い伝え
- 709 野球・相撲・マージナルアーツ
- 710 茶道・生け花
- 711 絵画・書道・芸術
- 712 典型的な衣装
- 713 伝統・歴史
- 714 最高・良い
- 715 文化への投資
- 716 伝統的な儀式・儀式
- 718 侍
- 720 琴・三味線
- 721 異物・リンゴ・ブドウ
- 720 習慣

8 自然その他

- 801 遠い国(物理的)
- 802 良い例
- 803 良く保存された自然
- 804 健康に良い

付録4 ブラジル日系人の属性（性，年令，世代，日本人スケールによる）別集計表

表の読み方

Q・・・， 質問・・・

Total 全体の集計

(SEX) 性別集計

(AGE) 年令別集計

(GENERATION) 世代別集計

1 1世

2 2世

3 3世以上

DK 不明

(J SCALE) 日本人スケール別集計

LOW 0～4

ML 5～9

MH 10～16

HIGH 17～

表頭の整数……質問の回答カテゴリー（質問文の回答肢と同一）
又はスケール値

(Q 8)	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	48.8	42.0	7.8	0.4	1.0	100.0
(SEX)						
MALE	53.7	36.8	7.5	0.1	1.9	100.0
FEMA	42.7	48.3	8.1	0.9	0.0	100.0
(AGE)						
-29	28.3	49.0	2.3	0.0	0.3	100.0
30-	42.4	47.1	10.3	0.2	0.0	100.0
40-	60.4	29.6	5.1	0.0	4.9	100.0
50-	58.9	34.2	6.9	0.0	0.0	100.0
60	53.9	30.2	14.1	1.9	0.0	100.0
(GENERATION)						
1	60.8	26.5	12.3	0.0	0.3	100.0
2	52.2	39.3	5.7	0.8	2.0	100.0
3	36.0	55.5	8.4	0.1	0.0	100.0
DK	88.6	11.4	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)						
LOW	44.3	49.7	5.9	0.1	0.0	100.0
ML	47.6	45.5	4.0	0.0	2.9	100.0
MH	50.8	33.5	13.6	1.7	0.3	100.0
HIGH	59.3	28.5	12.2	0.0	0.0	100.0

(Q 9 A)	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL
TOTAL	47.5	27.7	16.1	4.6	0.0	2.3	1.8	100.0
(SEX)								
MALE	46.7	26.4	20.6	2.0	0.0	3.2	1.1	100.0
FEMA	48.5	29.3	10.6	7.8	0.0	1.1	2.7	100.0
(AGE)								
-29	62.8	21.8	1.9	7.1	0.0	6.4	0.0	100.0
30-	53.5	35.7	9.1	1.4	0.0	0.0	0.3	100.0
40-	43.5	30.0	23.9	2.6	0.0	0.0	0.0	100.0
50-	44.8	35.6	16.8	0.4	0.0	0.0	2.4	100.0
60	33.3	15.6	28.6	11.2	0.0	5.0	6.3	100.0
(GENERATION)								
1	27.8	22.1	31.5	10.8	0.0	2.7	5.1	100.0
2	52.7	25.6	17.6	2.1	0.0	1.1	0.9	100.0
3	50.7	34.3	5.2	4.7	0.0	3.9	1.2	100.0
DK	92.1	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)								
LOW	45.0	34.6	14.5	5.9	0.0	0.0	0.0	100.0
ML	55.9	29.1	6.8	2.4	0.0	5.4	0.4	100.0
MH	55.9	19.0	18.5	2.2	0.0	0.0	4.5	100.0
HIGH	17.7	22.0	39.9	11.0	0.0	4.0	5.4	100.0

(Q 9 B)	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL
TOTAL	54.1	23.5	10.1	2.6	3.0	2.6	4.0	100.0
(SEX)								
MALE	54.8	24.3	9.8	1.0	1.9	4.4	3.8	100.0
FEMA	53.2	22.5	10.4	4.6	4.3	0.5	4.4	100.0
(AGE)								
-29	52.7	21.1	15.4	0.0	1.4	7.4	2.0	100.0
30-	74.0	21.0	1.6	1.6	0.3	0.3	1.2	100.0
40-	52.5	23.1	7.4	1.2	11.5	0.4	3.8	100.0
50-	53.9	31.2	7.0	0.0	1.6	1.3	4.9	100.0
60	57.7	21.3	18.8	10.1	0.1	3.7	8.3	100.0
(GENERATION)								
1	41.7	23.2	17.4	8.3	1.8	1.7	5.9	100.0
2	57.1	24.8	6.0	1.1	4.9	1.8	4.3	100.0
3	57.1	22.1	12.0	1.0	0.9	4.3	2.6	100.0
DK	46.1	9.5	0.0	33.1	0.0	11.4	0.0	100.0
(JSCALE)								
LOW	50.0	27.1	10.6	0.8	4.2	4.7	2.6	100.0
ML	61.6	24.9	3.4	1.1	3.9	2.3	2.8	100.0
MH	63.7	15.0	10.3	2.6	1.6	0.5	6.4	100.0
HIGH	28.2	26.0	25.7	11.2	0.0	1.9	6.9	100.0

(Q 9 C)	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL
TOTAL	62.9	17.5	4.7	0.4	0.4	3.9	10.2	100.0
(SEX)								
MALE	62.6	18.0	5.0	0.4	0.6	6.1	7.3	100.0
FEMA	63.3	16.9	4.3	0.3	0.1	1.1	13.9	100.0
(AGE)								
-29	50.6	11.0	3.7	0.0	1.4	14.1	19.2	100.0
30-	56.0	19.5	11.1	0.3	0.0	0.6	12.5	100.0
40-	68.2	12.9	2.6	0.4	0.0	0.8	15.1	100.0
50-	80.1	12.4	2.5	0.4	0.0	0.0	4.6	100.0
60	59.9	31.4	3.6	0.7	0.5	3.8	0.0	100.0
(GENERATION)								
1	57.8	33.0	4.6	1.2	0.6	1.5	1.2	100.0
2	74.0	14.2	2.3	0.0	0.0	1.2	8.3	100.0
3	49.4	13.8	8.3	0.5	0.9	9.3	17.9	100.0
DK	66.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.1	100.0
(JSCALE)								
LOW	61.3	10.7	5.4	0.5	0.9	4.4	16.9	100.0
ML	62.9	15.1	4.8	0.0	0.2	6.3	10.8	100.0
MH	66.7	23.5	2.9	0.4	0.2	0.5	5.8	100.0
HIGH	60.4	30.5	5.8	1.2	0.0	2.1	0.0	100.0

(Q 9 D)									
TOTAL	42.3	28.4	19.8	5.0	0.1	4.0	0.4	7	TOTAL
(SEX)									
MALE	39.4	26.4	21.9	6.0	0.0	6.0	0.3	100.0	
FEMA	45.8	31.0	17.2	3.8	0.2	1.6	0.4	100.0	
(AGE)									
-29	30.3	37.8	18.4	5.8	0.0	7.0	0.7	100.0	
30-	41.2	22.9	21.9	10.0	0.2	3.5	0.3	100.0	
40-	46.3	20.3	30.5	1.7	0.0	1.0	0.1	100.0	
50-	47.7	39.4	10.3	1.2	0.4	0.3	0.7	100.0	
60	45.7	22.2	17.9	6.2	0.0	8.1	0.0	100.0	
(GENERATION)									
1	40.7	28.7	19.6	5.0	0.0	5.6	0.5	100.0	
2	50.2	25.2	19.4	1.8	0.2	2.8	0.4	100.0	
3	31.5	33.4	20.7	9.2	0.0	5.0	0.3	100.0	
DK	43.3	12.2	11.4	33.1	0.0	0.0	0.0	100.0	
(JSCALE)									
LOW	33.2	24.2	29.0	7.3	0.1	6.0	0.3	100.0	
ML	44.4	32.2	14.8	5.0	0.2	2.8	0.6	100.0	
MH	54.4	25.4	13.7	3.8	0.0	2.4	0.3	100.0	
HIGH	38.2	34.7	20.5	1.4	0.0	5.0	0.2	100.0	
(Q 9 E)									
TOTAL	22.8	26.3	31.7	12.8	0.2	5.5	0.7	7	TOTAL
(SEX)									
MALE	24.1	26.7	30.6	13.5	0.2	3.9	1.1	100.0	
FEMA	21.1	25.9	33.0	11.9	0.2	7.5	0.2	100.0	
(AGE)									
-29	7.5	25.6	47.8	18.7	0.0	0.4	0.0	100.0	
30-	18.7	25.5	34.8	19.0	0.0	1.3	0.8	100.0	
40-	26.8	40.3	17.6	14.6	0.2	1.9	0.7	100.0	
50-	29.5	24.0	37.9	2.8	0.8	4.6	0.4	100.0	
60	33.3	16.6	20.6	8.7	0.0	19.2	1.6	100.0	
(GENERATION)									
1	34.9	20.3	22.4	9.8	0.0	11.6	1.1	100.0	
2	26.2	27.7	30.7	9.3	0.2	5.0	0.9	100.0	
3	10.9	27.5	39.1	19.5	0.3	2.5	0.1	100.0	
DK	17.3	41.0	0.0	11.4	0.0	26.1	4.3	100.0	
(JSCALE)									
LOW	11.6	35.1	30.9	19.3	0.3	1.8	1.2	100.0	
ML	28.4	25.6	32.5	8.6	0.3	4.1	0.4	100.0	
MH	27.6	20.8	31.9	9.6	0.0	9.3	0.8	100.0	
HIGH	28.0	15.8	31.1	12.7	0.0	12.1	0.2	100.0	
(Q 9 F)									
TOTAL	43.0	24.3	21.9	6.2	0.4	3.5	0.8	7	TOTAL
(SEX)									
MALE	41.3	27.2	22.3	5.0	0.6	3.3	0.3	100.0	
FEMA	45.0	20.8	21.3	7.7	0.1	3.6	1.5	100.0	
(AGE)									
-29	38.4	27.8	27.7	3.6	0.0	0.4	2.0	100.0	
30-	45.3	22.1	16.8	12.3	0.0	3.1	0.3	100.0	
40-	58.9	15.3	21.8	2.6	0.2	0.8	0.3	100.0	
50-	42.0	23.0	26.3	3.4	0.0	5.1	0.3	100.0	
60	30.5	33.1	17.0	8.9	1.6	7.9	1.1	100.0	
(GENERATION)									
1	27.0	35.7	22.1	10.9	0.0	2.9	1.5	100.0	
2	50.1	18.2	23.1	3.0	0.7	4.7	0.3	100.0	
3	41.7	26.5	20.3	8.3	0.0	1.9	1.2	100.0	
DK	43.3	41.0	4.3	0.0	0.0	11.4	0.0	100.0	
(JSCALE)									
LOW	51.3	22.4	14.4	7.5	1.0	1.9	1.5	100.0	
ML	43.7	21.0	26.8	3.8	0.1	3.8	0.8	100.0	
MH	43.0	23.4	24.0	3.2	0.0	6.2	0.3	100.0	
HIGH	20.2	39.4	24.0	14.3	0.0	1.9	0.2	100.0	
(Q 9 G)									
TOTAL	35.9	23.6	26.2	8.7	0.6	4.7	0.3	7	TOTAL
(SEX)									
MALE	33.9	23.4	25.8	11.0	0.9	4.7	0.3	100.0	
FEMA	38.4	23.9	26.6	5.8	0.2	4.8	0.2	100.0	
(AGE)									
-29	30.5	25.4	31.7	12.4	0.0	0.0	0.0	100.0	
30-	32.5	38.2	24.5	2.8	0.3	1.2	0.5	100.0	
40-	31.6	26.0	27.9	12.1	0.1	2.2	0.1	100.0	
50-	42.0	12.4	33.3	4.3	0.8	6.9	0.3	100.0	
60	43.1	16.1	13.8	11.9	1.7	13.1	0.3	100.0	
(GENERATION)									
1	37.9	14.7	19.9	14.3	0.1	12.7	0.3	100.0	
2	38.8	18.3	30.2	6.9	1.0	4.4	0.4	100.0	
3	30.3	36.7	24.2	8.3	0.3	0.2	0.0	100.0	
DK	50.3	15.7	7.9	0.0	0.0	26.1	0.0	100.0	
(JSCALE)									
LOW	37.8	29.4	25.0	6.1	1.5	0.0	0.2	100.0	
ML	31.9	22.8	33.3	7.9	0.2	3.6	0.2	100.0	
MH	37.0	22.2	23.8	9.9	0.0	6.6	0.6	100.0	
HIGH	40.0	14.0	15.0	15.0	0.2	15.9	0.0	100.0	

(Q 10 A)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 56.9 9.0 18.5 15.6 0.1 100.0
 (SEX)
 MALE 49.7 10.2 19.3 20.6 0.1 100.0
 FEMALE 65.7 7.3 17.4 9.3 0.2 100.0
 (AGE)
 -29 60.2 12.7 18.8 8.2 0.0 100.0
 30- 67.8 8.7 17.6 5.9 0.0 100.0
 40- 45.0 10.0 15.8 29.2 0.0 100.0
 50- 73.0 8.3 9.6 8.7 0.4 100.0
 60 39.0 5.2 30.1 25.5 0.2 100.0
 (GENERATION)
 1 43.6 4.3 28.3 23.7 0.2 100.0
 2 58.0 9.5 14.6 17.7 0.2 100.0
 3 63.4 11.1 18.7 6.7 0.0 100.0
 DK 33.0 0.0 0.0 67.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 58.5 6.6 14.5 20.4 0.0 100.0
 ML 63.7 12.8 15.2 8.0 0.2 100.0
 MH 50.9 9.6 21.4 18.1 0.0 100.0
 HIGH 45.5 4.1 31.7 18.4 0.3 100.0

(Q 10 B)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 51.3 13.1 20.3 12.5 2.7 100.0
 (SEX)
 MALE 37.1 16.3 30.1 13.9 2.6 100.0
 FEMALE 68.9 9.2 8.3 10.7 2.9 100.0
 (AGE)
 -29 43.7 18.7 23.6 11.6 2.4 100.0
 30- 58.8 17.5 9.7 12.4 1.6 100.0
 40- 42.4 4.3 41.0 9.0 3.3 100.0
 50- 69.8 8.1 17.1 3.5 1.6 100.0
 60 42.2 16.9 10.7 25.4 4.8 100.0
 (GENERATION)
 1 39.2 20.8 22.7 13.6 3.7 100.0
 2 58.2 6.4 20.2 13.3 1.9 100.0
 3 48.3 18.8 19.3 10.1 3.5 100.0
 DK 47.7 0.0 11.4 41.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 49.5 14.5 22.4 12.0 1.7 100.0
 ML 60.7 8.7 17.3 11.1 2.3 100.0
 MH 52.3 10.0 19.3 16.9 1.5 100.0
 HIGH 30.4 26.5 24.7 9.8 8.6 100.0

(Q 10 C)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 48.0 12.5 16.1 22.8 0.6 100.0
 (SEX)
 MALE 41.4 10.3 18.2 29.8 0.3 100.0
 FEMALE 56.3 15.1 13.5 14.2 1.0 100.0
 (AGE)
 -29 30.4 28.2 14.3 27.1 0.0 100.0
 30- 48.8 16.6 18.2 14.8 1.6 100.0
 40- 62.6 4.4 10.5 21.0 1.5 100.0
 50- 65.1 4.2 16.7 14.0 0.0 100.0
 60 33.8 8.9 20.6 36.7 0.1 100.0
 (GENERATION)
 1 28.0 5.8 34.0 30.6 1.6 100.0
 2 63.8 8.5 7.5 20.2 0.0 100.0
 3 36.8 22.4 18.6 21.2 1.0 100.0
 DK 33.0 0.0 0.0 67.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 47.9 15.0 15.3 21.8 0.0 100.0
 ML 60.0 10.6 9.3 19.2 1.0 100.0
 MH 46.4 13.0 11.2 28.5 0.9 100.0
 HIGH 20.6 10.0 43.9 24.6 0.9 100.0

(Q 10 D)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 56.5 8.1 14.9 18.9 1.6 100.0
 (SEX)
 MALE 47.3 7.6 18.2 24.3 2.6 100.0
 FEMALE 67.9 8.8 10.8 12.2 0.3 100.0
 (AGE)
 -29 54.3 15.8 9.0 18.6 2.3 100.0
 30- 50.2 8.5 25.2 15.8 0.3 100.0
 40- 56.3 6.4 24.6 12.2 0.5 100.0
 50- 69.2 4.6 6.1 19.4 0.7 100.0
 60 52.9 5.4 9.6 28.0 4.2 100.0
 (GENERATION)
 1 46.8 7.5 12.2 28.5 5.0 100.0
 2 65.4 5.8 13.8 14.1 0.9 100.0
 3 49.1 12.0 18.4 19.8 0.7 100.0
 DK 54.7 0.0 0.0 45.3 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 50.8 10.7 23.4 15.0 0.1 100.0
 ML 65.4 4.7 9.4 18.8 1.6 100.0
 MH 63.6 9.5 13.3 12.8 0.8 100.0
 HIGH 35.4 8.3 10.6 39.1 6.7 100.0

(Q 10 E)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 53.8 11.9 15.9 13.9 4.5 100.0
 (SEX)
 MALE 45.8 13.5 17.0 17.1 6.6 100.0
 FEMALE 63.7 10.0 14.5 9.9 2.0 100.0
 (AGE)
 -29 48.9 16.0 16.2 18.2 0.7 100.0
 30- 54.2 16.0 22.3 7.5 0.0 100.0
 40- 51.7 21.6 9.8 15.2 1.7 100.0
 50- 67.4 2.5 20.4 7.8 1.8 100.0
 60 48.9 3.7 10.8 20.6 18.0 100.0
 (GENERATION)
 1 41.2 7.1 22.0 12.7 17.0 100.0
 2 58.3 10.6 15.1 13.5 2.4 100.0
 3 54.7 16.9 13.5 14.6 0.4 100.0
 DK 43.3 0.0 11.4 45.3 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 56.1 25.2 9.3 9.0 0.4 100.0
 ML 58.7 4.2 19.5 15.0 2.6 100.0
 MH 54.5 9.6 13.6 19.1 3.2 100.0
 HIGH 34.0 2.9 27.0 14.3 21.8 100.0

(Q 10 G)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 67.3 9.3 10.4 11.2 1.8 100.0
 (SEX)
 MALE 64.1 10.1 9.5 15.4 1.0 100.0
 FEMALE 71.3 8.4 11.5 6.0 2.8 100.0
 (AGE)
 -29 46.4 20.8 16.7 16.2 0.0 100.0
 30- 74.4 4.8 14.0 5.6 1.3 100.0
 40- 75.7 7.4 6.1 10.3 0.4 100.0
 50- 80.7 5.3 12.1 1.7 0.2 100.0
 60 59.6 8.3 3.5 21.8 6.9 100.0
 (GENERATION)
 1 47.0 10.1 14.4 25.5 3.1 100.0
 2 79.7 5.3 8.8 5.1 1.1 100.0
 3 61.2 14.8 10.8 11.2 2.0 100.0
 DK 54.7 4.3 0.0 41.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 70.4 7.8 12.0 9.8 0.0 100.0
 ML 68.7 12.3 9.0 7.5 2.4 100.0
 MH 79.0 4.2 5.8 9.5 1.5 100.0
 HIGH 35.8 14.2 18.1 26.9 5.1 100.0

(Q 10 F)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 77.0 6.2 7.5 8.4 1.0 100.0
 (SEX)
 MALE 73.9 7.7 7.6 9.8 1.0 100.0
 FEMALE 80.9 4.3 7.3 6.6 0.9 100.0
 (AGE)
 -29 69.1 13.6 8.8 8.6 0.0 100.0
 30- 84.8 4.3 8.2 2.7 0.0 100.0
 40- 85.2 5.3 2.7 6.8 0.0 100.0
 50- 85.3 3.8 10.4 0.6 0.0 100.0
 60 61.2 3.8 7.3 23.0 4.7 100.0
 (GENERATION)
 1 56.2 3.6 18.9 20.9 0.3 100.0
 2 85.0 3.0 5.8 5.2 1.1 100.0
 3 77.8 12.3 3.4 5.2 1.2 100.0
 DK 59.0 0.0 0.0 41.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 86.2 5.7 2.5 5.6 0.0 100.0
 ML 75.8 8.1 10.2 4.4 1.5 100.0
 MH 83.1 4.8 1.7 10.3 0.1 100.0
 HIGH 46.8 4.6 22.6 22.4 3.5 100.0

(Q 10 H)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 48.9 23.9 15.1 10.0 2.1 100.0
 (SEX)
 MALE 44.4 29.0 13.5 11.4 1.7 100.0
 FEMALE 54.5 17.6 17.2 8.2 2.5 100.0
 (AGE)
 -29 40.1 28.3 12.7 18.9 0.0 100.0
 30- 47.8 20.3 29.5 1.8 0.7 100.0
 40- 43.5 39.8 11.8 4.9 0.0 100.0
 50- 69.2 16.2 6.9 2.8 4.8 100.0
 60 44.1 15.1 14.6 21.5 4.8 100.0
 (GENERATION)
 1 44.6 17.8 14.1 20.0 3.6 100.0
 2 52.9 24.3 11.6 8.3 2.9 100.0
 3 45.6 26.9 21.2 6.2 0.0 100.0
 DK 45.2 13.8 0.0 41.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 51.8 22.9 16.6 8.0 0.8 100.0
 ML 52.7 26.2 12.3 7.8 1.0 100.0
 MH 48.8 21.8 17.8 6.7 4.9 100.0
 HIGH 32.3 23.9 14.3 26.4 3.1 100.0

(Q 10 I)					
TOTAL	57.0	17.9	16.3	6.5	2.3
(SEX)					
MALE	52.5	23.0	16.7	6.7	1.1
FEMA	62.7	11.6	15.8	6.2	3.8
(AGE)					
-29	55.3	17.1	21.8	5.2	0.6
30-	58.5	18.1	21.2	2.2	0.0
40-	61.4	22.0	6.2	10.1	0.2
50-	66.5	14.7	10.7	5.9	2.1
60	43.9	17.5	21.2	8.8	8.6
(GENERATION)					
1	37.6	25.0	24.9	6.9	5.5
2	67.1	15.9	7.8	7.9	1.2
3	54.5	16.8	23.2	3.9	1.6
DK	7.8	9.5	44.4	12.2	26.1
(JSCALE)					
LOW	53.5	21.5	21.9	2.8	0.4
ML	69.0	13.3	11.3	5.8	0.7
MH	53.8	16.7	10.3	13.3	5.9
HIGH	41.0	22.8	25.6	5.3	5.3
(Q 11)					
TOTAL	55.3	6.1	34.4	2.1	2.1
(SEX)					
MALE	65.3	5.6	22.8	3.6	2.7
FEMA	42.9	6.7	48.7	0.3	1.4
(AGE)					
-29	38.1	9.8	45.7	0.0	6.4
30-	46.8	9.7	41.3	0.4	1.8
40-	57.3	9.6	28.2	4.9	0.0
50-	73.2	0.0	26.5	0.4	0.0
60	61.0	1.6	30.1	4.9	2.4
(GENERATION)					
1	68.7	1.1	25.0	2.6	2.6
2	58.8	4.6	33.1	3.2	0.2
3	41.8	11.1	42.1	0.3	4.7
DK	84.3	11.4	4.3	0.0	0.0
(JSCALE)					
LOW	51.0	15.4	29.1	0.3	4.3
ML	45.1	1.9	47.6	4.5	0.8
MH	66.2	2.0	29.3	2.5	0.0
HIGH	73.0	1.0	22.1	0.0	3.9
(Q 12)					
TOTAL	51.9	26.7	12.6	2.6	6.1
(SEX)					
MALE	52.3	24.7	15.7	1.8	5.6
FEMA	51.5	29.3	8.8	3.6	6.8
(AGE)					
-29	56.4	21.7	17.6	2.7	1.6
30-	45.1	29.4	13.6	6.0	5.8
40-	58.3	20.9	11.1	0.6	9.1
50-	57.9	30.5	5.0	0.2	6.4
60	42.3	30.9	15.6	3.5	7.6
(GENERATION)					
1	50.3	25.4	17.2	3.5	3.6
2	55.7	26.1	8.0	1.3	8.9
3	44.8	28.6	16.8	4.1	3.6
DK	80.7	19.3	0.0	0.0	0.0
(JSCALE)					
LOW	56.6	25.3	13.5	2.7	1.9
ML	57.3	24.6	9.0	3.0	6.1
MH	37.5	39.8	10.3	1.2	11.2
HIGH	51.2	13.1	23.6	4.0	8.1
(Q 13)					
TOTAL	83.3	12.1	3.9	0.7	100.0
(SEX)					
MALE	85.0	11.0	2.9	1.1	100.0
FEMA	81.3	13.4	5.1	0.2	100.0
(AGE)					
-29	94.4	2.9	2.4	0.3	100.0
30-	84.3	9.5	6.3	0.0	100.0
40-	90.0	6.7	2.7	0.6	100.0
50-	86.0	8.8	5.2	0.0	100.0
60	62.6	31.9	3.0	2.5	100.0
(GENERATION)					
1	72.2	24.0	3.4	0.5	100.0
2	83.4	11.2	4.1	1.3	100.0
3	89.5	6.5	4.1	0.0	100.0
DK	92.2	7.8	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	86.3	8.5	5.1	0.0	100.0
ML	87.7	7.9	2.6	1.8	100.0
MH	79.9	13.8	6.0	0.3	100.0
HIGH	70.5	28.5	0.8	0.2	100.0

(Q 16)	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	8.0	4.8	35.9	25.5	19.2	2.4	3.4	0.7	100.0
(SEX)									
MALE	6.7	4.8	40.9	18.1	23.3	1.1	4.0	1.0	100.0
FEMA	9.5	4.8	29.6	34.6	14.2	4.1	2.7	0.4	100.0
(AGE)									
-29	1.3	7.8	50.0	20.6	10.0	5.9	4.3	0.0	100.0
30-	23.8	2.5	24.9	19.0	23.0	1.6	4.8	0.2	100.0
40-	5.7	3.5	47.1	26.5	12.2	0.9	3.1	1.1	100.0
50-	1.5	6.4	35.8	25.4	26.9	1.5	2.5	0.0	100.0
60	7.3	3.9	22.1	35.8	24.0	2.2	2.5	2.3	100.0
(GENERATION)									
1	4.8	3.8	32.8	26.8	25.2	3.5	1.2	1.9	100.0
2	5.8	4.6	34.2	32.1	18.3	0.5	3.7	0.8	100.0
3	12.6	5.3	40.7	15.4	17.1	4.6	4.4	0.0	100.0
DK	33.1	35.6	0.0	7.9	19.2	4.3	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)									
LOW	12.6	3.2	44.3	15.7	16.9	4.8	1.3	1.1	100.0
ML	5.8	6.6	33.0	27.4	23.0	1.3	3.0	0.0	100.0
MH	6.0	6.9	33.3	32.2	10.4	1.3	8.3	1.5	100.0
HIGH	5.6	0.6	26.6	33.6	30.5	1.4	1.5	0.2	100.0

(Q 17)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	19.9	77.8	0.9	1.4	100.0
(SEX)					
MALE	18.3	80.5	1.0	0.2	100.0
FEMA	21.8	74.5	0.8	2.8	100.0
(AGE)					
-29	25.1	74.5	0.4	0.0	100.0
30-	15.4	82.1	2.5	0.0	100.0
40-	9.7	88.8	0.6	1.0	100.0
50-	19.6	79.0	0.7	0.7	100.0
60	29.4	65.0	0.4	5.2	100.0
(GENERATION)					
1	21.1	77.8	0.9	0.1	100.0
2	21.0	76.1	0.4	2.4	100.0
3	17.5	80.8	1.6	0.0	100.0
DK	20.9	46.1	0.0	33.1	100.0
(JSCALE)					
LOW	11.4	87.6	0.5	0.6	100.0
ML	21.7	74.9	0.6	2.8	100.0
MH	28.2	68.4	2.2	1.2	100.0
HIGH	21.9	77.4	0.6	0.0	100.0

(Q 14)	1	2	3	TOTAL
TOTAL	88.0	9.9	2.1	100.0
(SEX)				
MALE	85.7	12.3	2.0	100.0
FEMA	90.8	7.0	2.3	100.0
(AGE)				
-29	87.7	10.4	1.9	100.0
30-	94.5	2.9	2.5	100.0
40-	91.7	5.0	3.3	100.0
50-	89.1	9.1	1.8	100.0
60	77.1	21.9	1.0	100.0
(GENERATION)				
1	78.2	21.1	0.7	100.0
2	90.0	7.3	2.7	100.0
3	91.0	6.9	2.1	100.0
DK	66.9	33.1	0.0	100.0
(JSCALE)				
LOW	90.8	7.5	1.7	100.0
ML	94.6	4.5	0.9	100.0
MH	80.8	14.9	4.4	100.0
HIGH	76.5	21.3	2.2	100.0

(Q 15)	1	2	3	4	5	6	TOTAL
TOTAL	16.3	21.2	12.2	40.9	7.8	1.7	100.0
(SEX)							
MALE	18.6	20.4	15.5	37.1	7.3	1.2	100.0
FEMA	13.5	22.2	8.0	45.6	8.4	2.3	100.0
(AGE)							
-29	8.7	11.4	10.0	60.7	8.2	1.0	100.0
30-	26.4	7.8	3.6	55.8	5.9	0.5	100.0
40-	4.2	34.1	8.7	39.1	13.8	0.0	100.0
50-	13.4	33.9	22.2	29.9	0.7	0.0	100.0
60	28.4	19.0	16.5	19.4	10.1	6.7	100.0
(GENERATION)							
1	26.7	16.4	15.4	29.8	9.8	1.9	100.0
2	10.9	30.5	14.6	35.9	6.0	2.2	100.0
3	18.6	9.8	6.8	55.4	8.7	0.8	100.0
DK	0.0	45.2	13.8	7.9	33.1	0.0	100.0
(JSCALE)							
LOW	15.0	21.4	7.9	44.2	11.2	0.3	100.0
ML	12.3	28.1	12.9	40.9	3.6	2.1	100.0
MH	11.8	18.5	16.6	43.5	7.4	2.3	100.0
HIGH	37.6	7.6	13.5	28.2	10.5	2.7	100.0

(Q 19 A)										(Q 19 C)									
1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL		1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL	
TOTAL	2.3	0.0	0.4	2.8	2.6	1.1	90.3	0.6	100.0	TOTAL	4.1	2.8	8.8	20.9	12.6	17.9	32.8	0.1	100.0
(SEX)										(SEX)									
MALE	0.6	0.0	0.6	2.5	3.4	1.1	90.7	1.0	100.0	MALE	2.6	2.7	8.6	22.6	12.6	19.6	31.0	0.1	100.0
FEMA	4.3	0.0	0.0	3.1	1.6	1.0	89.9	0.0	100.0	FEMA	5.9	3.0	9.1	18.8	12.5	15.7	34.9	0.1	100.0
(AGE)										(AGE)									
-29	0.1	0.0	1.0	0.0	8.4	0.2	90.2	0.0	100.0	-29	1.0	3.8	20.2	23.9	9.1	23.3	18.7	0.0	100.0
30-	3.2	0.0	0.1	0.0	3.4	1.0	92.3	0.0	100.0	30-	5.4	3.1	3.6	13.4	12.2	21.9	40.0	0.4	100.0
40-	0.0	0.0	0.7	1.3	0.0	1.6	96.4	0.0	100.0	40-	0.3	0.4	8.1	35.3	8.4	21.3	25.9	0.2	100.0
50-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.1	93.1	0.4	100.0	50-	1.7	1.3	9.7	22.9	8.7	12.8	42.9	0.0	100.0
60	7.8	0.0	0.1	7.6	0.7	1.5	80.0	2.4	100.0	60	11.9	5.5	2.7	9.5	24.1	10.3	36.1	0.0	100.0
(GENERATION)										(GENERATION)									
1	6.7	0.0	0.1	0.2	0.1	1.0	89.3	2.6	100.0	1	9.5	3.7	1.3	9.8	27.1	6.8	42.0	0.0	100.0
2	0.7	0.0	0.7	5.8	1.3	1.2	90.3	0.0	100.0	2	2.9	1.1	11.4	24.0	7.3	20.5	32.7	0.2	100.0
3	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	81.0	0.3	100.0	3	2.9	5.0	9.3	22.7	12.2	29.8	27.2	0.0	100.0
DK	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	90.5	0.0	100.0	DK	0.0	0.0	11.4	30.4	0.0	0.0	50.5	7.8	100.0
(JSCALE)										(JSCALE)									
LOW	3.1	0.0	0.0	0.7	2.4	1.3	92.2	0.3	100.0	LOW	3.5	1.6	6.7	18.4	10.9	28.7	30.0	0.1	100.0
ML	0.0	0.0	1.1	6.4	4.8	1.4	86.3	0.0	100.0	ML	3.6	3.8	12.3	27.9	10.7	12.9	28.5	0.2	100.0
MH	0.0	0.0	0.0	2.0	0.9	0.9	93.9	2.2	100.0	MH	1.7	2.2	11.4	22.6	10.1	17.5	34.5	0.0	100.0
HIGH	10.0	0.0	0.1	0.3	0.0	0.0	89.7	0.0	100.0	HIGH	10.9	4.4	0.5	6.2	26.0	4.4	47.6	0.0	100.0
(Q 19 B)										(Q 19 D)									
1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL		1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL	
TOTAL	2.5	0.2	0.2	2.1	3.5	12.6	78.9	0.0	100.0	TOTAL	1.9	1.3	1.2	8.1	9.4	18.3	59.8	0.0	100.0
(SEX)										(SEX)									
MALE	1.1	0.2	0.4	1.8	4.9	13.3	78.4	0.0	100.0	MALE	0.3	0.9	0.4	10.2	8.8	17.8	61.5	0.0	100.0
FEMA	4.3	0.1	0.0	2.4	1.9	11.8	79.5	0.0	100.0	FEMA	3.9	1.7	2.2	5.5	10.1	18.9	57.7	0.0	100.0
(AGE)										(AGE)									
-29	0.0	0.0	1.0	3.0	7.0	18.4	70.5	0.0	100.0	-29	0.9	1.8	0.0	3.7	11.3	42.1	40.3	0.0	100.0
30-	3.2	0.0	0.0	0.5	5.4	16.9	74.0	0.0	100.0	30-	0.4	0.9	0.7	3.2	14.8	16.4	63.5	0.0	100.0
40-	0.0	0.7	0.0	2.6	3.4	7.8	85.5	0.0	100.0	40-	0.0	0.2	4.3	5.5	9.6	15.8	64.6	0.0	100.0
50-	0.0	0.0	0.0	2.9	0.7	10.7	85.7	0.0	100.0	50-	0.0	2.3	0.0	16.0	2.4	9.2	70.1	0.0	100.0
60	9.0	0.2	0.0	1.3	1.2	9.3	79.0	0.0	100.0	60	8.1	1.2	1.2	12.0	8.6	8.2	60.7	0.0	100.0
(GENERATION)										(GENERATION)									
1	9.6	0.3	0.0	0.3	1.9	8.7	79.3	0.0	100.0	1	6.6	1.5	0.7	6.5	5.2	9.2	70.4	0.0	100.0
2	0.0	0.3	0.4	2.8	1.3	10.9	84.3	0.0	100.0	2	0.4	1.1	0.8	11.9	9.6	15.3	60.9	0.0	100.0
3	2.0	0.0	0.0	2.0	7.6	17.4	70.9	0.0	100.0	3	1.5	1.4	2.2	3.4	11.3	28.2	51.9	0.0	100.0
DK	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	12.1	78.4	0.0	100.0	DK	0.0	0.0	0.0	7.9	13.8	0.0	78.3	0.0	100.0
(JSCALE)										(JSCALE)									
LOW	2.0	0.0	0.0	1.9	4.8	8.7	82.6	0.0	100.0	LOW	0.8	1.1	2.5	2.8	3.7	23.9	65.3	0.0	100.0
ML	0.0	0.4	0.6	2.4	3.1	19.0	74.5	0.0	100.0	ML	0.0	0.7	0.9	15.9	14.8	23.1	44.7	0.0	100.0
MH	2.6	0.0	0.0	2.6	4.0	9.8	80.9	0.0	100.0	MH	0.0	3.1	0.6	6.6	14.0	10.8	65.0	0.0	100.0
HIGH	9.7	0.4	0.0	0.4	0.7	11.0	77.8	0.0	100.0	HIGH	12.8	0.0	0.0	3.8	1.8	5.2	76.3	0.0	100.0

(Q 19 E)								
1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	1.7	0.6	0.2	1.6	1.4	7.4	86.8	0.2 100.0
(SEX)								
MALE	0.7	0.2	0.3	1.5	1.2	8.1	88.1	0.0 100.0
FEMA	3.0	1.0	0.1	1.8	1.7	6.5	85.2	0.5 100.0
(AGE)								
-29	0.0	0.5	0.0	1.5	0.4	6.0	91.6	0.0 100.0
30-	0.5	0.0	0.3	0.9	1.2	12.9	84.2	0.0 100.0
40-	0.0	0.1	0.7	1.6	2.0	10.8	84.8	0.0 100.0
50-	0.0	2.3	0.0	1.6	1.5	4.0	90.7	0.0 100.0
60	8.0	0.0	0.1	2.6	1.9	3.4	82.9	1.2 100.0
(GENERATION)								
1	7.0	0.6	0.1	4.4	1.4	3.2	82.2	1.3 100.0
2	0.7	1.0	0.3	1.1	2.1	7.8	87.1	0.0 100.0
3	0.3	0.0	0.2	0.8	0.3	9.3	89.2	0.0 100.0
DK	0.0	0.0	0.0	0.0	11.4	13.8	74.8	0.0 100.0
(JSSCALE)								
LOW	1.3	0.1	0.0	1.2	1.9	5.2	90.4	0.0 100.0
ML	0.1	0.0	0.5	1.6	1.4	11.7	84.8	0.0 100.0
MH	0.0	2.0	0.0	0.3	1.1	7.1	88.4	1.1 100.0
HIGH	10.3	0.8	0.1	5.0	1.0	2.5	80.3	0.0 100.0

(Q 19 F)								
1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	5.9	3.7	5.4	10.9	9.4	12.9	51.9	0.0 100.0
(SEX)								
MALE	7.4	4.9	4.5	12.3	8.8	13.4	48.6	0.0 100.0
FEMA	4.0	2.2	6.5	9.1	10.0	12.2	55.9	0.0 100.0
(AGE)								
-29	4.7	6.4	4.5	20.4	12.2	16.3	35.4	0.0 100.0
30-	2.0	2.2	8.5	9.8	11.4	20.3	45.7	0.0 100.0
40-	2.7	0.2	5.9	15.9	11.7	7.8	55.8	0.0 100.0
50-	0.3	5.6	2.4	5.2	4.5	12.6	69.4	0.0 100.0
60	19.2	4.1	5.5	3.4	6.9	7.4	53.2	0.1 100.0
(GENERATION)								
1	22.2	5.3	6.7	5.8	7.0	4.6	48.3	0.1 100.0
2	1.1	2.0	4.6	10.0	8.5	13.3	60.5	0.0 100.0
3	3.3	5.4	5.9	15.2	12.1	17.3	40.9	0.0 100.0
DK	11.4	0.0	0.0	4.3	9.5	0.0	74.8	0.0 100.0
(JSSCALE)								
LOW	3.0	4.3	4.7	14.4	11.3	9.4	52.8	0.0 100.0
ML	2.4	1.5	6.1	9.9	6.8	18.0	55.3	0.0 100.0
MH	0.4	6.4	7.0	11.0	11.2	13.9	50.1	0.1 100.0
HIGH	31.4	3.5	2.4	4.4	8.0	6.6	43.8	0.0 100.0

(Q 19 G)								
1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	14.2	10.5	8.5	15.5	12.8	12.2	24.2	2.2 100.0
(SEX)								
MALE	14.8	14.6	11.8	14.5	11.2	8.8	22.5	1.8 100.0
FEMA	13.4	5.5	4.4	16.7	14.8	16.3	26.2	2.7 100.0
(AGE)								
-29	12.8	4.3	9.6	14.7	25.1	26.6	6.9	0.0 100.0
30-	7.4	8.2	5.9	21.3	15.9	11.2	30.2	0.0 100.0
40-	27.9	11.3	6.8	17.8	4.9	10.5	20.8	0.0 100.0
50-	9.1	9.8	17.8	13.4	6.2	6.6	36.4	0.7 100.0
60	13.8	18.5	2.7	10.1	11.8	6.2	26.6	10.2 100.0
(GENERATION)								
1	11.7	19.0	11.9	8.1	7.1	7.1	29.0	6.1 100.0
2	17.2	11.1	6.6	13.7	10.4	13.1	26.4	1.3 100.0
3	10.6	4.5	9.4	22.0	19.9	13.9	18.6	1.2 100.0
DK	45.2	12.2	0.0	33.1	0.0	9.5	0.0	0.0 100.0
(JSSCALE)								
LOW	21.7	9.3	6.1	16.9	17.1	13.1	15.8	0.0 100.0
ML	4.7	9.1	7.9	14.9	15.6	17.0	28.0	2.7 100.0
MH	16.1	6.8	9.4	18.9	8.1	6.7	31.7	2.5 100.0
HIGH	16.5	23.3	14.3	7.3	3.2	7.3	22.3	5.9 100.0

(Q 20)								
1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	63.5	17.7	11.0	6.1	1.8	0.0	0.0	100.0
(SEX)								
MALE	65.3	16.5	10.7	5.8	1.6	0.0	0.0	100.0
FEMA	61.1	19.1	11.3	6.4	2.0	0.0	0.0	100.0
(AGE)								
-29	40.5	31.2	21.4	5.9	1.0	0.0	0.0	100.0
30-	51.2	13.8	19.6	12.3	3.1	0.1	0.0	100.0
40-	66.5	17.6	7.5	7.8	0.5	0.0	0.0	100.0
50-	75.9	15.5	4.3	0.6	3.8	0.0	0.0	100.0
60	82.8	10.6	2.1	3.8	0.6	0.0	0.0	100.0
(GENERATION)								
1	70.5	19.3	3.4	4.2	2.5	0.0	0.0	100.0
2	74.2	15.0	5.6	4.3	0.8	0.0	0.0	100.0
3	43.1	21.0	23.4	9.9	2.5	0.1	0.0	100.0
DK	84.3	0.0	0.0	0.0	15.7	0.0	0.0	100.0
(JSSCALE)								
LOW	48.0	19.0	16.8	15.1	1.1	0.1	0.0	100.0
ML	72.8	15.5	7.8	0.7	3.3	0.0	0.0	100.0
MH	69.9	15.8	12.7	1.3	0.3	0.0	0.0	100.0
HIGH	66.5	23.5	1.6	6.1	2.3	0.0	0.0	100.0

(Q 21)	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	67.3	15.7	11.3	0.8	4.8	100.0
(SEX)						
MALE	62.5	16.5	14.8	1.4	4.8	100.0
FEMA	73.3	14.7	7.0	0.2	4.8	100.0
(AGE)						
-29	72.2	9.5	11.5	0.0	6.9	100.0
30-	73.7	12.5	12.5	1.3	0.0	100.0
40-	69.5	20.9	9.5	0.0	0.0	100.0
50-	57.9	24.6	11.9	0.4	5.2	100.0
60	63.4	11.1	11.0	2.5	12.0	100.0
(GENERATION)						
1	60.1	10.1	21.8	0.0	7.9	100.0
2	68.8	20.3	5.8	1.2	3.9	100.0
3	70.5	11.2	13.1	0.8	4.5	100.0
DK	7.9	71.2	20.9	0.0	0.0	100.0
(JSKALE)						
LOW	75.6	14.8	4.8	0.0	4.7	100.0
ML	69.7	16.0	10.0	1.0	3.3	100.0
MH	56.9	22.6	13.7	2.4	4.4	100.0
HIGH	58.7	5.1	26.4	0.0	9.8	100.0
(Q 22)	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	23.1	59.9	13.7	2.3	1.0	100.0
(SEX)						
MALE	23.9	59.7	14.9	0.4	1.1	100.0
FEMA	22.1	60.1	12.3	4.7	0.9	100.0
(AGE)						
-29	2.2	85.1	11.5	1.1	0.0	100.0
30-	27.3	64.5	7.9	0.2	0.0	100.0
40-	12.3	73.9	13.8	0.0	0.0	100.0
50-	39.6	51.0	6.4	2.5	0.4	100.0
60	33.7	25.9	28.5	7.5	4.5	100.0
(GENERATION)						
1	33.2	34.1	24.7	8.0	0.0	100.0
2	24.3	63.5	9.2	1.1	1.9	100.0
3	15.3	69.5	14.3	0.7	0.3	100.0
DK	33.9	66.1	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSKALE)						
LOW	18.1	66.3	15.0	0.4	0.3	100.0
ML	22.3	69.5	6.0	0.6	1.5	100.0
MH	27.9	55.7	12.5	2.0	1.8	100.0
HIGH	29.2	26.5	32.5	11.9	0.0	100.0
(Q 23)	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	21.1	69.3	9.4	0.1	100.0	
(SEX)						
MALE	30.5	62.8	6.4	0.2	100.0	
FEMA	9.5	77.4	13.0	0.0	100.0	
(AGE)						
-29	19.6	69.7	10.1	0.7	100.0	
30-	7.3	71.7	21.0	0.0	100.0	
40-	24.9	70.0	5.1	0.0	100.0	
50-	28.2	67.6	6.3	0.0	100.0	
60	27.7	67.8	4.5	0.1	100.0	
(GENERATION)						
1	23.2	73.4	3.4	0.1	100.0	
2	25.2	66.9	7.9	0.0	100.0	
3	14.1	70.4	15.1	0.4	100.0	
DK	13.8	78.3	7.9	0.0	100.0	
(JSKALE)						
LOW	25.0	67.4	7.6	0.0	100.0	
ML	19.8	68.2	11.6	0.4	100.0	
MH	16.1	71.9	12.0	0.1	100.0	
HIGH	23.7	72.7	3.7	0.0	100.0	
(Q 24)	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	38.4	51.3	6.7	1.8	1.8	100.0
(SEX)						
MALE	35.0	52.7	8.7	1.6	1.9	100.0
FEMA	42.6	49.4	4.3	2.1	1.6	100.0
(AGE)						
-29	26.2	63.1	10.2	0.5	0.0	100.0
30-	32.3	55.0	7.9	4.6	0.2	100.0
40-	34.4	62.9	2.4	0.0	0.3	100.0
50-	56.7	33.2	6.3	0.0	3.8	100.0
60	42.5	42.2	6.8	3.9	4.6	100.0
(GENERATION)						
1	39.5	51.1	5.8	2.4	1.3	100.0
2	39.1	51.1	5.5	1.1	3.2	100.0
3	37.1	51.1	9.2	2.6	0.0	100.0
DK	20.9	79.1	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSKALE)						
LOW	37.5	53.2	6.7	1.8	0.8	100.0
ML	38.9	52.0	4.8	1.1	3.3	100.0
MH	38.5	47.9	9.4	2.3	1.9	100.0
HIGH	39.4	50.2	7.0	3.0	0.4	100.0

(Q 25)					
	1	2	3	4	5 TOTAL
TOTAL	42.8	35.3	19.7	0.7	1.5 100.0
(SEX)					
MALE	40.1	35.9	21.9	0.5	1.6 100.0
FEMA	46.2	34.6	17.0	0.8	1.3 100.0
(AGE)					
-29	75.0	16.4	8.3	0.3	0.0 100.0
30-	48.9	29.6	20.0	1.5	0.0 100.0
40-	55.1	27.4	16.1	1.1	0.3 100.0
50-	20.9	55.0	23.3	0.4	0.4 100.0
60	14.7	48.1	30.7	0.0	6.5 100.0
(GENERATION)					
1	18.7	34.0	39.8	0.3	7.1 100.0
2	39.2	42.7	16.7	1.2	0.2 100.0
3	62.3	25.4	12.3	0.0	0.0 100.0
DK	28.8	30.4	33.1	0.0	7.8 100.0
(JSCALE)					
LOW	59.2	30.8	9.1	0.7	0.1 100.0
ML	45.9	35.8	18.0	0.0	0.2 100.0
MH	32.4	43.9	20.8	2.0	0.9 100.0
HIGH	12.2	30.4	48.7	0.0	8.8 100.0

(Q 26)					
	1	2	3	4	5 TOTAL
TOTAL	52.7	32.8	9.6	1.6	3.3 100.0
(SEX)					
MALE	53.6	30.7	10.9	1.5	3.4 100.0
FEMA	51.6	35.4	8.1	1.7	3.2 100.0
(AGE)					
-29	53.0	36.8	6.6	1.6	2.0 100.0
30-	51.4	40.1	4.7	1.5	2.3 100.0
40-	45.1	47.4	6.8	0.0	0.7 100.0
50-	68.3	23.0	3.0	2.3	3.5 100.0
60	46.0	17.2	26.5	2.5	7.9 100.0
(GENERATION)					
1	53.5	16.6	25.4	0.0	4.5 100.0
2	52.4	35.1	5.4	2.6	4.5 100.0
3	52.8	38.8	6.5	1.0	0.9 100.0
DK	43.3	37.4	19.3	0.0	0.0 100.0
(JSCALE)					
LOW	47.5	48.2	2.1	1.0	1.2 100.0
ML	60.4	27.0	6.6	0.0	6.1 100.0
MH	46.3	31.2	14.1	5.6	2.8 100.0
HIGH	56.8	12.6	28.1	0.0	2.5 100.0

(Q 27)					
	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	76.7	22.0	1.2	0.2	100.0
(SEX)					
MALE	74.1	24.7	1.2	0.0	100.0
FEMA	79.9	18.6	1.1	0.4	100.0
(AGE)					
-29	74.4	23.6	2.0	0.0	100.0
30-	75.5	22.8	1.7	0.0	100.0
40-	56.8	42.4	0.7	0.0	100.0
50-	83.8	14.8	1.4	0.0	100.0
60	92.5	6.5	0.1	0.8	100.0
(GENERATION)					
1	90.5	8.5	0.1	0.9	100.0
2	72.0	26.8	1.3	0.0	100.0
3	76.4	21.9	1.7	0.0	100.0
DK	29.5	70.5	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	66.3	33.3	0.4	0.0	100.0
ML	78.3	19.1	2.6	0.0	100.0
MH	77.0	21.4	0.9	0.7	100.0
HIGH	97.8	2.2	0.0	0.0	100.0

(Q 28)					
	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	42.8	22.9	33.5	0.8	100.0
(SEX)					
MALE	51.5	17.4	30.5	0.6	100.0
FEMA	32.1	29.6	37.1	1.2	100.0
(AGE)					
-29	11.6	34.4	51.9	2.1	100.0
30-	33.0	18.5	47.7	0.8	100.0
40-	54.9	16.1	28.7	0.3	100.0
50-	52.7	27.7	18.7	0.8	100.0
60	61.5	17.8	20.4	0.2	100.0
(GENERATION)					
1	56.8	23.9	18.6	0.6	100.0
2	50.7	19.0	29.7	0.6	100.0
3	22.5	28.0	48.1	1.4	100.0
DK	80.7	11.4	7.9	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	34.6	18.3	45.6	1.5	100.0
ML	41.5	30.1	27.9	0.5	100.0
MH	50.0	8.2	41.0	0.8	100.0
HIGH	54.4	40.9	4.7	0.0	100.0

(Q 29)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	10.9	21.5	67.0	0.6	100.0
(SEX)					
MALE	9.9	25.0	64.1	0.9	100.0
FEMA	12.2	17.2	70.5	0.2	100.0
(AGE)					
-29	1.3	25.4	73.3	0.0	100.0
30-	9.2	27.4	63.4	0.0	100.0
40-	1.5	21.0	77.5	0.0	100.0
50-	6.9	14.6	78.2	0.4	100.0
60	35.2	19.1	43.3	2.5	100.0
(GENERATION)					
1	28.1	25.5	43.7	2.7	100.0
2	6.5	16.7	76.7	0.2	100.0
3	7.3	26.5	66.2	0.0	100.0
DK	26.1	4.3	69.6	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	8.1	20.1	71.7	0.0	100.0
ML	4.2	25.0	70.8	0.0	100.0
MH	11.0	18.7	67.7	2.6	100.0
HIGH	35.2	20.8	44.0	0.0	100.0
(Q 30)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	79.9	7.6	8.9	3.6	100.0
(SEX)					
MALE	77.7	8.3	9.7	4.3	100.0
FEMA	82.7	6.7	8.0	2.6	100.0
(AGE)					
-29	80.5	4.5	8.4	6.7	100.0
30-	82.6	4.0	9.9	3.5	100.0
40-	86.3	7.2	6.0	0.5	100.0
50-	89.8	5.1	4.8	0.3	100.0
60	61.0	16.8	15.4	6.8	100.0
(GENERATION)					
1	64.5	15.4	14.4	5.6	100.0
2	86.0	6.1	5.6	2.3	100.0
3	79.6	5.3	10.9	4.3	100.0
DK	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	80.4	5.6	8.6	5.4	100.0
ML	87.7	3.7	6.1	2.5	100.0
MH	78.8	11.2	8.9	1.1	100.0
HIGH	60.7	16.1	17.3	5.9	100.0
(Q 31)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	69.6	22.7	4.9	2.8	100.0
(SEX)					
MALE	65.2	29.5	3.9	1.4	100.0
FEMA	75.0	14.3	6.2	4.5	100.0
(AGE)					
-29	75.7	15.0	7.4	1.9	100.0
30-	78.9	16.1	3.8	1.2	100.0
40-	58.9	34.6	4.6	2.0	100.0
50-	74.8	20.3	2.7	2.2	100.0
60	59.7	27.5	6.1	6.6	100.0
(GENERATION)					
1	52.4	31.1	9.5	7.0	100.0
2	71.3	24.3	2.5	1.9	100.0
3	77.1	15.2	5.9	1.7	100.0
DK	64.4	35.6	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	71.0	24.6	3.3	1.2	100.0
ML	73.1	19.6	4.7	2.6	100.0
MH	72.1	21.1	4.4	2.4	100.0
HIGH	52.7	28.9	10.5	7.9	100.0
(Q 32)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	76.1	18.6	2.9	2.4	100.0
(SEX)					
MALE	73.2	22.2	2.9	1.7	100.0
FEMA	79.6	14.1	3.0	3.4	100.0
(AGE)					
-29	76.6	16.4	5.2	1.7	100.0
30-	80.1	14.7	3.8	1.5	100.0
40-	66.5	28.4	3.5	1.5	100.0
50-	79.0	17.2	2.3	1.5	100.0
60	78.0	16.2	0.0	5.8	100.0
(GENERATION)					
1	70.3	22.9	1.3	5.6	100.0
2	79.1	17.1	2.2	1.6	100.0
3	75.1	17.9	5.1	1.8	100.0
DK	64.4	35.6	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	70.4	25.7	2.4	1.5	100.0
ML	78.4	15.2	4.3	2.1	100.0
MH	78.6	15.3	3.5	2.6	100.0
HIGH	79.7	14.9	0.0	5.5	100.0

(Q 33)	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	44.9	14.4	33.6	5.7	1.5	100.0
(SEX)						
MALE	49.2	16.1	26.8	6.2	1.7	100.0
FEMA	39.6	12.2	42.0	5.1	1.2	100.0
(AGE)						
-29	49.5	8.6	25.9	15.6	0.5	100.0
30-	22.6	18.4	50.2	7.5	1.2	100.0
40-	44.2	5.8	43.8	5.2	1.0	100.0
50-	56.5	9.5	33.8	0.2	0.0	100.0
60	51.7	28.9	14.6	0.2	4.6	100.0
(GENERATION)						
1	51.3	27.2	16.4	1.7	3.4	100.0
2	49.5	8.7	37.9	2.3	1.5	100.0
3	34.8	15.3	36.6	13.1	0.3	100.0
DK	15.7	9.5	74.8	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)						
LOW	33.4	11.9	42.9	10.2	1.7	100.0
ML	53.6	9.2	31.1	5.8	0.4	100.0
MH	40.6	15.3	38.6	1.9	3.5	100.0
HIGH	58.4	31.9	8.6	0.8	0.3	100.0

(Q 34)	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	17.6	49.7	26.5	1.8	4.3	100.0
(SEX)						
MALE	18.9	45.0	26.2	2.4	7.5	100.0
FEMA	16.1	55.6	27.0	1.0	0.3	100.0
(AGE)						
-29	12.3	60.6	24.3	2.7	0.0	100.0
30-	23.7	50.2	25.1	0.5	0.6	100.0
40-	14.7	60.3	23.6	0.8	0.6	100.0
50-	13.9	35.8	28.3	3.5	18.5	100.0
60	23.2	42.0	31.4	1.4	2.1	100.0
(GENERATION)						
1	22.4	38.2	36.2	2.5	0.7	100.0
2	17.1	46.9	25.9	1.5	8.5	100.0
3	15.4	60.2	22.4	1.8	0.4	100.0
DK	26.1	73.9	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)						
LOW	12.3	64.2	20.7	1.7	1.2	100.0
ML	15.1	49.8	22.7	0.6	11.8	100.0
MH	28.4	33.5	34.4	3.5	0.2	100.0
HIGH	18.7	41.7	37.5	2.2	0.0	100.0

(Q 35)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	82.3	42.4	33.6	32.5	190.8
(SEX)					
MALE	79.5	47.9	30.0	29.1	186.6
FEMA	85.7	35.7	38.0	36.7	196.1
(AGE)					
-29	74.7	26.9	49.7	48.4	199.7
30-	83.5	25.4	45.8	43.4	198.2
40-	86.5	44.7	28.6	39.7	199.5
50-	81.0	46.5	25.1	19.2	171.8
60	85.5	68.3	18.8	12.3	185.0
(GENERATION)					
1	77.7	65.9	18.1	12.1	173.7
2	88.4	41.7	28.2	34.1	192.4
3	75.6	29.2	50.9	42.6	198.3
DK	100.0	84.3	11.4	4.3	200.0
(JSCALE)					
LOW	80.4	32.7	41.1	43.3	197.5
ML	85.6	41.2	38.3	32.6	197.7
MH	84.0	46.1	25.1	30.2	185.4
HIGH	75.7	63.6	17.4	9.4	166.1

(Q 36)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	69.5	14.9	10.0	5.6	100.0
(SEX)					
MALE	66.1	16.4	8.9	8.6	100.0
FEMA	73.7	13.0	11.5	1.8	100.0
(AGE)					
-29	80.9	6.5	12.6	0.0	100.0
30-	63.9	21.1	10.9	4.1	100.0
40-	77.8	7.2	12.9	2.2	100.0
50-	58.8	21.3	5.8	14.1	100.0
60	66.3	18.1	8.1	7.5	100.0
(GENERATION)					
1	70.2	12.3	9.8	7.6	100.0
2	66.2	16.4	8.8	8.6	100.0
3	74.2	14.1	11.5	0.1	100.0
DK	53.9	12.1	34.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	82.2	12.4	3.3	2.1	100.0
ML	64.5	11.7	13.3	10.5	100.0
MH	57.4	21.6	15.7	5.2	100.0
HIGH	71.8	17.1	8.6	2.4	100.0

(Q 37)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	21.3	67.0	5.5	6.3	100.0
(SEX)					
MALE	17.1	71.9	2.2	8.9	100.0
FEMA	26.5	60.8	9.6	3.1	100.0
(AGE)					
-29	24.1	61.9	13.9	0.0	100.0
30-	12.1	74.7	9.2	3.9	100.0
40-	18.0	76.5	3.3	2.2	100.0
50-	25.2	58.8	1.2	14.8	100.0
60	26.8	62.7	0.0	10.4	100.0
(GENERATION)					
1	18.8	74.9	1.9	4.4	100.0
2	23.6	60.7	6.5	9.1	100.0
3	19.2	71.5	6.2	3.2	100.0
DK	25.2	67.0	0.0	7.8	100.0
(JSKALE)					
LOW	18.2	72.9	5.3	3.7	100.0
ML	25.2	55.1	7.9	11.7	100.0
MH	20.8	70.5	5.4	3.3	100.0
HIGH	19.5	76.5	0.0	4.0	100.0

(Q 39)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	50.3	42.3	4.0	3.4	100.0
(SEX)					
MALE	50.8	43.4	2.4	3.3	100.0
FEMA	49.6	40.8	6.1	3.6	100.0
(AGE)					
-29	50.3	40.8	7.3	1.7	100.0
30-	58.0	38.7	1.2	2.2	100.0
40-	54.0	35.2	9.6	1.2	100.0
50-	46.9	48.1	2.2	2.8	100.0
60	42.4	48.5	0.0	9.1	100.0
(GENERATION)					
1	56.1	38.4	2.6	2.9	100.0
2	42.8	46.7	4.9	5.6	100.0
3	57.7	37.9	3.0	0.7	100.0
DK	56.7	43.3	0.0	0.0	100.0
(JSKALE)					
LOW	49.3	42.9	5.4	2.4	100.0
ML	47.1	42.6	5.2	5.1	100.0
MH	56.9	37.6	2.5	3.0	100.0
HIGH	49.2	47.9	0.2	2.7	100.0

(Q 38)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	75.6	16.2	7.2	1.1	100.0
(SEX)					
MALE	76.8	16.5	5.3	1.5	100.0
FEMA	74.1	15.8	9.5	0.6	100.0
(AGE)					
-29	58.6	22.6	16.9	1.9	100.0
30-	74.6	15.2	9.4	0.7	100.0
40-	85.7	4.7	9.7	0.0	100.0
50-	85.0	15.0	0.0	0.0	100.0
60	73.9	23.2	0.0	2.8	100.0
(GENERATION)					
1	83.7	14.3	0.5	1.4	100.0
2	76.4	14.2	8.2	1.1	100.0
3	69.5	20.1	9.6	0.8	100.0
DK	73.9	26.1	0.0	0.0	100.0
(JSKALE)					
LOW	70.6	17.0	11.3	1.1	100.0
ML	76.2	13.7	8.6	1.4	100.0
MH	80.1	16.9	3.0	0.0	100.0
HIGH	78.1	19.3	0.5	2.0	100.0

(Q 40)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	24.7	67.5	3.2	4.5	100.0
(SEX)					
MALE	24.0	67.5	2.5	6.0	100.0
FEMA	25.6	67.6	4.1	2.7	100.0
(AGE)					
-29	30.3	62.5	6.9	0.2	100.0
30-	38.4	56.9	4.1	0.6	100.0
40-	22.9	71.0	5.1	1.0	100.0
50-	17.2	66.8	0.0	16.0	100.0
60	14.9	80.3	0.0	4.8	100.0
(GENERATION)					
1	15.5	80.3	0.3	3.9	100.0
2	22.6	68.0	1.6	7.8	100.0
3	33.3	59.3	7.4	0.0	100.0
DK	20.9	79.1	0.0	0.0	100.0
(JSKALE)					
LOW	28.7	67.5	2.3	1.6	100.0
ML	26.5	57.2	6.9	9.4	100.0
MH	26.2	70.5	1.0	2.3	100.0
HIGH	8.0	89.1	0.0	2.9	100.0

(Q 41)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 40.9 50.5 5.6 3.0 100.0
 (SEX)
 MALE 43.7 45.6 6.5 4.2 100.0
 FEMALE 37.5 56.5 4.4 1.6 100.0
 (AGE)
 -29 35.8 57.0 7.2 0.0 100.0
 30- 29.4 66.4 4.1 0.1 100.0
 40- 37.6 58.4 3.9 0.1 100.0
 50- 63.6 22.9 10.0 3.5 100.0
 60 38.4 47.5 2.8 11.3 100.0
 (GENERATION)
 1 38.6 41.0 13.9 6.5 100.0
 2 51.0 43.0 2.3 3.7 100.0
 3 27.7 66.6 5.6 0.1 100.0
 DK 25.2 74.8 0.0 0.0 100.0
 (JS SCALE)
 LOW 38.8 59.1 0.3 1.8 100.0
 ML 42.5 47.4 6.8 3.3 100.0
 MH 49.0 43.5 6.5 1.1 100.0
 HIGH 28.0 49.1 14.1 8.8 100.0

(Q 43)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 6.1 90.7 2.8 0.3 100.0
 (SEX)
 MALE 5.8 90.0 3.7 0.6 100.0
 FEMALE 6.5 91.7 1.8 0.0 100.0
 (AGE)
 -29 4.9 91.0 4.0 0.0 100.0
 30- 3.9 92.7 3.4 0.0 100.0
 40- 4.1 93.5 2.4 0.0 100.0
 50- 6.5 92.5 1.0 0.0 100.0
 60 11.0 84.2 3.2 1.6 100.0
 (GENERATION)
 1 16.1 80.0 3.9 0.0 100.0
 2 2.7 94.2 2.5 0.7 100.0
 3 5.2 92.0 2.8 0.0 100.0
 DK 13.8 86.2 0.0 0.0 100.0
 (JS SCALE)
 LOW 4.0 94.5 0.5 1.0 100.0
 ML 3.7 92.9 3.4 0.0 100.0
 MH 7.6 86.4 6.0 0.0 100.0
 HIGH 15.3 83.3 1.4 0.0 100.0

(Q 42)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 57.6 35.8 2.9 3.6 100.0
 (SEX)
 MALE 54.7 39.9 2.8 2.7 100.0
 FEMALE 61.3 30.9 3.0 4.9 100.0
 (AGE)
 -29 65.7 24.3 3.7 6.2 100.0
 30- 77.3 17.1 3.5 2.2 100.0
 40- 66.8 30.7 2.4 0.2 100.0
 50- 29.9 65.3 0.2 4.6 100.0
 60 48.3 42.1 4.5 5.1 100.0
 (GENERATION)
 1 44.1 49.1 2.5 4.3 100.0
 2 51.6 43.0 2.3 3.1 100.0
 3 74.5 17.4 4.0 4.1 100.0
 DK 48.7 51.3 0.0 0.0 100.0
 (JS SCALE)
 LOW 66.2 26.0 2.4 5.4 100.0
 ML 57.4 37.5 2.7 2.4 100.0
 MH 53.3 40.2 4.2 2.2 100.0
 HIGH 44.3 48.4 2.4 4.9 100.0

(Q 44)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 45.5 38.3 8.5 7.7 100.0
 (SEX)
 MALE 54.0 32.8 7.0 6.2 100.0
 FEMALE 35.1 45.0 10.4 9.5 100.0
 (AGE)
 -29 53.6 38.8 4.1 3.4 100.0
 30- 43.7 42.6 13.5 0.2 100.0
 40- 47.7 45.3 4.0 3.0 100.0
 50- 46.2 28.4 8.7 16.7 100.0
 60 36.7 36.1 12.2 15.0 100.0
 (GENERATION)
 1 43.4 39.2 8.2 9.3 100.0
 2 46.3 33.3 9.3 11.1 100.0
 3 45.6 44.9 7.6 1.9 100.0
 DK 50.5 41.8 7.8 0.0 100.0
 (JS SCALE)
 LOW 48.9 39.8 9.3 2.0 100.0
 ML 39.9 38.9 10.6 10.6 100.0
 MH 51.8 30.7 9.0 8.4 100.0
 HIGH 40.7 45.8 0.6 13.0 100.0

(Q 45)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 75.3 23.0 1.2 0.0 0.4 100.0
 (SEX)
 MALE 78.7 20.1 0.6 0.0 0.6 100.0
 FEMA 71.1 26.7 2.0 0.0 0.2 100.0
 (AGE)
 -29 83.9 16.1 0.0 0.0 0.0 100.0
 30- 66.4 33.2 0.4 0.1 0.0 100.0
 40- 78.7 18.8 1.5 0.0 0.0 100.0
 50- 80.1 18.6 0.8 0.0 0.4 100.0
 60 67.0 27.9 3.5 0.0 1.6 100.0
 (GENERATION)
 1 72.4 24.1 3.4 0.0 0.1 100.0
 2 76.9 21.2 1.1 0.0 0.8 100.0
 3 74.4 25.3 0.3 0.0 0.0 100.0
 DK 92.2 7.8 0.0 0.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 80.4 18.4 0.3 0.0 1.0 100.0
 ML 75.3 23.5 1.1 0.0 0.0 100.0
 MH 71.2 26.2 2.3 0.0 0.3 100.0
 HIGH 69.9 27.8 2.2 0.0 0.1 100.0

(Q 48)
 1 2 3 TOTAL
 TOTAL 89.4 10.3 0.3 100.0
 (SEX)
 MALE 90.2 9.3 0.6 100.0
 FEMA 88.5 11.5 0.0 100.0
 (AGE)
 -29 92.1 7.9 0.0 100.0
 30- 83.2 16.8 0.0 100.0
 40- 87.4 12.6 0.0 100.0
 50- 92.3 7.7 0.0 100.0
 60 92.0 6.4 1.6 100.0
 (GENERATION)
 1 91.7 8.3 0.0 100.0
 2 87.7 11.7 0.7 100.0
 3 90.6 9.4 0.0 100.0
 DK 88.6 11.4 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 92.3 6.7 1.0 100.0
 ML 88.8 11.2 0.0 100.0
 MH 84.9 15.1 0.0 100.0
 HIGH 91.7 8.3 0.0 100.0

(Q 49)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 91.0 6.0 2.5 0.4 100.0
 (SEX)
 MALE 88.7 8.4 2.2 0.6 100.0
 FEMA 93.9 3.1 2.9 0.1 100.0
 (AGE)
 -29 88.9 10.7 0.4 0.0 100.0
 30- 86.0 8.9 4.8 0.3 100.0
 40- 94.6 4.5 0.7 0.2 100.0
 50- 94.1 3.0 2.9 0.0 100.0
 60 91.6 3.2 3.7 1.6 100.0
 (GENERATION)
 1 91.3 4.2 4.0 0.5 100.0
 2 94.0 3.5 1.8 0.7 100.0
 3 86.6 10.6 2.8 0.0 100.0
 DK 84.3 15.7 0.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 88.1 8.8 2.1 1.0 100.0
 ML 92.8 5.4 1.6 0.2 100.0
 MH 92.5 4.8 2.7 0.0 100.0
 HIGH 91.0 2.8 5.9 0.3 100.0

(Q 50)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 64.6 29.6 2.2 3.6 100.0
 (SEX)
 MALE 61.9 32.1 2.0 4.0 100.0
 FEMA 67.9 26.5 2.5 3.1 100.0
 (AGE)
 -29 61.5 35.6 1.6 1.3 100.0
 30- 47.4 42.7 7.1 2.9 100.0
 40- 69.7 26.8 1.0 2.5 100.0
 50- 72.7 23.1 0.3 3.9 100.0
 60 71.8 19.9 1.0 7.3 100.0
 (GENERATION)
 1 65.0 28.5 1.8 4.7 100.0
 2 73.0 21.4 0.5 5.1 100.0
 3 51.6 42.6 5.0 0.8 100.0
 DK 88.6 11.4 0.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 53.1 42.9 0.6 3.4 100.0
 ML 72.0 21.5 4.1 2.3 100.0
 MH 68.1 22.4 2.8 6.6 100.0
 HIGH 68.0 29.7 0.1 2.1 100.0

(Q 51 A) 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 63.9 23.6 1.3 0.3 10.8 100.0
 (SEX)
 MALE 70.9 19.3 0.7 0.0 9.0 100.0
 FEMA 55.2 28.8 2.0 0.8 13.1 100.0
 (AGE)
 -29 55.6 36.4 3.1 0.0 4.8 100.0
 30- 59.5 34.0 0.4 0.0 6.1 100.0
 40- 72.8 15.6 0.0 0.0 11.6 100.0
 50- 75.7 7.2 1.9 0.0 15.2 100.0
 60 56.3 24.4 1.2 1.7 16.5 100.0
 (GENERATION)
 1 72.0 15.0 1.3 1.8 9.9 100.0
 2 66.8 17.2 0.9 0.0 15.1 100.0
 3 55.8 37.5 1.9 0.0 4.8 100.0
 DK 17.4 48.7 0.0 0.0 33.9 100.0
 (JSCALE)
 LOW 62.2 31.3 2.3 0.0 4.2 100.0
 ML 65.4 20.8 0.9 0.0 12.9 100.0
 MH 59.6 19.4 1.2 1.6 18.2 100.0
 HIGH 71.8 18.8 0.0 0.0 9.3 100.0

(Q 51 B) 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 26.6 40.1 8.4 3.4 21.6 100.0
 (SEX)
 MALE 27.0 45.2 9.4 3.2 15.2 100.0
 FEMA 26.0 33.7 7.1 3.7 29.6 100.0
 (AGE)
 -29 26.8 39.3 8.4 12.3 13.1 100.0
 30- 40.7 41.0 4.3 2.6 11.4 100.0
 40- 21.9 51.5 9.4 2.1 15.0 100.0
 50- 25.9 31.5 11.3 0.0 31.3 100.0
 60 17.5 37.0 8.4 0.0 37.0 100.0
 (GENERATION)
 1 24.8 42.0 11.2 1.1 21.0 100.0
 2 22.7 36.4 9.3 1.6 30.0 100.0
 3 33.6 43.9 5.6 7.5 9.4 100.0
 DK 0.0 66.1 0.0 0.0 33.9 100.0
 (JSCALE)
 LOW 25.1 56.3 6.1 5.8 8.7 100.0
 ML 28.9 27.6 6.7 4.1 32.8 100.0
 MH 23.2 34.2 18.5 0.9 23.2 100.0
 HIGH 30.0 46.8 0.8 0.0 22.4 100.0

(Q 51 C) 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 18.4 39.3 18.1 2.9 21.2 100.0
 (SEX)
 MALE 14.3 50.0 17.6 0.4 17.7 100.0
 FEMA 23.6 28.2 18.6 6.0 25.6 100.0
 (AGE)
 -29 21.5 46.3 18.3 6.4 7.5 100.0
 30- 28.6 36.7 22.3 5.1 7.4 100.0
 40- 20.6 40.0 14.9 1.1 23.5 100.0
 50- 11.2 33.1 16.7 1.9 37.2 100.0
 60 10.5 40.7 18.0 0.3 30.5 100.0
 (GENERATION)
 1 6.6 54.8 17.0 0.3 21.4 100.0
 2 23.1 30.2 16.3 2.1 28.2 100.0
 3 18.7 43.5 21.5 5.6 10.7 100.0
 DK 4.3 53.9 7.9 0.0 33.9 100.0
 (JSCALE)
 LOW 22.8 39.6 18.5 8.0 11.1 100.0
 ML 24.5 32.0 13.3 0.5 29.7 100.0
 MH 12.9 36.4 26.4 1.0 23.3 100.0
 HIGH 1.8 62.5 14.7 0.0 21.0 100.0

(Q 51 D) 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 17.6 35.9 16.4 1.1 29.1 100.0
 (SEX)
 MALE 18.7 40.9 13.2 0.6 26.5 100.0
 FEMA 16.2 29.6 20.4 1.6 32.2 100.0
 (AGE)
 -29 22.7 50.6 18.5 0.5 7.6 100.0
 30- 19.0 45.2 15.0 3.5 17.3 100.0
 40- 16.0 25.3 12.2 0.3 46.1 100.0
 50- 24.7 22.6 21.3 1.1 30.3 100.0
 60 5.9 35.4 15.1 0.0 43.6 100.0
 (GENERATION)
 1 12.8 45.7 14.0 0.0 27.5 100.0
 2 18.0 22.1 19.7 1.5 38.7 100.0
 3 20.1 49.9 13.2 1.1 15.7 100.0
 DK 4.3 53.9 7.9 0.0 33.9 100.0
 (JSCALE)
 LOW 26.1 34.3 12.6 1.4 25.6 100.0
 ML 12.2 34.0 19.7 1.3 32.8 100.0
 MH 18.0 29.6 19.6 1.0 31.7 100.0
 HIGH 9.5 55.2 11.9 0.0 23.4 100.0

(Q 52	1	2	3	4	5	6	TOTAL
TOTAL	38.2	28.0	21.6	5.2	5.1	1.8	100.0
(SEX							
MALE	38.1	29.2	15.9	7.8	7.3	1.6	100.0
FEMA	38.3	26.6	28.6	2.1	2.4	2.1	100.0
(AGE							
-29	31.7	41.9	9.6	8.6	8.2	0.0	100.0
30-	36.7	28.0	28.0	3.8	3.5	0.0	100.0
40-	44.2	35.0	16.4	2.4	2.0	0.0	100.0
50-	30.3	23.7	28.6	11.3	3.3	2.8	100.0
60	47.7	12.0	25.2	0.4	8.4	6.3	100.0
(GENERATION							
1	43.4	15.7	19.5	12.5	7.0	2.0	100.0
2	40.3	25.3	25.1	3.1	3.1	3.1	100.0
3	32.4	38.9	17.4	4.3	7.1	0.0	100.0
DK	19.3	39.9	40.8	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSCALE							
LOW	33.1	34.6	20.2	6.3	4.8	1.0	100.0
ML	37.6	30.9	25.1	2.0	2.7	1.7	100.0
MH	39.9	24.1	21.6	3.4	6.8	4.2	100.0
HIGH	49.2	10.9	15.9	14.3	9.4	0.4	100.0

(AGE	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	19.9	20.1	19.8	19.7	20.4	100.0
(SEX						
MALE	19.8	16.0	20.7	22.3	21.2	100.0
FEMA	19.9	25.2	18.8	16.6	19.5	100.0
(AGE						
-29	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30-	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
40-	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
50-	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
60	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
(GENERATION						
1	0.9	3.0	7.9	17.0	71.2	100.0
2	7.3	13.8	32.0	33.6	13.2	100.0
3	49.6	39.5	8.5	0.9	1.5	100.0
DK	0.0	11.4	40.8	30.4	17.4	100.0
(JSCALE						
LOW	35.4	29.8	26.0	6.7	2.1	100.0
ML	21.2	24.5	16.8	24.5	13.0	100.0
MH	6.5	11.3	25.0	30.3	26.8	100.0
HIGH	0.8	0.0	3.4	21.8	74.0	100.0

(GENERATION	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	19.0	47.8	32.6	0.6	100.0
(SEX					
MALE	23.5	46.1	30.1	0.3	100.0
FEMA	13.4	50.0	35.8	0.9	100.0
(AGE					
-29	0.9	17.7	81.5	0.0	100.0
30-	2.8	32.8	64.0	0.3	100.0
40-	7.6	77.3	13.9	1.2	100.0
50-	16.3	81.4	1.5	0.9	100.0
60	66.1	31.0	2.5	0.5	100.0
(GENERATION					
1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
2	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
3	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
DK	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
(JSCALE					
LOW	0.0	38.1	60.8	1.1	100.0
ML	7.1	62.3	30.5	0.1	100.0
MH	22.7	64.1	12.3	0.9	100.0
HIGH	90.0	6.8	3.1	0.0	100.0

中間回答スケール

日本人スケール

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	23.6	21.8	18.9	14.5	10.3	3.8	0.9	5.3	0.8	100.0
(SEX)										
MALE	19.1	22.0	19.6	12.9	12.0	3.8	0.8	8.3	1.5	100.0
FEMA	29.3	21.5	18.1	16.5	8.3	3.8	1.0	1.5	0.0	100.0
(AGE)										
-29	20.4	16.1	22.9	20.4	6.0	3.1	1.5	9.5	0.0	100.0
30-	18.4	19.6	16.6	17.9	21.3	5.6	0.3	0.3	0.0	100.0
40-	11.6	31.6	33.3	12.5	2.5	6.2	0.8	1.3	0.2	100.0
50-	42.1	18.4	11.2	9.2	15.9	2.1	0.0	0.0	1.0	100.0
60	25.8	23.1	10.7	12.5	6.0	2.2	1.9	15.0	3.0	100.0
(GENERATION)										
1	22.0	20.7	10.1	10.5	10.4	3.1	2.4	17.9	2.8	100.0
2	28.9	26.5	21.1	11.5	9.0	2.2	0.3	0.0	0.6	100.0
3	16.8	15.9	20.9	21.5	12.3	6.2	0.7	5.8	0.0	100.0
DK	33.9	0.0	12.2	0.0	9.5	33.1	11.4	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)										
LOW	19.9	23.0	27.4	9.1	8.4	6.6	0.2	5.4	0.0	100.0
ML	31.2	17.9	19.0	17.8	11.7	1.8	0.4	0.2	0.0	100.0
MH	22.7	28.8	11.5	19.4	9.0	2.2	2.9	1.9	1.6	100.0
HIGH	15.3	16.6	10.5	11.1	13.9	5.0	0.3	24.0	3.7	100.0

義理人情スケール

人情スケール

	0	1	2	3	4	5	TOTAL			
TOTAL	16.6	44.3	27.0	11.3	0.7	0.0	100.0	TOTAL	0.9	2.7
(SEX)								(SEX)		
MALE	13.6	47.6	24.7	14.1	0.0	0.0	100.0	MALE	1.1	2.5
FEMA	20.3	40.2	29.9	8.0	1.6	0.0	100.0	FEMA	0.6	3.0
(AGE)								(AGE)		
-29	29.4	53.8	16.6	0.2	0.0	0.0	100.0	-29	0.0	4.5
30-	27.6	50.0	12.7	9.7	0.0	0.0	100.0	30-	1.6	14.1
40-	14.4	43.2	20.9	20.3	1.1	0.0	100.0	40-	0.3	6.4
50-	7.4	47.2	37.4	5.4	2.6	0.0	100.0	50-	0.0	1.2
60	4.3	27.8	47.0	20.8	0.0	0.0	100.0	60	2.7	0.0
(GENERATION)								(GENERATION)		
1	4.6	37.0	33.4	22.7	2.3	0.0	100.0	1	1.2	1.8
2	11.5	46.2	30.4	11.2	0.6	0.0	100.0	2	0.8	3.1
3	31.1	46.5	17.4	5.0	0.0	0.0	100.0	3	2.8	4.6
DK	11.4	4.3	76.5	7.8	0.0	0.0	100.0	DK	0.0	0.0
(JSCALE)								(JSCALE)		
LOW	20.8	48.5	15.2	15.6	0.0	0.0	100.0	LOW	2.0	1.3
ML	19.6	48.8	26.9	4.5	0.2	0.0	100.0	ML	0.0	5.0
MH	14.5	37.2	41.4	6.0	1.0	0.0	100.0	MH	0.0	2.5
HIGH	2.3	35.0	31.7	27.6	3.4	0.0	100.0	HIGH	1.8	0.8

付録5. ポルトガル語の調査票

CENTRO DE ESTUDOS NIPO-BRASILEIROS

QUESTIONÁRIO DE COMPORTAMENTO ATITUDINAL

DATA DE ENTREVISTA	ENTREVISTADOR(A)	SUPERVISOR(a)

UD	MUNICÍPIO	DISTR	SETOR	ESTRATO	G	UD	MUD	A	EXP.B
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚
㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵

[CUMPRIMENTO]

Meu nome é [.....]. Sou pesquisador do Centro de Pesquisas Nipo-Brasileiras, de São Paulo, que está realizando uma pesquisa sobre o comportamento atitudinal dos japoneses e descendentes residentes no Brasil. Esta entidade já realizou o levantamento da população de japoneses e seus descendentes residentes no Brasil e também das situações sócio-econômicas dessa mesma população, nos anos de 1987 e 88, respectivamente, quando se contou com a valiosa colaboração de sua parte. Desejo contar com a sua boa vontade, pedindo o favor de responder às perguntas que a seguir serão formuladas. Sou muito grato por mais esta colaboração.

(SEXO E IDADE)

Você nasceu em (ano) _____ (mes) _____ (dia) _____ ③① ~ ③⑤

1. Homem 2. Mulher ③⑥

1. Certo (sim) _____ ③⑦ ~ ④②

2. Errado (não) (ano) _____ (mes) _____ (dia) _____

ASSINATURA DO(A) ENTREVISTADO(A)

QUESTÕES EXCLUSIVAS PARA DESCENDENTES DOS JAPONESES DO BRASIL

[Cumprimento]

Peço licença para começar fazer as perguntas

Q 1.Sua opinião sobre os pontos bons e ruins do Brasil.

(43)

b. O que você acha que pode ser feito a respeito?

(44)

Q 2.Sua opinião sobre os pontos bons e ruins do Japão.

(45)

Q 3.O que você gostaria de fazer com vista ao Japão?

(46)

Q 4.Na qualidade de descendente de japoneses, o que desejaria fosse transmitida à geração seguinte?

(47)

Q 5.Na qualidade de descendente de japoneses, quais as contribuições, que você acha, que os descendentes podem dar ao Brasil?

(48)

Q 6.Você já foi ao Japão?

1) Sim 2) Não

Objetivo?

1-Turismo

2-Visita a parentes

3-Estudo

4-A serviço

5-Para trabalhar

(49)

Q 7.Você deseja ir ao Japão?

1) Sim 2) Não

Objetivo?

1-Turismo

2-Visita a parentes

3-Estudo

4-A serviço

5-Para trabalhar

(50)

Q 8. [(a) (a) (15)]

Para a sua idade, está satisfeito(a) com a sua saúde?

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. Muito satisfeito(a) | 4. Muito insatisfeito(a) |
| 2. Satisfeito(a) | 5. Não sei |
| 3. Insatisfeito(a) | |

(51)

Q 9. [Pergunta adicional] (CARTÃO 9)

Julgamos que cada qual tenha expectativas e esperança no futuro. Que expectativas e esperança você tem em relação aos seguintes itens?

- | | | |
|---|---------------------------|------|
| a. Sucessos social e econômico | 1. Muita esperança | (52) |
| b. Casamento e vida familiar | 2. Alguma esperança | (53) |
| c. Futuro dos filhos | 3. Pouca esperança | (54) |
| d. O mundo será melhor | 4. Sem qualquer esperança | (55) |
| e. Política e economia do País | 5. Outras | (56) |
| f. Paz do mundo | 6. Não sei | (57) |
| g. Conservação do meio ambiente da Terra (do globo terrestre) | 7. Não corresponde | (58) |

Q10. [(a) (a) (9)] (CARTÃO 10)

Você deve ter momentos de preocupação, sobre si e para com os familiares. Em que extensão é a sua preocupação em relação aos itens seguintes?

	Muito	Algo	Levemente	Nada	Não sei	
Doença séria	1	2	3	4	0	(59)
Acidente de carro	1	2	3	4	0	(60)
Desemprego	1	2	3	4	0	(61)
Guerra	1	2	3	4	0	(62)
Acidente nuclear	1	2	3	4	0	(63)

E sobre os seguintes itens?

Violência	1	2	3	4	0	(64)
Drogas	1	2	3	4	0	(65)
Problemas ambientais	1	2	3	4	0	(66)
Economia e política do País	1	2	3	4	0	(67)

Q11. [**(11)]

Poderia dizer se você é mais, ou menos, inclinado a respeitar os seus ancestrais do que a média geral?

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. Mais do que a média | 4. Outro (Especificar) _____ |
| 2. Menos do que a média | 5. Não sei |
| 3. Média | |

(68)

Q12.[*(12)]

Se você não tem filho, pensa desejável adotar uma criança para continuar a linhagem da família, sabendo que não existe relação de consanguinidade? Ou você acha que não há necessidade de tal providência?

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. Adotaria | 4. Outro (Especificar)_____ |
| 2. Não adotaria | 5. Não sei |
| 3. Depende | |

(69)

Q13.[(a)(18)]

Se você obtiver dinheiro suficiente para viver confortavelmente o resto de sua vida, continuaria a trabalhar ou pararia de trabalhar?

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. Continuaria a trabalhar | 3. Outro (Especificar)_____ |
| 2. Pararia de trabalhar | 4. Não sei |

(70)

Q14.[**(19)] (CARTÃO 14)

Há as seguintes opiniões sobre o trabalho.

Qual das duas você considera mais próxima da sua opinião?

1. Não importa quanto de dinheiro se tenha, a vida sem trabalho não é plena
2. Contanto que tenha dinheiro, a vida é plena mesmo que não se tenha trabalho
3. Não sei

(71)

Q15.[(a)(20)] (CARTÃO 15)

Aqui estão algumas das coisas que as pessoas comumente levam em conta em relação ao seu trabalho. Qual é que você, pessoalmente, coloca em primeiro lugar?

1. Um bom salário de maneira que você não tenha qualquer preocupação quanto ao dinheiro
2. Um trabalho seguro em que não exista o receio de fechamento de firma ou desemprego
3. Trabalhar com pessoas que se gosta
4. Fazer um trabalho importante pelo que se sinta realizado
5. Outro (Especificar)_____
6. Não sei

(72)

Q16.[*(22)] (CARTÃO 16)

Há toda sorte de atitudes perante a vida.

Qual das declarações seguintes diria que mais se aproxima da sua forma de viver?

1. Trabalhar arduamente e se tornar rico
2. Estudar com dedicação e conseguir destacar-se
3. Não pensar em dinheiro ou fama; apenas viver uma vida que esteja de acordo com a sua maneira de ser

(73)

4. Viver cada dia como ele se apresenta, com alegria e sem aborrecimentos
5. Resistir a todos os males do mundo e viver uma vida pura e justa
6. Nunca pensar de si mesmo e se entregar inteiramente a serviço da sociedade
7. Outro (Especificar) _____
8. Não sei

Q17. [*(25)] [CARTÃO 17]

Numa das fábulas de Esopo, há uma história de um grilo preguiçoso e de uma formiga trabalhadora. Quando o inverno veio e passando fome por falta de comida, o grilo, que passou o verão cantando, procurou a formiga que trabalhou todo o verão.

A formiga poderia ter dado tanto uma como outra resposta que estão no cartão. Qual das duas respostas você acha que seria melhor como conclusão da história?

1. A formiga manda o grilo embora porque é natural que sofra agora (74)
2. A formiga admoesta o grilo dizendo: "Você deve arrepender-se de ter sido preguiçoso. Daqui para diante você deve trabalhar mais", e depois compartilha a comida.
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Q18. [*(26)]

O que é para você a coisa mais importante na vida? (75)

Cite apenas uma

A. _____

Não sei

Que outras coisas são muito importantes para você? (76)

Quais? É favor citá-las

B. _____

Não sei

Q19. [(a) (a) (a) (27)] [CARTÃO 19]

Usando-se a escala, onde "7" é "muito importante", e "1" é "nada importante", você poderia dizer a importância dos seguintes assuntos?

	Nada im portante						Muito im portante	Não sei
Família e Crianças	1	2	3	4	5	6	7	0 (77)
Profissão e Trabalho	1	2	3	4	5	6	7	0 (78)
Tempo Livre e Folga	1	2	3	4	5	6	7	0 (79)
Amigos e Conhecidos	1	2	3	4	5	6	7	0 (80)
Pais, Irmãos e Parentes	1	2	3	4	5	6	7	0 (81)
Religião	1	2	3	4	5	6	7	0 (82)
Política	1	2	3	4	5	6	7	0 (83)

Q20. [Adicional (29)] [CARTÃO 20]

Vamos perguntar sobre a sua vida. Em poucas palavras, você se sente satisfeito com a sua vida atual ou insatisfeito? (84)

- | | | | | | | |
|------------|-----------------|---------|-------------------|--------------|---------------------|---------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| Satisfeito | Algo Satisfeito | Depende | Algo insatisfeito | Insatisfeito | Outro (Especificar) | Não sei |

Q21. [* (32)]

Diz-se que com o desenvolvimento da ciência e tecnologia, a vida se torna mais fácil e cômoda, mas ao mesmo tempo um bocado de sentimentos humanos é perdido. Você concorda com essa opinião ou não?

1. Concordo
(Que há perda de sentimentos humanos) (85)
2. Discordo
3. Depende
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

Q22. [* (33)]

Na formação de criança na idade escolar de curso primário, existem pessoas que acham que a criança deve ser ensinada, desde o mais cedo possível, que o dinheiro é uma das coisas mais importantes na vida. Você concorda com esse procedimento ou não?

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 1. Concordo | 4. Outro (Especificar) _____ |
| 2. Discordo | 5. Não sei (86) |
| 3. Depende | |

Q23. [* (Hw71)]

Ao educar criança na idade de frequentar o curso primário, você acha mais importante frisar o valor da liberdade ou o valor da disciplina? (87)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. Liberdade | 3. Outro _____ |
| 2. Disciplina | 4. Não sei |

Q24. [* (34)]

Alguns dizem que se pudermos contar com líderes políticos realmente capazes, o melhor caminho para melhorar o país é deixar tudo entregue a eles ao invés de o povo ficar discutindo as coisas entre si. Você concorda com isso ou não?

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 1. Concordo | 4. Outro (Especificar) _____ |
| 2. Discordo | 5. Não sei (88) |
| 3. Depende | |

Q25. [* (35)]

Se você pensa que alguma coisa é correta, acha que deve ir para frente e realizá-la, mesmo que seja contra os costumes usuais, ou acha que pode errar menos seguindo os costumes?

1. Ir à frente mesmo que contra os costumes
2. Seguir os costumes
3. Depende
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

(89)

Q26. [* (36)]

Alguns dizem que não importa quanto se mecanize o mundo, nada pode reduzir os sentimentos humanos. Você concorda com essa opinião ou discorda dela?

1. Concordo
2. Discordo
3. Depende
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

(90)

Q27. [(a) (a) (37)]

Você concorda com a seguinte afirmação?

"O lar é o único lugar onde posso relaxar-me e sentir-me bem".

1. Sim
2. Não
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(91)

Q28. [(a) (a) (38)] [CARTÃO 28]

Qual das afirmações deste cartão está mais próxima à sua opinião a respeito do casamento?

1. O casamento é permanente
2. O casamento pode ser desfeito somente sob sérias circunstâncias
3. O casamento pode ser desfeito pela concordância das duas partes
4. Não sei

(92)

Q29. [(a) (a) (39)] [CARTÃO 29]

Qual das afirmações deste cartão está mais próxima à sua opinião a respeito dos trabalhos domésticos e cuidado com as crianças?

1. São trabalhos de mulher
2. Alguns trabalhos são próprios de mulher
3. Todos os trabalhos devem ser divididos entre o homem e a mulher sem diferenciação
4. Não sei

(93)

Q30. [* (40)]

Suponha que uma criança volte à casa e diz que ouviu rumor de que o seu professor fez algo que o coloca em situação embaraçosa, e que supostamente os pais saibam ser isso verdadeiro. Você acha que é melhor os pais contarem à criança a verdade, ou negá-la?

(94)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1. Contar a verdade | 3. Outro (Especificar) _____ |
| 2. Negá-la | 4. Não sei |
-

Q31. [* (41)] [CARTÃO 31]

Imagine esta situação. O sr. A se tornou órfão quando era muito pequeno e foi criado pelo sr. B, um vizinho muito bondoso. O sr. B deu-lhe boa educação, mandou-o a uma universidade, e o sr. A tornou-se presidente de uma companhia. Um dia ele recebeu telegrama dizendo que o sr. B estava em estado grave e pedindo-lhe que viesse imediatamente. Este telegrama chegou quando ele estava dirigindo-se para uma reunião importante em que seria decidida a sobrevivência ou a falência de sua firma. O que você acha que ele deveria fazer?

(95)

1. Deixar tudo e ir
 2. Apesar de muito preocupado com o sr. B, ele deve ir à reunião
 3. Outro (Especificar) _____
 4. Não sei
-

Q32. [* (42)] [CARTÃO 32]

A questão anterior supunha que o sr. B o tomara órfão, em criança, e o criara.

Suponha que seja o próprio pai no leito da morte. Qual deveria ser, então, a sua resposta?

(96)

1. Deixar tudo e ir
 2. Apesar de muito preocupado com seu pai, ele deve ir à reunião
 3. Outro (Especificar) _____
 4. Não sei
-

Q33. [* (43)] [CARTÃO 33]

Aqui estão três opiniões a respeito do homem e a natureza. Qual das três você acha que é mais próxima da verdade? É favor escolher apenas uma.

1. Para ser feliz, o homem deve seguir a natureza
2. Para ser feliz, o homem deve usar a natureza
3. Para ser feliz, o homem deve conquistar a natureza
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

(97)

Q34. [*(44)] [CARTÃO 34]

Escolha uma das afirmações seguintes com que você mais concorda.

1. Se os indivíduos se tornarem felizes, então, e somente então, o país como um todo melhorará
2. Se o país como um todo se tornar melhor, então, e somente então, podem os indivíduos se tornarem felizes
3. Melhorar o país e tornar os indivíduos felizes são a mesma coisa (98)
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

Q35. [*(45)] [CARTÃO 35]

Se você fôr solicitado a escolher dois (2) entre os seguintes di zeres, quais escolheria?

1. Respeito e amor para com os pais
2. Retribuição de obrigações a pessoas que o auxiliaram
3. Respeito aos direitos individuais (99)
4. Respeito à liberdade dos indivíduos
5. Outro (Especificar) _____

Q36. [**(46)] [CARTÃO 36]

A quem você considera mais desejável como pessoa humana?

1. Pessoa amiga com quem se pode contar para ajudar os outros, mas que não é um trabalhador eficiente
2. Pessoa que é trabalhador eficiente, mas é indiferente às preocupações e situações aflitivas dos outros (100)
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Q37. [**(47)] [CARTÃO 37]

Qual das duas pessoas descritas neste cartão você gosta mais?

1. Uma pessoa que enfatiza os seus próprios princípios mais do que chegar a um consenso entre os outros membros do grupo
2. Uma pessoa que enfatiza a importância de se chegar ao consenso entre os outros membros do grupo mais do que manter os seus próprios princípios (101)
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Q38. [*(48)] [CARTÃO 38]

Suponha que você seja presidente de uma companhia. A empresa de cide admitir um funcionário e realiza exame de admissão. O encarregado informa-lhe dizendo: "O parente do Senhor que se submeteu ao exame alcançou a 2ª colocação, mas acho que tanto o candidato colocado em 1º lugar como o seu parente pode ser admitido. O que faremos? Neste caso quem você admitiria? (102)

1. Aquele melhor colocado
2. O parente
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Q39. [* (49)] [CARTÃO 39]

Na última questão, supomos que o 2º colocado era seu parente. Agora, vamos supor que o 2º colocado seja filho de pessoa a quem você se sente devedor de obrigações e gratidões.

A quem você escolheria?

1. Aquele melhor colocado
2. O filho do benfeitor
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(103)

Q40. [* (50)] [CARTÃO 40]

Suponha que você trabalha numa firma. Sob que chefia você gostaria de trabalhar?

1. Um homem que sempre se atem aos regulamentos de trabalho, mas nunca exige trabalho fora do razoável, que no entanto, nada faz para você pessoalmente em matérias não ligadas ao trabalho
2. Um homem que às vezes exige trabalho extra, mesmo contra os regulamentos, mas que, de outro lado, cuida de você, pessoalmente, em matérias não ligadas ao trabalho
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(104)

Q41. [(a) (51)]

Você diria que as pessoas, na maioria das vezes, tentam ser prestativas ou úteis aos outros, ou que estão preocupadas consigo mesmas?

1. Tentam ser prestativas
2. Preocupadas consigo mesmas
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(105)

Q42. [(a) (52)]

Você acha que a maioria das pessoas tentaria tirar vantagem de você se houver chance, ou tentaria ser justa?

1. Tiraria vantagem
2. Tentaria ser justa
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(106)

Q43. [(a) (53)]

Genericamente falando, você diria que se pode confiar na maioria das pessoas, ou que se deve tomar, sempre, cuidado?

1. Pode ser confiada
2. Deve-se tomar cuidado sempre
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(107)

Q44. [(a) (a) (56)] [CARTÃO 44]

No futuro, os computadores continuará a modificar as nossas vidas. Você acha isso desejável ou não?

1. Uma coisa desejável
2. Uma coisa não desejável, mas inevitável
3. Uma coisa lamentável e perigosa
4. Não sei

(108)

Q45. [(a) (a) (60)]

Como é importante para você a preservação do meio ambiente? É...

1. Muito importante
2. Importante
3. Não muito importante
4. Nada importante
5. Não sei

(109)

Q46. [**(Pergunta Nova)]

O que vem primeiro à sua mente quando se fala de cultura do Brasil?

1. (Assinalar) _____

2. Não sei

1b. Cite outras coisas _____

2. Não sei

(110)

(111)

Q47. [**(61)]

O que vem primeiro à sua mente quando se fala de cultura do Japão?

1. (Assinalar) _____

2. Não sei

1b. Cite outras coisas _____

2. Não sei

(112)

(113)

Q48. [*(62)]

Gostaria de fazer-lhe perguntas sobre religião.

Por exemplo, você tem alguma religião?

1. Sim

2. Não

Se sim (se não, pule e passe para diante)

Qual a religião?

1. Xinto

5. Protestante

2. Budismo

6. Católica

3. Sokagakkai

7. Outra (Especificar) _____

4. Seita não estabelecida

8. Não sei

(114)

(115)

Q49. [* (63)]

Sem se referir à qualquer religião estabelecida, você acha importante o sentimento religioso?

1. Importante
2. Não é importante
3. Outro
4. Não sei

(116)

Q50. [* (64)]

Há pessoas que dizem que, embora haja muitas religiões diferentes no mundo, cada qual com as suas crenças, os seus ensinamentos são todos os mesmos. Você concorda com essa opinião ou discorda?

1. Concordo
2. Discordo
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(117)

Q51. [* (67)]

O que você pensa da "Democracia", "Capitalismo", "Socialismo" e "Liberalismo"? Poderia apontar na lista as suas opiniões?

1. Bom 2. Depende 3. Ruim 4. Outro 5. NS

Democracia					
Capitalismo					
Socialismo					
Liberalismo					

(118)

(119)

(120)

(121)

Q52. [(a) (8)] [CARTÃO 52]

Hoje em dia, há uma porção de idéias sobre metas para o país para os próximos 10 a 15 anos. Neste cartão estão listadas algumas das metas que povos diferentes acreditam que devam ser dadas prioridades por serem consideradas as mais importantes. A longo prazo, qual delas você acha ser a mais importante? [PERMITIDA APENAS UMA RESPOSTA]

1. Manter ordem no país
2. Dar ao povo oportunidade de opinar nas decisões governamentais importantes
3. Combater a elevação de preços
4. Proteger a liberdade de manifestação
5. Outro (Especificar) _____
6. Não sei

(122)

FACE SHEET

Acabámos de perguntar a respeito de suas opiniões.
Agora, para efeito de análise estatística dos resultados, pedimos o favor de responder algumas coisas sobre a sua pessoa e de seus familiares.

F 1. (70)

Quando faz conta mentalmente, você a faz em japonês ou em português?

1. Em português
2. Em japonês
3. Em ambos ou misturados

(123)

F 2. (42)

Com que frequência você lê jornal?

1. Nunca leio
2. Às vezes (P) (J)
3. Regularmente (P) (J)

(124)

F 3.

Você gosta de músicas brasileira e japonesa?

1. Gosto de ambas
2. Gosto de música japonesa
3. Gosto de música brasileira
4. Não gosto de ambas

(125)

F 4.

Você assiste ao vídeo japonês?

1. Assistio sempre
2. Assistio às vezes
3. Não assistio

(126)

F 5.

Qual das descrições seguintes corresponde aos seus amigos?

1. Muitos dos meus amigos são japoneses ou descendentes de japoneses
2. Alguns dos meus amigos são japoneses ou descendentes de japoneses, mas também tenho amigos que não são descendentes de japoneses
3. Muitos de meus amigos são não-descendentes de japoneses
4. Nenhum dos meus amigos é descendente de japoneses

(127)

F 6.

Se você é empregado, qual das descrições seguintes corresponde aos seus colegas de trabalho?

1. Muitos dos meus colegas de trabalho são japoneses ou descendentes de japoneses
2. Alguns dos meus colegas de trabalho são japoneses ou descendentes de japoneses
3. Muitos dos meus colegas de trabalho são não-descendentes de japoneses
4. Nenhum dos meus colegas de trabalho é descendente de japoneses

F 7.

Quando você joga fora uma comida que não conseguiu comer, ou um objeto que ainda pode ser usado, sente que está desperdiçando-os [Sente que é "mottainai"]?

1. Sim, frequentemente
2. Sim, às vezes
3. Nunca sinto

129

F 8.

Quando você escreve carta, acha mais fácil escrevê-la em português ou em japonês?

1. Em japonês
2. Em português
3. Não faz muita diferença [ou É indiferente]

130

F 9.

(Para os empregados)

É, atualmente, sócio de sindicato?

1. Participo
2. Não participo

131

F10.

Quantos anos você frequentou escola de língua japonesa?

_____ anos

132

Muito obrigado pela atenção.

=PARA SEREM PREENCHIDAS PELO PESQUISADOR=

F11.

No geral, qual foi a atitude do respondente em relação às perguntas?

1. Interessado e cooperativo
2. Cooperativo, mas não especialmente interessado
3. Sem calma, parecia irritado
4. Não cooperativo

133

F12.

No geral, lhe pareceu que o respondente havia entendido as perguntas?

1. Pareceu que as entendeu bem
2. Pareceu que as entendeu no geral
3. Pareceu que não as entendeu muito
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

134

付録 6. ブラジルに於ける日系人口調査報告書
－1987・1988－の抜粋及び英文要旨

サンパウロ人文科学研究所

はじめに

1. 調 査 の 概 要

- 1 - a. 調査目的
- 1 - b. 調査対象
- 1 - c. 調査システム
- 1 - d. サンプルングの仕組み
- 1 - e. 調査票及び調査員
- 1 - f. フィールドワーク
- 1 - g. 集 計
- 1 - h. 公 式
- 1 - i. 協力機関

2. 人 口

- 2 - a. 地域別人口構成
- 2 - b. 都市・農村別人口構成
- 2 - c. 年齢別人口構成
- 2 - d. 日系度別人口構成
- 2 - e. 世代別人口構成
- 2 - f. 配偶関係別人口構成

3. 経 済 的 側 面

- 3 - a. 就業人口－主な活動内容－構成
- 3 - b. 職業別人口構成
- 3 - c. 職業上の地位別人口構成
- 3 - d. 産業別人口構成
- 3 - e. 収入のある仕事の数別人口構成
- 3 - f. 経済階層別世帯数－最低賃金を基準として－
- 3 - g. 農村不動産の所有状況
- 3 - h. 居住環境

4. 社 会 的 側 面

- 4 - a. 社会階層帰属意識

4 - b. 世帯

(1) 世帯規模

(2) 世帯構成

4 - c. 異民族結婚の現状

4 - d. 言語

(1) ポルトガル語・日本語の習得度別人口

(2) 家庭における使用言語

4 - e. 教育程度

4 - f. 団体加入

4 - g. 宗教

4 - h. 日本食への嗜好

5. 用語の解説

6. 調査表及び関連書類

はじめに

本報告は「ブラジル日本移民80年記念事業」の一環として、1987、1988年の2年間に互って実施された「ブラジル日系人口実態調査」の集計結果の一部である。1987年度にはサンプル確定とそれの基本的調査がおこなわれ、1988年7月には、社会経済的基本調査が実施された。また、この二度の基本調査の間には数度の補充調査が行われた。

1987年6月の「移民の日」には、第一次基本調査の中間報告が行われ、ブラジル在住日系人口は1,163,000人(±22,000人)と発表された。しかし、その後、数度に互って試みられた補充調査の結果、1987年7月現在の、ブラジル在住日系人口数は1,228,000人(±3,000)と是正されるに至った。従って、本報告書では1987年の人口に関する数値はこの数を基礎としたい。また、1988年7月現在の日系人口は自然増加の結果、1,250,000人に増加したが、本報告書ではこれにサンプル世帯への転入日系人30,000人を加えた1,280,000人という数値を基礎に統計が作製されている。

この報告書で呈示される結果表は基本的なものである。調査結果はコンピュータテープに全てインプットされているが、その全てが集計されたわけではなく、その中の基本的な項目に関してのみ、集計作業が行われた。この意味に於いて、本報告書は中間報告書という位置づけを持つ。本報告は調査の概要、人口、経済的側面、社会的側面、1年間の動きという項目から構成されている。本報告書には80葉程度の結果表が収められているが、これらはすべて男女別か都市・農村別か年齢別という指標から目次に示されたような項目が集計されたものであり、例えば職業別×経済階層別、職業別×学歴といったクロス集計は全く行われていない。この意味に於いても、本報告書は中間報告書性格を有しているといえる。様々な角度、側面からの多角的説明は近い将来に刊行予定である最終報告書の中で行われることとなろう。しかし、本報告書に於いてもブラジル全体や1958年に実施された日系人口調査の調査結果との比較が可能な項目に関してはこうした作業を可能な限り行っており、ブラジル全体との比較や30年間の変化をみることもある程度は可能である。

尚、本報告の記述はそれぞれの項目の冒頭で全般的な解説がなされ、必要あるいは重要と思われる結果表に関してはそれぞれの表の下部で個別的な説明を行うというかたちで統一されている。

1. 調査の概要

1-a. 調査目的

本調査はブラジルに於ける日系人口数及び日系人の現状を把握するための情報を得ることを目的としている。

2-b. 調査対象

本調査の対象はフェルナンド・デ・ノローニャ島 (IBGE: 1980 年センサス人口、1,342 人) に居住する者を除いた、ブラジルに居住する全日系人である。ここで日系人概念に言及すれば、ここでいう日系人とは日本人移民及び日本人のブラジル長期滞在者（旅行目的ではなくブラジルに3か月以上居住するかその予定である）とその子孫をさし、こうした日本人を祖先の一人として持っているブラジル在住の者を全て含んでいる。従って、この中には混血度のいかに問わず、混血日系人や日本企業の長期滞在者及びその家族員等も含まれることになる。

1-c. 調査システム

本調査は系次的に行われるように計画されている。最初の調査で主として、以降に実施される調査のために基本的項目に関する情報を収集して、対象たるべき単位を確定する。以降の調査に於いては、既に日系と確認された単位を対象に日系人の持つ属性に関する詳細な情報を収集する。このような調査システムは、調査結果の質を確保するために、調査者と回答者の双方の負担を妥当な程度としながら、調査費用を節約するという見地から採用された。

1-d. サンプルングの仕組み

本調査を実施するに際し、調査単位の枠が存在しないために、地域的サンプルングに基づいてフィールドで新たに単位のリスト・アップをすることが必要であった。地域的サン

アリングを行う上で、唯一の可能性はその規模は大きかったが、人口センサス用に設定された調査区 (SEIOR) の利用であった。調査期間や調査日数、調査費等を考慮し、短期間のうちにその地域内の調査が可能となるよう、SEIOR の地図上で地理的にいくつかの地域に区分し、それを SUB-SEIOR とした。単位の抽出は第 1 次抽出単位を SEIOR、第 2 次抽出単位を SUB-SEIOR とする 2 段階で行われた。こうして抽出された SUB-SEIOR にある全世帯が調査され、調査の対象たるべき日系人がフィールドワークを通じて確定された。

SEIOR は地域、都市・農村の区分、地域内での日系団体—地域日本人会の存否*そしてセンサスからの結果—日本生れの日本人の居住及び黄色人口の割合—に基づき、層化された。センサスから得られる他の結果—東洋系宗教への帰属—は層化目的には適切ではなかった。全体で 14 万の SEIOR が IBGE のコンピュータにより 103 の層に層別され、約 1.500 SEIOR が指定された割当て数に基づき、等確率選択で標本抽出された。この配分は等配分の場合よりも多数の日系人が含まれるよう適切なデータを用いて決定された。SEIOR のサンプルは以降の調査でサンプル数を変更することが可能であり、そしてサンプリング誤差の算定が容易となるよう、独立した 3 つのサブ・サンプル (A, B, C) から構成されている。

SEIOR の標本抽出の基本となった総人口に占める地域人口の比率、黄色総人口に占める地域黄色人口の比率、日本生れの日本人総人口に占める地域日本生れ人口の比率は表 1-1 に示されたとおりである。しかもこれらのデータにもとづくとともに、さらに都市・農村の区分、地域日系団体の存否を加えて層化されたが、その各層と層別の割当て数は表 1-2 に示されたとおりである。アマゾナス州という地域を例に各層を説明しよう。まず、アマゾナス州に属する全ムニシピオ (郡) がそのムニシピオ内に日系団体—日本人会の存否を基準に 2 つの範疇に区分された。次にこの区分と交差する訳だが、この 2 つの範疇がさらに都市と農村の区分で 2 つの範疇に分けられた。さらに地域日系団体を持たないムニシピオの集合は黄色人口、日本生れの日本人人口との組合わせから、次の 6 つの範疇に区分された。即ち、

1. UJ —都市部で日本生れの日本人が存在する SEIOR の集合
2. $U\bar{A}$ —都市部で黄色人口が存在しない SEIOR の集合
3. $U\bar{A}'$ —都市部で黄色人口は存在するが日本生れの日本人は存在しない SEIOR の集合
4. RJ —農村部で日本生れの日本人が存在する SEIOR の集合

5. \overline{RA} - 農村部で黄色人口が存在しないSETOR の集合

6. RA^1 - 農村部で黄色人口は存在するが日本生れの日本人は存在しないSETOR の集合

である。このような層を設定することで、日系団体が存在しないムニシピオの全SETOR はこの範疇のいずれかに属することになる。

ところで、ロンドニア・アクレ州及びロライマ・アマバ州から構成される地域的層ではサンパウロ日本文化協会所有の地域日本人会リストによれば、他の東北部諸州（ペルナンブーコ、バイアを除く）と同様に日本人会がないと判断し、これらの州では全ムニシピオを4つの範疇に区分した。即ち、

1. UJ - 都市部で日本生れの日本人が存在するSETOR の集合

2. \overline{UJ} - 都市部で日本生れの日本人が存在しないSETOR の集合

3. RJ - 農村部で日本生れの日本人が存在するSETOR の集合

4. \overline{RJ} - 農村部で日本生れの日本人が存在しないSETOR の集合

である。さらにサンパウロ市では都市・農村の区別はあまり意味を持たないので、全てのSETOR から等確率でSETOR が抽出されている。このような層から抽出されたSETOR の数は上述のように表1-2に示されている。

上述のような過程で第1次抽出単位からの等確率抽出が完了された。続いて行われたのは第2次抽出単位からの等確率抽出であった。すでに、前述したように抽出されたSETOR はただちにSETOR 地図上で地理的特徴等から複数のSUB-SETOR に再区分された。そして、その再区分されたSUB-SETOR から等確率抽出法で1つのSUB-SETOR が選ばれ、それが本調査の調査地域-単位とされたのである。

* 1987年当時に、サンパウロ日本文化協会に保管されていた地域日本人会のリストを利用した。但し、必ずしも全ての日本人会が網羅されているかどうかは明確ではないが、日本人会の存否は日系人口の集中度を示す目安として、取上げられたものに過ぎないのであり、当調査の統計学的厳格性とは直接的関連性はない。

表1-1 地域別人口比、黄色人口比、日本生れの日本人人口比及び日系団体の存否

ESTADO	POPULACAO	P. AMARELA	P. JAPONESA	ASS. NIPO
RONDONIA	0.4	0.1	0.06	×
ACRE	0.3	0.1	0.02	×
N				
O AMAZONAS	1.2	0.6	0.6	O
R				
T RORAIMA	0.1	0.06	0.02	×
E AMAPA	2.9	0.02	0.05	×
PARA	2.9	1.2	2.14	O
PARANHAO	3.3	1.2	0.07	×
N RIO GRANDE DO N.	1.6	0.3	0.03	×
O PARAIBA	2.3	0.6	0.06	×
R				
D PIAUI	1.8	0.3	0.01	×
E CEARA	4.4	1.2	0.04	×
S ALAGOAS	1.7	0.5	0.01	×
T SERGIPE	1.0	0.1	0.01	×
E				
PERNAMBUCO	5.2	0.7	0.2	O
BAHIA	8.0	1.8	0.71	O
S MINAS GERAIS	11.3	1.7	1.3	O
U ESPIRITO SANTO	1.7	0.1	0.23	O
D				
E RIO DE JANEIRO	10.2	1.9	3.12	O
S				

表1-1 地域別人口比、黄色人口比、日本生れの日本人人口比及び日系団体の存否

ESTADO	POPULACAO	P. AMARELA	P. JAPONESA	ASS. NIPO
S SAO PAULO				
GRANDE SAO PAULO	21.0	70.7	77.63	O
P EST. DE SAO PAULO				
S PARANA	6.4	11.8	8.96	O
U				
L SANTA CATARINA	3.1	0.4	0.29	O
RIO G. DO SUL	0.5	0.9	0.99	O
MATO GROSSO DO SUL	1.2	1.5	1.75	O
C MATO GROSSO	1.0	0.6	0.30	O
GOIAS	3.3	0.8	0.48	O
O				
D. F.	1.0	0.6	0.86	O

QUADRO 1-2 NUMERO DE AMOSTRAS ESTRATIFICADAS

REGIAO		Município sem Associação Nipo-Brasileira			Município com Associação
N O R T E	Rondônia	UJ 3	UJ 3		
	Acre	RJ 3	RJ 3		
	Amazonas	UJ 3	UÁ 3	UA 3	U 9
		RJ 3	RÁ 3	RA 3	R 9
	Roraima	UJ 3	UJ 3		
	Amapá	RJ 3	RJ 3		
	Pará	UJ 12	UÁ 3	UA 3	U 18
		RJ 12	RÁ 3	RA 3	R 18
N O R D E S T E	Maranhão	UJ 3	UÁ 3	UA 3	
	R.G.Norte Paraiba	RJ 3	RÁ 3	RA 3	
	Piauí	UJ 3	UÁ 3	UA 3	
	Ceará	RJ 3	RÁ 3	RA 3	
	Alagoas				
	Sergipe				
	Pernambuco	UJ 3	UÁ 3	UA 3	U 12 3 (PE) 9 (BA)
	Bahia	RJ 3	RÁ 3	RA 3	R 12 3 (PE) 9 (BA)
S U D E S T E	Minas G.	UJ 9	UÁ 3	UA 6	U 9
	E.Santo	RJ 9	RÁ 3	RA 6	R 9
	R.Janeiro	UJ 6	UÁ 3	UA 3	U 39
		RJ 6	RÁ 3	RA 3	R 39
	S.Paulo Bairro(1)				264
	G.S.P.(2)	U 6	Municipality 21		U 69
		R		3	R 6
	S.Paulo - (1) (2)	U		30	U 174
S U L	Paraná	UJ 18	UÁ 3	UA 6	U 111
		RJ 18	RÁ 3	RA 6	R 111
	S.Catar.	UJ 6	UÁ 3	UA 6	U 9 3(SC) 6(RS)
	R.G.Sul	RJ 6	RÁ 3	RA 6	R 9 3(SC) 6(RS)
C O E S T E	M.Grosso do Sul	UJ 3	UÁ 3	UA 3	U 21
		RJ 3	RÁ 3	RA 3	R 21
	M.Grosso Goiás	UJ 3	UÁ 3	UA 3	U 12 6(MT) 6(GO)
		RJ 3	RÁ 3	RA 3	R 12 6(MT) 6(GO)
	D.F.		3		9

1-e. 調査員及び調査票

1987年の第1次基本調査は応募した約700名の大学生の中から、面接で約110名の調査員が選任された。調査員は8日間、調査の方法、手段、要項、調査票その他の調査書類に基づいて、その業務につき研修を受けた。一部遠隔地にはIBGEの調査員が本調査の調査員として参加した。

この第1次基本調査のための調査票は4種類（その他に補助調査票が1種類用意された。即ち、A. 調査地域の世帯配置図、B. 調査対象地域に居住する世帯リスト（全世帯調査票）C. 日系世帯調査票、D. 系譜調査票（日系人確定のための調査票）である。これらの調査票の形式ないし調査項目に関しては6. 調査票及び関連書類の項を参照のこと。

1988年の第2次社会・経済的基本調査は前年度の調査員の中から、調査の能力及び日系人であることを考慮して、25名程度の調査員を選任した。というのは、第1次調査時に調査員が非日系人であることで調査に協力してもらえなかったケースが多く、みられたからである。調査員は既に、この調査の目的等に関しては良く理解し、しかも多くの場合には前年度の調査地域を再び担当するという原則で調査地域の割当てを行ったことで調査地域への接近という点では困難はあまりなかった。調査員は前年度と同様、調査方法、手段、担当地域、調査票等に関する講習を数日間に互って受けたのち、調査に出掛けた。

1988年度に使用された調査票はA. 世帯員の動きに関する調査票、B. 日系世帯調査票、C. 個人調査票（1）（2）の3種類であるが、前年度調査不能世帯に関しては、前年度の調査票も併せて持参させ、補充調査も兼ねた調査を実施した。調査票に関しては、6. 調査票及び関連書類の項を参照されたい。この両年度とも、調査での基本的使用言語はポルトガル語であったが、一部の日系人にはポルトガル語が不得手な被調査者がおり、こうした人達のために、日本版の調査票も準備した。

1-f. フィールド・ワーク

1987年度においては、調査員には、調査票類と1980年センサス用に作成されたSEIOR 地図上に画定されたSUB-SFIOR が示された地図が配布されて、本部から派遣された。調査員には一般に距離と旅程の容易度を考慮して約7SUB-SFIOR のグループを調査担当地域として割当てた。約10名の調査員ごとに1名の指導員が調査員の業務の指導援助、コントロールの為、主として本部スタッフから選任された。500余りの調査地区を有するサンパウロ州ではフィールド・ワークは本部からの直接指導で実施された。フィールド・ワークは19

87年7月16-31日の期間実施された。雨期のために到達が不可能であった1-sectorを除きすべてのsectorからデータが収集された。

フィールド・ワークの事後調査の為、当初の全調査地域から部分標本が抽出された。同時にサンパウロ市、リオデジャネイロ市における大規模なアパルトメントへの接近が不可能という理由で多数の非回答のケースが出現した既調査地域と、フィールド・ワークの割当て後に当初の標本地域が算定されたよりも少なかったことが判明した地域の追加標本のこれに加えて、結果の向上のため補足調査が実施された。こうした第2次フィールド・ワークは9月4-12日の期間に同一の調査時指定を以て実施された。

1988年度調査では前年に確定された日系サンプルのみを調査対象として、1988年8月にフィールド・ワークが実施された。調査員は前年度と同様に、1980年センサス用に作成されたsector地図上に画定された調査地域の示された地図および調査票類を持って、本部より派遣された。調査員には調査地域への到達の容易度を考慮して、20-40サンプルを一人の調査担当地域として割当てた。前年度のように、調査指導員のシステムは取らず、すべての調査は本部からの直接指導で実施された。1988年度の調査までに1年間の時間が経過しており、サンプルの移動のケースが多く出現した。調査員は基本的に移動したり、転出したりした個人サンプルを可能な限り追跡調査した。さらに、調査期間中にこうした追跡調査が不可能であったケースについては、その後、補充調査が行われ、結果の向上が目指された。

1-g. 集計

2年間にわたるフィールド・ワークで収集並びに調整された全ての調査票は、本部スタッフにより点検され、コンピュータ処理のために適当にコード化された。調査票のオリジナル・データのインプットは協栄ファコンによって行われた。コードのはいった磁気テープと関連資料はコンピュータ処理の為、日本へ送られた。多くの協議検討の結果、確認された製表手続きに従って、実際のタビュレーション作業は日本統計協会で行われた。日本の総務庁統計センターでは、専門知識とソフト・ウエアを含む技術を提供された。

1-h. 公式

X は考察する変数の計を表す。その添字 i, j, k はそれぞれ、sector, sub-sectorを示し、()のないものは母集団を、()付きはサンプルを示す。 N 及び n は、それぞれ母

集団と標本における、添字によって示された次の段階の単位の数を表す。従って、 N_{ij} (j) は i 番目の層の、 j 番目のサンプル setor に含まれる sub-setor の数を示している。
 m は使用されるサブ・サンプルの組数を示し、 h は h 番目のサブ・サンプルの組を表す。
 \wedge は対応する推定量を示す。

$$\begin{aligned} X &= \sum_i \sum_j^{N_{ij}} \sum_k^{N_{ij}} X_{ijk} \\ \hat{X} &= \frac{1}{m} \sum_h \hat{X}_h \\ \hat{X}_h &= \sum_i \frac{N_i}{n_i} \sum_j \frac{N_{ij}}{n_{ij}} \sum_{(k)}^{n_{ij}} X \cdot i(j)(k) \\ V(\hat{X}) &= \text{Var} \hat{X} = \frac{1}{m^2} \sum V(\hat{X}_h) \\ V(\hat{X}_h) &= \frac{E \sum_{\binom{m}{2}} (\hat{X}_h - \hat{X}_{h'})^2}{\binom{m}{2}} \\ \hat{V}(\hat{X}_h) &= \frac{\sum_{\binom{m}{2}} (\hat{X}_h - \hat{X}_{h'})^2}{m(m-1)} \end{aligned}$$

1-i. 協力機関

* ブラジル日本移民80周年祭々典委員会はこの調査をその記念事業の一つに含めることを決定し、様々な協力を行った。

* ブラジル地理統計院 (IBGE) は特にサンプリングとフィールド・ワークの準備及び
 段階で専門技術的経験と資源を提供して協力した。

* 協栄ファコンはタビュレーションシステムの問題を考慮して、データ入力段階で協力した。

* 総務庁統計センターからはタビュレーション手続きの準備と確定の段階で協力を得た。

* 日本統計協会からはタビュレーションの実行段階で協力を得た。

* アルファインテルツーツーリズムからは特に結果集計のため、情報と資料の敏速なる伝達で協力を得た。

2. 人 口

2-a. 地域別人口及び世帯数

- 表2-1 5大地域別男女別人口構成
- 表2-2 5大地域別男女別人口構成の誤差限界表
- 表2-3 地域別男女別人口構成表-実数
- 表2-4 地域別男女別人口構成表の誤差限界表
- 表2-5 地域別男女別人口構成表-百分率%表示-
- 表2-6 地域別日系世帯数-実数-
- 表2-7 地域別男女別人口構成-1958年-

2-b 都市・農村別人口

- 表2-8 都市・農村部別日系人口構成-1987/1988-
- 表2-9 都市・農村部別男女別日系人口構成-1987/1988-
- 表2-10 都市・農村部別人口構成-ブラジルとの比較
- 表2-11 年齢別ブラジル生れ日系人口の出生地-都市・農村

2-c. 性比・年齢別人口

- 表2-12 30歳年齢層別男女別日系人口構成-1987/1988-
- 表2-13 15歳年齢層別男女別日系人口構成-1987/1988-
- 表2-14 15歳年齢層別男女別人口構成比-1988-
- 表2-15 15歳年齢層別男女別人口構成比-ブラジル1986-
- 表2-16 年齢層別男女別人口構成-1958

2-d. 日系度別人口

- 表2-17 個人日系度別男女別都市・農村別人口構成比-1988-

2-e. 世代別人口

- 表2-18 大分類世代別人口構成比-1988-
- 表2-19 小分類世代別人口構成比-1988-
- 表2-20 世代別混血状況
- 表2-21 小分類世代別男女別都市・農村別人口構成比-1988-

2-f 配偶関係別人口

- 表2-22 配偶関係別男女別都市・農村別日系人口構成比-1988-
- 表2-23 配偶関係別人口比の比較-ブラジルと日系人口

2-a. 人口の地域的分布

1987年7月調査時現在の、ブラジル在住日系人口は総数1,228,000人(±3,000人)と推計された。ここでいう「日系人」とは日本人移民及び日本人長期滞在者とその子孫を指し、こうした日本人の一人を祖先に持つブラジル在住の者は全て含まれている。ブラジルへの日本人移住は1908年に開始され、本調査の時点に於いて、すでに79年が経過しているが、自己の祖先(ここでいう祖先とは直系の祖先である)に日本人がいたかどうかはまだ明確に認識されていると予想された。そこで本調査では、調査員に調査地域内全人口に、「祖先に日本人がいたか」、いたとすれば、誰が—ということは調査員が持参した系譜(6. 調査票及び関連書類の章を参照のこと)のどの個人が—日本人だったかを質問させた。大多数の被調査対象者がこの質問に明確に回答しえた、こうした調査の結果、推定されたのが上記の推定値であり世代別人口等の推定値である。また、「日系人」の概念に関連して、「日系世帯」の考え方に触れれば、本調査では日系世帯を上記のような日系人を一人でも含む世帯と規定したこの規定ではどんなに世帯員数が多くとも一人でも日系人が同居していれば日系世帯とし我々のサンプルとして調査を実施した。従って、こうした日系世帯に含まれる全人口数は日系人口数を上回っている。1987年調査時に於いて、この人口数は1,479,000人を数え、日系世帯内には約251,000人の非日系人口が同居していることになる。しかし、本報告はあくまでも日系人口を対象として、現在に於ける日系人口の特質の一端に接近することを目指しており、必要のないかぎり、非日系人に関しては記述を行わない。

さて、IBGEのブラジル推定人口(populacao residente projetada)によれば、1987年度のブラジル総人口は141,452,187人である。従って、同年に於ける日系人口のブラジル総人口に占める割合は0.868%ということになる。この人口が現在ではブラジルのあらゆる地域に居住している。日系人口の地域的分布を示してみよう。表2-1, 2-3, 2-5は地域別日系人口の分布を示したものである。これらはいずれも5大地域を基礎にしているが、東南部(sudeste)地域には日系人口が集中的に居住しているので、表2-3, 2-5ではさらに当該地域がサンパウロ市(MUNICIPIO DE SAO PAULO)、グランデ・サンパウロ(ここではサンパウロ市は除外される)サンパウロ州(ここではサンパウロ市とグランデ・サンパウロは除外される)、及びサンパウロ州外の諸州—リオ・デ・ジャネイロ、エスピリト・サント、

ミナス・ジェライス州一とに細分化されている。

これらの表から、日系人口の居住していない地域はなく、あらゆる地域に散在していることが了解される。しかしながら、その分布は決して一様ではない。日系人口の79.4%は東南部に集中する。しかもその大部分、日系人口の72.23%はサンパウロ州に居住している。さらにサンパウロ州のなかではサンパウロ市に総人口の26.55%が集中している。東南部地域以外では南部に人口の11.69%が居住している。この人口の大部分はパラナ州に集中している。また、日系人口の他地域での分布は中西部(CINIRO-OESTE) (3.98%), 北部(NORTE) (2.68%), 東北部(NORDESTE) (2.32%) となっている。最も日系人口の分布が少ない東北部地域で、日系人口数は28,000人である。また、この人口分布を1958年当時(移民50年祭時『ブラジルの日系人調査』—これ以外に比較すべき、調査・統計資料はない。以下、1958年とはこの調査を指すものとする)と比較してみると(表2-7 参照)、この30年間で人口数は約3倍となり、同様な地域的な変差を示しながらも、より広範な地域への広がりを看取することができよう。

表 2-1 5大地域別男女別人口構成

地域区分	男	女	性別不詳	合計
NORTE	18.000	15.000	-	33.000
NORDESTE	11.000	17.000	-	28.000
SUDESTE	496.000	472.000	6.000	974.000
SUL	72.000	71.000	1.000	143.000
CENTRO-OESTE	28.000	19.000	2.000	49.000
合計	625.000	595.000	8.000	1.228.000

表 2-2 5大地域別男女別人口構成の誤差限界表

地域区分	男	女	性別不詳	合計
NORTE	7.000	4.000	-	11.000
NORDESTE	23.000	34.000	-	57.000
SUDESTE	42.000	46.000	-	89.000
SUL	18.000	30.000	-	49.000
CENTRO-OESTE	9.000	3.000	4.000	8.000
合計	18.000	11.000	4.000	3.000

表 2-3 地域別男女別人口構成

地域	男	女	性別不詳	合計
NORTE	18.000	15.000	-	33.000
NORDESTE	11.000	17.000	-	28.000
CIDADE DE S. PAULO	163.000	159.000	4.000	326.000
GRANDE S. PAULO	90.000	78.000	2.000	170.000
ESTADO DE S. PAULO	204.000	187.000	-	391.000
RJ ES MG	39.000	48.000	1.000	87.000
SUL	72.000	71.000	1.000	143.000
CENTRO -OESTE	28.000	19.000	2.000	49.000
合計	625.000	595.000	8.000	1.228.000

表 2-4 地域別男女別人口構成の誤差限界表

地域	男	女	性別不詳	合計
NORTE	7.000	4.000	-	12.000
NORDESTE	23.000	34.000	-	57.000
CIDADE DE S. PAULO	38.000	54.000	1.000	91.000
GRANDE S. PAULO	11.000	9.000		21.000
ESTADO DE S. PAULO	21.000	25.000	1.000	45.000
RJ ES HG	49.000	65.000		114.000
SUL	18.000	30.000		49.000
CENTRO -OESTE	9.000	3.000	4.000	8.000
合計	18.000	11.000	4.000	3.000

表 2-5 地域別男女別人口構成

(1987)

地域	男	女	性別不詳	TOTAL	%
NORTE	1.44	1.24	-	2.68	
NORDESTE	0.93	1.39	-	2.32	
CIDADE DE S. PAULO	13.25	12.96	0.34	26.55	
GRANDE S. PAULO	7.34	6.37	0.13	13.84	
ESTADO DE S. PAULO	16.58	15.23	0.03	31.84	
RJ ES MG	3.21	3.91	-	7.12	
SUL	5.83	5.82	0.04	11.69	
CENTRO-OESTE	2.32	1.51	0.15	3.98	
TOTAL	50.9	48.43	0.69	100.02	

表2-6 地域別日系世帯数

地域	单身	夫婦	直系	拡大	非親族	不詳	TOTAL 実数
NORTE	1.000	4.000	2.000	-	4.000	-	11.000
NORDESTE	-	6.000	-	-	-	-	6.000
H. SAO PAULO	6.000	70.000	14.000	4.000	3.000	-	96.000
G. SAO PAULO	-	40.000	5.000	2.000	-	-	47.000
ES. SAO PAULO	8.000	77.000	17.000	5.000	9.000	3.000	119.000
RJ ES MG	-	18.000	5.000	-	2.000	-	26.000
SUL	2.000	25.000	7.000	1.000	1.000	-	36.000
CENTRO-OESTE	1.000	13.000	-	-	1.000	-	14.000
TOTAL	17.000	252.000	51.000	12.000	20.000	3.000	355.000

表 2 - 7 1958年の人口分布

地域	%	人口数
NORTE	1.21%	5.227
SUDESTE		
SAO PAULO 州	75.68%	325.520
RJ	1.35%	5.803
MG	0.67%	2.878
SUL		
PR	18.16%	78.097
CENTRO-OESTE		
MT	2.06%	8.886
GO	0.42%	1.793
OUTRA REGIAO	0.41%	1.765
不明	0.00%	166
合 計	100.00 %	430.135

英 文 要 旨

INTERNATIONAL STATISTICAL INSTITUTE

N° 28

DECEMBER 1992

THE SURVEY STATISTICIAN

INTERNATIONAL ASSOCIATION
OF SURVEY STATISTICIANS

iass

The Survey of Japanese Descendants in Brazil
HIROSHI MIDZUNO

The survey was conducted as a special project for the 80th Anniversary of Japanese Immigration to Brazil in order to provide statistical information on the size and characteristics of Japanese descendants. The Survey was conducted by the Centro de Estudos Nipo-Brasileiros under the financial sponsorship of the Japanese International Cooperation Agency. The Survey was carried out by a Special Committee established in the CENB with the coordinating guidance of a statistician from Japan.

The basic problem of the Survey was the concept of Japanese descendants. While the meaning of a JD appeared to be self-evident to the society, various alternative notions were observed as to the details. Thus it was decided to use the widest concept, i. e., any person who had at least one Japanese in one's ancestral hierarchy, which enabled provision of data on any alternative definition with the addition of required characteristics in tabulation. For the survey purpose, the ancestral line was limited back to 1908, the year of the first Japanese immigration.

Unlike the situation 3 decades before, when the JD's were canvassed by a census, the contemporary JD's were not living closely together in limited areas and the local Associations of JD's, which engaged in the field work in the census, were vanishing and weak.

High accuracy of the estimate for the population was desired with limited human resources and financial allocation. The field force mobilizable were primarily university students in São Paulo area, who were to travel to the assigned areas after training. The proportion of JD's in the total Brazilian population was expected to be in the order of 1 % with concentrations in few

Provinces but with scattered residences in all the Provinces. It was therefore necessary to cover the entire area of Brazil with the only exception of the Island of Fernando de Noronã which had about 1000 military population in the 1980 Census.

For covering all the territory of a vast country like Brazil, it required full cooperation of the Instituto Brasileiro de Geografia e Estatística with the provision of information and materials on the sectors in particular, which were established for the 1980 Population Census of Brazil by the IBGE.

The Setors were the only areal breakdowns of the country below the Municipality level, but the number was about 140 000 each with a population of nearly 1000 on average. They were therefore too big to be canvassed within a day or so, it was decided accordingly to use sub-setors, which were the further breakdowns of setors into around 10 portions, as the survey for a field enumerators. The actual work of dividing the setor on the map required hundreds of mandays at the CENB. The IBGE sampled in a single stage selection, on the basis of stratification by the Survey Committee. Information utilized at the stage was limited to regional grouping of Provinces, existence of an Association of JD's, urban or rural defined by the IBGE, those with persons born in Japan, those without persons yellow-colored, those with persons yellow-coloured but none born in Japan, -the last 3 were from the 1980 Census. The number of strata was 103.

For sampling, equal probability was employed in each stratum. Allocation of sub-sets to respected stata was decided on the basis of judgement.

To make possible error calculation simple, the sample was composed of two independent sub-samples, with about 500 sub-sets each.

Items to be studied were numerous for a JD found, but no enquiring beyond identification of JD for a non-JD.

Reducing the burden on the field force, for the complete identification of JD, in particular, it was decided to complete the study in two field visits. It was expected in the order of hundred, the sampled sub-sets actually had no-JD's.

The first round of the enquiry, termed the Basic Survey, studied only sex, age beside the record of JD. The enumerators contacted all households in the area for identification of JD's.

About 100 enumerators were selected from among the 700 applicants. For about 10 enumerators one supervisor was assigned from among the staff of the Headquarters.

They were trained for 8 days and then despatched to the assigned places. For few remote areas, field workers of the IBGE participated as enumerators.

The Basic survey was conducted during the period of the 16th-31st of July 1987.

Excepting one area which was inaccessible because of rain, all the sampled areas were surveyed.

As the post enumeration check, a sub-sample of original sample areas were selected. At the same time, sample areas with many of no-entries in the cases of large scale Apartments which were inaccessible, were surveyed during the period of the 4th-12th September.

The survey materials were checked at the Headquarters and coded for computer processing. After entry, the data tapes were sent to Japan and processed.

For the computer processing, technical assistance was provided by the Statistics Bureau of Japan and the actual processing was done at the Japan Statistical Institute.

The basic results were released in time for the Anniversary. The population of JD's, of July 1987, was estimated to be 1,228,000 (± 3000).

The second round of the survey, termed the Socio-Economic Survey, was conducted in August 1988. This time the sample were limited only to those households with JD's, in the Basic Survey. To facilitate contacts in the subsequent round, a special item was included in the Basic Survey, recording the name, address and telephone number, if existed of the person most close, for the case of possible movement. Thus the enumerators chased after such removed cases. It was, however, found that some were not contacted even with such an arrangement.

The editing and entry was done in Brazil and further processing was done in Japan as in the previous year.

Main results were made available in early 1990. Detailed and special tabulation is well scheduled but to be done at the CENB, using a micro computer.

So far reports in published form appear in two separate versions of Brazilian (Portuguese) and Japanese, first on the Basic Survey in June 1987, and the second on the Basic and Socio-Economic Surveys in 1990.

第 4 部

ポルトガル語版

PESQUISA DE COMPORTAMENTO E ATITUDE
DE JAPONESES E SEUS DESCENDENTES
RESIDENTES NO BRASIL

São Paulo, Fevereiro de 1992
CENTRO DE ESTUDOS NIPO-BRASILEIROS

Esta pesquisa contou com a assistência
financeira da
SASAGAWA PEACE FOUNDATION
1991 - 1992

CENTRO DE ESTUDOS NIPO-BRASILEIROS
Rua São Joaquim, 381 - 3º andar
CEP 01508 - São Paulo - SP

PESQUISA DOS NIKKEIS DO BRASIL

1991 - 1992

GRUPO EXECUTIVO DA PESQUISA

Presidente

Katsuzo Yamamoto - Presidente do Centro de Estudos
Nipo-Brasileiros - CENB

Membros

Takeo Kawai	-	Conselheiro do CENB
Katsunori Wakisaka	-	Diretor do CENB
Susumu Miyao	-	Superintendente do CENB
Koichi Mori	-	Pesquisador do CENB
Chikio Hayashi	-	Professor Emérito de The Institute of Statistical Mathematics
Hiroshi Mizuno	-	Ex-Professor da Faculdade de Engenharia de Nippon
Tatsuzo Suzuki	-	Professor de The Insstitute of Statistical Mathematics
Fumi Hayashi	-	Professora-Adjunto da Faculdade Feminina Tōyō-Eiwa
Ryōzō Yoshino	-	Assistente de The Institute of Statistical Mathematics

PESQUISA DE COMPORTAMENTO E ATITUDE
DE JAPONESES E SEUS DESCENDENTES
RESIDENTES NO BRASIL

PARTE I

CONCEPÇÃO, PLANEJAMENTO, REALIZAÇÃO DA PESQUISA	257
---	-----

PARTE II

Capítulo I	Itens Básicos	273
Capítulo II	Análise dos Dados Referentes à Cada Pergunta	281
Capítulo III	Esboço da Disposição Psicológica do Nikkei Brasileiro	332
Capítulo IV	Consciência dos Moradores de Tomé-Açu e Maringá	369
Capítulo V	Consciência dos Nikkei Brasileiros Residentes no Japão	389

PARTE III

1. Questionário (versão para o japonês), e Somatória simples com ou sem ponderação. Distribuição das opiniões dos nikkei brasileiros no Japão procedentes de Tomé-Açu e Maringá	395
2. Comparação das somatórias simples dos resultados das pesquisas com japoneses, nikkei brasileiros, nikkei americanos de Havai, americanos (USA), etc., por perguntas	425
3. Quadro de somatórias dos resultados segundo atributos (sexo, idade, geração, escala de japoneses) dos nikkei brasileiros	441
4. QUESTIONÁRIO DE COMPORTAMENTO ATITUDINAL	461

PARTE I

CONCEPÇÃO, PLANEJAMENTO, REALIZAÇÃO DA PESQUISA

1. OBJETIVO DA PESQUISA

Realizar estudo da consciência dos nikkeis do Brasil, focalizando principalmente o aspecto dos valores, procurando esclarecer as diferenças através das origens históricas de cada um e pelos seus atributos, e também efetuar um estudo comparativo com os dados diacrônicos disponíveis de pesquisas com japoneses e nikkeis de Hawai, e com isso tentar esclarecer as características de suas atitudes e comportamentos.

Esta pesquisa procura determinar os dados referentes aos elementos imutáveis / aculturados em decorrência da fusão/ contacto com uma cultura estranha, experienciada no processo da imigração por parte dos nikkeis do Brasil, fazendo-se ainda um posicionamento deles por meio de comparações com povos de vários países. Pretende-se colocar à disposição dos estudiosos dados básicos que servirão para pensar-se sobre a sua educação, conhecer a estrutura social dos nikkeis brasileiros, indagar da identidade dos mesmos, investigar as possibilidades de sua contribuição ao desenvolvimento da cultura brasileira, exatamente na fase em que essa comunidade se encontra no processo de mudança de gerações. Outrossim, tem-se a esperança que esses dados serão também úteis para a compreensão internacional entre os povos, para se pensar os problemas de atritos internacionais e culturais que o Japão se vê à sua volta, na elaboração de manuais para os japoneses que vão trabalhar ou residir no estrangeiro, etc.

A pesquisa será realizada através de entrevistas com as amostras cuja seleção foi feita aleatoriamente com absoluto rigor técnico abrangendo toda a comunidade nikkei do Brasil. O método de pesquisa se baseia na metodologia de pesquisa comparativa de desencadeamento, desenvolvida pelos colaboradores japoneses, e o seu conteúdo específico será determinado levando-se em consideração as necessidade de contar-se com elementos que possam abranger as atitudes e comportamentos específicos dos nikkeis brasileiros, itens específicos do Japão, itens comuns incluídos nas pesquisas anteriores com os nikkeis de Hawai e com os japoneses, assuntos comuns às sociedades modernas para se permitir comparações internacionais.

Os questionários para esta pesquisa serão elaborados pelos estudos com participação dos grupos japones e brasileiro, cabendo ao grupo brasileiro a condução dos trabalhos de campo e ao grupo japonês o trabalho de análise dos dados obtidos, sendo de responsabilidade de ambos a feitura final do relatório.

2. Histórico da Elaboração do Plano de Pesquisa

Remonta há algum tempo o plano para a realização da pesquisa de atitude e comportamento dos nikkeis do Brasil. Já por ocasião da realização do recenseamento da comunidade japonesa do Brasil (efetivado pelo grupo representado pelo Prof. Teiiti Suzuki, Centro de Estudos Japoneses da Universidade de São Paulo), na oportunidade dos festejos dos 50 anos da imigração em 1958, formou-se um grupo mixto de estudos, chegando até a obter-se os recursos necessários, mas por razões internas brasileiras a pesquisa não pôde ser concretizada.

Desde então, de ambos os lados foi mantida a expectativa, tendo havido constantes contactos entre o Centro de Estudos Nipo-Brasileiros, representado por Katsuzo Yamamoto, e The Institute of Statistical Mathematics, representado por Chikio Hayashi. Entretanto, a formação da amostra-base se tratava de tarefa extremamente dificultosa e onerosa, constituindo-se em obstáculo difícil de ser transposto.

Na oportunidade da realização dos festejos dos 80 anos de imigração japonesa no Brasil, foi incluído nos planos de eventos o trabalho de levantamento da população nikkei. O Centro de Estudos Nipo-Brasileiros, encarregado desse empreendimento, solicitou a colaboração de Hiroshi Mizuno (único especialista japonês em pesquisa por amostragens em países em vias de desenvolvimento). Com a decisiva cooperação do Instituto Brasileiro de Geografia e Estatística - IBGE, foram obtidos os dados básicos sobre os setores censitários e graças a isso se pôde elaborar o plano de pesquisas amostrais e executar os levantamentos. Conseguiu-se chegar à listagem de 1.000 setores e 4.000 amostras de nikkeis em todo o Brasil, com históricos e atributos básicos.

Tratava-se de oportunidade única para a efetivação da pesquisa de atitude e comportamento dos nikkeis no Brasil, com amostras tecnicamente precisas, justamente numa época em que se intensifica o processo de mudança de gerações entre os imigrantes japoneses e seus descendentes. Todos os envolvidos estavam conscientes da importância do trabalho e da oportunidade. Foi organizado grupo de estudos com participação de elementos dos dois países para o planejamento e execução da pesquisa.

3. Características da Pesquisa

(1) Tem base nas amostras dos nikkeis cuja representatividade é assegurada com rigor pelos procedimentos adotados. Definição precisa dos nikkeis.

Neste tipo de pesquisa, em geral, as amostras são acomodadas e carentes de representatividade do todo. A presente pesquisa se baseia em amostras corretas, extraídas por rigorosa amostragem aleatória de áreas estratificadas em escala nacional (existem mapas de localização das amostras e registros de atributos). Trata-se de característica de fundamental importância. Pode-se considerar tratar-se de primeira pesquisa em grande escala, tecnicamente rigorosa, levada a efeito junto a imigrantes em países em vias de desenvolvimento.

(2) Conta a pesquisa com a participação de pessoas com variadas experiências:

i) Pessoas que residem há muito tempo no Brasil, com conhecimento sobre a sociedade brasileira, sobre a comunidade de origem japonesa

ii) Sociólogo que reside no Brasil

iii) Especialistas nas pesquisas de nikkeis, de estatísticas de comparação internacional, pesquisas sociais, analistas de dados, e especialista por amostragem em países em via de desenvolvimento.

(3) Emprego do método de análise de pesquisa comparativa por encadeamento, moderna metodologia de comparação internacional, pelos pesquisadores japoneses, com a utilização dos dados das pesquisas de nikkeis do Hawai (4 pesquisas continuadas executadas no período de 1971 - 1988), dos japoneses (8 pesquisas em 35 anos, sobre atitudes e comportamentos) e pesquisas internacionais comparadas (em 1987, 1988 - Japão, Hawai, América do Norte, Inglaterra, Alemanha, França), que permitira lançar luzes sobre a figura inteira dos nikkeis do Brasil.

4. PLANO DE PESQUISA

4.1. Esquema da Pesquisa

A presente pesquisa de atitude e comportamento dos nikkeis do Brasil foi realizada com amostras tomadas em três grupos distintos a saber: a nível de todo o território nacional, em duas áreas específicas e amostras escolhidas entre os nikkeis brasileiros que estão residindo no Japão.

A parte principal da pesquisa é constituída pelo levantamento efetuado junto às amostras escolhidas aleatoriamente em todo o território nacional. Esta parte permite, pois, conhecer os contornos gerais da atitude e comportamento dos nikkeis do Brasil.

A pesquisa planejada para áreas específicas foi projetada para avaliar-se os mesmos aspectos em comunidades com grandes concentrações de população de origem japonesa, quicá nikkeis em maioria. Para tanto, foram escolhidos Tomé-Açú, PA, na região amazônica, e Maringá, no estado do Paraná. Esta parte da pesquisa foi projetada para verificar-se se há alguma diferença em comparação à população nikkei distribuída em todo o território nacional pelo fato de pertencerem a comunidades com grande concentração de nikkeis ou ainda por se constituir em maioria étnica na localidade. Constatar se há surgimento de nova consciência, diferente daquela possuída pelos nikkeis em geral - ou ainda no contexto das relações na sociedade ambiente e consciência dos japoneses. Pode-se dizer que esta parte da pesquisa se constitui num detalhamento para conhecer-se melhor a unidade/multiplicidade das atitudes e comportamentos dos nikkeis do Brasil.

A expectativa era de que se poderia encontrar nos resultados desta parte da pesquisa o elo de ligação com os resultados obtidos na pesquisa com os nikkeis de Hawai, onde estes não se constituem minorias étnicas propriamente ditas

A terceira se trata de levantamento feito junto a nikkeis residentes no Japão. De acordo com a pesquisa levada a efeito junto às amostras gerais do território brasileiro, em fevereiro de 1991, 8% (54/665) se encontravam no Japão como "dekassegui"; e Tomé-Açú registrou 20% (38/186) enquanto que Maringá indicava 11% (37/326). São dados que não poderiam ser deixados de lado. Assim, foi realizada pesquisa com os nikkeis brasileiros residentes no Japão. Foram executados três tipos de trabalho:

- a. Foram enviados questionários aos nikkeis originários de Tomé-Açú e Maringá quando eram conhecidos os seus endereços no Japão;
- b. Questionários respondidos por escrito pelos nikkeis brasileiros que trabalham na fábrica de Tochigi, da Isuzu Motors.
- c. Questionários respondidos por escrito pelos nikkeis brasileiros residentes na área metropolitana de Tokyo, cujos nomes constam da lista da Associação dos Nikkeis de Além-mar.

Com esta parte da pesquisa, se teve a intenção de conhecer o possível desvio do resultado obtido no Brasil, bem como conhecer em que grau a permanência no Japão pode ter influido nas mudanças de atitude e de comportamento.

4.2.Extração de Amostras da Pesquisa para o Brasil Todo

Com base na listagem geral utilizada para o levantamento populacional dos nikkeis do Brasil, realizado em 1987/88, foi elaborado o seguinte plano de pesquisa:

- a) Das "Folhas dos Questionários para Levantamento das Unidades Domésticas" (Questionário - C), preenchidas em 1987, foram previamente eliminados todos os nikkeis com menos de 18 anos e os não-nikkeis, confeccionando-se, assim, uma lista com todos os nikkeis com mais de 18 anos que comparecem nas citadas folhas. A partir dessa lista foram extraídas amostras através de contagem com intervalos iguais. Este o procedimento básico, com pequena variação de região para região.
- b) Quanto ao conjunto de amostras que serviu para a extração de amostras para a presente pesquisa - (na pesquisa de 1987/88, as amostras gerais foram divididas em sub-amostras A e B de maneira que a estimativa da população de nikkeis poderia ser feita com uma das sub-amostras) - , nos levantamentos para a região Nordeste, Município de São Paulo e para a região da Grande São Paulo foram utilizados os conjuntos A e B, enquanto que para as regiões Norte, Centro-Oeste, Sul e interior do estado de São Paulo (inclusos MG e RJ) foi utilizado somente o conjunto de sub-amostra A.
- c) A extração de amostras conforme o procedimento indicado em a) foi feita na região Norte, município de São Paulo, interior do estado de São Paulo (inclusos RJ e MG) e região Sul, enquanto que nas regiões Nordeste e Centro-Oeste foram extraídas, aleatoriamente, um nikkei com idade acima de 18 anos, de cada unidade doméstica.
- d) Nas regiões em que a extração de amostra fôra feita através da listagem de pessoas com idade acima de 18 anos, em virtude de ser pequeno o número de amostras, ao selecionar-se a quantidade de amostras previamente estabelecida, surgiram muitos casos em que as pessoas pertenciam à mesma família. Nestes casos, uma única amostra da unidade doméstica foi selecionada ao acaso. Assim, caso uma única pessoa tenha sido escolhida entre 3 que pertencem à mesma unidade doméstica, o peso para a expansão por ocasião do cálculo deverá ser 3.
- e) A seguir são indicados as regiões e os números de amostras obtidos pelos procedimentos indicados acima.

Região	Pontos pesqui- sados	Número de amostras	Conjunto utilizado	Método de amostragem
Norte	12	33	A	Listagem
Nordeste	3	4	A + B	Uma/UD
S.Paulo	157	409	A + B	Listagem
E.S.Paulo	71	143		Listagem
G.SP			A + B	
Est.SP,RJ,MG			A	
Sul	28	60	A	Listagem
Centro-Oeste	7	16	A	Uma/UD
TOTAL	278	665	-	-

4.3. Questionário

No primeiro projeto do questionário para a presente pesquisa foram juntadas perguntas específicas relativas ao Brasil, perguntas empregadas nas pesquisas de comparação internacional e aquelas utilizadas nos estudos levados a efeito junto à população nikkei de Hawai. Este primeiro projeto de questionário foi traduzido para a língua portuguesa. Este texto foi vertido novamente para a língua japonesa a fim de examinar-se as possíveis discrepâncias oriundas da passagem de uma língua para outra. Depois de cuidadoso estudo comparativo dos textos, levando-se ainda em consideração a adequação à aplicação prática, foi finalmente aprovado o questionário adotado na pesquisa.

O anexo 3 mostra o resumo para uma melhor visualização do escopo da pesquisa. O anexo 4 se trata do questionário utilizado na pesquisa e o anexo 5 é o questionário em versão japonesa (Em alguns casos este foi empregado efetivamente).

4.4. Extração das Amostras em Areas Específicas e Características dessas Amostras

Em Tomé-Açú, da lista completa dos nikkeis residentes na colônia, foram selecionadas 186 nomes por extração a intervalos iguais. Não sendo conveniente a existência de 2 ou mais amostras pertencentes a uma mesma família na pesquisa projetada, quando apareciam 2 ou mais amostras de uma mesma família, apenas um nome foi escolhido aleatoriamente.

Em Maringá, se recorreu à listagem dos sócios de uma agremiação de origem japonesa, realizando-se a extração aleatória das amostras. Em virtude do grande número de nikkeis, os intervalos de escolha foram grandes o que evitou a escolha de 2 ou mais nomes pertencentes a uma mesma família.

No caso de pesquisa junto a nikkeis brasileiros residentes no Japão, com exceção das pessoas procedentes de Tomé-Açú e Maringá, as amostras trabalhadas se mostraram um tanto peculiares. Isto foi inevitável em decorrência das limitações encontradas na própria execução da pesquisa. Com muitas pesquisas levadas a efeito pelos estudiosos japoneses, a impressão que se teve é que esses nikkeis brasileiros já se mostravam algo refratários. Nos trabalhos de campo, notou-se certa reação alérgica à pesquisa, inclusive nas repartições públicas e também nas empresas, não se encontrando muita disposição para colaborar.

Nestas circunstâncias, julgamos de melhor arbitrio dirigirmo-nos a entidades de nossas relações em que teríamos melhor acesso e acolhida. Assim, solicitamos e conseguimos realizar pesquisas com os nikkeis brasileiros que trabalham na fábrica de Tochigi, da Isuzu Motors, e com as pessoas listadas na Associação dos Nikkeis de Além-Mar (lista de pessoas residentes em todo o Japão). No que diz respeito à comparação de amostras com características variadas pode apresentar significados interessantes, mas a somatória de seus dados pode não apresentar um significado claro.

5. Realização da Pesquisa

A pesquisa foi executada seguindo-se o planejamento descrito em I. As porcentagens de recolhimento dos resultados diante das amostras aleatórias foram relativamente elevadas: 74% para todo o território nacional, 77% para Tomé-Açú e 61% para Maringá.

A seguir os resumos:

BRASIL

	Nº Pro- gramado	Nº Pes- quisado	Mudan- ça	Dekas- seguí	Recu- sa	Doente Morte	Via- gem
Norte	33	25	0	7	0	1	0
Nordeste	4	3	1	0	0	0	0
S. Paulo	409	289	39	31	21	8	21
Est. SP(Incl. GSP, MG, RJ)	143	115	5	7	6	7	3
Sul	60	49	1	8	0	1	1
Centro-Oeste	16	11	3	1	0	1	0
TOTAL	665	492	49	54	27	18	25

TOME-ACU

	Nº de UD	Amos- tras	Dekas- seguí	Impossi- bilidade	Nº Pes- quisados
1) Sem Extração	19	0	0	0	0
2) 1 Pessoa sendo	98	98	21	2	75
1/1 de 1 UD	9	9	4	1 (rec)	4
1/2	38	38	7	-	31
1/3	22	22	9	1 (excþ)	12
1/4	22	22	1	-	21
1/5	5	5	-	-	5
1/6	7	7	-	-	7
3) 2 Pessoas sendo	31	31 (62)	7	1	23
2/4 de 1 UD		7 (14)	-	-	7
2/5		13 (26)	4	-	9
2/6		7 (14)	1	1 (aus)	5
2/7		4 (8)	2	-	2
4) 3 Pessoas sendo	6	6 (18)	1	-	5
3/7 de 1 UD		2 (6)	-	-	2
3/8		1 (3)	-	-	1
3/9		3 (9)	1	-	2
5) 4 Pessoas sendo	2	2 (8)	-	-	2
4/10 de 1 UD		1 (4)	-	-	1
4/11		1 (4)	-	-	1
<u>T O T A L</u>	<u>149</u>	<u>137 (186)</u>	<u>30</u>	<u>3</u>	<u>105</u>

Obs.- Quando aconteceu a extração de duas ou mais amostras para uma mesma UD, aproveitou-se uma única amostra escolhida aleatoriamente. Assim, para o caso de 2 amostras de uma mesma UD foram 62 amostras, caso de 3 amostras de uma mesma UD aconteceram com 18 amostras e de 4 amostras se verificaram com 8 amostras. Assim, haviam sido escolhidas 186 pessoas donde foram selecionadas para entrevista 137 amostras.

MARINGÁ

	Nº A- mostras	Pesquisas Realiza- das	Não Rea- lizadas	Mudan- ça	Dekas- seguí	Recu- sa	Outras
1	20	17	3	2	1	0	0
2	20	10	10	6	0	0	4
3	18	12	6	2	1	0	3
4	19	9	10	2	4	0	4
5	17	12	5	0	2	1	2
6	19	13	6	2	3	0	1
7	20	14	6	4	2	0	0
8	22	11	11	5	4	0	2
9	18	8	10	6	2	0	2
10	19	8	11	5	3	1	2
11	19	10	9	2	1	1	5
12	19	14	5	1	4	0	0
13	18	11	7	3	1	0	3
14	21	14	7	1	2	0	4
15	22	16	6	3	2	0	1
16	16	9	7	3	3	0	1
17	19	12	7	1	2	0	4
TOTAL	326	200	126	48	37	3	38

Para todos os casos estudados foram constatadas ocorrências de mudanças, doenças/mortes e "dekassegui", causas de força-maior, e diante de relativo baixo percentual de impossibilidade por recusa, viagens, etc. que poderiam ser indicativos de falta de empenho nos trabalhos, podemos considerar que conseguimos obter resultados amostrais confiáveis.

Os recolhimentos dos questionários referentes às pesquisas de nikkeis brasileiros residentes atualmente no Japão foram feitos pelo correio: sendo 5 de Tomé-Acú, 5 de Maringá, 1 retorno em branco, 29 sem resposta e 5 não encontrados. (Isto após 2 remessas de correspondências a 44 pessoas cujos endereços haviam sido previamente conhecidos) Além disso foram incluídos 118 nomes válidos, obtidos junto a Associação Ultramarina de Nikkeis e mais 85 amostras válidas na fábrica de Tochigi, da Isuzu Motors. Com isto o número de recolhimento de Tomé-Acú soma a 110 e de Maringá vai a 205.

6. Preparativos para Análise

Nada de extraordinário nos procedimentos de checagem dos questionários recolhidos, codificação e preenchimento das

folhas dos dados, registros e memorizações nos disquetes e MT.

Na pesquisa extensiva do território nacional, foram excluídos os itens já levantados na pesquisa anterior, razão porque, através dos códigos de identificação de cada amostra, houve a necessidade de acoplamento das informações e consequente elaboração de disquetes e MT.

Para as pesquisas de áreas específicas, o trabalho de computação foi normal, pois não houve necessidade dessa operação de cotejo e acoplamento de dados.

Para as presentes pesquisas, os multiplicadores (pesos) de expansão - como se planejou a execução das pesquisas dentro de limites de tempo adequado e de orçamento disponível, os coeficientes de expansão que devem ser utilizados para cada amostra são muito variados, mas os valores estimativos precisam ser elaborados com a utilização de tais coeficientes sob pena de se ter desvios sob o ponto de vista teórico - variam de 2 dígitos a 5 dígitos.

Os resultados da análise dos dados expandidos com aqueles não expandidos serão importantes para os procedimentos futuros.

O anexo 6 reúne 4 tipos comparados de dados. São dados regularmente expandidos, dados simples sem qualquer expansão (teoricamente se torna uma estimativa com desvio), dados expandidos com exclusão daqueles cujos coeficientes são especialmente grandes (7 amostras com coeficientes acima de 10.000), dados simples obtidos com a exclusão. Nota-se que, com exceção de alguns itens especiais, não há diferença sensível (alguns pontos percentuais, mesmo para aqueles maiores). Um resultado surpreendente. Pode-se dizer que sugere que não correlação forte determinada entre a grandeza dos coeficientes e as respostas.

B-2

RESULTADOS DO TRABALHO E INFLUENCIAS PARA O FUTURO

1. Resultados das Pesquisas

As análises foram feitas sobre os dados totais, dados reunidos sob tópicos variados e importantes, com utilização de diversas escalas, multicorrelacionais, análise estrutural baseada nos fios condutores de raciocínio e os seus resultados foram comparados com os dados referentes a japoneses, a nikkeis do Hawai, e americanos, e ainda de acordo com as necessidades com os dados referentes a franceses, alemães e ingleses

Os resultados foram organizados em relatórios - Anexo nº 7 em Japonês e o nº 8 em português (o conteúdo deste não é exatamente idêntico daquele).

2. Influência para o Futuro

Com a análise dos dados levantados foi possível se obter os contornos das características dos nikkeis do Brasil. Pôde-se compreender que conservam, no que tangem aos aspectos das relações humanas, os traços japoneses, como acontece com os nikkeis de Hawai. Entretanto, no que diz respeito a outros aspectos os nikkeis brasileiros diferem dos de Hawai, sendo diferente também com os japoneses, dando-nos a entender que os traços da cultura latina marcam a sua presença.

A existência da proximidade com o Japão no que diz respeito às relações humanas, despertou a nossa atenção de que há um persistente enraizamento de "relação humana do tipo japonês". Existindo, todavia, uma série de pontos que diferem do japonês, razão porque, deixando-se passar despercebidos esses pontos, poderá propiciar o surgimento de sérios atritos. Na compreensão dos problemas dos nikkeis, é mister apreender-se amplamente esses pontos concordantes e discordantes. A partir desse conhecimento, tomamos consciência da importância de proceder-se à análise de cada detalhe.

Quanto aos detalhes, remetemos para os relatórios em anexo, mas podemos adiantar que as informações obtidas nesta pesquisa não são passíveis de ser verificadas por outros métodos. São informações detalhadas que serão indispensáveis para se pensar os problemas correlatos no futuro.

Consideramos que conseguimos atingir os objetivos da pesquisa propostos.

PARTE II

- | | |
|--------------|--|
| Capítulo I | Itens Básicos |
| Capítulo II | Análise dos Dados Referentes à Cada Pergunta |
| Capítulo III | Esboço da Disposição Psicológica do Nikkei Brasileiro |
| Capítulo IV | Consciência dos Moradores de Tomé-Açu e Maringá |
| Capítulo V | Consciência dos Nikkei Brasileiros Residentes no Japão |

CAPITULO - 1 ITENS BASICOS

1. Características dos nikkeis que atenderam à presente pesquisa (Cifras em %)

a. Sexo	Masculino	55,3
	Feminino	44,7

b. Idade	19 - 29	19,9
	30 - 39	20,1
	40 - 49	19,8
	50 - 59	19,7
	60 - *	20,4

* No levantamento JICA de 1987

60 - foi de 17,4%, com a seguinte distribuição:

60 - 69	10,1
70 - 79	4,2
80 -	3,1

c. Geração	1ª geração	19,0
	2ª pura	46,5
	2ª miscig.	1,3
	3ª pura	24,7
	3ª miscig.	5,6
	4ª pura	0,5
	4ª miscig.	1,8
	Sem inf.	0,6

Adicionando-se à 1ª geração os percentuais correspondentes às 2ª, 3ª e 4ª gerações puras alcançam-se 90,7%.

Os miscigenados são 3% para os de 2ª geração, sendo 23% de 3ª geração.

d. Ocupação

Técnica-Científica	9,1
Administrativa	17,3
Agropecuária-Extrativa	9,6
Ind.Transform.Constr. Civil	7,8
Comércio e Ativ.Auxiliares	9,5
Transportes e Comunicações	3,2
Prestação de Serviços	7,0
Outras e Sem Ocupação	36,5

e. Posição de Ocupação

Empregador	16,6
Por Conta Própria	13,8
Empregado	27,5
Trabalho Familiar	6,8
Outras e Sem Ocupação	35,3

f. Escolaridade (No Brasil)

Primário Concluído	40,1
Secundário Concluído	24,1
Superior - Especializado	18,6
Não corresponde	16,7

(No Japão)

Primário Concluído	38,9
Ginasial Regime Atual	33,8
Gin.Ant.-Colegial Atual	13,0
Superior - Especializado	14,3

Juntando-se os dados sobre escolaridade no Brasil e do Japão, a situação é a seguinte:

Instrução Primária	52,3
Instrução Secundária	27,7
Instrução Superior	19,2
Sem Informação	0,8

g. Locais de Nascimento

Os nascidos no Japão somam 19,0% e 79,4% nasceram no Brasil. Destes:

Nasceram na Zona Rural	49,1
Nasceram na Zona Urbana	50,9

<NOTA>

Nos estudos realizados com amostragens feitas entre os eleitores da cidade de Honolulu, as porcentagens dos nikkeis foram: 42% (1978), 38% (1983) e 36% (1988)

A distribuição por gerações da população nikkei de Honolulu (Hawaii) é a seguinte (%):

	1971	1978	1983	1988
1ª Geração	3	5	3	2
2ª Geração	55	50	41	46
3ª Geração	35	37	35	40
Acima da 4ª Geração	1	2	4	4
Mistura*	6	4	17	6
Sem Informação	0	2	0	2

* Mistura - Indica as formas como 1ª geração + 2ª geração, 2ª + 3ª, 3ª + 4ª.

No Brasil o número de issei é grande enquanto é pequeno o número de sansei. Os nisseis se igualam.

Em 1988, a composição etária era a seguinte:

18 - 19	1,7
20 - 29	6,6
30 - 39	14,5
40 - 49	17,2
50 - 59	16,2
60 - 69	24,4
70 -	19,4

Hawai tem, de longe, composições de faixas etárias mais elevadas. A proporção entre sexos é de 48,1% de homens e 51,9% de mulheres. Quanto à escolaridade: instrução primária 8,4%; secundária - 39,5%; superior - 51,6% e Sem informação 0,6%, mais elevada, portanto, em Hawai.

2. Nikkei brasileiro e o Japão e a língua japonesa
- Inclusive comparação com os nikkeis de Hawai

a - Sobre a língua japonesa

(i) Conversar, ler e escrever

Vamos, inicialmente, considerar o nível de habilitação de conversação, leitura e escrita em língua japonesa:

Conversação:

Nada	28,2	(1,6)
Um pouco	22,3	(6,6)
Suficientemente	48,4	(90,6)
Outras	1,2	(1,2)

Leitura - Escrita:

Nada	54,1	(8,4)
Um pouco	16,2	(7,4)
Suficientemente	28,6	(83,0)
Outras	1,2	(1,2)

As cifras entre parênteses se referem à língua portuguesa.

Cerca da metade fala e um quarto das pessoas consegue ler e escrever. Observando-se sob o ponto de vista das idades, fazendo a separação etária por faixas de 10 anos, a partir dos 20 até 60 anos de idade, se têm as seguintes porcentagens para as pessoas que se declaram falar suficientemente bem: 10%, 24%, 57%, 62% e 89%, respectivamente, notando-se flagrante diferença nas faixas etárias de menos de 40 anos daquelas com idades mais avançadas.

Considerando-se os aspectos da leitura e escrita, os percentuais correspondentes se apresentam da seguinte maneira: 3%, 7%, 16%, 45% e 70%, respectivamente, de maneira que o salto nítido comparece nas faixas etárias que têm como divisor de água a idade de 50 anos.

Na classificação segundo os sexos, os homens apresentam-se com percentuais maiores em cerca de 10% nas conversações, leitura e escrita em língua japonesa.

Entre as pessoas das 1ª, 2ª e 3ª gerações, 92%, 56% e 12%, respectivamente, declaram-se que falam suficientemente, enquanto que nas leituras e nas

escritas, respectivamente, 82%, 25% e 4% declaram que as fazem suficientemente bem.

Mesmo entre isseis, 1% se diz totalmente incapaz e 7% declaram que falam apenas pouco a língua japonesa.

Ao que parece, os homens apresentam capacitação algo superior em comparação com as mulheres.

Os nikkeis de Hawai apresentam a seguinte situação (1988), devendo fazer-se a observação de que as perguntas formuladas foram algo diferentes:

<Em que grau consegue usar a língua japonesa?>

1. Fluentemente	14%
2. Passável	32%
3. Compreende mas não fala	26%
4. Quase nada	21%
5. Nada	7%

Verdade que seria necessário levar-se em consideração que no Brasil há maior número de isseis, mas no geral, se pode considerar que os nikkeis do Brasil se situam em melhores condições tanto nas conversações como na leitura e na escrita da língua japonesa. Entretanto, merece observar-se que em Hawai também se pratica a língua japonesa em nível apreciável. Analisando-se os dados a partir de 1971, verifica-se, dentro dos quadros gerais, uma regressão gradativa no que diz respeito à força da língua japonesa, mas não se observa mudanças sensíveis a partir de 1983.

(ii) Carta

Em relação à pergunta de maior facilidade em escrever carta em português ou em japonês, as respostas registradas foram: mais fácil em japonês - 23,7%, em português - 71,0%, sem muita diferença - 3,4%, outras - 2,0%.

Com os nikkeis de Hawai, os percentuais correspondentes (obviamente em inglês) são: 3,3%, 93,3%, 1,7% e 1,7%, o que ao levar-se em conta as proporções dos isseis (Brasil - 19% e Hawai - 2%)

* não implica em diferença sensível.

(iii) Jornal

As perguntas foram divididas em: nunca lê jornal, lê às vezes e lê periodicamente; e em seguida se lê jornais em língua japonesa e em português. Vamos a seguir ver os percentuais dessas leituras:

Em Hawai, à pergunta "com que frequência lê jornal de língua japonesa" foram obtidas as seguintes respostas: nunca lê - 84%; lê às vezes - 9%; lê periodicamente - 5%; e não sei que pode ser considerado mais propenso a não ler.

(iv) Conta de Cor

Pergunta-se se faz conta de cor em japoneses ou em portugueses. O cotejo com as respostas obtidas em Hawaii apresenta o seguinte resultado (%):
(Esta pergunta é considerada como indicadora da capacitação na língua como também do grau de proximidade com a língua japonesa na vida cotidiana).

Resposta	Brasil	Hawaii			
		1988	1983	1978	1971
Japones	19,1	2,2	4	6	2
Portugues	72,3	-	-	-	-
Ingles	-	92,2	95	91	96
Mistura	8,0	3,9	1	2	2
Outras/Não sei	0,6	1,7	0	1	0

Assinala-se a mesma tendência notada com a leitura e escrita, e excluída a influência dos isseis, os resultados se aproximam.

Segundo as faixas etárias, aqueles que declaram valer-se da língua japonesa para fazer as contas mentalmente se distribuem da seguinte maneira: 0,5% para os de 20 - 29 anos; zero para a faixa de 30 - 39 anos; 5% para 40 - 49 anos; 24% para a faixa de 50 - 59 anos, e 65% para aqueles com mais de 60 anos de idade. Vê-se, pois, que há uma crivagem nítida entre as faixas de até 40 - 49 anos e depois dos 50 anos de idade.
Abrangem 72% de issei, 11% de 2ª geração e apenas 1,2% de gente da 3ª geração.

(v) Número de anos de frequência em escola de língua japonesa

Ao comparar-se a situação dos nikkeis do Brasil e de Hawaii tem-se a seguinte situação (%):

Nº de Anos	Brasil	Hawaii			
		1988	1983	1978	1971
0	49,2	17,3	19	13	17
1.2 anos	15,9	11,7	10	8	7
3.4.5 anos	17,1	19,4	19	19	16
6- 10 anos	9,6	35,0	38	42	44
> 10 anos	4,1	15,0	14	17	16
Não sabe	0	1,6	0	1	1

Existe a questão do issei, não se podendo fazer uma comparação direta.

Do ponto de vista dos números de anos de frequência nas escolas de língua japonesa, o Brasil apresenta

números inferiores, mas há que se levar em conta o aspecto de ensino no lar, dificultando, por isso, uma conclusão.

b - Música e Vídeo Japoneses

(i) Música

Perguntou-se se gosta de músicas brasileira e japonesa. Como foi feita a mesma pergunta em Hawai, vamos proceder à comparação (%):

	Brasil		Hawai	
		1988	1983	1978
Gosta de ambas	63,5	73,9	74	72
Japonesa	17,2	3,9	6	3
Brasileira	16,8	-	-	-
Americana	-	5,6	7	13
Não gosta m.j.	> 2,2	12,2	7	10
Não gosta ambas				
Outras	0,3	4,4	2	2

Tanto Brasil como Hawai apresentam tendências iguais com "ambas".

(ii) Vídeo

A pergunta era "você assiste ao vídeo japonês?"
Assisto sempre - 15,5%; às vezes - 45,9%. Cerca de 60% assistem-no de alguma forma.

c - Amigos

(i) Relação de amizade

Procurou-se saber a respeito de amigos nikkeis. O levantamento em Hawai obedeceu à pergunta um tanto diferente, mas fazemos a comparação:

	Brasil		Hawai		
		1988	1983	1978	1971
Maioria					
nikkei	15,7	35,0	43	54	59
Ambos	65,0	60,0	52	28	37
Maioria					
não nikkei	15,6	2,8	4	14	3
Não possui					
amigos nikkei	2,7	0,6	1	3	1
Outros/não sei	1,0	1,7	0	1	0

Em Hawai, os nikkeis residem em áreas com alta densidade demográfica de nikkeis pelo que resulta

em maior relacionamento entre eles do que no Brasil.

Constata-se, em Hawai, a tendência de a maioria ter ambos, isto é amigos nikkeis e não nikkeis.

(ii) Colegas de trabalho

Indaga-se a respeito dos colegas de trabalho, se nikkeis ou não:

Resposta	Brasil	Hawai 1988
Maioria nikkei	5,6	12,8
Ambos	17,6	47,2-
Maioria não nikkei	18,0	16,1
Não existem nikkeis	18,2	3,3
Outros/Não sei	40,6	20,5

Como existem pessoas que não se enquadram nas perguntas formuladas, aparentemente se notam diferenças.

Excluindo-se os "outros/não sei", a situação se apresenta da seguinte maneira:

Resposta	Brasil	Hawai 1988
Maioria nikkei	9,4	16,1
Ambos	29,6	59,4
Maioria não nikkei	30,3	20,3
Não existem nikkeis	30,7	4,2

Constata-se diferença com a população nikkei de Hawai com a do Brasil.

d - Participação em entidades nikkeis

A participação em entidades nikkeis como família alcança 35,9% e a participação individual é de 10,4%.

e - Intercâmbio com o Japão

15% das pessoas já estiveram no Japão e 85% não têm essa experiência.

Entre os motivos da visita se destacam turismo (6%), e visita a parentes (6%).

Grande número de pessoas desejam visitar o Japão (86%). Os motivos enumerados são: turismo - 45%, visita a parentes - 16%, estudos -- 5%, viagem a serviço - 2%, "dekassegui" - 14%, outros - 4%.

Os 14% que se referem a "dekassegui" são um tanto superiores à cifra dos que presentemente se encontram no Japão. Somadas as duas cifras, seriam supostamente 25%. Não saberíamos dizer se eles representam o possível limite do número de

... pessoas que tencionam visitar o Japão sob essa rubrica ou se incluem pessoas que apenas desejam visitar aquele país. Diante da situação atual, não se têm condições de definir, mas se trata de cifra que merece atenção.

CAPITULO II - ANALISE DOS DADOS REFERENTES A CADA PERGUNTA

As perguntas foram classificadas em grupos conforme se pode ver adiante, e as respostas a cada uma das perguntas são apresentadas a seguir para se poder fazer a apreensão geral da situação.

Será feita análise, comparando-se com os dados correspondentes dos Japão, dos nikkeis de Hawai e dos americanos.

I - Atitude social frente aos aspectos gerais

Pergunta 20	Satisfação em relação à vida
" 8	Satisfação em relação à saúde
" 19	Importância em relação às diversas áreas da vida social
" 16	Forma de viver
" 9	Expectativa para o futuro
" 10	Preocupações diversas

II - Visão sobre o trabalho

Pergunta 13	Trabalhar a vida toda
" 14	Dinheiro e trabalho
" 15	Condições para o trabalho

III - Fatos sociais próximos a todas as pessoas

(i) - Itens genéricos

Pergunta F7	Sensação de "mottainai"
" 22	Ensinar que o dinheiro é uma coisa importante
" 23	Liberdade ou disciplina
" 25	Obedecer aos costumes

(ii) - Relações humanas

Pergunta 17	Formiga e grilo
" 30	Professor praticou ato condenável
" 31	Terra natal e firma - caso do benfeitor
" 32	Terra natal e firma - caso do pai
" 35	Importância dos princípios morais
" 36	Amigo desejável
" 37	Princípios ou consenso
" 38	Admissão à empresa - 1º colocado e parente
" 39	Admissão à empresa - 1º colocado e filho do benfeitor
" 40	Chefe camarada

(iii) - Sentimento de confiança

Pergunta	41	Para os outros ou para si
"	42	Pessoas tentam tirar vantagem
"	43	Confiança nas pessoas

IV - Família

Pergunta	27	Lar - único lugar para sentir-se bem
"	28	Divórcio
"	29	Trabalho de mulher

V - Ancestrais. Linhagem familiar

Pergunta	11	Respeito aos ancestrais
"	12	Adoção de criança

VI - Religião

Pergunta	48	Ter religião
"	49	Importância da religiosidade
"	50	Ensinamentos religiosos são iguais

VII - Visão da civilização científica

Pergunta	21	Desaparecimento dos sentimentos humanos
"	26	Riqueza dos sentimentos não diminuem
"	33	Relação entre o homem e a natureza
"	44	Mudanças por causa dos computadores
"	45	Defesa do meio ambiente

VIII- Atitude política

Pergunta	24	Deixar por conta dos políticos
"	34	Felicidade do indivíduo e nação
"	51	Ideologias
"	52	Meta nacional

IX - Perguntas abertas

Para as comparações das respostas gerais, examinar o quadro comparativo da distribuição das respostas referentes aos grupos (Anexo 2), e para as perguntas abertas o Anexo 3

E o quadro de distribuição das respostas por sexo, por faixas etárias, por geração e por escala japonesa (será definida mais adiante) é apresentado no Anexo 4.

1 - Atitude social perante as situações gerais - I

A seguir, para todos os itens, serão apresentados as respectivas perguntas, e em seguida, para aqueles itens em que existem dados serão feitas comparações.

As abreviaturas adotadas são:

- J - Japão-Japoneses (1988)
- JB - Nikkeis Brasileiros (1992)
- JA4 - Nikkeis de Hawai (1988)
- A - Americanos do Continente (1988)

Nos gráficos, JB vem assinalado com x para melhor visualização.

Nos textos explicativos também, a bem da simplificação, serão empregadas as abreviaturas acima - J, JB, JA (eliminando-se o índice 4 de JA4) e A.

Os dados de J foram utilizados para efeito de comparação de JB com JA, e a introdução dos dados de A se fez pensando-se na comparação com JB no contexto da comparação entre JA e A.

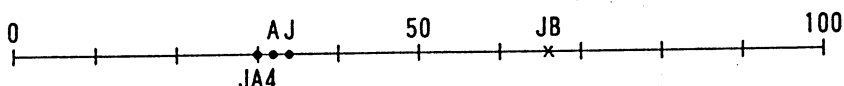
Além disso, comparações com os dados da França foram empregadas em muitas ocasiões tendo em vista a origem latina, na ausência de dados obtidos junto a demais povos de ascendência latina. Entretanto, as considerações em torno dos dados da França só foram feitas na parte expositiva, pois estes se acham localizados muito distantes para serem incluídos dentro dos quadros.

Pergunta 20 - Vamos perguntar sobre a sua vida. Em poucas palavras, você se sente satisfeito com a sua vida atual ou insatisfeito?

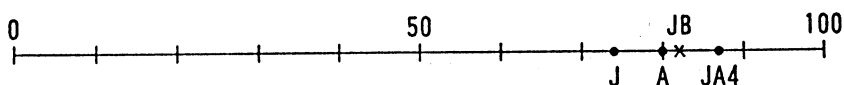
- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 - Satisfeito | 5 - Insatisfeito |
| 2 - Algo satisfeito | 6 - Outro (Especif.) |
| 3 - Depende | 7 - Não sei |
| 4 - Algo insatisfeito | |

Q 20 - Satisfeito

<1>

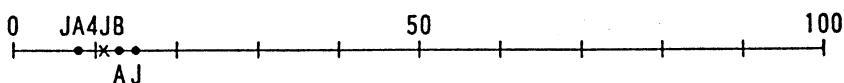


<1+2>



Q 20 - Depende

<3>



O grau de satisfação de JB é elevado e J apresenta algo baixo. É de notar-se que em JB é bastante elevada a expressão muito satisfeito. Somando-se satisfeito e algo satisfeito, JA, JB e A se aproximam, enquanto que J se situa

um tanto distante. Cotejando-se JA com JB, as cifras praticamente se igualam, mas é mais encontradiça a expressão extremada em JB.

Examinando-se as respostas segundo as faixas etárias, quanto mais avança a idade o grau de satisfação é mais elevado como acontece em J, sendo de observar-se que a expressão muito aumenta com a idade, chegando a 83% na faixa de mais de 60 anos.

Muito satisfeito (entre parêntese - muito satisfeito acrescido de satisfeito), respondido pelas diferentes gerações, tem a seguinte distribuição: 1ª geração - 71%, 2ª geração - 74% e 3ª geração - 43%. Somando-se a este os dados referentes a satisfeito, praticamente não se nota diferença entre 1ª e 2ª gerações, pois os percentuais são, respectivamente, 90% e 89%, enquanto que com a 3ª geração o dado correspondente é de 64%.

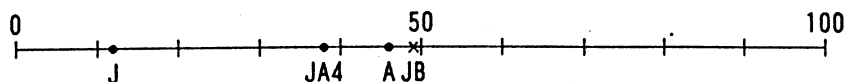
Prevalece aqui o fator idade sobre as diferenças de geração. Não se nota grande diferença entre homens e mulheres.

Pergunta 8 - Para a sua idade, está satisfeito(a) com a sua saúde?

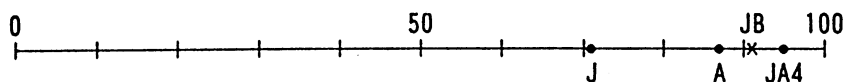
- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1 - Muito satisfeito(a) | 4 - Muito insatisfeito |
| 2 - Satisfeito(a) | 5 - Outros(Especif.) |
| 3 - Insatisfeito(a) | 6 - Não sei |

Q8

<1> Muito satisfeito

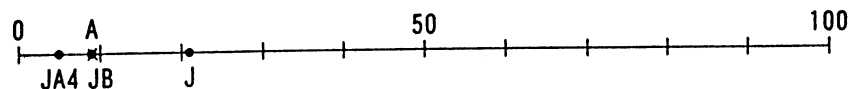


<1 + 2>

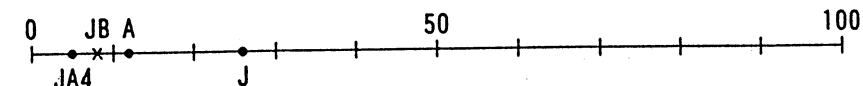


Q8

<3> Insatisfeito



<3 + 4>



Quanto a muito satisfeito JB e A se acham próximos sendo baixo o dado referente a J. Acrescentando-se os percentuais

referentes a satsifeito a diferença diminui, mas ainda J se apresenta algo mais baixo. JB e JA se igualam, mas é interessante notar-se que, em comparação com JA, JB apresentam mais expressão extremada.

Examinando-se os percentuais de muito satisfeito para as idades a partir de 20 anos, divididas em faixas de 10 anos até acima de 60 anos, se têm, respectivamente, 28%, 42%, 60%, 59% e 54%, devendo-se notar que há elevação nas faixas de maior idade.

Entretanto, acrescentando-se muito satisfeito com satisfeito, os dados se distribuem, respectivamente, da seguinte maneira: 97%, 90%, 90%, 93% e 84%, verificando-se, pois, diminuição na diferença, com ligeira queda para a faixa acima de 60 anos de idade.

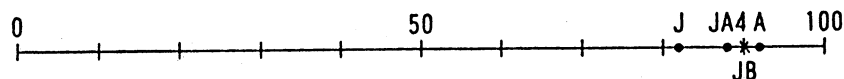
Examinando-se segundo as gerações, 1ª, 2ª e 3ª, 61%, 52% e 36%, respectivamente, se dizem muito satisfeitos, e adicionando-se os satisfeitos, os percentuais ficam em 89%, 92% e 92%, desaparecendo as diferenças.

Pergunta 19 - Usando-se a escala, onde "7" é "muito importante", e "1" é "nada importante", você poderia dizer a importância dos seguintes assuntos?

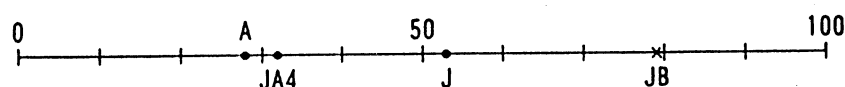
	Nada im- portante						Muito im- portante	Não sei
a. Família e Crianças	1	2	3	4	5	6	7	0
b. Profissão e Trabalho	1	2	3	4	5	6	7	0
c. Tempo Livre e Folga	1	2	3	4	5	6	7	0
d. Amigos e Conhecidos	1	2	3	4	5	6	7	0
e. Pais, Irmãos e Parentes	1	2	3	4	5	6	7	0
f. Religião	1	2	3	4	5	6	7	0
g. Política	1	2	3	4	5	6	7	0

Serão apresentados apenas os quadros referentes a "muito importante" < grau 7 >.

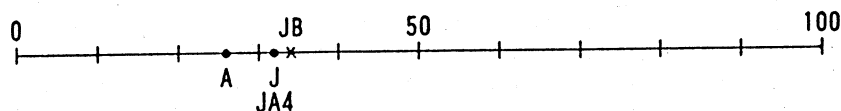
Q 19 < a. Muito importante >



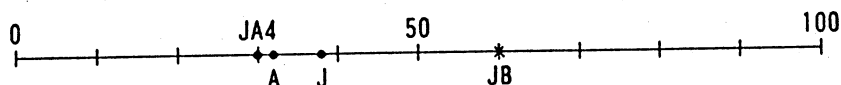
Q 19 < b. Muito importante >



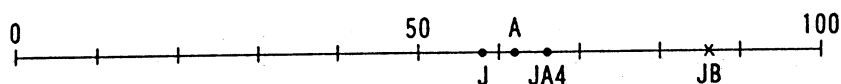
Q 19 < c. Muito importante >



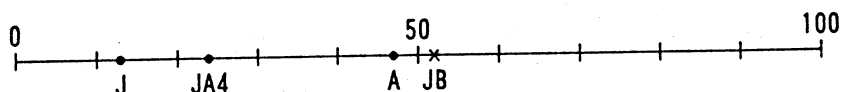
Q 19 < d. Muito importante >



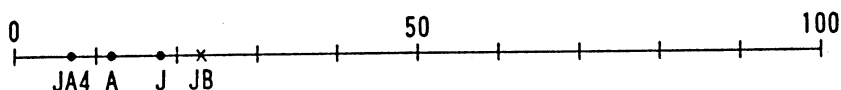
Q 19 < e. Muito importante >



Q 19 < f. Muito importante >



Q 19 < g. Muito importante >



Nos itens a, c, não se verifica diferença digna de nota, mas nos demais itens, JB apresentam acentuadamente como muito importantes.

No que diz respeito à religião, se aproxima de A, mas no geral, destaca-se a reação mais extremada, ou seja, muito importante. As respostas mais acentuadas em JB se referem aos itens a, d, e, aos quais se segue o item d.

JB, A e JA dão maior ênfase à religião do que à política enquanto que em J se atribui, praticamente, igual importância, por sinal baixa.

A leitura do gráfico, se dá conta de que JA se aproximam mais de A do que de J.

JB não são necessariamente próximos a J.

Não se tem comentário especial quando vistas as respostas segundo as faixas etárias, remetendo-se à leitura do Anexo correspondente.

Segundo as gerações, os itens c, d, f apresentam algumas diferenças, mas os itens a, b, e, g, apresentam pouca ou nenhuma diferença.

Pergunta 16 - Há toda sorte de atitudes perante a vida.

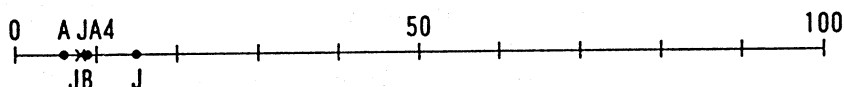
Qual das declarações seguintes diria que mais se aproxima da sua forma de viver?

1. Trabalhar arduamente e se tornar rico
2. Estudar com dedicação e conseguir destacar

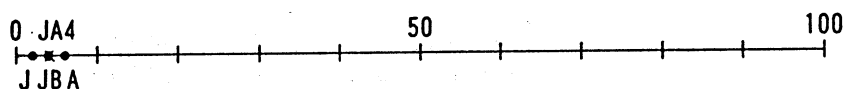
-se

3. Não pensar em dinheiro ou fama; apenas viver uma vida que esteja de acordo com a sua maneira de ser
4. Viver cada dia como ela se apresenta, com alegria e sem aborrecimentos
5. Resistir a todos os males do mundo e viver uma vida pura e justa
6. Nunca pensar de si mesmo e se entregar inteiramente a serviço da sociedade
7. Outro (Especificar)
8. Não sei

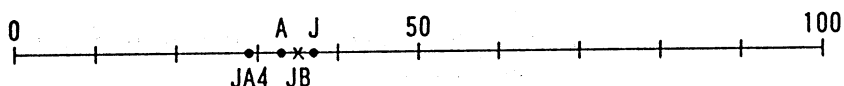
Q 16 <1> Ficar rico



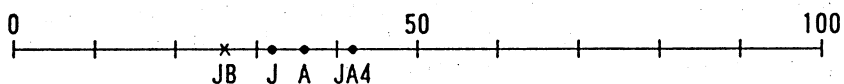
Q 16 <2> Conseguir destacar-se



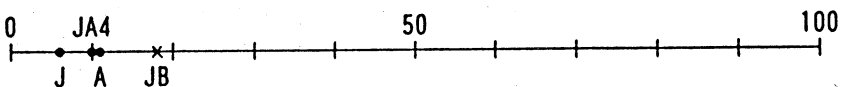
Q 16 <3> Viver de acordo com a sua maneira de ser



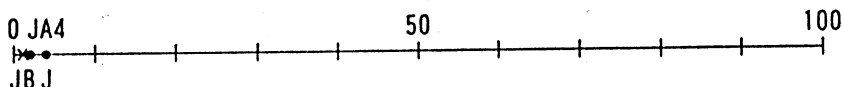
Q 16 <4> Viver com alegria e sem aborrecimentos



Q 16 <5> Viver uma vida pura e justa



Q 16 <6> Entregar-se inteiramente a serviço da sociedade



Nenhum país apresenta cifra discrepante. Viver de acordo com a sua maneira de ser (JB - 36%) e com alegria e sem aborrecimentos (JB - 26%, JA - 43%, maior percentual) são os itens que apresentam maiores índices.

O item que diz do serviço à sociedade tem a menor referência. Viver uma vida pura e justa: JB registram 19% que merecem ser anotados. Neste item se observam maiores índices nas camadas de idades mais elevadas. Em relação às gerações, não é observada diferença acentuada, mas como tendência, se pode dizer que entre sanseis se nota alguma inclinação a tornar-se rico e viver de acordo com a sua maneira de ser. Há também inclinação um pouco mais acentuada entre a 2ª geração em viver com alegria e sem aborrecimentos, e viver uma vida pura e justa por parte das pessoas da 1ª geração.

Pergunta 9 - Julgamos que cada qual tenha expectativas e esperança no futuro. Que expectativas e esperança você tem em relação aos seguintes itens?

1. Muita esperanmça. 2. Alguma esperança.
3. Pouca esperança. 4. Sem qualquer esperança
5. Outras. 6. Não sei
7. Não corresponde.

a. Sucesso social e econômico	1	2	3	4	5	6	7
b. Casamento e vida familiar	1	2	3	4	5	6	7
c. Futuro dos filhos	1	2	3	4	5	6	7
d. O mundo será melhor	1	2	3	4	5	6	7
e. Política e economia do País	1	2	3	4	5	6	7
f. Paz do mundo	1	2	3	4	5	6	7
g. Conservação do meio ambiente da Terra	1	2	3	4	5	6	7

As perguntas estão estruturadas de maneira a partir da moral, para a preocupação com a família, depois para o país e por fim o mundo, isto é, vão numa escala crescente dos problemas a serem considerados.

Esta pergunta foi colocada apenas para JB.

Area	Muita es- perança	Ordem sequen- cial	Muita es- perança + Alguma espe- rança	Ordem sequen- cial
a	48	3	75	3
b	54	2	78	2
c	63	1	80	1
d	42	5	71	4
e	23	7	49	7
f	43	4	67	5
g	36	6	60	6

No geral, as resportas "sem qualquer esperança" foram no máximo de 13% (e. Política e economia do País). O resultado

pode ser considerado, no todo, como sendo de perspectiva positiva.

Expectativas promissoras são mais acentuadas nos itens de natureza pessoal (c, b, a), depois vêm as coisas do mundo e a paz (d, f), e em seguida o meio ambiente (g), vindo por último o item referente ao País (e).

Examinando-se segundo as faixas etárias, a, b, têm a preferência dos mais jovens; com os itens e, f, mais apontados pelas pessoas de meia idade, sendo que os mais idosos depositam esperanças a respeito de d, e, f.

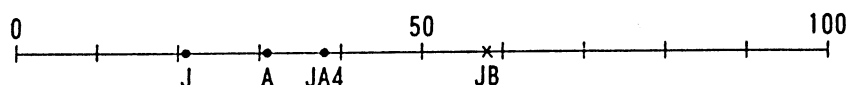
Pergunta 10 - Você deve ter momentos de preocupação, sobre si e para com os familiares. Em que extensão é a sua preocupação em relação aos itens seguintes?

1. Muito 2. Algo 3. Levemente.
4. Nada 0. Não sei

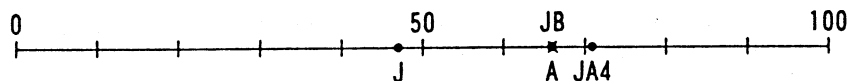
a. Doença séria	1	2	3	4	0
b. Acidente de carro	1	2	3	4	0
c. Desemprego	1	2	3	4	0
d. Guerra	1	2	3	4	0
e. Acidente nuclear	1	2	3	4	0
E sobre os seguintes itens?					
f. Violência	1	2	3	4	0
g. Drogas	1	2	3	4	0
h. Problemas ambientais	1	2	3	4	0
i. Economia e política do País	1	2	3	4	0

Quanto aos itens a, b, c, d, e, existem dados para as comparações internacionais.

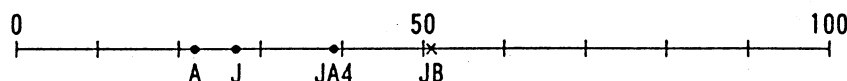
Q 10 - (Muito - Doença)



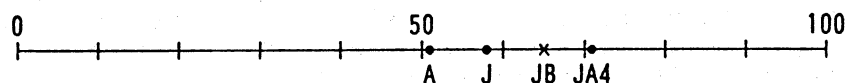
<1 + 2>



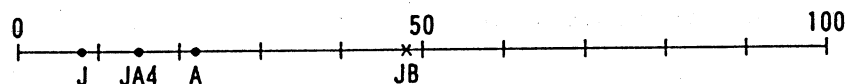
Q 10 - (Muito - Acidente de carro)



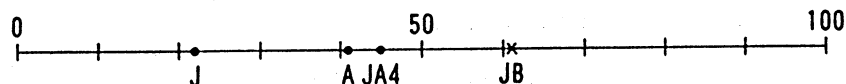
< 1 + 2>



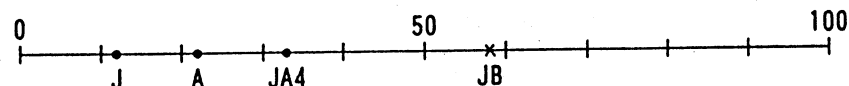
Q 10 - (Muito - Desemprego)



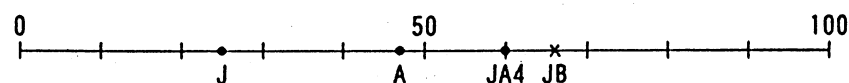
< 1 + 2>



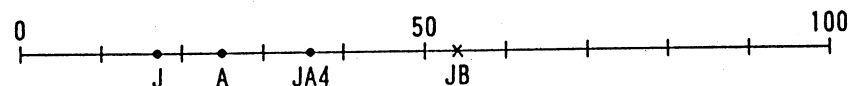
Q 10 - (Muito - Guerra)



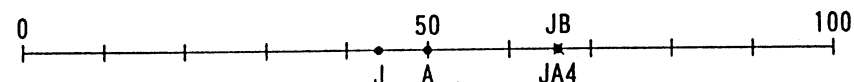
< 1 + 2>



Q 10 - (Muito - Acidente nuclear)



< 1 + 2>



Considerando as respostas "muito preocupado", constata-se a colocação destacada de JB. Acrescentando-se às respectivas respostas as classificadas em "algo", as diferenças se tornam menores. De modo geral, os niqueis, tanto brasileiro como o americano, ao que parece, sentem maiores preocupações em comparação com A e J, particularmente JB que se consideram muito preocupados. Pode-se dizer que J têm menos sensação de insegurança. Examinando-se as respostas "levemente", nota-se maior frequência entre os japoneses. No quadro seguinte, procurou-se ordenar os graus de preocupação por áreas:

	J	JB	JA	A
a	4	1	2	3
b	3	1	2	4
c	4	1	3	2
d	4	1	2	3
e	4	1	2	3
Soma das ordens	19	5	11	15

A sequência obtida, como se vê, ficou formada por JB, JA, A, J, tornando mais evidente o que foi exposto acima.

Listando-se as ordens sequenciais das preocupações expressas em cada um dos países, se tem o quadro seguinte:

	J	JB	JA	A
a	2	1	1	1
b	1	4	1	3
c	5	5	5	3
d	4	1	4	3
e	3	3	1	2

Trata-se de avaliação relativa por país. Doença grave se situa em primeiro lugar. Em todos os países, o desemprego é alvo de menor preocupação, mas o acidente de trânsito, guerra e acidente nuclear apresentam variações.

Entre J e JA o desemprego e guerra, e com JB o acidente de trânsito e desemprego são alvo de menores preocupações, sendo que entre A são menores as preocupações com acidente de trânsito, desemprego e guerra. Observando-se as respostas sobre a guerra, a preocupação é menor em A que tem potencialmente mais chances de envolvimento em conflito, enquanto que com JB, residentes em país com menos chance de guerra, a preocupação correspondente é maior.

Listando-se as respostas "sentir muita preocupação" por gerações, em ordem sequencial, tem-se o seguinte quadro:

	1ª Geração	2ª Geração	3ª Geração
a	3	2	1
b	2	1	2
c	3	1	2
d	2	1	2
e	2	1	1

Verifica-se a tendência de menor preocupação por parte das pessoas da 1ª geração e mais preocupações entre os nisseis.

Foi feito ordenamento das respostas "sente muita preocupação" incluindo-se os itens f, g, h, i, que fizeram parte só do questionário brasileiro:

1.	f	76,7%
2.	g	67,3%
3.	d	56,5%
3.	i	56,2%
3.	a	56,0%
6.	e	53,8%
7.	f	50,7%
8.	b	48,3%
8.	c	48,0%

Os novos itens f- "violência" e g- "droga", seguidos de i- "economia e política do País" passaram a figurar nos primeiros lugares como alvos de "muita preocupação", devendo destacar-se que aos itens f, g, foram atribuídas pontuações bastante superiores do que nos itens que compõem as comparações internacionais.

No que diz respeito aos itens considerados apenas na pesquisa brasileira, o quadro seguinte mostra a situação de "sentir muita preocupação" segundo as gerações:

	1ª Geração	2ª Geração	3ª Geração
f	3	1	2
g	3	1	2
h	2	1	2
i	3	1	2

Os nisseis demonstram maior tendência de preocupação enquanto que os isseis expressam em menor grau esse sentimento. Nesse sentido, parece que se pode dizer que no Brasil, relativamente, os isseis são mais otimistas enquanto que os nisseis têm maior propensão ao pessimismo.

COMENTARIO A RESPEITO DE I RELATIVO A JB

Elevado grau de satisfação em relação à vida e à saúde e ainda índices altos nas respostas atribuindo maiores importâncias aos itens que pertencem à área da vida, evidenciando-se ainda as respostas com preocupações acentuadas. Esse comportamento, à primeira vista, pode parecer contraditório, colocando-nos numa certa perspectiva. Poder-se-ia dizer que "a uma pergunta colocada, têm forte

tendência a reagir no extremo", isto é, que se poderia estabelecer uma hipótese de que demonstram reações superlativas (pelo menos quando estão sendo pesquisados em língua portuguesa).

E também uma outra tendência que se destaca: visão otimista, promissora para o futuro.

Quanto à maneira de viver, não se constatam destaques características que possam distinguir nitidamente um país de outro.

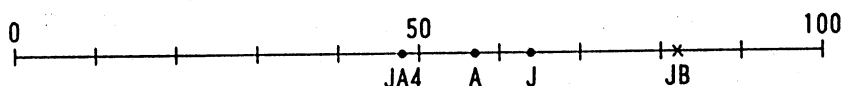
O fato de sentir muita preocupação tem semelhança com os franceses, mas o grau de satisfação na vida mais elevado por parte de JB faz diferença com os franceses.

II - VISAO SOBRE O TRABALHO.

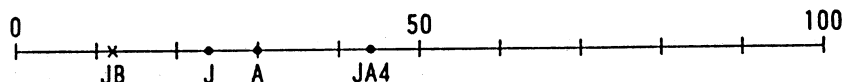
Pergunta 13 - Se você obtiver dinheiro suficiente para viver confortavelmente o resto de sua vida continuaria a trabalhar ou pararia de trabalhar?

1. Continuaria a trabalhar
2. Pararia de trabalhar
3. Outro (espec)
4. Não sei

Q 13 - (Continuaria a trabalhar)



Q 13 - (Pararia de trabalhar)



Os nikkeis brasileiros dizem que continuariam a trabalhar em proporção muito superior aos japoneses. No Japão também esse procedimento tem alto índice, mas deve ser alvo de atenção o fato de JB apresentar percentual superior. A menor porcentagem nesse sentido é apresentado pelos JA.

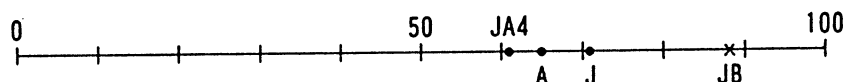
Considerando-se esse item por idade, até 50 anos os que desejam continuar trabalhando são acentuadamente numerosos. Dividindo-se em faixas etárias os resultados são: 20 - 29 anos - 94%; 30 - 39 anos - 84%; 40 - 49 anos - 90%; 50 - 59 anos - 86%; acima de 60 anos - 63%.

São em 72% os isseis que não abandonariam os trabalhos; 83% para os nisseis e para a 3ª geração esse índice é de 90%. Aqueles que dizem parar de trabalhar: 24% para issei, 11% de nissei e 7% de sansei. Parece que os aspectos da idade e das gerações exercem alguma influência.

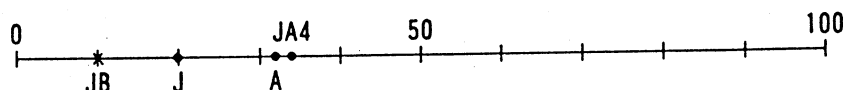
Pergunta - 14 Há as seguintes opiniões sobre o trabalho. Qual das duas você considera mais próxima da sua opinião?

1. Não importa quanto de dinheiro se tenha, a vida sem trabalho não é plena.
2. Contanto que tenha dinheiro, a vida é plena mesmo que não se tenha trabalho
3. Não sei

Q 14 - (Não é plena se não tiver trabalho)



Q 14 - (Vida plena mesmo que não se tenha trabalho)



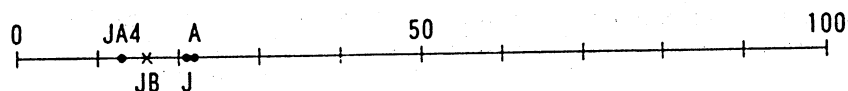
Da mesma maneira como na pergunta anterior, JB apresentam propensão ao trabalho. Seguem-nos J, sendo que JA apresentam menor índice juntamente com A.

No exame por faixa etária, verifica-se que a propensão ao trabalho não é mais baixa para os mais jovens. Dividindo-se as faixas de idade em 10 anos a partir de 20, se têm, respectivamente, 88%, 95%, 92%, 89% e 76%. Excluindo-se os de mais de 60 anos, 90% das pessoas mostram-se dispostos a continuar a trabalhar. Cerca de 78% dos isseis externam a vontade de continuar a trabalhar, sendo que 2ª e 3ª gerações consignam 90% e 91%, respectivamente, com esse propósito.

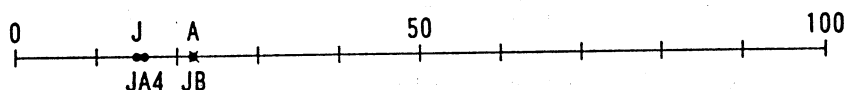
Pergunta 15 - Aqui estão algumas das coisas que as pessoas comumente levam em conta em relação ao seu trabalho. Qual é que você, pessoalmente, coloca em primeiro lugar?

1. Um bom salário de maneira que você não tenha qualquer preocupação quanto ao dinheiro
2. Um trabalho seguro em que não exista o receio de fechamento de firma ou desemprego
3. Trabalhar com pessoas que se gosta
4. Fazer um trabalho importante pelo que se sinta realizado
5. Outro (Especificar)
6. Não sei

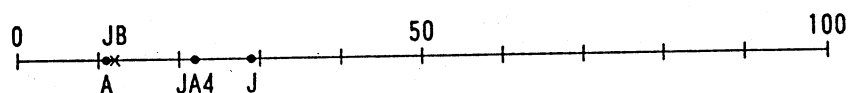
Q 15 - (Bom salário)



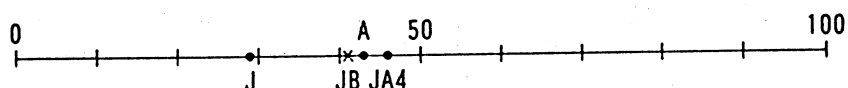
Q 15 - (Sem fechamento de firma ou desemprego)



Q 15 - (Trabalhar com pessoas que se gosta)



Q 15 - (Trabalho que se sinta realizado)



JB não demonstram tendências diferenciadas. A peculiaridade de J é de que dão ênfase a trabalhar com que se sintam à vontade. JA seguem essa propensão, enquanto que JB se aproximam do ponto de vista de A. Essa opinião, quando vista de acordo com as gerações: 15% para isseis, também 15% para nisseis e 7% para 3ª geração.

Em relação ao trabalho que vale à pena: 30% para isseis, 35% para nisseis e 55% para sanseis. Tanto JA como A se aproximam, com o índice menor para J.

COMENTARIOS REFERENTES A JB SOBRE II

Propensão ao trabalho é mais elevada em comparação com outros países, ultrapassando J que apresenta o mais alto coeficiente. Além do mais, como condição de trabalho, a existência de pessoas com que se dão bem tem percentual baixo como acontece com A. Foi feita referência à França, mas apresenta grande diferença, pois nesta última a propensão ao trabalho não é elevada.

3. Fatos Sociais Próximos a Todas as Pessoas - (i)

- Sensação de "mottainai"

A pergunta consta em F 7. O sentido de "mottainai", a maneira de senti-lo, foi muito difundido, muito ensinado, antigamente no Japão. Hoje em dia, é verdade, não se fala nem se ensina, mas pode ser que exista, no recôndito do coração do povo japonês, esse sentimento. Infelizmente, não há pesquisa a respeito no Japão.

"Quando você joga fora uma comida que não conseguiu comer, ou um objeto que ainda pode ser usado, sente que está desperdiçando-os <sente que é mottainai>?".

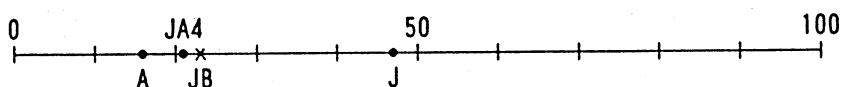
Sim, frequentemente	70,0%
Sim, às vezes	25,6%
Nunca sinto	4,1%
Outro. Não sei	0,3%

Nos JB, ainda permanece essa sensação em grau bastante forte. E de se supor que no Japão, ambientados dentro da "cultura dos descartáveis", os percentuais correspondentes sejam muito mais baixos, com exceção daquelas pessoas mais idosas. Com os JB, dividindo-os em faixas etárias de 10 anos a partir dos 20 até acima de 60 anos, os percentuais são, respectivamente, 50%, 57%, 78%, 80% e 85%, elevando-se com o avançar das idades, sendo que a elevação é nítida a partir da faixa de 40 anos. Isseis - 88%, nisseis - 75%, e sanseis - 50%, demonstrando uma queda sensível com o avanço das gerações. Não se nota diferença na comparação entre homens e mulheres, com percentuais aproximados de 70%.

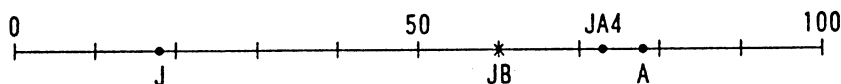
Pergunta 22 - Na formação de criança na idade escolar de curso primário, existem pessoas que acham que a criança deve ser ensinada, desde o mais cedo possível, que o dinheiro é uma das coisas mais importantes na vida. Você concorda com esse procedimento ou não?

1. Concordo
2. Discordo
3. Depende
4. Outro (Especificar)
5. Não sei

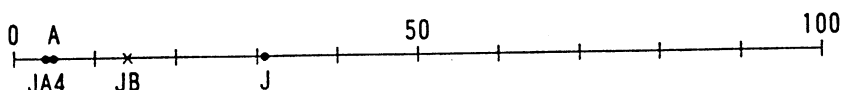
Q 22 - (Concordo)



Q 22 - (Discordo)



Q 22 - (Depende)



São altos os percentuais de "concordo" e "depende" nas respostas de J, mas JB se assemelham a JA. JA estão próximos a A, distanciando-se de J.

Examinando-se sob o prisma das idades, as pessoas com mais de 50 anos de idade são mais inclinadas a concordarem.

Quanto às gerações: isseis - 33%, nisseis - 24%, sanseis - 15% (nas discordâncias: 34%, 64% e 70%). Isseis se localizam a meio termo entre J e o geral de JB.

Entre homens e mulheres não há nenhuma diferença.

Pergunta 23 - Ao educar criança na idade de frequentar o curso primário, você acha mais importante frisar o valor da liberdade ou o valor da disciplina?

- | | |
|---------------|------------|
| 1. Liberdade | 3. Outro |
| 2. Disciplina | 4. Não sei |

Esta pergunta consta nas pesquisas de 1971 de Hawai, 1953, 1968 e 1973, do Japão. Assim, é feita a seguir as comparações (%):

	Liberdade	Disciplina	Outros	Não sei
JB	21	69	90	0
JA ₁	14	70	14	2
J ₅₃	16	63	15	6
J ₆₈	20	68	7	5
J ₇₃	22	66	7	5

Entre os grupos considerados, não há diferença acentuada merecedora de destaque. Todavia, É preciso levar-se em conta que os dados do Japão e de Hawai são antigos, não se conhecendo as respectivas situações atuais.

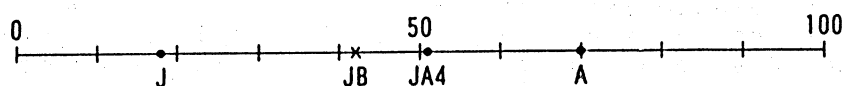
Quanto às gerações: liberdade - 23%, 25% e 14%. Como se vê pela última cifra, os sanseis não apresentam percentuais elevados. Quanto à disciplina - 73%, 67% e 70%, sem grandes diferenças.

Em relação à liberdade: homens - 31% e mulheres - 10%; e disciplina: homens - 63% e mulheres 77%.

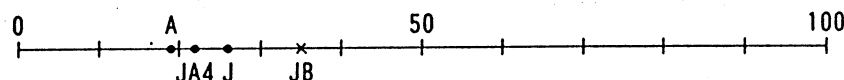
Pergunta 25 - Se você pensa que alguma coisa é correta, acha que deve ir para frente e realizá-la, mesmo que seja contra os costumes usuais, ou acha que pode errar menos seguindo os costumes?

1. Ir à frente mesmo que contra os costumes
2. Seguir os costumes
3. Depende
4. Outro(Especificar)
5. Não sei

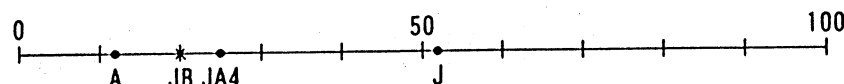
Q 25 - (Ir à frente)



Q 25 - (Seguir os costumes)



Q 25 - (Depende)



Pelos aspectos de localização mais baixa em "ir à frente" e mais elevada em "seguir os costumes", JB apresentam a tendência de se aproximar de J, mas para "depende", JB está mais para JA do que em relação a J, pois o seu percentual é muito mais baixo. Mesmo em JB, "ir à frente" tem maior índice do que para "seguir os costumes". Examinando-se esses itens de acordo com as faixas etárias tem-se a seguinte situação:

	Ir à frente	Seguir os costumes
20 - 29 anos	75%	16%
30 - 39	49%	30%
40 - 49	55%	27%
50 - 59	21%	55%
60 -	15%	48%

Há diferença visível na faixa dos 50 anos, com inversão nos percentuais frente aos dois itens considerados. E de se supor que haja crivagem em torno dos 50 anos.

Quanto a "ir à frente" verifica-se um crescimento com isseis, nisseis para sanseis: 19%, 39% e 43%. "Seguir os costumes" registra os seguintes percentuais, respectivamente: 34%, 43% e 35%. A resposta "depende" comparece com 40%, 17% e 20%. Esta resposta mediana prepondera mais com os isseis, assemelhando-se com o tipo de comportamento japonês.

"Ir à frente" tem a manifestação de 40% dos homens ao passo que 46% das mulheres se pronunciaram nesse sentido. "Seguir os costumes: homens - 36% e mulheres - 35%, praticamente sem diferença.

Na França, 75% se manifestaram a favor de "ir à frente" superando os demais países, com acentuada discrepância em comparação com JB.

4. Fatos Sociais Próximas a Todas as Pessoas - II - (ii)

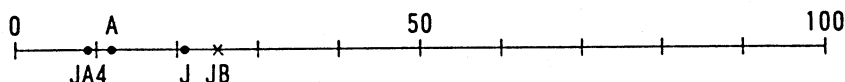
Pergunta 17 - Numa das fábulas de Esopo, há uma história de um grilo preguiçoso e de uma formiga trabalhadora. Quando o inverno veio e passando fome por falta de comida, o grilo, que passou o verão cantando, procurou a formiga que trabalhou todo o verão.

A formiga poderia ter dado tanto uma como outra resposta que estão no cartão. Qual das duas respostas você acha que seria melhor como conclusão da história?

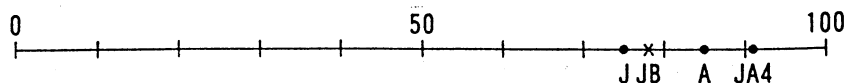
1. A formiga manda o grilo embora porque é natural que sofra agora
2. A formiga admoesta o grilo dizendo: "Você deve arrepender-se de ter sido preguiçoso. Daqui para diante você deve trabalhar mais" e depois compartilha a comida.
3. Outro (Especificar)
4. Não sei

Se esta pergunta se refere à relação humana ou não, pode haver questionamento. - Isto será discutido em detalhes na parte analítica/ expositiva - mas no Japão se considera como relacionada a uma forma modificada das relações humanas, e assim, levando em conta essa observação, no relatório da língua japonesa será feita a sua inclusão nesta parte.

Q 17 - (Manda embora)



Q 17 - (Oferece comida)



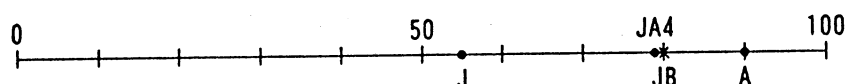
Todos os grupos não apresentam grandes diferenças, com maiores aprovações para partilha da comida após o admoestamento. Entretanto, JB se aproximam relativamente mais de J, com maior afastamento frente a JA. Por faixa etária, a escolha da resposta mandando embora é mais elevada entre os mais jovens e também entre os mais idosos, sendo que as pessoas de meia idade 30 - 49 anos se manifestaram mais no sentido de oferecer comida. O "mandar embora" para os jovens e para os mais idosos pode ter sentidos diversos (Entretanto, apenas com a análise destes dados não se pode precisá-los).

Isseis - 21%, nisseis - 21% e sanseis - 18% optaram pela resposta "mandar embora", bem como 78%, 76% e 81%, respectivamente, para o caso de "admoestar e dar comida", sem diferenças significativas.
Homens - 18% e mulheres 22% escolheram "mandar embora".

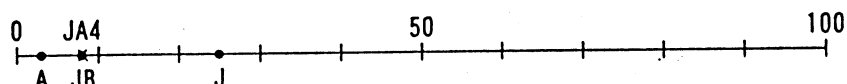
Pergunta 30 - Suponha que uma criança volte à casa e diz que ouviu rumor de que o seu professor fez algo que o coloca em situação embaraçosa, e que supostamente os pais saibam ser isso verdadeiro. Você acha que é melhor os pais contarem à criança a verdade, ou negá-la?

1. Contar a verdade	3. Outro (Especificar)
2. Negá-la	4. Não sei

Q 30 - (Contar a verdade)



Q 30 - (Negá-la)



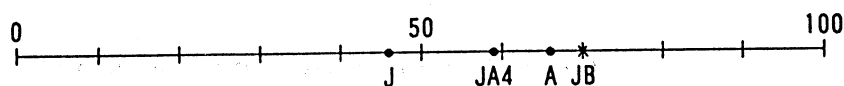
O Japão destoa de todos os outros grupos. JB e JA se colocam próximos, e A se coloca no polo oposto a J. Com JB, apenas as pessoas com mais de 60 anos, com índice de 17% escolheram a resposta negativa, algo elevado.

Na resposta negativa, 15% dos isseis fizeram essa opção, enquanto que os nisseis e sanseis se manifestaram conforme, respectivamente, em 6% e 5%. Os isseis apresentaram, pois, atitude algo parecido com os japoneses, mas não de maneira acentuada. Pode-se dizer que entre homens e mulheres não houve diferença significativa.

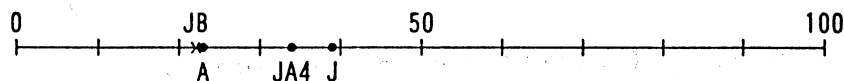
Pergunta 31 - Imagine esta situação. O sr. A se tornou órfão quando era muito pequeno e foi criado pelo sr. B, um vizinho muito bondoso. O sr. B deu-lhe boa educação, mandou-o a uma universidade, e o sr. A tornou-se presidente de uma companhia. Um dia ele recebeu telegrama dizendo que o sr. B estava em estado grave e pedindo-lhe que viesse imediatamente. Este telegrama chegou quando ele estava dirigindo-se para uma reunião importante em que seria decidida a sobrevivência ou a falência de sua firma. O que você acha que ele deveria fazer?

1. Deixar tudo e ir
2. Apesar de muito preocupado com o sr. B, ele deve ir à reunião
3. Outro (Especificar)
4. Não sei

Q 31 - (Deixar tudo e ir)



Q 31 - (Ir à reunião importante)

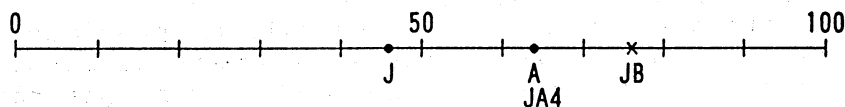


JB se situam próximos a A, e JA se localizam um pouco mais próximos a J. Não se constata qualquer tendência específica em função das idades. Segundo as gerações, as 1ª, 2ª e 3ª registram, respectivamente, 52%, 71% e 72% para a "viagem imediata", com índice mais baixo dos isseis.

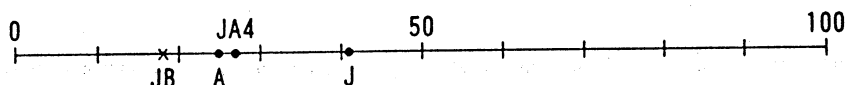
Pergunta 32 - A questão anterior supunha que o sr. B o tomara órfão, em criança, e o criara. Suponha que seja o próprio pai no leito da morte. Qual deveria ser, então, a sua resposta?

1. Deixar tudo e ir.
2. Apesar de muito preocupado com seu pai, ele deve ir à reunião
3. Outro (Especificar)
4. Não sei

Q 32 - (Deixar tudo e ir)



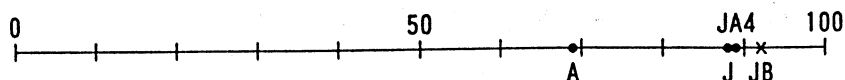
Q 32 - (Participar da reunião importante)



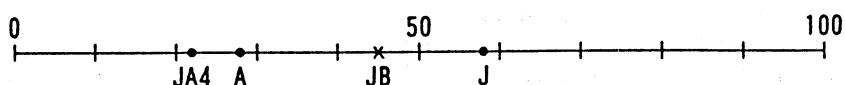
JB optam pela ida imediata. Apenas J distoam dos comportamentos dos demais grupos. Não se constata diferença em decorrência das idades. Quanto às gerações, as mesmas tendências constatadas na pergunta anterior.

- Pergunta 35 - Se você fôr solicitado a escolher dois (2) entre os seguintes dizeres, quais escolheria?
- Respeito e amor para com os pais
 - Retribuição de obrigações a pessoas que o auxiliaram
 - Respeito aos direitos individuais
 - Respeito à liberdade dos indivíduos
 - Outro (Especificar)

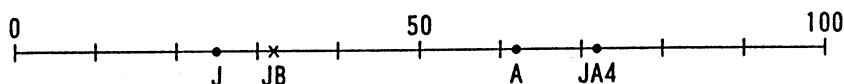
Q 35 - (Respeito e amor para com os pais)



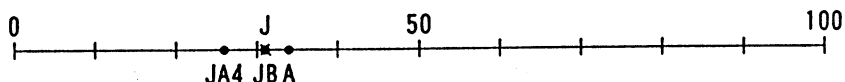
Q 35 - (Retribuição de obrigações)



Q 35 - (Respeito aos direitos individuais)



Q 35 - (Respeito à liberdade)



No respeito e amor para com os pais, JB, JA e J se situam próximos, ficando A distante.

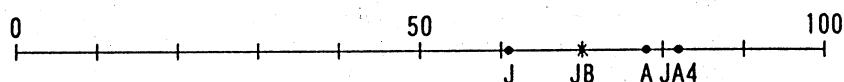
Quanto à retribuição de obrigações, JA se localizam próximos a A e se mostram na parte inferior da escala, enquanto que JB se acercam de J na parte mais elevada.

Respeito aos direitos: JA se situam próximos a A na parte superior. JB e J se encontram próximos na parte inferior da escala. No respeito à liberdade, os grupos não apresentam diferenças. J e JB apresentam formas aproximadas quanto às tendências.

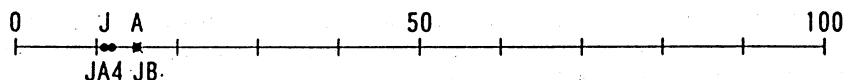
Pergunta 36 - A quem você considera mais desejável como pessoa humana?

- Pessoa amiga com quem se pode contar para ajudar os outros, mas que não é um trabalhador eficiente
- Pessoa que é trabalhador eficiente, mas é indiferente às preocupações e situações aflitivas dos outros
- Outro (Especificar)
- Não sei

Q 36 - (Pessoa amiga)



Q 36 - (Trabalhador eficiente)

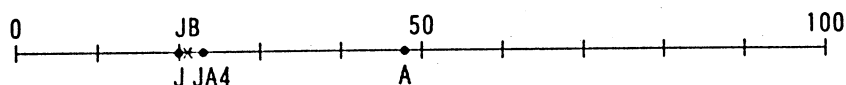


Todos os grupos dão preferência ao tipo de pessoa descrita em 1, mas JB se aproximam de J, e JA se acercam mais de A. Todos os grupos dão pouca preferência à pessoa descrita em 2, praticamente inexistindo diferenças.

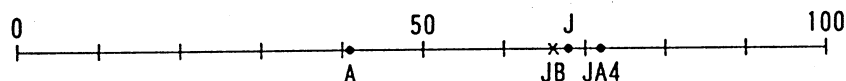
Pergunta 37 - Qual das duas pessoas descritas neste cartão você gosta mais?

1. Uma pessoa que enfatiza os seus próprios princípios mais do que chegar a um consenso entre os outros membros do grupo
2. Uma pessoa que enfatiza a importância de se chegar ao consenso entre os outros membros do grupo mais do que manter os seus próprios princípios
3. Outro (Especificar)
4. Não sei

Q 37 - (Manter os princípios)



Q 37 - (Conseguir consenso)



Apenas A distoam do conjunto preferindo a personalidade descrita em 1. E interessante notar-se que JB, JA e J se alinham na preferência à pessoa descrita em 2. Segundo as faixas etárias as situações são as seguintes:

Preferência 1 Preferência 2

20 - 29 anos	24%	62%
30 - 39	12%	75%
40 - 49	18%	77%
50 - 59	25%	59%
60 -	27%	63%

E interessante observar-se que os mais jovens e os mais idosos se mostram mais rígidos, lembrando os resultados alcançados em relação à fábula de Esopo (pergunta 17).

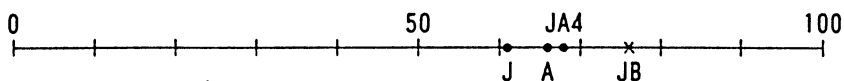
Quanto às atitudes segundo as gerações diante da personalidade descrita em 2, a 1ª - 75%, a 2ª - 61% e 3ª geração - 72%, notando-se certa tendência ao rigor por parte dos nisseis.

As mulheres mostram-se com tendência algo mais rigorosa: (em relação à personalidade descrita em 1 - homens - 17%, mulheres - 27%; em relação à personalidade descrita em 2 - homens - 72%, mulheres - 61%)

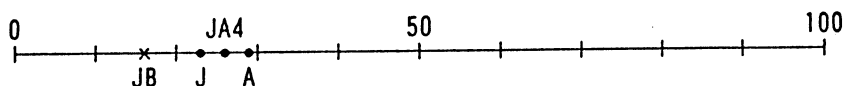
Pergunta 38 - Suponha que você seja presidente de uma companhia. A empresa decide admitir um funcionário e realiza exame de admissão. O encarregado informa-lhe dizendo: " O parente do Senhor que se submeteu ao exame alcançou a 2ª colocação, mas acho que tanto o candidato colocado em 1º lugar como o seu parente pode ser admitido. O que faremos? Neste caso quem você admitiria?

1. Aquele melhor colocado
2. O parente
3. Outro (Especificar)
4. Não sei

Q 38 - (O primeiro colocado)



Q 38 - (O parente)



Com os JB a escolha recai no 1º colocado, com poucas indicações para o parente. A atitude é rigorosa. JA e A se colocam próximos. Quanto as opções feitas segundo as faixas etárias:

	1º Colocado	Parente
20 - 29 anos	59%	23%
30 - 39	75%	15%
40 - 49	86%	5%
50 - 59	85%	15%
60 -	74%	23%

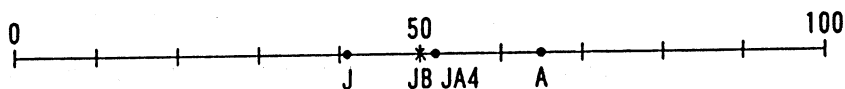
Apesar da identidade com a tendência da opinião da maioria, é importante notar-se que a posição de rigor se identifica com a tendência de respeitar o sentimento pessoal.

Pergunta 39 - Na última questão, supomos que o 2º colocado era seu parente. Agora, vamos supor que o 2º colocado seja filho de pessoa a quem você se sente devedor de obrigações e gratidões.

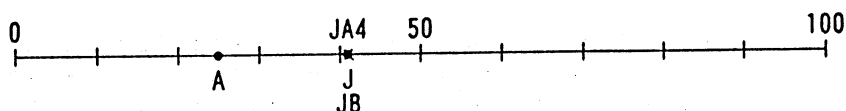
A quem você escolheria?

1. Aquele melhor colocado
2. O filho do benfeitor
3. Outro (Especificar)
4. Não sei

Q 39 - (O 1º colocado)



Q 39 - (O filho de benfeitor)



Os A diferem, mas JB, JA e J se acham em tendências que se aproximam. Nas duas opções, A opinam pela admissão do 1º colocado, mas com J, JA e JB a diferença entre as escolhas do 1º colocado e do filho do benfeitor se tornam menor. Considerando-se a admissão do filho do benfeitor através das faixas etárias, os percentuais se apresentam (no sentido crescente das faixas etárias): 41%, 39%, 35%, 48% e 49%. Vê-se que há uma inflexão na faixa de acima de 50 anos de idade, sendo que na faixa de acima de 60 anos, a escolha do filho do benfeitor supera em um pouco a preferência sobre o 1º colocado.

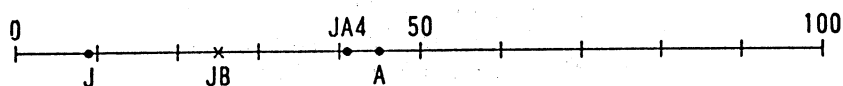
Sob o critério das gerações: 1ª - 38%, 2ª - 47% e 3ª - 38% para a escolha do filho do benfeitor. Os isseis neste caso não acompanham o padrão japonês. Não há diferença entre as escolhas dos homens e das mulheres.

Pergunta 40 - Suponha que você trabalha numa firma. Sob que chefia você gostaria de trabalhar?

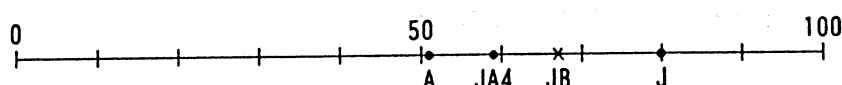
1. Um homem que sempre se atem aos regulamentos de trabalho, mas nunca exige trabalho fora do razoável, que no entanto, nada faz para você pessoalmente em matérias não ligadas ao trabalho

2. Um homem que às vezes exige trabalho extra, mesmo contra os regulamentos, mas que, de outro lado, cuida de você, pessoalmente, em matérias não ligadas ao trabalho
3. Outro (Especificar)
4. Não sei

Q 40 - (Só trabalho)

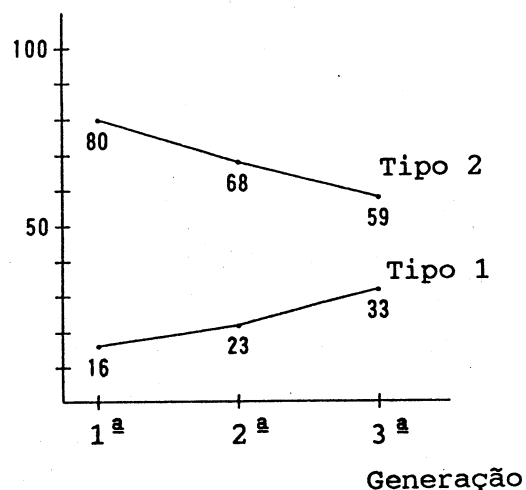
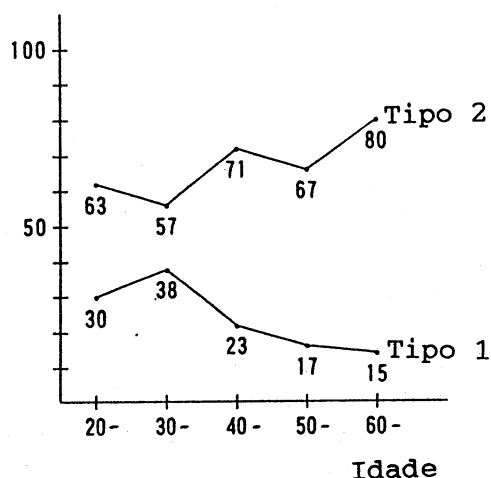


Q 40 - (Atenção também fora do trabalho)



O tipo 2 contido nesta pergunta tem a peculiaridade de continuar sendo preferido esmagadoramente pelos japoneses. A sequência constatada é: J, JB, JA e A. JA se situam próximos a A mas mais chegado aos J, e JB são mais próximos a J.

Os mais idosos demonstram maiores preferências pelo tipo 2, o tipo 1 é alvo de maior opção para as pessoas com menos de 40 anos. Os dados referentes àqueles com mais de 60 anos se aproximam dos dados do Japão. Um dos gráficos abaixo mostra as tendências segundo as gerações. Os sanseis brasileiros se aproximam da forma de JA. Não há diferenças entre as respostas dos homens e das mulheres.



COMENTARIOS REFERENTES A JB SOBRE AS RELACOES HUMANAS

JB mantem relação próxima a J, podendo-se dizer que levam isso em consideração. JA também se situam próximos a J, mas JB se encontram mais para o lado do Japão.

Outrossim, de um lado dão importância aos princípios e ao mesmo tempo levam em conta os sentimentos pessoais - um estado psicológico de certa maneira complicado que lembra o padrão de comportamento do Japão antigo - Este aspecto será objeto de análise mais adiante.

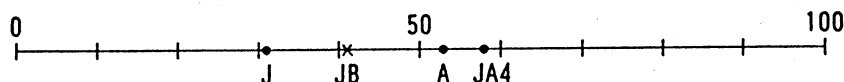
5. Fatos Sociais Próximos a Todas as Pessoas. III - (iii) Sentimento de Confiança

As tres perguntas que se seguem são perguntas que se relacionam ao sentimento de confiança entre os homens, utilizadas pela Universidade de Michigan - EE.UU nas pesquisas de ISR, e que expressam muito bem as peculiaridades da América do Norte de acordo com as análises dos dados realizadas no passado. Nos Estados Unidos estão expressos em elevada escala esses sentimentos de confiança.

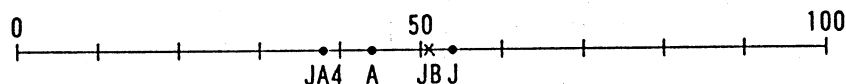
Pergunta 41 - Você diria que as pessoas, na maioria das vezes, tentam ser prestativas ou úteis aos outros, ou que estão preocupadas consigo mesmas?

1. Tentam ser prestativas
2. Preocupadas consigo mesmas
3. Outro (Especificar)
4. Não sei

Q 41 - (Tentam ser prestativas)



Q 41 - (Preocupadas consigo mesmas)



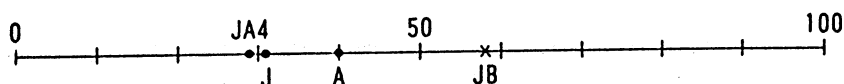
JB e J, JA e A se acham entre si próximos, sendo que aqueles se propõem ser menos prestativos do que estes últimos. Entre as gerações, nas intenções de ser prestativas: isseis - 39%, nisseis - 51% e sanseis - 28%, com destaque para os da 2ª geração. Quanto a considerar que as pessoas são

preocupadas apenas consigo mesmas, os percentuais são, respectivamente, 41%, 43% e 69%, com forte manifestação de não confiança por parte da 3ª geração.

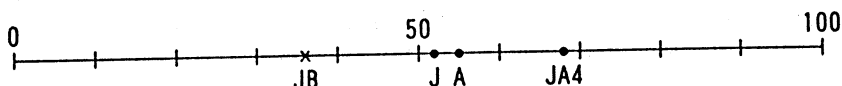
Pergunta 42 - Você acha que a maioria das pessoas tentaria tirar vantagem de você se houver chance, ou tentaria ser justa?

1. Tiraria vantagem
2. Tentaria ser justa
3. Outro (Especificar)
4. Não sei

Q 42 - (Tentaria tirar vantagem)



Q 42 - (Tentaria ser justa)



É forte o sentimento de falta de confiança entre os JB.

J, juntamente com JA, apresentam baixo índice para o sentimento de falta de confiança.

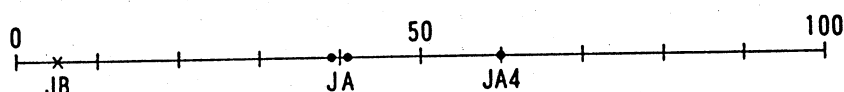
Com o avançar da idade vai aumentando a negativa em relação à tentativa de tirar vantagem. Os de faixa etária mais jovens devem ser aqueles mais aproveitados.

Examinando-se a distribuição entre as diferentes gerações daqueles que responderam que as pessoas tentariam tirar proveito, a situação é a seguinte: isseis - 44%, nisseis - 52% e sanseis - 75%, demonstrando maior falta de sentimento de confiança entre os sanseis. Não acontece especificamente com isseis, mas na opinião geral, pertence ao tipo japonês, só que entre os nisseis e sanseis aumenta o sentimento de não confiança, particularmente no caso dos sanseis.

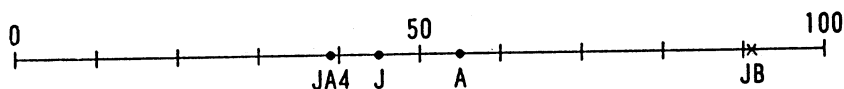
Pergunta 43 - Genericamente falando, você diria que se pode confiar na maioria das pessoas, ou que se deve tomar, sempre, cuidado?

1. Pode ser confiada
2. Deve-se tomar cuidado sempre
3. Outro (Especificar)
4. Não sei

Q 43 - (Pode-se confiar)



Q 43 - (Deve-se tomar cuidado sempre)



Os JB apresentam forte índice de falta de confiança em comparação com os demais grupos. JA apresentam maior índice de confiança, sendo que J e A se encontram próximos. Os nikkeis, do Brasil e de Hawai, neste item, se situam em extremos opostos. Não se verificam grandes diferenças em função das idades. Todas as gerações mostram altos índices de falta de confiança, com pequena redução entre os isseis (80%).

COMENTARIOS REFERENTES A JB SOBRE O SENTIMENTO DE CONFIANÇA ENTRE OS HOMENMS

Pode-se afirmar que os JB têm, em comparação com os componentes dos demais grupos, menor grau de confiança em relação aos homens. Um ponto que merece atenção é de que, apesar de serem ambos nikkeis, JA e JB têm grandes diferenças. Especialmente para o fato de os sanseis apresentarem forte sentimento de desconfiança dos homens. As mulheres apresentam índices algo mais elevados do que os homens.

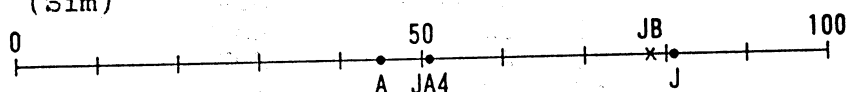
6. Família - IV

Pergunta 27 - Você concorda com a seguinte afirmação?

"O lar é o único lugar onde posso relaxar-me e sentir-me bem"

- | | |
|--------|------------------------|
| 1. Sim | 3. Outro (Especificar) |
| 2. Não | 4. Não sei |

Q 27 - (Sim)

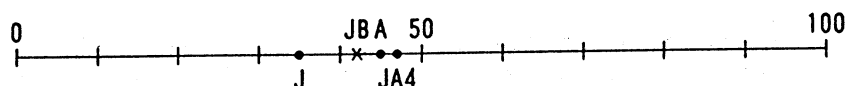


Pensam afirmativamente J e JB. A e JA se situam próximos.

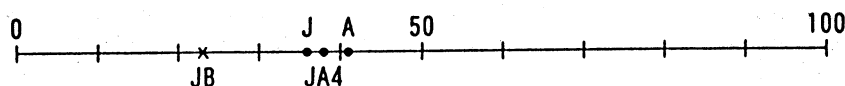
Pergunta 28 - Qual das afirmações deste cartão está mais próxima à sua opinião a respeito do casamento?

1. O casamento é permanente
2. O casamento pode ser desfeito somente sob sérias circunstâncias
3. O casamento pode ser desfeito pela concordância das duas partes
4. Outro (Especificar)
5. Não sei

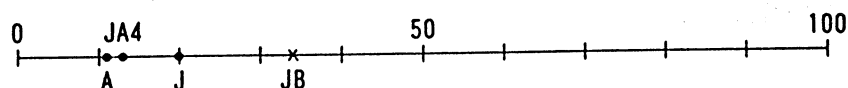
Q 28 - (O casamento é permanente)



Q 28 - (Pode desfazer-se sob sérias circunstâncias)



Q 28 - (Pode desfazer-se pela concordância das partes)



J, JA e A não apresentam grandes diferenças, mas com os JB há manifestação positiva para o caso de haver concordância das duas partes. Listando-se as respostas pela ordem se tem o seguinte quadro onde as peculiaridades de cada grupo se tornam claras:

Resposta	J	JB	JA	A
1	1	1	1	1
2	1	3	2	2
3	3	2	3	3

As diferenças em decorrência das idades são claras, acima de 40 anos, ou ainda mais nitidamente acima de 50 anos apresentando diferenciação marcante. Examiando-se, por exemplo, o caso de "concordância das duas partes":

20 - 29 anos	51%
30 - 39	48%
40 - 49	29%
50 - 59	19%
60 -	20%

Quanto a "o casamento é permanente", respectivamente para as faixas etárias acima enumeradas, se têm os seguintes percentuais: 12%, 33%, 55%, 53% e 62%. Há diferença muito

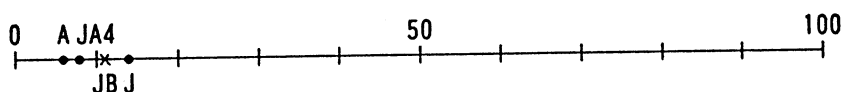
grande entre os moços e os mais velhos a partir de 40 anos. O pensamento das gerações mais novas em relação ao divórcio é muito livre.

Em relação à concordância entre as duas partes, 19% dos isseis são favoráveis, nisseis - 30% e sanseis 48%. A opinião majoritária entre os sanseis é a "concordância entre as duas partes", sendo contra o divórcio - 23% e "somente em certas circunstâncias" - 28%.

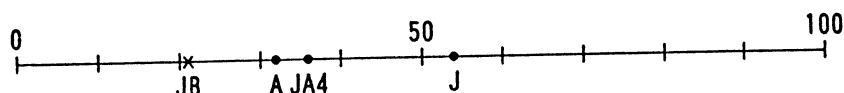
Pergunta 29 - Qual das afirmações deste cartão está mais próxima à sua opinião a respeito dos trabalhos domésticos e cuidado com as crianças?

1. São trabalhos de mulher
2. Alguns trabalhos são próprios de mulher
3. Todos os trabalhos devem ser divididos entre o homem e a mulher sem diferenciação
4. Outro (Especificar)
5. Não sei

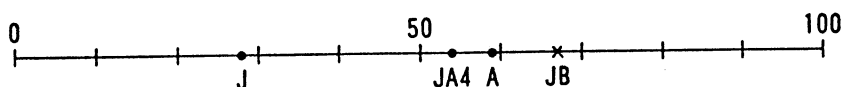
Q 29 - (São trabalhos de mulher)



Q 29 - (Alguns trabalhos são próprios de mulher)



Q 29 - (Divisão sem diferenciação entre homem e mulher)



"São trabalhos de mulher" - Opinião minoritária para todos os grupos. No Japão prevalece o pensamento de que alguns são trabalhos próprios de mulher, mas para JB, JA e A, o ponto de vista majoritário recai na divisão sem diferenciação dos encargos entre homem e mulher.

Segundo as faixas etárias, para mais de 60 anos, 35% acham que são trabalhos exclusivos de mulher (1%, 9%, 2% e 7% respectivamente, no sentido crescente das faixas de idades). Há pois, uma descontinuidade na faixa de acima de 60 anos. Sobre a divisão sem diferenciação dos trabalhos: 73%, 43%, 18, 18%, 43%, ocorrendo, ainda aqui, uma descontinuidade. Examinando-se as respostas segundo gerações:

	1ª	2ª	3ª
1.Trabalhos de mulher	28%	7%	7%
2.Alguns trab. de mulher	26%	17%	27%
3.Divisão sem diferenciação	44%	77%	66%

Como se vê, a diferença entre isseis e os nisseis e sanseis é grande.

Não se constata diferença nas opiniões de homens e mulheres

COMENTARIOS REFERENTES A JB SOBRE FAMILIA

Para os JB, como acontece com J, o lar é o único local onde se pode ficar à vontade, mas em termos de divórcio e trabalho das mulheres, os nikkeis brasileiros são bastante modernos, inclusive ultrapassando JA e A.

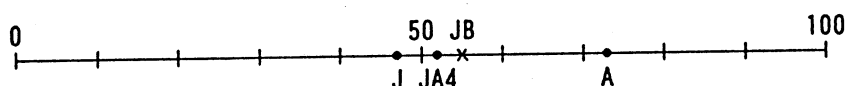
Pode-se fazer a ligação com a França (atente-se para a diferença: França 65% e América do Norte 45%). E interessante também notar as semelhanças que existem nos aspectos modernos.

7. Ancestrais. Linhagem Familiar

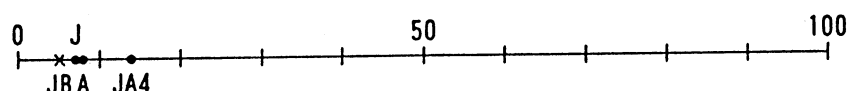
Pergunta 11 - Poderia dizer se você é mais, ou menos, inclinado a respeitar os seus ancestrais do que a média geral?

1. Mais do que a média
2. Menos do que a média
3. Média
4. Outro (Especificar)
5. Não sei

Q 11 - (Mais do que a média)



Q 11 - (Menos do que a média)



JB e J se acham próximos, sendo que 34% e 43% responderam "média" o que os aproxima de JA (32%).

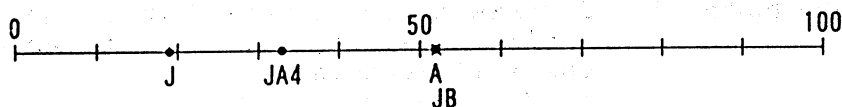
Examinando-se segundo as faixas etárias: 20 - 29 anos - 38%, 30 - 39 anos - 47%, 40 - 49 anos - 57%, 50 - 59 anos - 73% e acima de 60 anos - 61%. Homens que dizem respeitar "mais do que a média" são em 65% enquanto que para as mulheres esse percentual cai para 43%. São numerosas as mulheres que opinam "média" (49% e homens - 23%). Verifica-se, pois, uma inversão nas opiniões majoritárias.

Quanto às gerações: 1ª - 69%, 2ª - 59% e 3ª - 42% para "mais do que a média", enquanto que para "média" as porcentagens são respectivamente, 25%, 33%, 42%, mas para "menos do que a média", mesmo para sanseis é de apenas 11%.

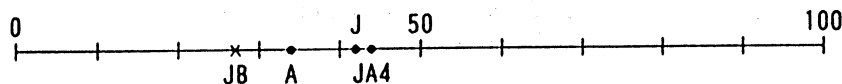
Pergunta 12 - Se você não tem filho, pensa desejável adotar uma criança para continuar a linhagem da família, sabendo que não existe relação de consanguinidade? Ou você acha que não há necessidade de tal providência?

1. Adotaria
2. Não adotaria
3. Depende
4. Outro (Especificar)
5. Não sei

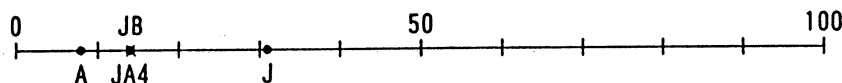
Q 12 - (Adotaria)



Q 12 - (Não adotaria)



Q 12 - (Depende)



JB, juntamente com A, optam pelo "adotaria", com cerca de 50%, ao passo que J ficam com apenas 20%. JA apresentam o percentual de 30%. No caso de J, "depende" tem a maior escolha. Neste caso JA aproximam de J, sendo JA e JB discrepantes.

Não há diferenças nas tendências por faixas etárias quando opinam "adotaria" (56%, 45%, 58%, 58%, 42%). Para o caso de "depende", 16%, 29%, 21%, 31%, 31%, notando-se tendência ao aumento com o avançar das idades. Não há diferença nas opiniões de homens e mulheres.

Quanto às gerações: "adotaria" - isseis - 15%, nisseis - 56%, sanseis - 47%, sem grandes diferenças portanto. "Adotaria" se constitui na opinião majoritária para todas as gerações.

COMENTARIOS REFERENTES A JB SOBRE ANCESTRAIS-LINHAGEM FAMILIAR

Diferente das colocações feitas para o caso do lar, não se constata aspectos particularmente modernas, ficando como opiniões majoritárias "respeitar mais do que a média os ancestrais" e "adotaria uma criança para continuar a linhagem da família". Aproxima-se mais do tipo americano do que do tipo japonês.

8. Religião

Pergunta 48 - Gostaria de fazer-lhe perguntas sobre religião

Por exemplo, você tem alguma religião?

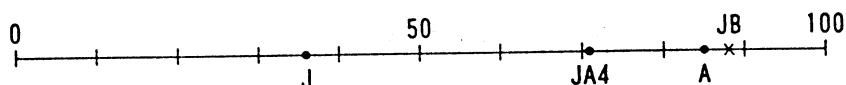
1. Sim 2. Não

Se sim:

Qual a religião?

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. Xinto | 5. Protestante |
| 2. Budismo | 6. Católica |
| 3. Sokagakkai | 7. Outra (Especificar) |
| 4. Seita não estabelecida | 8. Não sei |

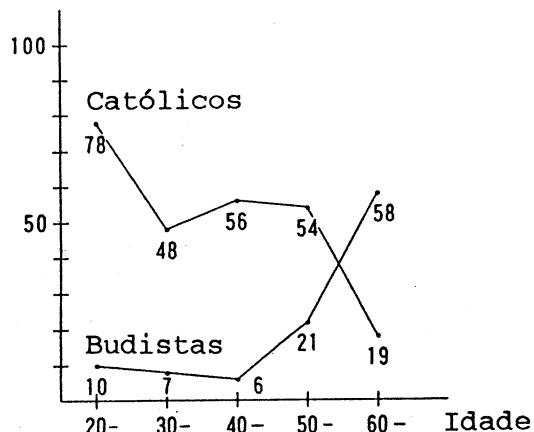
Q 48 - (Sim)



"Tem religião" - 90% de JB respondem positivamente à semelhança de A. Não se constata diferença quanto aos sexos. Sob o critério das faixas etárias os percentuais registrados foram: 92%, 83%, 87%, 92% e 92%, diferente com o fenômeno do Japão em que a porcentagem dos que têm religião vai aumentando com a progressão das idades. É interessante observar-se que JB apresentam as mesmas tendências dos demais grupos com exceção de J.

Católicos contam em 51% (3% de protestantes), 20% de budistas. Estas são as religiões que contam com maior número de adeptos.

Examinando-se os números de católicos e de budistas se tem o gráfico abaixo. É flagrante a diferença em função das idades.



No que diz respeito a ter religião, não há diferenças entre as gerações (1ª - 92%, 2ª - 88%, 3ª - 91%).

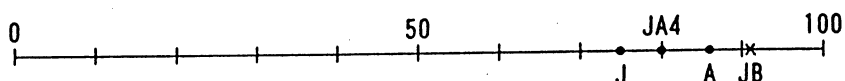
	Budistas	Católicos
1ª Geração	54%	22%
2ª Geração	16%	52%
3ª Geração	8%	65%

Vê-se que há uma enorme diferença entre isseis e os nisseis e sanseis.

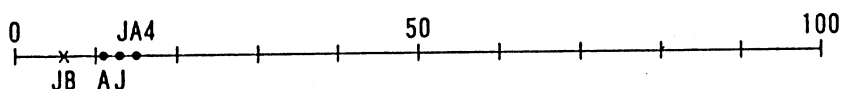
Pergunta 49 - Sem se referir à qualquer religião estabelecida, você acha importante o sentimento religioso?

1. Importante
2. Não é importante
3. Outro (Especificar)
4. Não sei

Q 49 - (Importante)



Q 49 - (Não é importante)

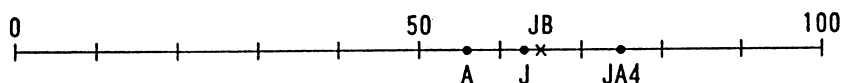


Para todos os grupos, "importante" ocupa escala elevada. O "não é importante" fica ao redor de 10%.

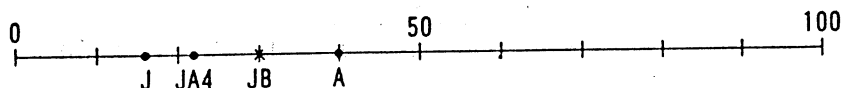
Pergunta 50 - Há pessoas que dizem que, embora haja muitas religiões diferentes no mundo, cada qual com as suas crenças, os seus ensinamentos são todos os mesmos. Você concorda com essa opinião ou discorda?

1. Concordo
2. Discordo
3. Outro (Especificar)
4. Não sei

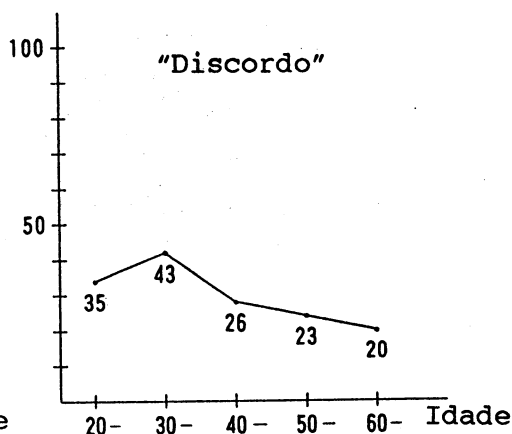
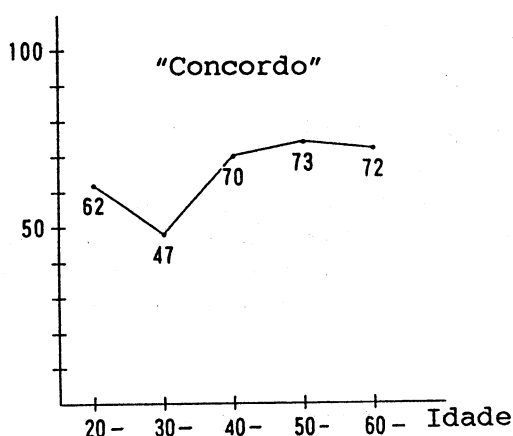
Q 50 - (Concordo)



Q 50 - (Discordo)



Há muita concordância entre os JA. J e JB concordam de maneira igual, mas quando se passa para a discordância, JB assumem percentuais maiores do que os J e se aproximam de A. Quanto mais idosos maior a porcentagem de concordância e menor na resposta discordante.



COMENTARIOS REFERENTES A JB SOBRE RELIGIAO

O percentual daqueles que têm religião entre os JB é muito elevado, independente da faixa etária. Entretanto, considerando-se os percentuais de católicos e budistas segundo as idades e por gerações se constata tendências inversas.

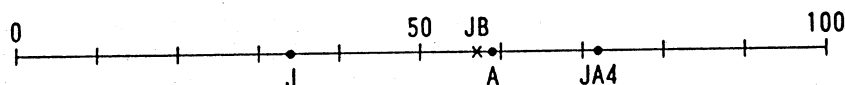
Muitos dizem da importância do sentimento religioso como também é elevado o número daqueles que dizem que as religiões pregam a mesma coisa.

9. Visão da Civilização Científica

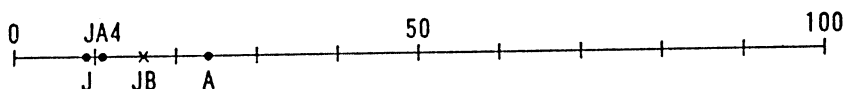
Pergunta 21 - Diz-se que com o desenvolvimento da ciência e tecnologia, a vida se torna mais fácil e cômoda, mas ao mesmo tempo um bocado de sentimentos humanos é perdido. Você concorda com essa opinião ou não?

1. Concordo (que há perda de sentimento humano)
2. Discordo
3. Depende
4. Outro (Especificar)
5. Não sei

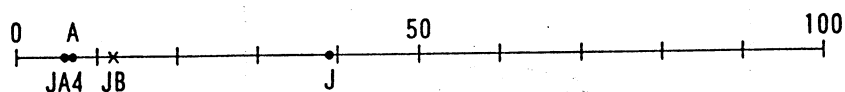
Q 21 - (Concordo)



Q 21 - (Discordo)



Q 21 - (Depende)



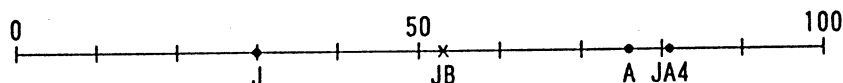
JB se situam próximos a A. JA também estão pertos. J inidicam majoritariamente a resposta "depende". A opinião majoritária é de que há perda de sentimentos humanos. Só os japoneses dão, em igual proporção, as respostas "diminui" e "depende"

Pergunta 26 - Alguns dizem que não importa quanto se mecanize o mundo, nada pode reduzir os sentimentos humanos. Você concorda com essa opinião ou discorda dela?

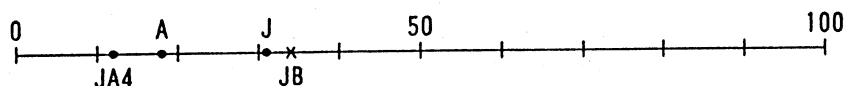
1. Concordo
2. Discordo
3. Depende
4. Outro (Especificar)
5. Não sei

Trata-se de pergunta que inverte a anterior.

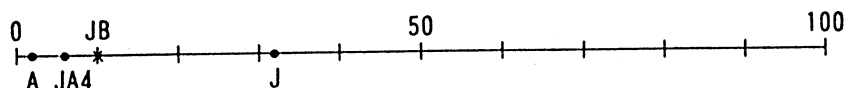
Q 26 - (Concordo)



Q 26 - (Discordo)



Q 26 - (Depende)



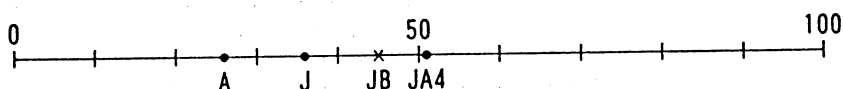
Nesta forma de perguntar, JA e A reagem com respostas otimistas, enquanto que os J recuam. JB se situam a meio termo. Nas discordâncias, J e JB se aproximam. A e JA apresentam, nesta resposta, percentuais pequenos. Neste aspecto, JA estão próximos a A e JB para o lado do Japão. A resposta "depende" se constitui numa peculiaridade de J.

Pergunta 33 - Aqui estão três opiniões a respeito do homem e a natureza. Qual das três você acha que é mais próxima da verdade?

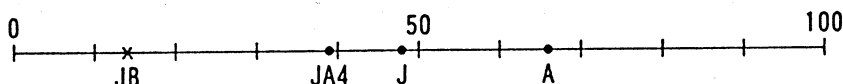
E favor escolher apenas uma.

1. Para ser feliz, o homem deve seguir a natureza
2. Para ser feliz, o homem deve usar a natureza
3. Para ser feliz, o homem deve conquistar a natureza
4. Outro (Especificar)
5. Não sei

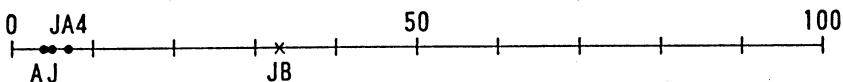
Q 33 - (Seguir a natureza)



Q 33 - (Usar a natureza)



Q 33 - (Conquistar a natureza)



Em "seguir a natureza" JB e JA se acham próximos, sendo A com menor percentual. "Utilização da natureza" tem maior adeptos em A, estando J e JA próximos, notando-se acentuadamente pequena indicação por parte de JB. Quanto à "conquista da natureza", apenas JB apresentam cifra elevada. Examinando-se pelas faixas etárias, em relação a esta assertiva, apresentam cifras algo elevadas as pessoas mais jovens e também os mais idosos, notando-se tendências mais elevadas nas camadas de idades intermediárias e mais baixas nas faixas etárias jovens e idosas. Quanto ao "aproveitamento da natureza", a camada de pessoas mais idosas se aproxima em cerca de 30% na resposta afirmativa. Segundo sexos, é interessante observar-se que os homens são mais positivos em "seguir a natureza" enquanto que as mulheres se manifestam no sentido de "conquistar a natureza".

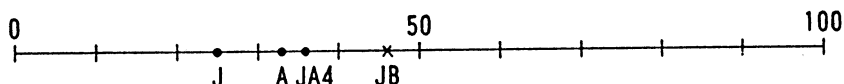
"Seguir a natureza": isseis - 51%, nisseis - 50% e sanseis - 45%. "Conquistar": na mesma ordem, 16%, 38% e 37%, indicando que os isseis se identificam com o tipo japonês.

Pergunta 44 - No futuro, os computadores continuarão a

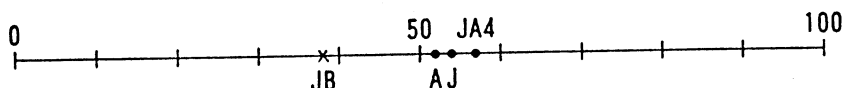
modificar as nossas vidas. Você acha isso
desejável ou não?

1. Uma coisa desejável
2. Uma coisa não desejável, mas inevitável
3. Uma coisa lamentável e perigosa
4. Outro (Especificar)
5. Não sei

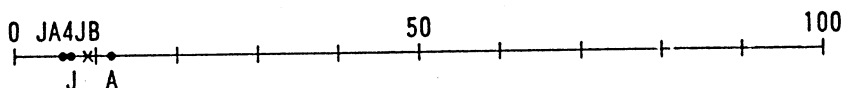
Q 44 - (Desejável)



Q 44 - (Não desejável, mas inevitável)



Q 44 - (Lamentável e perigosa)

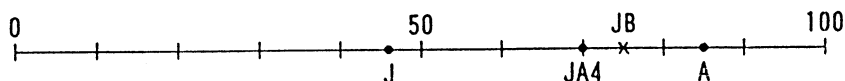


JB se manifestam "desejável", sendo que J, JA, A dizem "não desejável, mas inevitável" praticamente com igual intensidade. Segundo os sexos, os homens se mostram favoráveis (54%, enquanto as mulheres em 35%). Examiando-se à luz das idades, os mais jovens opinam algo mais favoravelmente. Entre as gerações as diferenças são pequenas.

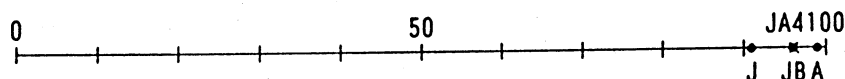
Pergunta 45 - Como é importante para você a preservação do meio ambiente?

1. Muito importante
2. Importante
3. Não muito importante
4. Nada importante
5. Outro (Especificar)
6. Não sei

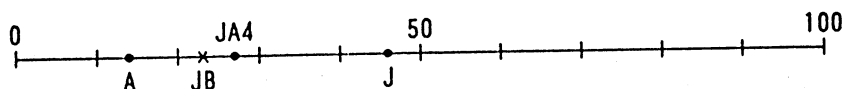
Q 45 - (Muito importante)



< 1 + 2 >



Q 45 - (Importante)



Com JB, A, JA comparecem em alto percentual a expressão "muito importante". Acrescida da classificação "importante", todos os grupos praticamente se igualam. Com exceção de J, os demais, ao que parece, usam muito expressão extremada.

COMENTARIOS REFERENTES A JB SOBRE A VISAO DA CIVILIZACAO CIENTIFICA

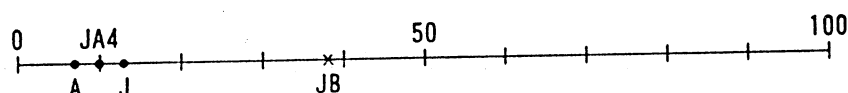
Com vistas à civilização científica e a forma de ser do homem, os JB são mais pessimistas dos que os JA e A. Entretanto, em relação ao computador as suas opiniões se dividiram em "desejável" e "não desejável, mas inevitável", e quanto à natureza e o homem também os seus pontos de vista se bipolarizaram em "seguir a natureza" e "conquistá-la". Em relação à preservação do meio ambiente, juntos com A e JA, prevaleceu a expressão "muito".

10. Atitude Política - VIII

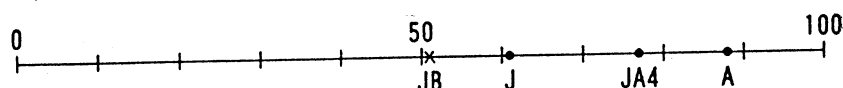
Pergunta 24 - Alguns dizem que se pudermos contar com líderes políticos realmente capazes, o melhor caminho para melhorar o país é deixar tudo entregue a eles ao invés de o povo ficar discutindo as coisas entre si. Você concorda com isso ou não?

1. Concordo
2. Discordo
3. Depende
4. Outro (Especificar)
5. Não sei

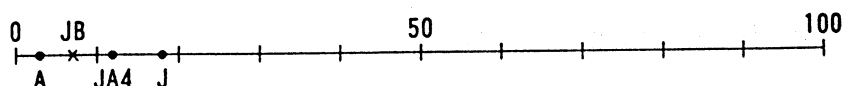
Q 24 - (Concordo)



Q 24 - (Discordo)



Q 24 - (Depende)



Nota-se que com os JB o "concordo" se destaca muito das opiniões dos demais grupos. Discordância é baixa junto com J, e JA se parecem com J. No "depende", os J se colocam na frente.

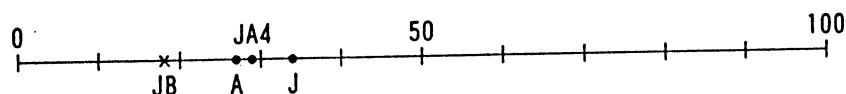
Comparando-se com os dados de outros países, a concordância tem destaque extraordinária na França com 38% (Alemanha - 8%, Inglaterra - 13%, América do Norte - 7%, Japão 13%). Os JB se aproximam. Merece exame mais acurado, se há alguma relação com as raízes latinas dos dois países.

Por faixas etárias, "concordo" tem algum apoio maior entre os mais idosos. Entre as gerações não se verificam diferenças.

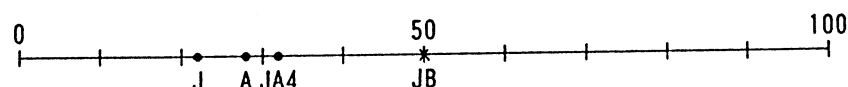
Pergunta 34 - Escolha uma das afirmações seguintes com que você mais concorda.

1. Se os indivíduos se tornarem felizes, então, e somente então, o país como um todo melhorará
2. Se o país como um todo se tornar melhor, então, e somente então, podem os indivíduos se tornarem felizes
3. Melhorar o país e tornar os indivíduos felizes são a mesma coisa
4. Outro (Especificar)
5. Não sei

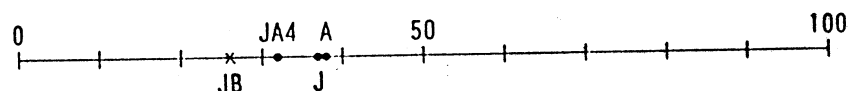
Q 34 - (Indivíduo país)



Q 34 - (País indivíduo)



Q 34 - (Indivíduo = país)

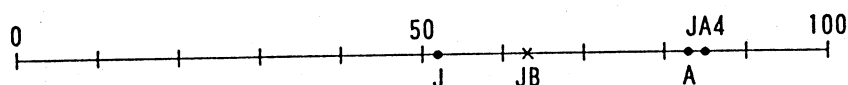


JB são caracteristicamente distintos. Cerca de 50% acham que o país tornando-se melhor os indivíduos se tornarão felizes. Para J essa é a opinião menos aceita, assinalando-se aumento na opinião da conjunção das duas coisas. J, JA, A não apresentam grandes diferenças. Na França a pergunta (país indivíduo) as aceitações foram de 23%, contrariando a tendência mostrada na pergunta anterior. Nessa opinião majoritária, os isseis - 38%, nisseis - 49% e sanseis - 60%. Em relação à opção (indivíduo país), os respectivos percentuais são: 22%, 17%, 15%, com ligeira maioria para os isseis. (Indivíduo = país): os idosos se manifestaram mais favoravelmente. Pelas faixas etárias, nas opiniões majoritárias as aprovações se deslocam mais para o lado dos jovens.

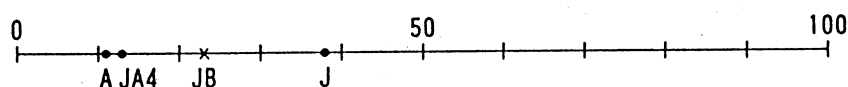
Pergunta 51 - O que você pensa da:

- a. Democracia
 - b. Capitalismo
 - c. Socialismo
 - d. Liberalismo
1. Bom
 2. Depende
 3. Ruim
 4. Outro (Especificar)
 5. Não sei

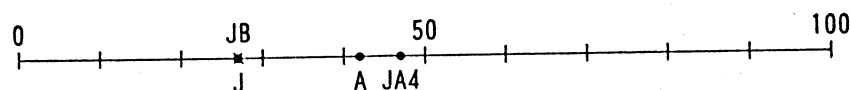
Q 51 - (Democracia - Boa)



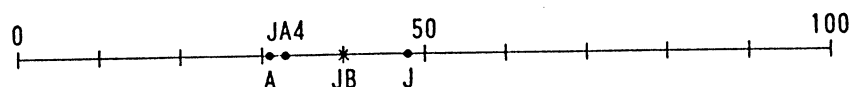
Q 51 - (Democracia - Depende)



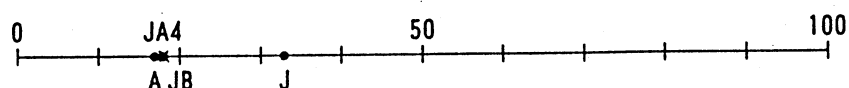
Q 51 - (Capitalismo - Bom)



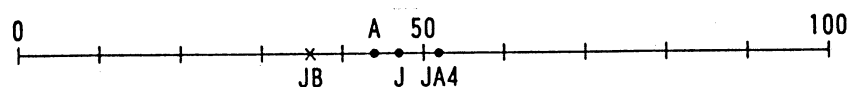
Q 51 - (Capitalismo - Depende)



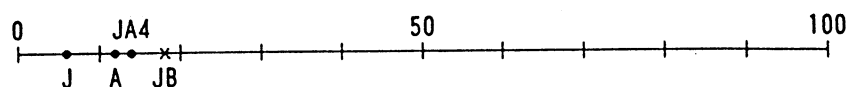
Q 51 - (Liberalismo - Bom)



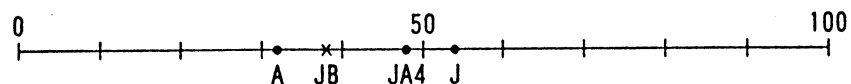
Q 51 - (Liberalismo - Depende)



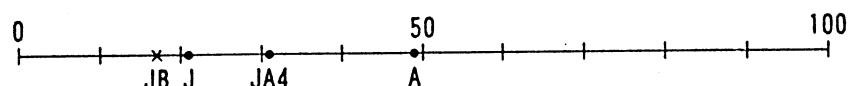
Q. 51 - (Socialismo - Bom)



Q 51 - (Socialismo - Depende)



Q 51 - (Socialismo - Ruim)

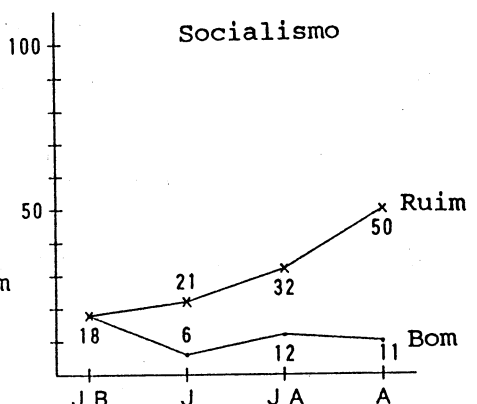
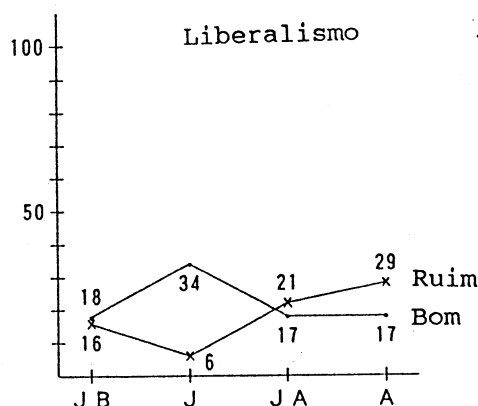
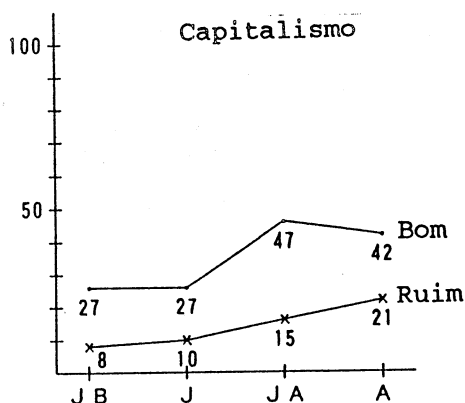
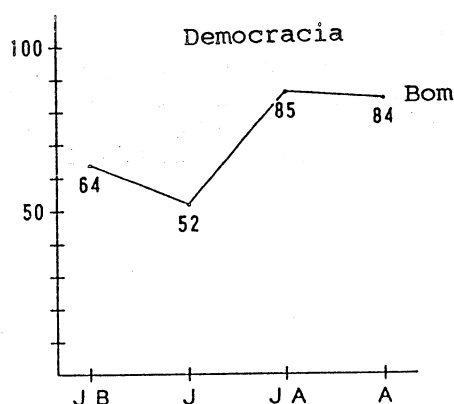


Os J optam, no geral, o "depende"; escolhem os "ismos" políticos de acordo com a ocasião e circunstâncias; adotam pois a atitude de não se apegar a uma ideologia política única e definida.

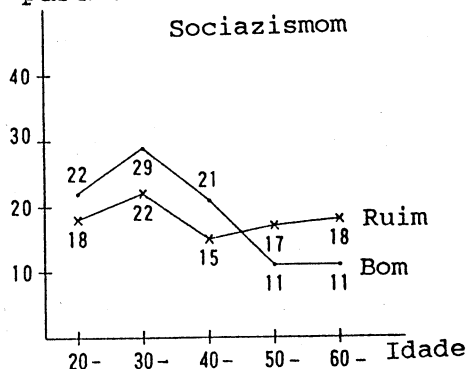
A e JA demonstram forte fixação à democracia. Demonstra também forte apoio ao capitalismo. Eles apreendem o socialismo como ruim.

Os JB, a não ser à democracia, não demonstram especial apoio a qualquer uma das ideologias mencionadas. Mostram, todavia, alguma tendência favorável ao socialismo. Neste ponto têm alguma semelhança com a França.

O liberalismo, na área norte-americana possui uma conotação especial de liberal, tendo conteúdo algo diferente do entendimento prevalecente no Japão, e isso parece que comparece nos resultados. No Japão, o termo liberalismo é aceito com bastante simpatia. A bem da melhor compreensão, são apresentados a seguir alguns gráficos comparativos dos dados:



Examinando-se as opiniões segundo as faixas etárias, comparece um corte ao redor dos 50 anos de idade, notando-se certa propensão para o lado dos mais jovens.

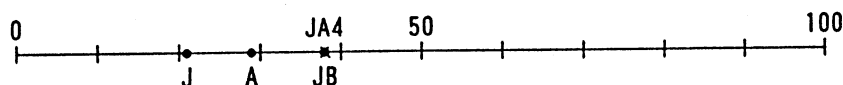


Segundo as gerações, os isseis assumem mais a posição negativa em relação ao socialismo enquanto que os nisseis se mostram mais simpáticos à idéia, e os sanseis se situam a meio termo.

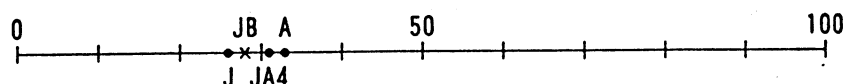
Pergunta 52 - Hoje em dia, há uma porção de idéias sobre metas para o país para os próximos 10 a 15 anos. Neste cartão estão listadas algumas das metas que povos diferentes acreditam que devam ser dadas prioridades por serem consideradas as mais importantes. A longo prazo, qual delas você acha ser a mais importante? (Permitida apenas uma resposta)

1. Manter a ordem no país
2. Dar ao povo oportunidade de opinar nas decisões governamentais importantes
3. Combater a elevação de preços
4. Proteger a liberdade de manifestação
5. Outro (Especificar)
6. Não sei

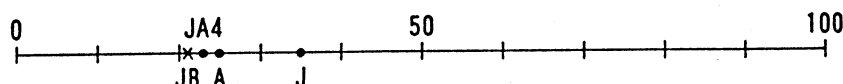
Q 52 - (Ordem no país)



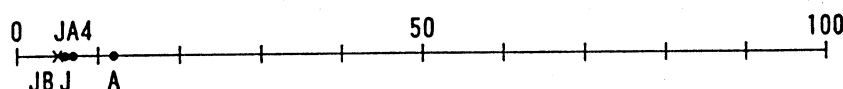
Q 52 - (Direito de opinar)



Q 52 - (Contenção dos preços)



Q 52 - (Liberdade de manifestação)



Podem ser consideradas caracteristicamente majoritárias: ordem no país - JA e JB; direito de opinar - JA e A; contenção dos preços - J; liberdade de manifestação - A. Assinalando-se as respectivas ordens sequenciais para os países, tem-se o seguinte quadro:

	Ordem	Direito Opinar	Preços	Liberdade Manifestar
JB	1	2	3	4
J	3	2	1	4
JA	1	2	3	4
A	2	1	3	4

JB e JA apresentam a mesma forma. Com os A verifica-se a inversão entre ordem e direito de opinar. J diferem dos demais grupos a respeito do controle dos preços, sendo que nos demais itens se igualam aos A.

Examinando-se esses itens segundo as faixas etárias, com os sanseis assumindo a forma seguida pelos americanos:

	Ordem	Direito	Preços	Liberdade
		Opinar		Manifestar
1ª Geração	1	3	2	4
2ª	1	2	2	4
3ª	2	1	3	4

Ordenando-se os dados segundo as faixas etárias podem ser observadas transições interessantes:

	Ordem	Direito	Preços	Liberdade
		Opinar		Manifestar
20 - 29	2	1	3	3
30 - 39	1	2	3	4
40 - 49	1	2	3	4
50 - 59	1	3	2	4
60 -	1	3	2	4

20 - 29 anos - tipo americano; 30 - 49 anos - forma igual à geral, e acima de 50 anos - tipo seguido pelos isseis.

COMENTARIOS REFERENTES A JB SOBRE AS ATITUDES POLITICAS

Os JB se mostram propensos a aceitarem a entregar a política do país a políticos capazes em proporção muito acima daquela manifesta pelos integrantes dos outros países, e quanto às ideologias políticas se achegam um pouco mais ao socialismo do que acontece com os outros grupos. São numerosos os que manifestaram a opinião de que a melhora do país traria a felicidade do indivíduo. Nestes aspectos, os JB são peculiares, diferindo com J bem como com os JA. Em relação às metas para o país, os JB se colocam próximos a JA, e os J são peculiares, diferindo de JB como de JA. Em matéria de atitude política, poder-se-ia dizer que JB diferem de J. Tirando-se as metas do país, diferem também de JA.

11. Perguntas Abertas

As respostas livres foram agrupadas em quadros, figurando como Anexo 3.

Elas se prestam melhor à leitura do que em resumos numéricos, pois as variadas informações poderão ser melhor apreciadas dessa maneira.

12. Características da Consciência/Atitude como Imagem Coletiva dos Nikkeis Brasileiros

Vamos, inicialmente, apresentar algumas características das amostras dos nikkeis do Brasil.

Isseis - 19%; nisseis - 47,8%, sanseis ou gerações mais avançadas - 32,6%.

Escolaridade: instrução primária - 52,3%; secundária - 27,7%; superior - 19,2%.

Composição etária: 20 - 29 anos de idade - 19,4% (incluem-se as pessoas com 19 anos); 30 - 39 anos - 20,1%; 40 - 49 anos - 19,8%; 50 - 59 anos - 19,7%; acima de 60 anos de idade - 20,4%. Homens - 55% e mulheres - 45%.

Conhecimentos de língua japonesa: falam suficientemente - 48,4% (não falam - 28,2%); lêem e escrevem suficientemente - 28,6% (não lêem nem escrevem - 54,1%).

Vamos realizar uma comparação das consciências/attitudes através das características das imagens coletivas obtidas pelo ordenamento simples dos dados, relacionando-os com os J e os JA. As relações com os dados da França, referidas em comparação com alguns itens, não são simples, pois alguns dados se assemelham e outros são distoantes.

<u>AREA</u>	<u>JB</u>	<u>RELAÇÃO COM J</u>	<u>RELAÇÃO COM JA</u>
FATOS GERA IS	Satisfação na vida. Muitos enumeram importância na área do viver. Perspectiva otimista para o futuro. Intenso o sentimento de insegurança. Muita reação extremada	Diferente quanto ao sentimento de insegurança. Não próximos a J	Sentimento de insegurança menor do que JB, mas próximo. Diante a outros quesitos não necessariamente próximos
VISAO S/TRA BALHO	Propensão ao trabalho é elevada	Supera a propensão ao trabalho de J. Menos quanto ao tipo de companheiro em novo local de serviço	Difere muito com JA

FATOS SOCI- AIS PROXI MOS (i)	Muitos não ensinam à cri- ança que o dinheiro é im- portante. Forte o senti- mento de "mottainai" Qto aos costumes, segui-los e prosseguir no s/pensamen- to próprio se igualam	Assemelham se na li- berdade e disciplina Qto a cos- tumes e pensamento próprio se assemelham p/proximi- dade dos % de apoio	Assemelham- se qto à li- berdade e disciplina. Qto a costu- mes, no todo a diferença não é gran- de.
--	---	---	--

RELA- COES HUMA- NAS (ii)	Respeito e atribuição de importância às relações humanas. Forte impressão de dar peso aos sentimen- tos pessoais	Próximos a J	Mais próxi- mos de J do que de JA. Entretanto, JA e JB são próximos
---------------------------------------	--	-----------------	--

SENTI MENTO DE CONFI ANÇA (iii)	Forte o sentimento de desconfiança em relação aos homens	Diferentes também em relação a J	Muito dife- rentes
--	--	---	-----------------------

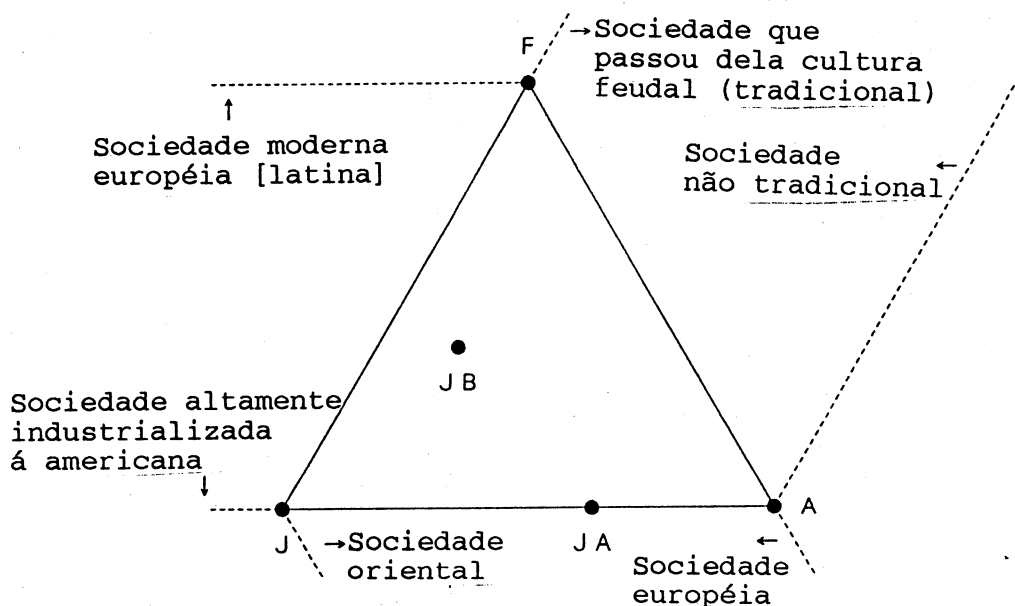
FAMI- LIA	Elevado grau de apoio à afirmação de ser o lar único lugar de fi- car-se à vontade. Bas- tante moderna a forma de sentir o lar. Neste aspecto se aproximam da França	Assemelham se quanto ao ponto citado à esquerda, mas nos de- mais pontos diferem de muito	Mas modernos do que JA. Um pouco mais próxi- mos a JA do que a J
--------------	---	--	---

ANCES TRAIS - RELI- GIAO	Opinião majoritá- ria quanto a respeito a ancestrais e conti- nuar a linhagem fa- liar com filho ado- tivo	Mais próxi- mos a A do que a J	Mais próxi- mos a A do que o são os JA
--------------------------------------	--	--------------------------------------	---

RELI GIAO	Muito numerosos os que crêem em religião.O sentimento religioso é importante.Muita opinião de que todas religiões pregam a mesma coisa	Muito mais numeroso a queles que creem do que J,mas na afirmação de que se pregam a mesma coisa se a prooximam de J	Na tendência se assemelham de JA
VISAO DA CI VILI ZACAO CIENTI FICA	Neste aspecto são mais pessimistas do que JA. A. Em relação aos computadores e relação entre o homem e a natureza as opiniões se bipolarizam.Muito reduzida a opinião de utilizar-se a natureza	Há pontos de semelhança c/J, mas em outros distoam	Não se assemelham com JA
ATITU DE POLI- TICA	Elevada a opção pela delegação do exercício político a líderes capacitados. Qto a ideologia política, alguma propensão ao socialismo. Muitos adeptos do esquema país indivíduo Nas metas nacionais, ocupam os primeiros lugares: ordem no país, direito de opinar, contenção de preços	Diferentes de J	Diferem muito juntamente com A.Entretanto, quanto às metas nacionais se aproximam de JA

Com as informações fornecidas pelos dados ordenados acima, e com o auxílio dos conhecimentos adquiridos em pesquisas comparativas anteriormente levadas a efeito, procurou-se projetar um esquema comparativo colocando-se num conjunto as

informações referentes a J, JB, JA, A e F (França). No gráfico abaixo, as distâncias relativas expressam as proximidades e semelhanças.



O gráfico, que sintetiza os dados, trata-se de conmmjectura, mas com emprego de "determinado método" de análise de dados multidimensionais, trabalhando-se os dados obtidos em todas as pesquisas o gráfico poderá ser elaborado objetivamente. Não dispondo de tempo suficiente para esse trabalho, por ora, limitamo-nos ao gráfico apresentado, propondo-nos, em breve, a executar o trabalho.

CAPITULO III - ESKOÇO DA DISPOSIÇÃO PSICOLOGICA DO

NIKKEL BRASILEIRO

No capítulo II analisamos as características da comunidade de origem japonesa do Brasil diante das respostas a cada uma das perguntas apresentadas através dos questionários. Tencionamos, agora, esclarecer algo mais, adentrando no íntimo dos nikkei, esmiuçando as reações psicológicas deles diante das perguntas formuladas. Para tanto, perguntas foram agrupadas em alguns conjuntos, e com base nas respostas apresentadas pelos entrevistados, tentamos apreender as suas disposições psicológicas e esboçar a estrutura do comportamento coletivo. Trata-se de uma tentativa no sentido de dar-se mais um passo para melhor compreender a atitude e comportamento dos componentes dessa comunidade. Trata-se de tentativa de esclarecer o modo de pensar, a maneira de sentir, as vias de raciocínio do indivíduo através dos padrões formados pelas suas respostas. Isto se torna possível estatisticamente pelo método de quantificação das classes dos padrões através das atribuições de escalas, da análise correlacional e estabelecimento das vias de seus raciocínio.

Porcuraremos, a seguir, com base nos resultados obtidos nas pesquisas comparativas internacionais, realizadas até agora, apresentar alguns aspectos interessantes em comparação com os dados oferecidos pelos nipo-americanos (JA).

1. Relação Humana dita "Giri-Ninjô" (*Guiri* que significa, aproximadamente, ser devedor a alguém de algum favor e por isso mesmo se precisa retribuir; e *ninjô* significa sentimento humano. E empregado, comumente, nessa forma composta).

Trata-se de uma peculiaridade característica que representa as relações humanas nipônicas. É um dos itens que mais destaca a característica japonesa nas análises que temos feito até agora.

Enumeramos, a seguir, as perguntas que compõem este conjunto:

- Pergunta 30 - A história que o professor teria praticado um ato condenável
- Pergunta 31 - Reunião e o benfeitor à morte
- Pergunta 32 - Reunião e o pai à morte
- Pergunta 38 - Exame de admissão: 1º. colocado ou parente
- Pergunta 39 - Exame de admissão: 1º. colocado ou filho do benfeitor
- Pergunta 40 - Chefe que se preocupa com os aspectos pessoais de seus subordinados
- Pergunta 35 - Aspectos morais importantes

Com base nestas perguntas foi elaborada uma "escala" para medir o grau do "aspecto de *giri-ninjô*. A "escala" foi construída da seguinte maneira:

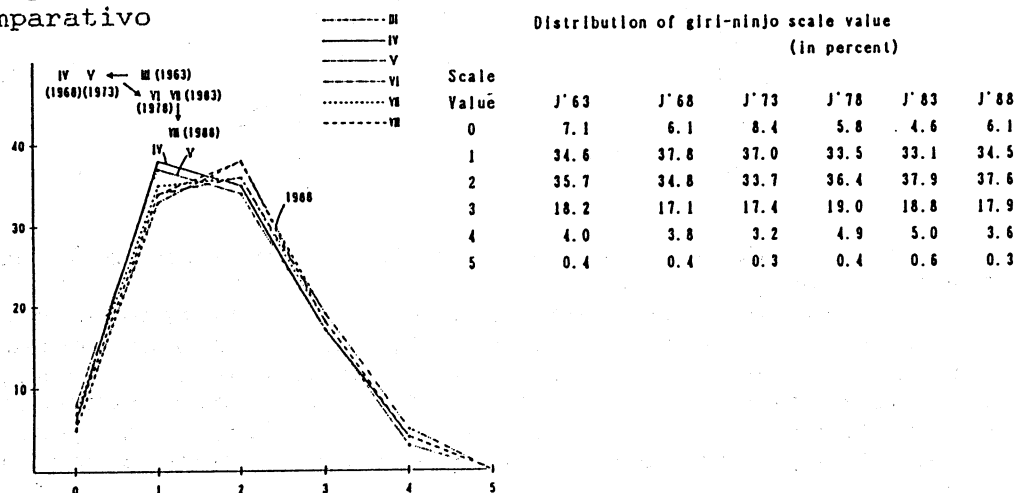
Modo de Construção da Escala de "Giri-Ninjô"

Pergunta	Respostas de Natureza Afirmativa de "Giri-Ninjô"	Valor da Escala *
Q-30	2 (Negativa)	1
Q-31 e Q-32	1 x 2 (Vai qdo benfeitor) (Reunião qdo pai)	1
Q-38 e Q-39	1 x 2 (1º. do que parente) (Filho benfeitor do q.1º)	1
Q-40	2 (Chefe q.se preoc.c/sub)	1
Q-35	1 x 2 (Dever filial.Retribuir favores)	1

* Considera-se o grau de medida de *giri-ninjô* pela soma dos valores de cada indivíduo para cada item

Pela forma como está constituída a escala, quanto maior o valor da escala mais acentuado é o caráter de *giri-ninjô*. Pode-se dizer que quando o valor é 2 ou acima, possui relativamente o caráter de *giri-ninjô*, e se 3 ou acima, apresenta forte caráter de preferência (propensão) a *giri-ninjô*.

Vamos tentar fazer comparações entre os grupos empregando esta escala. Ela valeria, originariamente, apenas para os japoneses, mas vale também para os nikkei. - Tentaremos explicar isto na análise que procederemos adiante - . Entretanto, para os nacionais de outros países, não se pode atribuir o sentido original, possuindo apenas o sentido de se ter aplicado formalmente o procedimento. Mas, como o ponto 0 (zero), indica a ausência dessa maneira de pensar, pode-se considerar que tem significado comparativo



Distribution of Giri-ninjo Scale Value in Japan

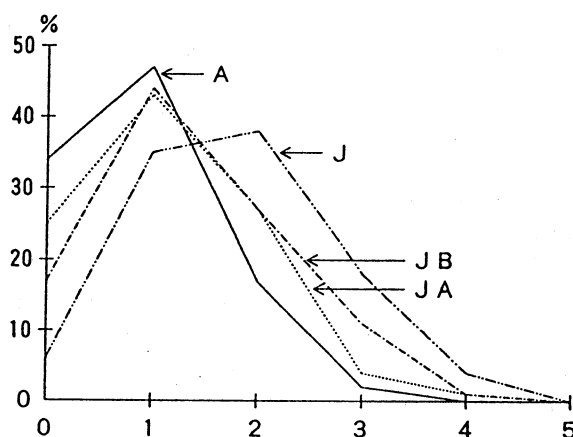
Os picos das curvas se situam nos valores das escalas 1 e 2, sendo que os valores de escala acima de 2 ocupam, sempre, mais da metade. Pode-se dizer que *giri-ninjô*, de natureza nipônica, está presente em grau relativamente elevado. Com base nestes dados, vamos fazer comparações com os valores encontrados em JA, JB, A, etc.

Escala de GIRI-NINJO (%)

	! J	JA*	JB	! JB	1s	2sei	3sei	2sei + 3sei
0	6	25	17	5	12	31	20	
1	35	43	44	37	46	47	46	
2	38	27	27	33	30	17	25	
3	18	4	11	23	11	5	9	
4	4	1	1	2	1	0	0	
5	0	0	0	0	0	0	0	
Só 0	6	25	17	5	12	31	20	
> 3	22	5	12	25	12	5	9	

* 0 (zero) em JA em 1971, 78 e 83, foi, respectivamente, de 30%, 30% e 31%, sendo que acima de 3 foram 5%, 4% e 3%.

Distribuição da Escala de Giri-Ninjô



A curva de JB se aproxima mais da curva do Japão do que a apresentada pelo JA.

Examinando-se segundo gerações, constata-se que os issei se mostram com valores algo superiores em comparação com os japoneses como um todo. Comparando-se os issei, que têm maior proporção de pessoas de idades mais avançadas com os japoneses de idades mais elevadas, os japoneses apresentam propensão um tanto superior no que diz respeito a *giri-ninjô*.

A seguir, a distribuição segundo as faixas etárias no Japão:

Distribuição das Escalas de *Giri-Ninjô*
<VIII Pesquisa com Japoneses - 1988. Segundo Idades>

Idade	Escala						Nº.de Amostras
	0	1	2	3	4	5	
20 - 24	8	45	33	11	3	0	173
25 - 29	10	39	40	9	3	0	150
30 - 34	11	45	30	13	1	0	180
35 - 39	4	40	36	18	2	0	245
40 - 44	8	35	37	17	2	1	188
45 - 49	3	35	41	18	2	1	177
50 - 54	4	29	41	22	5	0	153
55 - 59	5	26	43	23	4	0	167
60 - 64	3	29	39	25	4	0	153
65 - 69	4	26	42	22	6	1	110
> 70	6	24	36	23	11	0	162

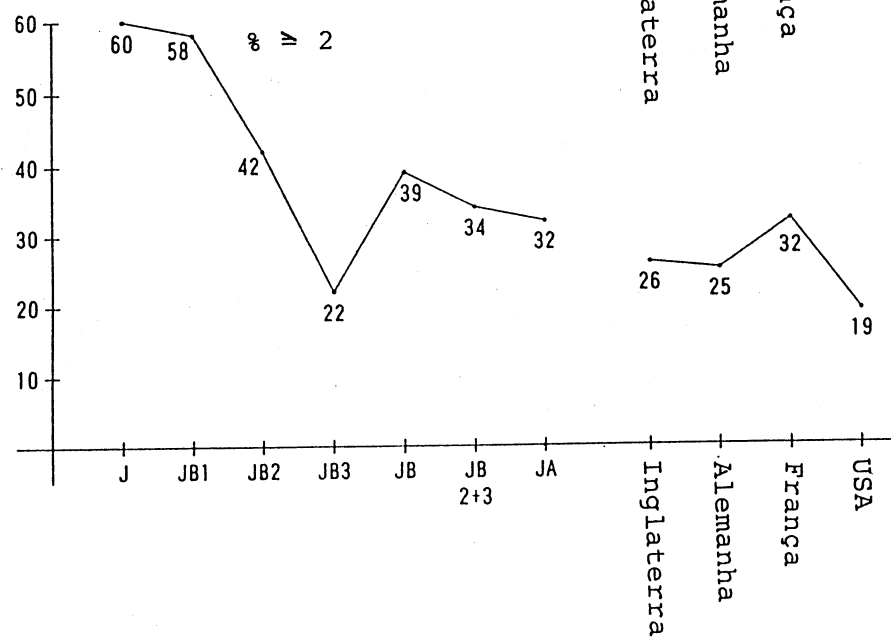
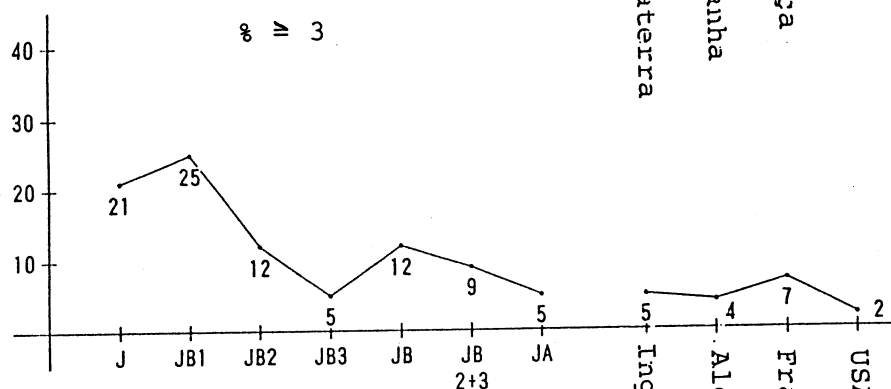
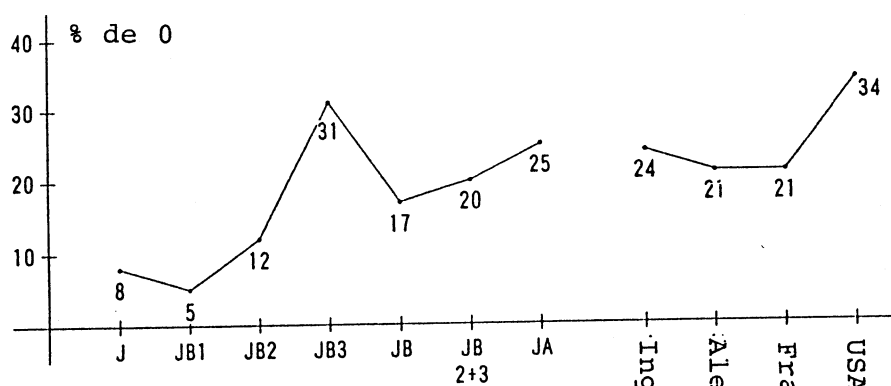
Examinando-se os dados segundo as idades, conforme se pode constatar no quadro abaixo, as diferenças apresentadas pelas faixas etárias são grandes, maiores do que as constatadas no Japão:

Escala de *Giri-Ninjô*

	-20-29	30-39	40-49	50-59	>60	H	M
0	30	27	14	7	4	14	20
1	53	50	43	47	28	47	40
2	17	13	21	37	47	25	30
3	0	10	21	5	21	14	8
4	0	0	1	3	0	0	2
5	0	0	0	0	0	0	0

Sintetizando-se os dados acima e elaborando-se gráficos com percentuais referentes às escalas 0 e acima de 3, as tendências se tornam auto-explicativas, mostrando claramente a estrutura interna de JB bem como a comparação com as situações em outros países.

Escala de Giri-Ninjô



Como foi anteriormente mencionado, trata-se de escala sem qualquer significação em relação a países que não ao

Japão, mas, as reações e comportamentos dos nipo-americanos e nipo-brasileiros se acham retratados nas distribuições das escalas mostrando as mudanças verificadas de maneira muito interessante. Entre os nikkei permanecem esse tipo de relações humanas, apresentando, nas curvas registradas, feições diferentes daquelas conseguidas junto às amostras de outros povos. É pois, bastante interessante que permanece arraigada entre esses descendentes a propensão a *giri-ninjô* como acontece com os japoneses. De outro lado, merece atenção o fato de os sansei começarem a apresentar sinais um tanto diferenciados.

2. Relações Interpessoais com Ênfase ao Aspecto Afetivo (Escala Afetivo)

Empregando-se as perguntas que serviram para a construção da escala de *giri-ninjô*, procuramos elaborar uma escala para avaliar a tendência que enfatiza o aspecto afetivo nas relações interpessoais:

Escala Orientada no Sentido da Afeição (Calor Humano e Sentimento Pessoal) nas Relações Interpessoais

Construção da Escala (Com Uso das Perguntas sobre *Giri-Ninjô*)

Pergunta Nº.	Categoria	Valor da Escala
Q 30	(2)	1
Q 31	(1)	1
Q 32	(1)	1
Q 38	(2)	1
Q 39	(2)	1
Q 40	(2)	1
Q 35	(1)	1
	(2)	1
Total		0 - 8

Quanto maior o valor desta escala, considera-se maior a ênfase que se dá ao aspecto afetivo (calor humano, sentimento individual). É de se notar que no *giri-ninjô* não se encontram apenas os aspectos do calor humano, mas também incluem aqueles aspectos que constroem, psicológica ou espiritualmente, no sentido de rigor, de autossacrifício, distinguindo-se, neste ponto, com afeição que carrega consigo apenas o aspecto do calor humano.

Nas pesquisas efetuadas até a presente data, enumerando-se os percentuais registrados para as escalas acima de 5 (perecentuais que denotam as atitudes de atribuição de importância ao calor humano, ao sentimento individual), em ordem decrescente, são: Japão (38%), França (35%), Alemanha (33%), Inglaterra (27%), América do Norte (23%). Examinando-se os dados referentes aos não-nikkei (19%) e os nikkei (29%) de Havaí, é interessante notar-se que enquanto aqueles se localizam próximos aos americanos do

continente esses nikkei se situam entre os americanos e japoneses.

E como se comportam os nikkei brasileiros? O resultado registrado foi de 34%. Valor superior ao consignado pelos nikkei americanos de Havaí, situando-se próximos aos 38% dos japoneses. Resultado que merece atenção como acontece com os resultados obtidos com *giri-ninjô*.

Os quadros seguintes mostram esses dados segundo geração, sexo e faixas etárias. Os sansei JB se aproximam de JA e as pessoas com idade acima de 60 anos mostram maior propensão a atribuir importância aos sentimentos individuais.

Escala de Calor Humano e Sentimentos Individuais Percentuais para Escalas acima de 5

Comparação		Em Relação a JB	
J	38%	Homem	32%
JB	34	Mulher	38
JB ₁	42	-20 - 29	32
JB ₂	35	30 - 39	28
JB ₃	28	40 - 49	24
JA	29	50 - 59	30
A	23	>60	57

3. Fábula de Esopo e as Relações Huumanas

São respostas referentes à fábula de Esopo que conta a história da formiga e o grilo (há a versão da formiga e a cigarra). A respeito, existe uma análise detalhada em Hayashi, Chikio; Yonezawa, Hiroshi: "Nipponjin no Shinsôishiki"-Ed. NHK, 1982. Conforme se pode notar na Q 17, é colocada a história da formiga e grilo, e como opções de respostas são oferecidas: "1. A formiga manda o grilo embora porque é natural que sofra agora", e "2. A formiga admoesta o grilo dizendo: Você deve arrepender-se de ter sido preguiçoso. Aqui para diante você deve trabalhar mais. E depois compartilha a comida". Feitas essas colocações, pergunta-se que resposta se identifica com o sentimento do entrevistado.

As respostas obtidas com JB, e anteriormente nos diversos países pesquisados, foram conforme o resumo abaixo:

	Alemanha	França	Inglaterra	A	JA	J	JB
Tipo 1	13%	14%	13%	12%	9%	15%	20%
Tipo 2	78%	79%	83%	85%	91%	75%	78%

As referências bibliográficas dão conta de que as inclinações psicológicas dos japoneses, mais sentimentais, fazem propender para o tipo 2, mas é de se atentar para o fato de que o percentual correspondente é relativamente baixo. Deixando de lado, por ora, este aspecto da questão, vamos tentar correlacionar as respostas dos tipos 1 e 2, com o calor humano, propensão ao *ninjô*. Para isso, valendo-nos

das perguntas utilizadas na construção da escala de *giri-ninjô*, elaboramos uma escala de afeições de calor humano, de sentimento.

Examinando-se as respostas do tipo 1 (referido como S1) e do tipo 2 (referido como S2), conforme se pode verificar no quadro abaixo, deixando-se de lado as respostas de JB, com exceção de Havai e Japão, nos valores da escala acima de 5, não há diferenças entre S1 e S2. Entretanto, no caso de Havai, já comparece mais acentuada a propensão ao calor humano, ao sentimento, expressa por S2. E para o Japão é mais elevada. Correlacionando-se as respostas de S2 com o calor humano, o sentimento nas realções humanas, talvez se possa dizer que essa seria a maneira de pensar mais peculiar dos japoneses.

Porcentagem de Valores de Escala acima de 5

	S1	S2	Total*
Alemães	36	34	33
Franceses	40	36	35
Ingleses	28	28	27
Americanos	24	23	23
Não-JA Havai	10	20**	19
JA de Havai	18	31**	29
Japoneses	32	40**	38
JB	60	27**	34

Obs. * Incluindo outros além de S1 e S2

** Significante (nível de confiança 0,95)

Os JB, no total, alcançam valores elevados de 34% para escalas acima de 5, colocando-se mais próximos a J do que os JA (assemelhando-se a alemães e franceses). Entretanto, no que diz respeito às relações em S1 e S2, mostram-se inteiramente distintos de J e JA. Em S1 alcançam 60%, com muitos valores acima de 5 na escala de afeições, sendo que em relação a S2 apresentam 27%. É necessário pensar-se por que só JB apresentam alta incidência daqueles que responderam S1.

Vamos analisar com maior detalhe os dados que deram origem a esses percentuais. Vejamos as distribuições das respostas na escala de afeições:

Valor da Escala	0	1	2	3	4	5	6	7	8
S1	2	1	7	14	17	30	22	8	0
S2	1	3	8	25	36	16	7	4	0

As distribuições se opõem claramente, mostrando a consistência da análise.

Nota-se em JB diferente caminho de raciocínio frente à direta ligação entre o desfecho da fábula de Esopo e calor do coração que crêem no sentimento humano que se verifica entre J e JA.

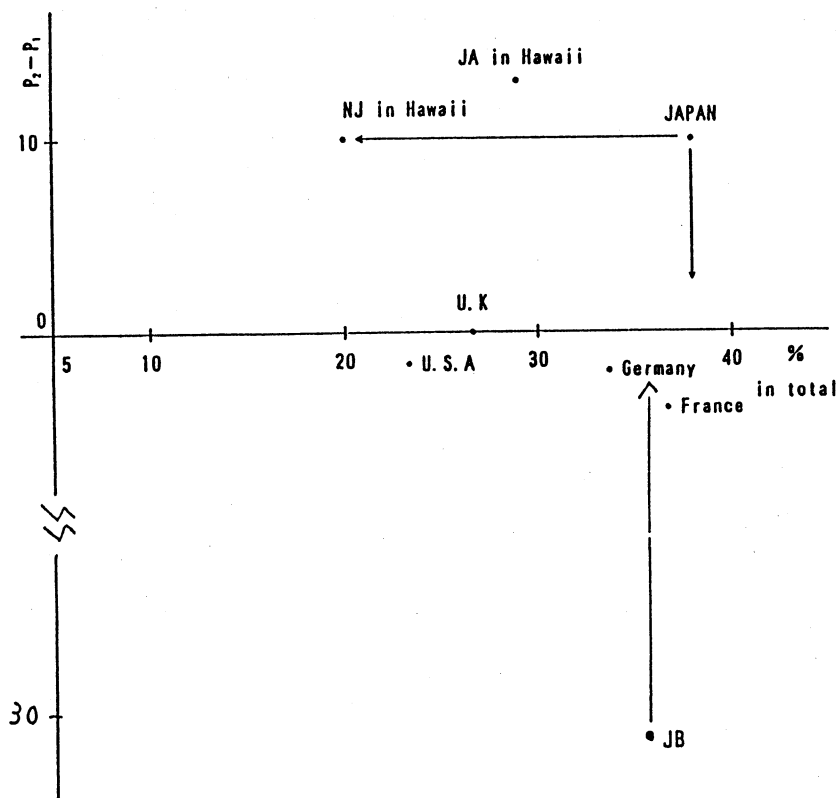
"Não dar comida", que comparece na fábula de Esopo, expressando a consonância ao ensinamento de alerta para a indolência, trata-se de sentimento de concordância com o rigor do princípio. Parece-nos que o coração dessas pessoas que adotam o princípio se inclina para o lado da fé individual (calor humano que preza o sentimento individual). Pode, pois, compreender-se que se trata de forma de correspondência, de um lado a dar solução clara à indolência e de outro de acreditar no sentimento individual e de sentir propensão ao calor humano. Parece-nos que aflora aqui algo que compreende o caminho de racicínio do tipo dito "antigo". De outro lado, a resposta de "dar o alimento", parece-nos tratar de modo de pensar ocidental que tem muito pouco a ver com o calor do coração.

Teremos a oportunidade de efetuar uma nova consideração quando faremos análise através da escala japonesa, mas podemos já dizer que devemos levar em consideração as constatações de que aquelas pessoas que mostram valores menores com a escala japonesa apresentam menores (maiores) valores para S1 (S2), e as que correspondem a valores de escala japonesa mais elevados optam mais pela resposta S1.

Aqui, vamos nos limitar a dizer que os JB mostram caminhos de racicínios que aparentam ser do tipo antigo que já não se encontram no Japão de hoje, e que não apresentam relacionamento direto como acontece com os J e JA e sim uma ligação sinuosa.

A seguir, o gráfico demonstrativo dessa relação:

Na abscissa, as porcentagens sobre o todo para valores da escala superiores a 5, e na ordenada os valores resultantes da subtração dos percentuais dos valores da escala superiores a 5 em S1 dos percentuais dos valores da escala superiores a 5 em S2. Os dados referentes a J e JA se situam na parte superior do eixo vertical, e no eixo horizontal vão diminuindo sucessivamente de J, JA e não nikkei de Havai, se aproximando de americanos. Japoneses, alemães, franceses e JB se encontram próximos no que se refere aos percentuais sobre o todo, mas apresentam diferenças de significados referentes ao eixo vertical. Japoneses na parte superior. alemães e franceses próximos ao eixo, e os JB se localizam bem distantes na parte inferior. Nestes significados, vê-se que os nikkei se constituem em elo entre os japoneses e os estrangeiros.



4. Nikkei nas Relações Interpessoais

Fizemos uma exposição sobre escala de afeições nas relações humanas. Vamos ampliá-la reunindo as opiniões que dizem respeito às perguntas relacionadas à mesma natureza: Q40 - o chefe que se preocupa com seu subordinado; a opção 3 da Q 15 "Trabalhar com pessoas que se gosta"; a opinião 2 da Q 37 "Pessoa que enfatiza o consenso quando vai decidir alguma coisa"; e o item da Q 19 "Amigos e conhecidos são muito importantes (escala 6 ou 7)". Os percentuais correspondentes são:

	J	JB	JA	N-Nikkei Havaí	A	Al.	Fr.	Ingl.
Escala Afeição >5	38	34	29	19	23	33	35	27
Q 40 Chefe que se preocupa	80	68	59	57	51	69	64	57
Q 37 Prefere pessoa q.respeita harmonia	68	67	72	67	47	62	66	52
Q 15 Pessoa q.gosta	29	12	22	13	11	20	7	15
Q 19 Amigos e conhecidos importantes (códigos 6 e 7)	67	78	65	58	63	63	49	57

Ordenando-se segundo as respectivas colocações se tem a seguinte situação:

	J	JB	JA	N-Nikkei Havaí	A	Al.	Fr.	Ingl.
Escala Afeição >5	1	2	5	8	7	2	2	6
Q 40 Chefe que se preocupa	1	2	5	6	8	2	4	6
Q 37 Prefere pessoa q.respeita harmonia	2	2	1	2	8	6	2	7
Q 15 Pessoa q.gosta	1	5	2	5	5	3	8	4
Q 19 Amigos e conhecidos importantes	2	1	3	6	4	4	8	6
Soma das Classificações	7	12	16	27	32	17	24	29

* Diferença de 1% foi considerada dentro da mesma classifi-

cação.

Colocando-se pela ordem crescente das somas das classificações (isto é, classificações mais elevadas ou seja tendência de mais calor humano nas relações entre os homens - sob a ótica do Japão) se tem a seguinte sequência: Japão, JB, JA, Alemães, Franceses, Não-Nikkei de Havai, Ingleses, Americanos. Os dois extremos são ocupados pelos japoneses que se mostram mais propensos ao calor humano e os americanos que se mostram mais secos nessas relações, sendo que os nikkei (brasileiros e de Havai) se situam no meio entre essas duas posições, mas um pouco para o lado dos japoneses. Os Não-Nikkei de Havai e os ingleses também se acham localizados no meio termo. Os alemães se colocam para o lado do calor humano. Quanto aos franceses, nos primeiros 3 itens se mostram com preferência para o calor humano, mas nos 2 últimos itens apresentam reações claramente distintas, indicando caminhos de raciocínios diferentes. Neste ponto os americanos também se mostram algo diferenciados, mas no geral são secos.

De todo modo, nas relações humanas, os nikkei mostram elos que se situam próximos ao Japão, se colocando entre este e os naturais de outros países. Entretanto, é importante notar-se que os nikkei de Havai mostram reações que se aproximam dos americanos no item que se refere ao chefe que se preocupa com os seus subordinados.

Quanto aos nikkei brasileiros é baixa a resposta que dá preferência a trabalhar em local onde se encontram pessoas que gosta, mas no geral os nikkei de Havai e os nikkei brasileiros se assemelham, e ambos mostram propensões que se aproximam do Japão, sendo mais acentuada com os nikkei do Brasil.

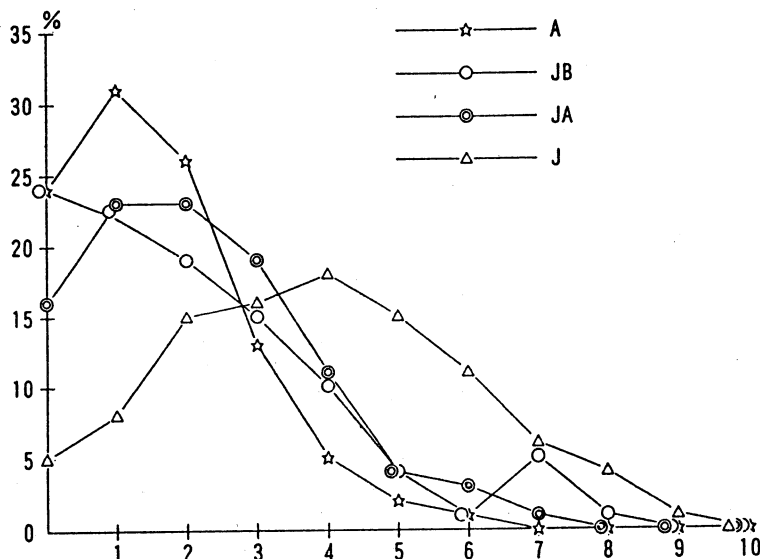
5. Sobre as Respostas Intermediárias

Que os japoneses apresentam respostas medianas ou intermediárias, e que isso lhes dá um tom característico já foi notado e apontado em pesquisas anteriores (Hayashi: "Chôsa no kagaku" - Ciência da pesquisa - Ed.Kôdansha, 1984; Hayashi,Suzuki: "Shakaichôsa to Suryôka" - Pesquisas sociais e quantificação - Ed.Iwanami shoten, 1986; Hayashi: "Nihonjin no kokoro o hakaru" - Medindo a consciência do japonês - Ed.Asahi Shimbun-sha, 1988).

Nesta pesquisa, nas questões colocadas para comparação internacional, são 10 aquelas que possibilitam respostas medianas (Q 12, 21,22, 24, 25, 26 e mais os itens a,b,c,d de Q 51). Foram levantadas quantas respostas intermediárias se registraram nesses 10 quesitos, e atribuindo-se os valores de escala se examinaram as suas distribuições. Para os japoneses, a curva se apresenta mais elevada na parte média. As posições relativas aos japoneses, aos nipo-americanos de Havai, aos americanos e aos nipo-brasileiros, podem ser vistas no gráfico abaixo. Os americanos mostram curva sensivelmente deslocados para valores mais elevados. O

americanos de Havai se colocam entre os dois (em análise mais detalhada, é muito interessante notar-se que os JA se situam um pouco mais próximos aos japoneses e os não-nikkei de Havai se colocam mais deslocados para o lado dos americanos continentais). Nota-se também neste sentido, que os JA se constituem num elo entre o Japão e a América, sendo que os nikkei havaiano possuem algo de ares japoneses. Sabe-se pois, que eles configuram uma espécie de ponte entre aquilo que é japonês com os elementos americanos.

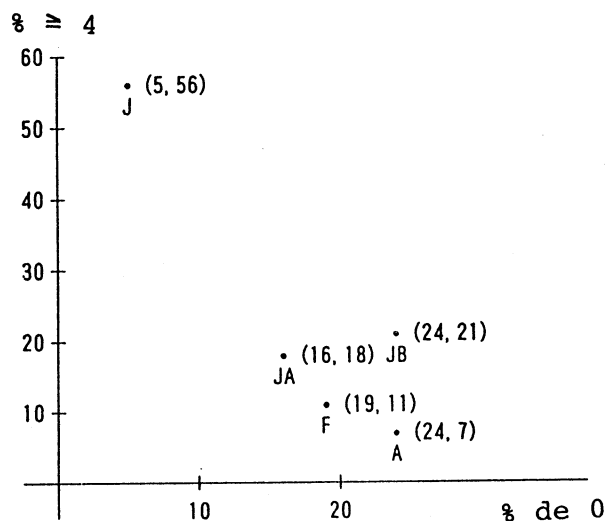
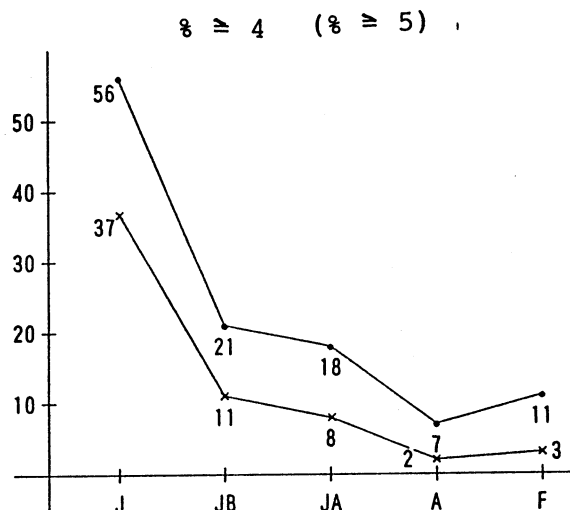
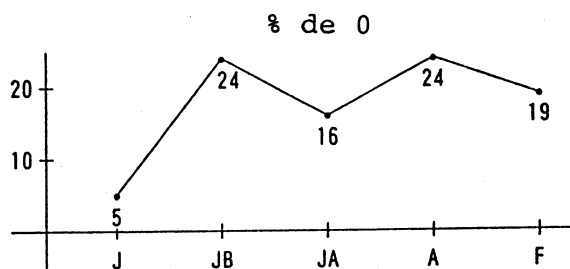
Distribuição das Respostas Intermediárias



A curva obtida com as respostas dos JB difere daquela de JA. A localização do 0 (zero) coincide com aquela de A, mas em seguida ela se direciona no sentido de maior número de respostas intermediárias. Dá-nos a pensar que tendem à existência de bipolaridade no ponto 0 (zero) e outro de maior valor.

Para melhor visualização, traçamos os seguintes gráficos. JB se assemelham muito com JA, mas valores mais elevados se situam, verdade que um pouco, para o lado dos japoneses. É bastante interessante notar-se que, também com os JB, as respostas intermediárias, juntamente com as relações humanas, se situam mais próximas aos japoneses.

Respostas Intermediárias



Examiando-se os dados referentes a JB, em 0 (zero), os homens registram 19% ao passo que as mulheres se apresentam

mais decididas com 29%. Acima de 4 (acima de 5), os homens 26% (14%) e as mulheres 15% (6%), mostrando que os homens apresentam mais respostas intermediárias. Por estes dados, as mulheres se mostram mais tênues nas tendências japonesas. Segundo as faixas etárias, em 0 (zero) não se constata uma tendência definida (divisão em 10 anos de idade no sentido crescente: 20%, 18%, 12%, 42%, 26%); acima de valor 4, há muita oscilação como 20%, 28%, 11%, 19%, 29%, não se podendo constatar tendência. As opções segundo gerações, no ponto 0 (zero) são as seguintes: issei 22%, nisei 29%, sansei 17%, e para os valores acima de 4 se apresentaram, respectivamente: 37%, 12%, 25%. Os nisei opinam com mais decisão, seguidos de sansei. Quanto a issei, parece que há dois tipos. Somando-se nisei com sansei, no ponto 0 (zero), issei 22% e nisei + sansei = 24%, não apresentando diferença, mas em 4 (em 5), os respectivos percentuais são 37% (26%) e 17% (7%), mostrando que, apesar de não haver diferença no ponto 0 (zero), nas respostas intermediárias os issei prevalecem. Os nisei e sansei fluem naturalmente para o lado de menos respostas intermediárias, mas quanto aos issei, como já se fez referência, verifica-se a existência de dois tipos.

No conteúdo das respostas de JB se sente algo de sinuoso - não se poderia dizer simplesmente que persistem elementos japoneses remanescentes ou que houve assimilação, mas mais pertinente seria dizer-se de diferenças nas formas de adaptação social - e em se fazendo consideração a grosso modo, há uma forma que os aproxima dos JA, apresentando diferenças com os demais países - infelizmente não temos dados de pesquisas com brasileiros não-descendentes - conservando tendências japonesas.

Outrossim, em relação às respostas intermediárias, existe um trabalho interessante apresentado por Tatsuzo Suzuki, de The Institute of Statistical Mathematics, e Yasumasa Kuroda, do Departamento de Ciências Políticas da Universidade de Havaí. Trata-se de pesquisa levadas a efeito entre estudantes universitários cujos resultados são bastante ilustrativos.

Em relação às perguntas das pesquisas comparativas, foram computadas as respostas intermediárias ("nem sempre", "depende") apresentadas por japoneses, americanos e árabes. As perguntas utilizadas foram: "Ensinar à criança que o dinheiro é uma das coisas mais importantes da vida", "Que com o desenvolvimento da ciência e tecnologia um bocado de sentimentos humanos é perdido", "Que não importa quanto se mecanize, nada pode reduzir os sentimentos humanos", "Quando a criança pergunta da procedência ou não do rumor do ato condenável do professor, sendo de ciência dos pais, o confirma ou nega?", "Considerada correta, ir adiante mesmo contrariando os costumes usuais?". Os resultados são resumos simples dessas 5 perguntas.

Os japoneses apresentaram maior número dessas respostas intermediárias, colocando-se ao meio os americanos e os árabes, apesar de indicarem cifras um pouco superiores

quando pesquisados em língua inglesa, se situaram a menos da metade das respostas apresentadas pelos japoneses quando perguntados em língua árabe. Confinados a este levantamento, os japoneses têm preferência pelas escolhas intermediárias, enquanto que os árabes mostram a tendência à melhor definição.

% de Respostas Intermediárias	100%	200%	300%
Japoneses/Ling.Japonesa			285
Japoneses/Ling.Inglesa		195	
Americanos/Ling.Inglesa		180	
Arabes/Ling.Inglesa		168	
Arabes/Ling.Arabe		121	

6. Caminho de Raciocínio dito *Giri-Ninjô*

Retomemos as perguntas utilizadas para a elaboração da escala de *giri-ninjô*, isto é, os quesitos Q 30, 31, 32, 38, 39, 40 e 35. Como existem estudos considerando os caminhos de raciocínios referentes a *giri-ninjô* dos japoneses, vamos citá-los para melhor esclarecimento. Nos gráficos reproduzidos a seguir a Q 30 é referida como 1, Q 31 como 2, Q 32 como 3, Q 38 como 4, Q 39 como 5, Q 40 como 6, Q 35 como 7 (a, b, c, d).

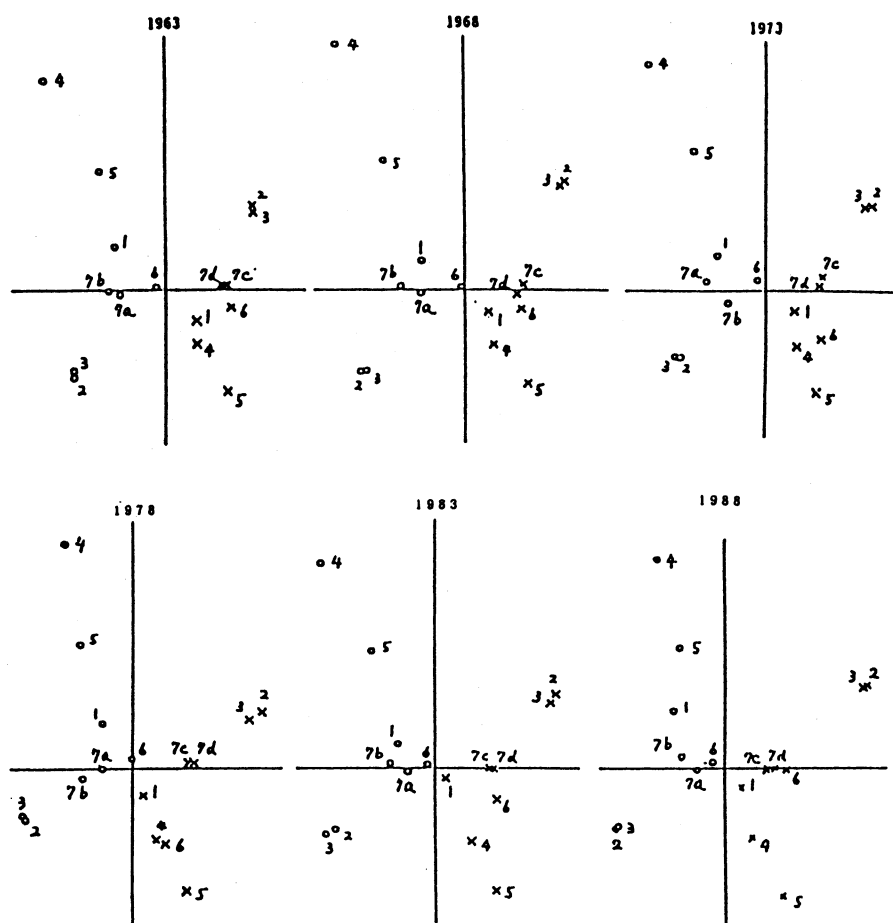
Pelas respostas obtidas para cada resposta pode ser conhecida a distribuição das opiniões, mas viemos repetindo, ao longo dos anos, a importância de esclarecer-se a estrutura configurada pelas opiniões através dos grupos de opiniões. Designamos a esse procedimento "caminho ou via de raciocínio" e conferimos ao mesmo significado mais profundo que transcende a distribuição das opiniões. Para a apreensão do "caminho do raciocínio", isto é o "pensamento" que pode ser encontrado transpassando o grupo de perguntas, utiliza-se a quantificação das classificações dos padrões (Quantificação tipo III, ou correspondence analysis como designam os franceses) para destacar-se a estrutura desses dados. Pode-se dizer da evidenciação da estrutura coletiva (esquema do espírito) dos japoneses através da estrutura dos dados.

Escolhemos *giri-ninjô*, considerado um dos mais destacados fatores característicos entre os japoneses, nas suas relações humanas. Tomando cada uma de per si as perguntas mencionadas acima, ela podem ser classificadas em aquelas que dizem respeito diretamente com *giri-ninjô* ou sentimento humano e outras que parecem não se ligar a ele. Para que possamos afirmar ser referentes a *giri-ninjô*, torna-se necessário fazermos combinações entre elas. E quanto às perguntas aqui reunidas, nem todas são tipicamente relacionadas a *giri-ninjô*, mas que podem ser consideradas profundamente implicadas ao mesmo. Complementando, não tencionamos contrapor *giri* com *ninjô*, mas sim pensar as duas

coisas em conjunto. Quer dizer que estamos pensando naquilo que é *giri-ninjô* com o que não é *giri-ninjô*.

Em relação ao grupo de perguntas consideradas se tenta aplicar o método de quantificação das classes de padrões. Os resultados das quantificações são mostradas nos gráficos a seguir, podendo-se dizer que ao longo de 25 anos se constata estruturas perfeitamente estáveis. Nas abscissas (eixo dos X) se distinguem, nitidamente nos dois lados dos eixos, as respostas que implicam os aspectos humanos, os aspectos de *giri-ninjô*, e as que não, constatando-se a estabilidade da existência deste tipo de pensamento. Observando-se as ordenadas (eixo dos Y), que se referem aos quesitos Q 31, Q 32, Q 38 e Q 39, e que dizem respeito às diferenças de colocações das cenas sobre a firma, as quais dividem as respostas. As duas cenas implicam, secundariamente, em acionamento de modos de pensamentos diferentes, podendo-se dizer de diferenças dentro do pensamento de aspecto humano/aspecto de *giri-ninjô* (de não-aspecto humano/não-aspecto de *giri-ninjô*).

Pode-se dizer que fica demonstrada a estabilidade, a consistência da estrutura da maneira de pensar, em que se coloca o aspeto humano/*giri-ninjô* frente ao aspecto que se lhe opõe.



o means ninjo or giri-ninjo (traditional) response
 x means non-giri-ninjo response

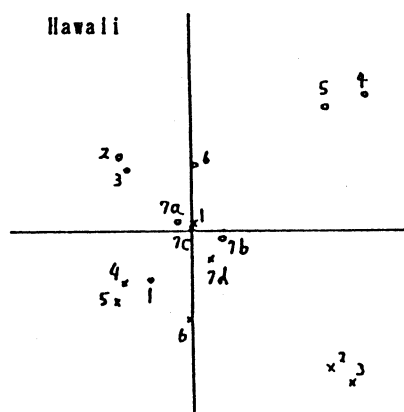
Stability of configuration of giri-ninjo attitude in Japan

Isto não se trata apenas de tendência geral, mas quando examinado sob o prisma das faixas de idade, para aquelas pessoas compreendidas entre 20 - 29 anos, e em outras faixas, às vezes pode ser encontrada figura com rotação dentro de 90°, mas com o correr do tempo (com acréscimo na idade) a figura volta ao normal. É importante atentar-se para o fato de que, sob perspectiva mais ampla, não se constata diferenças fundamentais entre as diferentes faixas etárias, comprovando o enraizamento, a solidez desse sentimento anteriormente mencionado. Na análise procedida com os dados obtidos na 8ª. Pesquisa Nacional (1988) foram constatados os mesmos resultados, sendo que aí também se registraram rotações de 90° nas figuras, tanto na 1ª. como na 2ª. metade da faixa etária de 20 - 29 anos de idade. A

mesma coisa aconteceu na pesquisa de 1983. Este fato merece atenção, mas acima de 30 anos de idade, as configurações tomam as formas gerais. Como na distribuição dos valores de escala de *giri-ninjô*, comparada com os resultados obtidos até a 7ª Pesquisa, supomos que seja um fenômeno passageiro, mas não podemos deixar de assinalar o fato.

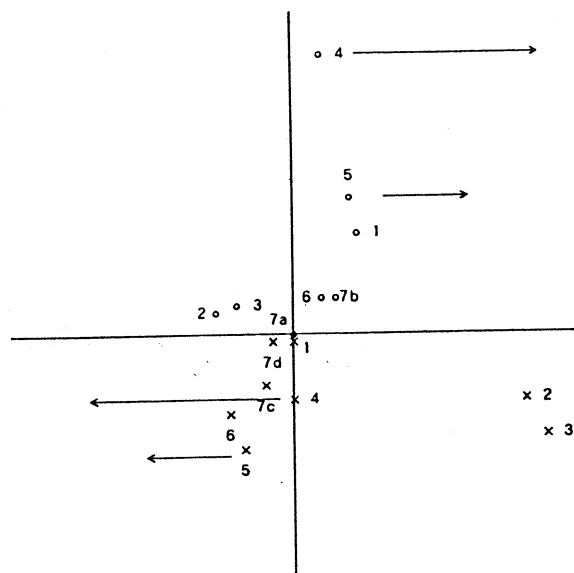
Como examinamos o aspecto da estabilidade ao longo do tempo, vamos agora verificar a sua extensão, ou seja a posição da comparação internacional.

Inicialmente, examinaremos os resultados obtidos com os moradores de Havaí (em virtude do pequeno número das amostras de nikkei, as análises em separado dos nikkei e dos não-nikkei de Havaí se mostraram instáveis, razão porque se utilizaram os resultados em que foram reunidos os dois conjuntos), onde se constata, na figura obtida, a rotação de 90° (1988).



Os nikkei de Havaí têm apresentado (1971, 1978, 1983) posições relativas não muito diferentes das apresentadas pelos japoneses, mas era conhecida a figura com rotação de 90°, sendo que também na pesquisa de 1988 se registrou a mesma figura (verdade que houve casos de posicionamento peculiar para aquelas categorias cujos números de amostras foram excessivamente reduzidos). Como também no Japão, quando feitas as classificações segundo as faixas etárias, comparecem, às vezes, essas formas. Podemos dizer que as posições dos nikkei havaianos se aproximam bastante daquelas dos japoneses. Nos outros países, se notam posições algo diferenciadas.

Examinando-se os dados registrados pelos nikkei brasileiros, para a totalidade do território se constata a figura com rotação de 90° como acontece com os mikkei de Havaí. As posições relativas dos pontos (com exceção de 4 e 5) se aproximam, de maneira geral, com as do Japão. (Deslocando-se no sentido da seta praticamente se tornam iguais).



Nos pontos acima, a figura de JB se assemelha à de J, mas do que a de Havai.

Em 1. referente à escala de *giri-ninjô*, foi apresentada análise com vista aos valores da escala, mas também nesta análise conduzida pelas vias de raciocínios ao estabelecer-se as relações entre as respostas, vemos que JB se assemelha a JA, sendo mais próximos a J.

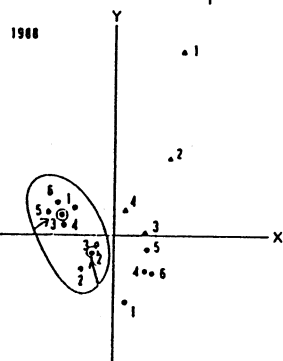
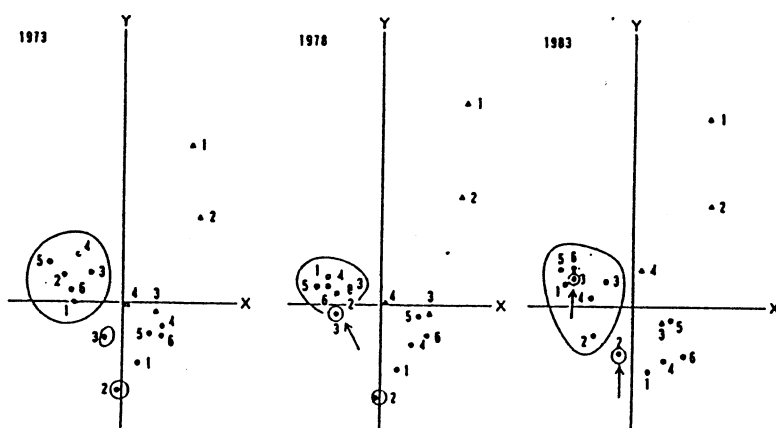
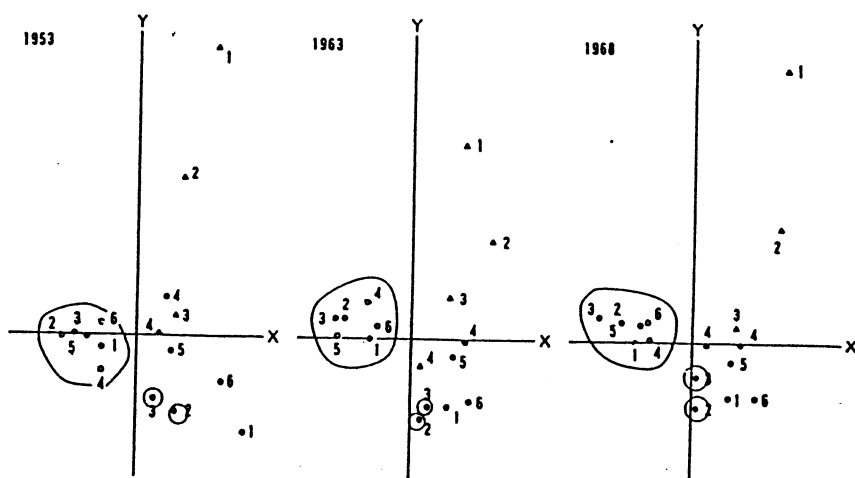
7. Vias de Raciocínios com vista a Tradicional x Moderno

São reunidas perguntas relativas ao tradicional versus moderno. Trata-se de grupo de perguntas disseminadas por diversas áreas em que compreendem questionamentos a respeito de tradicional x moderno, abrangendo fatos sociais gerais e aqueles que se verificam na vida cotidiana, sendo excluído o grupo de perguntas referentes às relações humanas já tratadas anteriormente.

As perguntas são as seguintes:

- Q 12 Adoção de criança de não-parente (1 nas figuras)
- Q 22 Dinheiro -uma das coisas importantes (6 nas fig.)
- Q 24 Deixar por conta do político (5 nas figuras)
- Q 25 Seguir os costumes (2 nas figuras)
- Q 33 Relação entre o homem e a natureza (3 nas fig.)
- Q 34 Nação e felicidade do indivíduo (4 nas figuras)

Fazendo-se as quantificações das classificações dos padrões relativas aos dados do Japão obtidos ao longo do tempo temos:



↓
de 1953 para 1973, indica
opinião moderna

Via de raciocínio de
tradicional versus moderno

o Opinião tradicional

Opinião moderna

x Opinião intermediária

(Classificações adotadas de 1953 a 1973)

Examinando-se atentamente as figuras, durante o período de 20 anos, de 1953 a 1973, se pode ler a estrutura em que

as respostas tradicionais se agrupam de maneira compacta, e as respostas modernas se concentram à direita, em baixo, e as respostas intermediárias se colocam à direita, em cima. No que diz respeito à estrutura das respostas, percebe-se que existe, passando por todas as perguntas, uma via de raciocínio em que respostas tradicionais são contrapostas diante das respostas modernas. Entretanto, já em 1978, respostas que podem ser consideradas modernas passaram a misturar-se na área do grupo de respostas tradicionais, permitindo a leitura de que começaram a aparecer modos de pensamentos dispares. Estas mudanças dentro do todo são indicadores significativos conforme se poderá compreender pela análise que será feita a seguir.

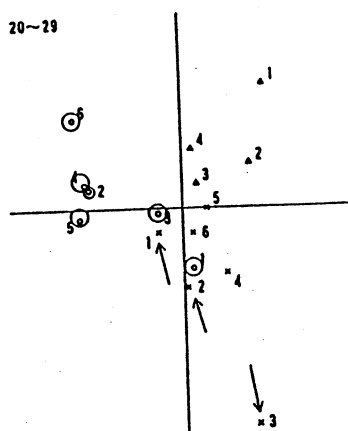
Em 1983, essa tendência se tornou mais patente, quando o bloco das opiniões tradicionais com expansão de sua área, e em 1988, ficou ainda mais clara essa mesma tendência. O indicativo aparecido em 1973 não pode ter sido passado despercebido. Trata-se de uma grande transformação da consciência dos japoneses, o início do desmoronamento do processo de raciocínio em que, desde 1953, eles colocavam em oposição o tradicional e o moderno, diante dos fatos que são encontrados como dados estruturais. Antes de 1973, se podia dizer que as definições das opiniões tradicionais eram mais apoiadas pela camadas de pessoas de idades mais elevadas, e menos apoio quanto mais jovens fossem os respondentes. De outro lado, as opiniões modernas podiam ser definidas como opiniões que recebiam mais apoio das camadas mais jovens, sendo alvo de menos aprovação na medida em que as idades fossem avançando. E examinando-se ao longo do tempo, não havia mudanças, e quando mudanças se verificavam, se tratava de tendência de simples "modernização" em que se via a diminuição da opinião tradicional e aumento de opinião moderna. E em 1973, isso se transfigurou um pouco, e em 1978, grandemente, não mais podendo sustentar-se tal definição. Começou a aparecer apoio a opiniões tradicionais por parte das camadas mais jovens. Diante dessa constatação, houve até tentativas de explicação dizendo da volta ao tradicional, da mudança conservadora por parte dos jovens. Entretanto, pela análise que se fará a seguir, se verá que essa opinião não procede.

A altura de 1978, houve indícios de abalo nas vias de raciocínios da contraposição de tradicional versus moderno. Procedeu-se, então, análise dos padrões das respostas segundo faixas etárias. Os dados resultantes mostravam, até 1973, para todas as faixas etárias, a existência de sólida via de raciocínio de oposição entre o tradicional e o moderno. A mesma coisa acontecia, como foi visto anteriormente, com a tendência à modernização, mostrada nos percentuais. Quer dizer que a respeito dos fatos qualificáveis de tradicionais e modernos se procediam aos raciocínios, num esquema de seguir-se a modernização colocando-os em oposição de antigos e novos. Este esquema começou a ser abalada para a faixa etária de 20 - 24 anos de idade, constatada na pesquisa de 1978. Tornou-se mais frouxa

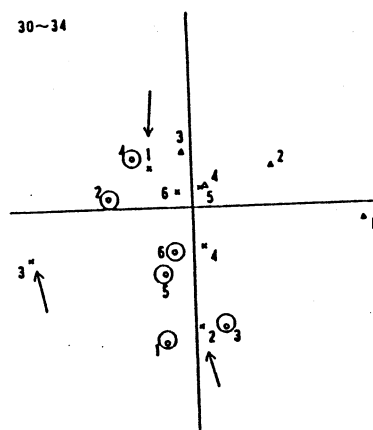
a concentração de respostas tradicionais, misturando-se entre elas a respostas modernas. Esta tendência continua sendo observada nos levantamentos de 1983 e 1988. A solidez compacta que se observava nessas vias de raciocínios começava a desfazer-se. Concomitantemente, as respostas tradicionais começavam a aumentar, tanto no geral como nas camadas da população mais jovem. Para essa camada mais jovem, não se tratava de mera volta ao passado, mas sim do aumento das respostas tradicionais resultante da desmontagem das vias de raciocínios baseadas na oposição entre o tradicional e o moderno, valendo dizer que não fazia sentido o velho processo de pensamento de volta ao tradicional. Além do mais, a faixa etária de 20 - 24 anos começou a apresentar maior número de perguntas com percentuais de respostas tradicionais do que a faixa de 25 - 30 anos de idade.

São apresentadas figuras resultantes das classificações dos padrões segundo as faixas etárias para as pesquisas conduzidas no ano de 1988, notando-se configurações bastante interessantes. Os resultados referentes até a faixa de 34 anos de idade apontam para o fato do entrelaçamento das respostas consideradas tradicionais com as modernas, constatando-se variações visíveis nas respostas tradicionais. E de notar-se que as pessoas na faixa de 30 - 34 anos, em 1978 tinham as idades de 20 - 24 anos, exatamente a faixa etária que começava a mostrar os indícios de abalo nas vias de raciocínios de tradicional versus moderno. Nas faixas de idade acima de 35 anos, vê-se que persiste essa vias de raciocínios de tradicional x moderno. Os grupos de opiniões tradicionais se concentram em área relativamente estreita. Entretanto, existe uma peculiaridade de a resposta moderna para a Q 33 (conquista da natureza) se achar misturada entre as respostas tradicionais. Para as faixas de 45 - 54 anos, as respostas tradicionais/modernas à Q 33 entram no grupo de respostas tradicionais, apresentando modos sem correlação com as respostas de outras perguntas. As respostas de pessoas com mais de 55 anos de idade, os grupos de respostas tradicionais se concentram em áreas bem estreitas conforme vinha acontecendo, dando a entender que está perfeitamente enraizado o modo de pensar em que o tradicional é confrontado com o moderno. Percebe-se, pois, a existência da separação nas vias de raciocínios de acordo com as faixas etárias.

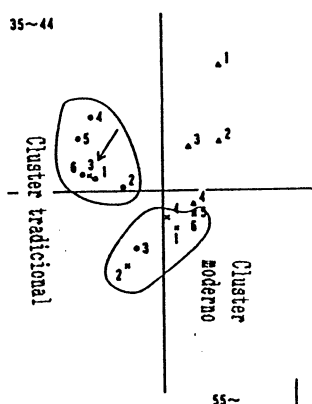
20~29



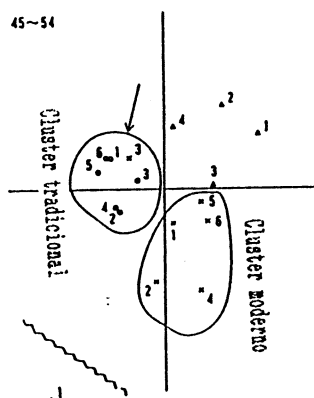
30~34



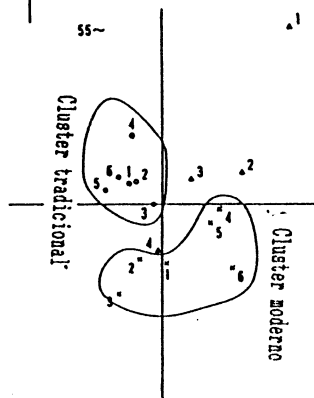
35~44



45~54



55~



• Resposta moderna
 • Resposta dita
 tradicional

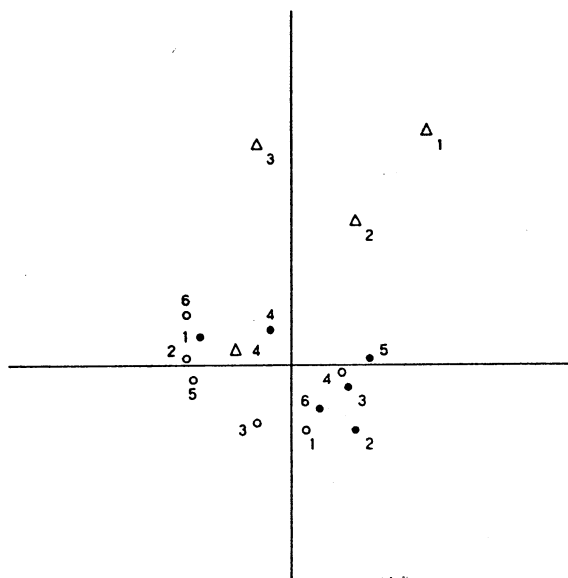
Aqui residem, exatamente, os problemas quando as pessoas de idades mais elevadas vêem os moços, sugerindo a possibilidade de desencontros no modo ver, de interpretações fora de foco.

Apresentamos assim as vias de raciocínios bastante enraizadas na Japão bem como as suas premissas. E como são

no exterior essas vias de raciocínios em que se opõem os tradicionais frente aos modernos? De acordo com os dados das comparações internacionais, esta forma não comparece de maneira alguma, inclusive com os nikkei de Havai. (Pesquisas de 1978 e 1988, com americanos, nikkei e não nikkei de Havai, e pesquisas de 1987 com ingleses, alemães, franceses). Existem ainda os resultados das pesquisas de 1978 entre os americanos, e de 1971, 1978 e 1983 com os havaianos, as quais registraram essas mesmas tendências. Mesmo que seja estabelecida a separação, dentro do processo de pensar, entre tradicional e moderno, não se estabelece o modo de pensar em que os dois elementos sejam apreendidos como uma unidade de oposição, de tradicional versus moderno. Pode considerar-se como uma maneira peculiar de encarar as coisas por parte dos japoneses. E esta vem sendo abalada, o que merece muita atenção.

O que acontece com os JB? Foi feita quantificação das classificações dos padrões com base nas respostas às perguntas acima para procurar a existência ou não das vias de raciocínios desse tipo.

Para o geral dos JB, conforme se pode ver na figura abaixo, não puderam ser constatadas tais vias, como acontece com os JA.



Entretanto, há uma diferença no modo da "ausência" na falta de vias de raciocínios desse tipo no Japão de hoje e no Brasil. No caso do Japão, dentro do conjunto das respostas tradicionais, se misturam aquelas que são consideradas modernas como acontece com os costumes de Q 25, nas relações entre o homem e a natureza contidas na Q 33. Primeiramente começa a desfazer-se na pergunta sobre a relação entre natureza e o homem para depois entrar as respostas referentes à pergunta sobre os costumes. No caso dos nikkei do Brasil, na adoção de filho referente à Q 12, e na felicidade individual e a nação compreendidas na Q 34, as

respostas consideradas tradicionais e modernas trocam de lugar não se podendo encontrar vias de raciocínios desse tipo.

As ligações que se estabelecem nessas respostas diferem muito entre os japoneses e os nikkei brasileiros. Quer dizer que as vias de raciocínios entre eles diferem de muito.

Por estes exames, se pode inferir que a colocação, no processo de raciocínio, de contrapor o tradicional perante o moderno, outrora firmemente arraigado entre os japoneses, era peculiar a eles.

8. Escala Japonesa

Esta análise veio sendo efetuada junto aos JA. Tem por objetivo avaliar o grau de ligação com o Japão/Língua japonesa.

Símbolos Usados nos Gráficos.

- | | | |
|---|---|-----|
| N | F 1. Quando faz conta mentalmente, você a faz em japonês ou em português? | |
| | 1. Em português | (0) |
| | 2. Em japonês | (2) |
| | 3. Em ambos ou misturados | (1) |
| O | F 2. Com que frequência você lê jornal? | |
| | 1. Nunca leio | (0) |
| | 2. As vezes a) Português | (0) |
| | b) Japonês | (1) |
| | 3. Regularmente a) Português | (0) |
| | b) Japonês | (2) |
| P | F 3. Você gosta de músicas brasileira e japonesa? | |
| | 1. Gosto de ambas | (1) |
| | 2. Gosto de música japonesa | (2) |
| | 3. Gosto de música brasileira | (0) |
| | 4. Não gosto de ambas | (0) |
| Q | F 4. Você assiste ao vídeo japonês? | |
| | 1. Assistio sempre | (2) |
| | 2. Assistio às vezes | (1) |
| | 3. Não assistio | (0) |
| R | F 5. Qual das descrições seguintes corresponde aos seus amigos? | |
| | 1. Muitos dos meus amigos são japoneses ou descendentes de japoneses | (2) |
| | 2. Alguns dos meus amigos são japoneses ou descendentes de japoneses, mas também tenho amigos que não são descendentes de japoneses | (2) |
| | 3. Muitos de meus amigos são não-descendentes de japoneses | (0) |
| | 4. Nenhum dos meus amigos é japonês ou descendente de japoneses | (0) |

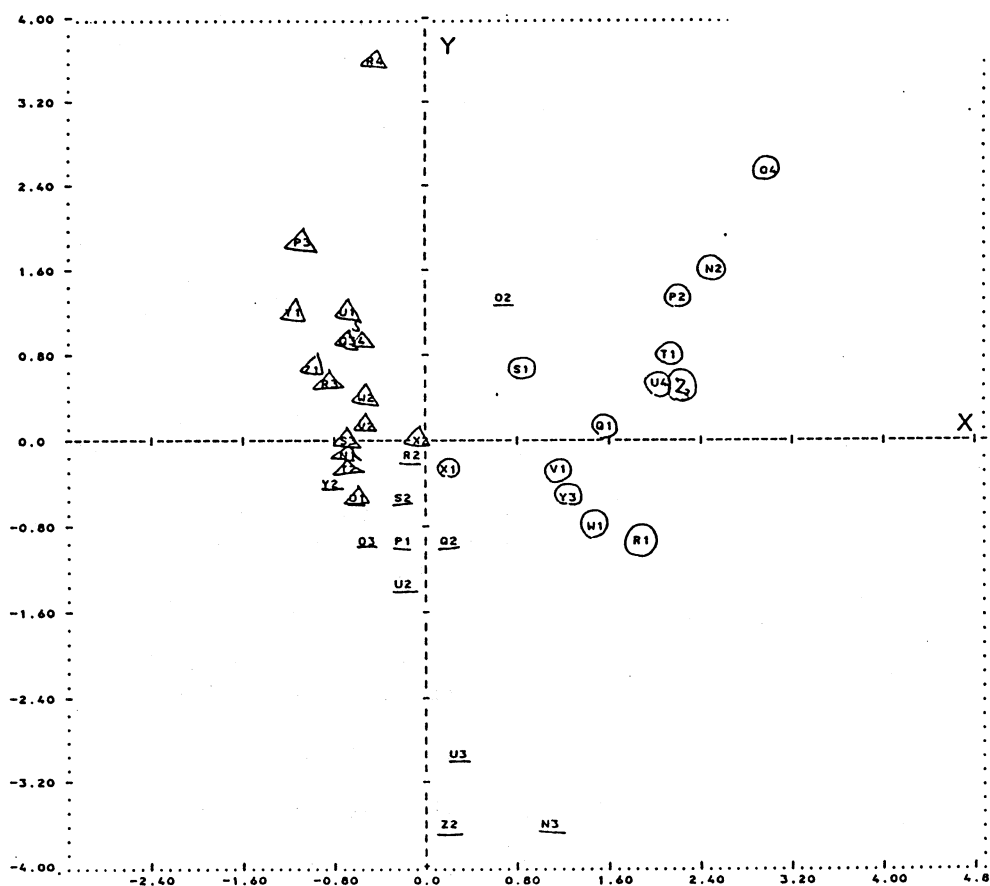
Símbolos Usados
nos Gráficos.

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|------------|----------------|-----|--|------------|-----|--|----------------|-----|
| S | <p>F 6. Se você é empregado, qual das descrições seguintes corresponde aos seus colegas de trabalho?</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Muitos dos meus colegas de trabalho são japoneses ou descendentes de japoneses (2) 2. Alguns dos meus colegas de trabalho são descendentes de japoneses e outros são não-descendentes (1) 3. Muitos dos meus colegas de trabalho são não-descendentes de japoneses (0) 4. Nenhum dos meus colegas de trabalho é descendente de japoneses (0) | | | | | | | | | |
| T | <p>F 8. Quando você escreve carta, acha mais fácil escrevê-la em português ou em japonês?</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Em japonês (2) 2. Em português (0) 3. Não faz muita diferença | | | | | | | | | |
| U | <p>F10. Quantos anos você frequentou escola de língua japonesa?</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>_____ anos</td> <td>Não frequentou</td> <td>(0)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1 - 5 anos</td> <td>(1)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6 anos ou mais</td> <td>(2)</td> </tr> </table> | _____ anos | Não frequentou | (0) | | 1 - 5 anos | (1) | | 6 anos ou mais | (2) |
| _____ anos | Não frequentou | (0) | | | | | | | | |
| | 1 - 5 anos | (1) | | | | | | | | |
| | 6 anos ou mais | (2) | | | | | | | | |
| <p>Os dados referentes aos itens seguintes são transcrições dos resultados obtidos nas pesquisas de nikkei do Brasil, realizadas pelo Centro de Estudos Nipo-Brasileiros em 1987-88</p> | | | | | | | | | | |
| V | <p>J 1. Participação em organizações de nikkei como unidade doméstica</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Participa (2) 2. Não participa (0) | | | | | | | | | |
| W | <p>J 2. Participação em organizações de nikkei como indivíduo</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Participa (2) 2. Não participa (0) | | | | | | | | | |
| X | <p>J14. Possui nome japonês?</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Possui (2) 2. Não possui (0) | | | | | | | | | |
| Y | <p>J27. Conversação em japonês</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Nada (0) 2. Um pouco (1) 3. Suficientemente (2) | | | | | | | | | |

Símbolos Usados
nos Gráficos.

Z	J28. Lê e escreve japonês?	
	1. Nada	(0)
	2. Um pouco	(1)
	3. Suficientemente	(2)

Para verificar a possibilidade de construir-se uma escala, foi tentada a quantificação da classificação de padrões com a utilização das 13 perguntas acima enumeradas. Na figura obtida, O indica as categorias que mantêm maior relação com Japão/Língua japonesa, os sublinhados aquelas que têm grau mediana e \triangle as que mantêm pouca relação. Verifica-se o agrupamento de O à direita e de \triangle à esquerda em relação ao eixo YY', sendo que os sublinhados se espalham entre eles.



A configuração assim obtida indica que as perguntas selecionadas constituem a escala de japonês. Poder-se-ia utilizar os valores quantitativos obtidos, mas para melhor compreensão, atribuímos pesos - 2 para 0 (relação mais forte frente a Japão/Língua japonesa), 1 para intermediária e 0 (zero) para Δ . Somaram-se as respostas para a construção da escala de japonês. Esses pesos relativos se acham indicados entre parênteses nas respostas alternativas a cada uma das perguntas listadas acima. Como a maior aproximação aos japoneses se expressa com o peso 2, podemos considerar que os resultados numéricos maiores se acham mais próximos dos japoneses.

Como estes valores, se estendendo de 0 a 26, têm distribuições variadas, fizemos a divisão em 4 classes, isto é, 0 - 4, 5 - 9, 10 - 16, 17 - . Os respectivos percentuais são: 32%, 33%, 22% e 13%.

Examinando-se os dados (%) segundo as gerações - issei (1ª.geração) e nisei + sansei (2ª. + 3ª.gerações), - temos:

	0 - 4	5 - 9	10 - 16	17 -	Total
1ª.geração	0	12	27	61	100
2ª.+ 3ª.ger.	39	38	21	2	100

As 1ª. e 2ª. + 3ª.gerações praticamente se igualam na faixa de 10 - 16, sendo que os issei ocupam valores na parte superior e os nisei + sansei valores mais elevados na parte inferior.

Examinando-se essa escala de japoneses de acordo com outros critérios, temos as seguintes situações:

Sexo	1	2	3	4	Total
Homem	32	29	23	16	100
Mulher	31	39	21	9	100

Idade	1	2	3	4	Total
- 29	57	35	7	1	100
30 -	47	40	13	0	100
40 -	42	28	28	2	100
50 -	11	41	34	14	100
60 -	3	21	29	47	100

E clara a relação com as idades, mas são mais flagrantes as diferenças entre as gerações.

9. Análise por meio da Escala de Japoneses

Aqui, vamos proceder à análise como diferem as distribuições das escalas com os 4 graus da escala de japoneses:

Escala de *giri-ninjô* (%)

	0	1	2	3	4	5	Total
1*	21	48	15	16	0	0	100
2	20	49	27	4	0	0	100
3	15	37	41	6	1	0	100
4	2	35	32	28	3	0	100

* Explicação sobre o código

1. 0 - 4
2. 5 - 9
3. 10 - 16
4. 17 - 26

Fica clara a relação com a escala de japoneses.

Escala de Afeição (Escala de *ninjô*)

	< 5	> 5	Total
1	73	27	100
2	67	33	100
3	62	38	100
4	52	48	100

Aqui também, se pode perceber que à medida que aumenta a escala de japoneses cresce a escala de *ninjô*.

Vamos verificar a relação com as respostas sobre a fábula do Esopo:

Manda Embora Dá Comida e Admoesta

1	11	88
2	22	74
3	28	68
4	22	77

Obs.: O total fica abaixo de 100 por causa de outras respostas e não sei.

Nesta parte, não se pode constatar uma relação simples e direta. A relação entre a resposta sobre a fábula de Esopo e a escala de *ninjô* não se presta, pela sua complexidade, à interpretação direta através da escala de japoneses. Deve-se considerar que no bojo das respostas há algo de complicado, até tortuoso, como já tivemos oportunidade de referir anteriormente.

Escala de Respostas Intermediárias (%)

	% de 0	% > 4 <	% > 5
1	20	21	12
2	31	14	2
3	23	18	9
4	15	47	33

Onde se verificam mais escalas de japoneses comparecem mais as respostas intermediárias, mas as outras relações não são lineares, devendo-se considerar a participação de outros fatores fortes (idade, escolaridade, ambientes sociais).

Geração (%)

	1a. Geração	2a. Geração	3a. Geração
1	0	38	61
2	7	<u>62</u>	31
3	23	<u>64</u>	12
4	<u>90</u>	7	3

Obs.: Existem respostas incluídas em "outras"

Dentro daqueles que se incluem nas escalas 3 e 4, existem sansei, apesar de não serem numerosos. É significativo constatar-se que prevalecem os sansei na escala 1, os nisei nas escalas 2 e 3, e os issei se destacam na escala 4.

Selecionando-se, entre as perguntas que existem dados comparativos internacionais, aquelas que apresentam diferenças diretas (acima de 30%) nas escalas de japoneses de 1 a 4, temos:

Q 22 - Ensinar à criança que dinheiro é importante

	Concorda	Discorda	Depende
1	18	66	15
2	22	70	6
3	28	56	13
4	29	27	33

Nas posições onde a escala de japoneses é elevada a opinião discordante é baixa enquanto que a resposta "depende" é mais numerosa, sendo, portanto, japonico.

Q 25 - Seguir os costumes

	Contra os costumes	Seguir os costumes	Depende
1	59	31	9
2	46	36	18
3	32	44	21
4	12	30	49

Acompanhando a escala de japoneses é interessante notar que vai crescendo a opinião de "seguir os costumes" da mesma maneira que aumenta aquela que diz "depende".

Q 35b - Retribuição de obrigações a pessoas que o auxiliaram

Com a elevação na escala de japoneses os percentuais também vão aumentando da seguinte maneira: 33%, 41%, 46%, 64%.

Q 26 - Redução dos sentimentos humanos?

	Concordo (Não diminui)	Discordo (Diminui)	Depende
1	48	48	2
2	60	27	7
3	46	31	14
4	57	13	28

Nas posições de maiores escalas de japoneses a resposta "diminui" apresenta diferença grande, sendo também mais

numerosas as respostas "depende". Esta situação não pode ser dita como próxima à posição dos japoneses de hoje (No Japão de 1953, "não diminui" foi de 58%. "diminui" 17% e "depende" foi de 8%), a tendência de "depende" se assemelha com a de 1953.

Q 33 - Homem e Natureza

	Seguir	Usar	Conquistar
1	33	12	43
2	54	9	31
3	41	15	39
4	58	32	9

No Japão de hoje, os percentuais são 37, 48 e 5%, respectivamente. Nas posições onde as escalas de japoneses são elevadas as tendências não se apresentam iguais nem com as feições do Japão das Epocas anteriores, mas as menores respostas a "conquistar" se aproximam das reações dos japoneses de hoje.

Q 35 - Direitos (Liberdade)

Da mesma maneira: 41% (43%), 25% (30%), 17% (9%).

A diferença é da ordem de 20%, mas os percentuais da escolha de chefe que cuida de seu subordinado, que é alvo de elevado apoio por parte dos japoneses (Q 40), são expressos pelas seguintes cifras respectivamente: 68%, 57%, 71% e 89%.

Analizamos as opiniões dos nikkei do Brasil à luz das escalas de japoneses. Maiores detalhes podem ser vistos no Anexo 4. De maneira geral, se pode dizer que, onde se vêem maiores valores de escalas de japoneses, se verificam, de algum modo, semelhanças com as consciências dos japoneses, mas não se pode dizer que se identificam, em toda extensão, com as consciências prevaletentes no Japão de hoje. Para este grupo, se pode dizer que, também, a par de mostrar características de natureza japônica, possui peculiaridades sui generis.

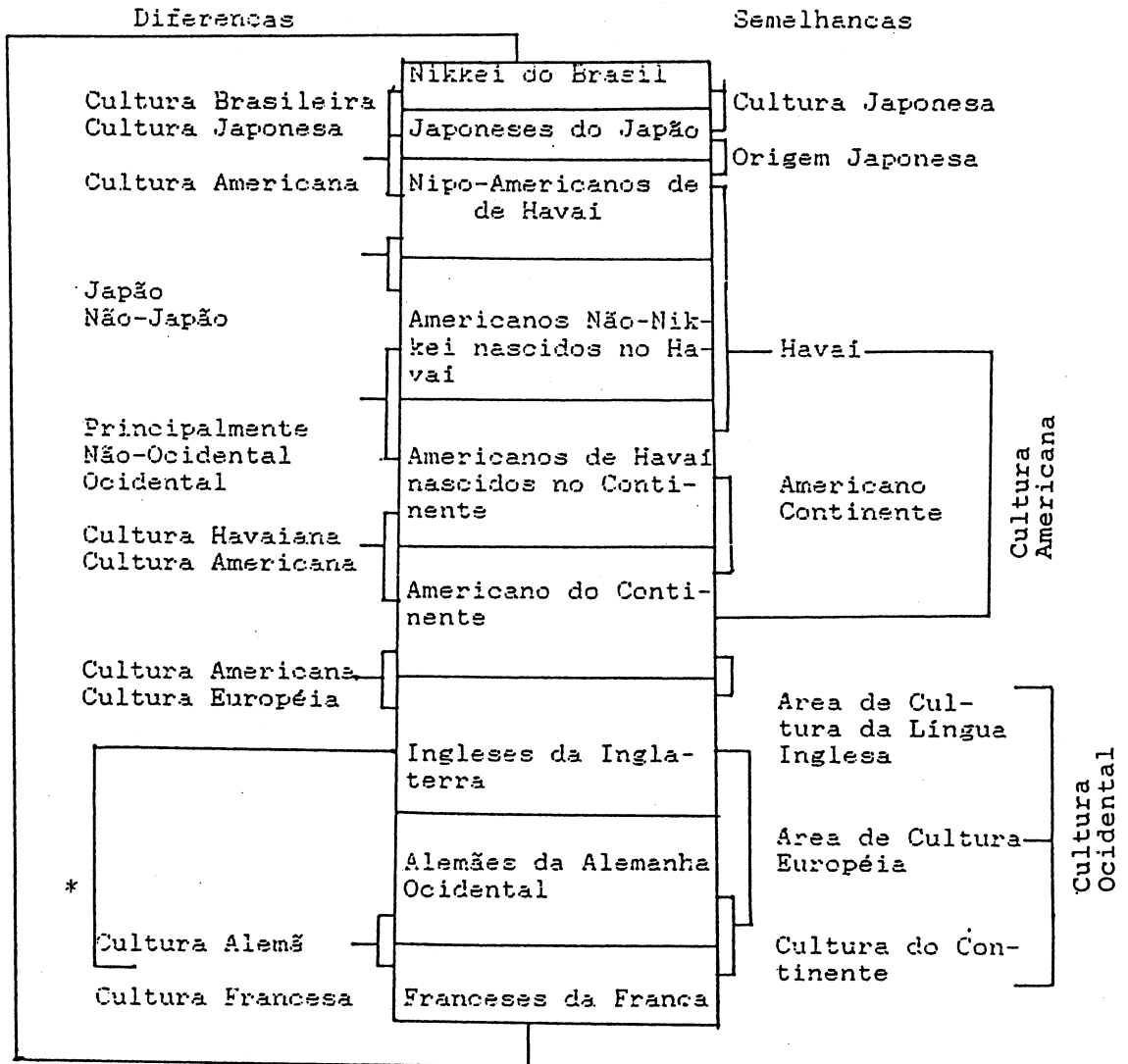
Além disso, seria interessante a comparação entre dados obtidos na distribuição por faixas etárias para a escala 4 de japoneses (cálculo de estimativas com base nos dados segundo faixas etárias do Japão), mas ela ficará para a análise futura.

10. Significado e Localização da Pesquisa de JB

A pesquisa de JB pode ser situada dentro das pesquisas comparativas internacionais de consciência que vêm sendo levadas a efeito pelo grupo de The Institute of Statistical Mathematics (Os participantes do grupo japonês desta pesquisa são os seus membros principais, contando ainda com a participação de Ichiro Miyake e Masamichi Sasaki). Esta pesquisa internacional se vale do método denominado "Cultural Link Analysis" (CLA), o qual estabelece elos entre as partes que se assemelham e as que diferem, procurando a maneira de ser das consciências dos homens que pertencem e tentar compreendê-las e possivelmente fazer as ligações para a mútua compreensão.

Localizando-se os nikkei brasileiros dentro do CLA que o grupo tem realizado até o presente, temos o seguinte esquema:

Cadeia de Elos



* Area de Cultura Inglesa
Area de Cultura Continental

JB e França, localizados respectivamente nas extremidades superior e inferior, se assemelham por estarem dentro da cultura latina e diferem por terem origens japonesa e européia.

As análises realizadas nos orientam no sentido da compreensão de que os elos em relação aos dados das pesquisas com japoneses, nipo-americanos, franceses e americanos se ligam de acordo com o esquema acima, permitindo-nos fazermos uma leitura das diferenças e similitudes existentes.

CAPÍTULO IV - CONSCIENCIA DOS MORADORES DE TOME-AÇU E MARINGÁ

As áreas onde foram feitos levantamentos - Maringá e Tomé-Açu - , conforme foi feita menção no plano de execução da pesquisa, se trata de localidades com alta concentração de nikkei.

Inicialmente, vejamos as respostas às perguntas específicas formuladas nas pesquisas do Brasil:

Q 6 - Você já foi ao Japão? (%)

	Sim	Não
JB	15	85
Tomé-Açu	41	56
Maringá	14	84

Maringá apresenta situação praticamente igual a JB, mas Tomé-Açu difere.

Quanto aos objetivos dessas viagens, 22% do pessoal de Tomé-Açu mencionam visita a parentes, enquanto que 6% de Maringá e JB citam esse mesmo objetivo.

Q 7 - Você deseja ir ao Japão? (%)

	Sim	Não
JB	86	14
Tomé-Açu	84	13
Maringá	86	11

Quanto a este desejo, não se constata diferença.

No que diz respeito aos objetivos alegados, destaca-se a visita aos parentes por parte dos entrevistados de Tomé-Açu (%).

	Pais	Parentes	Bolsas	A Serviço	Trabalho
JB	45	16	5	2	14
Tomé-Açu	33	25	5	1	21
Maringá	49	12	12	3	11

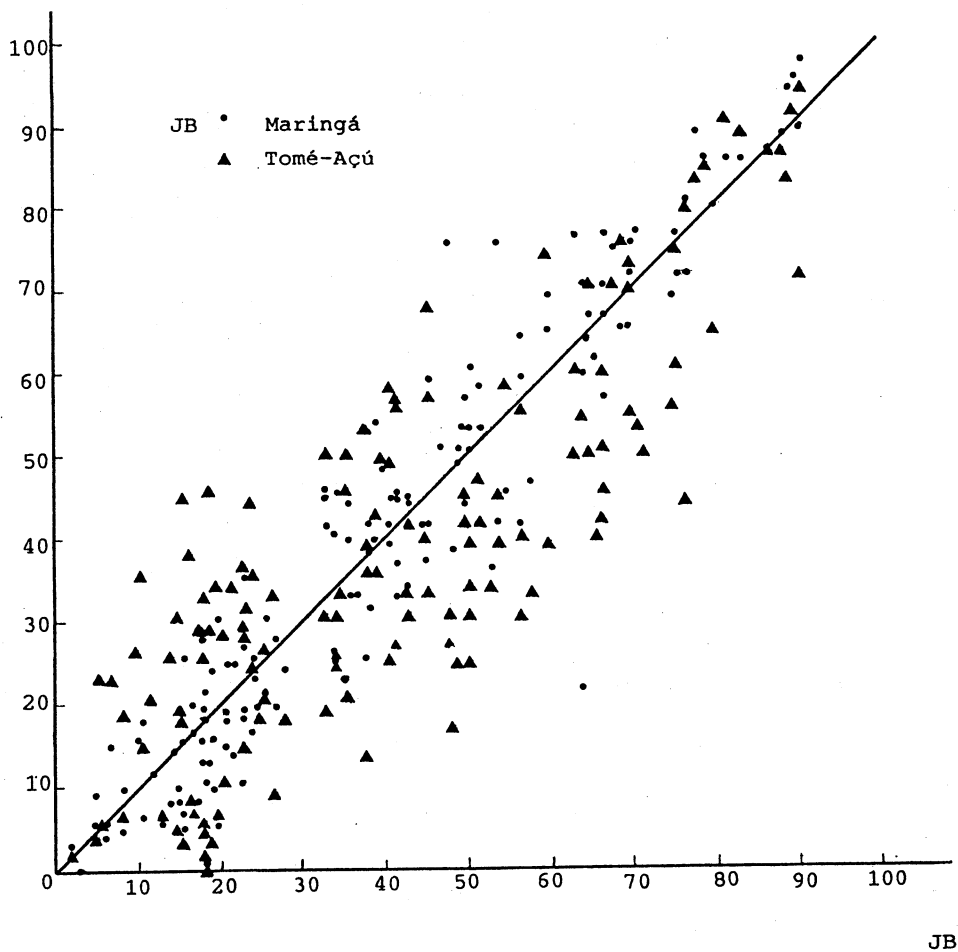
Examinando-se o quadro segundo sexos e faixas etárias, os dados se distribuem da seguinte maneira, não apresentando diferenças dignas de destaque (%):

	JB	Tomé-Açu	Maringá
Homem	55	53	51
Mulher	45	47	49
<hr/>			
- 29	20	16	20
30 -	20	21	21
40 -	20	22	21
50 -	20	17	17
60 -	9	13	14
70 -	11	11	7

Os resultados obtidos estão listados no Anexo 1.

O gráfico abaixo resume esses dados, mostrando-os frente aos dados de JB.

Já de relance, se pode notar que, com exceção dos problemas específicos, os resultados obtidos em Maringá se aproximam dos dados apresentados por JB, enquanto que aqueles de Tomé-Açu distoam significativamente.



A seguir destacaremos os pontos discordantes:

<u>Tomé-Açu</u>	<u>Maringá</u>
Q 8 - Pouco "muito satisfeito" Muito "satisfeito"	Q 8 - Igual a JB
Q 9 - Muito "pouca esperança" (Menos "muita esperança")	Q 9 - Tendência de "muita esperança" maior
Q 10- Pouco "muito" Muito "levemente"	Q 10 - Sem maiores diferenças. Em alguns itens menos preocupações
Q 12- Muito "depende"	Q 12 - Sem diferença
Q 19- "Tempo livre" - grande "Amigos e conhecidos" - grande	Q 19 - Sem diferença
Q 20- "Satisfeito" - pouco "Algo satisfeito"-grande	Q 20 - Sem diferença
Q 21- "Concordo" - pouco "Depende" - grande	Q 21 - Sem diferença
Q 22- Ensinar que dinheiro é uma coisa importante: "Concordo" - grande; "Depende" - grande	Q 22 - Sem diferença
Q 24- Deixar com os políticos: "Depende" - grande	Q 24 - Sem diferença
Q 25- Costumes: "Ir à frente" - pouco; "Depende" - grande	Q 25 - "Depende" - grande
Q 26- Redução de sentimentos: "não diminui" pouco; "depende" - grande	Q 26 - "Não diminui"-pouco "Diminui" - grande
Q 28- "Divórcio" - Sem diferença	Q 28 - "Em sérias circunstâncias, sim"-grande
Q 29- Trabalhos de mulher: "sem diferenciação" - pouco	Q 29 - Sem diferença
Q 30- Ato condenável do professor: "contar a verdade" - pouco; "Negar" - grande	Q 30 - Sem diferença

Q 33- "Conquistar a natureza"- pouco	Q 33 - Sem diferença
Q 35- Princípio moral impor- tante: "retribuição dos favores: - grande;"res- peito à liberdade"-pouco	Q 35 - Sem diferença
Q 41- "Tentam ser prestativas"- grande; "preocupadas con- sigo mesmas" - pouco	Q 41 - Igual
Q 42- "Tirar vantagem" - pouco; "tentaria ser justa" - grande	Q 42 - Pequena diferença
Q 43- "Maioria pode ser confia- da" - grande	Q 43 - Sem diferença
Q 44- Computador: "Não desejá- vel,mas inevitável" - grande	Q 44 - Sem diferença
Q 45- Preservação do meio-am- biente: "muito importan- te" - pouco; "importante" - grande	Q 45 - Sem diferença
Q 48- "Católico" - pouco; "bu- dista" - grande	Q 48 - Sem diferença
F 1 - Conta mental: "em portu- gues" - pouco: "em japo- nês" - grande	F 1 - Sem diferença
F 2 - Jornal: "japonês" - gran- de; "em portugues"-pouco	F 2 - "Em portuges" grande
F 3 - "Gosta de música japone- sa" - grande	F 3 - Sem diferença

- | | |
|---|---------------------|
| F 4 - Video japonês: "às vezes"
- grande; "não assisto"-
pouco | F 4 - Sem diferença |
| F 5 - Maioria japoneses, nik-
kei - grande | F 5 - Sem diferença |
| F 8 - Carta: "mais fácil" -
"em japonês" - grande;
"em português" - pouco | F 8 - Sem diferença |

Com base nos ordenamentos efetuados, podemos dizer que em Tomé-Açu são menos frequentes as expressões superlativas, ficando em evidência os posicionamentos mais racatados, notando-se maiores incidências de respostas como "depende", "de acordo com as circunstâncias". Este tipo de tendência os aproxima às reações dos japoneses. Nos demais respostas onde se verificam diferenças, se pode dizer que propendem mais para o lado japonês. Os contactos com coisas japonesas, com a língua japonesa, são maiores em Tomé-Açu do que com JB e moradores de Maringá. Numa classificação a grosso modo, Maringá se assimila à posição de JB, sendo que Tomé-Açu se comporta mais japonicamente.

SINOPSE DA SITUAÇÃO SOCIAL DA COLÔNICA DE TOMÉ-AÇU

A Colônia de Tomé-Açu abriga a maior concentração de imigrantes japoneses e seus descendentes na região Amazônica. Situa-se a 280 km, atravessando o rio Guama ao sul de Santa Isabel que se localiza na BR 360, a 35 km de Belém - PA.

Em 1928, o então governador do Estado do Pará se propôs conceder 1 milhão de hectares de terras à iniciativa japonesa para o desenvolvimento agrícola do Estado. Atendendo a esse convite, veio ao Brasil uma comitiva chefiada por Hachiro Fukuhara para visitar e estudar as terras. Foram escolhidos 600 mil hectares no município de Acará (Tomé-Açu pertencia então a esse município) e 400 mil hectares no município de Monte Alegre. Foi constituída, com o objetivo de promover a vinda e fixação de imigrantes japoneses nessa região, a Nambei Takushoku Kaisha (Companhia Sul-Americana de Colonização). e em 1929, quando esta empresa trouxe os primeiros imigrantes japoneses às terras recém-obtidas, se inicia a história da Colônia de Tomé-Açu.

Em fins de 1929 chega a primeira leva composta de 43 pessoas pertencentes a 19 famílias, e no correr do período que antecedeu à II Guerra Mundial foram fixadas 276 famílias ao todo.

Na fase inicial da colonização, como a cultura de cacau, selecionada para constituir-se na principal plantação, demandaria cerca de 7 - 8 anos para começar a produzir, os imigrantes tiveram que se dedicar às culturas de arroz, de hortaliças, etc. Todavia, Belém, único centro consumidor da região, na época, não tinha condições de assimilar essas produções, além dos inconvenientes das más condições de transporte que tinha que ser exclusivamente fluvial. Assim, as vendas das produções dos colonos eram precárias e suas vidas sujeitas a muitas incertezas. Acresceu-se a isso o surto da malária. Por volta de 1940, só restavam 98 famílias.

Durante o período da guerra, os nikkei residentes na região Amazônica foram, juntamente com os alemães, mantidos confinados em Tomé-Açu.

A cooperativa de produtores de hortaliças, instalada em 1931, foi reorganizada como cooperativa de produtores agrícolas no ano de 1935. Esta organização foi, durante a guerra, incorporada à administração da Colônia Estadual de Tomé-Açu. A administração e a segurança na Colônia foram asseguradas pelas autoridades durante todo o período, e os colonos puderam dedicar-se às fainas agrícolas. Empenharam-se na procura de culturas que mais se adequassem à região em substituição ao cacau. Trataram de ampliar o plantio de pimenta do reino que teve o preço elevado no mercado doméstico em consequência das interrupções dos fornecimentos pelos países da Ásia atingidos pela guerra. Este produto assumiu o papel de principal produto da Cooperativa Agrícola de Tomé-Açu a partir de 1948. A pimenta do reino produzida na região competia, em qualidade e no preço, com o produto

então importado da Índia. A partir de 52, o volume de sua produção começou a aumentar sensivelmente e com as cotações em alta, Tomé-Açu viveu o seu primeiro boom da pimenta do reino.

Nessa situação de maré-alta da economia da pimenta, os governos brasileiro e japonês celebraram um acordo de imigração de japoneses para a região Amazônica, e em 1953 chegavam a Tomé-Açu, 25 famílias compreendendo 129 pessoas, reiniciando a corrente da imigração japonesa de pós-guerra, acolhendo 205 famílias de imigrantes até 1965.

Em setembro de 1959, Tomé-Açu adquiriu autonomia, separando-se do município de Acará, e no ano seguinte, o governo estadual conferiu aos imigrantes, finalmente após 31 anos, os títulos das terras.

No ano de 1962, a JAMIC - Imigração e Colonização Ltda. adquiriu terras contíguas à Colônia Tomé-Açu para instalar a "Colônia Tomé-Açu nº.2", onde introduziu, até 1979, 123 famílias num total de 519 pessoas.

Entretanto, nos anos 60, as plantações de pimenta do reino da região de Tomé-Açu passaram a sofrer as consequências danosas das doenças. E em 74, as chuvas, que há dezenas de anos não caíam com tanta intensidade e quantidade, causaram danos irreparáveis à cultura da pimenta. Muitos agricultores se mudaram para Belém e outras regiões, e os plantadores passaram a procurar terras em regiões livres dessas doenças para a formação de suas plantações de pimenta. Também se movimentaram em direção à procura de culturas que pudessem proporcionar-lhes maior segurança. Nesse sentido a Cooperativa teve papel destacado. Os associados conjugaram seus esforços no sentido de implantar uma agricultura diversificada, conseguindo solidificar a base de sua lavoura cultivando-se pimenta do reino, cacau, seringueira, dendezeiro, guaraná e frutas tropicais como cupuaçu, acerola, além das plantações de papaia, maracujá, hortaliças. Todavia, a alta nas cotações da pimenta do reino que começou a partir de 1983 atuou no sentido de retardar a execução desse plano de diversificação. Há ainda, agricultores em Tomé-Açu apegados à especulação que a lavoura da pimenta oferece. A cotação da pimenta sofreu nova queda, violenta, na segunda metade da década de 80, a ponto de seus preços ficarem abaixo do custo de produção. Hoje, já conseguiram concluir a sua fábrica de processamento de frutas tropicais, e despacham para o consumo de Belém, São Paulo, etc. os seus sucos e polpas congelados, mas essas atividades se acham ainda em fase inicial.

Nessas circunstâncias, a partir de 1988 se iniciou a ida de japoneses e seus descendentes de Tomé-Açu para o Japão como "dekasegi", atingindo aproximadamente 400 pessoas em dezembro de 1990. Essa partida de grande número de agricultores trouxe variados problemas à Colônia de Tomé-Açu. Uma outra questão que aflige os produtores agrícola dessa comunidade é a falta crescente de seus sucessores nas lides da terra. Como acontece com muitas comunidades de

origem japonesa, Tomé-Açu também dispensa grande atenção à educação de seus filhos. Como em Tomé-Açu o ensino só vai até o curso colegial noturno, muitas famílias de origem japonesa matriculam seus filhos, já a partir do curso ginásial, na cidade de Belém. Grande parte desses moços que frequentam assim os cursos superiores prefere a colocação na cidade e não regressa para o trabalho na comunidade. Numa comunidade em que se luta ainda com a insegurança da monocultura da pimenta do reino, onde a diversificação das produções está ainda para se concluir, e onde as oportunidades de diversões para a juventude são escassas, cerca de 60% dos cultivadores de pimenta e 70% dos estabelecimentos com agricultura diversificada não têm a quem entregar as suas lavouras no futuro. Muitos possíveis sucessores estão trabalhando presentemente no Japão. A Cooperativa e a Sociedade Cultural da Colônia estão desenvolvendo esforços no sentido de procurar construir uma comunidade atraente, capaz de fixar esses moços quando voltarem do Japão portando certa economia conseguida com os seus trabalhos naquele país.

Atualmente, em Tomé-Açu não há uma estatística precisa dando conta da situação dos japoneses e seus descendentes estabelecidos na região, mas a estimativa é de que cerca de 280 famílias se encontram na área. Entretanto, nem todos se acham permanentemente em Tomé-Açu, pois, em razão de ter seus filhos estudando na cidade de Belém, um número significativo deles têm residências na capital do Estado. São pessoas que residem em Belém e trabalham no seu estabelecimento agrícola em Tomé-Açu. Não existem, também, dados sobre as suas atividades profissionais. Grande parte se dedica à lavoura, mas na vila chamada Quatro Bocas existem assalariados, principalmente bancários, e médicos também nikkei. Em Quatro Bocas se concentram as sedes da Associação Cultural, Cooperativa Agrícola, Associação Rural de Tomé-Açu, como também casas comerciais inclusive aquelas que fazem aquisição de pimenta do reino, três agências bancárias, posto de gasolina, hotel, restaurante japonês, templo budista, etc. Um pouco afastado do centro, existe um campo de golfo de 9 buracos, atraindo os moradores que têm poucas oportunidades de entretenimento. Existem também centros de reuniões de várias seitas religiosas originárias do Japão os quais desenvolvem suas atividades. A Colônia de Tomé-Açu conta com 4 escolas de língua japonesa onde os filhos dos colonos têm duas aulas semanais. Dispõe ainda de um hospital, instalado pela Nambei Takushoku Kaisha em 1930, e que em 1976 se tornou um estabelecimento estadual. A partir dos anos 60 começaram a se instalar entidades recreativas, existindo, presentemente, a federação de beisebol, banda de música "King Rose", clube artístico Tomé-Açu, academia de judô, etc.

A Associação Cultural de Tomé-Açu, formada em 1966, é a organização sucessora da Associação dos Distritos de Tomé-Açu que foi fundada em 1962. Desenvolve atividades de intercâmbio cultural entre o Japão e o Brasil, ajuda mútua

entre os nikkei, atividades de entretenimento e esportivas, e tem ainda a seu cargo a administração das escolas de língua japonesa. A sua sede social, localizada no centro de Quatro Bocas, é o local de afluência e reunião dos nikkei, é usada para festas e cerimônia de casamento, e a Associação é órgão supremo nas tomadas de decisões importantes envolvendo a comunidade. Esta se encontra sob o impacto de a maioria das famílias ter um ou mais membros ausentes em razão do fenômeno de "dekasegi". A estagnação prolongada da economia brasileira tem promovido a migração de trabalhadores, oriundos principalmente do Nordeste, para Tomé-Açu e sua fixação na região. Houve piora nas condições de segurança, e os nikkei que voltam do Japão com suas economias conseguidas como "dekasegi" têm-se constituído em alvos preferidos. A Associação Cultura organizou, a partir de julho de 1991, uma "Comissão de Defesa contra o Crime" com a assistência da polícia local, para a prevenção de situações indesejáveis. Outrossim, as atividades dessa Associação passam por uma crise em decorrência da diminuição do número de sócios por causa das ausências por "dekasegi", e o ensino da língua japonesa já se ressentiu da falta de professores que também partiram para o Japão em busca de melhores proventos. A situação chegou a tal ponto de se ter a necessidade de unificar as 4 escolas existentes. As receitas com mensalidades diminuíram sensivelmente a ponto de a própria manutenção da entidade se tornar difícil.

A Cooperativa Agrícola de Tomé-Açu tem a origem na cooperativa de produtores de hortaliças fundada em 1931. Com a implantação dessas culturas entre os imigrantes estabelecidos na Colônia, a organização, além das vendas em comum das hortaliças e do arroz produzidos, passou a efetuar a aquisição em comum e distribuição de artigos de primeira necessidade e insumos, estruturando-se, assim, como uma cooperativa agrícola mixta. Com a participação ativa dos mais jovens a cooperativa passou por uma reorganização e ativação de seus trabalhos, conseguindo-se o seu registro em 1949, passando, então, à atual designação de Cooperativa Agrícola de Tomé-Açu. Em 1952, o número de cooperados era de 65, com a cultura de 254 mil pés de pimenta, com a venda de 465 toneladas do produto. Em 1968, no auge de suas atividades, chegou a contar com 325 sócios, comercializando cerca de 6.500 toneladas de pimenta. No ano de 1978, em consequência da superprodução de maracujá no Nordeste e também sob o impacto da crise do petróleo, os preços de suas produções, a começar da cotação da pimenta do reino, tiveram quedas violentas a ponto de a administração da Cooperativa se tornar crítica. Essa crise pôde ser contornada, com muita dificuldade, pela criação de uma comissão especial de reconstrução, integrada pelos representantes da comunidade e da JICA, cuja atividade, de certa forma, ainda se acha em continuação com o processo de diversificação das produções.

Referindo-se à participação dos nikkei na política, em Tomé-Açu foram eleitos vereadores bem como dois prefeitos municipais, mas no âmbito da região Amazônica, é mister se

fazer referência à sólida estrutura sócio-política existente a qual dificulta o aparecimento de político nikkei que tenha condições de galgar posição de maior destaque. Com sucedidos economicamente, contribuindo decisivamente no desenvolvimento da área através dos recolhimentos de impostos, os nikkei têm queixas de que os benefícios não são retornados a Quatro Bocas, onde estão estabelecidos, existindo movimento político no sentido da criação de um novo município independente. Assim, os nisei e sansei, originários de Tomé-Açu e residentes em Belém, estão transferindo os seus títulos eleitorais de volta para Tomé-Açu na tentativa de influenciar esse processo de separação municipal.

De qualquer forma, os agricultores nikkei tiveram o grande mérito de vencer as difíceis condições naturais e conseguir implantar, na região, a cultura do pimenta do reino, e posteriormente, prosseguiram na diversificação da agricultura através da associação dessa plantação com as culturas de frutas tropicais, seringueira, cacau, pecuária, etc. construindo ainda instalações modernas de industrialização, conquistando, inquestionavelmente, a posição de liderança na agricultura da Amazônia.

Bibliografia.

- Associação Cultural de Tomé-Açu (Org.) : "Tomé-Açu Shokumin-chi Annai" (Guia da Colônia de Tomé-Açu)- 1967
- JICA (Org.): "Amazon Chiiki no Nôsangyô to Nihonjin" (Agricultura da Região Amazônica e os Japoneses) - 1988
- Cooperativa Agrícola de Tomé-Açu (Org.): "Hiyakusuru Koshô no Sato - Tomé-Açu Nôkyô Annai" (Terra da Pimenta que Progride - Guia da Cooperativa) - 1989
- Associação Nipo-Brasileira Pan-Amazônica (Org.) : :Amazon Chiiki ni okeru Hôjin Iju no Ayumi - Iju 55 nen kinen gô" (Caminhada da Imigração dos Patriícios na Região Amazônica - Edição Comemorativa dos 55 Anos) - 1984

SITUAÇÃO DOS NIKKEI DE MARINGÁ

A imigração japonesa no Brasil, iniciada em 1908, se deu, no começo, na forma de trabalhadores contratados das fazendas de café do Estado de São Paulo. A grande maioria tinha a intenção de conseguir alguma economia e dentro de alguns anos regressar à sua terra natal. Entretanto, quando os imigrantes japoneses aqui chegaram, o café vivia uma fase de retração econômica, e também em vista das condições estruturais das fazendas de café, havia a impossibilidade de os imigrantes japoneses conseguirem amealhar economias que lhes permitissem regressar logo à sua terra de origem. Os imigrantes, diante dessa realidade, tiveram que mudar a sua estratégia de curto prazo para a de longo prazo no intuito de atingir seus objetivos, passando para isso, à condição de agricultores independentes. Nessa mudança de estratégia foram beneficiados pela situação de os grandes proprietários de terras, diante da má conjuntura do café, passarem a desfazer de suas grandes reservas de terras no interior do Estado, loteando-as a preços acessíveis mesmo para esses imigrantes. Já na década de 10 deste século, essa situação permitiu o aparecimento de núcleos de estabelecimentos agrícolas, sendo que na década de 30 se contavam 600 a 700 núcleos de agricultores japoneses no Estado de São Paulo.

A grande crise de 1929 - se de um lado causou a queda da cafeicultura, também trouxe como consequência a intensificação da imigração dos japoneses - ensejou a política de restrição ao plantio de novos cafeeiros e também modificou o direcionamento das migrações dos agricultores de origem japonesa no Estado de São Paulo. A grosso modo, as direções dessas migrações podem ser descritas da seguinte maneira: passando de arrendatários de terras à agricultura de parceria e depois para a condição de proprietários de terras, se dirigiram para as terras disponíveis ao longo das estradas de ferro da Alta Paulista e da Sorocabana, como também uma parte afluiu para as cercanias da cidade de São Paulo e outra fração demandou as novas terras do norte do Paraná.

As excelentes terras roxas do norte do Paraná já eram faladas desde a década de 10, mas o loteamento sistemático só foi iniciado nos anos 30. No ano de 1932, a formação de novos cafezais no Estado de São Paulo foi proibida pelo período de três anos, mas essa restrição não foi aplicada ao Estado do Paraná, e a estrada de ferro estava cortando a região de terra roxa alcançando a hoje cidade de Londrina. Havia pois todas as condições para o desbravamento. Esta iniciativa foi liderada pela Companhia de Terras do Norte do Paraná - empresa de capital inglês - que já em 1931 começou a construção da cidade de Londrina. A iniciativa foi seguida por empreendimentos da Bratao-Mambai Tochi Kaisha, de capital japonês. Foram atraídos a essas novas terras numerosos imigrantes, na maioria chegados do Japão na década de 30, com curto tempo de estágio nos cafezais, nas fazendas ou ainda em parceria, das regiões da Mogiana e da

E.F.Noroeste do Brasil no interior de São Paulo. Desta maneira, a cafeicultura do norte do Paraná foi sendo estabelecida com a absorção dos antigos colonos das fazendas de café das zonas velhas do Estado de São Paulo.

Maringá se situa a noroeste do Estado do Paraná, numa altitude de 545 m. Clima subtropical, com pluviosidade elevada. Sua terra roxa é fértil, muito boa para a agricultura e pecuária. A produção atual de Maringá se estende a algodão, arroz, feijão, mamona, soja, pecuária, etc. e agroindústrias correlatas.

A população era de 280 mil em 1987, continuando num processo de vigoroso desenvolvimento.

Os primeiros japoneses que se estabeleceram em Maringá foram 3 famílias que se fixaram no distrito de Guaiapó em junho de 1939. Em seguida, os imigrantes japoneses foram ocupando terras nos distritos de Morangueira, Sarandí, Cosmos, Floriano, Romeira, ao redor da atual cidade.

Na verdade, a cidade de Maringá teve início no ano de 1939. Só em 1941, os primeiros japoneses passaram a morar na parte velha da cidade. No ano de 1947, a Companhia de Terra do Norte do Paraná elaborou plano urbano de implantação de pequenas propriedades agrícolas e iniciou o loteamento urbano e pequenas glebas no subúrbio. Começaram a aparecer japoneses, compradores desses lotes e em 1948 havia 25 famílias morando na cidade e mais 40 estabelecidas nos cafezais da redondeza. Destas 65 famílias, 40 se dedicavam à lavoura, 6 compradoras de produtos agrícolas, 4 proprietárias de máquina de beneficiar café, pensão, bar e quitanda - 2 famílias cada; e serralha, oficina mecânica, serralha, conserto de bicicleta, relojoeiro, fotógrafo, comércio de ferragens, marcenaria, construtor.

Em 1957, isto é, transcorridos 10 anos após o início das vendas das terras, existiam 680 famílias de nikkei na cidade de Maringá, abrangendo uma população de 3.276 pessoas. Quanto às atividades, a maioria se ocupava ainda da agricultura e de atividades por conta própria, mas elas se distribuem num leque amplo. Para o ano 1987, essa população era estimada em 3.500 famílias. Além das atividades agrícolas e por conta própria, comparecem muitas profissões liberais como médicos, dentistas, advogados, etc., bem como um bom número de assalariados. A distribuição das atividades profissionais se ampliaram grandemente.

Em 1987, os nikkei aprovados no vestibular da Universidade Estadual de Maringá ascenderam a 37% do total, sendo que o número de alunos nikkei do colégio estadual local ultrapassa 50%. Existem 82 descendentes de japoneses que fazem parte do corpo docente da Universidade. Anexo à Universidade foi instalado em 1982 um centro de estudos japoneses, que ministra aulas da língua japonesa.

Em política, até agora foram eleitos 9 vereadores, sendo que atualmente o vice-prefeito é um nikkei. Além disso, alguns nikkei ocupam cargos de secretários e outros de importância dentro da administração municipal.

A população nikkei no município de Maringá representa apenas 6% do total, mas a sua posição econômica é elevada, constatando-se a ascensão em amplos setores da sociedade.

Logo após a entrada das primeiras famílias de japoneses em Maringá, se verificou a eclosão da II Guerra Mundial. Na qualidade de súditos de país inimigo, os japoneses foram proibidos de usar a sua língua, bem como foram vedadas suas reuniões. Contando com pequeno número de patrícios, durante a guerra, naturalmente, não tiveram nenhuma condição de formar organização de cunho étnico como associação de japoneses. Finda a guerra, em 1947, 18 famílias se reuniram para fundar a Associação de Japoneses de Maringá e seu filhos organizaram a Sociedade Cultural e Esportiva de Maringá, instalando-se a sede no distrito de Guaiapó. Posteriormente a sede foi transferida para o perímetro urbano, construindo-se um prédio da sede nos terrenos cedidos pela Companhia de Terras do Norte do Paraná. Em 1972, a Associação dos Japoneses e a Sociedade Cultural e Esportiva se fundiram para dar lugar ao nascimento da Associação Cultural e Esportiva de Maringá - ACEMA, a qual já no ano de 75 contava com cerca de 700 famílias associadas. Com o aumento do número de sócios, tornou-se imperativa a melhora das instalações. Nesse ano, foram adquiridos 6 alqueires de terreno localizado no subúrbio e iniciadas as obras. Em 1980, já contando com a sede com 2.000 m² de área construída, pista de atletismo, 3 campos de futebol, 2 campos de beisebol, 6 quadras de "gate-ball", 3 piscinas, playground, a ACEMA se transformou num clube dotado de belas instalações. Em 1987, se tornou numa organização com 1.780 sócios familiares.

Entre as principais realizações anuais da ACEMA podem ser enumeradas a festa do Ano Novo, competições esportivas, sessões musicais, etc. Também desenvolve atividades de intercâmbio, de assistência social.

Nos anos 50, quando a afluência de japoneses se acentuou, e com a tomada de decisão de permanência definitiva no País por parte desses imigrantes, foram sendo organizadas e surgindo diversas entidades calcadas na etnia. Enumerando-se apenas as principais, no setor religioso podem ser citadas Seichô-no-ie, associação dos católicos nikkei de Maringá, associação do Tenrikyô de Maringá, associação das mães cristãs de Maringá, sucursal de Kaminoya de Maringá, Igreja Messiânica, Jôdoshu Maringa Nippakji, Homba Honganji de Maringá, Nambei Honganji de Maringá, etc.; e ainda outras organizações como associação de senhoras de Maringá, Old Boys Clube, associação dos Velhos de Maringá, associação de assistência à velhice "Wajun" do Paraná, além de associações dos aficionados de canto folclórico, de haikai, de "tanka", de "karaoke", etc.

O intercâmbio com o Japão é bastante ativo, sendo que desde 1973, quando foi firmado o convênio de cidades irmãs com Kakogawa, da província de Hyôgo, há as vindas e idas de delegações quase que todos os anos.

Bibliografia

- Shigeji Ikeda: "Epopéia da Colonização Japonesa em Maringá -
15º Aniversário" - 1962
- ACEMA (Org.): "ACEMA - Ed.Especial dos 30 Anos" - 1977
- Comissão de Redação da História dos 40 Anos da ACEMA (Org.)
"ACEMA 40 Anos" - 1987
- Hiroshi Saito: "Japoneses no Brasil" - Ed.Maruzen - 1962.

QUESTÕES ABERTAS

A seguir, apresentamos as comparações das respostas às perguntas abertas oferecidas pelos respondentes de Tomé-Açu, Maringá, nikkei brasileiros e também aqueles residentes presentemente no Japão.

Q 1. Sua opinião sobre os pontos bons e ruins do Brasil.

Pontos bons

(Nº Resposta)	Tomé-Açu (133)	Maringá (317)	JB (650)	Nik.no Japão (314)
Liberal	15,0%(1)	13,8%(1)	13,0%(1)	5,4%(7)
Sem Resposta	13,5%(2)	-	5,5%(6)	17,2%(1)
Natureza	12,0%(3)	7,5%(3)	12,0%(2)	11,7%(2)
Terra boa	6,0%(7)	5,6%(5)	8,1%(3)	9,5%(3)
Bom p/morar	-	7,8%(2)	7,5%(4)	6,0%(5)
País extenso	8,2%(5)	6,6%(4)	5,8%(5)	6,0%(4)
Estilo de vida	-	4,7%(6)	3,0%(10)	-
Paz.Sossego	3,0%(11)	3,7%(8)	4,7%(8)	-
(Entre parênteses - Nº. da ordem)				

Pontos ruins

(Nº Resposta)	Tomé-Açu (141)	Maringá (330)	JB (691)	Nik.no Japão (365)
Economia	12,0%(2)	10,9%(1)	8,2%(3)	8,4%(3)
Polít.econômica	19,1%(1)	8,7%(3)	-	4,3%(8)
Inflação	10,6%(3)	10,3%(2)	9,9%(2)	6,3%(4)
Governo	3,5%(7)	5,1%(6)	10,8%(1)	4,9%(7)
Políticos	-	3,0%(11)	2,8%(10)	9,3%(2)
Salários	0,7%(13)	4,5%(7)	4,2%(7)	1,9%(15)
Segurança	7,0%(5)	1,8%(14)	3,0%(8)	2,7%(13)
Violência	1,4%(15)	6,3%(4)	6,8%(4)	5,7%(5)
Corrupção	2,8%(8)	6,0%(5)	1,5%(18)	4,9%(6)

Coincidindo com a opinião geral, em tese dizem se tratar de país grande, com liberdade, fácil de se morar, com possibilidade de ascensão social, mas diante da realidade apontam a inflação, a política econômica, etc., e indagam da responsabilidade do governo e dos políticos. No caso de Tomé-Açu, talvez por causa da sua história da imigração, ao que parece a sua reação é um tanto diferenciada em cotejo com as respostas de Maringá ou de JB. Parecem aproximar-se mais para o tipo de comportamento japonês. Apontam a política econômica ruim, a inflação, mas em relação ao governo, aos políticos, as críticas são menos explícitas.

b. O que você acha que pode ser feito a respeito?

As principais respostas foram as seguintes:

(Nº Respostas)	Tomé-Açu (110)	Maringá (254)	JB (572)	Nik.no Japão (301)
Sem resposta	27,2%(1)	-	7,8%(3)	11,6%(1)
Não sei	20,0%(2)	7,4%(2)	11,7%(1)	4,3%(8)
Governo sério	2,7%(9)	6,8%(5)	10,6%(2)	6,3%(3)
Mudar políticos	-	7,8%(2)	7,3%(4)	5,6%(4)
Mudar política	3,6%(7)	2,3%(11)	2,1%(14)	4,6%(7)
Mudança pol.adm.	1,8%(10)	14,1%(1)	4,7%(7)	4,3%(9)
Melhor educação	-	4,3%(7)	5,0%(6)	4,6%(6)
Investim.educaç.	5,4%(4)	7,4%(4)	5,7%(5)	3,6%(10)
Tudo difícil	5,4%(5)	3,9%(8)	-	3,6%(11)

Foi mencionada certa defasagem das respostas de Tomé-Açu frente a outros grupos já no item anterior. Aqui também se notam altos percentuais de "sem resposta" e "não sei", juntamente com as poucas respostas apontando as responsabilidades do governo e de políticos. Parece que estamos assistindo a reprodução do comportamento dos antigos imigrantes que se "eximiam de qualquer crítica à política e à administração do país", mas no que tange à economia, diante da realidade de a Colônia de Tomé-Açu ter mandado elevado número de "dekasegi" para o Japão, as críticas não poderiam deixar de ser mais expressivas.

Q 2. Sua opinião sobre os pontos bons e ruins do Japão

Pontos Bons

(Nº Resposta)	Tomé-Açu (152)	Maringá (321)	JB (690)	Nik.no Japão (335)
Sem resposta	4,6%(5)	-	4,3%(7)	13,7%(1)
Não sei	13,8%(1)	9,6%(2)	8,5%(2)	4,7%(7)
Educação	11,1%(2)	7,7%(3)	5,9%(4)	2,3%(14)
Segurança	3,2%(10)	2,8%(11)	1,8%(15)	7,1%(3)
Emprego(Oport.)	3,9%(6)	5,3%(4)	7,6%(3)	5,3%(6)
Economia estáv.	10,5%(3)	5,3%(5)	5,3%(5)	7,7%(2)
Tecnologia avanç.	4,6%(7)	11,8%(1)	10,8%(1)	3,8%(8)

Pontos Ruins

(Nº resposta)	Tomé-Açu (116)	Maringá (246)	JB (561)	Nik.no Japão (263)
Sem resposta	18,9%(2)	-	20,3%(1)	20,9%(1)
Não sei	21,5%(1)	25,6%(1)	19,2%(2)	6,8%(2)
Nada específico	12,9%(3)	6,5%(4)	-	4,9%(5)
Pouco espaço	8,6%(4)	6,9%(3)	8,2%(3)	6,4%(3)
Falta liberdade	-	4,0%(6)	0,8%(19)	4,9%(4)
Falta calor hum.	4,3%(5)	4,8%(5)	3,5%(5)	4,9%(6)
Rel.hum.frio	3,4%(7)	-	1,2%(11)	2,2%(14)
Discrim.racial	4,3%(6)	10,5%(2)	1,7%(9)	3,4%(7)

Como ponto positivo do Japão em destaque é mencionada a educação, mas os nikkei no Japão, pelas condições de trabalho, as faixas etárias, por estarem sós sem a companhia da família,etc., não enfatizam muito este item. As oportunidades de emprego, estabilidade da economia, tecnologia avançada, devem vir às suas mentes pela comparação que certamente fazem com a realidade atual brasileira.

Como pontos ruins do Japão: as ausências de respostas e os "não sei" podem ser atribuídas à falta de informações e de conhecimentos a respeito do Japão. A falta de liberdade alegada, principalmente pelos nikkei residentes atualmente no Japão, pode ser resultante das condições de trabalho a que estão sujeitos na qualidade de "dekasegi". Relações humanas frias, falta de calor humano, discriminação racial,etc., devem ser opiniões pessoais resultantes de experiências próprias.

Q 3. O que você gostaria de fazer com vista ao Japão?

A esta indagação, as principais respostas obtidas foram as seguintes:

(Nº Resposta)	Tomé-Açu (109)	Maringá (225)	JB (500)	Nik.no Japão (256)
Sem resposta	21,1%(2)	-	24,2%(2)	22,2%(1)
Não sei	23,8%(1)	22,2%(1)	28,6%(1)	8,5%(2)
Visita	3,6%(8)	18,2%(2)	16,2%(3)	7,8%(3)
Nada	12,8%(3)	12,8%(3)	2,4%(7)	6,2%(6)
"Dekasegi"	6,4%(4)	3,1%(7)	5,0%(5)	2,7%(9)
Intercâmbio J-Br.	5,5%(5)	4,4%(5)	4,2%(6)	-
Compreensão mú- tua entre J-Br.	5,5%(6)	6,6%(4)	6,6%(4)	6,6%(5)
Estudar (Japão)	4,5%(7)	3,5%(6)	0,6%(13)	-

Parece que estão expressos os sentimentos dos nikkei em querer conhecer melhor o Japão.

Q 4. Na qualidade de descendentes de japoneses, o que desejariam fosse transmitido à geração seguinte?

(Nº Resposta)	Tomé-Açu (136)	Maringá (306)	JB (694)	Nik.no Japão (308)
Sem resposta	5,1%(6)	-	3,3%(9)	13,3%(1)
Não sei	8,8%(3)	-	6,7%(6)	5,2%(4)
Cultura Japonesa	10,2%(2)	7,5%(5)	8,3%(3)	4,8%(5)
Língua japonesa	13,2%(1)	8,2%(3)	10,3%(2)	5,8%(2)
Tradição	5,8%(5)	10,8%(2)	8,2%(4)	1,9%(18)
Manutenção cult.	8,0%(4)	10,8%(1)	2,7%(10)	5,5%(3)
Honestidade	4,4%(9)	7,5%(4)	5,6%(7)	3,5%(6)
Trabalho	4,4%(8)	5,2%(7)	7,4%(5)	3,5%(7)

Desejo de que a geração que lhes sucede conheça a língua e cultura japonesas o que, aliás, vem sendo uma constante entre os imigrantes.

Q 5. Na qualidade de descendente de japoneses, quais as contribuições, que você acha, que os descendentes podem dar ao Brasil?

A esta pergunta, as respostas oferecidas foram:

(Nº Resposta)	Tomé-Açu (127)	Maringá (317)	JB (684)	Nik.no Japão (312)
Sem resposta	11,0%(2)	-	3,5%(8)	17,6%(1)
Não sei	12,6%(1)	2,2%(16)	9,8%(2)	4,1%(4)
Espírito Trab.	8,6%(4)	-	21,3%(1)	4,1%(3)
Agricultura	12,6%(2)	-	6,2%(4)	-
Participação so- cial, polit.econ.	6,3%(5)	-	1,3%(18)	2,2%(18)
Desenvolv.social, econ.cultural	3,1%(11)	-	-	3,8%(6)
Estudo/pesquisa	5,5%(6)	-	7,6%(3)	-

As respostas oferecidas foram muito variadas, encontrando-se dificuldade em fazer-se uma síntese. Notou-se a ausência de referência à agricultura por parte dos nikkei que se acham no Japão, apesar de existir, entre eles, número razoável de agricultores. Talvez, isso se deva ao fato de estarem em situação de "dekasegi" em decorrência das dificuldades econômicas que enfrentaram na sua lavoura.

CAPÍTULO V - CONSCIENCIA DOS NIKKEI BRASILEIROS RESIDENTES NO JAPAO

Esta parte da pesquisa foi realizada com as pessoas escolhidas entre as listagens obtidas junto à Associação Ultramarina dos Nikkei e trabalhadores da Fábrica de Tochigi, da Isuzu Motors.

As amostras escolhidas a partir da primeira das listas mencionadas tinham as seguintes distribuições regionais:

Ibaragi-ken	5	Toyama-ken	1
Tochigi-ken	3	Gifu-ken	6
Gunma-ken	8	Shizuoka-ken	14
Saitama-ken	17	Aichi-ken	10
Chiba-ken	16	Mie-ken	10
Tokyo-to	14		
Kanagawa-ken	14		
Sub-total	87		31
TOTAL			118

Foi feita entrevista com cada respondente para solicitar-lhe o preenchimento do questionário em português, solicitando-se que o preenchimento fosse feito na presença do entrevistador (Quer dizer, com uma espécie de fiscalização). Não se pode fazer simples comparação com os resultados dos levantamentos entre JB, devendo ser levada em conta esse fato na leitura dos dados. Deve-se atentar também para o fato de existirem problemas quanto às faixas etárias, e questões da proporção entre homens e mulheres.

	JB	Associação Nikkei	Isuzu
Homem	55	51	100
Mulher	45	49	0
<hr/>			
- 29	20	60	55
30 -	20	31	25
40 -	20	8	19
50 -	20	1	1
60 -	9	0	0
70 -	11	0	0
<hr/>			

As diferenças nas proporções entre homens e mulheres, e as faixas etárias deslocadas para população mais jovens, fazem com que as comparações diretas com os resultados

obtidos junto aos JB se tornam inadequadas, necessitando-se fazer os ajustes por idade, deixando-se esse estudo para outra oportunidade.

Abaixo o gráfico onde se acham ordenados os dados obtidos nos levantamentos feitos com as amostras da Associação Ultramarina dos Nikkei e da Fábrica da Isuzu Motors*, onde, com exceção de algumas perguntas, em geral há coincidências, propiciando-nos um bom volume de informações. As diferenças podem ser apontadas em:

- Q 8 - Diferença entre "muito satisfeito" e "satisfeito"
- Q 9 F-Sobre a "Paz do Mundo"
- Q 20- Diferença entre "satisfeito" e "algo satisfeito"
- Q 28- Sobre o divórcio
- Q 29- Sobre os trabalhos de mulher
- Q 40- Chefe que se preocupa com seus subordinados
- Q 30- Contar a verdade sobre o deslize do professor
- Q 35- Retribuição de obrigações e respeito à liberdade
- Q 42- "Tiraria vantagem"
- Q 45- Proteção ao meio-ambiente: diferença entre "muito importante" e "importante"
- Q 48- "Ter religião"
- Q 51b-Capitalismo: "depende"
- c-Socialismo: "depende"
- d-Liberalismo: "depende"

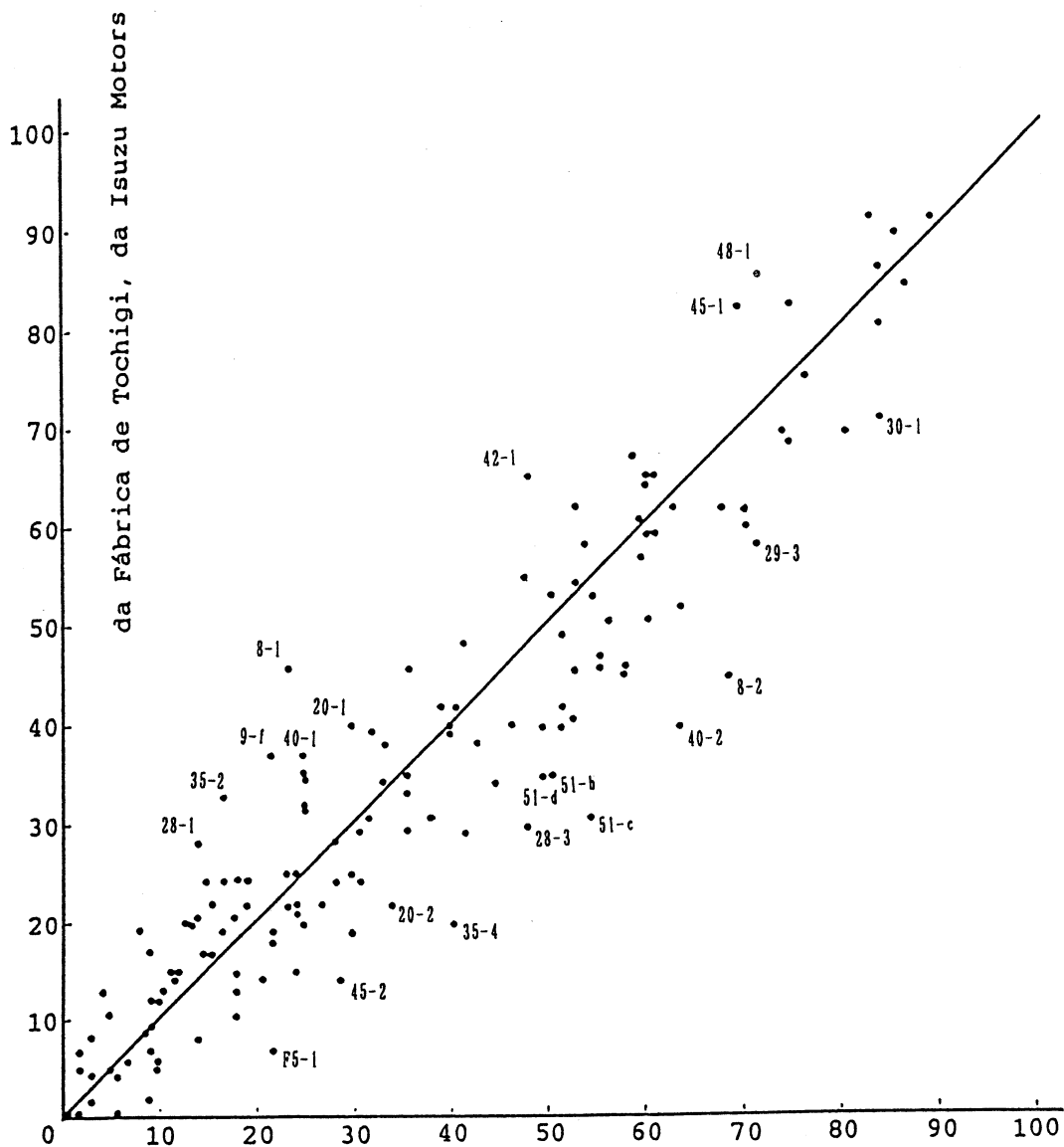
Encontram-se, com maior frequência, respostas mais recatadas - "depende", entre as amostras da Associação Ultramarina de Nikkei. Menos respostas daqueles que dizem "ter religião". Para o "divórcio", maior número de respostas que o aprovam contanto que haja a concordância dos dois. Quanto aos trabalhos de mulher, maior número de respostas mencionando a "não distinção". No que tange ao deslize do professor, maior o número de resposta a favor de se "contar a verdade". Menor porcentagem das respostas sobre "retribuição de favores recebidos", e elevado o percentual sobre "respeito à liberdade". mas registram respostas dando maior preferência ao "chefe que se preocupa com os subordinados" e mais reduzidas as respostas que supõem que "outras pessoas estejam propensas a tirar vantagem". Vê-se, pois, que há dificuldade de afirmar-se, de imediato, que suas atitudes e comportamentos se aproximam ou se situam distantes daquelas dos japoneses, ensejando pensarmos que intervêm outros fatores.

Entretanto, de maneira geral, somos de parecer que não se verificam grandes diferenças entre esses grupos de nikkei brasileiros que se encontram no Japão. Para compararmos com os nikkei do Brasil nas mesmas faixas etárias, como dissemos, temos que fazer os ajustes por idade, ficando, pois, para um estudo posterior.

* Encontram-se inscritos no gráfico os números e as escolhas

P.ex.: 40-2 significa Q 40 e escolha 2.

F 2-1 quer dizer F 2 e escolha 1.



à Associação Ultramarina dos Nikkei

PARTE III

1. Questionário (versão para o japonês), e Somatória simples com ou sem ponderação. Distribuição das opiniões dos nikkei brasileiros no Japão procedentes de Tomé-Açu e Maringá
2. Comparação das somatórias simples dos resultados das pesquisas com japoneses, nikkei brasileiros, nikkei americanos de Havai, americanos (USA), etc., por perguntas
3. Quadro de somatórias dos resultados segundo atributos (sexo, idade, geração, escala de japoneses) dos nikkei brasileiros
4. Questionário de Comportamento Atitudinal

ANEXO 1

Questionário (Texto em japonês do original em português e versão japonesa dos Q 1 - 8, Q 9, Q 10 f - i, e do "fecsheet") e somatória simples com ou sem ponderação. Distribuição das opiniões dos nikkei brasileiros residentes no Japão originários de Tomé-Açu e Maringá.

Leitura dos Quadros

Distribuição das opiniões (%) conforme as seguintes classificações

W492 S492 W486 S486 ! HJA JAPAN B-JB TOME MARI J-JB1 J-JB2
!

1,2,3,4 - Categoria das respostas

W492 - W-com ponderação; 492 amostras

S492 - S-sem ponderação; 492 amostras

W486 - W-com ponderação; 486 amostras (excluídas aquelas com peso acima de 10000)

S486 - S-sem ponderação; 486 amostras (idem acima)

1,2,3,4 - Categoria das respostas

HJA - Nikkei de Havai - 1988

JAPAN - Japoneses - 1988

B-JB - Nikkei brasileiros. Igual a W492

TOME - Tomé-Açu; 110 amostras

MARI - Maringá; 205 amostras

J-JB1 - Nikkei brasileiros residentes no Japão - Associação Ultramarina dos Nikkei; 118 amostras

J-JB2 - Nikkei brasileiros residentes no Japão - Isuzu Motors, Fábrica de Tochigi; 85 amostras

Q 1.Sua opinião sobre os pontos bons e ruins do Brasil.

(43)

b. O que você acha que pode ser feito a respeito?

(44)

Q 2.Sua opinião sobre os pontos bons e ruins do Japão.

(45)

Q 3.O que você gostaria de fazer com vista ao Japão?

(46)

Q 4.Na qualidade de descendente de japoneses, o que desejaria fosse transmitida à geração seguinte?

(47)

Q 5.Na qualidade de descendente de japoneses, quais as contribuições que você acha, que os descendentes podem dar ao Brasil?

(48)

Q 6.Você já foi ao Japão?

1) Sim

2) Não

Brazil											
W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1. 15.3	16.5	12.7	16.3	1.	-	-	15.3	41.1	13.7	-	-
2. 84.7	83.5	87.3	83.7	2.	-	-	84.7	55.6	83.4	-	-
0. -	-	-	-	0.	-	-	-	3.3	2.9	-	-

Q 6.Você já foi ao Japão?

1) Sim

2) Não

Objetivo?

1-Turismo

2-Visita a parentes

3-Estudo

4-A serviço

5-Para trabalhar

(49)

Brazil											
W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1. 6.2	4.9	4.3	4.7	1.	-	-	6.2	5.3	2.4	-	-
2. 5.8	5.9	4.7	5.8	2.	-	-	5.8	21.9	5.9	-	-
3. 0.7	0.8	0.8	0.8	3.	-	-	0.7	1.3	0.5	-	-
4. 1.0	1.4	1.2	1.4	4.	-	-	1.0	2.0	0.5	-	-
5. 0.3	0.8	0.3	0.8	5.	-	-	0.3	10.6	2.9	-	-
0. 86.0	86.2	88.7	86.4	0.	-	-	86.0	58.9	87.8	-	-

Q 7.Você deseja ir ao Japão?

1) Sim

2) Não

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
	W492	S492	W486	S486								
1.	86.2	83.9	84.0	83.7	1.	-	-	86.2	84.1	86.3	-	-
2.	13.8	16.1	16.0	16.3	2.	-	-	13.8	12.6	11.2	-	-
0.	-	-	-	-	0.	-	-	-	3.3	2.4	-	-

Q 7.Você deseja ir ao Japão?

1) Sim

2) Não

Objetivo?

1-Turismo

2-Visita a parentes

3-Estudo

4-A serviço

5-Para trabalhar

(30)

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
	W492	S492	W486	S486								
1.	44.6	48.2	46.5	48.4	1.	-	-	44.6	33.1	48.8	-	-
2.	15.5	10.8	13.0	10.5	2.	-	-	15.5	24.5	11.7	-	-
3.	4.9	4.5	5.7	4.5	3.	-	-	4.9	4.6	12.2	-	-
4.	1.9	2.8	2.2	2.9	4.	-	-	1.9	0.7	2.9	-	-
5.	14.0	9.6	10.4	9.3	5.	-	-	14.0	20.5	10.7	-	-
0.	19.1	24.2	22.1	24.5	0.	-	-	19.1	16.6	13.7	-	-

Q 8. [(a) (a) (15)]

Para a sua idade, está satisfeito(a) com a sua saúde?

1. Muito satisfeito(a)

4. Muito insatisfeito(a)

2. Satisfeito(a)

5. Não sei

3. Insatisfeito(a)

(31)

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	48.8	43.9	44.8	43.6	1.	37.8	13.6	48.8	24.5	48.8	22.9	45.9
2.	42.0	45.9	44.5	46.1	2.	57.2	57.5	42.0	57.0	45.4	68.6	44.7
3.	7.8	0.3	9.0	9.5	3.	5.0	21.1	7.8	15.9	5.9	5.9	4.7
4.	0.4	0.4	0.5	0.4	4.	-	5.4	0.4	1.3	-	0.8	1.2
5.	1.0	0.4	1.2	0.4	5.	-	0.1	1.0	0.7	-	0.8	2.4
6.	-	-	-	-	6.	-	2.3	-	0.7	0.8	1.2	-

Q 9. [Pergunta adicional] (CARTÃO 9)

Julgamos que cada qual tenha expectativas e esperança no futuro. Que expectativas e esperança você tem em relação aos seguintes itens?

- | | | |
|---|---------------------------|------|
| a. Sucessos social e econômico | 1. Muita esperança | (32) |
| b. Casamento e vida familiar | 2. Alguma esperança | (33) |
| c. Futuro dos filhos | 3. Pouca esperança | (34) |
| d. O mundo será melhor | 4. Sem qualquer esperança | (35) |
| e. Política e economia do País | 5. Outras | (36) |
| f. Paz do mundo | 6. Não sei | (37) |
| g. Conservação do meio ambiente da Terra (do globo terrestre) | 7. Não corresponde | (38) |

a. Sucessos social e econômico

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 47.5	53.3	50.1	53.5	1. -	-	47.5	26.5	51.2	55.9	45.9
2. 27.7	26.6	27.9	26.5	2. -	-	27.7	28.5	30.7	27.1	18.8
3. 16.1	12.8	11.9	12.6	3. -	-	16.1	31.8	11.7	7.6	1.2
4. 4.6	4.1	5.3	4.1	4. -	-	4.6	4.0	3.4	0.8	3.5
5. -	-	-	-	5. -	-	-	-	1.5	-	2.4
6. 2.3	0.8	2.6	0.8	6. -	-	2.3	6.6	1.5	1.7	1.2
7. 1.9	0.4	2.1	2.5	7. -	-	1.9	2.6	-	6.8	27.1

b. Casamento e vida familiar

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 54.1	63.6	57.7	64.0	1. -	-	54.1	45.0	75.6	57.6	62.4
2. 23.5	16.9	19.3	16.5	2. -	-	23.5	21.2	15.6	20.3	4.7
3. 10.1	5.9	8.7	5.8	3. -	-	10.1	10.6	3.4	3.4	-
4. 2.6	2.2	3.1	2.3	4. -	-	2.6	6.6	0.5	1.7	-
5. 3.0	2.2	3.4	2.3	5. -	-	3.0	0.7	2.4	0.8	2.4
6. 2.6	2.4	3.1	2.5	6. -	-	2.6	6.0	1.5	5.1	1.2
7. 4.1	6.7	4.7	6.8	7. -	-	4.1	9.9	1.0	11.0	29.4

c. Futuro dos filhos

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 62.9	66.9	62.1	66.9	1. -	-	62.9	50.3	77.1	50.8	52.9
2. 17.5	14.4	15.2	14.2	2. -	-	17.5	21.2	14.1	17.8	10.6
3. 4.7	4.7	5.4	4.7	3. -	-	4.7	11.9	3.9	5.9	2.4
4. 0.4	0.8	0.4	0.8	4. -	-	0.4	0.7	0.5	-	-
5. 0.4	0.6	0.4	0.6	5. -	-	0.4	2.0	-	4.2	1.2
6. 3.9	2.6	4.5	2.7	6. -	-	3.9	8.6	2.9	5.9	1.2
7. 10.2	10.0	11.8	10.1	7. -	-	10.2	5.3	1.5	15.3	31.8

d. O mundo será melhor

Brazil						H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
	W492	S492	W486	S486								
1.	42.3	39.4	43.1	39.5	1.	-	-	42.3	27.2	36.6	22.9	22.4
2.	28.4	28.9	26.8	28.6	2.	-	-	28.4	27.8	32.7	34.7	25.9
3.	19.8	21.5	19.2	21.6	3.	-	-	19.8	30.5	23.4	17.8	11.8
4.	5.0	5.1	5.8	5.1	4.	-	-	5.0	-	2.9	7.6	2.4
5.	0.1	0.4	0.1	0.4	5.	-	-	0.1	-	0.5	2.5	-
6.	4.0	3.7	4.6	3.7	6.	-	-	4.0	11.3	3.4	4.2	8.2
7.	0.4	1.0	0.4	1.0	7.	-	-	0.4	3.3	0.5	10.2	29.4

e. Política e economia do País

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	22.8	20.1	20.5	20.0	1.	-	-	22.8	15.2	10.7	8.5	9.4
2.	26.3	27.8	24.6	27.8	2.	-	-	26.3	21.9	25.4	35.6	21.2
3.	31.7	31.9	32.7	31.9	3.	-	-	31.7	31.8	42.9	25.4	22.4
4.	12.8	12.4	14.8	12.6	4.	-	-	12.8	17.9	17.1	15.3	12.9
5.	0.2	0.6	0.2	0.6	5.	-	-	0.2	-	-	-	-
6.	5.5	5.5	6.4	5.6	6.	-	-	5.5	7.9	2.9	4.2	2.4
7.	0.7	1.6	0.8	1.6	7.	-	-	0.7	5.3	1.0	11.0	31.8

f. Paz do mundo

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	43.0	38.8	43.0	38.9	1.	-	-	43.0	33.1	44.4	22.0	36.5
2.	24.3	28.0	23.1	28.0	2.	-	-	24.3	23.2	29.3	30.5	18.8
3.	21.9	20.9	21.3	20.8	3.	-	-	21.9	24.5	16.1	21.2	7.1
4.	6.2	6.3	7.2	6.4	4.	-	-	6.2	6.0	3.9	5.1	3.5
5.	0.4	0.4	0.4	0.4	5.	-	-	0.4	-	-	0.8	-
6.	3.5	4.3	4.0	4.3	6.	-	-	3.5	9.3	5.9	9.3	7.1
7.	0.8	1.2	0.9	1.2	7.	-	-	0.8	4.0	0.5	11.0	27.1

g. Conservação do meio ambiente da Terra (do globo terrestre)

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	35.9	35.8	35.8	35.8	1.	-	-	35.9	21.2	32.7	14.4	21.2
2.	23.6	30.5	27.4	30.9	2.	-	-	23.6	37.1	28.8	39.8	30.6
3.	26.2	20.1	20.4	19.5	3.	-	-	26.2	19.9	24.4	21.2	8.2
4.	8.7	5.9	10.1	6.0	4.	-	-	8.7	3.3	6.3	7.6	2.4
5.	0.6	1.4	0.7	1.4	5.	-	-	0.6	2.0	-	0.8	-
6.	4.7	5.3	5.5	5.3	6.	-	-	4.7	11.9	5.9	5.9	8.2
7.	0.3	1.0	0.4	1.0	7.	-	-	0.3	4.6	2.0	10.2	29.4

Q10. [(a) (a) (9)] (CARTÃO 10)

Você deve ter momentos de preocupação, sobre si e para com os familiares. Em que extensão é a sua preocupação em relação aos itens seguintes?

	Muito	Algo	Levemente	Nada	Não sei	
Doença séria	1	2	3	4	0	(59)
Acidente de carro	1	2	3	4	0	(60)
Desemprego	1	2	3	4	0	(61)
Guerra	1	2	3	4	0	(62)
Acidente nuclear	1	2	3	4	0	(63)

E sobre os seguintes itens?

Violência	1	2	3	4	0	(64)
Drogas	1	2	3	4	0	(65)
Problemas ambientais	1	2	3	4	0	(66)
Economia e política do País	1	2	3	4	0	(67)

a. Doença séria

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 56.9	55.9	56.8	55.8	1.	37.8	21.9	56.9	40.4	58.5	54.2	57.6
2. 9.0	11.4	10.4	11.5	2.	32.8	24.9	9.0	15.2	12.2	16.1	10.6
3. 18.5	18.7	18.5	18.7	3.	17.8	38.7	18.5	33.8	16.1	15.3	11.8
4. 15.6	13.6	14.2	13.6	4.	10.6	13.6	15.6	8.6	13.2	11.9	9.4
0. 0.1	0.4	0.1	0.4	0.	1.2	1.0	0.1	2.0	-	2.5	10.6

b. Acidente de carro

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 51.3	52.8	52.4	52.9	1.	39.4	26.0	51.3	25.2	53.2	33.1	34.1
2. 13.1	12.4	12.3	12.3	2.	32.8	31.1	13.1	19.2	16.6	20.3	12.9
3. 20.3	18.3	17.7	18.1	3.	21.1	32.4	20.3	37.1	16.6	27.1	15.3
4. 12.5	12.8	14.5	13.0	4.	5.6	9.2	12.5	14.6	12.7	12.7	15.3
0. 2.7	3.7	3.2	3.7	0.	1.1	1.3	2.7	4.0	1.0	6.8	22.4

c. Desemprego

Brazil					H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486								
1. 48.0	44.5	44.7	44.2	1.	15.0	8.2	48.0	16.6	37.6	32.2	30.6
2. 12.5	14.6	14.4	14.8	2.	30.0	14.4	12.5	9.9	11.7	17.8	16.5
3. 16.1	16.1	13.7	15.8	3.	28.3	30.2	16.1	17.2	21.5	28.0	11.8
4. 22.8	23.6	26.4	23.9	4.	23.9	41.1	22.8	40.4	28.3	17.8	15.3
0. 0.6	1.2	0.7	1.2	0.	2.7	5.6	0.6	15.9	1.0	4.2	25.9

d. Guerra

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 56.5	56.7	58.3	56.8	1. 32.8	11.3	56.5	30.5	42.0	22.9	24.7
2. 8.1	11.2	9.4	11.3	2. 27.8	13.3	8.1	21.9	10.2	13.6	11.8
3. 14.9	14.2	13.5	14.2	3. 27.8	36.4	14.9	13.9	22.4	25.4	14.1
4. 18.9	15.0	16.9	14.8	4. 8.9	32.9	18.9	25.8	22.0	23.7	15.3
0. 1.6	2.8	1.8	2.9	0. 2.8	6.0	1.6	7.9	3.4	14.4	34.1

e. Acidente nuclear

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 53.8	54.5	57.2	54.7	1. 38.3	18.8	53.8	39.1	42.4	31.4	29.4
2. 11.9	11.8	10.0	11.7	2. 26.7	24.8	11.9	9.3	12.7	11.9	8.2
3. 15.9	16.3	14.4	16.0	3. 20.6	34.4	15.9	17.9	18.5	22.0	11.8
4. 13.9	13.2	16.1	13.4	4. 12.2	15.5	13.9	21.2	21.0	23.7	16.5
0. 4.5	4.3	2.3	4.1	0. 2.3	6.5	4.5	12.6	5.4	11.0	34.1

f. Violência

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 77.0	81.7	80.4	82.1	1. -	-	77.0	43.7	80.5	67.8	62.4
2. 6.2	7.5	7.1	7.6	2. -	-	6.2	27.2	11.7	13.6	15.3
3. 7.5	5.3	4.6	4.9	3. -	-	7.5	13.9	4.9	7.6	3.5
4. 8.4	4.7	6.8	4.5	4. -	-	8.4	12.6	2.9	5.9	3.5
0. 1.0	0.8	1.1	0.8	0. -	-	1.0	2.6	-	5.1	15.3

g. Drogas

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 67.3	71.1	69.1	71.4	1. -	-	67.3	45.7	71.2	42.4	48.2
2. 9.3	10.4	10.8	10.5	2. -	-	9.3	15.2	10.7	14.4	16.5
3. 10.4	8.5	8.1	8.2	3. -	-	10.4	7.9	7.8	15.3	4.7
4. 11.2	8.3	10.0	8.2	4. -	-	11.2	23.8	9.3	22.0	12.9
0. 1.8	1.6	2.1	1.6	0. -	-	1.8	7.3	1.0	5.9	17.6

h. Problemas ambientais

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 48.9	51.2	51.5	51.4	1. -	-	48.9	25.2	52.2	33.1	37.6
2. 23.9	22.4	21.9	22.2	2. -	-	23.9	27.8	21.5	27.1	25.9
3. 15.1	17.5	17.6	17.7	3. -	-	15.1	23.2	18.0	28.0	9.4
4. 10.0	6.7	6.7	6.4	4. -	-	10.0	13.2	7.3	5.9	2.4
0. 2.1	2.2	2.4	2.3	0. -	-	2.1	10.6	1.0	5.9	24.7

i. Economia e política do País

Brazil

	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	57.0	58.3	59.0	58.4	1.	-	-	57.0	55.6	64.4	60.2	56.5
2.	17.9	16.7	14.9	16.5	2.	-	-	17.9	17.2	18.0	23.7	11.8
3.	16.3	14.6	15.9	14.6	3.	-	-	16.3	13.9	11.7	8.5	7.1
4.	6.5	7.3	7.5	7.4	4.	-	-	6.5	4.6	4.4	3.4	3.5
0.	2.3	3.0	2.7	3.1	0.	-	-	2.3	8.6	1.5	4.2	21.2

Q11.[**(11)]

Poderia dizer se você é mais, ou menos, inclinado a respeitar os seus ancestrais do que a média geral?

1. Mais do que a média
2. Menos do que a média
3. Média
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

(68)

Brazil

	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	55.3	52.2	52.3	52.1	1.	51.7	47.5	55.3	58.3	45.9	36.4	32.9
2.	6.1	5.7	7.1	5.8	2.	14.4	8.4	6.1	4.6	6.8	10.2	9.4
3.	34.4	40.0	35.6	40.1	3.	31.7	42.5	34.4	31.1	45.9	39.8	40.0
4.	2.1	1.0	2.5	1.0	4.	0.6	0.0	2.1	-	1.0	0.8	2.4
5.	2.1	1.0	2.5	1.0	5.	1.7	1.5	2.1	6.0	0.5	12.7	15.3

Q12.[*(12)]

Se você não tem filho, pensa desejável adotar uma criança para continuar a linhagem da família, sabendo que não existe relação de consanguinidade? Ou você acha que não há necessidade de tal providência?

1. Adotaria
2. Não adotaria
3. Depende
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

(69)

Brazil

	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	51.9	51.8	49.4	51.6	1.	32.8	19.1	51.9	41.7	57.6	28.0	23.5
2.	26.7	27.8	28.8	28.0	2.	44.4	42.4	26.7	19.9	21.0	21.2	8.2
3.	12.6	9.1	11.7	9.1	3.	13.3	30.5	12.6	23.2	15.1	30.5	37.6
4.	2.6	4.1	3.0	4.1	4.	4.4	0.2	2.6	2.0	2.0	7.6	8.2
5.	6.2	7.1	7.1	7.2	5.	5.0	7.8	6.2	13.2	4.4	12.7	22.4

Q13.[(a)(18)]

Se você obtiver dinheiro suficiente para viver confortavelmente o resto de sua vida, continuaria a trabalhar ou pararia de trabalhar?

1. Continuaria a trabalhar
2. Pararia de trabalhar
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(70)

Brazil

	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	83.3	84.1	83.6	84.2	1.	49.4	64.1	83.3	89.4	86.3	87.3	83.5
2.	12.1	11.0	11.0	10.9	2.	44.4	24.1	12.1	6.0	10.2	3.4	7.1
3.	3.9	4.1	4.5	4.1	3.	5.0	1.5	3.9	1.3	2.0	5.9	1.2
4.	0.7	0.8	0.8	0.8	4.	1.1	10.4	0.7	3.3	1.5	3.4	8.2

Q14.[**(19)] (CARTÃO 14)

Há as seguintes opiniões sobre o trabalho.

Qual das duas você considera mais próxima da sua opinião?

1. Não importa quanto de dinheiro se tenha, a vida sem trabalho não é plena
2. Contanto que tenha dinheiro, a vida é plena mesmo que não se tenha trabalho
3. Não sei

(71)

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 88.0	86.0	86.1	85.8	1. 61.1	72.8	88.0	87.4	88.3	83.9	80.0
2. 9.9	10.8	11.5	10.9	2. 34.4	19.8	9.9	9.3	10.2	3.4	9.4
3. 2.1	3.3	2.5	3.3	3. 4.4	7.4	2.1	3.3	1.5	12.7	10.6

Q15.[(a)(20)] (CARTÃO 15)

Aqui estão algumas das coisas que as pessoas comumente levam em conta em relação ao seu trabalho. Qual é que você, pessoalmente, coloca em primeiro lugar?

1. Um bom salário de maneira que você não tenha qualquer preocupação quanto ao dinheiro
2. Um trabalho seguro em que não exista o receio de fechamento de firma ou desemprego
3. Trabalhar com pessoas que se gosta
4. Fazer um trabalho importante pelo que se sinta realizado
5. Outro (Especificar) _____
6. Não sei

(72)

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 16.3	13.2	16.0	13.2	1. 14.4	19.8	16.3	7.9	17.1	12.7	20.0
2. 21.2	22.6	18.6	22.4	2. 16.7	15.4	21.2	18.5	18.0	16.9	18.8
3. 12.2	12.6	11.2	12.6	3. 21.7	29.2	12.2	21.2	12.2	8.5	9.4
4. 40.9	43.5	43.4	43.6	4. 45.6	29.4	40.9	49.0	42.4	44.9	34.1
5. 7.8	6.5	9.0	6.6	5. 1.7	0.5	7.8	2.6	8.3	11.9	9.4
6. 1.6	1.6	2.0	1.6	6. -	5.7	1.7	0.7	2.0	5.1	8.2

Q16. [* (22)] (CARTÃO 16)

Há toda sorte de atitudes perante a vida.

Qual das declarações seguintes diria que mais se aproxima da sua forma de viver?

1. Trabalhar arduamente e se tornar rico (73)
2. Estudar com dedicação e conseguir destacar-se
3. Não pensar em dinheiro ou fama; apenas viver uma vida que esteja de acordo com a sua maneira de ser
4. Viver cada dia como ele se apresenta, com alegria e sem aborrecimentos
5. Resistir a todos os males do mundo e viver uma vida pura e justa
6. Nunca pensar de si mesmo e se entregar inteiramente a serviço da sociedade
7. Outro (Especificar) _____
8. Não sei

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	8.0	8.9	9.2	9.1	1.	9.4	13.8	8.0	6.6	9.8	2.5	8.2
2.	4.8	7.5	5.6	7.6	2.	3.9	1.7	4.8	4.0	6.3	10.2	5.9
3.	35.9	31.3	33.6	31.1	3.	29.4	37.3	35.9	49.7	32.7	36.4	35.3
4.	25.5	25.4	27.5	25.5	4.	42.8	32.0	25.5	20.5	30.7	17.8	23.5
5.	19.2	17.5	16.4	17.3	5.	10.6	5.9	19.2	12.6	10.2	11.9	15.3
6.	2.4	2.8	2.8	2.9	6.	2.2	2.9	2.4	2.0	3.4	0.8	1.2
7.	3.4	5.3	4.0	5.3	7.	1.1	1.2	3.4	2.6	5.4	14.4	2.4
8.	0.7	1.2	0.8	1.2	8.	0.6	5.2	0.7	2.0	1.5	5.9	8.2

Q17.[**(25)] [CARTÃO 17]

Numa das fábulas de Esopo, há uma história de um grilo preguiçoso e de uma formiga trabalhadora. Quando o inverno veio e passando fome por falta de comida, o grilo, que passou o verão cantando, procurou a formiga que trabalhou todo o verão.

A formiga poderia ter dado tanto uma como outra resposta que estão no cartão. Qual das duas respostas você acha que seria melhor como conclusão da história?

1. A formiga manda o grilo embora porque é natural que sofra agora (74)
2. A formiga admoesta o grilo dizendo: "Você deve arrepender-se de ter sido preguiçoso. Daqui para diante você deve trabalhar mais", e depois compartilha a comida.
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	19.9	17.5	21.0	17.5	1.	9.4	15.3	19.9	6.6	6.3	5.1	10.6
2.	77.8	79.5	76.3	79.4	2.	90.6	75.0	77.8	82.8	88.8	82.2	75.3
3.	0.9	2.0	1.1	2.1	3.	-	0.3	0.9	4.6	2.4	10.2	3.5
4.	1.4	1.0	1.6	1.0	4.	-	9.4	1.4	6.0	2.4	2.5	10.6

Q18.[*(26)]

O que é para você a coisa mais importante na vida? (75)

Cite apenas uma

A. _____

Não sei

Que outras coisas são muito importantes para você? (76)

Quais? É favor citá-las

B. _____

Não sei

Q19.[(a) (a) (a) (27)] [CARTÃO 19]

Usando-se a escala, onde "7" é "muito importante", e "1" é "nada importante", você poderia dizer a importância dos seguintes assuntos?

	Nada <u>im</u> portante					Muito <u>im</u> portante	Não sei	
Família e Crianças	1	2	3	4	5	6	7	0 (77)
Profissão e Trabalho	1	2	3	4	5	6	7	0 (78)
Tempo Livre e Folga	1	2	3	4	5	6	7	0 (79)
Amigos e Conhecidos	1	2	3	4	5	6	7	0 (80)
País, Irmãos e Parentes	1	2	3	4	5	6	7	0 (81)
Religião	1	2	3	4	5	6	7	0 (82)
Política	1	2	3	4	5	6	7	0 (83)

a. Família e Crianças

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	2.3	1.2	2.6	1.2	1.	1.1	0.6	2.3	2.0	0.5	0.8	7.1
2.	-	-	-	-	2.	-	0.2	-	-	0.5	-	-
3.	0.4	0.8	0.4	0.8	3.	1.1	0.4	0.4	-	-	-	1.2
4.	2.8	1.6	3.3	1.6	4.	-	2.6	2.8	2.6	-	0.8	-
5.	2.6	1.8	3.0	1.9	5.	1.1	4.4	2.6	0.7	0.5	5.9	-
6.	1.1	3.9	1.2	3.9	6.	4.4	7.5	1.1	2.6	2.4	5.9	1.2
7.	90.3	90.2	88.8	90.1	7.	89.4	82.6	90.3	92.1	95.6	83.9	85.9
0.	0.6	0.4	0.7	0.4	0.	-	1.5	0.6	-	0.5	2.5	4.7

b. Profissão e Trabalho

Brazil												
W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
1.	2.5	1.0	2.9	1.0	1.	6.1	1.4	2.5	2.6	1.0	0.8	5.9
2.	0.2	0.4	0.2	0.4	2.	0.6	0.9	0.2	0.7	-	-	2.4
3.	0.2	0.2	0.2	0.2	3.	2.8	1.3	0.2	1.3	0.5	-	-
4.	2.1	2.4	2.4	2.5	4.	11.1	8.4	2.1	6.0	-	2.5	1.2
5.	3.5	5.7	4.1	5.8	5.	21.7	12.3	3.5	3.3	3.9	6.8	4.7
6.	12.6	14.4	14.6	14.6	6.	19.4	17.6	12.6	0.7	7.8	16.1	12.9
7.	78.9	75.8	75.6	75.5	7.	32.2	54.6	78.9	84.8	86.3	71.2	60.0
0.	-	-	-	-	0.	-	3.1	-	0.7	0.5	2.5	12.9

c. Tempo Livre e Folga

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	4.1	3.7	4.8	3.7	1.	0.6	0.6	4.1	6.6	1.5	2.5	7.1
2.	2.8	2.6	3.3	2.7	2.	0.6	1.1	2.8	1.3	2.0	-	1.2
3.	8.8	7.7	8.2	7.6	3.	3.9	3.1	8.8	4.6	5.9	4.2	5.9
4.	20.9	19.9	21.3	20.0	4.	16.7	17.0	20.9	16.6	15.6	12.7	10.6
5.	12.6	15.2	11.6	15.2	5.	26.1	24.2	12.6	7.9	16.6	17.8	17.6
6.	17.9	16.5	16.9	16.5	6.	20.6	20.8	17.9	12.6	16.1	21.2	11.8
7.	32.8	33.9	33.8	34.0	7.	31.1	31.2	32.8	49.7	42.0	38.1	30.6
0.	0.1	0.4	0.1	0.4	0.	0.6	2.0	0.1	0.7	0.5	3.4	15.3

d. Amigos e Conhecidos

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	1.9	0.8	2.2	0.8	1.	0.6	0.4	1.9	1.3	1.0	2.5	2.4
2.	1.3	1.2	1.5	1.2	2.	0.6	0.2	1.3	-	-	-	5.9
3.	1.2	1.8	1.4	1.9	3.	0.6	1.5	1.2	1.3	2.0	3.4	-
4.	8.1	8.7	6.4	8.6	4.	10.6	8.7	8.1	5.3	4.9	3.4	4.7
5.	9.4	11.8	10.9	11.9	5.	22.2	20.4	9.4	4.6	7.8	12.7	5.9
6.	18.3	17.1	19.2	17.1	6.	30.0	27.5	18.3	11.9	15.1	16.7	16.5
7.	59.8	58.5	58.4	58.4	7.	35.0	39.4	59.8	74.2	68.8	57.6	45.9
0.	-	-	-	-	0.	-	1.5	-	1.3	0.5	3.4	18.8

e. Pais, Irmãos e Parentes

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	1.7	1.0	2.0	1.0	1.	0.6	0.5	1.7	0.7	0.5	-	4.7
2.	0.6	0.6	0.7	0.6	2.	0.6	0.4	0.6	1.3	0.5	0.8	1.2
3.	0.2	0.8	0.2	0.8	3.	2.2	1.0	0.2	-	-	1.7	1.2
4.	1.6	2.8	1.9	2.9	4.	0.6	5.1	1.6	1.3	1.5	2.5	-
5.	1.4	4.1	1.7	4.1	5.	9.4	10.6	1.4	1.3	1.0	2.5	5.9
6.	7.4	9.6	8.6	9.7	6.	18.3	22.6	7.4	7.3	9.3	12.7	3.5
7.	86.8	80.9	84.7	80.7	7.	66.1	58.1	86.8	87.4	86.8	75.4	68.2
0.	0.2	0.2	0.5	0.2	0.	-	1.6	0.2	0.7	0.5	4.2	15.3

f. Religião

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	5.9	4.7	3.9	4.5	1.	11.1	12.4	5.9	8.6	2.0	10.2	8.2
2.	3.7	3.0	4.3	3.1	2.	3.9	8.7	3.7	-	3.4	8.5	4.7
3.	5.4	6.9	6.2	7.0	3.	6.1	13.1	5.4	3.3	6.3	13.6	4.7
4.	10.9	14.4	12.6	14.6	4.	17.8	24.5	10.9	17.9	10.7	9.3	10.6
5.	9.4	11.4	10.8	11.5	5.	23.3	15.9	9.4	11.9	12.7	14.4	8.2
6.	12.9	15.0	14.9	15.2	6.	13.3	7.8	12.9	8.6	11.7	13.6	9.4
7.	51.9	44.3	47.2	43.8	7.	24.4	13.8	51.9	47.0	53.2	25.4	35.3
0.	0.0	0.2	0.0	0.2	0.	-	3.6	0.0	2.6	-	5.1	18.8

g. Política

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	14.2	14.2	12.6	14.2	1.	8.3	2.8	14.2	7.9	14.6	11.0	16.5
2.	10.5	8.9	9.2	8.8	2.	8.3	5.3	10.5	0.7	6.3	5.9	4.7
3.	8.5	9.6	7.8	9.5	3.	13.9	8.9	8.5	3.3	11.2	7.6	3.5
4.	15.5	16.1	17.9	16.3	4.	30.6	24.5	15.5	20.5	14.6	15.3	14.1
5.	12.8	12.4	14.8	12.6	5.	20.6	20.9	12.8	14.6	16.1	11.9	15.3
6.	12.2	12.2	12.1	12.1	6.	11.1	15.0	12.2	14.6	12.2	16.9	8.2
7.	24.2	24.4	22.9	24.3	7.	7.2	18.2	24.2	35.8	22.9	23.7	15.3
0.	2.2	2.2	2.6	2.3	0.	-	4.4	2.2	2.6	2.0	7.6	22.4

Q20. [Adicional (29)] [CARTÃO 20]

Vamos perguntar sobre a sua vida. Em poucas palavras, você se sente satisfeito com a sua vida atual ou insatisfeito? (84)

1 Satisfeito 2 Algo Satisfeito 3 Depende 4 Algo insatisfeito 5 Insatisfeito 6 Outro (Especificar) 7 Não sei

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 63.5	61.0	61.7	60.9	1. 30.0	32.8	63.5	40.4	61.5	29.7	40.0
2. 17.7	18.1	16.5	17.9	2. 57.8	41.4	17.7	32.5	21.5	33.9	22.4
3. 11.0	12.2	12.7	12.3	3. 9.4	13.2	11.0	11.3	7.3	15.3	20.0
4. 6.1	4.3	7.1	4.3	4. 1.7	9.6	6.1	6.6	7.8	12.7	11.8
5. 1.8	4.3	2.1	4.3	5. 0.6	2.7	1.8	7.9	1.5	5.9	4.7
6. 0.0	0.2	0.0	0.2	6. -	-	0.0	-	0.5	0.8	-
7. -	-	-	-	7. 0.6	0.3	-	1.3	-	1.7	1.2

Q21. [* (32)]

Diz-se que com o desenvolvimento da ciência e tecnologia, a vida se torna mais fácil e cômoda, mas ao mesmo tempo um bocado de sentimentos humanos é perdido. Você concorda com essa opinião ou não?

1. Concordo
(Que há perda de sentimentos humanos)
2. Discordo
3. Depende
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 67.3	66.3	66.3	66.3	1. 80.6	44.6	67.3	41.7	57.1	55.9	47.1
2. 15.7	17.1	16.0	17.1	2. 10.6	9.9	15.7	11.3	22.4	19.5	18.8
3. 11.3	12.2	11.1	12.1	3. 6.1	39.3	11.3	35.8	18.0	18.6	23.5
4. 0.8	0.8	1.0	0.8	4. 0.6	0.0	0.8	1.3	-	4.2	1.2
5. 4.8	3.7	5.6	3.7	5. 2.2	6.1	4.8	9.9	2.4	1.7	9.4

Q22. [* (33)]

Na formação de criança na idade escolar de curso primário, existem pessoas que acham que a criança deve ser ensinada, desde o mais cedo possível, que o dinheiro é uma das coisas mais importantes na vida. Você concorda com esse procedimento ou não?

1. Concordo
2. Discordo
3. Depende
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 23.1	24.8	23.8	24.9	1. 20.6	47.8	23.1	31.8	19.0	11.9	14.1
2. 59.9	62.2	59.4	62.1	2. 73.3	18.7	59.9	39.1	64.9	61.0	58.8
3. 13.7	10.6	13.0	10.5	3. 3.3	30.2	13.7	25.8	14.1	22.9	21.2
4. 2.3	1.6	2.7	1.6	4. 2.2	0.1	2.3	2.6	1.5	2.5	1.2
5. 1.0	0.8	1.2	0.8	5. 0.6	2.7	1.0	0.7	0.5	1.7	4.7

Q23. [* (Hw71)]

Ao educar criança na idade de frequentar o curso primário, você acha mais importante frisar o valor da liberdade ou o valor da disciplina?

1. Liberdade
2. Disciplina
3. Outro _____
4. Não sei

Brazil

	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	21.1	17.3	14.8	16.9	1.	-	-	21.1	11.3	14.6	17.8	12.9
2.	69.3	67.3	74.2	67.5	2.	-	-	69.3	75.5	65.9	61.0	64.7
3.	9.4	15.0	10.9	15.2	3.	-	-	9.4	10.6	18.5	16.1	8.2
4.	0.1	0.4	0.2	0.4	4.	-	-	0.1	2.6	1.0	5.1	14.1

Q24. [* (34)]

Alguns dizem que se pudermos contar com líderes políticos realmente capazes, o melhor caminho para melhorar o país é deixar tudo entregue a eles ao invés de o povo ficar discutindo as coisas entre si. Você concorda com isso ou não?

1. Concordo
2. Discordo
3. Depende
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

Brazil

	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	38.4	37.4	39.4	37.4	1.	10.0	13.1	38.4	35.8	31.7	24.6	31.8
2.	51.3	52.6	48.6	52.5	2.	77.2	61.6	51.3	39.1	50.7	52.5	40.0
3.	6.7	6.5	7.8	6.6	3.	11.7	19.0	6.7	22.5	14.6	15.3	16.5
4.	1.8	1.4	2.1	1.4	4.	-	0.1	1.8	-	1.5	5.1	1.2
5.	1.8	2.0	2.1	2.1	5.	1.1	6.2	1.8	2.6	1.5	2.5	10.6

Q25. [* (35)]

Se você pensa que alguma coisa é correta, acha que deve ir para frente e realizá-la, mesmo que seja contra os costumes usuais, ou acha que pode errar menos seguindo os costumes?

1. Ir à frente mesmo que contra os costumes
2. Seguir os costumes
3. Depende
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

Brazil

	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	42.8	42.7	43.8	42.8	1.	51.1	19.2	42.8	30.5	44.9	52.5	45.9
2.	35.3	32.9	35.8	32.9	2.	22.2	25.7	35.3	32.5	22.9	7.6	18.8
3.	19.7	22.0	17.9	21.8	3.	25.0	52.0	19.7	34.4	30.7	35.6	29.4
4.	0.7	0.8	0.8	0.8	4.	0.6	0.1	0.7	-	0.5	2.5	1.2
5.	1.5	1.6	1.7	1.6	5.	1.1	3.0	1.5	2.6	1.0	1.7	4.7

Q26. [* (36)]

Alguns dizem que não importa quanto se mecanize o mundo, nada pode reduzir os sentimentos humanos. Você concorda com essa opinião ou discorda dela?

(90)

1. Concordo
2. Discordo
3. Depende
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 52.7	51.0	51.9	50.8	1. 80.6	29.6	52.7	33.8	36.6	29.7	24.7
2. 32.8	33.7	34.2	34.0	2. 12.2	31.3	32.8	30.5	45.4	46.6	40.0
3. 9.6	11.4	8.2	11.3	3. 5.6	32.4	9.6	27.2	15.6	16.1	22.4
4. 1.6	0.8	1.8	0.8	4. 1.1	0.0	1.6	-	-	1.7	-
5. 3.3	3.0	3.8	3.1	5. 0.6	6.6	3.3	8.6	2.4	5.9	12.9

Q27. [(a) (a) (37)]

Você concorda com a seguinte afirmação?

(91)

"O lar é o único lugar onde posso relaxar-me e sentir-me bem".

1. Sim
2. Não
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 76.7	70.9	76.8	70.8	1. 50.6	80.3	76.7	80.1	72.2	55.1	52.9
2. 22.0	26.6	21.6	26.7	2. 48.3	16.3	22.0	13.9	24.4	40.7	41.2
3. 1.2	2.2	1.4	2.3	3. 1.1	0.6	1.2	4.0	3.4	2.5	3.5
4. 0.2	0.2	0.2	0.2	4. -	2.8	0.2	2.0	-	1.7	2.4

Q28. [(a) (a) (38)] [CARTÃO 28]

Qual das afirmações deste cartão está mais próxima à sua opinião a respeito do casamento?

(92)

1. O casamento é permanente
2. O casamento pode ser desfeito somente sob sérias circunstâncias
3. O casamento pode ser desfeito pela concordância das duas partes
4. Não sei

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 42.8	37.0	39.9	36.9	1. 46.1	35.4	42.8	42.4	33.7	14.4	28.2
2. 22.9	23.0	20.3	22.5	2. 37.8	37.7	22.9	27.8	35.6	28.8	28.2
3. 33.5	37.8	38.8	38.4	3. 13.9	19.5	33.5	25.8	27.3	48.3	30.6
4. 0.8	2.2	1.0	2.3	4. 2.3	7.5	0.8	4.0	3.4	8.5	12.9

Q29. [(a) (a) (39)] [CARTÃO 29]

Qual das afirmações deste cartão está mais próxima à sua opinião a respeito dos trabalhos domésticos e cuidado com as crianças?

1. São trabalhos de mulher
2. Alguns trabalhos são próprios de mulher
3. Todos os trabalhos devem ser divididos entre o homem e a mulher sem diferenciação
4. Não sei

(93)

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 10.9	10.4	12.7	10.5	1. 7.2	13.6	10.9	14.6	7.3	1.7	7.1
2. 21.5	19.3	22.0	19.3	2. 35.6	53.7	21.5	33.8	25.4	23.7	24.7
3. 67.0	69.9	64.6	69.8	3. 54.4	28.3	67.0	51.0	67.3	72.0	57.6
4. 0.6	0.4	0.7	0.4	4. 2.8	4.3	0.6	0.7	-	2.5	10.6

Q30. [* (40)]

Suponha que uma criança volte à casa e diz que ouviu rumor de que o seu professor fez algo que o coloca em situação embaraçosa, e que supostamente os pais saibam ser isso verdadeiro. Você acha que é melhor os pais contarem à criança a verdade, ou negá-la?

(94)

1. Contar a verdade
2. Negá-la
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 79.9	78.9	76.7	78.6	1. 79.4	55.5	79.9	64.9	80.5	83.9	70.6
2. 7.6	8.7	8.8	8.8	2. 7.8	24.6	7.6	19.2	4.9	1.7	4.7
3. 8.9	8.5	10.4	8.6	3. 10.6	3.8	8.9	6.0	6.8	10.2	4.7
4. 3.6	3.9	4.1	3.9	4. 2.2	16.2	3.6	9.9	7.8	4.2	20.0

Q31. [* (41)] [CARTÃO 31]

Imagine esta situação. O sr. A se tornou órfão quando era muito pequeno e foi criado pelo sr. B, um vizinho muito bondoso. O sr. B deu-lhe boa educação, mandou-o a uma universidade, e o sr. A tornou-se presidente de uma companhia.

Um dia ele recebeu telegrama dizendo que o sr. B estava em estado grave e pedindo-lhe que viesse imediatamente. Este telegrama chegou quando ele estava dirigindo-se para uma reunião importante em que seria decidida a sobrevivência ou a falência de sua firma. O que você acha que ele deveria fazer?

(95)

1. Deixar tudo e ir
2. Apesar de muito preocupado com o sr. B, ele deve ir à reunião
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 69.6	67.7	73.6	67.9	1. 60.0	45.7	69.6	55.0	65.9	56.8	50.6
2. 22.7	20.3	17.4	20.0	2. 33.9	37.7	22.7	28.5	18.0	18.6	22.4
3. 4.9	6.9	5.7	7.0	3. 5.6	1.3	4.9	6.6	12.2	18.6	14.1
4. 2.8	5.1	3.2	5.1	4. 0.6	15.4	2.8	9.9	3.9	5.9	12.9

Q32. [* (42)] [CARTÃO 32]

A questão anterior supunha que o sr. B o tomara órfão, em criança, e o criara.

Suponha que seja o próprio pai no leito da morte. Qual deveria ser então, a sua resposta?

(96)

1. Deixar tudo e ir
2. Apesar de muito preocupado com seu pai, ele deve ir à reunião
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 76.1	71.7	78.2	71.8	1. 64.4	45.4	76.1	60.9	71.7	63.6	51.8
2. 18.6	18.3	15.5	18.1	2. 27.2	40.6	18.6	28.5	16.1	16.9	23.5
3. 2.9	5.7	3.4	5.8	3. 6.7	1.2	2.9	4.0	7.8	15.3	10.6
4. 2.4	4.3	2.8	4.3	4. 1.7	12.8	2.4	6.6	4.4	4.2	14.1

Q33. [* (43)] [CARTÃO 33]

Aqui estão três opiniões a respeito do homem e a natureza.

Qual das três você acha que é mais próxima da verdade?

É favor escolher apenas uma.

1. Para ser feliz, o homem deve seguir a natureza
2. Para ser feliz, o homem deve usar a natureza
3. Para ser feliz, o homem deve conquistar a natureza
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

(97)

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 44.9	39.8	39.0	39.3	1. 50.6	36.6	44.9	40.4	42.0	40.7	42.4
2. 14.4	15.2	13.7	15.2	2. 38.9	47.9	14.4	23.2	7.8	7.6	15.3
3. 33.6	35.8	39.0	36.2	3. 6.7	5.3	33.6	24.5	40.5	30.5	23.5
4. 5.7	7.5	6.6	7.4	4. 1.7	0.7	5.7	5.3	7.3	15.3	10.6
5. 1.5	1.6	1.7	1.6	5. 2.2	9.5	1.5	6.6	2.4	5.9	8.2

Q34. [* (44)] [CARTÃO 34]

Escolha uma das afirmações seguintes com que você mais concorda.

1. Se os indivíduos se tornarem felizes, então, e somente então, o país como um todo melhorará
2. Se o país como um todo se tornar melhor, então, e somente então, podem os indivíduos se tornarem felizes
3. Melhorar o país e tornar os indivíduos felizes são a mesma coisa
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

(98)

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 17.6	24.2	20.4	24.5	1. 29.4	34.0	17.6	17.9	17.6	16.1	16.5
2. 49.7	45.5	46.7	45.3	2. 33.3	22.4	49.7	42.4	44.4	35.6	45.9
3. 26.5	25.0	28.7	25.1	3. 31.7	36.0	26.5	32.5	27.8	21.2	14.1
4. 1.8	3.3	2.1	3.3	4. 2.8	0.2	1.8	0.7	5.9	15.3	7.1
5. 4.3	2.0	2.0	1.9	5. 2.8	7.3	4.3	6.6	4.4	11.9	16.5

Q35. [* (45)] [CARTÃO 35]

Se você fôr solicitado a escolher dois (2) entre os seguintes di
zeres, quais escolheria?

1. Respeito e amor para com os pais
2. Retribuição de obrigações a pessoas que o auxiliaram
3. Respeito aos direitos individuais
4. Respeito à liberdade dos indivíduos
5. Outro (Especificar) _____

(99)

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
a. 82.3	83.3	81.5	83.3	a. 78.3	77.7	82.3	91.4	86.3	71.2	62.4
b. 42.4	42.7	39.5	42.6	b. 22.8	56.8	42.4	56.3	45.9	16.9	32.9
c. 33.6	34.1	36.7	34.4	c. 72.2	25.2	33.6	24.5	26.3	43.2	37.6
d. 32.5	34.8	35.7	35.0	d. 25.6	32.8	32.5	18.5	45.6	40.7	20.0
e. 3.2	1.0	1.7	0.8	e. 0.6	-	3.2	-	2.0	0.8	2.4
0. 0.3	0.2	0.4	0.2	0. 1.8	-	0.3	-	2.9	27.1	41.2

Q36. [** (46)] [CARTÃO 36]

A quem você considera mais desejável como pessoa humana?

1. Pessoa amiga com quem se pode contar para ajudar os outros, mas que não é um trabalhador eficiente
2. Pessoa que é trabalhador eficiente, mas é indiferente às preocupações e situações aflitivas dos outros
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(100)

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 69.5	61.8	67.7	61.5	1. 81.7	61.5	69.5	69.5	71.7	61.0	58.8
2. 14.9	15.7	17.2	15.8	2. 12.8	11.3	14.9	4.6	8.3	4.2	12.9
3. 10.0	15.9	11.6	16.0	3. 5.6	4.3	10.0	9.9	13.7	23.7	8.2
4. 5.6	6.7	3.5	6.6	4. -	23.0	5.6	15.9	6.3	11.0	20.0

Q37. [** (47)] [CARTÃO 37]

Qual das duas pessoas descritas neste cartão você gosta mais?

1. Uma pessoa que enfatiza os seus próprios princípios mais do que chegar a um consenso entre os outros membros do grupo
2. Uma pessoa que enfatiza a importância de se chegar ao consenso entre os outros membros do grupo mais do que manter os seus próprios princípios
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(101)

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 21.3	20.9	22.5	21.0	1. 23.3	20.2	21.3	27.8	19.0	12.7	20.0
2. 67.0	68.5	68.8	68.7	2. 71.7	68.3	67.0	59.6	72.2	61.0	50.6
3. 5.5	5.5	4.4	5.3	3. 2.8	1.3	5.5	1.3	2.0	11.9	1.2
4. 6.3	5.1	4.3	4.9	4. 2.2	10.3	6.3	11.3	6.8	14.4	28.2

Q38. [* (48)] [CARTÃO 38]

Suponha que você seja presidente de uma companhia. A empresa de cide admitir um funcionário e realiza exame de admissão. O encarregado informa-lhe dizendo: "O parente do Senhor que se submeteu ao exame alcançou a 2ª colocação, mas acho que tanto o candidato colocado em 1º lugar como o seu parente pode ser admitido. O que faremos? Neste caso quem você admitiria?" (102)

1. Aquele melhor colocado
2. O parente
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 75.6	74.6	73.7	74.5	1. 68.3	60.4	75.6	74.8	77.1	73.7	69.4
2. 16.2	18.9	18.8	19.1	2. 26.7	22.8	16.2	17.9	15.6	11.0	12.9
3. 7.2	4.9	6.3	4.7	3. 3.3	1.0	7.2	2.6	3.9	7.6	4.7
4. 1.1	1.6	1.3	1.6	4. 1.7	15.8	1.1	4.6	3.4	7.6	12.9

Q39. [* (49)] [CARTÃO 39]

Na última questão, supomos que o 2º colocado era seu parente. Agora, vamos supor que o 2º colocado seja filho de pessoa a quem você se sente devedor de obrigações e gratidões.

A quem você escolheria? (103)

1. Aquele melhor colocado
2. O filho do benfeitor
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 50.3	57.7	53.3	58.1	1. 51.7	40.0	50.3	45.0	56.6	60.2	61.2
2. 42.3	33.9	38.1	33.4	2. 42.2	42.3	42.3	45.0	33.2	22.0	18.8
3. 4.0	5.1	4.7	5.2	3. 3.9	1.2	4.0	3.3	5.4	8.5	5.9
4. 3.4	3.3	4.0	3.3	4. 2.2	15.9	3.4	6.6	4.9	9.3	14.1

Q40. [* (50)] [CARTÃO 40]

Suponha que você trabalha numa firma. Sob que chefia você gosta ria de trabalhar?

1. Um homem que sempre se atem aos regulamentos de trabalho, mas nunca exige trabalho fora do razoável, que no entanto, nada faz para você pessoalmente em matérias não ligadas ao trabalho (104)
2. Um homem que às vezes exige trabalho extra, mesmo contra os regulamentos, mas que, de outro lado, cuida de você, pessoalmente, em matérias não ligadas ao trabalho
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 24.7	30.5	28.7	30.9	1. 40.6	9.0	24.7	17.9	20.0	24.6	36.5
2. 67.5	62.2	65.4	61.9	2. 59.4	80.3	67.5	70.9	74.6	64.4	40.0
3. 3.2	4.3	3.7	4.3	3. -	0.1	3.2	4.6	1.0	5.1	4.7
4. 4.5	3.0	2.3	2.9	4. -	10.6	4.5	6.6	4.4	5.9	18.8

Q41. [(a) (51)]

Você diria que as pessoas, na maioria das vezes, tentam ser prestativas ou úteis aos outros, ou que estão preocupadas consigo mesmas?

1. Tentam ser prestativas
2. Preocupadas consigo mesmas
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(105)

Brazil

	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	40.9	33.0	36.5	32.9	1.	58.3	31.2	40.9	57.6	39.0	32.2	38.8
2.	50.5	58.3	55.6	58.8	2.	38.3	54.2	50.5	31.1	53.2	57.6	44.7
3.	5.6	5.3	4.4	5.1	3.	2.8	1.5	5.6	3.3	3.9	5.9	3.5
4.	3.0	3.0	3.5	3.1	4.	0.6	13.5	3.0	7.9	3.9	4.2	12.9

Q42. [(a) (52)]

Você acha que a maioria das pessoas tentaria tirar vantagem de você se houver chance, ou tentaria ser justa?

1. Tiraria vantagem
2. Tentaria ser justa
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(106)

Brazil

	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	57.6	56.5	61.8	56.8	1.	28.3	32.3	57.6	33.1	46.8	48.3	64.7
2.	35.8	34.3	30.6	34.0	2.	67.8	52.8	35.8	46.4	39.5	25.4	20.0
3.	2.9	4.9	3.3	4.9	3.	2.8	0.9	2.9	2.6	6.3	9.3	4.7
4.	3.6	4.3	4.2	4.3	4.	1.1	14.0	3.6	17.9	7.3	16.9	10.6

Q43. [(a) (53)]

Genericamente falando, você diria que se pode confiar na maioria das pessoas, ou que se deve tomar, sempre, cuidado?

1. Pode ser confiada
2. Deve-se tomar cuidado sempre
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(107)

Brazil

	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	6.1	10.4	7.1	10.5	1.	60.0	39.1	6.1	22.5	5.9	5.9	1.2
2.	90.7	85.0	89.3	84.8	2.	38.9	46.0	90.7	72.2	90.2	86.4	89.4
3.	2.8	4.5	3.3	4.5	3.	1.1	2.9	2.8	1.3	3.4	5.9	1.2
4.	0.3	0.2	0.4	0.2	4.	-	12.1	0.3	4.0	0.5	1.7	8.2

Q44. [(a) (a) (56)] [CARTÃO 44]

No futuro, os computadores continuará a modificar as nossas vidas. Você acha isso desejável ou não?

1. Uma coisa desejável
2. Uma coisa não desejável, mas inevitável
3. Uma coisa lamentável e perigosa
4. Não sei

(108)

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 45.5	45.3	44.9	45.3	1. 36.7	30.5	45.5	32.5	42.0	41.5	29.4	
2. 38.3	40.4	39.2	40.5	2. 56.1	52.8	38.3	53.0	41.5	50.0	40.0	
3. 8.5	9.1	9.9	9.3	3. 5.6	6.6	8.5	3.3	6.3	2.5	11.8	
4. 7.7	5.1	5.9	4.9	4. 1.7	10.1	7.7	11.3	10.3	5.9	18.9	

Q45. [(a) (a) (60)]

Como é importante para você a preservação do meio ambiente? É...

1. Muito importante
2. Importante
3. Não muito importante
4. Nada importante
5. Não sei

(109)

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 75.3	72.4	71.4	72.0	1. 70.0	45.6	75.3	56.3	68.8	69.5	82.4	
2. 23.0	24.6	26.7	24.9	2. 27.8	45.7	23.0	37.1	27.3	28.8	14.1	
3. 1.2	2.2	1.4	2.3	3. 1.1	4.7	1.2	4.0	1.5	1.7	2.4	
4. 0.0	0.2	0.0	0.2	4. -	0.2	0.0	-	0.5	-	-	
5. 0.4	0.6	0.5	0.6	5. 1.1	3.8	0.4	2.6	2.0	-	1.2	

Q46. [*(Pergunta Nova)]

O que vem primeiro à sua mente quando se fala de cultura do Brasil?

(110)

1. (Assinalar) _____

2. Não sei _____

(111)

1b. Cite outras coisas _____

2. Não sei _____

Q47. [*(61)]

O que vem primeiro à sua mente quando se fala de cultura do Japão?

(112)

1. (Assinalar) _____

2. Não sei _____

(113)

1b. Cite outras coisas _____

2. Não sei _____

Q48. [* (62)]

Gostaria de fazer-lhe perguntas sobre religião.

Por exemplo, você tem alguma religião?

1. Sim 2. Não

Se sim (se não, pule e passe para diante)

(114)

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 89.4	85.0	87.7	84.8	1. 71.1	36.5	89.4	82.8	94.1	72.0	84.7
2. 10.3	14.8	11.9	15.0	2. 27.8	63.5	10.3	17.2	5.9	26.3	12.9
0. 0.3	0.2	0.4	0.2	0. 1.1	-	0.3	-	-	1.7	2.4

Gostaria de fazer-lhe perguntas sobre religião.

Por exemplo, você tem alguma religião?

1. Sim 2. Não

Se sim (se não, pule e passe para diante)

Qual a religião?

1. Xinto 5. Protestante
2. Budismo 6. Católica
3. Sokagakkai 7. Outra (Especificar) _____
4. Seita não estabelecida 8. Não sei

(114)

(115)

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 2.6	2.8	3.1	2.9	1. -	2.1	2.6	1.3	2.0	-	-
2. 17.6	16.3	17.5	16.3	2. 28.3	28.5	17.6	25.8	18.5	5.1	4.7
3. 2.8	2.4	3.2	2.5	3. -	-	2.8	5.3	0.5	2.5	2.4
4. 0.6	0.4	0.6	0.4	4. -	-	0.6	5.3	0.5	0.8	2.4
5. 2.8	2.4	3.2	2.5	5. 25.0	1.2	2.8	2.6	4.4	2.5	4.7
6. 50.6	48.6	49.5	48.4	6. 7.8	50.6	33.8	60.5	48.3	55.3	
7. 13.9	12.6	12.3	12.6	7. 11.1	3.2	13.9	8.6	7.8	7.6	8.2
8. 0.0	0.2	0.0	0.2	8. -	1.5	0.0	0.7	-	-	1.2
0. 9.2	14.2	10.6	14.4	0. -	63.5	9.2	16.6	5.9	33.1	21.2

Q49. [* (63)]

Sem se referir à qualquer religião estabelecida, você acha importante o sentimento religioso?

1. Importante
2. Não é importante
3. Outro
4. Não sei

(116)

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 91.0	89.6	89.6	89.5	1. 80.0	75.5	91.0	94.0	97.6	74.6	82.4
2. 6.0	7.9	7.0	8.0	2. 13.3	11.1	6.0	2.0	2.4	12.7	7.1
3. 2.5	1.8	2.9	1.9	3. 5.6	1.1	2.5	0.7	-	7.6	1.2
4. 0.4	0.6	0.5	0.6	4. 1.1	12.4	0.4	3.3	-	5.1	9.4

Q50.[*(64)]

Há pessoas que dizem que, embora haja muitas religiões diferentes no mundo, cada qual com as suas crenças, os seus ensinamentos são todos os mesmos. Você concorda com essa opinião ou discorda?

1. Concordo

2. Discordo

3. Outro (Especificar) _____

4. Não sei

(117)

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 64.6	65.2	64.8	65.2	1. 75.0	63.3	64.6	70.9	64.4	51.7	42.4
2. 29.6	28.3	28.5	28.2	2. 22.8	16.4	29.6	17.9	25.9	39.0	41.2
3. 2.2	2.8	2.5	2.9	3. 1.1	0.5	2.2	2.6	5.9	5.1	4.7
4. 3.6	3.7	4.2	3.7	4. 1.1	19.9	3.6	8.6	3.9	4.2	11.8

Q51.[*(67)]

O que você pensa da "Democracia", "Capitalismo", "Socialismo" e "Liberalismo"? Poderia apontar na lista as suas opiniões?

1. Bom 2. Depende 3. Ruim 4.Outro 5.NS

Democracia					(118)
Capitalismo					(119)
Socialismo					(120)
Liberalismo					(121)

Democracia 1. Bom 2. Depende 3. Ruim 4.Outro 5.NS

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 63.9	58.7	58.2	58.2	1. 85.0	52.1	63.9	60.3	60.0	52.5	54.1
2. 23.6	27.2	27.3	27.6	2. 13.3	37.7	23.6	25.2	26.3	29.7	18.8
3. 1.3	1.2	1.5	1.2	3. 0.6	1.7	1.3	3.3	5.4	7.6	1.2
4. 0.3	0.2	0.4	0.2	4. -	0.1	0.3	-	-	-	-
5. 10.8	12.6	12.6	12.8	5. 1.1	8.4	10.8	11.3	8.3	10.2	25.9

Capitalismo 1. Bom 2. Depende 3. Ruim 4.Outro 5.NS

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
W492	S492	W486	S486							
1. 26.6	27.4	26.6	27.4	1. 47.2	27.3	26.6	19.2	20.0	22.0	17.6
2. 40.1	40.2	39.7	40.3	2. 32.8	48.3	40.1	49.0	48.3	50.8	35.3
3. 8.4	12.0	9.7	12.1	3. 15.0	10.1	8.4	15.2	16.1	14.4	10.6
4. 3.4	1.6	3.9	1.6	4. -	0.0	3.4	-	-	0.8	-
5. 21.6	18.7	20.1	18.5	5. 5.0	14.3	21.6	16.5	15.6	11.9	36.5

Socialismo

1. Bom 2. Depende 3. Ruim 4.Outro 5.NS

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	18.4	16.3	19.4	16.3	1.	11.7	6.3	18.4	6.0	15.6	10.2	11.8
2.	39.3	38.0	36.8	37.9	2.	49.4	54.3	39.3	43.0	39.5	55.1	30.6
3.	18.1	24.4	20.9	24.7	3.	31.7	20.9	18.1	28.5	28.3	17.8	21.2
4.	2.9	1.8	3.4	1.9	4.	-	0.0	2.9	1.3	1.0	2.5	1.2
5.	21.2	19.5	19.5	19.3	5.	7.2	18.4	21.2	21.2	15.6	14.4	35.3

Liberalismo

1. Bom 2. Depende 3. Ruim 4.Outro 5.NS

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	17.6	18.9	20.4	19.1	1.	17.2	33.5	17.6	17.9	13.2	13.6	8.2
2.	35.9	36.0	36.6	36.0	2.	51.7	47.1	35.9	45.7	43.9	50.0	35.3
3.	16.4	17.5	14.9	17.3	3.	21.1	5.5	16.4	15.9	19.0	19.5	20.0
4.	1.1	1.2	1.3	1.2	4.	1.1	0.0	1.1	1.3	1.5	2.5	-
5.	29.1	26.4	26.9	26.3	5.	8.9	13.9	29.1	19.2	22.4	14.4	36.5

Q52. [(a)(8)] [CARTÃO 52]

Hoje em dia, há uma porção de idéias sobre metas para o país para os próximos 10 a 15 anos. Neste cartão estão listadas algumas das metas que povos diferentes acreditam que devam ser dadas prioridades por serem consideradas as mais importantes. A longo prazo, qual delas você acha ser a mais importante? [PERMITIDA APENAS UMA RESPOSTA]

1. Manter ordem no país
2. Dar ao povo oportunidade de opinar nas decisões governamentais importantes
3. Combater a elevação de preços
4. Proteger a liberdade de manifestação
5. Outro (Especificar) _____
6. Não sei

122

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	38.2	37.8	39.3	37.9	1.	38.3	20.6	38.2	39.1	37.6	39.8	38.8
2.	28.0	28.9	26.5	28.8	2.	30.6	27.1	28.0	17.9	24.4	27.1	22.4
3.	21.6	19.5	22.1	19.5	3.	22.2	35.1	21.6	25.2	14.1	10.2	11.8
4.	5.2	5.9	4.1	5.8	4.	5.6	7.5	5.2	4.0	8.8	5.9	3.5
5.	5.1	6.1	5.9	6.2	5.	1.7	0.6	5.1	4.0	8.3	12.7	12.9
6.	1.8	1.8	2.1	1.9	6.	1.7	9.1	1.8	9.9	6.8	4.2	10.6

FACE SHEET

F 1. (70)

Quando faz conta mentalmente, você a faz em japonês ou em português?

1. Em português
2. Em japonês
3. Em ambos ou misturados

(123)

	W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
1.	72.3	71.5	72.9	71.5	1.	(92.2)	-	72.3	49.7	71.2	83.1	90.6
2.	19.1	18.5	17.2	18.4	2.	2.2	-	19.1	45.7	23.9	3.4	2.4
3.	8.0	9.6	9.3	9.7	3.	(3.9)	-	8.0	4.6	4.4	13.6	7.1
0.	0.6	0.4	0.7	0.4	0.	1.7	-	0.6	-	0.5	-	

(inglês)

(inglês)

F 2. (42)

Com que frequência você lê jornal?

1. Nunca leio
2. Às vezes (P) (J)
3. Regularmente (P) (J)

(124)

P : português
J : japonês

(1, 2, 3)

Brazil

	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	12.8	9.1	8.0	8.8	1.	-	-	12.8	7.3	5.9	10.2	4.7
2.	45.7	43.9	51.0	44.2	2.	-	-	45.7	57.0	37.6	62.7	62.4
3.	39.4	46.3	40.6	46.5	3.	-	-	39.4	35.8	54.1	25.4	31.8
0.	2.1	0.6	0.4	0.4	0.	-	-	2.1	-	2.4	1.7	1.2

(P, J)

Brazil

	W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
P	47.6	49.6	51.0	49.8	P	-	-	47.6	31.1	76.1	61.0	63.5
J	14.8	14.0	14.2	14.0	J	-	-	14.8	31.1	9.8	9.3	2.4
0	37.6	36.4	34.8	36.2	0	-	-	37.6	37.7	14.1	29.7	34.1

(1, 2, 3) x (P, J)

Brazil

	W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2	
1	12.8	9.1	8.0	8.8	1	-	-	12.8	7.3	5.9	10.2	4.7
2P	27.4	27.0	(51.0	44.2)	2P	-	-	27.4	23.8	32.7	40.7	42.4
2J	5.4	4.7			2J	-	-	5.4	8.6	2.9	6.8	1.2
20	12.9	12.2			20	-	-	12.9	24.5	2.0	15.3	18.8
3P	20.2	22.6	(40.6	46.5)	3P	-	-	20.2	7.3	43.4	20.3	21.2
3J	9.4	9.3			3J	-	-	9.4	22.5	6.8	2.5	1.2
30	9.8	14.3			30	-	-	9.8	6.0	3.9	2.5	9.4
0	2.1	0.6	0.4	0.4	0	-	-	2.1	-	2.4	1.7	1.2

F 3.

Você gosta de músicas brasileira e japonesa?

1. Gosto de ambas
2. Gosto de música japonesa
3. Gosto de música brasileira
4. Não gosto de ambas

(125)

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	63.5	65.7	62.6	65.6	1.	-	-	63.5	54.3	71.2	80.5	69.4
2.	17.2	18.9	15.0	18.7	2.	-	-	17.2	38.4	20.0	9.3	7.1
3.	16.8	12.8	19.5	13.0	3.	-	-	16.8	7.3	7.8	9.3	16.5
4.	2.2	2.4	2.5	2.5	4.	-	-	2.2	-	1.0	0.8	7.1
0.	0.3	0.2	0.4	0.2	0.	-	-	0.3	-	-	-	-

F 4.

Você assiste ao vídeo japonês?

1. Assisto sempre
2. Assisto às vezes
3. Não assisto.

(126)

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	15.5	12.2	10.0	11.8	1.	-	-	15.5	18.5	14.6	17.8	10.6
2.	45.9	54.3	51.2	54.8	2.	-	-	45.9	67.5	58.5	58.5	67.1
3.	38.0	33.1	38.1	33.0	3.	-	-	38.0	13.2	26.3	23.7	22.4
0.	0.6	0.4	0.7	0.4	0.	-	-	0.6	0.7	0.5	-	-

F 5.

Qual das descrições seguintes corresponde aos seus amigos?

1. Muitos dos meus amigos são japoneses ou descendentes de japoneses
2. Alguns dos meus amigos são japoneses ou descendentes de japoneses, mas também tenho amigos que não são descendentes de japoneses
3. Muitos de meus amigos são não-descendentes de japoneses
4. Nenhum dos meus amigos é descendente de japoneses

(127)

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	15.7	21.7	18.2	22.0	1.	35.0	-	15.7	45.0	26.3	22.0	7.1
2.	65.0	57.3	59.4	56.8	2.	60.0	-	65.0	50.3	66.8	61.0	64.7
3.	15.6	17.7	18.0	17.9	3.	2.8	-	15.6	3.3	6.8	15.3	23.5
4.	2.7	2.6	3.2	2.7	4.	0.6	-	2.7	-	-	1.7	1.2
0.	1.0	0.6	1.1	0.6	0.	1.7	-	1.0	1.3	-	-	3.5

F 6.

(128)

Se você é empregado, qual das descrições seguintes corresponde aos seus colegas de trabalho?

1. Muitos dos meus colegas de trabalho são japoneses ou descendentes de japoneses
2. Alguns dos meus colegas de trabalho são japoneses ou descendentes de japoneses
3. Muitos dos meus colegas de trabalho são não-descendentes de japoneses
4. Nenhum dos meus colegas de trabalho é descendente de japoneses

ses					Brazil							
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	5.6	11.2	6.5	11.3	1.	12.8	-	5.6	6.0	3.9	52.5	41.2
2.	17.6	21.1	18.3	21.2	2.	47.2	-	17.6	2.0	12.7	25.4	35.3
3.	18.0	20.3	20.9	20.6	3.	16.1	-	18.0	4.6	10.7	11.9	15.3
4.	18.2	10.2	13.2	9.7	4.	3.3	-	18.2	1.3	1.5	2.5	3.5
0.	40.6	37.2	41.1	37.2	0.	20.6	-	40.6	86.1	71.2	7.6	4.7

F 7.

Quando você joga fora uma comida que não conseguiu comer, ou um objeto que ainda pode ser usado, sente que está desperdiçando-os [Sente que é "mottainai"]?

1. Sim, frequentemente
2. Sim, às vezes
3. Nunca sinto

(129)

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	70.0	72.8	67.4	72.6	1.	-	-	70.0	72.8	76.1	51.7	49.4
2.	25.6	24.2	29.6	24.5	2.	-	-	25.6	26.5	22.4	39.0	42.4
3.	4.1	2.8	2.6	2.7	3.	-	-	4.1	0.7	1.5	8.5	4.7
0.	0.3	0.2	0.4	0.2	0.	-	-	0.3	-	-	0.8	3.5

F 8.

Quando você escreve carta, acha mais fácil escrevê-la em português ou em japonês?

1. Em japonês
2. Em português
3. Não faz muita diferença [ou É indiferente]

(130)

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
1.	23.7	22.6	20.4	22.2	1.	3.3	-	23.7	43.7	17.1	6.8	5.9
2.	70.8	71.7	73.3	72.0	2.	(93.3)	-	70.8	53.0	76.6	89.0	90.6
3.	3.4	4.1	3.9	4.1	3.	(1.7)	-	3.4	3.3	5.4	3.4	2.4
0.	2.0	1.6	2.4	1.6	0.	1.7	-	2.0	-	1.0	0.8	1.2

(Anglico)

F 9.

(Para os empregados)

É, atualmente, sócio de sindicato?

(131)

1. Participo
2. Não participo

Brazil						H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
	W492	S492	W486	S486								
1.	17.5	20.9	20.2	21.2	1.	-	-	17.5	1.3	13.2	6.8	15.3
2.	36.2	39.4	34.0	39.3	2.	-	-	36.2	9.9	15.6	78.8	63.5
3.	0.9	0.4	1.1	0.4	3.	-	-	0.9	-	-	-	-
0.	45.4	39.2	44.7	39.1	0.	-	-	45.4	88.7	71.2	14.4	21.2

F10.

Quantos anos você frequentou escola de língua japonesa?

(132)

_____ anos

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
0	48.4	43.1	44.3	42.8	0	-	-	48.4	27.2	27.3	44.9	52.9
1-2	15.9	16.5	18.4	16.7	1-2	-	-	15.9	9.9	29.3	16.1	9.4
3-5	17.6	20.5	18.4	20.6	3-5	-	-	17.6	11.3	27.8	14.4	7.1
6-	17.4	19.7	18.1	19.8	6-	-	-	17.3	7.3	8.3	14.4	5.9
DK	0.8	0.2	0.9	0.2	DK	-	-	0.8	44.4	7.3	10.2	24.7

Muito obrigado pela atenção.

SEXO

Brazil												
	W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
Homem	55.3	52.6	52.3	52.5	H	47.2	46.2	55.3	53.0	51.2	50.8	100.0
Mulher	44.7	47.4	47.7	47.5	M	52.8	53.8	44.7	47.0	48.8	49.2	-

IDADE

Brazil						H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JB1	J-JB2
	W492	S492	W486	S486								
-29	19.9	16.1	21.0	16.0	-29	8.3	15.9	19.9	15.9	20.5	60.2	55.3
30-	20.1	24.6	23.3	24.9	30-	14.5	19.4	20.1	21.2	20.5	31.4	24.7
40-	19.8	24.2	19.2	24.3	40-	17.2	21.8	19.8	21.9	21.0	7.6	18.8
50-	19.7	14.6	15.8	14.2	50-	16.2	21.0	19.7	17.2	17.1	0.8	1.2
60-	9.3	11.2	10.7	11.3	60-	24.4	14.4	9.3	12.6	14.1	-	-
70-	11.2	9.3	10.0	9.3	70-	19.4	8.6	11.2	10.6	6.3	-	-
					DK				0.7	0.5		

ANEXO 2

Quadro Comparativo das Somatórias Simples das Respostas à cada Pergunta, Oferecidas pelos Japoneses, Nikkei brasileiros, Nikkei de Havai e Americanos (USA), etc.

As cifras representam %. Em decorrência dos "outputs" pode acontecer que o total não alcance 100.

As abreviaturas significam:

HAWAI NJ.....	Não Nikkei
HAWAI JA.....	Nikkei de Honolulu
BRZ 1SEI, 2SEI, 3SEI.....	Nikkei Brasileiros 1a. Geração, 2a. Geração, 3a. Geração,
HI 1SEI, 2SEI, 3SEI.....	Nikkei de Honolulu 1a. Geração, 2a. Geração, 3a. Geração,
B8, B10 etc.	Questao Brasileiros 8, 10 etc.

Outrossim, as cifras consignadas logo abaixo das abreviaturas na 1a. coluna indicam o tamanho das respectivas amostras

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN 2265
15 2.3g 154	Satisfac- tion with health	1.Very satisfied 2.Fairly satisfied 3.Fairly dissatisfied 4.Very dissatisfied 8.Other 9.D.K	19.2 61.3 14.2 2.6 - 2.7	22.6 64.4 11.4 1.6 - 0.1	40.2 47.2 8.4 4.0 - 0.2	46.1 41.0 8.4 4.3 - 0.2	13.6 57.5 21.1 5.4 0.1 2.3
B8							
9 2.30 129	Extent of worry: Serious illness	1.Very much 2.Somewhat 3.Slightly 4.Not at all 8.Other 9.D.K	16.8 21.8 35.4 25.5 - 0.5	50.5 24.6 17.7 7.0 - 0.2	31.7 17.6 30.7 19.7 - 0.3	32.3 33.5 22.3 11.5 - 0.4	21.9 24.9 38.7 13.6 0.0 1.0
B10							
9 2.30d 130	Extent of worry: Car accident	1.Very much 2.Somewhat 3.Slightly 4.Not at all 8.Other 9.D.K	8.5 13.6 40.5 35.7 - 1.7	43.7 27.6 20.5 8.0 - 0.1	23.6 16.1 33.1 26.7 - 0.5	21.9 29.0 28.9 19.8 - 0.4	26.0 31.1 32.4 9.2 - 1.3
B10							
9 2.30e 131	Extent of worry: Unemploy- ment	1.Very much 2.Somewhat 3.Slightly 4.Not at all 8.Other 9.D.K	13.0 16.3 25.2 43.2 - 2.3	54.2 19.8 14.7 10.1 - 1.2	31.6 13.6 22.3 31.9 - 0.5	22.3 19.3 22.8 33.9 - 1.7	8.2 14.4 30.7 41.1 0.5 5.1
B10							
9 2.30f 132	Extent of worry: war	1.Very much 2.Somewhat 3.Slightly 4.Not at all 8.Other 9.D.K	19.9 20.5 32.4 26.1 - 1.1	30.9 16.7 28.2 23.4 - 0.8	24.9 15.2 26.1 33.0 - 0.8	21.8 25.2 27.4 24.3 - 1.2	11.3 13.3 36.4 32.9 0.1 5.9
B10							
9 2.30g 133	Extent of worry: Nuclear power accident	1.Very much 2.Somewhat 3.Slightly 4.Not at all 8.Other 9.D.K	30.3 28.3 27.8 12.4 - 1.2	25.8 16.5 31.6 23.6 - 2.6	34.3 18.5 23.3 23.3 - 0.6	25.7 24.4 24.3 23.6 - 1.9	18.8 24.8 34.4 15.5 0.1 6.4
B10							
24,a 5.80a 163	Safety in neighbor- hood : Burglary	1.A serious problem 2.A problem 3.Not a serious problem 4.Not a problem at all 8.Other 9.D.K	2.8 12.9 38.3 42.2 - 3.8	29.5 39.4 15.2 15.2 - 0.7	14.0 26.2 42.1 15.9 - 1.8	8.6 16.2 44.8 29.6 - 0.8	2.4 6.3 34.3 53.6 0.1 3.4
B10							
11 4.11 146	Respect for ancestors	1.More than average 2.Less than average 3.About the same 8.Other 9.D.K	9.1 15.7 64.7 0.4 10.1	29.0 16.5 49.8 1.4 3.4	41.9 8.7 45.7 0.3 3.4	73.1 8.1 17.0 0.2 1.7	47.5 8.4 42.5 0.0 1.5
B11							
12 4.10 147	Adopt a child	1.Desirable 2.Undesirable 3.It depends 8.Other 9.D.K	39.5 28.8 24.0 1.0 6.7	63.9 21.1 9.6 2.7 2.8	34.3 44.6 11.9 5.8 3.4	52.3 34.5 8.2 1.8 3.1	19.1 42.4 30.5 0.2 7.8
B12							

1988 HAWAII NJ	1988 HAWAII JA	1991 BRAZIL W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
42.3	37.8	48.8	61	52	36										1.15
47.0	57.2	42.0	27	39	56										2.2.3g
8.8	5.0	7.8	12	6	8										3.154
0.9	-	0.4	-	1	0										4.
0.6	-	1.0	0	2	-										8.
0.3	-														9. B8
27.0	37.8	56.9	44	58	63	45	51	37							1.9
32.3	32.8	9.0	4	10	11	23	21	25							2.2.30
27.0	17.8	18.5	28	15	19	20	18	21							3.129
13.2	10.6	15.6	24	18	7	12	10	16							4.
0.3	0.6					-									8.
0.3	0.6	0.1	0	0	-	-									9. B10
32.3	39.4	51.3	39	58	48	42	49	33							1.9
32.6	32.8	13.1	21	6	19	34	29	41							2.2.30d
25.4	21.1	20.3	23	20	19	17	15	21							3.130
8.5	5.6	12.5	14	13	10	6	7	5							4.
0.3	1.1					-									8.
0.9	-	2.7	4	2	4	-									9. B10
15.4	15.0	48.0	28	64	37	31	37	23							1.9
26.0	30.0	12.5	6	9	22	27	25	30							2.2.30c
23.2	28.3	16.1	34	8	19	21	15	30							3.131
33.2	23.9	22.8	31	20	21	19	22	16							4.
0.9	1.7					0									8.
1.3	1.1	0.6	2	0	1	1	1	1							9. B10
24.1	32.8	56.5	47	65	49	48	57	36							1.9
25.7	27.8	8.1	8	6	12	21	16	27							2.2.30f
25.4	27.8	14.9	12	14	18	21	18	26							3.132
22.6	8.9	18.9	29	14	20	9	9	11							4.
0.9	1.1					-									8.
1.3	1.7	1.6	5	1	1	0	1	-							9. B10
32.3	38.3	53.8	41	58	55	48	56	37							1.9
18.5	26.7	11.9	7	11	17	20	20	21							2.2.30g
21.6	20.6	15.9	22	15	14	17	12	24							3.133
25.7	12.2	13.9	13	14	15	14	11	18							4.
0.3	1.7					-									8.
1.6	0.6	4.5	17	2	0	1	1	-							9. B10
		77.0	56	85	78										1.24, a
		6.2	4	3	12										2.5.80a
		7.5	19	6	3										3.163
		8.4	21	5	5										4.
		1.0	0	1	1										9. B10
45.5	51.7	55.3	69	59	42	52	55	49	61	63	57				1.11
20.1	14.4	6.1	1	5	11	13	9	18	21	16	27				2.4.11
29.2	31.7	34.4	25	33	42	34	34	33	-						3.146
2.5	0.6	2.1	3	3	0	0	-	1	16	19	12				8.
2.8	1.7	2.1	3	0	5	1	1	-	2	2	3				9. B11
44.5	32.8	51.9	50	56	47	49	48	50	49	46	53	52	53	50	1.12
35.4	44.4	26.7	25	26	29	39	40	39	40	43	35	27	28	26	2.4.10
13.2	13.3	12.6	17	8	17	8	8	8	6	7	5	15	13	17	3.147
5.6	4.4	2.6	4	1	4	2	1	4	2	1	2	3	2	4	8.
1.3	5.0	6.2	4	9	4	2	3	1	4	3	4	4	4	4	9. B12

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN A
18 2.8 157 B13	If had enough money, still work	1.Continue working 2.Stop working 8.Other 9.D.K	39.4 47.7 4.3 8.6	55.2 33.7 7.4 3.8	55.7 34.1 6.3 3.8	57.8 30.4 8.7 3.1	64.1 24.1 1.5 10.4
19 7.25 158 B14	Life without work	1.Life without work 2.With money life 8.Other 9.D.K	39.8 52.5 - 7.7	51.0 43.3 - 5.6	54.4 37.8 - 7.9	64.6 32.0 - 3.5	72.8 19.8 1.0 6.4
20 7.24 159 B15	Most important aspect of job	1.Good salary 2.Safe job 3.Likable coworkers 4.Accomplishment 8.Other 9.D.K	12.9 36.0 20.2 23.2 - 7.7	16.7 40.4 6.6 35.0 - 1.3	16.5 29.1 14.9 37.0 - 2.6	20.9 21.6 11.3 43.6 0.4 2.1	19.8 15.4 29.2 29.4 0.5 5.7
22 2.4 161 B16	Attitudes towards life	1.Get rich 2.Make a name 3.Suit own taste 4.No worrying 5.Pure & just life 6.Serve society 8.Other 9.D.K	2.8 15.6 32.4 21.5 15.6 2.1 1.6 8.4	8.1 5.5 36.9 29.3 8.9 3.7 3.4 4.2	7.3 3.6 38.0 42.0 5.0 1.7 1.3 1.1	6.1 7.2 33.2 37.1 11.2 2.8 0.8 1.5	13.8 1.7 37.3 32.0 5.9 2.9 1.2 5.2
25 2.82 165 B17	Idle grass- hopper and diligent ant	1.Ant sends him away 2.Ant shares food 8.Oter 9.D.K	12.9 77.8 1.3 8.0	13.9 78.8 5.5 1.8	12.6 82.6 0.1 4.7	11.6 85.1 0.6 2.7	15.3 75.0 0.3 9.4
26,a 2.7 166	The most important thing	1.Answered 9.D.K	95.9 4.1	99.7 0.3	99.5 0.5		92.3 7.7
26,b 2.7b 167	Other important things	1.Answered 9.D.K	89.4 10.6	96.5 3.5	97.0 3.0		71.2 28.8
27 5.81 168 B19	Importance: Immediate family and children	1.Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7.Very important 8.Other 9.D.K	1.6 1.2 0.9 4.6 5.4 14.8 66.9 - 4.6	2.0 1.0 0.5 1.6 4.1 8.6 80.1 - 2.2	1.2 0.2 0.3 1.1 2.2 4.5 88.9 - 1.6	0.6 0.0 0.4 0.9 2.0 3.9 91.6 - 0.6	0.6 0.2 0.4 2.6 4.4 7.5 82.6 0.2 1.5
27 5.81b 169 B19	Importance: Career and work	1.Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7.Very important 8.Other 9.D.K	8.5 7.3 10.7 20.0 22.3 17.1 12.0 - 2.1	4.7 1.8 1.8 4.7 15.2 26.7 43.5 - 1.6	16.5 2.9 4.1 14.2 15.1 15.5 26.4 - 5.4	10.4 2.3 6.0 11.5 18.1 17.4 29.8 - 4.7	1.4 0.9 1.3 8.4 12.3 17.6 54.6 0.5 3.1

1988 HAWAII NJ	1988 HAWAII JA	1991 BRAZIL W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
61.1 30.4 8.2 0.3	49.4 44.4 5.0 1.1	83.3 12.1 3.9 0.7	72 24 3 1	83 11 4 1	90 7 4 -	60 34 5 1	51 40 8 1	73 26 2 -	56 35 9 1	49 38 11 1	65 29 6 -				1.18 2.2.8 8.157 9. B13
61.8 30.7 5.3 2.2	61.1 34.4 3.3 1.1	88.0 9.9 2.1	78 21 1	90 7 3	91 7 2										1.19 2.7.25 8.158 9. B14
13.2 11.3 12.5 60.2 2.5 0.3	14.4 16.7 21.7 45.6 1.7 -	16.3 21.2 12.2 40.9 7.8 1.7	27 16 15 30 10 2	11 31 15 35 6 2	19 10 7 55 9 1	9 15 26 47 3 0	9 17 26 46 2 -	8 12 25 48 5 1							1.20 2.7.24 3.159 4. 8. 9. B15
10.3 6.0 35.4 32.3 7.5 2.5 5.6 0.3	9.4 3.9 29.4 42.8 10.6 2.2 1.1 0.6	8.0 4.8 35.9 25.5 19.2 2.4 3.4 0.7	5 4 33 27 25 4 1 2	6 5 34 32 18 1 4 1	13 5 41 15 17 5 4 -	10 5 31 38 10 2 2 1	9 4 24 45 13 2 2 1	13 6 40 30 7 2 3 1				18 4 39 23 7 2 3 4	18 5 33 27 7 3 2 4	18 3 48 18 7 - 4 3	1.22 2.2.4 3.161 4. 5. 6. 8. 9. B16
6.3 90.9 1.9 0.0	9.4 90.6 - -	19.9 77.8 0.9 1.4	21 78 1 0	21 76 0 3	18 81 2 -										1.25 2.2.82 8.165 9. B17
99.4 0.6	100.0 -														1.26.0 9.2.7 166
92.2 7.8	91.1 8.9														1.26.1 9.2.71 167
0.9 - 0.3 1.6 3.8 6.6 83.1 3.8 -	1.1 - 1.1 - 1.1 4.4 89.4 2.8 -	2.3 - 0.4 2.8 2.6 1.1 90.3 0.6	7 - 0 0 0 1 89 3	1 - 1 6 1 1 90 -	2 - - - 6 1 91 0										1.27 2.5.81 3.168 4. 5. 6. 7. 8. 9. B18
2.8 1.9 2.5 8.8 23.2 21.6 34.8 3.8 0.6	6.1 0.6 2.8 11.1 21.7 19.4 32.2 6.1 -	2.5 0.2 0.2 2.0 3.5 12.6 78.9 -	10 0 - 0 2 9 79 -	- 0 0 2 1 11 84 1	2 - - 2 8 17 71 -										1.27 2.5.81 3.169 4. 5. 6. 7. 8. 9. B19

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN A
27 5.81c 170	Importance: Free time and relaxation	1. Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7. Very Important 8. Other 9. D.K	0.3 1.5 2.7 11.8 25.4 30.1 27.0 - 1.2	1.5 2.0 6.5 16.2 23.6 23.9 25.8 - 0.6	3.4 3.1 6.8 19.0 25.9 19.0 21.5 - 1.4	1.9 2.4 5.7 15.0 24.6 22.5 27.0 - 0.8	0.6 1.1 3.1 17.0 24.2 20.8 31.2 0.1 1.9
B19							
27 5.81d 171	Importance: Friends	1. Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7. Very Important 8. Other 9. D.K	0.4 0.5 4.2 9.4 21.2 34.2 29.0 - 1.1	1.7 3.5 7.0 14.7 23.7 24.7 24.7 - 0.1	1.2 1.9 5.8 15.3 21.7 27.1 26.7 - 0.3	1.0 1.7 4.0 10.4 20.0 26.6 36.0 - 0.3	0.4 0.7 1.5 8.7 20.4 27.5 39.4 0.0 1.5
B19							
27 5.81e 172	Importance: Parents and other relative	1. Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7. Very Important 8. Other 9. D.K	1.7 2.1 4.9 9.3 17.1 29.9 33.6 - 1.4	1.8 2.0 4.2 8.5 14.4 24.1 44.1 - 0.9	3.3 2.4 3.4 6.5 10.6 19.4 52.6 - 1.8	1.2 0.8 2.4 4.2 9.5 18.0 62.3 - 1.6	0.5 0.4 1.0 5.1 10.6 22.6 58.1 0.0 1.6
B19							
27 5.81f 173	Importance: Religion and church	1. Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7. Very Important 8. Other 9. D.K	15.6 13.8 15.3 16.6 16.4 11.9 9.4 - 1.0	25.8 11.8 12.2 14.7 12.2 11.1 11.9 - 0.2	20.4 12.8 15.0 15.5 11.8 10.5 13.8 - 0.2	5.7 4.2 5.3 8.8 13.5 15.0 47.2 - 0.3	12.4 8.7 13.1 24.5 15.9 7.8 13.8 0.2 3.6
B19							
27 5.81g 174	Importance: Politics	1. Not important at all 2. 3. 4. 5. 6. 7. Very Important 8. Other 9. D.K	9.8 11.1 17.0 21.3 21.2 12.9 5.9 - 0.8	36.2 14.7 13.5 12.0 11.7 6.3 5.0 - 0.4	24.2 13.6 16.9 19.3 13.9 5.8 6.0 - 0.4	11.5 8.0 12.2 21.9 21.2 12.3 12.2 - 0.7	2.8 5.3 8.9 24.5 20.9 15.0 18.2 0.1 4.4
B19							
29 2.82 176	Satisfaction with life	1. Completely satisfied 2. Somewhat satisfied 3. Neither satisfied 4. Somewhat dissatisfied 5. Completely dissatisfied 8. Other 9. D.K	17.2 59.3 16.5 4.3 0.8 - 1.9	21.0 30.8 31.5 10.3 5.8 - 0.6	31.1 54.5 7.5 4.7 1.8 - 0.5	31.2 48.6 12.3 6.7 0.8 0.1 0.4	32.8 41.4 13.2 9.6 2.7 - 0.3
B20							
32 7.1 215	Science and loss of human feeling	1. Agree 2. Disagree 3. Undecided 8. Other 9. D.K	68.6 14.5 13.2 - 3.7	60.6 29.0 7.0 - 3.4	69.8 20.2 6.6 - 3.4	69.0 24.2 5.6 0.1 1.1	44.6 9.9 39.3 0.0 6.1
B21							

1988 HAWAI NJ	1988 HAWAI JA	1991 BRAZI W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
1.9	0.6	4.1	10	3	3										1.27
2.8	0.6	2.8	4	1	5										2.5.81c
5.0	3.9	8.8	1	11	9										3.170
14.4	16.7	20.9	10	24	23										4.
22.9	26.1	12.6	27	7	12										5.
19.7	20.6	17.9	7	21	21										6.
32.6	31.1	32.8	42	32	27										7.
0.6	0.6														8.
-	-	0.1	0	1	0										9. B19
0.9	0.6	1.9	7	0	2										1.27
1.9	0.6	1.3	2	1	1										2.5.81d
3.8	0.6	1.2	1	1	2										3.171
12.5	10.6	8.1	7	12	3										4.
22.3	22.2	9.4	5	9	11										5.
25.7	30.0	18.3	9	15	28										6.
32.0	35.0	59.8	70	61	52										7.
0.9	0.6														8.
-	-	-	-	1	-										9. B19
2.5	0.6	1.7	7	1	0										1.27
1.6	0.6	0.6	1	1	-										2.5.81e
1.6	2.2	0.2	0	0	0										3.172
7.8	0.6	1.6	4	1	1										4.
7.5	9.4	1.4	1	2	0										5.
16.9	18.3	7.4	3	8	9										6.
60.2	66.1	86.8	82	87	89										7.
1.6	2.2														8.
0.3	-	0.2	1	1	-										9. B19
12.9	11.1	5.9	22	1	3										1.27
6.3	3.9	3.7	5	2	5										2.5.81f
7.8	6.1	5.4	7	5	6										3.173
14.4	17.8	10.9	6	10	15										4.
11.6	23.3	9.4	7	9	12										5.
11.9	13.3	12.9	5	13	17										6.
34.8	24.4	51.9	48	60	41										7.
0.3	-														8.
-	-	0.0	0	1	-										9. B19
8.8	8.3	14.2	12	17	11										1.27
8.5	8.3	10.5	19	11	5										2.5.81g
14.4	13.9	8.5	12	7	9										3.174
29.2	30.6	15.5	8	14	22										4.
16.9	20.6	12.8	7	10	20										5.
9.4	11.1	12.2	7	13	14										6.
12.2	7.2	24.2	29	26	19										7.
0.6	-														8.
-	-	2.2	6	1	1										9. B19
31.7	30.0	63.5	71	74	43	22	32	9	39	48	25				1.29
55.8	57.8	17.7	19	15	21	66	61	72	36	30	45				2.2.82
8.2	9.4	11.0	3	6	23	9	5	14	23	19	28				3.176
3.4	1.7	6.1	4	4	10	3	2	5	2	2	2				4.
0.6	0.6	1.8	3	1	3				0	1	-				5.
0.3	-	0.0	-	-	0				0	1	-				8.
-	0.6								-	-	-				9. B20
58.3	80.6	67.3	60	69	71	71	72	70				63	62	65	1.32
30.7	10.6	15.7	10	20	11	23	23	24				29	28	31	2.7.1
8.5	6.1	11.3	22	6	13	3	2	3				-	-	-	3.215
0.9	0.6	0.8	-	1	1	1	-	2				1	1	1	8.
1.6	2.2	4.8	8	4	5	2	3	2				7	10	3	9. B21

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN A
33 4.5* 216 B22	Teaching children money is important	1. Agree 2. Disagree 3. Undecided 8. Other 9. D.K	26.2 55.6 15.1 0.3 2.8	40.9 53.0 2.9 2.2 1.1	21.1 73.8 3.7 0.6 0.8	16.6 78.4 4.1 0.3 0.6	47.8 18.7 30.7 0.1 2.7
B23	Teaching children freedom or rule	1. Freedom 2. Rule 8. Other 9. D.K					
34 8.1b 217 B24	Leave it up to political leaders	1. Agree 2. Disagree 3. Undecided 8. Other 9. D.K	7.7 73.4 16.2 - 2.7	37.9 42.1 12.1 - 7.9	13.0 80.2 5.3 - 1.4	7.4 88.2 3.0 0.3 1.2	13.1 61.6 19.0 0.1 6.2
35 2.1 218 B25	Custom vs. conscience	1. Go ahead 2. Follow custom 3. Undecided 8. Other 9. D.K	52.7 16.9 27.1 0.1 3.2	75.2 14.6 5.9 0.3 3.9	69.1 20.6 8.3 0.3 1.6	69.9 19.4 9.5 0.2 1.0	19.2 25.7 52.0 0.1 3.0
36 7.2 219 B26	Mechaniza- tion and human feeling	1. Agree 2. Disagree 3. Undecided 8. Other 9. D.K	20.8 52.7 19.1 - 7.4	69.0 22.1 4.6 - 4.2	71.9 19.8 5.6 - 2.7	76.1 19.0 3.5 0.1 1.3	29.6 31.3 32.4 0.0 6.6
37 4.30 220 B27	Home is relaxing place	1. Yes 2. No 8. Other 9. D.K	56.1 37.5 2.0 4.4	65.4 29.7 3.3 1.6	50.7 48.0 0.4 0.9	44.8 54.4 0.1 0.7	80.3 16.3 0.6 2.8
38 4.32 221 B28	Marriage is permanent	1. Permanent 2. Broken under serious 3. Broken by agreement 8. Other 9. D.K	9.9 36.5 44.7 - 8.9	25.9 33.3 37.4 - 3.5	43.1 39.3 16.6 - 1.0	45.2 41.3 12.2 - 1.3	35.4 37.7 19.5 0.7 6.8
39 4.31 222 B29	Housework and child care	1. Women's work 2. Some of work 3. Men and women 8. Other 9. D.K	12.4 35.0 48.3 2.9 1.4	4.4 25.4 68.6 1.1 0.5	12.3 34.1 51.2 1.9 0.5	6.3 33.1 59.1 - 1.5	13.6 53.7 28.3 0.8 3.5
40 4.4 223 B30	Rumor about teacher	1. Tell the truth 2. Deny it 8. Other 9. D.K	58.3 18.8 4.8 18.1	64.2 21.4 8.1 6.3	74.9 8.3 11.6 5.2	90.3 2.7 3.8 3.1	55.5 24.6 3.8 16.2
41 5.1 224 B31	Benefactor death-bed	1. Go home 2. Attend the meeting 8. Other 9. D.K	58.0 22.2 4.6 15.2	62.6 22.8 7.2 7.4	62.4 27.4 4.7 5.5	66.3 24.4 5.0 4.4	45.7 37.7 1.3 15.4
42 5.1b 225 B32	Real father death-bed	1. Go home 2. Attend the meeting 8. Other 9. D.K	61.5 18.3 4.5 15.7	65.6 20.0 6.8 7.5	73.5 18.7 4.1 3.6	64.4 25.7 4.7 5.2	45.4 40.6 1.2 12.8

1988 HAWAII NJ	1988 HAWAII JA	1991 BRAZIL W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
15.0	20.6	23.1	33	24	15	6	8	3	7	8	3	9	12	4	1.33
80.3	73.3	59.9	34	64	70	92	90	95	91	90	94	88	85	93	2.1.5*
3.1	3.3	13.7	25	9	14	0	1	—	0	1	—	2	2	2	3.216
1.6	2.2	2.3	8	1	1	2	1	2	2	2	2	—	—	—	8.
—	0.6	1.0	—	2	0	0	1	—	0	—	1	1	1	1	9. B22
		21.1													1.
		69.3													2.
		9.4													8.
		0.1													9. B23
9.1	10.0	38.4	40	39	37	8	12	1	16	19	11	13	17	6	1.34
82.4	77.2	51.3	51	51	51	90	85	95	81	79	85	70	65	79	2.8.1b
8.2	11.7	6.7	6	6	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.217
0.3	—	1.8	2	1	3	1	1	—	1	—	2	2	2	1	8.
—	1.1	1.8	1	3	—	2	2	1	2	2	2	3	3	2	9. B24
60.2	51.1	42.8	19	39	62	60	61	59	58	52	68	55	55	55	1.35
13.5	22.2	35.3	34	43	25	14	16	11	25	32	18	14	17	8	2.2.1
23.2	25.0	19.7	40	17	12	24	23	27	13	13	13	28	25	33	3.218
2.5	0.6	0.7	0	1	—	1	0	2	1	1	—	—	—	—	8.
0.6	1.1	1.5	7	0	—	1	1	2	3	3	3	3	3	4	9. B25
77.1	80.6	52.7	54	52	13	77	79	75				63	60	68	1.36
15.7	12.2	32.8	17	35	39	16	16	16				22	22	22	2.7.2
4.4	5.6	9.6	25	5	7	5	3	7				7	7	8	3.219
0.3	1.1	1.6	—	3	1	0	—	1				0	1	—	8.
2.5	0.6	3.3	5	5	1	2	2	2				7	10	2	9. B26
40.8	50.6	76.7	91	72	76	56	65	45							1.37
57.7	48.3	22.0	9	27	22	42	32	53							2.1.30
1.6	1.1	1.2	0	1	2	2	2	2							8.220
—	—	0.2	1	—	—	—	—	—							9. B27
42.0	46.1	42.8	57	51	23	35	45	24							1.38
37.3	37.8	22.9	24	19	28	46	41	54							2.1.32
18.2	13.9	33.5	19	30	48	17	13	22							3.221
1.9	1.7	0.7	—	1	1	0	1	—							8.
0.6	0.6	0.2	1	0	—	1	2	—							9. B28
4.4	7.2	10.9	28	7	7	9	13	5							1.39
29.5	35.6	21.5	26	17	27	28	25	32							2.1.31
63.0	54.4	67.0	44	77	66	60	59	62							3.222
2.5	2.8	0.6	3	0	—	2	3	2							8.
0.6	—	—	—	—	—	0	1	—							9. B29
76.2	79.4	79.9	65	86	80	84	83	86	72	68	78	76	72	84	1.40
6.3	7.8	7.6	15	6	5	9	10	7	8	12	2	8	9	5	2.4.4
15.0	10.6	8.9	14	6	11	5	6	4	15	15	15	10	11	9	8.223
2.5	2.2	3.5	6	2	4	2	2	3	5	5	4	6	8	2	9. B30
59.2	60.0	69.6	52	71	77	57	58	57	67	68	67	50	49	53	1.41
29.2	33.9	22.7	31	24	15	34	36	32	27	26	28	36	38	32	2.5.1
9.7	5.6	4.9	10	3	6	7	3	11	3	4	2	7	5	9	8.224
1.9	0.6	2.8	7	1	2	2	4	1	3	2	3	7	8	6	9. B31
64.9	64.4	78.1	70	79	75	69	68	70	72	73	71	62	60	66	1.42
23.8	27.2	18.6	23	17	18	26	28	23	23	22	23	27	30	22	2.5.1b
9.7	6.7	2.9	1	2	5	4	1	7	3	3	3	5	4	7	8.225
1.6	1.7	2.4	6	1	2	2	3	1	2	2	2	6	6	4	9. B32

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN A
43 2.5 226 B33	Man and nature	1.Follow nature 2.Make use of nature 3.Conquer nature 8.Other 9.D.K	36.8 46.6 6.7 1.4 8.5	22.0 66.0 6.4 2.5 3.1	22.5 67.1 4.5 0.7 5.2	25.5 66.2 4.5 1.0 2.8	36.6 47.9 5.3 0.7 9.5
44 7.4 227 B34	Improve the country or make people happy	1.Individual->Country 2.Country->Individual 3.Country=Individual 8.Other 9.D.K	23.0 37.4 28.4 - 11.2	23.8 23.3 46.8 - 6.1	24.8 31.6 37.7 - 5.8	27.1 28.3 36.7 2.3 5.6	34.0 22.4 36.0 0.2 7.3
45 5.1D 228 -233 B35	Important thing	1.Filial piety 2.Repaying obligations 3.Individual rights 4.Individual freedom 5.Other answer 9.D.K	55.0 15.0 65.9 57.4 1.8 2.3	52.4 38.2 47.8 57.7 0.3 2.1	63.4 49.6 46.4 36.1 1.4 1.4	69.4 27.6 62.3 33.1 0.5 -	77.7 56.8 25.2 32.8 - -
46 5.6h 236 B36	Desirable person: efficient vs. friendly	1.Friendly 2.Efficient 8.Other 9.D.K	77.9 12.6 - 9.5	62.5 30.7 - 6.8	84.7 10.9 - 4.4	78.6 15.2 2.1 4.0	61.5 11.3 4.3 23.0
47 2.2b 237 B37	Consensus vs. principle	1.Stress own principle 2.Stress consensus 8.Other 9.D.K	28.3 62.4 - 9.3	29.4 65.7 - 4.8	44.4 52.1 - 3.5	47.6 47.1 1.4 3.9	20.2 68.3 1.3 10.3
48 5.1c1 238 B38	Employment examination: Relative	1.Highest grade 2.Relative 8.Other 9.D.K	44.5 39.8 2.1 13.6	58.8 34.9 1.2 5.0	72.6 21.3 2.0 4.1	65.9 29.5 1.7 2.9	60.4 22.8 1.0 15.8
49 5.1c2 239 B39	Employment examination: son of benefactor	1.Highest grade 2.Son of benefactor 8.Other 9.D.K	36.2 46.9 3.4 13.5	50.2 43.2 1.0 5.5	68.6 23.9 2.1 5.5	64.9 30.4 1.5 3.3	40.6 42.3 1.2 15.9
50 5.6 240 B40	Type of boss preferred	1.Non-paternalistic 2.Paternalistic 8.Other 9.D.K	22.8 68.6 - 8.6	30.9 64.1 - 5.0	39.9 56.7 - 3.5	44.9 51.4 0.4 3.3	9.0 80.3 0.1 10.6
51 2.12 241 B41	Are people helpful most of the time	1.Try to be helpful 2.Look out for themselves 8.Other 9.D.K	42.8 48.2 2.2 6.8	19.2 77.2 2.2 1.4	52.9 42.8 2.3 2.0	53.6 43.6 1.1 1.7	31.2 54.2 1.5 13.2
52 2.12b 242 B42	Are most people fair	1.Take advantage 2.Try to be fair 8.Other 9.D.K	29.9 54.9 2.6 12.6	57.7 35.8 3.0 3.6	37.5 57.8 1.9 2.8	40.4 56.0 1.2 2.4	32.3 52.8 0.9 14.0
53 2.12c 243 B43	Are most people trustworthy	1.Can be trusted 2.Cannot be trusted 8.Other 9.D.K	37.8 47.0 4.6 10.6	22.8 73.8 1.8 1.6	36.3 60.0 1.5 2.1	42.4 54.5 1.3 1.8	39.1 46.0 2.8 12.1
56 7.33 250 B44	Computers change our lives	1.Desirable thing 2.Inevitable thing 3.Dangerous thing 8.Other 9.D.K	14.7 55.0 25.6 - 4.7	31.8 51.0 12.5 - 4.6	15.9 63.1 16.7 - 4.3	33.6 51.4 11.6 - 3.5	30.5 52.8 6.6 0.3 9.8

1988 HAWAI NJ	1988 HAWAI JA	1991 BRAZI W492	'91 BRZ 1SE1	'91 BRZ 2SE1	'91 BRZ 3SE1	'83 HI JA	'83 HI 2SE1	'83 HI 3SE1	'78 HI JA	'78 HI 2SE1	'78 HI 3SE1	'72 HI JA	'72 HI 2SE1	'72 HI 3SE1	Q No
46.4	50.6	44.9	51	50	35	27	26	27	28	27	28	21	18	26	1.43
44.5	38.9	14.4	27	9	15	68	67	69	62	61	64	68	70	66	2.2.5
3.1	6.7	33.6	16	38	37	4	6	2	4	5	2	6	7	4	3.226
4.7	1.7	5.7	2	2	13	1	1	2	3	2	3	1	1	1	8.
1.3	2.2	1.5	3	1	0	0	1	-	4	4	3	4	4	3	9. B33
27.6	29.4	17.6	22	17	15	37	36	38	26	27	23	32	27	40	1.44
26.0	33.3	49.7	38	47	60	29	31	27	30	32	27	26	29	21	2.7.4
38.9	31.7	26.5	36	26	22	29	30	27	37	33	43	36	38	32	3.227
6.0	2.8	1.8	3	2	2	3	1	5	2	2	2	1	1	3	8.
1.6	2.8	4.3	1	9	0	3	3	3	6	6	6	5	6	4	9. B34
69.3	78.3	82.3	78	88	76	60	62	58	60	62	56	53	60	43	1.45
16.3	22.8	42.4	66	42	29	19	20	18	16	19	10	27	30	21	2.5.1D
78.4	72.2	33.6	18	28	51	78	76	81	77	73	83	65	59	75	3.228
33.9	25.6	32.5	12	34	43	41	40	42	43	40	48	51	48	56	4.-233
1.3	0.6	3.2	10	3	0										5.
-	1.8	0.3	?	?	?										9. B35
76.8	81.7	69.5	70	66	74	71	70	73	71	71	71				1.46
15.0	12.8	14.9	12	16	14	16	20	11	18	19	18				2.5.6h
6.0	5.6	10.0	10	9	12	10	6	15	7	6	9				8.236
2.2	-	5.6	8	8	0	2	3	1	4	4	2				9. B36
27.3	23.3	21.3	19	24	19	25	24	26	22	18	27				1.47
66.1	71.7	67.0	75	61	72	68	71	65	73	77	69				2.2.2b
6.0	2.8	5.5	2	7	6	4	2	7	3	3	2				8.237
0.6	2.2	6.3	4	9	3	3	3	2	2	3	2				9. B37
67.1	68.3	75.6	84	76	70	64	69	56	62	62	60	68	69	67	1.48
26.0	26.7	16.2	14	14	20	32	30	36	34	35	33	26	26	27	2.5.1c1
5.3	3.3	7.2	1	8	10	3	-	8	3	2	3	2	2	3	8.238
1.6	1.7	1.1	1	1	1	1	1	1	2	1	4	3	3	4	9. B38
62.4	51.7	50.3	56	43	58	56	60	51	55	58	51	53	51	57	1.49
30.7	42.2	42.3	38	47	38	39	38	40	40	37	44	39	41	35	2.5.1c2
4.4	3.9	4.0	3	5	4	4	1	7	2	2	2	2	2	3	8.239
2.5	2.2	3.4	3	6	1	2	2	2	3	3	3	6	6	5	9. B39
40.8	40.6	24.7	16	23	33	40	38	42	35	34	35	39	36	43	1.50
56.7	59.4	67.5	80	68	59	58	60	55	63	63	62	58	60	53	2.5.6
1.9	-	3.2	0	2	7	1	1	2	2	2	2	1	1	1	8.240
0.6	-	4.5	4	8	-	2	2	1	1	1	1	2	3	3	9. B40
65.5	58.3	40.9	39	51	28	54	53	57	48	51	45				1.51
30.4	38.3	50.5	41	43	67	41	42	40	47	45	50				2.2.12
3.1	2.8	5.6	14	2	6	5	5	4	3	3	2				8.241
0.9	0.6	3.0	7	4	0	-	-	-	2	2	2				9. B41
29.8	28.3	57.6	44	52	75	27	27	27	27	27	28				1.52
65.8	67.8	35.8	49	43	17	70	71	67	66	66	66				2.2.12b
4.4	2.8	2.9	3	2	4	3	2	5	5	5	3				8.242
-	1.1	3.6	4	3	4	0	-	1	2	2	2				9. B42
45.8	60.0	6.1	16	3	5	59	56	62	55	55	56				1.53
49.8	38.9	90.7	80	94	92	40	43	36	41	43	39				2.2.12c
3.1	1.1	2.8	4	3	3	1	-	2	4	2	5				8.243
1.3	-	0.3	-	1	-	0	1	-	0	-	1				9. B43
49.5	36.7	45.5	43	46	46	36	30	44							1.56
43.6	56.1	38.3	39	33	45	57	60	54							2.7.33
4.7	5.0	8.5	8	9	8	4	6	2							3.250
0.6	0.6	6.4	9	9	1	0	1	-							8.
1.6	1.1	1.3	-	2	1	2	3	1							9. B44

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN A
60 7.35 259 B45	Environ- mental preser- vation	1.Very Important 2.Important 3.Not very Important 4.Not at all Important 8.Other 9.D.K	74.2 24.3 0.7 0.2 - 0.6	69.6 28.1 1.2 0.4 - 0.7	74.0 23.2 1.5 0.1 - 1.2	84.2 14.7 0.6 0.2 - 0.3	45.6 45.7 4.7 0.2 0.0 3.8
61 9.80 260	Culture	1.Answered 9.D.K	77.6 22.4	79.2 20.8	73.7 26.3		58.4 41.6 67.7
62,a 3.1 261	Religious faith	1.Yes 2.No 9.D.K	74.8 21.8 3.4	64.4 34.8 0.8	64.2 34.3 1.4	85.3 13.9 0.8	36.5 63.5 -
62,b 3.1b 262	Religion	1.Protestant 2.Catholic 3.Jewish 4.Buddhist 5.Moslem 6.Shinto 7.Christian 8.Other 9.D.K 0.missing	33.7 38.3 - - - - - 2.6 0.2 25.2	1.6 60.3 0.5 - 0.9 - - 0.8 0.3 35.6	50.0 8.4 0.2 0.1 0.9 - - 4.2 0.4 35.8	54.8 24.4 1.2 - - - - 2.5 2.5 14.7	- - - 28.5 - 2.1 1.2 3.2 1.5 63.5
63 3.2 263 B49	Religious attitude	1.Important 2.Not important 8.Other 9.D.K	57.6 34.3 1.6 6.5	62.5 33.2 2.2 2.2	58.5 36.3 3.4 1.8	87.3 10.4 1.0 1.3	75.5 11.1 1.1 12.4
64 3.3 264 B50	All Religions Same	1.Agree 2.Disagree 8.Other 9.D.K	61.8 20.7 0.4 17.1	57.8 33.0 1.0 8.2	71.2 24.5 0.9 3.4	56.5 39.9 1.0 2.7	63.3 16.4 0.5 19.9
67 8.2e 268 B51	Democracy	1.Favourable 2.It depends 3.Unfavourable 8.Other 9.D.K	86.1 11.0 1.5 - 1.4	70.9 17.2 4.9 - 7.0	65.8 22.1 5.0 - 7.1	83.6 11.2 2.9 - 2.3	52.1 37.7 1.7 0.1 8.4
67 8.2f 269 B51	Capitalism	1.Favourable 2.It depends 3.Unfavourable 8.Other 9.D.K	19.1 43.2 32.2 - 5.5	14.0 36.9 42.5 - 6.5	23.1 37.5 29.7 - 9.7	41.5 30.9 20.9 - 6.8	27.3 48.3 10.1 - 14.3
67 8.2h 270 B51	Socialism	1.Favourable 2.It depends 3.Unfavourable 8.Other 9.D.K	13.7 38.3 40.8 - 7.2	30.3 41.6 20.2 - 7.9	22.4 39.1 30.7 - 7.8	10.9 32.2 49.5 - 7.5	6.3 54.3 20.9 0.0 18.4
67 8.2g 271 B51	Liberalism	1.Favourable 2.It depends 3.Unfavourable 8.Other 9.D.K	20.5 46.9 18.1 - 14.5	48.7 34.1 9.7 - 7.6	21.6 47.2 20.9 - 10.4	16.9 43.6 29.4 - 10.1	33.5 47.1 5.5 0.0 13.9
8 8.80 128 B52	The country's goal	1.Maintain order 2.Give people more say 3.Fight rising prices 4.Protect freedom of 8.Other 9.D.K	38.1 29.5 8.8 18.8 1.2 3.6	35.6 15.4 21.5 22.0 3.7 1.8	40.4 31.4 14.3 11.0 1.9 1.0	29.4 33.1 22.6 10.9 2.2 1.7	20.6 27.1 35.1 7.5 0.6 9.1

1988 HAWAII NJ	1988 HAWAII JA	1991 BRAZIL W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
74.3	70.0	75.3	72	77	74	55	60	48							1.60
23.8	27.8	23.0	24	21	25	43	38	48							2.7.35
0.3	1.1	1.2	3	1	0	2	1	2							3.259
-	-	0.0	-	-	0	0	1	-							4.
0.6	-	0.1	0	0	-	-	-	-							8.
0.9	1.1	0.3	-	1	-	1	1	1							9. B45
96.2	96.1														1.61
3.8	3.9														9.9.80
															260
76.2	71.1	89.4	92	88	91	66	71	66	66	72	56	71	79	57	1.62.a
21.0	27.8	10.3	8	12	9	32	25	42	34	28	44	29	21	43	2.3.1
2.8	1.1	0.3	-	1	-	2	2	3							9.261
27.0	25.0	2.8	2	1	6	31	31	32	29	25	34	30	29	33	1.62.b
30.7	7.8	50.6	22	52	65	1	+	+	+	+	+	+	+	+	2.3.1b
2.5	-	-													3.262
1.6	28.3	20.4	54	16	8	31	40	20	30	40	16	36	45	19	4.
-	-	-													5.
-	-	2.6	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.
-	-	-													7.
15.7	11.1	13.6	8	18	11	5	5	5	7	7	6	4	4	5	8.
0.9	-	-													9.
		9.2	8	9	9	32	25	42	34	28	44	29	21	43	0.
79.6	80.0	91.0	91	94	87	82	87	75	91	92	88	90	94	82	1.63
12.9	13.3	6.0	4	4	11	15	11	20	7	5	9	6	3	13	2.3.2
6.9	5.6	2.5	4	2	3	3	2	5	2	2	2	0	0	1	8.263
0.6	1.1	0.4	1	1	-	1	1	1	1	1	1	3	3	5	9. B49
64.6	75.0	64.6	65	73	52	80	82	77	83	81	87	81	81	81	1.64
27.9	22.8	29.6	29	21	43	17	16	17	15	16	11	14	12	16	2.3.3
5.6	1.1	2.2	2	1	5	1	-	3	0	1	-	0	0	-	8.264
1.9	1.1	3.6	5	5	1	2	2	2	2	2	2	5	6	4	9. B50
87.8	85.0	63.9	72	67	56	84	80	89	88	86	90	74	70	82	1.67
11.0	13.3	23.6	15	17	38	13	15	10	10	11	8	21	22	18	2.8.2e
0.3	0.6	1.3	1	1	2	1	1	2	-	-	-	0	0	1	3.268
-	-	0.3	2	-	-	0	1	-	0	1	-	-	-	-	8.
0.9	1.1	10.8	10	15	5	2	3	-	2	2	2	5	7	-	9. B51
52.7	47.2	26.6	25	23	34	43	43	42	41	47	32	29	28	30	1.67
37.0	32.8	40.1	42	36	44	35	31	42	25	21	31	41	35	51	2.8.2f
6.6	15.0	8.4	11	9	6	16	18	14	22	20	25	18	19	16	3.269
0.3	-	3.4	1	2	8	0	1	-	1	1	2	-	-	-	8.
3.4	5.0	21.6	21	30	9	5	8	2	11	11	10	13	18	3	9. B51
16.9	11.7	18.4	7	23	19	13	14	13	20	18	21	11	9	13	1.67
45.5	49.4	39.3	55	30	44	44	38	52	30	21	42	42	37	50	2.8.2h
32.3	31.7	18.1	17	16	22	32	34	30	40	47	29	30	30	30	3.270
0.6	-	2.9	0	2	6	1	-	2	-	-	-	-	-	-	8.
4.7	7.2	21.2	21	28	11	10	14	4	11	14	8	18	24	7	9. B51
20.4	17.2	17.6	13	18	20	23	23	23	35	32	35	20	16	27	1.67
45.1	51.7	35.9	46	22	50	53	49	58	31	25	41	47	43	53	2.8.2g
22.3	21.1	16.4	14	20	13	17	17	16	22	25	17	13	16	9	3.271
1.9	1.1	1.1	-	2	1	0	1	-	-	-	-	0	0	-	8.
10.3	8.9	29.0	28	39	16	7	10	2	13	17	6	20	26	10	9. B51
32.9	38.3	38.2	43	40	32	41	42	38							1.8
25.4	30.6	28.0	16	25	39	30	29	32							2.8.80
19.1	22.2	21.6	20	25	17	13	13	13							3.128
16.0	5.6	5.2	13	3	4	13	13	14							4.
4.1	1.7	5.1	7	3	7	1	1	1							8.
2.5	1.7	1.8	2	3	-	2	1	2							9. B52

国際比較調査、ハワイ調査、ブラジル調査

Q No	Item	Category	1987 FRG 1000	1987 FRANCE 1013	1987 UK 1043	1988 USA 1563	1988 JAPAN A
SEX		1.Male	44.4	46.6	47.6	50.5	46.2
		2.Female	55.6	53.4	52.4	49.5	53.8
AGE		1. - 19	3.9	4.4	4.2	3.3	2.8
		2. 20-24	9.7	10.8	9.8	6.8	7.0
		3. 25-29	12.6	11.6	9.4	10.0	6.1
		4. 30-34	9.7	12.5	10.0	9.9	9.0
		5. 35-39	11.4	10.8	8.9	10.3	10.4
		6. 40-44	8.4	8.4	8.9	9.0	10.9
		7. 45-49	9.9	5.8	8.6	7.5	10.9
		8. 50-54	8.6	7.1	7.5	6.1	9.9
		9. 55-59	7.0	7.1	6.3	7.0	10.1
		10. 60-64	6.5	6.7	7.4	6.8	8.3
		11. 65-69	5.2	5.2	5.8	8.3	6.1
		12. 70 -	7.1	9.5	13.2	15.0	8.6
		0. D.K.	-	-	-	-	-
EDUC		1.Low	33.6	30.9	45.5	20.2	30.8
		2.Middle	42.7	46.2	40.1	59.2	48.5
		3.High	21.7	22.6	13.8	20.3	19.7
		9.D.K	2.0	0.3	0.6	0.3	1.0

1988 HAWAII NJ	1988 HAWAII JA	1991 BRAZIL W492	'91 BRZ 1SEI	'91 BRZ 2SEI	'91 BRZ 3SEI	'83 HI JA	'83 HI 2SEI	'83 HI 3SEI	'78 HI JA	'78 HI 2SEI	'78 HI 3SEI	'72 HI JA	'72 HI 2SEI	'72 HI 3SEI	Q No
48.6	47.2	55.3	24	46	30	50	50	49	50	50	49	50	50	49	1. SEX
51.4	52.8	44.7	13	50	36	50	50	51	50	50	51	50	50	51	2.
0.6	1.7	19.9	1	18	82										1. AGE
3.8	3.3	+	+	+	+										2.
7.5	3.3	+	+	+	+										3.
8.2	7.8	20.1	3	33	64										4.
12.5	6.7	+	+	+	+										5.
11.3	10.0	19.8	8	77	14										6.
7.5	7.2	+	+	+	+										7.
6.0	5.6	19.7	16	81	2										8.
5.6	10.6	+	+	+	+										9.
10.3	13.3	20.4	66	31	3										10.
9.7	11.1	+	+	+	+										11.
16.3	19.4	+	+	+	+										12.
0.6	-														0.
16.3	19.4														1. EDUC
37.3	47.8														2.
62.1	51.7														3.
0.6	0.6														9.

ANEXO 3

Quadro de somatórias dos resultados segundo atributos
(sexo, idade, geração, escala de japoneses) dos nikkei
brasileiros

Abreviaturas:

Q - Pergunta

Total - Soma dos Resultados

(SEX) - Somatória segundo sexos

(AGE) - Somatória segundo idades

(GENERATION) - Somatória segundo gerações

1 - 1ª. Geração

2 - 2ª. Geração

3 - 3ª. Geração

DK - Sem informação

(J SCALE) - Somatória segundo Escala de Japoneses

LOW - 0 - 4

ML - 5 - 9

MH - 10 - 16

HIGH - 17 -

Números inteiros no cabeçário dos quadros - Categoria das respostas (A mesma das opções apresentadas na pergunta) ou valor da escala

(Q 8)									
	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL	
TOTAL	48.8	42.0	7.8	0.4	1.0	2.3	1.8	100.0	
(SEX)									
MALE	33.7	36.8	7.3	0.1	1.9	100.0			
FEMA	42.7	48.3	8.1	0.9	0.0	100.0			
(AGE)									
-29	28.3	69.0	2.3	0.0	0.3	100.0			
30-	42.4	47.1	10.3	0.2	0.0	100.0			
40-	60.4	29.6	5.1	0.0	4.9	100.0			
50-	58.9	34.2	6.9	0.0	0.0	100.0			
60	53.9	30.2	14.1	1.9	0.0	100.0			
(GENERATION)									
1	60.8	26.5	12.3	0.0	0.3	100.0			
2	52.2	39.3	5.7	0.8	2.0	100.0			
3	36.0	55.5	8.4	0.1	0.0	100.0			
DK	88.6	11.4	0.0	0.0	0.0	100.0			
(JSCALE)									
LOW	44.3	49.7	5.9	0.1	0.0	100.0			
ML	47.6	45.5	4.0	0.0	2.9	100.0			
MH	50.8	33.5	13.6	1.7	0.3	100.0			
HIGH	59.3	28.5	12.2	0.0	0.0	100.0			

(Q 9 A)									
	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL	
TOTAL	47.5	27.7	16.1	4.6	0.0	2.3	1.8	100.0	
(SEX)									
MALE	46.7	26.4	20.6	2.0	0.0	3.2	1.1	100.0	
FEMA	48.5	29.3	10.6	7.8	0.0	1.1	2.7	100.0	
(AGE)									
-29	62.8	21.8	1.9	7.1	0.0	6.4	0.0	100.0	
30-	53.5	35.7	9.1	1.4	0.0	0.0	0.3	100.0	
40-	43.5	30.0	23.9	2.6	0.0	0.0	0.0	100.0	
50-	44.8	35.6	16.8	0.4	0.0	0.0	2.4	100.0	
60	33.3	15.6	28.6	11.2	0.0	5.0	6.3	100.0	
(GENERATION)									
1	27.8	22.1	31.3	10.8	0.0	2.7	5.1	100.0	
2	52.7	25.6	17.6	2.1	0.0	1.1	0.9	100.0	
3	50.7	34.3	5.2	4.7	0.0	3.9	1.2	100.0	
DK	92.1	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
(JSCALE)									
LOW	45.0	34.6	14.5	5.9	0.0	0.0	0.0	100.0	
ML	53.9	29.1	6.8	2.4	0.0	5.4	0.4	100.0	
MH	55.9	19.0	18.5	2.2	0.0	0.0	4.5	100.0	
HIGH	17.7	22.0	39.9	11.0	0.0	4.0	5.4	100.0	

(Q 9 B)									
	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL	
TOTAL	54.1	23.5	10.1	2.6	3.0	2.6	4.0	100.0	
(SEX)									
MALE	54.8	24.3	9.8	1.0	1.9	4.4	3.8	100.0	
FEMA	53.2	22.5	10.4	4.6	4.3	0.5	4.4	100.0	
(AGE)									
-29	52.7	21.1	15.4	0.0	1.4	7.4	2.0	100.0	
30-	74.0	21.0	1.6	1.6	0.3	0.3	1.2	100.0	
40-	52.5	23.1	7.4	1.2	11.5	0.4	3.8	100.0	
50-	53.9	31.2	7.0	0.0	1.6	1.3	4.9	100.0	
60	37.7	21.3	18.8	10.1	0.1	3.7	8.3	100.0	
(GENERATION)									
1	41.7	23.2	17.4	8.3	1.8	1.7	5.9	100.0	
2	57.1	24.8	6.0	1.1	4.9	1.8	4.3	100.0	
3	57.1	22.1	12.0	1.0	0.9	4.3	2.6	100.0	
DK	46.1	9.5	0.0	33.1	0.0	11.4	0.0	100.0	
(JSCALE)									
LOW	50.0	27.1	10.6	0.8	4.2	4.7	2.6	100.0	
ML	61.6	24.9	3.4	1.1	3.9	2.3	2.8	100.0	
MH	63.7	15.0	10.3	2.6	1.6	0.5	6.4	100.0	
HIGH	28.2	26.0	25.7	11.2	0.0	1.9	6.9	100.0	

(Q 9 C)									
	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL	
TOTAL	62.9	17.5	4.7	0.4	0.4	3.9	10.2	100.0	
(SEX)									
MALE	62.6	18.0	5.0	0.4	0.6	6.1	7.3	100.0	
FEMA	63.3	16.9	4.3	0.3	0.1	1.1	13.9	100.0	
(AGE)									
-29	50.6	11.0	3.7	0.0	1.4	14.1	19.2	100.0	
30-	56.0	19.5	11.1	0.3	0.0	0.6	12.5	100.0	
40-	68.2	12.9	2.6	0.4	0.0	0.8	15.1	100.0	
50-	80.1	12.4	2.5	0.4	0.0	0.0	4.6	100.0	
60	59.9	31.4	3.6	0.7	0.5	3.8	0.0	100.0	
(GENERATION)									
1	57.8	33.0	4.6	1.2	0.6	1.5	1.2	100.0	
2	74.0	14.2	2.3	0.0	0.0	1.2	8.3	100.0	
3	49.4	13.8	8.3	0.5	0.9	9.3	17.9	100.0	
DK	66.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.1	100.0	
(JSCALE)									
LOW	61.3	10.7	5.4	0.5	0.9	4.4	16.9	100.0	
ML	62.9	13.1	4.8	0.0	0.2	6.3	10.8	100.0	
MH	68.7	23.5	2.9	0.4	0.2	0.5	5.8	100.0	
HIGH	60.4	30.5	5.8	1.2	0.0	2.1	0.0	100.0	

(Q 9 D)									
	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL	
TOTAL	42.3	28.4	19.8	5.0	0.1	4.0	0.4	100.0	
(SEX)									
MALE	39.4	26.4	21.9	6.0	0.0	6.0	0.3	100.0	
FEMA	45.8	31.0	17.2	3.8	0.2	1.6	0.4	100.0	
(AGE)									
-29	30.3	37.8	18.4	5.8	0.0	7.0	0.7	100.0	
30-	41.2	22.9	21.9	10.0	0.2	3.5	0.3	100.0	
40-	46.3	20.3	30.5	1.7	0.0	1.0	0.1	100.0	
50-	47.7	39.4	10.3	1.2	0.4	0.3	0.7	100.0	
60	45.7	22.2	17.9	6.2	0.0	8.1	0.0	100.0	
(GENERATION)									
1	40.7	28.7	19.6	5.0	0.0	5.6	0.5	100.0	
2	50.2	25.2	19.4	1.8	0.2	2.8	0.4	100.0	
3	31.3	33.4	20.7	9.2	0.0	5.0	0.3	100.0	
DK	43.3	12.2	11.4	33.1	0.0	0.0	0.0	100.0	
(JSCALE)									
LOW	33.2	24.2	29.0	7.3	0.1	6.0	0.3	100.0	
ML	44.4	32.2	14.8	5.0	0.2	2.8	0.6	100.0	
MH	54.4	25.4	13.7	3.8	0.0	2.4	0.3	100.0	
HIGH	38.2	34.7	20.5	1.4	0.0	5.0	0.2	100.0	

(Q 9 E)									
	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL	
TOTAL	22.8	26.3	31.7	12.8	0.2	5.5	0.7	100.0	
(SEX)									
MALE	24.1	26.7	30.6	13.5	0.2	3.9	1.1	100.0	
FEMA	21.1	25.9	33.0	11.9	0.2	7.5	0.2	100.0	
(AGE)									
-29	7.5	25.6	47.8	18.7	0.0	0.4	0.0	100.0	
30-	18.7	25.5	34.8	19.0	0.0	1.3	0.8	100.0	
40-	24.8	40.3	17.6	14.6	0.2	1.9	0.7	100.0	
50-	29.5	24.0	37.9	2.8	0.8	4.6	0.4	100.0	
60	33.3	16.6	20.6	8.7	0.0	19.2	1.6	100.0	
(GENERATION)									
1	34.9	20.3	22.4	9.8	0.0	11.6	1.1	100.0	
2	26.2	27.7	30.7	9.3	0.2	5.0	0.9	100.0	
3	10.9	27.5	39.1	19.5	0.3	2.3	0.1	100.0	
DK	17.3	41.0	0.0	11.4	0.0	26.1	4.3	100.0	
(JSCALE)									
LOW	11.6	35.1	30.9	19.3	0.3	1.8	1.2	100.0	
ML	28.4	25.6	32.5	8.6	0.3	4.1	0.4	100.0	
MH	27.6	20.8	31.9	9.6	0.0	9.3	0.8	100.0	
HIGH	28.0	15.8	31.1	12.7	0.0	12.1	0.2	100.0	

(Q 9 F)									
	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL	
TOTAL	43.0	24.3	21.9	6.2	0.4	3.5	0.8	100.0	
(SEX)									
MALE	41.3	27.2	22.3	5.0	0.6	3.3	0.3	100.0	
FEMA	45.0	20.8	21.3	7.7	0.1	3.6	1.5	100.0	
(AGE)									
-29	38.4	27.8	27.7	3.6	0.0	0.4	2.0	100.0	
30-	45.3	22.1	16.8	12.3	0.0	3.1	0.3	100.0	
40-	58.9	15.3	21.8	2.6	0.2	0.8	0.3	100.0	
50-	42.0	23.0	26.3	3.4	0.0	5.1	0.3	100.0	
60	30.5	33.1	17.0	8.9	1.6	7.9	1.1	100.0	
(GENERATION)									
1	27.0	35.7	22.1	10.9	0.0	2.9	1.5	100.0	
2	50.1	18.2	23.1	3.0	0.7	4.7	0.3	100.0	
3	41.7	26.5	20.3	8.3	0.0	1.9	1.2	100.0	
DK	43.3	41.0	4.3	0.0	0.0	11.4	0.0	100.0	
(JSCALE)									
LOW	51.3	22.4	14.4	7.5	1.0	1.9	1.5	100.0	
ML	43.7	21.0	26.8	3.8	0.1	3.8	0.8	100.0	
MH	43.0	23.4	24.0	3.2	0.0	6.2	0.3	100.0	
HIGH	20.2	39.4	24.0	14.3	0.0	1.9	0.2	100.0	

(Q 9 G)									
	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL	
TOTAL	35.9	23.6	26.2	8.7	0.6	4.7	0.3	100.0	
(SEX)									
MALE	33.9	23.4	25.8	11.0	0.9	4.7	0.3	100.0	
FEMA	38.4	23.9	26.6	5.8	0.2	4.8	0.2	100.0	
(AGE)									
-29	30.5	25.4	31.7	12.4	0.0	0.0	0.0	100.0	
30-	32.5	38.2	24.5	2.8	0.3	1.2	0.5	100.0	
40-	31.6	26.0	27.9	12.1	0.1	2.2	0.1	100.0	
50-	42.0	12.4	33.3	4.3	0.8	6.9	0.3	100.0	
60	43.1	16.1	13.8	11.9	1.7	13.1	0.3	100.0	
(GENERATION)									
1	37.9	14.7	19.9	14.3	0.1	12.7	0.3	100.0	
2	38.8	18.3	30.2	6.9	1.0	4.4	0.4	100.0	
3	30.3	36.7	24.2	0.3	0.3	0.2	0.0	100.0	
DK	50.3	15.7	7.9	0.0	0.0	26.1	0.0	100.0	
(JSCALE)									
LOW	37.8	29.4	25.0	6.1	1.5	0.0	0.2	100.0	
ML	31.9	22.8	33.3	7.9	0.2	3.6	0.2	100.0	
MH	37.0	22.2	23.8	9.9	0.0	6.6	0.6	100.0	
HIGH	40.0	14.0	15.0	15.0	0.2	15.9	0.0	100.0	

(Q 10 A)					
	1	2	3	4	5
TOTAL	56.9	9.0	18.5	15.6	0.1
(SEX)					
MALE	49.7	10.2	19.3	20.6	0.1
FEMA	65.7	7.5	17.4	9.3	0.2
(AGE)					
-29	60.2	12.7	18.8	8.2	0.0
30-	67.8	8.7	17.6	5.9	0.0
40-	45.0	10.0	15.8	29.2	0.0
50-	73.0	8.3	9.6	8.7	0.4
60	39.0	5.2	30.1	25.5	0.2
(GENERATION)					
1	43.6	4.3	28.3	23.7	0.2
2	58.0	9.5	14.6	17.7	0.2
3	63.4	11.1	18.7	6.7	0.0
DK	33.0	0.0	0.0	67.0	0.0
(JSSCALE)					
LOW	58.5	6.6	14.5	20.4	0.0
HL	63.7	12.8	15.2	8.0	0.2
MH	50.9	9.6	21.4	18.1	0.0
HIGH	45.5	4.1	31.7	18.4	0.3

(Q 10 C)					
	1	2	3	4	5
TOTAL	48.0	12.5	16.1	22.8	0.6
(SEX)					
MALE	41.4	10.3	18.2	29.8	0.3
FEMA	56.3	15.1	13.5	14.2	1.0
(AGE)					
-29	30.4	28.2	14.3	27.1	0.0
30-	48.8	16.6	18.2	14.8	1.6
40-	62.6	4.4	10.5	21.0	1.5
50-	65.1	4.2	16.7	14.0	0.0
60	33.8	8.9	20.6	36.7	0.1
(GENERATION)					
1	28.0	5.8	34.0	30.6	1.6
2	63.8	8.5	7.5	20.2	0.0
3	36.8	22.4	18.6	21.2	1.0
DK	33.0	0.0	0.0	67.0	0.0
(JSSCALE)					
LOW	47.9	15.0	15.3	21.8	0.0
HL	60.0	10.6	9.3	19.2	1.0
MH	46.4	13.0	11.2	28.5	0.9
HIGH	20.6	10.0	43.9	24.6	0.9

(Q 10 B)					
	1	2	3	4	5
TOTAL	51.3	13.1	20.3	12.5	2.7
(SEX)					
MALE	37.1	16.3	30.1	13.9	2.6
FEMA	68.9	9.2	8.3	10.7	2.9
(AGE)					
-29	43.7	18.7	23.6	11.6	2.4
30-	58.8	17.5	9.7	12.4	1.6
40-	42.4	4.3	41.0	9.0	3.3
50-	69.8	8.1	17.1	3.5	1.6
60	42.2	16.9	10.7	25.4	4.8
(GENERATION)					
1	39.2	20.8	22.7	13.6	3.7
2	58.2	6.4	20.2	13.3	1.9
3	48.3	18.8	19.3	10.1	3.5
DK	47.7	0.0	11.4	41.0	0.0
(JSSCALE)					
LOW	49.5	14.5	22.4	12.0	1.7
HL	60.7	8.7	17.3	11.1	2.3
MH	52.3	10.0	19.3	16.9	1.5
HIGH	30.4	26.5	24.7	9.8	8.6

(Q 10 D)					
	1	2	3	4	5
TOTAL	56.5	8.1	14.9	18.9	1.6
(SEX)					
MALE	47.3	7.6	18.2	24.3	2.6
FEMA	67.9	8.8	10.8	12.2	0.3
(AGE)					
-29	34.3	15.8	9.0	18.6	2.3
30-	50.2	8.5	25.2	15.8	0.3
40-	56.3	6.4	24.6	12.2	0.3
50-	69.2	4.6	6.1	19.4	0.7
60	52.9	5.4	9.6	28.0	4.2
(GENERATION)					
1	46.8	7.5	12.2	28.5	5.0
2	65.4	5.8	13.8	14.1	0.9
3	49.1	12.0	18.4	19.8	0.7
DK	34.7	0.0	0.0	45.3	0.0
(JSSCALE)					
LOW	50.8	10.7	23.4	15.0	0.1
HL	65.4	4.7	9.4	18.8	1.6
MH	63.6	9.5	13.3	12.8	0.8
HIGH	35.4	8.3	10.6	39.1	6.7

(Q 10 E)					
	1	2	3	4	5
TOTAL	53.8	11.9	15.9	13.9	4.5
(SEX)					
MALE	45.8	13.5	17.0	17.1	6.6
FEMA	63.7	10.0	14.5	9.9	2.0
(AGE)					
-29	48.9	16.0	16.2	18.2	0.7
30-	54.2	16.0	22.3	7.5	0.0
40-	51.7	21.6	9.0	13.2	1.7
50-	47.4	2.5	20.4	7.8	1.8
60	46.9	3.7	10.8	20.6	18.0
(GENERATION)					
1	41.2	7.1	22.0	12.7	17.0
2	58.3	10.6	15.1	13.5	2.4
3	54.7	16.9	13.5	14.6	0.4
DK	43.3	0.0	11.4	45.3	0.0
(JSCALE)					
LOW	56.1	25.2	9.3	9.0	0.4
ML	58.7	4.2	19.5	15.0	2.6
MH	54.5	9.6	13.6	19.1	3.2
HIGH	54.0	2.9	27.0	14.3	21.8

(Q 10 F)					
	1	2	3	4	5
TOTAL	77.0	6.2	7.5	8.4	1.0
(SEX)					
MALE	73.9	7.7	7.6	9.8	1.0
FEMA	80.9	4.3	7.3	6.6	0.9
(AGE)					
-29	69.1	13.6	8.8	8.6	0.0
30-	84.8	4.3	8.2	2.7	0.0
40-	85.2	5.3	2.7	6.8	0.0
50-	83.3	3.8	10.4	0.6	0.0
60	61.2	3.8	7.3	23.0	4.7
(GENERATION)					
1	56.2	3.6	18.9	20.9	0.3
2	85.0	3.0	5.8	5.2	1.1
3	77.8	12.3	3.4	5.2	1.2
DK	59.0	0.0	0.0	41.0	0.0
(JSCALE)					
LOW	86.2	5.7	2.5	5.6	0.0
ML	75.8	8.1	10.2	4.4	1.5
MH	83.1	4.8	1.7	10.3	0.1
HIGH	46.8	4.6	22.6	22.4	3.5

(Q 10 G)					
	1	2	3	4	5
TOTAL	67.3	9.3	10.4	11.2	1.0
(SEX)					
MALE	64.1	10.1	9.5	15.4	1.0
FEMA	71.3	8.4	11.5	6.0	2.8
(AGE)					
-29	46.4	20.8	16.7	16.2	0.0
30-	74.4	4.8	14.0	5.6	1.3
40-	75.7	7.4	6.1	10.3	0.4
50-	80.7	5.3	12.1	1.7	0.2
60	59.6	8.3	3.5	21.8	6.9
(GENERATION)					
1	47.0	10.1	14.4	25.5	3.1
2	79.7	5.3	8.8	5.1	1.1
3	61.2	14.8	10.8	11.2	2.0
DK	54.7	4.3	0.0	41.0	0.0
(JSCALE)					
LOW	70.4	7.8	12.0	9.8	0.0
ML	68.7	12.3	9.0	7.5	2.4
MH	79.0	4.2	5.8	9.5	1.5
HIGH	35.8	14.2	18.1	26.9	5.1

(Q 10 H)					
	1	2	3	4	5
TOTAL	48.9	23.9	15.1	10.0	2.1
(SEX)					
MALE	44.4	29.0	13.5	11.4	1.7
FEMA	54.5	17.6	17.2	8.2	2.5
(AGE)					
-29	40.1	28.3	12.7	18.9	0.0
30-	47.8	20.3	29.5	1.8	0.7
40-	43.5	29.8	11.8	4.9	0.0
50-	69.2	16.2	6.9	2.8	4.8
60	44.1	15.1	14.6	21.5	4.8
(GENERATION)					
1	44.6	17.8	14.1	20.0	3.6
2	52.9	24.3	11.6	8.3	2.9
3	45.6	26.9	21.2	6.2	0.0
DK	45.2	13.8	0.0	41.0	0.0
(JSCALE)					
LOW	51.8	22.9	16.6	8.0	0.8
ML	52.7	26.2	12.3	7.8	1.0
MH	48.8	21.8	17.8	6.7	4.9
HIGH	32.3	23.9	14.3	26.4	3.1

(Q 10 I)	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	57.0	17.9	16.3	6.5	2.3	100.0
(SEX)						
MALE	52.5	23.0	16.7	6.7	1.1	100.0
FEMA	62.7	11.6	15.8	6.2	3.8	100.0
(AGE)						
-29	55.3	17.1	21.8	5.2	0.6	100.0
30-	58.5	18.1	21.2	2.2	0.2	100.0
40-	61.4	22.0	6.2	10.1	0.2	100.0
50-	66.5	14.7	10.7	5.9	2.1	100.0
60	43.9	17.5	21.2	8.8	8.6	100.0
(GENERATION)						
1	37.6	25.0	24.9	6.9	5.5	100.0
2	47.1	15.9	7.8	7.9	1.2	100.0
3	54.5	16.8	23.2	3.9	1.6	100.0
DK	7.8	9.5	44.4	12.2	26.1	100.0
(JSCALE)						
LOW	53.5	21.5	21.9	2.8	0.4	100.0
ML	69.0	13.3	11.3	5.8	0.7	100.0
MH	53.8	16.7	10.3	13.3	5.9	100.0
HIGH	41.0	22.8	25.6	5.3	5.3	100.0

(Q 12)	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	51.9	26.7	12.6	2.6	6.1	100.0
(SEX)						
MALE	52.3	24.7	15.7	1.8	5.6	100.0
FEMA	51.5	29.3	8.8	3.6	6.8	100.0
(AGE)						
-29	56.4	21.7	17.6	2.7	1.6	100.0
30-	45.1	29.4	13.6	6.0	5.8	100.0
40-	58.3	20.9	11.1	0.6	9.1	100.0
50-	57.9	30.5	5.0	0.2	6.4	100.0
60	42.3	30.9	15.6	3.5	7.6	100.0
(GENERATION)						
1	50.3	25.4	17.2	3.5	3.6	100.0
2	55.7	26.1	8.0	1.3	8.9	100.0
3	46.8	28.6	16.8	4.1	3.6	100.0
DK	80.7	19.3	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)						
LOW	56.6	25.3	13.5	2.7	1.9	100.0
ML	57.3	24.6	9.0	3.0	6.1	100.0
MH	37.5	39.8	10.3	1.2	11.2	100.0
HIGH	51.2	13.1	23.6	4.0	8.1	100.0

(Q 11)	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	55.3	6.1	36.4	2.1	2.1	100.0
(SEX)						
MALE	65.3	5.6	22.8	3.6	2.7	100.0
FEMA	42.9	6.7	48.7	0.3	1.4	100.0
(AGE)						
-29	38.1	9.8	43.7	0.0	6.4	100.0
30-	46.8	9.7	41.3	0.4	1.8	100.0
40-	57.3	9.6	28.2	4.9	0.0	100.0
50-	73.2	0.0	28.5	0.4	0.0	100.0
60	61.0	1.6	30.1	4.9	2.4	100.0
(GENERATION)						
1	68.7	1.1	25.0	2.6	2.6	100.0
2	58.8	4.6	33.1	3.2	0.2	100.0
3	41.8	11.1	42.1	0.3	4.7	100.0
DK	84.3	11.4	4.3	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)						
LOW	51.0	15.4	29.1	0.3	4.3	100.0
ML	45.1	1.9	47.6	4.5	0.8	100.0
MH	66.2	2.0	29.3	2.5	0.0	100.0
HIGH	73.0	1.0	22.1	0.0	3.9	100.0

(Q 13)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	83.3	12.1	3.9	0.7	100.0
(SEX)					
MALE	85.0	11.0	2.9	1.1	100.0
FEMA	81.3	13.4	5.1	0.2	100.0
(AGE)					
-29	94.4	2.9	2.4	0.3	100.0
30-	84.3	9.5	6.3	0.0	100.0
40-	90.0	6.7	2.7	0.6	100.0
50-	86.0	8.8	5.2	0.0	100.0
60	62.6	31.9	3.0	2.5	100.0
(GENERATION)					
1	72.2	24.0	3.4	0.5	100.0
2	83.4	11.2	4.1	1.3	100.0
3	89.5	6.5	4.1	0.0	100.0
DK	92.2	7.8	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	86.3	8.5	5.1	0.0	100.0
ML	87.7	7.9	2.6	1.8	100.0
MH	79.9	13.8	6.0	0.3	100.0
HIGH	70.5	28.5	0.8	0.2	100.0

(Q 16)	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
	8.0	4.8	35.9	25.5	19.2	2.4	3.4	0.7	100.0
(SEX)									
MALE	6.7	4.8	40.9	18.1	23.3	1.1	4.0	1.0	100.0
FEMA	9.5	4.8	29.6	34.6	14.2	4.1	2.7	0.4	100.0
(AGE)									
-29	1.3	7.8	50.0	20.6	10.0	5.9	4.3	0.0	100.0
30-	23.8	2.5	24.9	19.0	23.0	1.6	4.8	0.2	100.0
40-	5.7	3.5	47.1	26.5	12.2	0.9	3.1	1.1	100.0
50-	1.5	6.4	35.8	25.4	26.9	1.5	2.5	0.0	100.0
60	7.3	3.9	22.1	35.8	24.0	2.2	2.5	2.3	100.0
(GENERATION)									
1	4.8	3.8	32.8	26.8	25.2	3.5	1.2	1.9	100.0
2	5.8	4.6	34.2	32.1	18.3	0.5	3.7	0.8	100.0
3	12.6	5.3	40.7	15.4	17.1	4.6	4.4	0.0	100.0
DK	33.1	35.6	0.0	7.9	19.2	4.3	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)									
LOW	12.6	3.2	44.3	15.7	16.9	4.8	1.3	1.1	100.0
ML	5.8	6.6	33.0	27.4	23.0	1.3	3.0	0.0	100.0
MH	6.0	6.9	33.3	32.2	10.4	1.3	8.3	1.5	100.0
HIGH	5.6	0.6	26.6	33.6	30.5	1.4	1.5	0.2	100.0

(Q 17)	1	2	3	4	TOTAL
	19.9	77.8	0.9	1.4	100.0
(SEX)					
MALE	18.3	80.5	1.0	0.2	100.0
FEMA	21.8	74.5	0.8	2.8	100.0
(AGE)					
-29	25.1	74.5	0.4	0.0	100.0
30-	15.4	82.1	2.5	0.0	100.0
40-	9.7	88.8	0.6	1.0	100.0
50-	19.6	79.0	0.7	0.7	100.0
60	29.4	65.0	0.4	5.2	100.0
(GENERATION)					
1	21.1	77.8	0.9	0.1	100.0
2	21.0	76.1	0.4	2.4	100.0
3	17.5	80.8	1.6	0.0	100.0
DK	20.9	46.1	0.0	33.1	100.0
(JSCALE)					
LOW	11.4	87.6	0.5	0.6	100.0
ML	21.7	74.9	0.6	2.8	100.0
MH	28.2	68.4	2.2	1.2	100.0
HIGH	21.9	77.4	0.6	0.0	100.0

(Q 14)	1	2	3	TOTAL
	88.0	9.9	2.1	100.0
(SEX)				
MALE	85.7	12.3	2.0	100.0
FEMA	90.8	7.0	2.3	100.0
(AGE)				
-29	87.7	10.4	1.9	100.0
30-	94.5	2.9	2.3	100.0
40-	91.7	5.0	3.3	100.0
50-	89.1	9.1	1.8	100.0
60	77.1	21.9	1.0	100.0
(GENERATION)				
1	78.2	21.1	0.7	100.0
2	90.0	7.3	2.7	100.0
3	91.0	6.9	2.1	100.0
DK	66.9	33.1	0.0	100.0
(JSCALE)				
LOW	90.8	7.5	1.7	100.0
ML	94.6	4.5	0.9	100.0
MH	80.8	16.9	4.4	100.0
HIGH	76.5	21.3	2.2	100.0

(Q 15)	1	2	3	4	5	6	TOTAL
	16.3	21.2	12.2	40.9	7.8	1.7	100.0
(SEX)							
MALE	18.6	20.4	15.5	37.1	7.3	1.2	100.0
FEMA	13.5	22.2	8.0	45.6	8.4	2.3	100.0
(AGE)							
-29	8.7	11.4	10.0	60.7	8.2	1.0	100.0
30-	26.4	7.8	3.6	55.8	5.9	0.5	100.0
40-	4.2	34.1	8.7	39.1	13.8	0.0	100.0
50-	13.4	33.9	22.2	29.9	0.7	0.0	100.0
60	28.4	19.0	16.5	19.4	10.1	6.7	100.0
(GENERATION)							
1	26.7	16.4	15.4	29.8	9.8	1.9	100.0
2	10.9	30.5	14.6	35.9	6.0	2.2	100.0
3	18.6	9.8	6.8	55.4	8.7	0.0	100.0
DK	0.0	45.2	13.8	7.9	33.1	0.0	100.0
(JSCALE)							
LOW	15.0	21.4	7.9	44.2	11.2	0.5	100.0
ML	12.3	28.1	12.9	40.9	3.6	2.1	100.0
MH	11.8	18.5	16.6	43.5	7.4	2.3	100.0
HIGH	37.6	7.6	13.5	28.2	10.5	2.7	100.0

(Q 19 A)										(Q 19 C)									
1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL		1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL	
TOTAL	2.3	0.0	0.4	2.8	2.6	1.1	90.3	0.6	100.0	TOTAL	4.1	2.8	8.8	20.9	12.6	17.9	32.8	0.1	100.0
(SEX)										(SEX)									
MALE	0.6	0.0	0.6	2.5	3.4	1.1	90.7	1.0	100.0	MALE	2.6	2.7	8.6	22.6	12.6	19.6	31.0	0.1	100.0
FEMA	4.3	0.0	0.0	3.1	1.6	1.0	89.9	0.0	100.0	FEMA	5.9	3.0	9.1	18.8	12.5	15.7	36.9	0.1	100.0
(AGE)										(AGE)									
-29	0.1	0.0	1.0	0.0	8.4	0.2	90.2	0.0	100.0	-29	1.0	3.8	20.2	23.9	9.1	23.3	18.7	0.0	100.0
30-	3.2	0.0	0.1	0.0	3.4	1.0	92.3	0.0	100.0	30-	5.4	3.1	3.6	13.4	12.2	21.9	40.0	0.4	100.0
40-	0.0	0.0	0.7	1.3	0.0	1.6	96.4	0.0	100.0	40-	0.3	0.4	8.1	35.3	8.4	21.3	25.9	0.2	100.0
50-	0.0	0.0	0.0	5.1	0.4	1.1	93.1	0.4	100.0	50-	1.7	1.3	9.7	22.9	8.7	12.8	42.9	0.0	100.0
60	7.8	0.0	0.1	7.6	0.7	1.5	80.0	2.4	100.0	60	11.9	5.5	2.7	9.5	24.1	10.3	36.1	0.0	100.0
(GENERATION)										(GENERATION)									
1	6.7	0.0	0.1	0.2	0.1	1.0	89.3	2.6	100.0	1	9.5	3.7	1.3	9.8	27.1	6.8	42.0	0.0	100.0
2	0.7	0.0	0.7	5.8	1.3	1.2	90.3	0.0	100.0	2	2.9	1.1	11.4	24.0	7.3	20.5	32.7	0.2	100.0
3	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	91.0	0.3	100.0	3	2.9	3.0	9.3	12.2	20.8	27.2	0.0	100.0	
DK	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	90.5	0.0	100.0	DK	0.0	0.0	11.4	30.4	0.0	0.0	50.5	7.8	100.0
(JSSCALE)										(JSSCALE)									
LOW	3.1	0.0	0.0	0.7	2.4	1.3	92.2	0.3	100.0	LOW	3.5	1.6	6.7	18.4	10.9	28.7	30.0	0.1	100.0
ML	0.0	0.0	1.1	6.4	4.8	1.4	86.3	0.0	100.0	ML	3.6	3.8	12.3	27.9	10.7	12.9	28.5	0.2	100.0
MH	0.0	0.0	0.0	2.0	0.9	0.9	93.9	2.2	100.0	MH	1.7	2.2	11.4	22.6	10.1	17.5	34.5	0.0	100.0
HIGH	10.0	0.0	0.1	0.3	0.0	0.0	89.7	0.0	100.0	HIGH	10.9	4.4	0.5	6.2	26.0	4.4	47.6	0.0	100.0

(Q 19 B)										(Q 19 D)									
1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL		1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL	
TOTAL	2.5	0.2	0.2	2.1	3.5	12.6	78.9	0.0	100.0	TOTAL	1.9	1.3	1.2	8.1	9.4	18.3	59.8	0.0	100.0
(SEX)										(SEX)									
MALE	1.1	0.2	0.4	1.8	4.9	13.3	78.4	0.0	100.0	MALE	0.3	0.9	0.4	10.2	8.8	17.8	61.5	0.0	100.0
FEMA	4.3	0.1	0.0	2.4	1.9	11.8	79.5	0.0	100.0	FEMA	3.9	1.7	2.2	5.5	10.1	18.9	57.7	0.0	100.0
(AGE)										(AGE)									
-29	0.0	0.0	1.0	3.0	7.0	18.4	70.5	0.0	100.0	-29	0.9	1.8	0.0	3.7	11.3	42.1	40.3	0.0	100.0
30-	3.2	0.0	0.0	0.5	5.4	16.9	74.0	0.0	100.0	30-	0.4	0.9	0.7	3.2	14.8	16.4	63.5	0.0	100.0
40-	0.0	0.7	0.0	2.6	3.4	7.8	85.3	0.0	100.0	40-	0.0	0.2	4.3	5.5	9.6	15.8	64.6	0.0	100.0
50-	0.0	0.0	0.0	2.9	0.7	10.7	85.7	0.0	100.0	50-	0.0	2.3	0.0	16.0	2.4	9.2	70.1	0.0	100.0
60	9.0	0.2	0.0	1.3	1.2	9.3	79.0	0.0	100.0	60	8.1	1.2	1.2	12.0	8.6	8.2	60.7	0.0	100.0
(GENERATION)										(GENERATION)									
1	9.6	0.3	0.0	0.3	1.9	8.7	79.3	0.0	100.0	1	6.6	1.5	0.7	6.5	5.2	9.2	70.4	0.0	100.0
2	0.0	0.3	0.4	2.8	1.3	10.9	84.3	0.0	100.0	2	0.4	1.1	0.8	11.9	9.6	15.3	60.9	0.0	100.0
3	2.0	0.0	0.0	0.0	7.6	17.4	70.9	0.0	100.0	3	1.5	1.4	2.2	3.4	11.3	28.2	51.9	0.0	100.0
DK	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	12.1	78.4	0.0	100.0	DK	0.0	0.0	0.0	7.9	13.8	0.0	78.3	0.0	100.0
(JSSCALE)										(JSSCALE)									
LOW	2.0	0.0	0.0	1.9	4.8	8.7	82.6	0.0	100.0	LOW	0.8	1.1	2.3	2.8	3.7	23.9	65.3	0.0	100.0
ML	0.0	0.4	0.6	2.4	3.1	19.0	74.5	0.0	100.0	ML	0.0	0.7	0.9	15.9	14.8	23.1	44.7	0.0	100.0
MH	2.6	0.0	0.0	2.6	4.0	9.8	80.9	0.0	100.0	MH	0.0	3.1	0.6	6.6	14.0	10.8	65.0	0.0	100.0
HIGH	9.7	0.4	0.0	0.4	0.7	11.0	77.8	0.0	100.0	HIGH	12.8	0.0	0.0	3.8	1.8	5.2	76.3	0.0	100.0

(Q 19 E)									(Q 19 G)										
TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL	
(SEX)									(SEX)										
MALE	0.7	0.2	0.3	1.5	1.2	8.1	88.1	0.0	100.0	MALE	14.8	14.6	11.8	14.5	11.2	8.8	22.5	1.8	100.0
FEMA	3.0	1.0	0.1	1.8	1.7	6.5	85.2	0.5	100.0	FEMA	13.4	5.5	4.4	16.7	14.8	16.3	26.2	2.7	100.0
(AGE)									(AGE)										
-29	0.0	0.5	0.0	1.5	0.4	6.0	91.6	0.0	100.0	-29	12.8	4.3	9.6	14.7	25.1	26.6	6.9	0.0	100.0
30-	0.5	0.0	0.3	0.9	1.2	12.9	84.2	0.0	100.0	30-	7.4	8.2	5.9	21.3	15.9	11.2	30.2	0.0	100.0
40-	0.0	0.1	0.7	1.6	2.0	10.8	84.8	0.0	100.0	40-	27.9	11.3	6.8	17.8	4.9	10.5	20.8	0.0	100.0
50-	0.0	2.3	0.0	1.6	1.5	4.0	90.7	0.0	100.0	50-	9.1	9.8	17.8	13.4	6.2	6.6	36.4	0.7	100.0
60	8.0	0.0	0.1	2.6	1.9	3.4	82.9	1.2	100.0	60	13.8	18.5	2.7	10.1	11.8	6.2	26.6	10.2	100.0
(GENERATION)									(GENERATION)										
1	7.0	0.6	0.1	4.4	1.4	3.2	82.2	1.3	100.0	1	11.7	19.0	11.9	8.1	7.1	7.1	29.0	6.1	100.0
2	0.7	1.0	0.3	1.1	2.1	7.8	87.1	0.0	100.0	2	17.2	11.1	6.6	13.7	10.4	13.1	26.4	1.3	100.0
3	0.3	0.0	0.2	0.8	0.3	9.3	89.2	0.0	100.0	3	10.6	4.5	9.4	22.0	19.9	13.9	18.6	1.2	100.0
DK	0.0	0.0	0.0	0.0	11.4	13.8	74.8	0.0	100.0	DK	45.2	12.2	0.0	33.1	0.0	9.5	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)									(JSCALE)										
LOW	1.3	0.1	0.0	1.2	1.9	5.2	90.4	0.0	100.0	LOW	21.7	9.3	6.1	16.9	17.1	13.1	15.8	0.0	100.0
ML	0.1	0.0	0.5	1.6	1.4	11.7	84.8	0.0	100.0	ML	4.7	9.1	7.9	14.9	15.6	17.0	28.0	2.7	100.0
MH	0.0	2.0	0.0	0.3	1.1	7.1	88.4	1.1	100.0	MH	16.1	6.8	9.4	18.9	8.1	6.7	31.7	2.5	100.0
HIGH	10.3	0.8	0.1	5.0	1.0	2.5	90.3	0.0	100.0	HIGH	16.5	23.3	14.3	7.3	3.2	7.3	22.3	5.9	100.0

(Q 19 F)										(Q 20)									
TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL		
TOTAL	5.9	3.7	5.4	10.9	9.4	12.9	51.9	0.0	100.0	TOTAL	63.5	17.7	11.0	6.1	1.8	0.0	0.0	100.0	
(SEX)									(SEX)										
MALE	7.4	4.9	4.5	12.3	8.8	13.4	48.6	0.0	100.0	MALE	65.3	16.5	10.7	5.8	1.6	0.0	0.0	100.0	
FEMA	4.0	2.2	6.5	9.1	10.0	12.2	55.9	0.0	100.0	FEMA	61.1	19.1	11.3	6.4	2.0	0.0	0.0	100.0	
(AGE)									(AGE)										
-29	4.7	6.4	4.5	20.4	12.2	16.3	35.4	0.0	100.0	-29	40.5	31.2	21.4	5.9	1.0	0.0	0.0	100.0	
30-	2.0	2.2	8.5	9.8	11.4	20.3	45.7	0.0	100.0	30-	51.2	13.8	19.6	12.3	3.1	0.1	0.0	100.0	
40-	2.7	0.2	5.9	15.9	11.7	7.8	55.8	0.0	100.0	40-	66.5	17.6	7.5	7.8	0.5	0.0	0.0	100.0	
50-	0.3	5.6	2.4	5.2	4.5	12.6	69.4	0.0	100.0	50-	75.9	15.5	4.3	0.6	3.8	0.0	0.0	100.0	
60	19.2	4.1	5.5	3.4	6.9	7.4	53.2	0.1	100.0	60	82.8	10.6	2.1	3.8	0.6	0.0	0.0	100.0	
(GENERATION)									(GENERATION)										
1	22.2	5.3	6.7	5.8	7.0	4.6	48.3	0.1	100.0	1	70.5	19.3	3.4	4.2	2.5	0.0	0.0	100.0	
2	1.1	2.0	4.6	10.0	8.5	13.3	60.5	0.0	100.0	2	74.2	15.0	5.6	4.3	0.8	0.0	0.0	100.0	
3	3.3	5.4	5.9	15.2	12.1	17.3	40.9	0.0	100.0	3	43.1	21.0	23.4	9.9	2.5	0.1	0.0	100.0	
DK	11.4	0.0	0.0	4.3	9.5	0.0	74.8	0.0	100.0	DK	84.3	0.0	0.0	0.0	15.7	0.0	0.0	100.0	
(JSCALE)									(JSCALE)										
LOW	3.0	4.3	4.7	14.4	11.3	9.4	52.8	0.0	100.0	LOW	48.0	19.0	16.8	15.1	1.1	0.1	0.0	100.0	
ML	2.4	1.5	6.1	9.9	6.8	18.0	55.3	0.0	100.0	ML	72.8	15.5	7.8	0.7	3.3	0.0	0.0	100.0	
MH	0.4	6.4	7.0	11.0	11.2	13.9	50.1	0.1	100.0	MH	69.9	15.8	12.7	1.3	0.3	0.0	0.0	100.0	
HIGH	31.4	3.5	2.4	4.4	8.0	6.6	43.8	0.0	100.0	HIGH	66.5	23.5	1.6	6.1	2.3	0.0	0.0	100.0	

(Q 21)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 67.3 15.7 11.3 0.8 4.8 100.0
 (SEX)
 MALE 62.5 16.5 14.8 1.4 4.8 100.0
 FEMA 73.3 14.7 7.0 0.2 4.8 100.0
 (AGE)
 -29 72.2 9.5 11.5 0.0 6.9 100.0
 30- 73.7 12.5 12.5 1.3 0.0 100.0
 40- 69.5 20.9 9.5 0.0 0.0 100.0
 50- 57.9 24.6 11.9 0.4 5.2 100.0
 60 63.4 11.1 11.0 2.5 12.0 100.0
 (GENERATION)
 1 60.1 10.1 21.8 0.0 7.9 100.0
 2 68.8 20.3 5.8 1.2 3.9 100.0
 3 70.5 11.2 13.1 0.8 4.5 100.0
 DK 7.9 71.2 20.9 0.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 75.6 14.8 4.8 0.0 4.7 100.0
 ML 69.7 16.0 10.0 1.0 3.3 100.0
 MH 58.9 22.6 13.7 2.4 4.2 100.0
 HIGH 58.7 5.1 26.4 0.0 9.8 100.0

(Q 23)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 21.1 69.3 9.4 0.1 100.0
 (SEX)
 MALE 30.5 62.8 6.4 0.2 100.0
 FEMA 9.5 77.4 13.0 0.0 100.0
 (AGE)
 -29 19.6 69.7 10.1 0.7 100.0
 30- 7.3 71.7 21.0 0.0 100.0
 40- 26.9 70.0 5.1 0.0 100.0
 50- 26.2 67.6 6.3 0.0 100.0
 60 27.7 67.8 4.5 0.1 100.0
 (GENERATION)
 1 23.2 73.4 3.4 0.1 100.0
 2 25.2 66.9 7.9 0.0 100.0
 3 14.1 70.4 15.1 0.4 100.0
 DK 13.8 78.3 7.9 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 25.0 67.4 7.6 0.0 100.0
 ML 19.8 68.2 11.6 0.4 100.0
 MH 16.1 71.9 12.0 0.1 100.0
 HIGH 23.7 72.7 3.7 0.0 100.0

(Q 22)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 23.1 59.9 13.7 2.3 1.0 100.0
 (SEX)
 MALE 23.9 59.7 14.9 0.4 1.1 100.0
 FEMA 22.1 60.1 12.3 4.7 0.9 100.0
 (AGE)
 -29 2.2 85.1 11.5 1.1 0.0 100.0
 30- 27.3 64.5 7.9 0.2 0.0 100.0
 40- 12.3 73.9 13.8 0.0 0.0 100.0
 50- 39.6 51.0 6.4 2.5 0.4 100.0
 60 33.7 25.9 28.5 7.5 4.5 100.0
 (GENERATION)
 1 33.2 34.1 24.7 8.0 0.0 100.0
 2 24.3 63.5 9.2 1.1 1.9 100.0
 3 15.3 69.5 14.3 0.7 0.3 100.0
 DK 33.9 66.1 0.0 0.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 18.1 66.3 15.0 0.4 0.3 100.0
 ML 22.3 69.5 6.0 0.6 1.5 100.0
 MH 27.9 55.7 12.3 2.0 1.8 100.0
 HIGH 29.2 26.5 32.3 11.9 0.0 100.0

(Q 24)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 38.4 51.3 6.7 1.8 1.8 100.0
 (SEX)
 MALE 35.0 52.7 8.7 1.6 1.9 100.0
 FEMA 42.6 49.4 4.3 2.1 1.6 100.0
 (AGE)
 -29 26.2 63.1 10.2 0.5 0.0 100.0
 30- 32.3 55.0 7.9 4.6 0.2 100.0
 40- 34.4 62.9 2.4 0.0 0.3 100.0
 50- 56.7 33.2 6.3 0.0 3.8 100.0
 60 42.5 42.2 6.8 3.9 4.6 100.0
 (GENERATION)
 1 39.5 51.1 5.8 2.4 1.3 100.0
 2 39.1 51.1 5.5 1.1 3.2 100.0
 3 37.1 51.1 9.2 2.6 0.0 100.0
 DK 20.9 79.1 0.0 0.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 37.5 53.2 6.7 1.8 0.8 100.0
 ML 38.9 52.0 4.8 1.1 3.3 100.0
 MH 38.5 47.9 9.4 2.3 1.9 100.0
 HIGH 39.4 50.2 7.0 3.0 0.4 100.0

(Q 25	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	42.8	35.3	19.7	0.7	1.5	100.0
(SEX						
MALE	40.1	35.9	21.9	0.5	1.6	100.0
FEMA	46.2	34.6	17.0	0.8	1.3	100.0
(AGE						
-29	75.0	16.4	8.3	0.3	0.0	100.0
30-	48.9	29.6	20.0	1.5	0.0	100.0
40-	55.1	27.4	16.1	1.1	0.3	100.0
50-	20.9	55.0	23.3	0.4	0.4	100.0
60	14.7	48.1	30.7	0.0	6.5	100.0
(GENERATION						
1	18.7	34.0	39.8	0.3	7.1	100.0
2	39.2	42.7	16.7	1.2	0.2	100.0
3	62.3	25.4	12.3	0.0	0.0	100.0
DK	28.8	30.4	33.1	0.0	7.8	100.0
(JSCALE						
LOW	59.2	30.8	9.1	0.7	0.1	100.0
ML	45.9	35.8	18.0	0.0	0.2	100.0
MH	32.4	43.9	20.8	2.0	0.9	100.0
HIGH	12.2	30.4	48.7	0.0	8.8	100.0
(Q 26	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	52.7	32.8	9.6	1.6	3.3	100.0
(SEX						
MALE	53.6	30.7	10.9	1.5	3.4	100.0
FEMA	51.6	35.4	8.1	1.7	3.2	100.0
(AGE						
-29	53.0	36.8	6.6	1.6	2.0	100.0
30-	51.4	40.1	4.7	1.5	2.3	100.0
40-	45.1	47.4	6.8	0.0	0.7	100.0
50-	68.3	23.0	3.0	2.3	3.5	100.0
60	46.0	17.2	26.5	2.5	7.9	100.0
(GENERATION						
1	53.5	16.6	25.4	0.0	4.5	100.0
2	52.4	35.1	5.4	2.6	4.5	100.0
3	52.8	38.8	6.5	1.0	0.9	100.0
DK	43.3	37.4	19.3	0.0	0.0	100.0
(JSCALE						
LOW	47.5	48.2	2.1	1.0	1.2	100.0
ML	60.4	27.0	6.6	0.0	6.1	100.0
MH	46.3	31.2	14.1	5.6	2.8	100.0
HIGH	56.8	12.6	28.1	0.0	2.5	100.0
(Q 27	1	2	3	4	TOTAL	
TOTAL	76.7	22.0	1.2	0.2	100.0	
(SEX						
MALE	74.1	24.7	1.2	0.0	100.0	
FEMA	79.9	18.6	1.1	0.4	100.0	
(AGE						
-29	74.4	23.6	2.0	0.0	100.0	
30-	75.5	22.8	1.7	0.0	100.0	
40-	56.8	42.4	0.7	0.0	100.0	
50-	83.8	14.8	1.4	0.0	100.0	
60	92.5	6.5	0.1	0.8	100.0	
(GENERATION						
1	90.5	8.5	0.1	0.9	100.0	
2	72.0	26.8	1.3	0.0	100.0	
3	76.4	21.9	1.7	0.0	100.0	
DK	29.5	70.5	0.0	0.0	100.0	
(JSCALE						
LOW	66.3	33.3	0.4	0.0	100.0	
ML	78.3	19.1	2.6	0.0	100.0	
MH	77.0	21.4	0.9	0.7	100.0	
HIGH	97.8	2.2	0.0	0.0	100.0	
(Q 28	1	2	3	4	TOTAL	
TOTAL	42.8	22.9	33.5	0.8	100.0	
(SEX						
MALE	51.5	17.4	30.5	0.6	100.0	
FEMA	32.1	29.6	37.1	1.2	100.0	
(AGE						
-29	11.6	34.4	51.9	2.1	100.0	
30-	33.0	18.5	47.7	0.8	100.0	
40-	54.9	16.1	28.7	0.3	100.0	
50-	52.7	27.7	18.7	0.8	100.0	
60	61.5	17.8	20.4	0.2	100.0	
(GENERATION						
1	56.8	23.9	18.6	0.6	100.0	
2	50.7	19.0	29.7	0.6	100.0	
3	22.5	28.0	48.1	1.4	100.0	
DK	80.7	11.4	7.9	0.0	100.0	
(JSCALE						
LOW	34.6	18.3	45.6	1.5	100.0	
ML	41.5	30.1	27.9	0.5	100.0	
MH	50.0	8.2	41.0	0.8	100.0	
HIGH	54.4	40.9	4.7	0.0	100.0	

(Q 29)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	10.9	21.5	67.0	0.6	100.0
(SEX)					
MALE	9.9	25.0	64.1	0.9	100.0
FEMA	12.2	17.2	70.5	0.2	100.0
(AGE)					
-29	1.3	25.4	73.3	0.0	100.0
30-	9.2	27.4	63.4	0.0	100.0
40-	1.5	21.0	77.5	0.0	100.0
50-	6.9	14.6	78.2	0.4	100.0
60	35.2	19.1	43.3	2.5	100.0
(GENERATION)					
1	28.1	25.5	43.7	2.7	100.0
2	6.5	16.7	76.7	0.2	100.0
3	7.3	26.5	66.2	0.0	100.0
DK	26.1	4.3	69.6	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	8.1	20.1	71.7	0.0	100.0
HL	4.2	25.0	70.8	0.0	100.0
MH	11.0	18.7	67.7	2.6	100.0
HIGH	35.2	20.8	44.0	0.0	100.0

(Q 30)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	79.9	7.6	8.9	3.6	100.0
(SEX)					
MALE	77.7	8.3	9.7	4.3	100.0
FEMA	82.7	6.7	8.0	2.6	100.0
(AGE)					
-29	80.5	4.5	8.4	6.7	100.0
30-	82.6	4.0	9.9	3.5	100.0
40-	86.3	7.2	6.0	0.5	100.0
50-	89.8	5.1	4.8	0.3	100.0
60	61.0	16.8	15.4	6.8	100.0
(GENERATION)					
1	64.5	15.4	14.4	5.6	100.0
2	86.0	6.1	5.6	2.3	100.0
3	79.6	5.3	10.9	4.3	100.0
DK	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	80.4	5.6	8.6	5.4	100.0
HL	87.7	3.7	6.1	2.5	100.0
MH	78.6	11.2	8.9	1.1	100.0
HIGH	60.7	16.1	17.3	5.9	100.0

(Q 31)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	69.6	22.7	4.9	2.8	100.0
(SEX)					
MALE	65.2	29.5	3.9	1.4	100.0
FEMA	75.0	14.5	6.2	4.5	100.0
(AGE)					
-29	75.7	15.0	7.4	1.9	100.0
30-	78.9	16.1	3.8	1.2	100.0
40-	58.9	34.6	4.6	2.0	100.0
50-	74.8	20.3	2.7	2.2	100.0
60	59.7	27.5	6.1	6.6	100.0
(GENERATION)					
1	52.4	31.1	9.5	7.0	100.0
2	71.3	24.3	2.5	1.9	100.0
3	77.1	15.2	5.9	1.7	100.0
DK	64.4	35.6	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	71.0	24.6	3.3	1.2	100.0
HL	73.1	19.6	4.7	2.6	100.0
MH	72.1	21.1	4.4	2.4	100.0
HIGH	52.7	28.9	10.5	7.9	100.0

(Q 32)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	76.1	18.6	2.9	2.4	100.0
(SEX)					
MALE	73.2	22.2	2.9	1.7	100.0
FEMA	79.6	14.1	3.0	3.4	100.0
(AGE)					
-29	76.6	16.4	5.2	1.7	100.0
30-	80.1	14.7	3.8	1.5	100.0
40-	66.5	28.4	3.5	1.5	100.0
50-	79.0	17.2	2.3	1.5	100.0
60	78.0	16.2	0.0	5.8	100.0
(GENERATION)					
1	70.3	22.9	1.3	5.6	100.0
2	79.1	17.1	2.2	1.6	100.0
3	75.1	17.9	5.1	1.8	100.0
DK	64.4	35.6	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	70.4	25.7	2.4	1.5	100.0
HL	78.4	15.2	4.3	2.1	100.0
MH	78.6	15.3	3.5	2.6	100.0
HIGH	79.7	14.9	0.0	5.5	100.0

(Q 33)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 44.9 14.4 33.6 5.7 1.5 100.0
 (SEX)
 MALE 49.2 16.1 26.8 6.2 1.7 100.0
 FEHA 39.6 12.2 42.0 5.1 1.2 100.0
 (AGE)
 -29 49.5 8.6 25.9 15.6 0.5 100.0
 30- 22.6 18.4 50.2 7.5 1.2 100.0
 40- 44.2 5.8 43.8 5.2 1.0 100.0
 50- 56.5 9.5 33.8 0.2 0.0 100.0
 60 51.7 28.9 14.6 0.2 4.6 100.0
 (GENERATION)
 1 51.3 27.2 16.4 1.7 3.4 100.0
 2 49.5 8.7 37.9 2.3 1.5 100.0
 3 34.8 15.3 36.6 13.1 0.3 100.0
 DK 15.7 9.5 74.8 0.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 33.4 11.9 42.9 10.2 1.7 100.0
 ML 53.6 9.2 31.1 5.8 0.6 100.0
 MH 40.6 15.3 38.6 1.9 3.5 100.0
 HIGH 58.4 31.9 8.6 0.8 0.3 100.0

(Q 34)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 17.6 49.7 26.5 1.8 4.3 100.0
 (SEX)
 MALE 18.9 45.0 26.2 2.4 7.5 100.0
 FEHA 16.1 55.6 27.0 1.0 0.3 100.0
 (AGE)
 -29 12.3 60.6 24.3 2.7 0.0 100.0
 30- 23.7 50.2 25.1 0.5 0.6 100.0
 40- 14.7 60.3 23.6 0.8 0.6 100.0
 50- 13.9 35.8 28.3 3.5 18.5 100.0
 60 23.2 42.0 31.4 1.4 2.1 100.0
 (GENERATION)
 1 22.4 38.2 34.2 2.5 0.7 100.0
 2 17.1 46.9 25.9 1.5 8.5 100.0
 3 15.4 60.2 22.4 1.8 0.4 100.0
 DK 26.1 73.9 0.0 0.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 12.3 64.2 20.7 1.7 1.2 100.0
 ML 15.1 49.8 22.7 0.6 11.8 100.0
 MH 28.4 33.5 34.4 3.5 0.2 100.0
 HIGH 18.7 41.7 37.5 2.2 0.0 100.0

(Q 35)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 82.3 42.4 33.6 32.5 190.8
 (SEX)
 MALE 79.5 47.9 30.0 29.1 186.6
 FEHA 85.7 35.7 38.0 36.7 196.1
 (AGE)
 -29 74.7 26.9 49.7 48.4 199.7
 30- 83.5 25.4 45.8 43.4 198.2
 40- 86.5 44.7 28.6 39.7 199.5
 50- 81.0 46.5 25.1 19.2 171.8
 60 85.5 68.3 18.8 12.3 185.0
 (GENERATION)
 1 77.7 45.9 18.1 12.1 173.7
 2 88.4 41.7 28.2 34.1 192.4
 3 75.6 29.2 50.9 42.6 198.3
 DK 100.0 84.3 11.4 4.3 200.0
 (JSCALE)
 LOW 80.4 32.7 41.1 43.3 197.5
 ML 85.6 41.2 38.3 32.6 197.7
 MH 84.0 46.1 25.1 30.2 185.4
 HIGH 75.7 63.6 17.4 9.4 166.1

(Q 36)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 69.5 14.9 10.0 5.6 100.0
 (SEX)
 MALE 66.1 16.4 8.9 8.6 100.0
 FEHA 73.7 13.0 11.5 1.8 100.0
 (AGE)
 -29 80.9 6.5 12.6 0.0 100.0
 30- 63.9 21.1 10.9 4.1 100.0
 40- 77.8 7.2 12.9 2.2 100.0
 50- 58.8 21.3 5.8 14.1 100.0
 60 66.3 18.1 8.1 7.5 100.0
 (GENERATION)
 1 70.2 12.3 9.8 7.6 100.0
 2 66.2 16.4 8.8 8.6 100.0
 3 74.2 14.1 11.5 0.1 100.0
 DK 53.9 12.1 34.0 0.0 100.0
 (JSCALE)
 LOW 82.2 12.4 3.3 2.1 100.0
 ML 64.3 11.7 13.3 10.5 100.0
 MH 57.4 21.6 15.7 5.2 100.0
 HIGH 71.8 17.1 8.6 2.4 100.0

(Q 37)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 21.3 67.0 5.5 6.3 100.0
 (SEX)
 MALE 17.1 71.9 2.2 0.9 100.0
 FEMALE 26.5 60.8 9.6 3.1 100.0
 (AGE)
 -29 24.1 61.9 13.9 0.0 100.0
 30- 12.1 74.7 9.2 3.9 100.0
 40- 18.0 76.5 3.3 2.2 100.0
 50- 25.2 58.8 1.2 14.8 100.0
 60 26.8 62.7 0.0 10.4 100.0
 (GENERATION)
 1 18.8 74.9 1.9 4.4 100.0
 2 23.6 60.7 6.5 9.1 100.0
 3 19.2 71.5 6.2 3.2 100.0
 DK 25.2 67.0 0.0 7.8 100.0
 (JSKALE)
 LOW 18.2 72.9 5.3 3.7 100.0
 HL 25.2 55.1 7.9 11.7 100.0
 MH 20.8 70.5 5.4 3.3 100.0
 HIGH 19.5 76.5 0.0 4.0 100.0

(Q 38)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 75.6 16.2 7.2 1.1 100.0
 (SEX)
 MALE 74.8 14.5 5.3 1.5 100.0
 FEMALE 74.1 15.8 9.5 0.6 100.0
 (AGE)
 -29 58.6 22.6 16.9 1.9 100.0
 30- 74.6 15.2 9.4 0.7 100.0
 40- 85.7 4.7 9.7 0.0 100.0
 50- 85.0 15.0 0.0 0.0 100.0
 60 73.9 23.2 0.0 2.8 100.0
 (GENERATION)
 1 83.7 14.3 0.5 1.4 100.0
 2 76.4 14.2 8.2 1.1 100.0
 3 69.5 20.1 9.6 0.8 100.0
 DK 73.9 26.1 0.0 0.0 100.0
 (JSKALE)
 LOW 70.6 17.0 11.3 1.1 100.0
 HL 76.2 13.7 8.6 1.4 100.0
 MH 80.1 16.9 3.0 0.0 100.0
 HIGH 78.1 19.3 0.5 2.0 100.0

(Q 39)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 50.3 42.3 4.0 3.4 100.0
 (SEX)
 MALE 50.8 43.4 2.4 3.3 100.0
 FEMALE 49.6 40.8 6.1 3.6 100.0
 (AGE)
 -29 50.3 40.8 7.3 1.7 100.0
 30- 58.0 38.7 1.2 2.2 100.0
 40- 54.0 35.2 9.6 1.2 100.0
 50- 46.9 48.1 2.2 2.8 100.0
 60 42.4 48.5 0.0 9.1 100.0
 (GENERATION)
 1 56.1 38.4 2.6 2.9 100.0
 2 42.8 46.7 4.9 5.6 100.0
 3 57.7 37.9 3.6 0.7 100.0
 DK 56.7 43.3 0.0 0.0 100.0
 (JSKALE)
 LOW 49.3 42.9 5.4 2.4 100.0
 HL 47.1 42.6 5.2 5.1 100.0
 MH 56.9 37.6 2.5 3.0 100.0
 HIGH 49.2 47.9 0.2 2.7 100.0

(Q 40)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 24.7 67.5 3.2 4.5 100.0
 (SEX)
 MALE 24.0 67.5 2.5 6.0 100.0
 FEMALE 25.6 67.6 4.1 2.7 100.0
 (AGE)
 -29 30.3 62.5 6.9 0.2 100.0
 30- 38.4 56.9 4.1 0.6 100.0
 40- 22.9 71.0 5.1 1.0 100.0
 50- 17.2 66.8 0.0 16.0 100.0
 60 14.9 80.3 0.0 4.8 100.0
 (GENERATION)
 1 15.5 80.3 0.3 3.9 100.0
 2 22.6 68.0 1.6 7.8 100.0
 3 33.3 59.3 7.4 0.0 100.0
 DK 20.9 79.1 0.0 0.0 100.0
 (JSKALE)
 LOW 28.7 67.5 2.3 1.6 100.0
 HL 26.5 57.2 6.9 9.4 100.0
 MH 26.2 70.5 1.0 2.3 100.0
 HIGH 8.0 89.1 0.0 2.9 100.0

(Q 41)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	40.9	50.5	5.6	3.0	100.0
(SEX)					
MALE	43.7	45.6	6.5	4.2	100.0
FEMA	37.5	56.5	4.4	1.6	100.0
(AGE)					
-29	35.8	57.0	7.2	0.0	100.0
30-	29.4	66.4	4.1	0.1	100.0
40-	37.6	58.4	3.9	0.1	100.0
50-	63.6	22.9	10.0	3.5	100.0
60	38.4	47.5	2.8	11.3	100.0
(GENERATION)					
1	38.6	41.0	13.9	6.5	100.0
2	51.0	43.0	2.3	3.7	100.0
3	27.7	66.6	5.6	0.1	100.0
DK	25.2	74.8	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	38.8	59.1	0.3	1.8	100.0
ML	42.5	47.4	6.8	3.3	100.0
MH	49.0	43.5	6.5	1.1	100.0
HIGH	28.0	49.1	14.1	8.8	100.0

(Q 43)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	6.1	90.7	2.8	0.3	100.0
(SEX)					
MALE	5.8	90.0	3.7	0.6	100.0
FEMA	6.5	91.7	1.8	0.0	100.0
(AGE)					
-29	4.9	91.0	4.0	0.0	100.0
30-	3.9	92.7	3.4	0.0	100.0
40-	4.1	93.5	2.4	0.0	100.0
50-	6.5	92.5	1.0	0.0	100.0
60	11.0	84.2	3.2	1.6	100.0
(GENERATION)					
1	16.1	80.0	3.9	0.0	100.0
2	2.7	94.2	2.5	0.7	100.0
3	5.2	92.0	2.8	0.0	100.0
DK	13.8	86.2	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	4.0	94.5	0.5	1.0	100.0
ML	3.7	92.9	3.4	0.0	100.0
MH	7.6	86.4	6.0	0.0	100.0
HIGH	15.3	83.3	1.4	0.0	100.0

(Q 42)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	57.6	35.8	2.9	3.6	100.0
(SEX)					
MALE	54.7	39.9	2.8	2.7	100.0
FEMA	61.3	30.9	3.0	4.9	100.0
(AGE)					
-29	65.7	24.3	3.7	6.2	100.0
30-	77.3	17.1	3.5	2.2	100.0
40-	66.8	30.7	2.4	0.2	100.0
50-	29.9	65.3	0.2	4.6	100.0
60	48.3	42.1	4.5	5.1	100.0
(GENERATION)					
1	44.1	49.1	2.5	4.3	100.0
2	51.6	45.0	2.3	3.1	100.0
3	74.5	17.4	4.0	4.1	100.0
DK	48.7	51.3	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	66.2	26.0	2.4	5.4	100.0
ML	57.4	37.5	2.7	2.4	100.0
MH	53.3	40.2	4.2	2.2	100.0
HIGH	44.3	48.4	2.4	4.9	100.0

(Q 44)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	45.5	38.3	8.5	7.7	100.0
(SEX)					
MALE	54.0	32.8	7.0	6.2	100.0
FEMA	35.1	45.0	10.4	9.5	100.0
(AGE)					
-29	53.6	38.8	4.1	3.4	100.0
30-	43.7	42.6	13.5	0.2	100.0
40-	47.7	45.3	4.0	3.0	100.0
50-	46.2	28.4	8.7	16.7	100.0
60	36.7	36.1	12.2	15.0	100.0
(GENERATION)					
1	43.4	39.2	8.2	9.3	100.0
2	46.3	33.3	9.3	11.1	100.0
3	45.6	44.9	7.6	1.9	100.0
DK	50.5	41.0	7.8	0.0	100.0
(JSCALE)					
LOW	48.9	39.8	9.3	2.0	100.0
ML	39.9	38.9	10.6	10.6	100.0
MH	51.8	30.7	9.0	8.4	100.0
HIGH	40.7	45.8	0.6	13.0	100.0

(Q 45)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 75.3 23.0 1.2 0.0 0.4 100.0
 (SEX)
 MALE 78.7 20.1 0.6 0.0 0.6 100.0
 FEMALE 71.1 26.7 2.0 0.0 0.2 100.0
 (AGE)
 -29 83.9 16.1 0.0 0.0 0.0 100.0
 30- 66.4 33.2 0.4 0.1 0.0 100.0
 40- 79.7 18.8 1.5 0.0 0.0 100.0
 50- 80.1 18.8 0.8 0.0 0.0 100.0
 60 67.0 27.9 3.5 0.0 1.6 100.0
 (GENERATION)
 1 72.4 24.1 3.4 0.0 0.1 100.0
 2 76.9 21.2 1.1 0.0 0.8 100.0
 3 74.4 23.3 0.3 0.0 0.0 100.0
 DK 92.2 7.8 0.0 0.0 0.0 100.0
 (JSSCALE)
 LOW 80.4 18.4 0.3 0.0 1.0 100.0
 ML 75.3 23.5 1.1 0.0 0.0 100.0
 MH 71.2 26.2 2.3 0.0 0.3 100.0
 HIGH 69.9 27.8 2.2 0.0 0.1 100.0

(Q 49)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 91.0 6.0 2.5 0.4 100.0
 (SEX)
 MALE 88.7 8.4 2.2 0.6 100.0
 FEMALE 93.9 3.1 2.9 0.1 100.0
 (AGE)
 -29 88.9 10.7 0.4 0.0 100.0
 30- 86.0 8.9 4.8 0.3 100.0
 40- 94.6 4.5 0.7 0.2 100.0
 50- 94.1 3.0 2.9 0.0 100.0
 60 91.6 3.2 3.7 1.6 100.0
 (GENERATION)
 1 91.3 4.2 4.0 0.5 100.0
 2 94.0 3.5 1.8 0.7 100.0
 3 86.6 10.4 2.8 0.0 100.0
 DK 84.3 15.7 0.0 0.0 100.0
 (JSSCALE)
 LOW 88.1 8.8 2.1 1.0 100.0
 ML 92.8 5.4 1.6 0.2 100.0
 MH 92.5 4.8 2.7 0.0 100.0
 HIGH 91.0 2.8 5.9 0.3 100.0

(Q 48)
 1 2 3 TOTAL
 TOTAL 89.4 10.3 0.3 100.0
 (SEX)
 MALE 90.2 9.3 0.6 100.0
 FEMALE 88.5 11.5 0.0 100.0
 (AGE)
 -29 92.1 7.9 0.0 100.0
 30- 83.2 16.8 0.0 100.0
 40- 87.4 12.6 0.0 100.0
 50- 92.3 7.7 0.0 100.0
 60 92.0 6.4 1.6 100.0
 (GENERATION)
 1 91.7 8.3 0.0 100.0
 2 87.7 11.7 0.7 100.0
 3 90.6 9.4 0.0 100.0
 DK 88.6 11.4 0.0 100.0
 (JSSCALE)
 LOW 92.3 6.7 1.0 100.0
 ML 88.8 11.2 0.0 100.0
 MH 84.9 15.1 0.0 100.0
 HIGH 91.7 8.3 0.0 100.0

(Q 50)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 64.6 29.6 2.2 3.6 100.0
 (SEX)
 MALE 61.9 32.1 2.0 4.0 100.0
 FEMALE 67.9 26.5 2.5 3.1 100.0
 (AGE)
 -29 61.5 35.6 1.6 1.3 100.0
 30- 47.4 42.7 7.1 2.9 100.0
 40- 69.7 26.8 1.0 2.5 100.0
 50- 72.7 23.1 0.3 3.9 100.0
 60 71.8 19.9 1.0 7.3 100.0
 (GENERATION)
 1 65.0 28.5 1.8 4.7 100.0
 2 73.0 21.4 0.5 5.1 100.0
 3 51.6 42.6 5.0 0.8 100.0
 DK 88.6 11.4 0.0 0.0 100.0
 (JSSCALE)
 LOW 53.1 42.9 0.6 3.4 100.0
 ML 72.0 21.5 4.1 2.3 100.0
 MH 68.1 22.4 2.8 6.6 100.0
 HIGH 68.0 29.7 0.1 2.1 100.0

(Q 51 A)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 63.9 23.6 1.3 0.3 10.8 100.0
 (SEX)
 MALE 70.9 19.3 0.7 0.0 9.0 100.0
 FEMA 55.2 28.8 2.0 0.8 13.1 100.0
 (AGE)
 -29 55.6 36.4 3.1 0.0 4.8 100.0
 30- 59.5 34.0 0.4 0.0 6.1 100.0
 40- 72.8 15.6 0.0 0.0 11.6 100.0
 50- 75.7 7.2 1.9 0.0 15.2 100.0
 60 56.3 24.4 1.2 1.7 16.5 100.0
 (GENERATION)
 1 72.0 15.0 1.3 1.8 9.9 100.0
 2 66.8 17.2 0.9 0.0 15.1 100.0
 3 55.8 37.5 1.9 0.0 4.8 100.0
 DK 17.4 48.7 0.0 0.0 33.9 100.0
 (JSCALE)
 LOW 62.2 31.3 2.3 0.0 4.2 100.0
 ML 65.4 20.8 0.9 0.0 12.9 100.0
 MH 59.6 19.4 1.2 1.6 18.2 100.0
 HIGH 71.8 18.8 0.0 0.0 9.3 100.0

(Q 51 B)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 26.6 40.1 8.4 3.4 21.6 100.0
 (SEX)
 MALE 27.0 45.2 9.4 3.2 15.2 100.0
 FEMA 26.0 33.7 7.1 3.7 29.6 100.0
 (AGE)
 -29 26.8 39.3 8.4 12.3 13.1 100.0
 30- 40.7 41.0 4.3 2.6 11.4 100.0
 40- 21.9 51.5 9.4 2.1 15.0 100.0
 50- 25.9 31.5 11.3 0.0 31.3 100.0
 60 17.5 37.0 8.4 0.0 37.0 100.0
 (GENERATION)
 1 24.8 42.0 11.2 1.1 21.0 100.0
 2 22.7 36.4 9.3 1.6 30.0 100.0
 3 33.6 43.9 5.6 7.5 9.4 100.0
 DK 0.0 66.1 0.0 0.0 33.9 100.0
 (JSCALE)
 LOW 25.1 54.3 6.1 5.8 8.7 100.0
 ML 28.9 27.6 6.7 4.1 32.8 100.0
 MH 23.2 34.2 18.5 0.9 23.2 100.0
 HIGH 30.0 46.8 0.8 0.0 22.4 100.0

(Q 51 C)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 18.4 39.3 18.1 2.9 21.2 100.0
 (SEX)
 MALE 14.3 50.0 17.6 0.4 17.7 100.0
 FEMA 23.6 26.2 18.6 6.0 25.6 100.0
 (AGE)
 -29 21.5 46.3 18.3 6.4 7.5 100.0
 30- 28.6 36.7 22.3 5.1 7.4 100.0
 40- 20.6 40.0 14.9 1.1 23.5 100.0
 50- 11.2 33.1 16.7 1.9 37.2 100.0
 60 10.5 40.7 18.0 0.3 30.5 100.0
 (GENERATION)
 1 6.6 56.8 17.0 0.3 21.4 100.0
 2 23.1 50.2 16.3 2.1 28.2 100.0
 3 18.7 43.5 21.5 5.6 10.7 100.0
 DK 4.3 53.9 7.9 0.0 33.9 100.0
 (JSCALE)
 LOW 22.8 39.6 18.5 8.0 11.1 100.0
 ML 24.5 32.0 13.3 0.5 29.7 100.0
 MH 12.9 36.4 26.4 1.0 23.3 100.0
 HIGH 1.8 62.5 14.7 0.0 21.0 100.0
 (Q 51 D)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 17.6 35.9 16.4 1.1 29.1 100.0
 (SEX)
 MALE 18.7 40.9 13.2 0.6 26.5 100.0
 FEMA 16.2 29.6 20.4 1.6 32.2 100.0
 (AGE)
 -29 22.7 50.6 18.5 0.3 7.6 100.0
 30- 19.0 45.2 15.0 3.5 17.3 100.0
 40- 16.0 25.3 12.2 0.3 46.1 100.0
 50- 24.7 22.6 21.3 1.1 30.3 100.0
 60 5.9 35.4 15.1 0.0 43.6 100.0
 (GENERATION)
 1 12.8 45.7 14.0 0.0 27.5 100.0
 2 18.0 22.1 19.7 1.3 38.7 100.0
 3 20.1 49.9 13.2 1.1 15.7 100.0
 DK 4.3 53.9 7.9 0.0 33.9 100.0
 (JSCALE)
 LOW 26.1 34.3 12.6 1.4 25.6 100.0
 ML 12.2 34.0 19.7 1.3 32.8 100.0
 MH 18.0 29.6 19.6 1.0 31.7 100.0
 HIGH 9.5 55.2 11.9 0.0 23.4 100.0

(Q 52						
	1	2	3	4	5	6
TOTAL	38.2	28.0	21.6	5.2	5.1	1.8
(SEX						
MALE	38.1	29.2	15.9	7.8	7.3	1.6
FEMA	38.3	26.6	28.6	2.1	2.4	2.1
(AGE						
-29	31.7	41.9	9.6	8.6	8.2	0.0
30-	36.7	28.0	28.0	3.8	3.5	0.0
40-	44.2	35.0	16.4	2.4	2.0	0.0
50-	30.3	23.7	28.6	11.3	3.3	2.8
60	47.7	12.0	25.2	0.4	8.4	6.3
(GENERATION						
1	43.4	15.7	19.5	12.5	7.0	2.0
2	40.3	25.3	25.1	3.1	3.1	3.1
3	32.4	38.9	17.4	4.3	7.1	0.0
DK	19.3	39.9	40.8	0.0	0.0	0.0
(JSCALE						
LOW	33.1	34.6	20.2	6.3	4.8	1.0
ML	37.6	30.9	23.1	2.0	2.7	1.7
MH	39.9	24.1	21.6	3.4	6.8	4.2
HIGH	49.2	10.9	13.9	14.3	9.4	0.4
(AGE						
-29	0.9	3.0	7.9	17.0	71.2	100.0
30-	7.3	13.8	32.0	33.6	13.2	100.0
40-	49.6	39.5	8.5	0.9	1.5	100.0
50-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
60	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
(SEX						
MALE	19.8	16.0	20.7	22.3	21.2	100.0
FEMA	19.9	25.2	18.8	16.6	19.5	100.0
(AGE						
-29	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30-	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
40-	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
50-	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
60	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
(GENERATION						
1	0.9	3.0	7.9	17.0	71.2	100.0
2	7.3	13.8	32.0	33.6	13.2	100.0
3	49.6	39.5	8.5	0.9	1.5	100.0
DK	0.0	11.4	40.8	30.4	17.4	100.0
(JSCALE						
LOW	35.4	29.8	26.0	6.7	2.1	100.0
ML	21.2	24.5	16.8	24.5	13.0	100.0
MH	6.5	11.3	25.0	30.3	26.8	100.0
HIGH	0.8	0.0	3.4	21.8	74.0	100.0

Escala de Japoneses

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	23.6	21.8	18.9	14.5	10.3	3.8	0.9	5.3	0.8	100.0
(SEX)										
MALE	19.1	22.0	19.6	12.9	12.0	3.8	0.8	8.3	1.5	100.0
FEMA	29.3	21.5	18.1	16.5	8.3	3.8	1.0	1.5	0.0	100.0
(AGE)										
-29	20.4	14.1	22.9	20.4	6.0	3.1	1.5	9.5	0.0	100.0
30-	18.4	19.6	18.6	17.9	21.3	5.6	0.3	0.3	0.0	100.0
40-	11.6	31.6	33.3	12.5	6.2	0.8	1.3	0.2	100.0	
50-	42.1	18.4	11.2	9.2	15.9	2.1	0.0	0.0	1.0	100.0
60	25.8	23.1	10.7	12.5	6.0	2.2	1.9	15.0	3.0	100.0
(GENERATION)										
1	22.0	20.7	10.1	10.5	10.4	3.1	2.4	17.9	2.8	100.0
2	28.9	26.5	21.1	11.5	9.0	2.2	0.3	0.0	0.6	100.0
3	16.8	15.9	20.9	21.5	12.3	6.2	0.7	5.8	0.0	100.0
DK	33.9	0.0	12.2	0.0	9.5	33.1	11.4	0.0	0.0	100.0
(JSSCALE)										
LOW	19.9	23.0	27.4	9.1	8.4	6.6	0.2	5.4	0.0	100.0
ML	31.2	17.9	19.0	17.8	11.7	1.8	0.4	0.2	0.0	100.0
MH	22.7	28.8	11.5	19.4	9.0	2.2	2.9	1.9	1.6	100.0
HIGH	15.3	16.6	10.2	11.1	13.9	5.0	0.3	24.0	3.7	100.0

Escala de 'giri-ninjo'

	0	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	16.6	44.3	27.0	11.3	0.7	0.0	100.0
(SEX)							
MALE	13.6	47.6	24.7	14.1	0.0	0.0	100.0
FEMA	20.3	40.2	29.9	8.0	1.6	0.0	100.0
(AGE)							
-29	29.4	53.8	16.6	0.2	0.0	0.0	100.0
30-	27.6	50.0	12.7	9.7	0.0	0.0	100.0
40-	14.4	43.2	20.9	20.3	1.1	0.0	100.0
50-	7.4	47.2	37.4	5.4	2.6	0.0	100.0
60	4.3	27.8	47.0	20.8	0.0	0.0	100.0
(GENERATION)							
1	4.6	37.0	33.4	22.7	2.3	0.0	100.0
2	11.5	46.2	30.4	11.2	0.6	0.0	100.0
3	31.1	46.5	17.4	5.0	0.0	0.0	100.0
DK	11.4	4.3	76.5	7.8	0.0	0.0	100.0
(JSSCALE)							
LOW	20.8	48.5	15.2	15.6	0.0	0.0	100.0
ML	19.6	48.8	26.9	4.5	0.2	0.0	100.0
MH	14.5	37.2	41.4	6.0	1.0	0.0	100.0
HIGH	2.3	35.0	31.7	27.6	3.4	0.0	100.0

Escala de Afeição

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	0.9	2.7	8.1	22.2	31.7	19.8	9.9	4.4	0.3	100.0
(SEX)										
MALE	1.1	2.5	6.0	22.2	36.6	18.8	9.6	2.8	0.4	100.0
FEMA	0.6	3.0	10.7	22.1	25.7	21.1	10.2	6.4	0.3	100.0
(AGE)										
-29	0.0	4.5	12.1	27.4	23.6	18.4	11.0	3.0	0.0	100.0
30-	1.3	1.6	14.1	19.8	35.6	15.2	11.5	0.9	0.0	100.0
40-	0.3	6.4	6.9	22.5	39.5	18.7	4.6	1.1	0.0	100.0
50-	0.0	1.2	3.0	30.2	35.3	11.8	11.8	6.0	0.7	100.0
60	2.7	0.0	4.4	11.4	25.0	34.6	10.4	10.7	1.0	100.0
(GENERATION)										
1	1.2	1.8	6.9	23.2	25.2	26.8	9.4	4.9	0.4	100.0
2	0.8	3.1	4.6	19.6	36.6	20.3	9.6	5.0	0.5	100.0
3	0.8	2.8	14.1	25.4	28.8	14.2	10.6	3.2	0.0	100.0
DK	0.0	0.0	0.0	20.9	4.3	67.0	7.8	0.0	0.0	100.0
(JSSCALE)										
LOW	2.0	1.3	10.3	20.7	38.3	15.7	10.6	1.2	0.0	100.0
ML	0.0	5.0	7.0	27.1	27.9	18.6	11.0	3.1	0.4	100.0
MH	0.0	2.5	10.2	17.9	31.2	21.7	8.6	7.3	0.5	100.0
HIGH	1.8	0.8	2.0	20.7	28.2	30.0	7.5	10.3	0.6	100.0

Escala de Respostas Intermediárias

	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	31.9	33.0	22.3	12.9	100.0
(SEX)					
MALE	32.3	28.6	23.4	15.7	100.0
FEMA	31.4	38.4	20.9	9.4	100.0
(AGE)					
-29	57.0	35.2	7.2	0.5	100.0
30-	47.3	40.2	12.5	0.0	100.0
40-	41.8	27.9	28.1	2.2	100.0
50-	10.7	40.8	34.2	14.2	100.0
60	3.3	20.9	29.2	46.6	100.0
(GENERATION)					
1	0.0	12.4	26.6	61.0	100.0
2	25.4	42.9	29.8	1.8	100.0
3	59.5	30.8	8.4	1.2	100.0
DK	60.1	4.3	35.6	0.0	100.0
(JSSCALE)					
LOW	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ML	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
MH	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
HIGH	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0

Questionario de Comportamento Atitudinal

**Lista dos Itens da Pesquisa de
Atitude de Comportamento dos Nikkeis dos Brasil**

Questionario de Comportamento Atitudinal

LISTA DOS ITENS DA PESQUISA DE ATITUDE E COMPORTAMENTO
DOS NIKKEIS DO BRASIL

FACE SHEET

FOLHA-CAPA: Sexo, Idade.

- F 1. (H70) Faz conta mentalmente, em japonês ou em portugueses?
F 2. (Cartão H42) - Lê jornal?
Lê jornal em japonês
Lê jornal em português
F 3. Gosta de músicas, brasileira, japonesa?
F 4. (Cartão H55) Assiste vídeo japonês?
F 5. (Cartão H46) Etnias dos amigos
F 6. Relações humanas no local de trabalho e etnias
F 7. (H Face 51) Sentimento de "mottainai" ao jogar fora alimentos?
F 8. (H68) Escreve carta em japonês, em português?
F 9. É sindicalizado?
F10. Anos de frequência em escola de língua japonesa.
-

ITENS PARA TRANSCRIÇÃO

- | | |
|--------------|---|
| (Cartão H13) | Estado civil |
| (Cartão H8) | Nacionalidade |
| (H9) | Naturalidade |
| (H11) | Geração |
| (H12) | Nº de anos de residência no Brasil |
| (H16,82,18) | Profissão própria e do cônjuge |
| (H21) | Chefe da Unidade Doméstica |
| (H23) | Escolaridade |
| (H25) | É nikkei o cônjuge? |
| (H26) | Língua que conversa com pessoas que não da família? |
| (H39) | Nível de capacitação em língua japonesa |
| (H7) | Forma de dar nome: Em japonês? |
| (H40) | Associações japonesas a que pertence |
-

- Q 1 (Nova pergunta 1) - Opinião sobre os pontos bons e ruins do Brasil.
b. - O que você pensa sobre isso?
Q 2 (Nova pergunta 2) - Opinião sobre os pontos bons e ruins do Brasil
Q 3 (Nova pergunta 3) - O que gostaria de fazer com vista o Japão?
Q 4 (Nova pergunta 4) - Como descendente de japoneses, o que deseja transmitir para a geração seguinte?

- Q 5 (Nova pergunta 5) - Como descendente de japoneses, quais as contribuições que os nikkeis podem dar ao Brasil?
- Q 6 (H19) - Você já foi ao Japão?
1. Sim 2. Não
b. - Quem respondeu sim: Quanto tempo? Objetivos?
- Q 7 (Nova pergunta 6) - Deseja ir ao Japão?
1. Sim 2. Não
b. - Quem respondeu sim: Objetivos?
- Q 8 <Cartão (15)> - Condições de saúde
- Q 9 <Cartão (N.P 7)> - Cada qual tem expectativa, esperança no futuro. Em relação aos itens: Quais as suas expectativas e esperanças?
a. Sucessos social e econômico
b. Casamento e vida familiar
c. Futuro dos filhos
d. Mundo melhor
e. Política e economia do país
f. Paz do mundo
g. Conservação do meio ambiente
- <Escala de avaliação>
Muita esperança
Alguma esperança
Pouca esperança
Sem qualquer esperança
Outras
Não sei
Não corresponde
- Q10 <Cartão (9)> - Preocupação em relação a si e para com os familiares
Doença, acidente de carro, etc.
Acrescentam-se os seguintes itens:
Violência
Drogas
Problemas ambientais
Economia e política do País
- Q11 (11) - Respeito aos ancestrais. Mais ou menos que a média geral?
- Q12 (12) - Fará de um filho adotivo sucessor seu?
- Q13 (18) - Trabalhará, mesmo que tenha dinheiro suficiente que o dispense disso?
- Q14 <Cartão (19)> - Mesmo possuindo dinheiro, a vida sem trabalho não é plena?
- Q15 <Cartão (20)> - Qual o assunto que desperta seu interesse? (Condição para trabalho)
- Q16 <Cartão (22)> - Atitude perante a vida. Qual a sua forma de viver?
- Q17 <Cartão (25)> - Como deve ser o fecho da história do grilo e da formiga na Fábula de

- Esopo?
- Q18 (26) - O que considera mais importante na vida
- Q19 <Cartão (27)> b. Citar aqueles que acha mais importantes
- Dentro do seu ambiente em que vive, dar o seu grau de avaliação
- Família
- Trabalho
- Amigo
- Q20 <Cartão (29)> - Está satisfeito com a sua vida?
- Q21 (32) - Com o desenvolvimento científico e tecnológico, os sentimentos humanos vão se perdendo?
- Q22 (33) - É conveniente ensinar-se à criança que o dinheiro é a coisa mais importante?
- Q23 (H 6) - Ensinar à criança o valor da liberdade ou ênfase à disciplina?
- <Obs.: Esta pergunta não consta de "Japão A e B, e Hawai 1988", mas se coloca tendo em vista a sua relação com (33)>
- Q24 (34) - A política pode ficar confinada apenas ao trato dos políticos capazes?
- Q25 (35) - Ficar nos costumes usuais, ou persistir naquilo que considera correto segundo sua opinião?
- Q26 (36) - Com a mecanização do mundo, não há diminuição nos sentimentos humanos?
- Q27 (37) - O lar é o único local onde se sente à vontade e bem
- Q28 <Cartão (38)> - Em que circunstâncias o divórcio é admitido
- Q29 <Cartão (39)> - Trabalhos domésticos e cuidados com crianças são tarefas exclusivas de mulher?
- Q30 (40) - Como explicar à criança rumor que depõe contra o seu professor?
- Q31 <Cartão (41)> - Ir à terra natal para ver o pai de criação à morte ou participar da reunião importante de sua empresa
- Q32 <Cartão (42)> - Ir a terra natal para ver o pai que está à morte ou participar da reunião importante de sua empresa
- Q33 <Cartão (43)> - Para a felicidade dos homens, a natureza deve ser seguida ou conquistada
- Q34 <Cartão (44)> - Só com a melhora do país o homem alcança a felicidade ou o contrário?
- Q35 <Cartão (45)> - Escolha 2, entre os mencionados, que considera os itens mais importantes

Respeito e amor para com os pais
Agradecimento à pessoa que o
auxiliou
Direitos individuais
Liberdades individuais, etc.

- Q36 <Cartão (46)> - Qual a pessoa mais desejável: aquela não muito capaz no trabalho mas camarada ou um tipo contrário
- Q37 <Cartão (47)> - Gosta mais de pessoa que é cordata e procura o consenso ao resolver um problema, ou aquela que faz valer os princípios
- Q38 <Cartão (48)> - No exame de admissão à empresa, aprova o parente ou o candidato melhor colocado?
- Q39 <Cartão (49)> - No exame de admissão à empresa, admite o filho do seu benfeitor ou o candidato melhor colocado?
- Q40 <Cartão (50)> - Prefere trabalhar sob as ordens de um chefe que, às vezes, lhe exige trabalho fora dos regulamentos, mas que lhe dá atenção em assuntos pessoais, ou sob um chefe de estilo contrário que não exige qualquer trabalho fora dos regulamentos, mas que não dispensa atenção em relação a assuntos pessoais
- Q41 (51) - As pessoas só pensam em si ou são prestativas em relação a outras pessoas?
- Q42 (52) - As outras pessoas pensam em só tirar vantagens?
- Q43 (53) - Pode-se confiar nos outros?
- Q44 <Cartão (56)> - Que pensa da influência do computador na vida cotidiana?
- Q45 (60) - Quão importante é a defesa do meio ambiente?
- Q46 (N.P.8) - Cultura brasileira - o que vem primeiro à sua mente?
- Q47 61) - Cultura japonesa - o que vem primeiro à sua mente?
- Q48 (62) - Tem religião?
- Q49 (63) - Qual?
- Q50 (64) - Considera importante o sentimento religioso?
- Q51 <Cartão (67)> - Existem muitas religiões, mas todas, enfim, são iguais
- Q51 <Cartão (67)> - O que pensa sobre:
Democracia
Capitalismo
Liberalismo
Socialismo

Q52 <Cartão (8)>

- Quais as metas para o País para o futuro próximo

CENTRO DE ESTUDOS NIPO-BRASILEIROS

QUESTIONÁRIO DE COMPORTAMENTO ATITUDINAL

DATA DE ENTREVISTA	ENTREVISTADOR(A)	SUPERVISOR(a)

UD		MUNICÍPIO				DISTR		SETOR				ESTRATO		G	UD		MUD		A	EXP.B								
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

[CUMPRIMENTO]

Meu nome é [.....]. Sou pesquisador do Centro de Pesquisas Nipo-Brasileiras, de São Paulo, que está realizando uma pesquisa sobre o comportamento atitudinal dos japoneses e descendentes residentes no Brasil. Esta entidade já realizou o levantamento da população de japoneses e seus descendentes residentes no Brasil e também das situações sócio-econômicas dessa mesma população, nos anos de 1987 e 88, respectivamente, quando se contou com a valiosa colaboração de sua parte. Desejo contar com a sua boa vontade, pedindo o favor de responder às perguntas que a seguir serão formuladas. Sou muito grato por mais esta colaboração.

(SEXO E IDADE)

Você nasceu em (ano) _____ (mes) _____ (dia) (30) ~ (35)

1. Homem 2. Mulher (36)

1. Certo (sim)

2. Errado (não) (ano) _____ (mes) _____ (dia) (37) ~ (42)

ASSINATURA DO(A) ENTREVISTADO(A)

QUESTÕES EXCLUSIVAS PARA DESCENDENTES DOS JAPONESES DO BRASIL

[Cumprimento]

Peço licença para começar fazer as perguntas

Q 1.Sua opinião sobre os pontos bons e ruins do Brasil.

(43)

b. O que você acha que pode ser feito a respeito?

(44)

Q 2.Sua opinião sobre os pontos bons e ruins do Japão.

(45)

Q 3.O que você gostaria de fazer com vista ao Japão?

(46)

Q 4.Na qualidade de descendente de japoneses, o que desejaria fosse transmitida à geração seguinte?

(47)

Q 5.Na qualidade de descendente de japoneses, quais as contribuições, que você acha, que os descendentes podem dar ao Brasil?

(48)

Q 6.Você já foi ao Japão?

1) Sim

2) Não

Objetivo?

1-Turismo

2-Visita a parentes

3-Estudo

4-A serviço

5-Para trabalhar

(49)

Q 7.Você deseja ir ao Japão?

1) Sim

2) Não

Objetivo?

1-Turismo

2-Visita a parentes

3-Estudo

4-A serviço

5-Para trabalhar

(50)

Q 8. [(a) (a) (15)]

Para a sua idade, está satisfeito(a) com a sua saúde?

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. Muito satisfeito(a) | 4. Muito insatisfeito(a) |
| 2. Satisfeito(a) | 5. Não sei |
| 3. Insatisfeito(a) | |

(51)

Q 9. [Pergunta adicional] (CARTÃO 9)

Julgamos que cada qual tenha expectativas e esperança no futuro. Que expectativas e esperança você tem em relação aos seguintes itens?

- | | | |
|---|---------------------------|------|
| a. Sucessos social e econômico | 1. Muita esperança | (52) |
| b. Casamento e vida familiar | 2. Alguma esperança | (53) |
| c. Futuro dos filhos | 3. Pouca esperança | (54) |
| d. O mundo será melhor | 4. Sem qualquer esperança | (55) |
| e. Política e economia do País | 5. Outras | (56) |
| f. Paz do mundo | 6. Não sei | (57) |
| g. Conservação do meio ambiente da Terra (do globo terrestre) | 7. Não corresponde | (58) |

Q10. [(a) (a) (9)] (CARTÃO 10)

Você deve ter momentos de preocupação, sobre si e para com os familiares. Em que extensão é a sua preocupação em relação aos itens seguintes?

	Muito	Algo	Levemente	Nada	Não sei	
Doença séria	1	2	3	4	0	(59)
Acidente de carro	1	2	3	4	0	(60)
Desemprego	1	2	3	4	0	(61)
Guerra	1	2	3	4	0	(62)
Acidente nuclear	1	2	3	4	0	(63)

E sobre os seguintes itens?

Violência	1	2	3	4	0	(64)
Drogas	1	2	3	4	0	(65)
Problemas ambientais	1	2	3	4	0	(66)
Economia e política do País	1	2	3	4	0	(67)

Q11. [**(11)]

Poderia dizer se você é mais, ou menos, inclinado a respeitar os seus ancestrais do que a média geral?

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. Mais do que a média | 4. Outro (Especificar) |
| 2. Menos do que a média | 5. Não sei |
| 3. Média | |

(68)

Q12. [* (12)]

Se você não tem filho, pensa desejável adotar uma criança para continuar a linhagem da família, sabendo que não existe relação de consanguinidade? Ou você acha que não há necessidade de tal providência?

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1. Adotaria | 4. Outro (Especificar) _____ |
| 2. Não adotaria | 5. Não sei |
| 3. Depende | |

(69)

Q13. [(a) (18)]

Se você obtiver dinheiro suficiente para viver confortavelmente o resto de sua vida, continuaria a trabalhar ou pararia de trabalhar?

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. Continuaria a trabalhar | 3. Outro (Especificar) _____ |
| 2. Pararia de trabalhar | 4. Não sei |

(70)

Q14. [*(19)] (CARTÃO 14)

Há as seguintes opiniões sobre o trabalho.

Qual das duas você considera mais próxima da sua opinião?

1. Não importa quanto de dinheiro se tenha, a vida sem trabalho não é plena
2. Contanto que tenha dinheiro, a vida é plena mesmo que não se tenha trabalho
3. Não sei

(71)

Q15. [(a) (20)] (CARTÃO 15)

Aqui estão algumas das coisas que as pessoas comumente levam em conta em relação ao seu trabalho. Qual é que você, pessoalmente, coloca em primeiro lugar?

1. Um bom salário de maneira que você não tenha qualquer preocupação quanto ao dinheiro
2. Um trabalho seguro em que não exista o receio de fechamento de firma ou desemprego
3. Trabalhar com pessoas que se gosta
4. Fazer um trabalho importante pelo que se sinta realizado
5. Outro (Especificar) _____
6. Não sei

(72)

Q16. [* (22)] (CARTÃO 16)

Há toda sorte de atitudes perante a vida.

Qual das declarações seguintes diria que mais se aproxima da sua forma de viver?

1. Trabalhar arduamente e se tornar rico
2. Estudar com dedicação e conseguir destacar-se
3. Não pensar em dinheiro ou fama; apenas viver uma vida que esteja de acordo com a sua maneira de ser

(73)

4. Viver cada dia como ele se apresenta, com alegria e sem aborrecimentos
5. Resistir a todos os males do mundo e viver uma vida pura e justa
6. Nunca pensar de si mesmo e se entregar inteiramente a serviço da sociedade
7. Outro (Especificar) _____
8. Não sei

Q17. [*(25)] [CARTÃO 17]

Numa das fábulas de Esopo, há uma história de um grilo preguiçoso e de uma formiga trabalhadora. Quando o inverno veio e passando fome por falta de comida, o grilo, que passou o verão cantando, procurou a formiga que trabalhou todo o verão.

A formiga poderia ter dado tanto uma como outra resposta que estão no cartão. Qual das duas respostas você acha que seria melhor como conclusão da história?

1. A formiga manda o grilo embora porque é natural que sofra agora (74)
2. A formiga admoesta o grilo dizendo: "Você deve arrepender-se de ter sido preguiçoso. Daqui para diante você deve trabalhar mais", e depois compartilha a comida.
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Q18. [*(26)]

O que é para você a coisa mais importante na vida? (75)

Cite apenas uma

A. _____

Não sei

Que outras coisas são muito importantes para você? (76)

Quais? É favor citá-las

B. _____

Não sei

Q19. [(a) (a) (a) (27)] [CARTÃO 19]

Usando-se a escala, onde "7" é "muito importante", e "1" é "nada importante", você poderia dizer a importância dos seguintes assuntos?

	Nada im portante						Muito im portante	Não sei	
Família e Crianças	1	2	3	4	5	6	7	0	(77)
Profissão e Trabalho	1	2	3	4	5	6	7	0	(78)
Tempo Livre e Folga	1	2	3	4	5	6	7	0	(79)
Amigos e Conhecidos	1	2	3	4	5	6	7	0	(80)
Pais, Irmãos e Parentes	1	2	3	4	5	6	7	0	(81)
Religião	1	2	3	4	5	6	7	0	(82)
Política	1	2	3	4	5	6	7	0	(83)

Q20. [Adicional (29)] [CARTÃO 20]

Vamos perguntar sobre a sua vida. Em poucas palavras, você se sente satisfeito com a sua vida atual ou insatisfeito? (84)

1	2	3	4	5	6	7
Satisfeito	Algo Satisfeito	Depende	Algo insatisfeito	Insatisfeito	Outro (Especificar)	Não sei

Q21. [* (32)]

Diz-se que com o desenvolvimento da ciência e tecnologia, a vida se torna mais fácil e cômoda, mas ao mesmo tempo um bocado de sentimentos humanos é perdido. Você concorda com essa opinião ou não?

1. Concordo (Que há perda de sentimentos humanos) (85)
2. Discordo
3. Depende
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

Q22. [* (33)]

Na formação de criança na idade escolar de curso primário, existem pessoas que acham que a criança deve ser ensinada, desde o mais cedo possível, que o dinheiro é uma das coisas mais importantes na vida. Você concorda com esse procedimento ou não?

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 1. Concordo | 4. Outro (Especificar) _____ |
| 2. Discordo | 5. Não sei (86) |
| 3. Depende | |

Q23. [* (Hw71)]

Ao educar criança na idade de frequentar o curso primário, você acha mais importante frisar o valor da liberdade ou o valor da disciplina? (87)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. Liberdade | 3. Outro _____ |
| 2. Disciplina | 4. Não sei |

Q24. [* (34)]

Alguns dizem que se pudermos contar com líderes políticos realmente capazes, o melhor caminho para melhorar o país é deixar tudo entregue a eles ao invés de o povo ficar discutindo as coisas entre si. Você concorda com isso ou não?

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 1. Concordo | 4. Outro (Especificar) _____ |
| 2. Discordo | 5. Não sei (88) |
| 3. Depende | |

Q25. [* (35)]

Se você pensa que alguma coisa é correta, acha que deve ir para frente e realizá-la, mesmo que seja contra os costumes usuais, ou acha que pode errar menos seguindo os costumes?

1. Ir à frente mesmo que contra os costumes

2. Seguir os costumes

3. Depende

4. Outro (Especificar) _____

5. Não sei

(89)

Q26. [* (36)]

Alguns dizem que não importa quanto se mecanize o mundo, nada pode reduzir os sentimentos humanos. Você concorda com essa opinião ou discorda dela?

1. Concordo

4. Outro (Especificar) _____

2. Discordo

5. Não sei

3. Depende

(90)

Q27. [(a) (a) (37)]

Você concorda com a seguinte afirmação?

"O lar é o único lugar onde posso relaxar-me e sentir-me bem".

1. Sim

3. Outro (Especificar) _____

2. Não

4. Não sei

(91)

Q28. [(a) (a) (38)] [CARTÃO 28]

Qual das afirmações deste cartão está mais próxima à sua opinião a respeito do casamento?

1. O casamento é permanente

2. O casamento pode ser desfeito somente sob sérias circunstâncias

3. O casamento pode ser desfeito pela concordância das duas partes

4. Não sei

(92)

Q29. [(a) (a) (39)] [CARTÃO 29]

Qual das afirmações deste cartão está mais próxima à sua opinião a respeito dos trabalhos domésticos e cuidado com as crianças?

1. São trabalhos de mulher

2. Alguns trabalhos são próprios de mulher

3. Todos os trabalhos devem ser divididos entre o homem e a mulher sem diferenciação

4. Não sei

(93)

Q30. [* (40)]

Suponha que uma criança volte à casa e diz que ouviu rumor de que o seu professor fez algo que o coloca em situação embaraçosa, e que supostamente os pais saibam ser isso verdadeiro. Você acha que é melhor os pais contarem à criança a verdade, ou negá-la? (94)

1. Contar a verdade
2. Negá-la

3. Outro (Especificar) _____
 4. Não sei
-

Q31. [* (41)] [CARTÃO 31]

Imagine esta situação. O sr. A se tornou órfão quando era muito pequeno e foi criado pelo sr. B, um vizinho muito bondoso. O sr. B deu-lhe boa educação, mandou-o a uma universidade, e o sr. A tornou-se presidente de uma companhia.

Um dia ele recebeu telegrama dizendo que o sr. B estava em estado grave e pedindo-lhe que viesse imediatamente. Este telegrama chegou quando ele estava dirigindo-se para uma reunião importante em que seria decidida a sobrevivência ou a falência de sua firma. O que você acha que ele deveria fazer? (95)

1. Deixar tudo e ir
 2. Apesar de muito preocupado com o sr. B, ele deve ir à reunião
 3. Outro (Especificar) _____
 4. Não sei
-

Q32. [* (42)] [CARTÃO 32]

A questão anterior supunha que o sr. B o tomara órfão, em criança, e o criara.

Suponha que seja o próprio pai no leito da morte. Qual deveria ser, então, a sua resposta? (96)

1. Deixar tudo e ir
 2. Apesar de muito preocupado com seu pai, ele deve ir à reunião
 3. Outro (Especificar) _____
 4. Não sei
-

Q33. [* (43)] [CARTÃO 33]

Aqui estão três opiniões a respeito do homem e a natureza. Qual das três você acha que é mais próxima da verdade? É favor escolher apenas uma.

1. Para ser feliz, o homem deve seguir a natureza
 2. Para ser feliz, o homem deve usar a natureza
 3. Para ser feliz, o homem deve conquistar a natureza
 4. Outro (Especificar) _____
 5. Não sei
-

Q34. [* (44)] [CARTÃO 34]

Escolha uma das afirmações seguintes com que você mais concorda.

1. Se os indivíduos se tornarem felizes, então, e somente então, o país como um todo melhorará
2. Se o país como um todo se tornar melhor, então, e somente então, podem os indivíduos se tornarem felizes
3. Melhorar o país e tornar os indivíduos felizes são a mesma coisa (98)
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

Q35. [* (45)] [CARTÃO 35]

Se você fôr solicitado a escolher dois (2) entre os seguintes di zeres, quais escolheria?

1. Respeito e amor para com os pais
2. Retribuição de obrigações a pessoas que o auxiliaram
3. Respeito aos direitos individuais (99)
4. Respeito à liberdade dos indivíduos
5. Outro (Especificar) _____

Q36. [** (46)] [CARTÃO 36]

A quem você considera mais desejável como pessoa humana?

1. Pessoa amiga com quem se pode contar para ajudar os outros, mas que não é um trabalhador eficiente
2. Pessoa que é trabalhador eficiente, mas é indiferente às preocupações e situações aflitivas dos outros (100)
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Q37. [** (47)] [CARTÃO 37]

Qual das duas pessoas descritas neste cartão você gosta mais?

1. Uma pessoa que enfatiza os seus próprios princípios mais do que chegar a um consenso entre os outros membros do grupo
2. Uma pessoa que enfatiza a importância de se chegar ao consenso entre os outros membros do grupo mais do que manter os seus próprios princípios (101)
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Q38. [* (48)] [CARTÃO 38]

Suponha que você seja presidente de uma companhia. A empresa de cide admitir um funcionário e realiza exame de admissão. O encar regado informa-lhe dizendo: "O parente do Senhor que se submeteu ao exame alcançou a 2ª colocação, mas acho que tanto o candidato colocado em 1º lugar como o seu parente pode ser admitido. O que faremos? Neste caso quem você admitiria? (102)

1. Aquele melhor colocado
2. O parente
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

Q39.[*(49)] [CARTÃO 39]

Na última questão, supomos que o 2º colocado era seu parente. Agora, vamos supor que o 2º colocado seja filho de pessoa a quem você se sente devedor de obrigações e gratidões.

A quem você escolheria?

1. Aquele melhor colocado

2. O filho do benfeitor

3. Outro (Especificar) _____

4. Não sei

(103)

Q40.[*(50)] [CARTÃO 40]

Suponha que você trabalha numa firma. Sob que chefia você gostaria de trabalhar?

1. Um homem que sempre se atem aos regulamentos de trabalho, mas nunca exige trabalho fora do razoável, que no entanto, nada faz para você pessoalmente em matérias não ligadas ao trabalho

2. Um homem que às vezes exige trabalho extra, mesmo contra os regulamentos, mas que, de outro lado, cuida de você, pessoalmente, em matérias não ligadas ao trabalho

3. Outro (Especificar) _____

4. Não sei

(104)

Q41.[(a) (51)]

Você diria que as pessoas, na maioria das vezes, tentam ser prestativas ou úteis aos outros, ou que estão preocupadas consigo mesmas?

1. Tentam ser prestativas

2. Preocupadas consigo mesmas

3. Outro (Especificar) _____

4. Não sei

(105)

Q42.[(a) (52)]

Você acha que a maioria das pessoas tentaria tirar vantagem de você se houver chance, ou tentaria ser justa?

1. Tiraria vantagem

2. Tentaria ser justa

3. Outro (Especificar) _____

4. Não sei

(106)

Q43.[(a) (53)]

Genericamente falando, você diria que se pode confiar na maioria das pessoas, ou que se deve tomar, sempre, cuidado?

1. Pode ser confiada

3. Outro (Especificar) _____

2. Deve-se tomar cuidado sempre

4. Não sei

(107)

Q44. [(a) (a) (56)] [CARTÃO 44]

No futuro, os computadores continuará a modificar as nossas vidas. Você acha isso desejável ou não?

1. Uma coisa desejável
2. Uma coisa não desejável, mas inevitável
3. Uma coisa lamentável e perigosa
4. Não sei

(108)

Q45. [(a) (a) (60)]

Como é importante para você a preservação do meio ambiente? É...

1. Muito importante
2. Importante
3. Não muito importante
4. Nada importante
5. Não sei

(109)

Q46. [**(Pergunta Nova)]

O que vem primeiro à sua mente quando se fala de cultura do Brasil?

1. (Assinalar) _____

2. Não sei

1b. Cite outras coisas _____

2. Não sei

(110)

(111)

Q47. [**(61)]

O que vem primeiro à sua mente quando se fala de cultura do Japão?

1. (Assinalar) _____

2. Não sei

1b. Cite outras coisas _____

2. Não sei

(112)

(113)

Q48. [*(62)]

Gostaria de fazer-lhe perguntas sobre religião.

Por exemplo, você tem alguma religião?

1. Sim

2. Não

Se sim (se não, pule e passe para diante)

Qual a religião?

1. Xinto

5. Protestante

2. Budismo

6. Católica

3. Sokagakkai

7. Outra (Especificar) _____

4. Seita não estabelecida

8. Não sei

(114)

(115)

Q49. [* (63)]

Sem se referir à qualquer religião estabelecida, você acha importante o sentimento religioso?

1. Importante
2. Não é importante
3. Outro
4. Não sei

(116)

Q50. [* (64)]

Há pessoas que dizem que, embora haja muitas religiões diferentes no mundo, cada qual com as suas crenças, os seus ensinamentos são todos os mesmos. Você concorda com essa opinião ou discorda?

1. Concordo
2. Discordo
3. Outro (Especificar) _____
4. Não sei

(117)

Q51. [* (67)]

O que você pensa da "Democracia", "Capitalismo", "Socialismo" e "Liberalismo"? Poderia apontar na lista as suas opiniões?

1. Bom 2. Depende 3. Ruim 4. Outro 5. NS

Democracia						(118)
Capitalismo						(119)
Socialismo						(120)
Liberalismo						(121)

Q52. [(a) (8)] [CARTÃO 52]

Hoje em dia, há uma porção de idéias sobre metas para o país para os próximos 10 a 15 anos. Neste cartão estão listadas algumas das metas que povos diferentes acreditam que devam ser dadas prioridades por serem consideradas as mais importantes. A longo prazo, qual delas você acha ser a mais importante? [PERMITIDA APENAS UMA RESPOSTA]

1. Manter ordem no país
2. Dar ao povo oportunidade de opinar nas decisões governamentais importantes
3. Combater a elevação de preços
4. Proteger a liberdade de manifestação
5. Outro (Especificar) _____
6. Não sei

(122)

FACE SHEET

Acabámos de perguntar a respeito de suas opiniões.
Agora, para efeito de análise estatística dos resultados, pedimos o favor de responder algumas coisas sobre a sua pessoa e de seus familiares.

F 1. (70)

Quando faz conta mentalmente, você a faz em japonês ou em português?

1. Em português
2. Em japonês
3. Em ambos ou misturados

(123)

F 2. (42)

Com que frequência você lê jornal?

1. Nunca leio
2. Às vezes (P) (J)
3. Regularmente (P) (J)

(124)

F 3.

Você gosta de músicas brasileira e japonesa?

1. Gosto de ambas
2. Gosto de música japonesa
3. Gosto de música brasileira
4. Não gosto de ambas

(125)

F 4.

Você assiste ao vídeo japonês?

1. Assistio sempre
2. Assistio às vezes
3. Não assistio

(126)

F 5.

Qual das descrições seguintes corresponde aos seus amigos?

1. Muitos dos meus amigos são japoneses ou descendentes de japoneses
2. Alguns dos meus amigos são japoneses ou descendentes de japoneses, mas também tenho amigos que não são descendentes de japoneses
3. Muitos de meus amigos são não-descendentes de japoneses
4. Nenhum dos meus amigos é descendente de japoneses

(127)

F 6.

Se você é empregado, qual das descrições seguintes corresponde aos seus colegas de trabalho?

1. Muitos dos meus colegas de trabalho são japoneses ou descendentes de japoneses
2. Alguns dos meus colegas de trabalho são japoneses ou descendentes de japoneses
3. Muitos dos meus colegas de trabalho são não-descendentes de japoneses
4. Nenhum dos meus colegas de trabalho é descendente de japoneses

F 7.

Quando você joga fora uma comida que não conseguiu comer, ou um objeto que ainda pode ser usado, sente que está desperdiçando-os [Sente que é "mottainai"]?

1. Sim, frequentemente
2. Sim, às vezes
3. Nunca sinto

129

F 8.

Quando você escreve carta, acha mais fácil escrevê-la em português ou em japonês?

1. Em japonês
2. Em português
3. Não faz muita diferença [ou é indiferente]

130

F 9.

(Para os empregados)

É, atualmente, sócio de sindicato?

1. Participo
2. Não participo

131

F10.

Quantos anos você frequentou escola de língua japonesa?

132

_____ anos

Muito obrigado pela atenção.

=PARA SEREM PREENCHIDAS PELO PESQUISADOR=

F11.

No geral, qual foi a atitude do respondente em relação às perguntas?

1. Interessado e cooperativo
2. Cooperativo, mas não especialmente interessado
3. Sem calma, parecia irritado
4. Não cooperativo

133

F12.

No geral, lhe pareceu que o respondente havia entendido as perguntas?

1. Pareceu que as entendeu bem
2. Pareceu que as entendeu no geral
3. Pareceu que não as entendeu muito
4. Outro (Especificar) _____
5. Não sei

134

Research Report
General Series No.74

RESEARCH ON NATIONAL CHARACTER OF JAPANESE BRAZILIAN

———— 1991~1992 ————

1993

The Research Committee

TOKEI-SURI KENKYUZYO

The Institute of Statistical Mathematics
4-6-7 Minami-Azabu, Minato-ku,
Tokyo 106, JAPAN